

障がいのある方々のインターネット等の利用 に関する調査報告書

—国民全般の情報環境との比較を通じて—

平成15年6月

総務省 情報通信政策研究所

本報告書に掲載する調査研究内容や意見は執筆者個人に属し、総務省あるいは情報通信政策研究所の公式見解を示すものではない。

は じ め に

ここ数年、「デジタル・ディバイド」(情報格差)という言葉をよく耳にする。「デジタル・ディバイド」は地域、所得、障害、年齢等、多様な原因で生じる。「e-Japan重点計画」において、「すべての国民がITのメリットを享受できる社会」の実現を目指すことが謳われているように、「デジタル・ディバイド」の解消は国家的な目標となっている。

「障がい者・高齢者」をターゲットにした「デジタル・ディバイド」解消のための施策も多く検討され、実施されている。確かに、年齢を加えるにつれて、「高齢者」は様々な機能が低下するという点において、「障がい者」と類似している。しかしながら、「障がい者」と「高齢者」が享受したい「ITのメリット」は同じなのであろうか。また、「ITのメリット」を享受してもらうための効果的手段は同じなのであろうか。さらに言えば、「障がい」にも様々な種類があるにも関わらず、「障がい者」と一括りすることは適当なのであろうか。この疑問が本調査のきっかけとなった。

各種調査からも明らかなように、「高齢」になればなるほど、一般に、パソコンやインターネットの利用意向は大きく低下する。「障がい者」においても、「高齢」になるほど利用意向が低下するという傾向は同じであるものの、「高齢者」に比べ、全般的な利用意向は高い。そのため、本調査では「障がい者」に焦点を当て、調査を実施することとした。

本調査では、東京都内の特殊学校高等部の分類に従い、便宜上、「障がい」を「視覚障がい」、「聴覚障がい」、「肢体不自由」及び「知的障がい」に分類したが、調査目的は、様々な障がいを抱える方々が、それぞれに「ITのメリット」を享受し、心豊かな生活を送れるための施策に関するヒントを得ることである。

非常に多くの方々の協力により、本調査は実施可能となった。当然ではあるが、調査に回答していただいた障がい者の方々がいなければ、調査は成立しない。心から感謝している。また、対象者の抽出及び回答のとりまとめに当たり、東京都内すべての特殊学校高等部、東京都盲人福祉協会、東京都立ろう学校PTA連合会、東京都聴覚障害者連盟、東京都肢体不自由児者父母の会及び東京都知的障害者育成会の方々には大変お世話になった。

本調査では点字の調査票も用いたが、筑波大学付属盲学校の内田智也先生に点字化していただいた。点字の墨字化には、東京女子大学点字友の会のみなさんが快く協力していただいた。(社)中央調査社の方々には、何度も集計のやり直しをお願いした。(株)ザッツコーポレーションの渡邊さんには、無理なお願いを聞いていただき、素晴らしい図表を作成していただいた。プロップ・ステーションの竹中ナミさんには、障がい者の就労に関し、多くのことを教わった。

調査結果のとりまとめには予想外に時間を要したが、こうした方々の顔を思い浮かべることにより、何とか、形にすることができた。改めて、心から感謝したい。

本調査が「障がい者」の「デジタル・ディバイド」解消につながり、心豊かな生活を送れるための施策検討の参考となれば幸いである。

平成15年6月

旧総務省 郵政研究所 通信経済研究部政策研究所
(現総務省 情報通信政策研究所)
元主任研究官 住尾 健太郎

目 次

「障がいのある方々のインターネット等利用に関する調査」について	1～2
「暮らしとインターネットに関する全国調査」について	3～4
調査結果概要	5～20
標本数及び補正方法	21～23
補正後の回答者プロフィール	24～25

第1章 パソコン

1-1 利用率(全員に対して)	26～27
1-2 利用頻度(利用者に対して)	28～29
1-3 利用場所(利用者に対して)	30～31
1-4 利用目的(利用者に対して)	32～33
1-5 どのように使い方を学んだか(利用者に対して)	34～35
1-6 誰に相談するか(利用者に対して)	36～37
1-7 利用の際に困ること(利用者に対して)	38～39
1-8 利用しない理由(利用していないひとに対して)	40～43
1-9 今後の利用意向(利用していないひとに対して)	44～45
1-10 どのような条件が整えば利用したいか (現在、利用していないが条件が整えば利用したいひとに対して)	46～49
1-11 利用目的(現在、利用していないが条件が整えば利用したいひとに対して)	50～51

第2章 インターネット

2-1 利用率(全員に対して)	52～53
2-2 利用率(手段別)(全員に対して)	54～55
2-3 利用場所(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	56～57
2-4 始めたきっかけ(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	58～61
2-5 一週間の利用日数(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	62～63
2-6 自宅での一週間の利用日数(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	64～65
2-7 一週間の利用時間(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	66～69
2-8 自宅での一週間の利用時間(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	70～73
2-9 利用目的(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	74～75

2-10	自宅での利用目的(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	76～79
2-11	どのように使い方を学んだか(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	80～81
2-12	誰に相談するか(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	82～83
2-13	利用の際に困ること(携帯電話PHS以外での利用者に対して)	84～85
2-14	利用しない理由(利用していないひとに対して)	86～89
2-15	今後の利用意向(利用していないひとに対して)	90～91
2-16	どのような条件が整えば利用したいか (現在、利用していないが条件が整えば利用したいひとに対して)	92～95
2-17	利用目的(現在、利用していないが条件が整えば利用したいひとに対して)	96～99

第3章 携帯電話PHS

3-1	利用率(全員に対して)	100～101
3-2	今後の利用意向(利用していないひとに対して)	102～103
3-3	携帯電話PHSによるインターネット利用率(全員に対して)	104～105
3-4	携帯電話PHSによるインターネットの利用意向 (携帯電話PHS利用者に対して)	106～107
3-5	携帯電話PHSによるインターネットの利用意向 (携帯電話PHSを利用していないひと者に対して)	108～109

第4章 電子商取引

4-1	利用率(全員に対して)	110～111
4-2	今後の利用意向(全員に対して)	112～113

第5章 ITリテラシー

5-1	文書作成(全員に対して)	114～115
5-2	表計算(全員に対して)	116～117
5-3	簡単な作図(全員に対して)	118～119
5-4	電子メールのやりとり(全員に対して)	120～121
5-5	インターネットを使った情報検索(全員に対して)	122～123
5-6	ホームページの作成(全員に対して)	124～125

第6章 IT講習会

IT講習会への参加希望(全員に対して)	126～127
---------------------------	---------

第7章 学校での情報教育

情報教育の必要性(全員に対して)	128～129
------------------------	---------

詳しいプロフィール	130～161
-----------------	---------

【調査票】

使用した調査票	162～173
---------------	---------

調査に対する回答	174～187
----------------	---------

【参考1:「暮らしとインターネットに関する全国調査」項目分析等】

【参考2: インターネットで何ができるか(プロップ・ステーションの取り組み)】

「障がいのある方々のインターネット等利用についての調査」について

「e-Japan重点計画」において、「すべての国民がITのメリットを享受できる社会」の実現を目指すことが謳われている。ITは、障がいを補い、障がい者の自立や社会参加を可能とする手段となりうる。ITを利用することにより、障がい者本人がより有意義な人生を過ごせるばかりではなく、社会的にも中長期的な費用の低減につながる可能性もある。

本調査では、障がい者を取り巻く情報環境を把握し、ITの利用促進につながる具体的方策を検討するものである。

1. 調査の目的

- (1) 障がい者におけるインターネット等の利用実態の把握(デジタルディバイドの実態調査)
 - ① 障がい者全体と健常者とのインターネット等の利用状況の比較
 - ② 障がい種別ごとの利用状況の比較
 - ③ 障がい種別ごとの利用障壁の把握
- (2) 調査結果に基づいた、すべての国民がITのメリットを享受できる社会を実現するための具体的施策の提言

2. 主な調査内容

- (1) パソコン、インターネット及び携帯電話の利用状況と利用上の問題点
- (2) 電子商取引の利用状況
- (3) 電子メールの送受信等、ITリテラシーの状況
- (4) IT講習会への参加意向
- (5) 学校での情報教育に対する考え方

3. 調査方法

- (1) 地 域： 東京都内
- (2) 対 象： 16歳以上49歳以下の障がい者男女
- (3) 依 頼 先： 都内すべての特殊学校高等部(48校)、東京都盲人福祉協会、東京都立ろう学校PTA連合会、東京都聴覚障害者連盟、東京都肢体不自由児者父母の会連合会、東京都知的障害者育成会
- (4) 対 象 数： 約1,250(名)
- (5) 抽出方法： 協力依頼先による無作為抽出法
- (6) 調査方法： 学校及び協力団体への郵送法
- (7) 調査時期： 2002年3月4日～3月18日(追加調査：2002年7月9日～9月10日)

4. 調査対象者の抽出方法

- (1) 都内の各種特殊学校高等部に在籍する生徒数の割合を基本として、障がい種別ごとに全体に対する割合を決定。
- (2) 視覚障がい者及び聴覚障がい者については、全体に占める割合が小さく、一定の回答数を確保するために、全体に対する割合の数倍に調査協力依頼。
- (3) 10代の対象者については各学校に対し、生徒数の割合に応じて依頼。
- (4) 一般的な調査で対象者抽出に使用する住民基本台帳に相当するものがないため、対象者は、学校及び協力依頼団体において、パソコン利用の有無や障がいの程度を苦慮することなく、無作為での抽出を依頼。
- (5) 重度障がい者等については、先生、家族等による代理回答を依頼。

5. 結果回収状況

- (1) 回収数：789(名)
- (2) 回収率：63.2%(789/1,248)
- (3) 回収内訳と標本数

	依頼数	回収	回収率
視覚障害	363	160	44.1%
聴覚障害	268	105	39.2%
肢体不自由	192	156	81.3%
知的障害	425	368	86.6%
全体	1,248	789	63.2%

都内の各種特殊学校高等部に在籍する生徒数の割合により、障がい者別の母集団構成比を、視覚障がい3.9%、聴覚障がい5.1%、肢体不自由18.5%、知的障がい72.5%とし、同様に、障がいごとに男女比を考慮して、ウエイト集計を行った。ウエイト後の規正標本数は次の通りである。なお、年代別の障がい者数についてはデータを見付けることができなかったため、各年代とも同数となるようにウエイト集計を行っている。

		視覚障害		聴覚障害		肢体不自由		知的障害		合計	
		回収数	規正数	回収数	規正数	回収数	規正数	回収数	規正数	回収数	規正数
10代	男性	25	26	19	31	32	114	92	534	168	704
	女性	18	17	12	25	13	88	51	255	94	384
20代	男性	22	26	9	31	25	114	36	534	92	704
	女性	10	17	14	25	12	88	37	255	73	384
30代	男性	33	26	16	31	25	114	51	534	125	704
	女性	13	17	9	25	16	88	38	255	76	384
40代	男性	28	26	16	31	23	114	27	534	94	704
	女性	11	17	10	25	10	88	36	255	67	384
合計		160	170	105	222	156	806	368	3,156	789	4,354
			3.9%		5.1%		18.5%		72.5%		

(参考)

「暮らしとインターネットに関する全国調査」について

平成13年2月から3月末にかけて、「暮らしとインターネットに関する全国調査」を実施した。主な調査目的は、1) パソコン、インターネット及び電子商取引の利用状況、国民の情報リテラシーなど、「情報環境」を幅広く調査すること、及び 2) セキュリティ意識を調査した上、セキュリティ意識と電子商取引(BtoC市場)利用との関係について調査することであった。

「障がいのある方のインターネット等利用についての調査」とは、実施時期に1年程度の時差が存在する。平成13～14年の間、ADSLが大幅に普及したことに伴い、インターネット等の利用環境が大きく変化している。したがって、両調査の結果を差異は現状を必ずしも正確に反映しているものではない。しかしながら、「デジタルデバйд」の状況を把握するための参考になりうると考え、両調査の結果を比較している。

1. 調査の目的

- (1) パソコン、インターネット及び携帯電話の利用状況(以下「情報環境」という)の把握
- (2) 電子メール利用能力の有無等、ITリテラシーの把握
- (3) セキュリティ意識の把握
- (4) セキュリティ意識と電子商取引の利用との関係の把握
- (5) 上記の結果を踏まえ、情報リテラシーを向上させ、パソコンやインターネットの利用率を増加させる施策の提言
- (6) セキュリティ意識との関係を中心に、電子商取引の利用拡大への提言

2. 主な調査内容

- (1) パソコン、インターネット及び電子商取引のイメージ比較
- (2) パソコン、インターネット、電子商取引及び携帯電話の利用状況と問題点
- (3) 電子メールの送受信等、ITリテラシーの状況
- (4) セキュリティ意識
- (5) IT講習会への参加意向
- (6) 電子政府に対する期待
- (7) 学校での情報教育に対する考え方
- (8) 地域における情報格差意識

3. 調査方法

- (1) 地 域： 全国(161地点)
- (2) 対 象： 16歳以上69歳以下の男女個人
- (3) 対 象 数： 3,200(名)
- (4) 抽出方法： 層化多段無作為抽出法
- (5) 調査方法： 訪問留置面接回収法
- (6) 調査時期： 2001年2月15日～3月25日

4. 結果回収状況

- (1) 回 収 数： 2,589(名)
- (2) 回 収 率： 80.9%(2,589/3,200)
- (3) 規正標本数と回収内訳

全国規模の調査において、回収率が80%を超える例は少ない。回収率が高いため、回収結果集計と補正結果集計との間に大きな差異は生じないが、「障がいのある方々のインターネット等利用についての調査」においては結果を補正していることから、本調査についても補正を行った上で比較することとした。補正の結果等は下記の通りである。

	依頼数	回収数	規正数
全体	3,200	2,589	2,589
回収率 (%)		80.9%	80.9%

	回収数	規正数		回収数	規正数
男性	1,276	1,293	女性	1,313	1,296
%	49.3%	49.9%	%	50.7%	50.1%
10代	85	100	10代	85	95
%	3.3%	3.9%	%	3.3%	3.7%
20代	192	268	20代	215	259
%	7.4%	10.4%	%	8.3%	10.0%
30代	203	268	30代	232	222
%	7.8%	10.4%	%	9.0%	8.6%
40代	258	278	40代	301	275
%	10.0%	10.7%	%	11.6%	10.6%
50代	311	235	50代	290	240
%	12.0%	9.1%	%	11.2%	9.3%
60代	228	186	60代	189	204
%	8.8%	7.2%	%	7.3%	7.9%

調査結果概要

1. はじめに

調査結果を見るに際し、予め、次の点を認識しておいていただきたい。

(1) 結果にバイアスがかかっている可能性

一般的な調査において対象者を決める場合、住民基本台帳等から無作為に抽出する。しかし、今回の調査においては、住民基本台帳等に相当するような障がい者の名簿がないため、調査に協力していただいた学校や団体に対象者をランダムに選んでいただくようお願いした。バイアスがかかることをできるだけ避けるために、調査協力依頼の文書に次のように記載した。

調査対象となる生徒はランダムに選択してくださいようお願い申し上げます。例えば、苗字が「た行」から始まる生徒から選び、次に「な行」に移る等としていただければ幸いです。もし、意識的に、障害の軽い方や、インターネットを利用している生徒だけを選んだ場合、事実を反映しない結果が出ることとなります。ランダムな選択をお願いいたします。(この調査は、障害児者ご本人を対象としています。ただし、ご本人によるご記入が難しい場合、ご家族等がご本人と相談してご記入いただいても結構です。)

しかしながら、結果にバイアスがかかっている可能性は否定できない。例えば、パソコンやインターネット利用率に関し、身体障害者手帳2級所持者の利用率が高い理由は、聴覚障がい者が占める割合が大きいためである。しかしながら、聴覚障がい者が身体障害者手帳を所持する場合、2級が突出して多いという訳ではない。

(2) 補正前標本数100を意識した分析項目の設定

統計的有意性を持たせるために、補正前の回答数が100を下回らないように分析項目を設定した。そのため、例えば、身体障害者手帳における「重度」、「中度」、「軽度」の分類と本調査における分類が異なっているのは、このためである。また、本調査では、精神障害福祉手帳の保持者は少なかったため、分析の対象としていない。

(3) 「全国調査」との比較条件の違い

「全国調査」と結果の比較を行っているが、次の3点において異なる。

- ① 「全国調査」は今回の調査の約1年前に実施されたものであり、約1年のタイムラグがあること
- ② 今回の調査対象者が「50歳未満」の方であるのに対し、「全国調査」の対象者は「70歳未満」の方であること
- ③ 今回調査の調査対象地域は「東京都」であり、「全国」ではないこと

したがって、結果比較は参考となるが、条件が異なるため、必ずしも現状を正確に反映している訳ではない。

2. 結果の概要

(1) パソコンの利用について

条件の違いを考慮した上で、「全国調査」の結果と比べると、全体としての利用率に30%程度の差があると考えられるが、利用率が一番低い知的障がい者においても26.2%が利用しており、障がい者全体に利用が広がっている。

現在利用していないひとの将来的な利用意向は障がいの種別によって差があるものの、多くの障がい者が利用したいと考えている。利用しない理由や利用のための条件は障害ごとで異なるため、利用率向上のためには、それぞれのニーズに合った施策が必要である。

利用しやすい環境を実現するに際し、行政の役割を考える場合には、次の点を考慮する必要がある。

- ① 行政がどこまで関与すべきか
- ② 行政がどのように関与すべきか

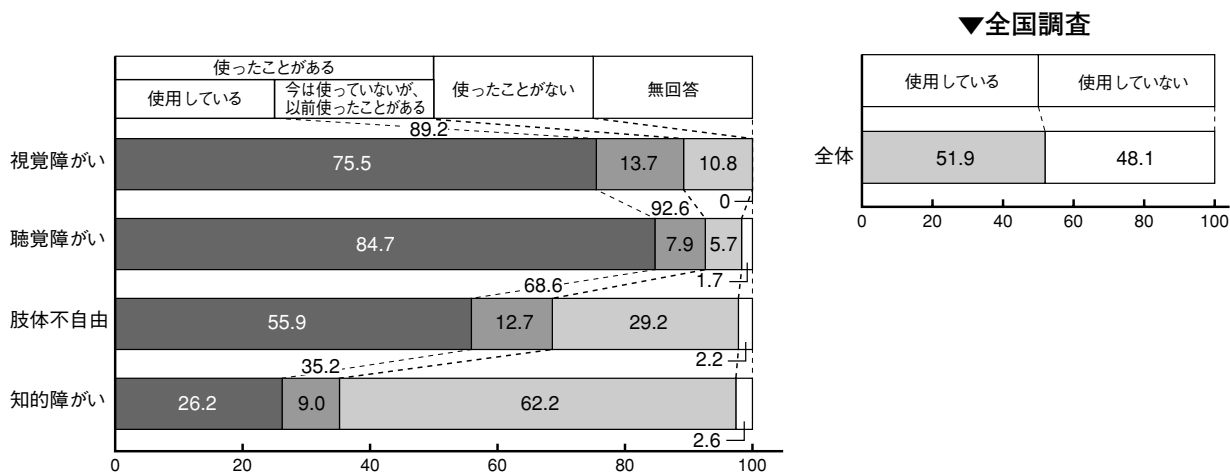
①「行政がどこまで関与すべきか」については政策スタンスの問題であり、関係行政機関や団体等と十分に議論をする必要となる。例えば、「利用目的」として、障がいの種別に関わらず、「趣味のため」といった回答が多く、また、「利用しない理由」や「利用に際して困ること」として、「パソコン等の値段が高い」という回答が少なからずあるが、金銭的支援の必要性、範囲や程度については議論が分かれるところである。

②「行政がどのように関与すべきか」については、具体的な施策目的、対象となる障がいの種別等によって異なる。例えば、パソコン購入に対する助成や減税については、当然、行政が主体となる。しかし、個々の利用目的に応じ、障がいの特性を踏まえた上で使い方を教える場合には、学校や障がい者団体等が実施することが効果的であり、効率的でもあると考えられる。この場合、行政の効果的な関与の仕方としては業務の委託と成果のチェックになる。また、行政と障がい者団体等の連携が効果的な場合もある。日本の現状においては、必ずしも消費者の力が強いわけではなく、欧米と比べ、障がい者に対する社会的配慮も必ずしも十分ではない。そのため、例えば、「説明書がわかりにくい」や「障がいを補う機器等がない」という問題を解決するためには、障がい者団体等と連携をとり、行政が支援することが効果的であると考えられる。

① 利用率(1-1)

「使用している」は36.6%だが、障がい別の格差が大きい

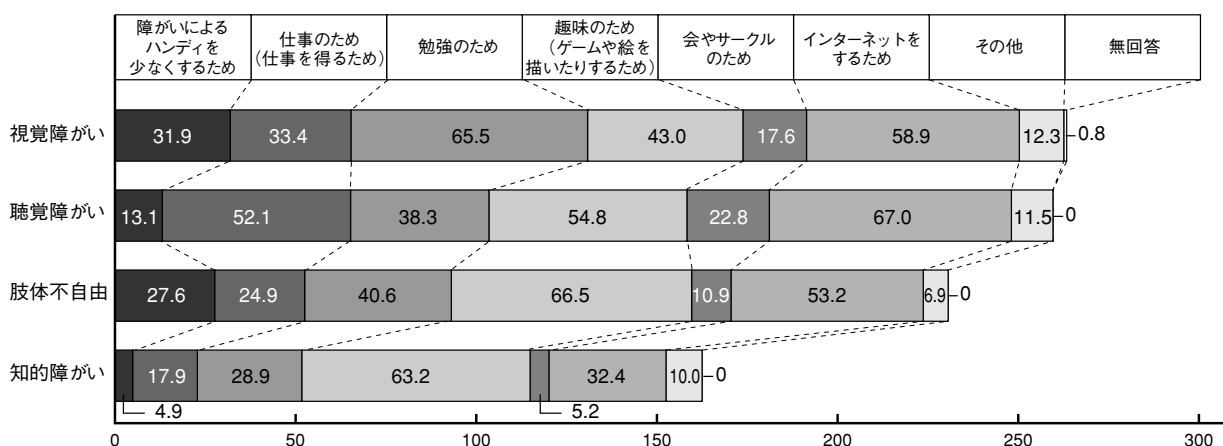
条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合、全体としての利用率に30%程度の差が生じていると考えられる。また、障がい別の利用格差も大きい。しかしながら、利用率が一番低い知的障がい者は26.2%に止まっているが、「愛の手帳」3～4度所持者の30%弱が利用しており、障がい者全般に利用が広がっているといえる。



② 利用目的(1-4)

「趣味のため」が61.5%、「障害によるハンディキャップを少なくするため」は14.5%

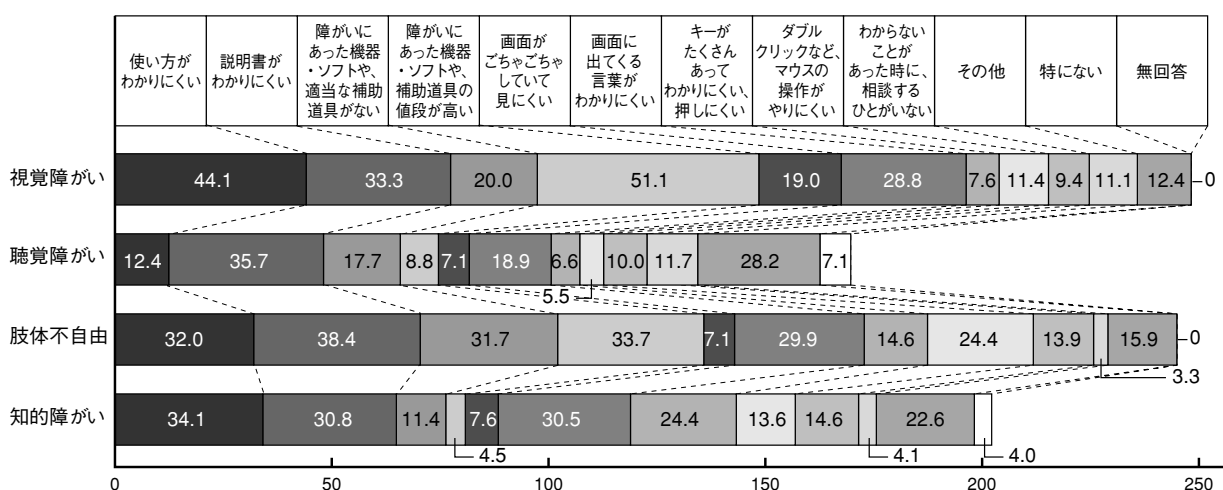
全般的に、「趣味のため」、「インターネットをするため」といった回答が多いことから、余暇充実のための利用が多いことがわかる。しかしながら、障がい別では、聴覚障がい者では「仕事のため」が50%以上、視覚障がい者と肢体不自由者では「障害によるハンディキャップを少なくするため」が30%前後と相対的に高く、障がいごとに利用目的が異なっていることがわかる。



③ 利用の際に困ること(1-7)

障がいの種別により回答が異なるため、それぞれの特性に応じた対応が必要

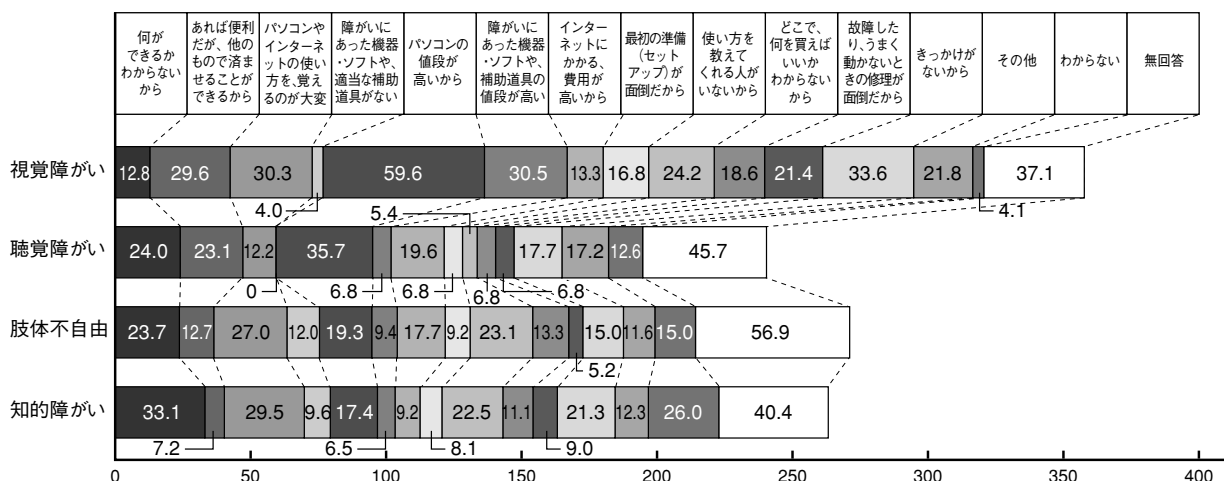
すべての障がいにおいて、30%以上が「説明書がわかりにくい」と指摘。聴覚障がい者を除き、「使い方がわかりにくい」と「画面に出てくる言葉がわかりにくい」との回答も多い。知的障がい者については、「キーがたくさんあってわかりにくい、押しにくい」(24.4%)との回答が多い。視覚障がい者では「障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い」(51.1%)が最多となっている。



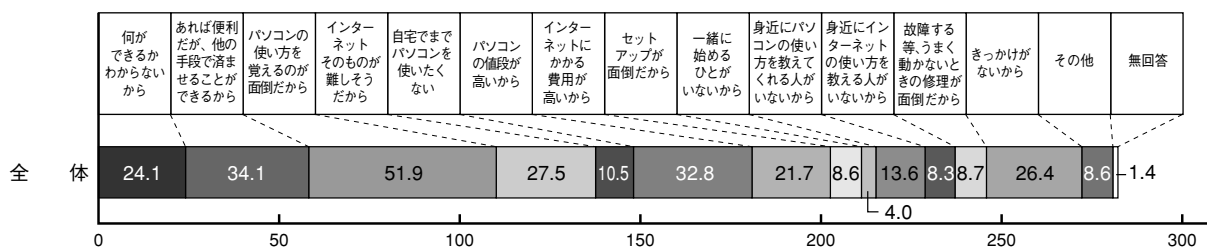
④ 利用しない理由(利用していないひと)(1-8)

視覚障がい者と聴覚障がい者は「パソコン等の値段」、肢体不自由者と知的障がい者は「何ができるかわからない」、「使い方を覚えることが大変」、「教えてくれる人がいない」との回答が多い

視覚障がい者と聴覚障がい者は「パソコン等の値段が高い」が最大の理由。肢体不自由者と知的障がい者は「何ができるかわからない」、「使い方を覚えることが大変」、「教えてくれるひとがいない」といったものが主な理由となっている。



▼全国調査

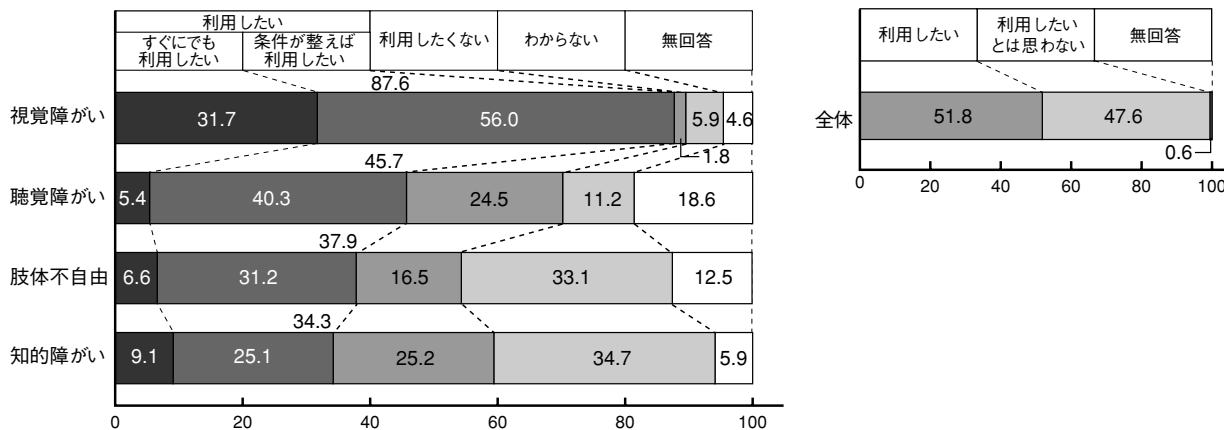


⑤ 今後の利用意向 (利用していないひと)(1-9)

「すぐにでも利用したい」9.1%、「条件が整えば利用したい」26.6%

「すぐにでも利用したい」と「条件が整えば利用したい」をあわせた「利用したい(計)」は、視覚障がい者(87.6%)、聴覚障がい者(45.7%)、肢体不自由者(37.9%)、知的障がい者(34.3%)。視覚障がい者は大多数が利用意向を持っていることがわかる。

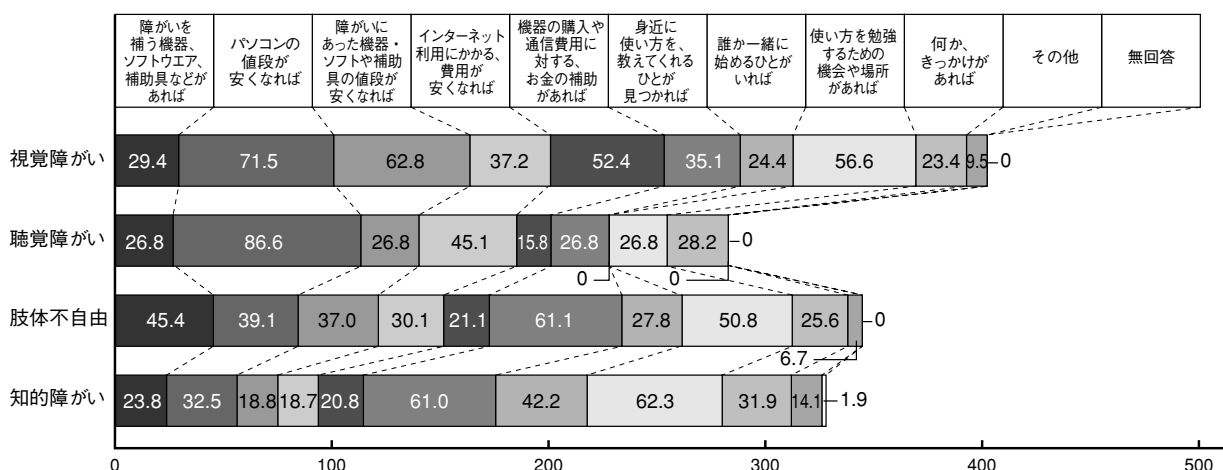
▼全国調査



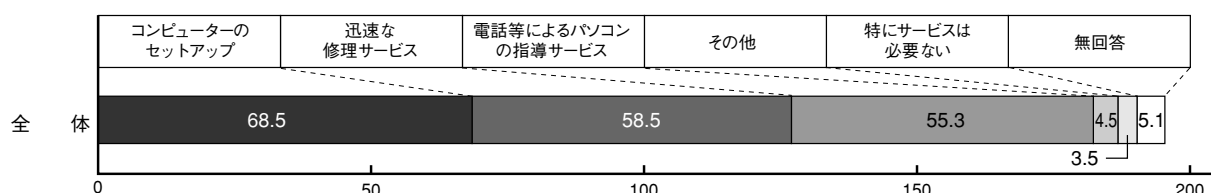
⑥ どのような条件が整えば利用したいか (利用していないひと)(1-10)

障がいの種別により条件が異なり、利用促進のためには個別の対策が必要

視覚障がい者と聴覚障がい者は「パソコン等の値段が安くなれば」という金銭面が条件。肢体不自由者と知的障がい者は「身近に使い方を、教えてくれるひとが見つければ」、「使い方を勉強する機会や場所があれば」といった回答が多い。また、肢体不自由者では「障がいを補う機器等があれば」(45.4%)という回答も多い。



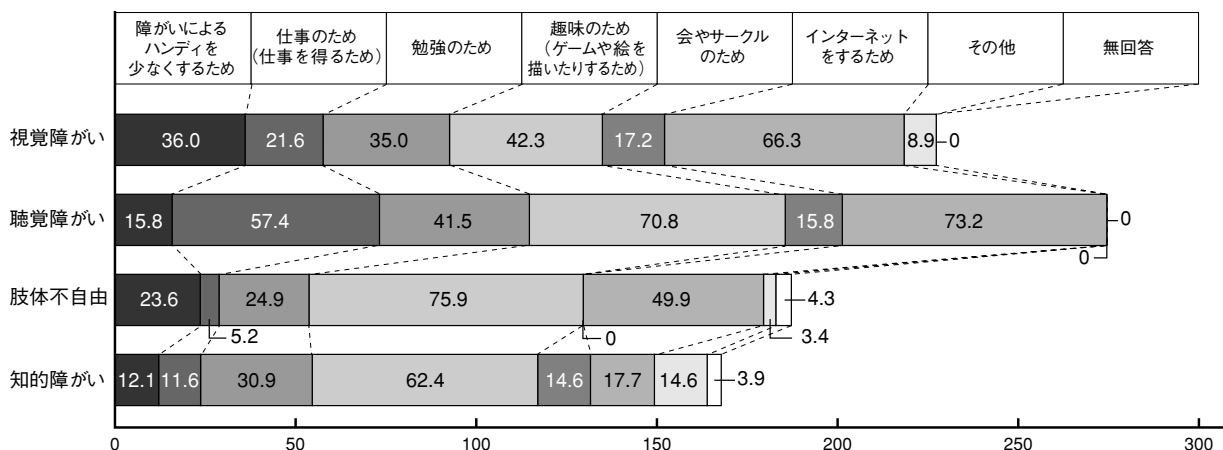
▼全国調査



⑦ 利用する際の目的 (利用していないひと)(1-11)

「趣味のため」(63.9%)が圧倒的

障がいの種別に関わらず、「趣味のため」や「インターネットをするため」との回答が多い。また、「勉強のため」も多い。他の障がいと比べ、視覚障がい者では「障がいによるハンディを少なくするため」(36%)、聴覚障がい者では「仕事のため(仕事を得的ため)」(57.4%)という回答が多い。



(2) インターネットの利用について

パソコンと同様に、条件の違いを考慮した上で、「全国調査」の結果と比べると、全体としての利用率に30%以上の差があると考えられる。しかし、利用率が一番低い知的障がい者においても20%弱が利用しており、障がい者全体に利用が広がりつつある。

現在利用していないひとの将来的な利用意向は障がいの種別によって差があるものの、多くの障がい者が利用したいと考えている。繰り返しとなるが、利用しない理由や利用のための条件は障害ごとで異なるため、利用率向上のためには、それぞれのニーズに合った施策が必要となる。

利用しやすい環境を実現するに際し、行政の役割を考える場合に考慮する点などはパソコンと同様である。

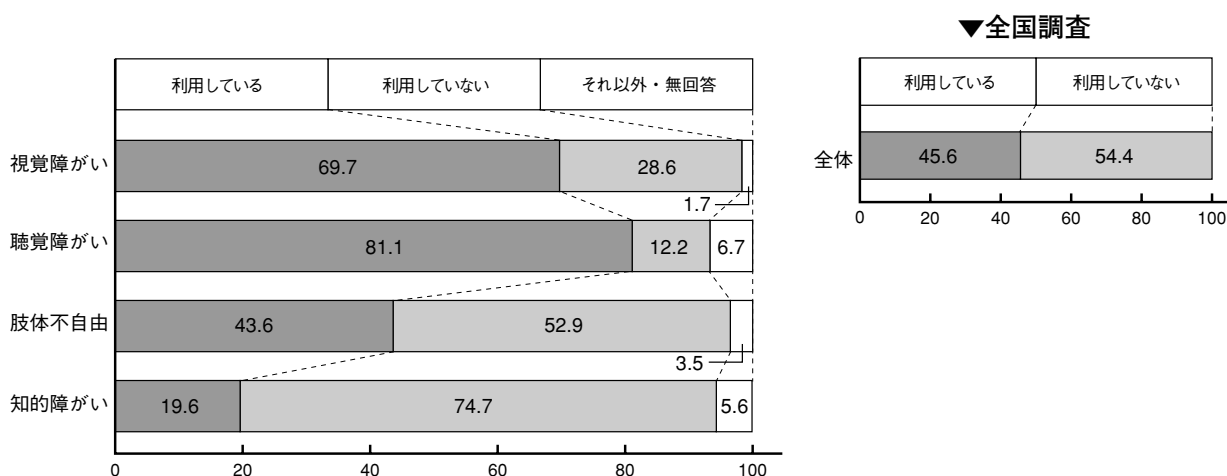
インターネット特有の問題もある。「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」という回答が多い一方で、「欲しい情報がない、又は見つけるのが難しい」という回答や、視覚障がい者を中心に、「障がいに配慮したホームページが少ない」との回答もある。

これまで、ハード、ソフトともに、アクセスビリティ確保に関する普及策等が行政機関で検討されてきており、実施に移されているものもある。しかしながら、上記の回答が示すように、現実には、障がい者のための情報アクセスビリティが十分に確保されているとはいえない。こうした分野こそ、マニフェスト(数値目標と達成期日を織り込んだ具体的政策)が適当であると考ええる。

① 利用率(2-1)

「使用している」は29.2%だが、障がい別の格差が大きい

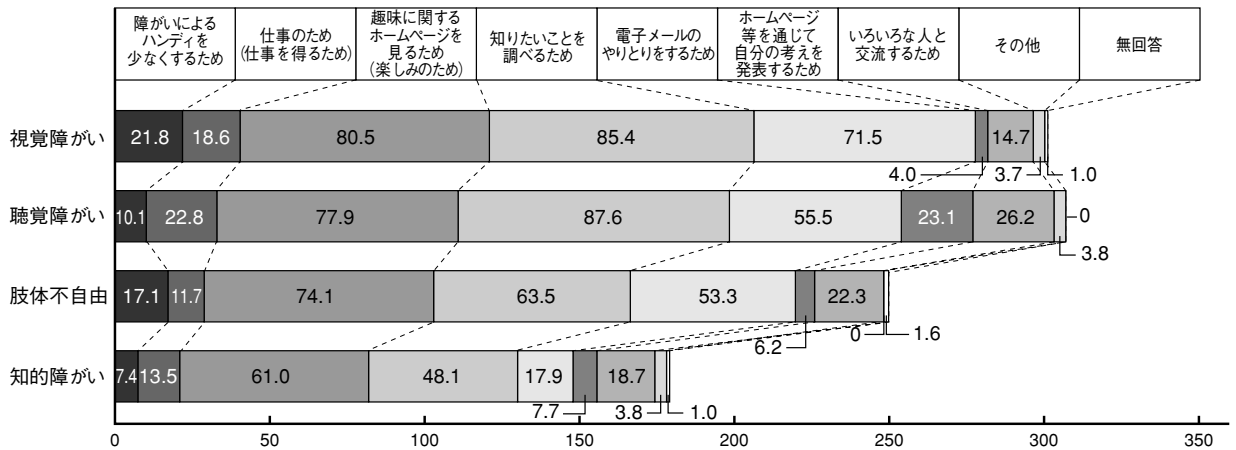
条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合、全体としての利用率に30%以上の差が生じていると考えられる。また、障がい別の利用格差も大きい。ただし、最も利用率が低い知的障がい者は19.6%に止まっているが、「愛の手帳」3～4度所持者の25.8%が利用しており、インターネットの利用も障がい者全般に広がっているといえる。



② 利用目的(2-9)

「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」が69.2%、「知りたいことを調べるため」が62.1%

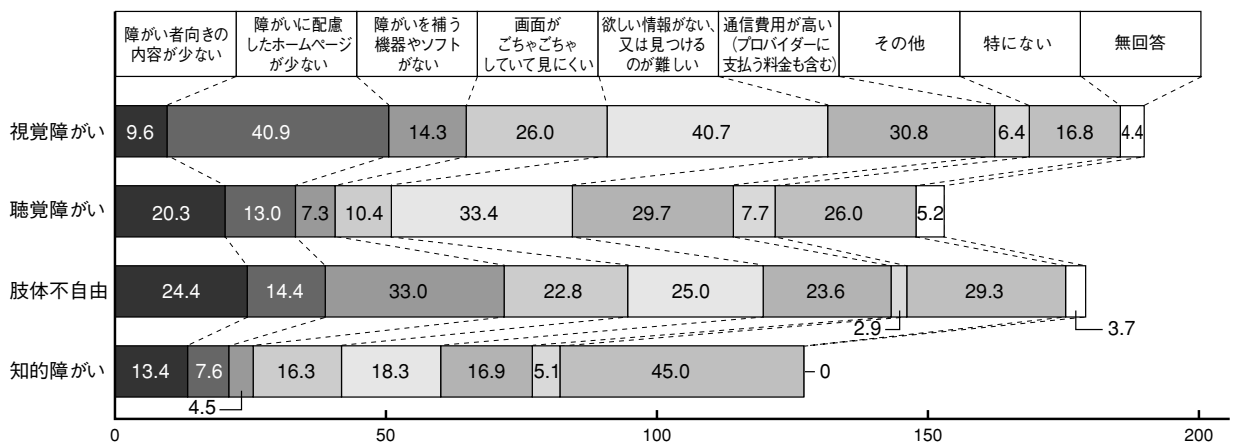
障がいの種別に関わらず、「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」、「知りたいことを調べるため」と「電子メールのやりとりをするため」という回答が多い。ただ、「電子メールのやりとりをするため」については、他の障がいと比べ、視覚障がい者の回答が多く(71.5%)、知的障がい者の回答は少ない(17.9%)。



③ 利用の際に困ること(2-13)

障がいの種別により回答が異なるため、それぞれの特性に応じた対応が必要

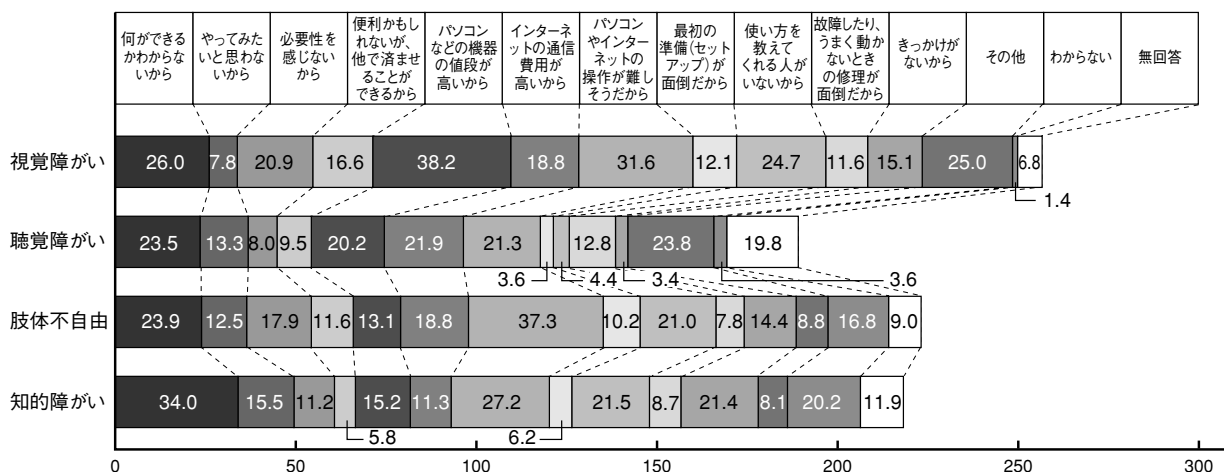
知的障がい者を除き、「欲しい情報がない」と「通信費用が高い」という回答が多い。視覚障がい者では「障がいに配慮したホームページが少ない」(40.9%)、肢体不自由者では「障がいを補う機器やソフトが少ない」(33%)が最も多い回答となっている。



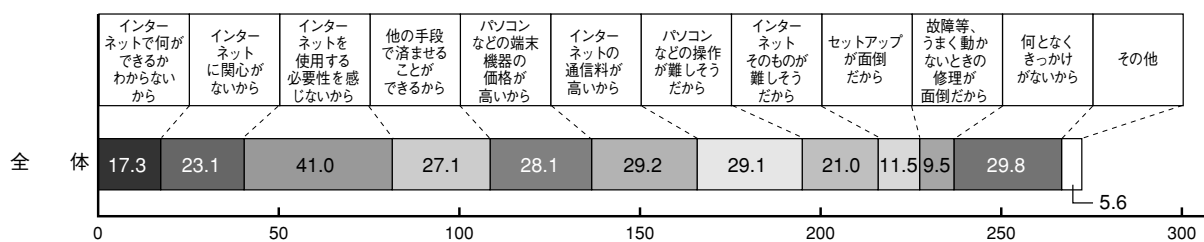
④ 利用しない理由(利用していないひと)(2-14)

「何ができるかわからないから」32.2%、「パソコンやインターネットの操作が難しそう」28.7%

障がい者の種別に関わらず、「何ができるかわからないから」と「パソコンやインターネットの操作が難そうだから」の回答が多い。また、聴覚障がい者を除き、「使い方を教えてくれる人がいないから」という回答も多い。視覚障がい者は「パソコンなどの機器の値段が高いから」(38.2%)という理由が一番多くなっている。



▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用しない理由)

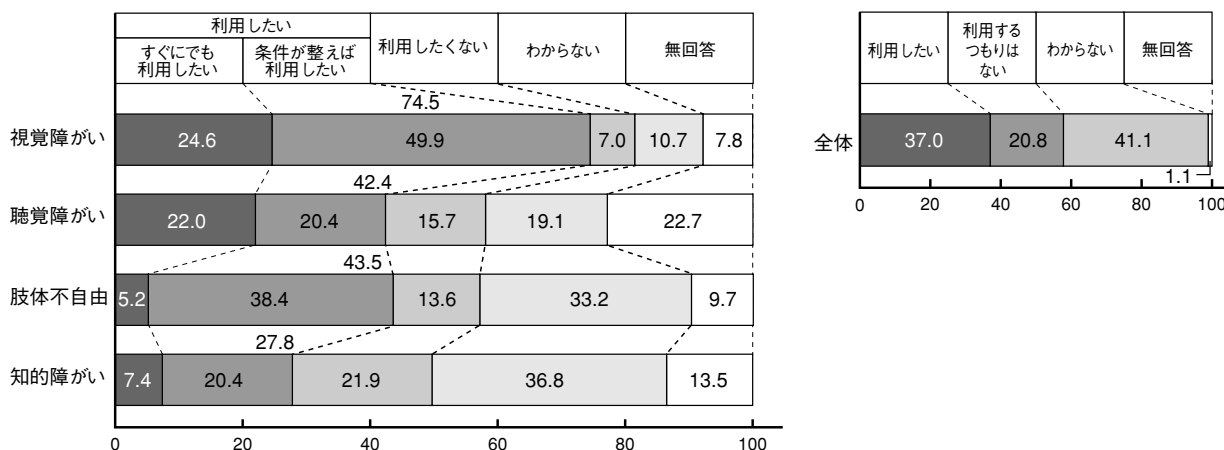


⑤ 今後の利用意向(利用していないひと)(2-15)

「利用したい(計)」視覚障がい者74.5%、聴覚障がい者42.4%、肢体不自由者43.5%、知的障がい者27.8%

「すぐにでも利用したい」と「条件が整えば利用したい」をあわせた「利用したい(計)」をみた場合、視覚障がい者の利用意向(74.5%)が非常に高い。そのほか、就業している男性(34.5%)、学校在学中の男女(それぞれ38.7%と51.4%)の利用意向が高い。

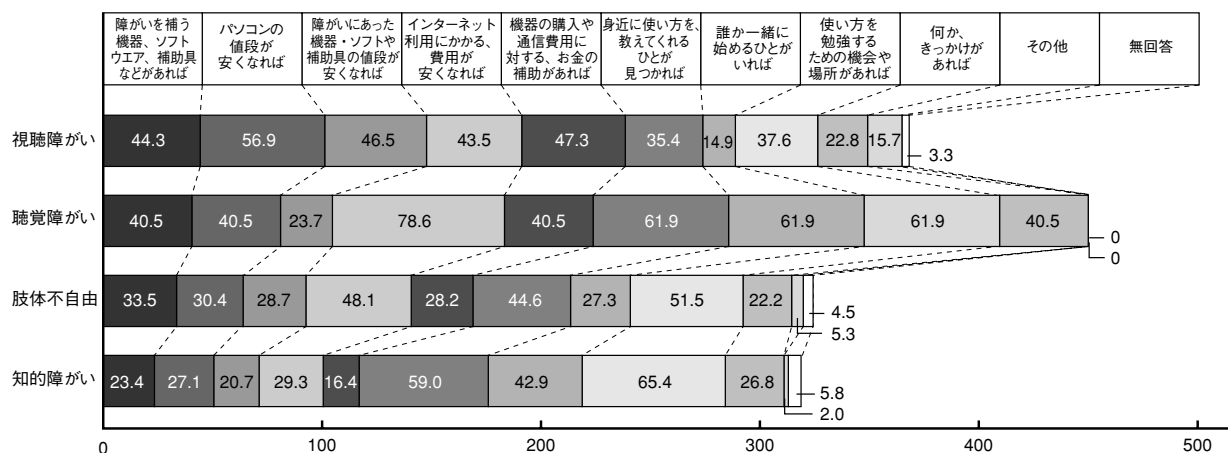
▼全国調査



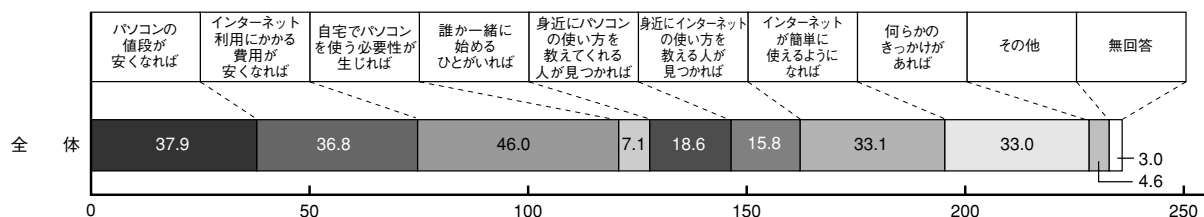
⑥ どのような条件が整えば利用したいか(利用していないひと)(2-16)

主に、視覚障がい者は「費用の低廉化」、その他は「教えてくれるひと」や「勉強の機会」

障がいの種別に関わらず、「インターネット利用にかかる費用が安くなれば」の回答が多い。条件は非常に多岐にわたっているが、視覚障がい者は「パソコン等の値段が安くなれば」(56.9%)等、主に費用面を条件としているのに対し、他の障がい者は「使い方を勉強するための機会や場所があれば」等、主に使い方を覚えるための機会や手助けが条件となっている。



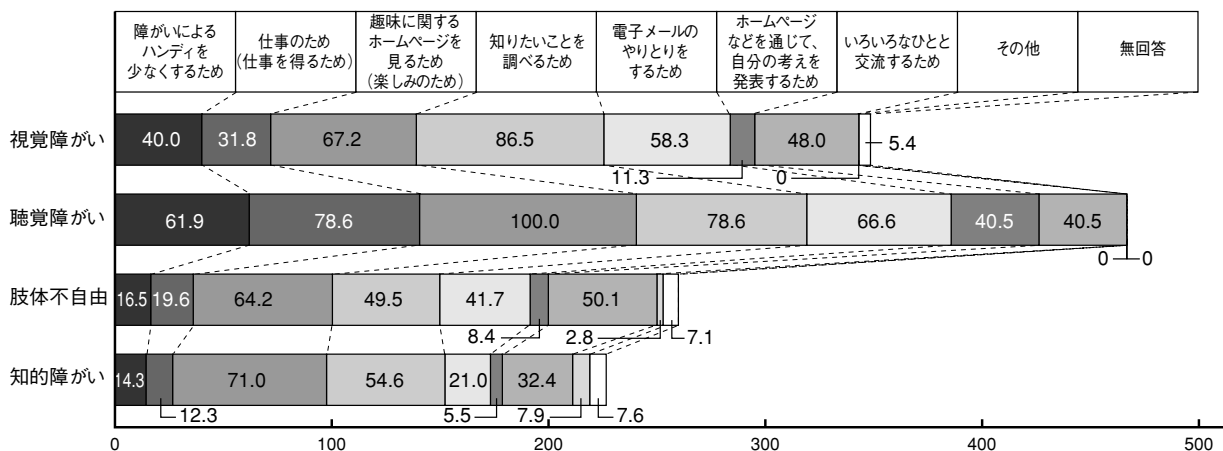
▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用するための条件)



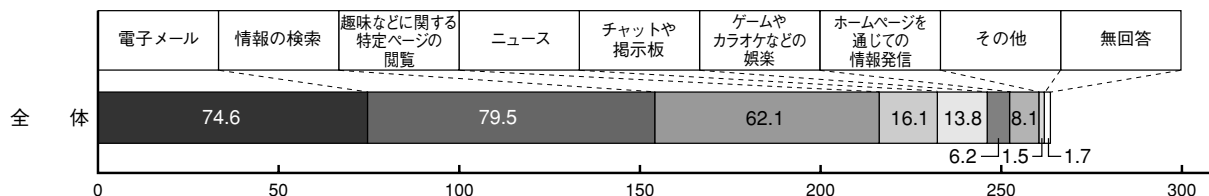
⑦ 利用する際の目的(利用していないひと)(2-17)

「趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)」69.7%、「知りたいことを調べるため」55.3%

障がいの種別に関わらず、「趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)」、「知りたいことを調べるため」、「いろいろなひとと交流するため」、「電子メールのやりとりをするため」の回答が多い。また、聴覚障がい者と視覚障がい者については、他と比べ、「障害によるハンディを少なくするため」と「仕事のため(仕事を得るため)」との回答が多い。



▼全国調査(「自宅」でどのような用途でインターネットを利用しているか)



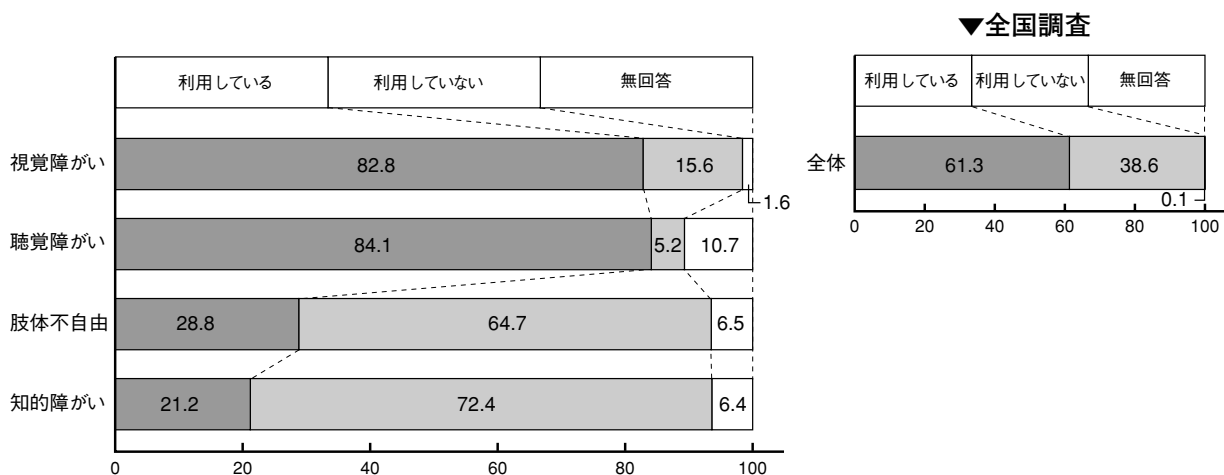
(3) 携帯電話・PHSの利用について

条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合でも、全国調査の結果と比べ、視覚障がい者と聴覚障がい者の利用率は高い。携帯電話・PHSを使用したインターネット接続サービス(電子メールを含む)の利用率も高い。また、肢体不自由者と知的障がい者も、それぞれ30%弱と20%強が携帯電話・PHSを利用している。携帯電話・PHS事業者やメーカーは障がい者という市場に目を向けるべきであり、行政としても、より一層積極的にPRする必要があると考える。

① 利用率(3-1)

視覚障がい者82.8%、聴覚障がい者84.1%

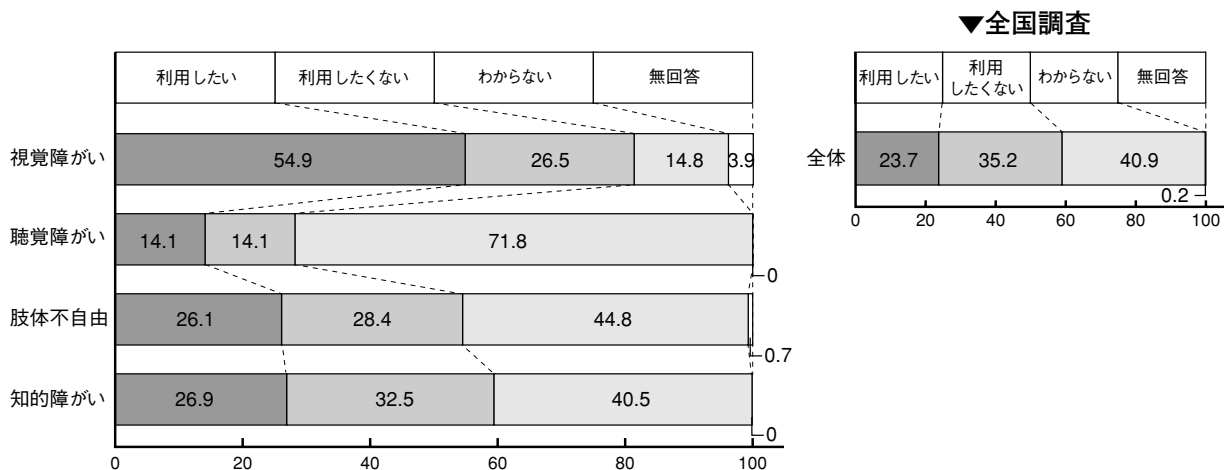
条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合でも、全国調査の結果と比べ、視覚障がい者と聴覚障がい者の利用率は高い。視覚障がい者及び聴覚障がい者と比較した場合、肢体不自由者と知的障がい者の利用率は低いものの、それぞれ28.8%と21.2%が利用しており、多くの利用者がいることがわかる。特に、就学者の利用率は高い。



② 利用意向(利用していないひと)(3-2)

視覚障がい者54.9%

障がい別では、視覚障がい者についてのみ、「利用したい」(54.9%)が「利用したくない」(26.5%)をうわまわる結果となっている。就学者の利用意向、特に在学中の女性の意向(52.6%)は高い。



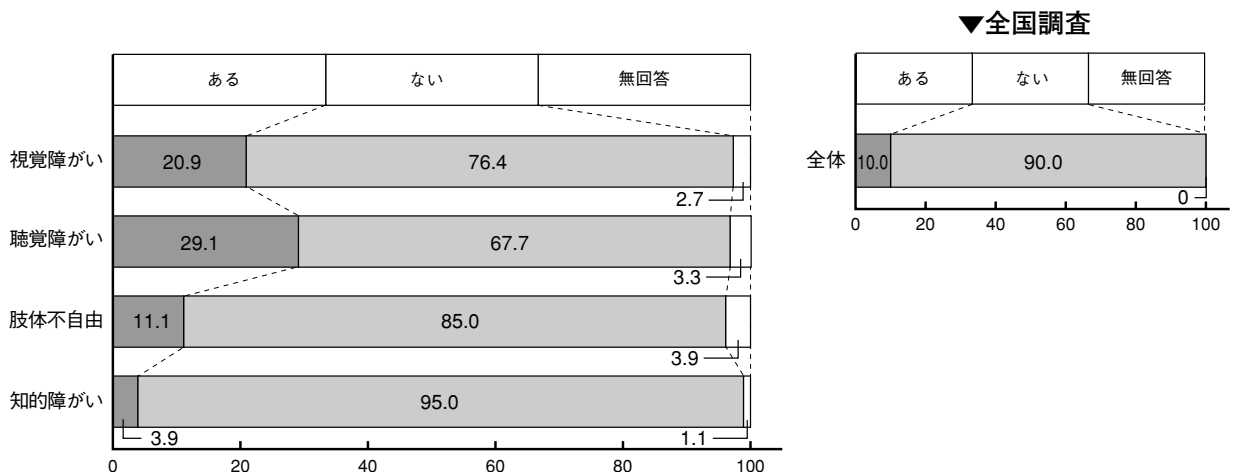
(4) 電子商取引について

障がい者にとって、本来、電子商取引は魅力的なものであるように思える。しかしながら、利用率は必ずしも高くない。しかも、「ぜひ利用したい」と「機会があれば利用したい」の合計が「あまり利用したくない」と「利用したくない」の合計を上回っているのは、視覚障がい者のみである。障がい者のインターネット率も高まってきている。様々な種類の障がいを持つ方々が安心して利用できる様々な仕組みを真剣に検討するべきときである。

① 利用率(4-1)

視覚障がい者20.9%、聴覚障がい者29.1%

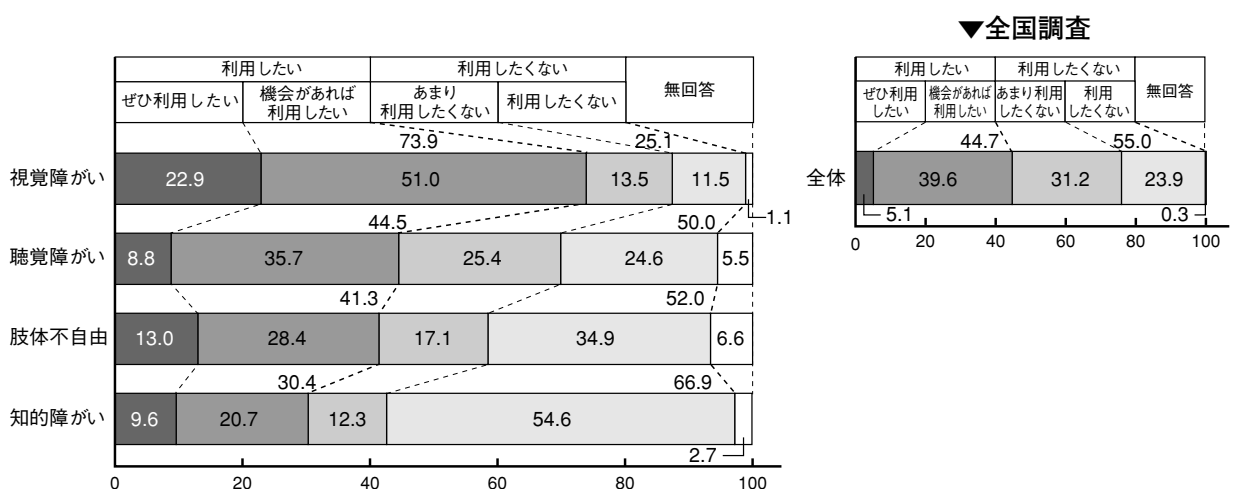
条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合でも、全国調査の結果と比べ、視覚障がい者と聴覚障がい者の利用率は高い。



② 利用意向(4-2)

「利用したい(計)」視覚障がい者73.9%

「ぜひ利用したい」と「機会があれば利用したい」をあわせた「利用したい(計)」では、視覚障がい者のみが「あまり利用したくない」と「利用したくない」の合計を上回っている。「利用したい(計)」が一番少ない知的障がい者においても30.4%もあり、障がい者が安心して利用できる仕組みを作る必要がある。



(5) ITリテラシーについて

条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合、ホームページの作成を除く、各スキルにおいて、「できる」と「だいたいできる」をあわせた「できる(計)」(全体)に20～30%の差が見られる。しかし、障がいの種別によっては「全国調査」の結果を上回るものもある。

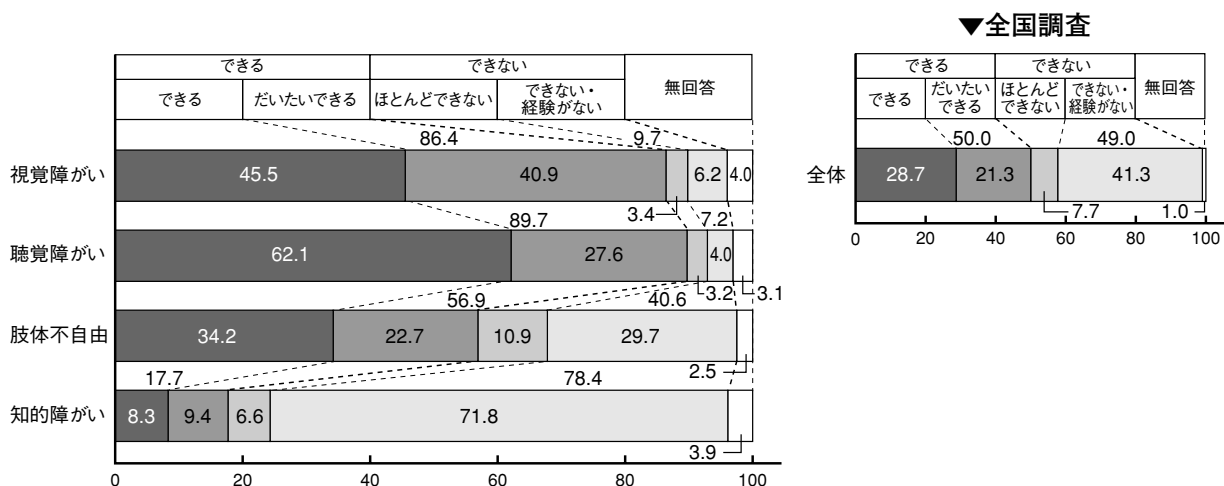
パソコンやインターネットを使う目的に対する回答には、障がいの種別により、違いがある。当然、障がい者ひとり一人の目的も異なる。加えて、障がいの種別や程度により、スキル取得のための指導方法も異なってくる。ひとり一人の目的とニーズを十分に認識した上で、学校や障がい者団体と連携をとりながら、複数のプログラムを提供することが望ましい。

インターネットのホームページ等を活用し、プログラム内容や指導方法の工夫等のノウハウや指導者情報の共有を促進し、支援することも行政の役割のひとつであるように思える。

① 文書作成(5-1)

「できる(計)」視覚障がい者86.4%、聴覚障がい者89.7%、肢体不自由者56.9%、知的障がい者17.7%

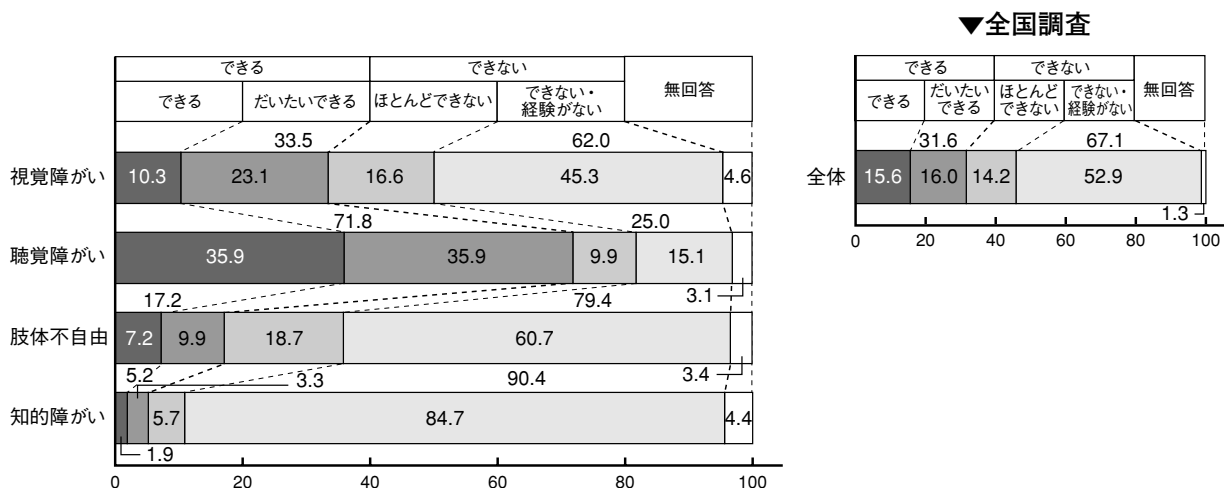
条件の違いを考慮した上で、全国調査と本調査の結果を比較した場合、「できる」と「だいたいできる」をあわせた「できる(計)」は、全体としては30%程度の差が生じていると考えられる。一方、障害別にみた場合、知的障がい者を除き、全国調査の結果と比べ、遜色はなく、視覚障がい者と聴覚障がい者はむしろ全国調査を上回る結果となっている。知的障がい者についても、「愛の手帳」4度の所持者は26.7%が「できる(計)」と答えている。



② 表計算(5-2)

「できる(計)」視覚障がい者33.5%、聴覚障がい者71.8%、肢体不自由者17.2%、知的障がい者5.2%

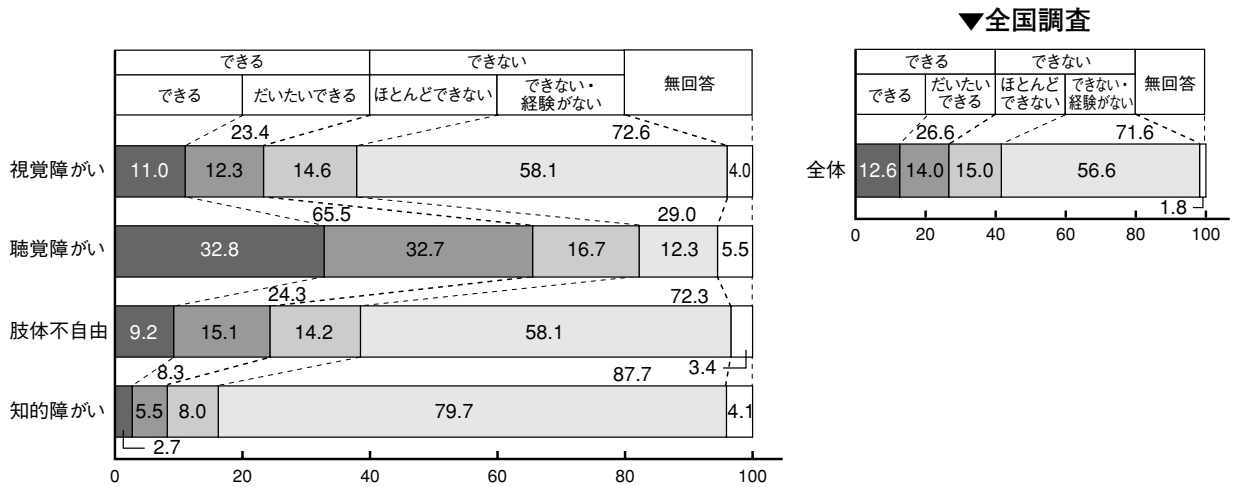
同様に、全国調査と本調査の結果を比較した場合、「できる(計)」は、全体としては30%程度の差が生じていると考えられる。障害別では、聴覚障がい者の「できる(計)」という回答率の高さが本調査では目立っている。



③ 簡単な作図(5-3)

「できる(計)」視覚障がい者23.4%、聴覚障がい者65.5%、肢体不自由者24.3%、知的障がい者8.3%

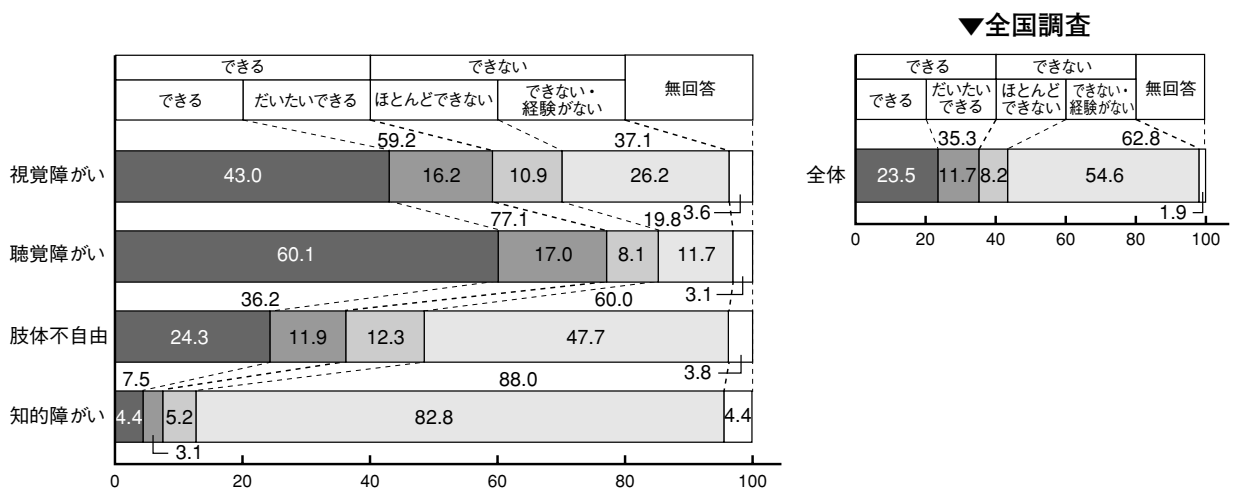
同様に、全国調査と本調査の結果を比較した場合、「できる(計)」は、全体としては20%程度の差が生じていると考えられる。障害別では、聴覚障がい者の「できる(計)」という回答率の高さが本調査では目立っている。



④ 電子メール(5-4)

「できる(計)」視覚障がい者59.2%、聴覚障がい者77.1%、肢体不自由者36.2%、知的障がい者7.5%

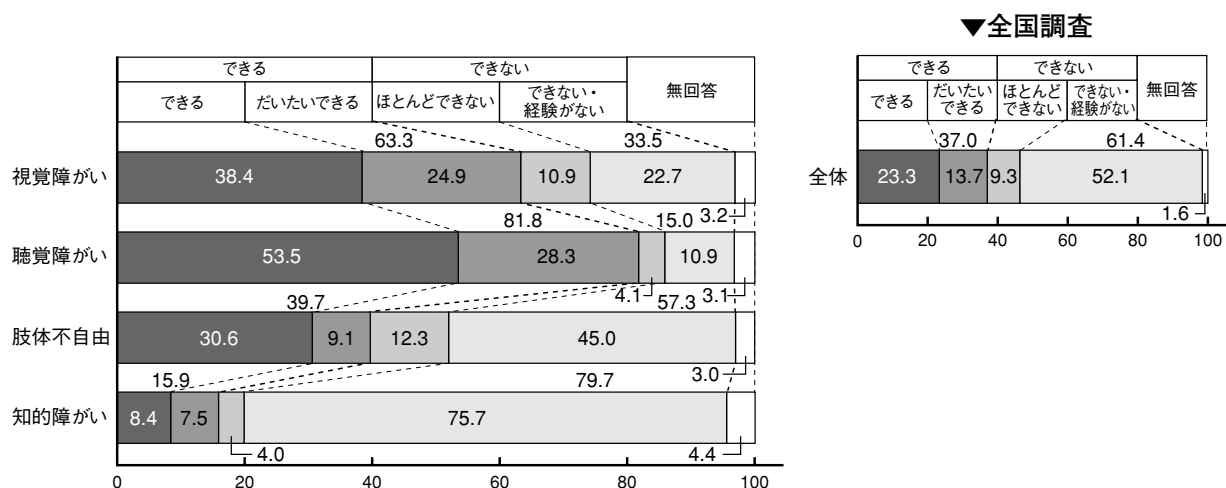
同様に、全国調査と本調査の結果を比較した場合、「できる(計)」は、全体としては30%程度の差が生じていると考えられる。障害別にみた場合、知的障がい者を除き、全国調査の結果と比べ、遜色はなく、視覚障がい者と聴覚障がい者についてはむしろ全国調査を上回る結果となっている。知的障がい者についても、「愛の手帳」4度の所持者は14.4%が「できる(計)」と答えている。



⑤ インターネットを使った情報検索(5-5)

「できる(計)」視覚障がい者63.3%、聴覚障がい者81.8%、肢体不自由者39.7%、知的障がい者15.7%

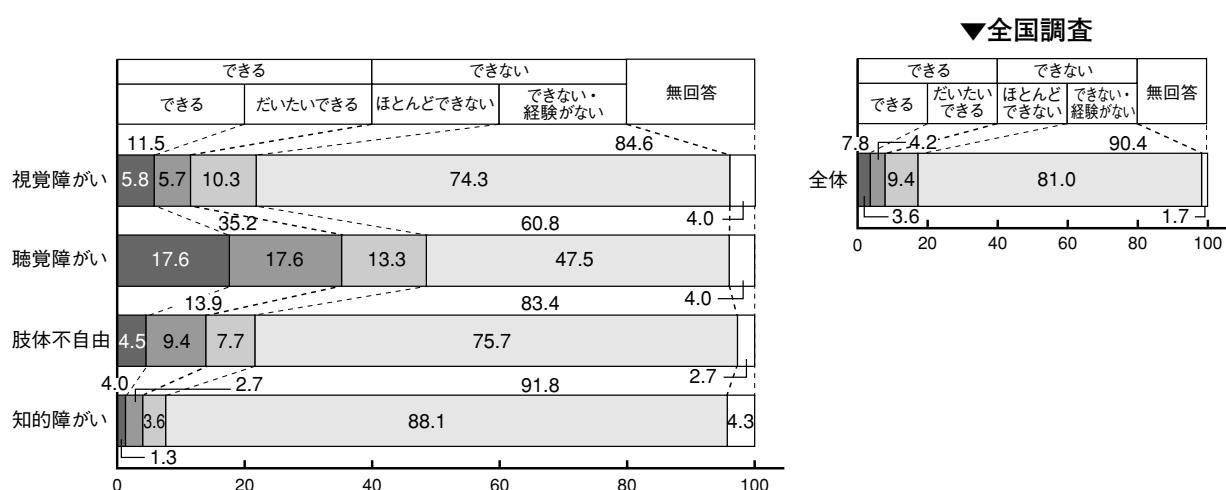
同様に、全国調査と本調査の結果を比較した場合、「できる(計)」は、全体としては20%程度の差が生じていると考えられる。障害別では、視覚障がい者と聴覚障がい者については全国調査を上回る結果となっている。「できる(計)」の回答が一番低い知的障がい者についても、「愛の手帳」4度の所持者は22.4%が「できる(計)」と答えている。



⑥ ホームページの作成(5-6)

「できる(計)」視覚障がい者11.5%、聴覚障がい者35.2%、肢体不自由者13.9%、知的障がい者4.0%

全国調査と本調査の結果とも、「できる(計)」の回答率は低く、全体としても大きく差は生じていない。障害別では、知的障がい者を除き、全国調査を上回る結果となっており、聴覚障がい者の「できる(計)」という回答率の高さが本調査では目立っている。

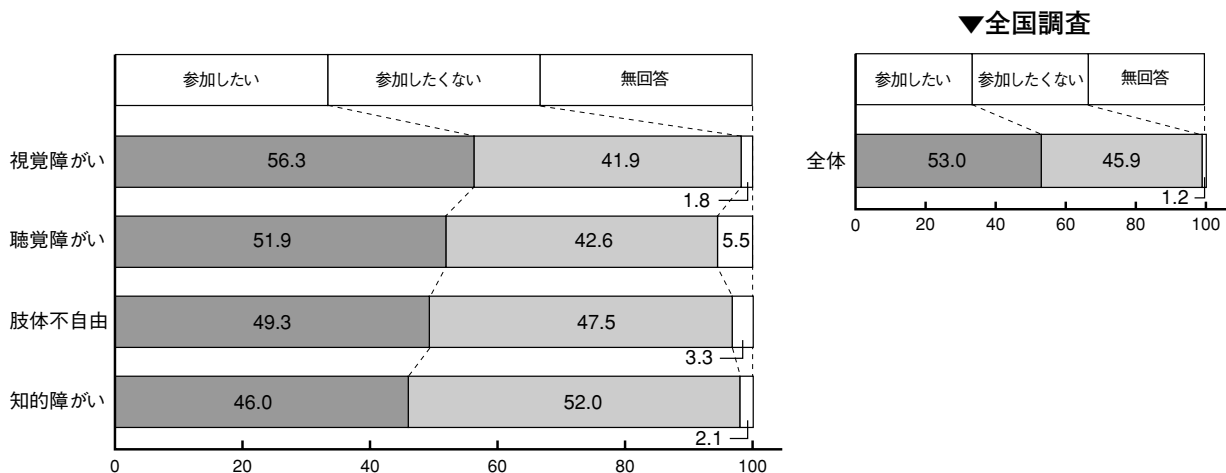


(6) IT講習会への参加希望

知的障がい者を除き、「参加したい」が「参加したくない」を上回る

「参加したい」との回答は、障がいの種別により差はあるが、おおむね50%前後となっており、知的障がい者を除き、「参加したい」が「参加したくない」を上回っている。

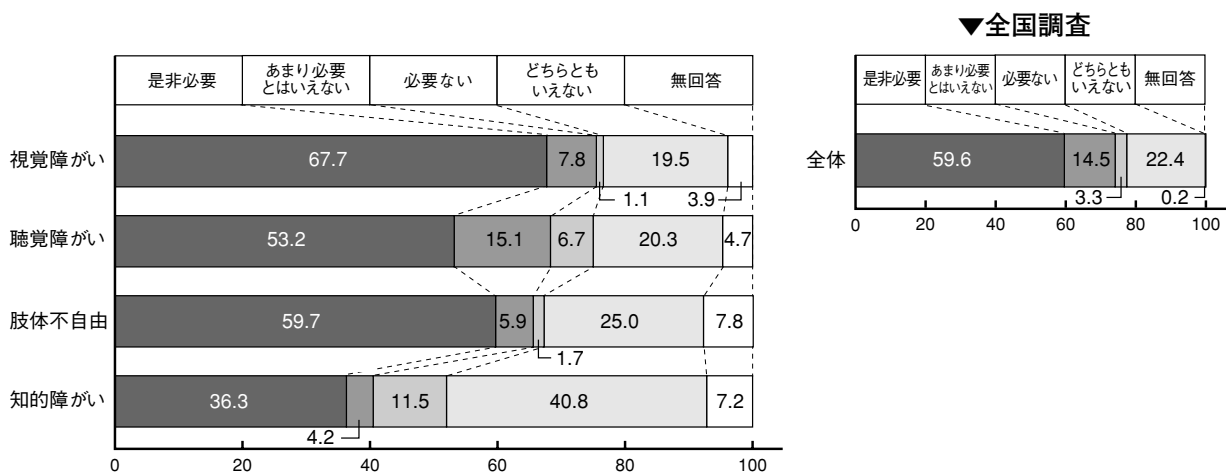
なお、視覚障がい者56.3%、聴覚障がい者51.9%、肢体不自由者49.3%、知的障がい者46%となっている。



(7) 情報教育の必要性

「是非必要」視覚障がい者67.7%、聴覚障がい者53.2%、肢体不自由者59.7%、知的障がい者36.3%

本調査において、「どちらともいえない」(36%)との回答が多いが、「是非必要」(42.7%)が「あまり必要といえない」(5.2%)、「必要ない」(9.0%)を大きく上回っている。知的障がい者の「是非必要」との回答が相対的に低い理由は、「身辺自立」等の「より基本的な生活能力」を身につけることの重要性をより優先しているためと考えられる。また、「どちらともいえない」との回答を除いた場合、本調査と全国調査では、「是非必要」との回答率は同程度となる。



3. まとめ

「障がい者」は様々な障がいを持つ個人の集まりである。当然、ITを利用する目的が異なる上に、スキル取得に対する困難さも、ひとり一人異なる。「デジタル・ディバイド」を解消するためには、まず、学校、障がい者団体や障がい者本人の声を聞き、現状を見ることから始める必要がある。机に座っていても本当の状況はわからない。その上で、学校、障がい者団体や障がい者本人と相談しながら、きめ細やかな施策を検討し、実施することが、結局は、効果的かつ効率的である。言うまでもないことであるが、「施策を実施すること」自体が目的ではなく、「成果をあげること」が目的である。方向を間違えなければ、苦労が多ければ多いほど、成果もより大きくなるのではないだろうか。急がば廻るしかないように思える。

従来型のハードに偏重した「箱型行政的な施策」や「画一的な施策」は、個々の障がい者のニーズに合致しにくい。したがって、「デジタル・ディバイド」を解消し、心豊かな生活への後押しにはつながりにくい。費用対効果の点からも問題があるように思われる。

「デジタル・ディバイド」解消を目的とし、利用環境整備を行うに際しては、行政が、「どこまで関与すべきか」と「どのように関与すべきか」を常に意識しながら、学校、障がい者団体や障がい者本人の声を大切にした、よりきめ細やかな施策を実施し、より具体的な成果があげられることを期待したい。

標本数及び補正方法

①回収数

		視覚障がい	聴覚障がい	肢体不自由	知的障がい	合 計
10 代	男 性	25	19	32	92	168
	女 性	18	12	13	51	94
20 代	男 性	22	9	25	36	92
	女 性	10	14	12	37	73
30 代	男 性	33	16	25	51	125
	女 性	13	9	16	38	76
40 代	男 性	28	16	23	27	94
	女 性	11	10	10	36	67
合 計		160	105	156	368	789

②回収率

視覚障がい

	依頼数	回収	回収率
学校(3校)	235	119	50.6%
東京都盲人福祉協会	128	41	32.0%
合 計	363	160	44.1%

聴覚障がい

	依頼数	回収	回収率
学校(4校)	34	32	94.1%
都立ろう学校PTA連合会	34	21	61.8%
東京都聴覚障害者連盟	200	52	26.0%
合 計	268	105	39.2%

肢体不自由

	依頼数	回収	回収率
学校(15校)	48	40	83.3%
肢体不自由児者父母の会連合会	144	116	80.6%
合 計	192	156	81.3%

知的障がい

	依頼数	回収	回収率
学校(26校)	170	137	80.6%
東京都知的障害者育成会	255	231	90.6%
合 計	425	368	86.6%

	依頼数	回収	回収率
視覚障がい	363	160	44.1%
聴覚障がい	268	105	39.2%
肢体不自由	192	156	81.3%
知的障がい	425	368	86.6%
全 体	1,248	789	63.2%

注1) 調査には、東京都内のすべての特殊学校高等部及び、東京都盲人福祉協会、東京都聴覚障害者連盟、肢体不自由児者父母の会連合会、東京都知的障害者育成会にご協力をいただいた。

注2) 回収率に差がある理由は、①調査依頼時期の問題、②障がいごとの特性、③実施方法の違い(作業所等での実施か、個別郵送による実施か)等によるものであり、多くの方々の積極的な協力なしには調査実施は不可能であった。

標本数及び補正方法

③補正方法

- 1) 全体に占める各障がいの割合は、都内特殊学校高等部の生徒数の割合と一致するように補正した。
- 2) 各障がいにおける男女の割合は、都内特殊学校(幼稚園から高等部)の男女の割合と一致するように補正した。
- 3) 年代別の障がい者数についてのデータが見付けられなかったため、各年代とも同数となるように補正した。

(補正結果)

		視覚障がい			聴覚障がい			肢体不自由			知的障がい			合 計	
		回収数	ウエート	規正数	回収数	ウエート	規正数	回収数	ウエート	規正数	回収数	ウエート	規正数	回収数	規正数
10代	男性	25	1.02	26	19	1.63	31	32	3.56	114	92	5.80	534	168	704
	女性	18	0.94	17	12	2.06	25	13	6.74	88	51	5.00	255	94	384
20代	男性	22	1.16	26	9	3.43	31	25	4.55	114	36	14.83	534	92	704
	女性	10	1.70	17	14	1.76	25	12	7.30	88	37	6.89	255	73	384
30代	男性	33	0.77	26	16	1.93	31	25	4.55	114	51	10.47	534	125	704
	女性	13	1.31	17	9	2.74	25	16	5.48	88	38	6.71	255	76	384
40代	男性	28	0.91	26	16	1.93	31	23	4.95	114	27	19.78	534	94	704
	女性	11	1.55	17	10	2.47	25	10	8.76	88	36	7.08	255	67	384
合計		160		170	105		222	156		806	368		3,156	789	4,354
				3.9%			5.1%			18.5%			72.5%		

(参考1) 東京都内の特殊学校数(高等部)

			学校数	学校数 (割合)	生徒数	生徒数 (割合)
全体	盲学校	合計	3	6.3%	127	3.9%
		都立	2	4.2%	75	2.3%
		国立	1	2.1%	52	1.6%
	聾学校	都立	4	8.3%	164	5.1%
	養護学校	合計	41	85.4%	2,926	91.0%
		都立	37	77.1%	2,797	86.9%
		国立	3	6.3%	100	3.1%
		私立	1	2.1%	29	0.9%
	肢体不自由		15	31.3%	596	18.5%
		都立	14	29.2%	551	17.1%
		国立	1	2.1%	45	1.4%
	知的障がい		26	54.2%	2,926	72.4%
		都立	23	47.9%	2,246	69.8%
		国立	2	4.2%	55	1.7%
		私立	1	2.1%	29	0.9%
	総合計		48	100%	3,217	100%

注1) 出典)「平成13年度学校基本調査」(東京都教育庁)

注2) 上記に専攻科で学ぶ学生を含めていない。

専攻科は高等部と位置付けられているが、高校の教育課程終了後、針灸など、特定の技能を修得するためのコースであり、在籍者の年齢は様々であるため。

注3) 町田養護学校とあきる野養護学校は、肢体不自由と知的障がいを併置しているため、それぞれの学校数に計上している。

(参考2) 各障がいにおける男女の割合

	男性	女性
視覚障がい	60.0%	40.0%
聴覚障がい	55.6%	44.4%
肢体不自由	56.5%	43.5%
知的障がい	67.7%	32.3%
全体	64.7%	35.3%

注1) 東京都教育庁への聞き取り調査

注2) 平成10～13年の平均

(参考3) 全体に対する割合(%)

		視覚障がい	聴覚障がい	肢体不自由	知的障がい	全体
10代	男性	0.59	0.71	2.61	12.25	25.0
	女性	0.39	0.57	2.01	5.85	
20代	男性	0.59	0.71	2.61	12.25	25.0
	女性	0.39	0.57	2.01	5.85	
30代	男性	0.59	0.71	2.61	12.25	25.0
	女性	0.39	0.57	2.01	5.85	
40代	男性	0.59	0.71	2.61	12.25	25.0
	女性	0.39	0.57	2.01	5.85	
合計		3.9%	5.1%	18.5%	72.4%	100%

補正後の回答者プロフィール

【障害(所属学校・団体)別】

全体	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	知的障害
100%	3.9%	5.1%	18.5%	72.5%

【性別】

全体	男性	女性
100%	64.7%	35.3%

(視覚障害)

全体	男性	女性
100%	60.0%	40.0%

(聴覚障害)

全体	男性	女性
100%	55.6%	44.4%

(肢体不自由)

全体	男性	女性
100%	56.5%	43.5%

(知的障害)

全体	男性	女性
100%	67.7%	32.3%

【年齢】

	全体	10代	20代	30代	40代
(%)	100%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%

(性・年齢)

(男性)

	総数	10代	20代	30代	40代
(%)	100%	16.2%	16.2%	16.2%	16.2%

(女性)

	総数	10代	20代	30代	40代
(%)	100%	8.8%	8.8%	8.8%	8.8%

【就業の有無】

	全体	あり	なし	無回答
(%)	100%	48.3%	49.5%	2.1%

【就学の有無】

	全体	在学中	卒業	無回答
(%)	100%	26.5%	67.5%	6.0%

【最終学歴】

	全体	中学校	高等学校	短大・高専、専門	大学(文系)	大学(理系)	大学院(文系)	大学院(理系)	無回答
(%)	100%	15.9%	73.7%	3.3%	1.7%	0.5%	0.1%	0.1%	4.8%

【所持している手帳の種類等】

	全体	身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉手帳	どれも持って いない	無回答
(%)	100%	37.7%	74.7%	0.5%	0.9%	1.1%

【記入者】

	全体	自分で書いた	自分で書いて いない	無回答
(%)	100%	45.7%	53.5%	0.8%

【代筆者】

	全体	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
(%)	100%	15.1%	52.8%	0.1%	0.1%	31.6%	0.3%

【回答への意見の反映】

	全体	ご本人の意見 を確認しながら 書いた	ご本人の意見 を推察しながら 書いた	無回答
(%)	100%	48.4%	51.2%	0.4%

1 パソコンについて (全員に対して)

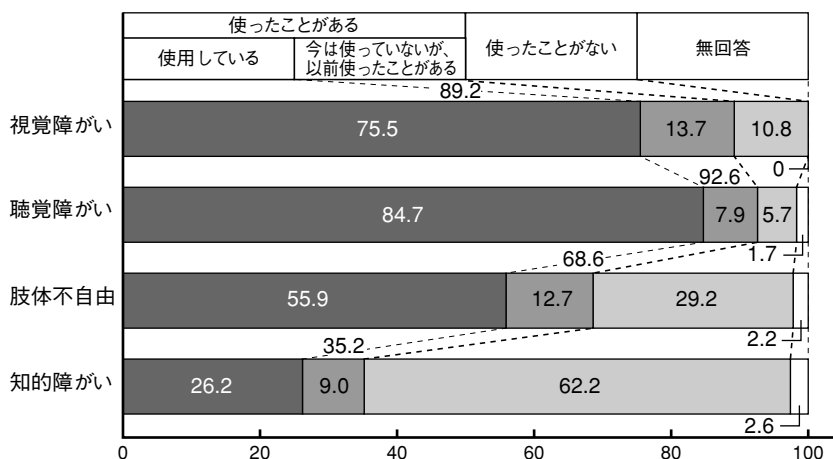
1-1 パソコン利用率(%)

あなたはパソコンを使用していますか？

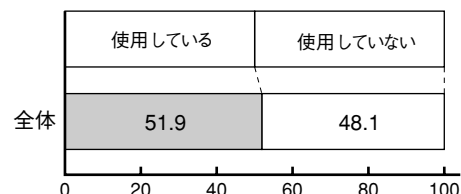
「使用している」は36.6%だが、障がい別の格差が大きい

- ・本調査の1年前に実施した全国調査では「使用している」が51.9%。しかし、本調査の対象者が50歳未満であるのに対し、全国調査の対象者は70歳未満の方であることや一年間の時間差を考慮した場合、30%程度の差が生じていると考えられる。
- ・障がい別の利用格差も大きい。視覚障がい者は75.5%、聴覚障がい者は84.7%、肢体不自由児者は55.9%が使用している。知的障がい者全体の使用は26.2%に止まっているが、「愛の手帳」3～4度所持者の30%弱は使用しており、格差はあるものの、障がい者全般に利用が広がっている。

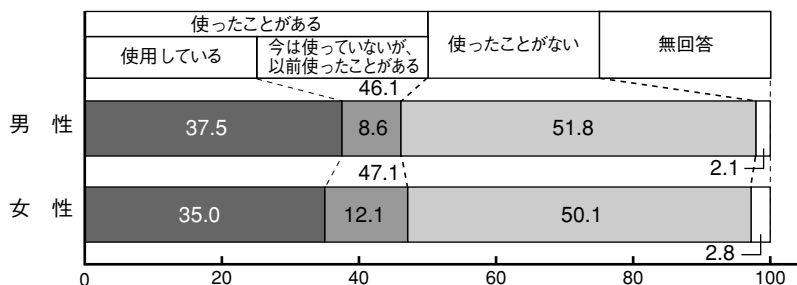
■図表1 障がい(学校・団体)別



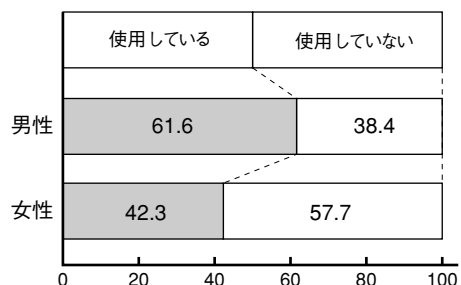
▼全国調査



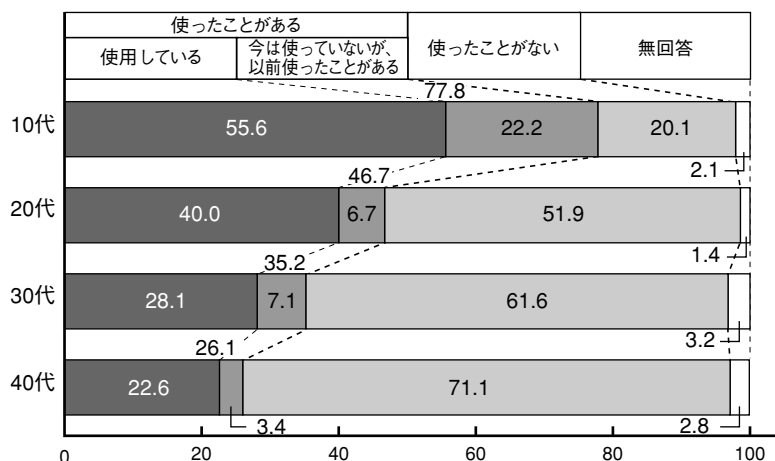
■図表2 性別



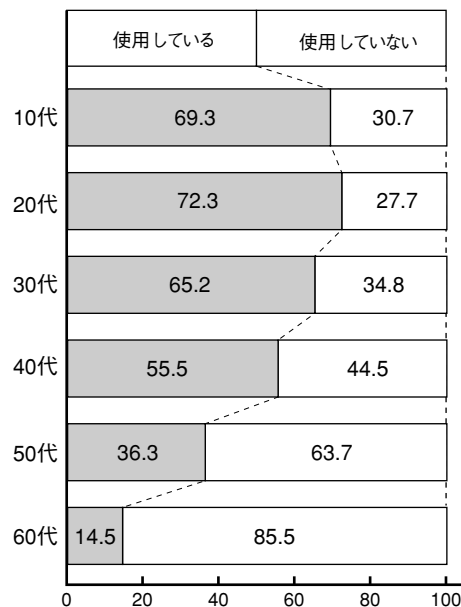
▼全国調査

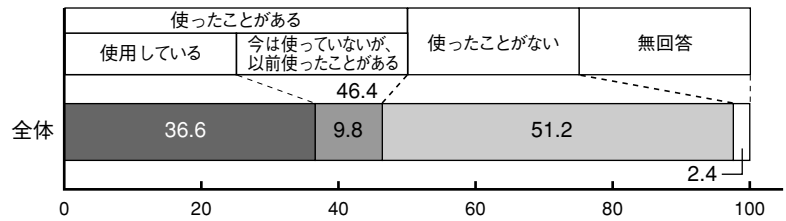


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	使用している	今は使っていないが、以前使ったことがある	使ったことがない	無回答	使ったことがある(計)
男性	37.5	8.6	51.8	2.1	46.1
している	37.8	5.0	55.8	1.4	42.8
していない	37.8	12.2	47.0	3.0	50.0
無回答	23.3	7.5	69.3	0.0	30.7
女性	35.0	12.1	50.1	2.8	47.1
している	28.1	9.3	61.7	0.9	37.4
していない	40.9	15.3	39.0	4.8	56.2
無回答	65.7	0.0	34.3	0.0	65.7

▼全国調査

	使用している	使用していない
男性	61.6	38.4
している	64.2	35.8
していない	49.6	50.4
女性	42.3	57.7
している	50.4	49.6
していない	31.2	68.8

■図表5 性別・就学の有無別

	使用している	今は使っていないが、以前使ったことがある	使ったことがない	無回答	使ったことがある(計)
男性	37.5	8.6	51.8	2.1	46.1
在学中	57.9	19.6	20.9	1.6	77.5
卒業	30.7	4.8	61.9	2.6	35.5
無回答	23.1	2.9	74.0	0.0	26.0
女性	35.0	12.1	50.1	2.8	47.1
在学中	58.9	23.8	16.0	1.2	82.8
卒業	26.9	7.3	62.1	3.7	34.2
無回答	19.9	13.5	66.6	0.0	33.4

▼全国調査

	使用している	使用していない
男性	61.6	38.4
在学中	80.4	19.6
卒業	59.4	40.6
無回答	38.2	61.8
女性	42.3	57.7
在学中	80.1	19.9
卒業	38.3	61.7
無回答	37.4	62.6

■図表6 手帳の種別・等級別

	使用している	今は使っていないが、以前使ったことがある	使ったことがない	無回答	使ったことがある(計)
身体障害者手帳	52.3	9.7	33.9	4.0	62.1
1級	52.1	9.9	31.5	6.5	62.0
2級	64.2	9.1	24.5	2.3	73.2
3～6級	35.9	10.6	53.5	0.0	46.5
無回答	0.0	0.0	100	0.0	0.0
愛の手帳	24.8	9.4	63.2	2.7	34.1
1～2度	11.1	8.3	76.2	4.4	19.4
3度	29.7	9.7	58.5	2.1	39.4
4度	29.5	10.1	58.3	2.1	39.6
無回答	34.8	0.0	65.2	0.0	34.8
どれも持っていない	79.9	17.7	2.4	0.0	97.6
無回答	40.2	10.0	49.8	0.0	50.2

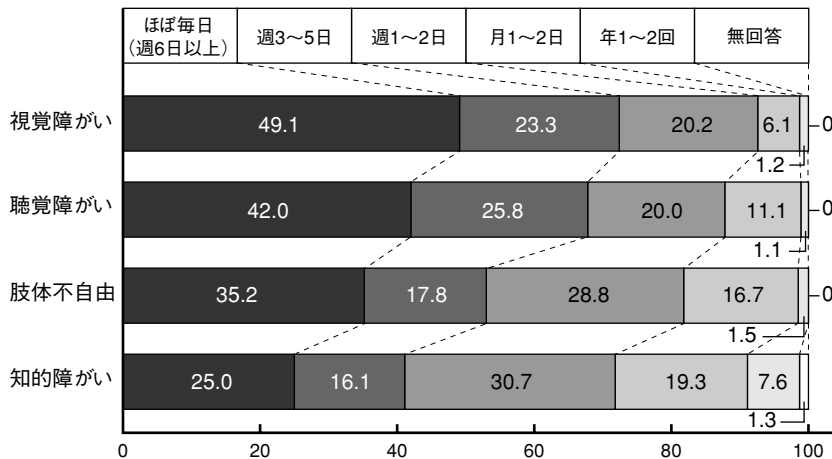
1-2 パソコン利用者の利用頻度(%)

あなたはパソコンをどのくらい利用していますか？

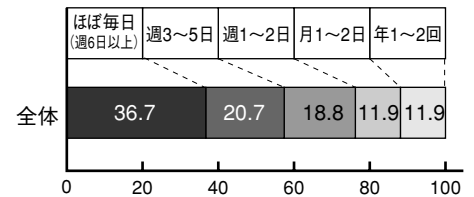
「ほぼ毎日使っている」が31.8%、「週3回以上の使用(計)」が50%以上

- ・全国調査では、「ほぼ毎日使っている」が36.7%であり、利用日数が減るに従って該当者も減少しているが、本調査では、「週1～2日」(28.1%)が「ほぼ毎日使っている」(31.8%)に次いでいる。
- ・障がい別にみた場合、視覚障がい者、聴覚障がい者、肢体不自由者の50%以上が「週3回以上」の使用をしており、知的障がい者も40%以上となっている。

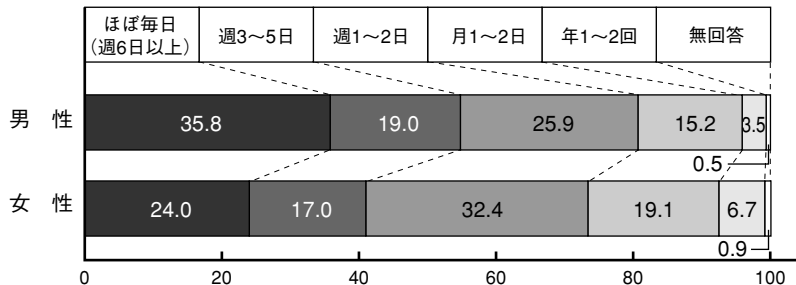
■図表1 障がい別



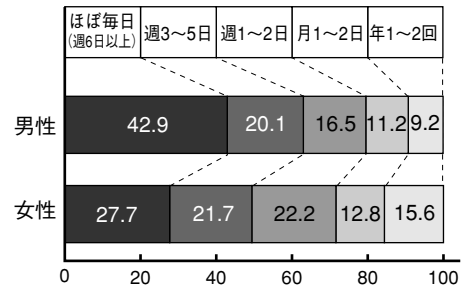
▼全国調査



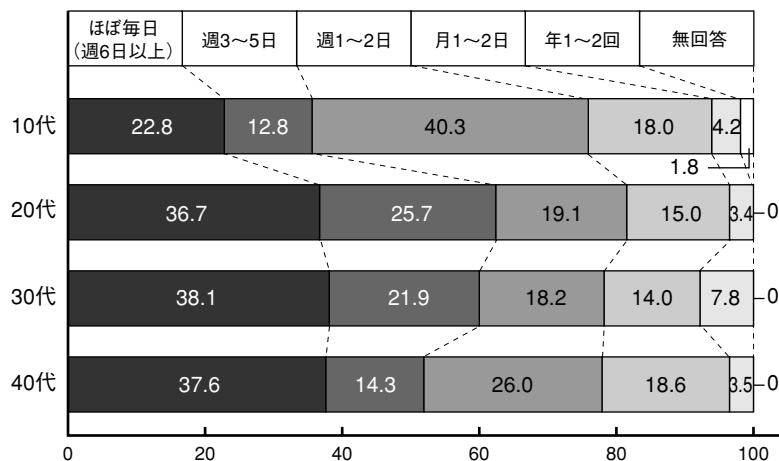
■図表2 性別



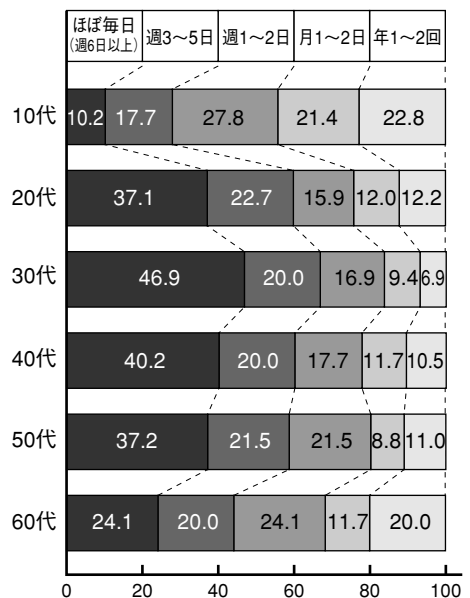
▼全国調査

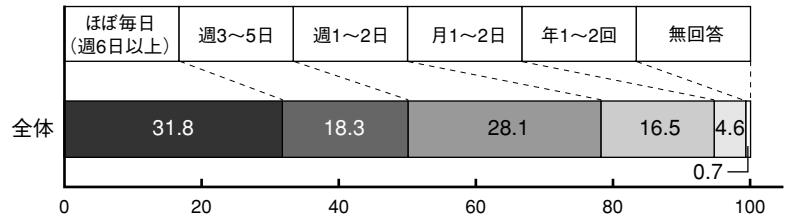


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	ほぼ毎日 (週6日以上)	週 3～5日	週 1～2日	月 1～2日	年 1～2回	無回答
男性	35.8	19.0	25.9	15.2	3.5	0.5
している	34.9	23.6	20.1	15.3	6.1	0.0
していない	36.8	14.4	31.5	15.1	1.1	1.1
無回答	15.0	32.1	23.8	23.1	21.1	0.0
女性	24.0	17.0	32.4	19.1	6.7	0.9
している	36.2	18.8	20.4	14.3	10.4	0.0
していない	16.9	16.6	37.0	23.4	4.5	1.6
無回答	17.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0

▼全国調査

	ほぼ毎日 (週6日以上)	週 3～5日	週 1～2日	月 1～2日	年 1～2回	無回答
している	41.7	21.2	16.6	10.1	10.3	0.0
していない	17.7	18.8	26.7	18.8	17.7	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	ほぼ毎日 (週6日以上)	週 3～5日	週 1～2日	月 1～2日	年 1～2回	無回答
男性	35.8	19.0	25.9	15.2	3.5	0.5
在学中	34.3	12.8	36.2	14.0	1.3	1.3
卒業	36.7	24.2	16.6	17.2	5.3	0.0
無回答	39.9	10.1	50.1	0.0	0.0	0.0
女性	24.0	17.0	32.4	19.1	6.7	0.9
在学中	15.2	14.6	37.2	25.2	5.7	2.1
卒業	30.7	20.1	28.8	12.4	7.9	0.0
無回答	39.2	0.0	21.6	39.2	0.0	0.0

▼全国調査

	ほぼ毎日 (週6日以上)	週 3～5日	週 1～2日	月 1～2日	年 1～2回	無回答
在学中	16.0	16.3	21.5	15.6	10.8	0.0
卒業	19.6	10.1	8.4	5.2	5.6	0.0
無回答	10.1	11.5	10.9	0.0	5.3	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	ほぼ毎日 (週6日以上)	週 3～5日	週 1～2日	月 1～2日	年 1～2回	無回答
身体障害者手帳	38.6	19.1	25.3	15.2	1.2	0.6
1級	38.8	18.1	26.0	16.8	0.4	0.0
2級	34.0	20.0	26.9	14.7	2.8	1.6
3～6級	50.6	20.6	18.1	10.7	0.0	0.0
愛の手帳	23.1	16.7	30.4	22.0	7.1	0.7
1～2度	39.2	1.7	24.4	27.6	7.1	0.0
3度	11.8	18.0	23.6	29.8	14.9	1.9
4度	28.7	20.0	38.0	11.7	1.5	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0
どれも持っていない	26.5	3.4	36.4	16.8	16.8	0.0
無回答	14.8	0.0	85.2	0.0	0.0	0.0

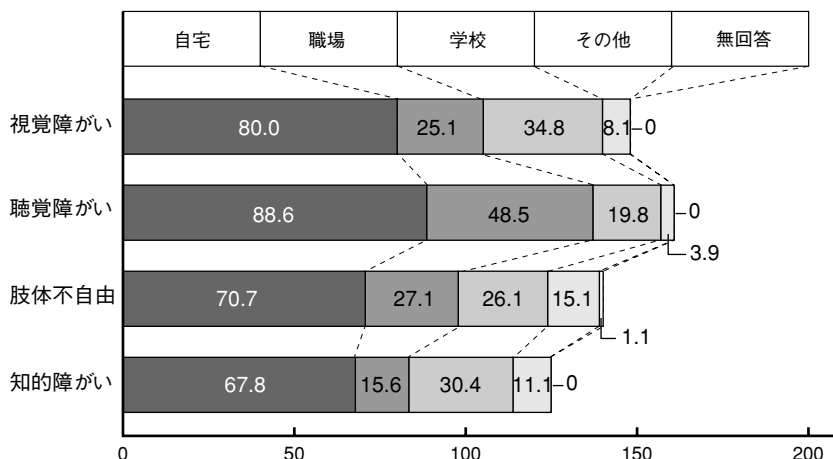
1-3 パソコン利用場所(%)

あなたはどこでパソコンを利用していますか？(○はいくつでも)

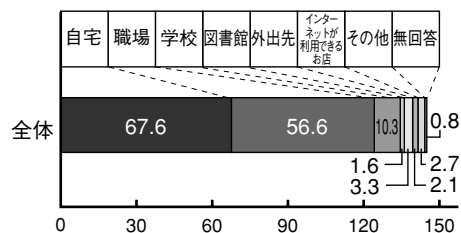
「自宅」(72%)が圧倒的多数

- ・「自宅」(72%)、「学校」(28.3%)、「職場」(23.5%)の順となっている。全国調査とは「職場」での利用率が大きく異なるが、本調査においても、就業している障がい者については「職場」での利用率(男性45.9%、女性55.9%)は高い。

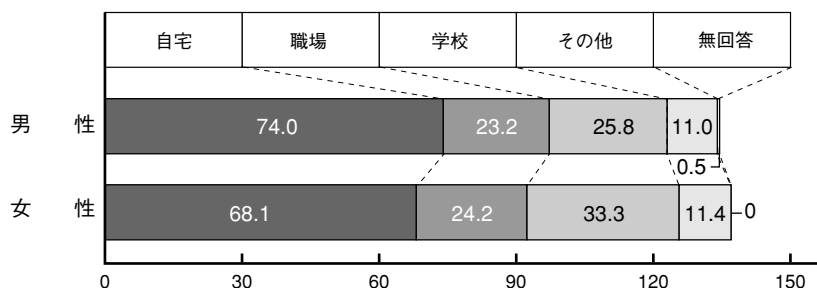
■図表1 障がい別



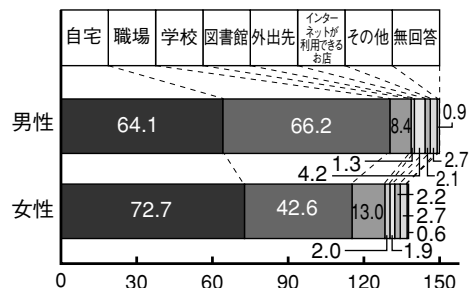
▼全国調査



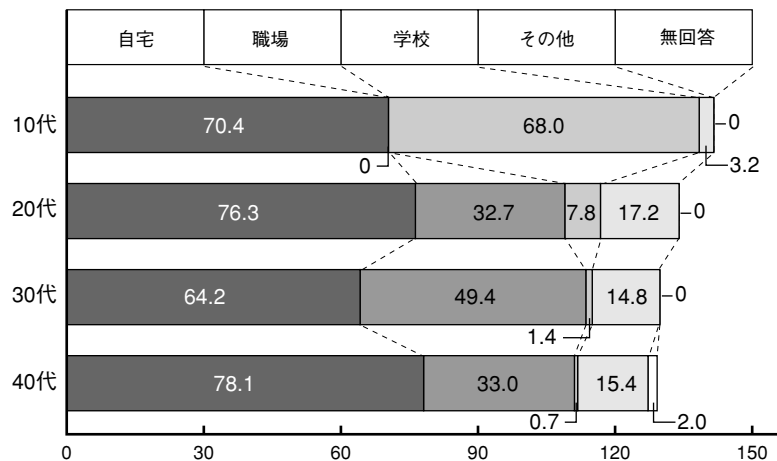
■図表2 性別



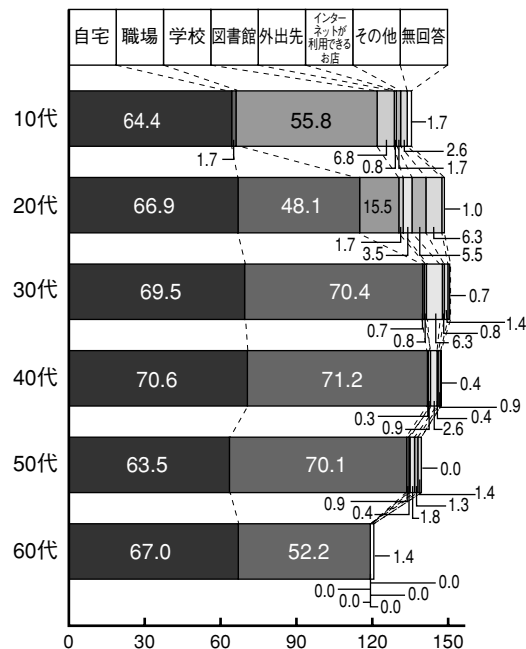
▼全国調査

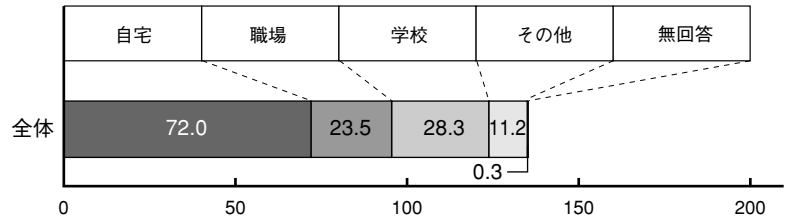


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	自 宅	職 場	学 校	その他	無回答
男性	74.0	23.2	25.8	11.0	0.5
している	73.5	45.9	5.0	10.3	0.0
していない	75.4	2.1	44.7	12.0	0.0
無回答	44.9	0.0	61.3	0.0	32.1
女性	68.1	24.2	33.3	11.4	0.0
している	73.7	55.9	0.6	4.8	0.0
していない	66.1	3.6	54.0	16.6	0.0
無回答	33.2	0.0	66.8	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	自 宅	職 場	学 校	その他	無回答
男性	74.0	23.2	25.8	11.0	0.5
在学中	74.4	4.2	61.8	3.8	0.0
卒業	75.4	36.3	0.6	16.3	0.8
無回答	49.9	37.6	2.6	12.5	0.0
女性	68.1	24.2	33.3	11.4	0.0
在学中	68.5	0.7	73.2	3.0	0.0
卒業	66.6	46.1	0.0	19.5	0.0
無回答	87.2	0.0	12.8	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	自 宅	職 場	学 校	その他	無回答
身体障害者手帳	76.7	31.3	27.1	10.0	0.6
1級	73.2	25.5	19.1	16.2	1.1
2級	76.2	41.8	30.1	4.4	0.0
3～6級	92.0	24.5	50.0	0.9	0.0
愛の手帳	68.4	14.8	24.5	13.6	0.0
1～2度	81.9	11.0	23.6	22.7	0.0
3度	61.5	17.5	26.1	13.4	0.0
4度	73.1	10.4	24.5	12.1	0.0
無回答	0.0	100	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	66.3	0.0	54.0	16.8	0.0
無回答	14.8	9.7	90.3	0.0	0.0

1 パソコンについて (パソコンを利用しているひとに対して)

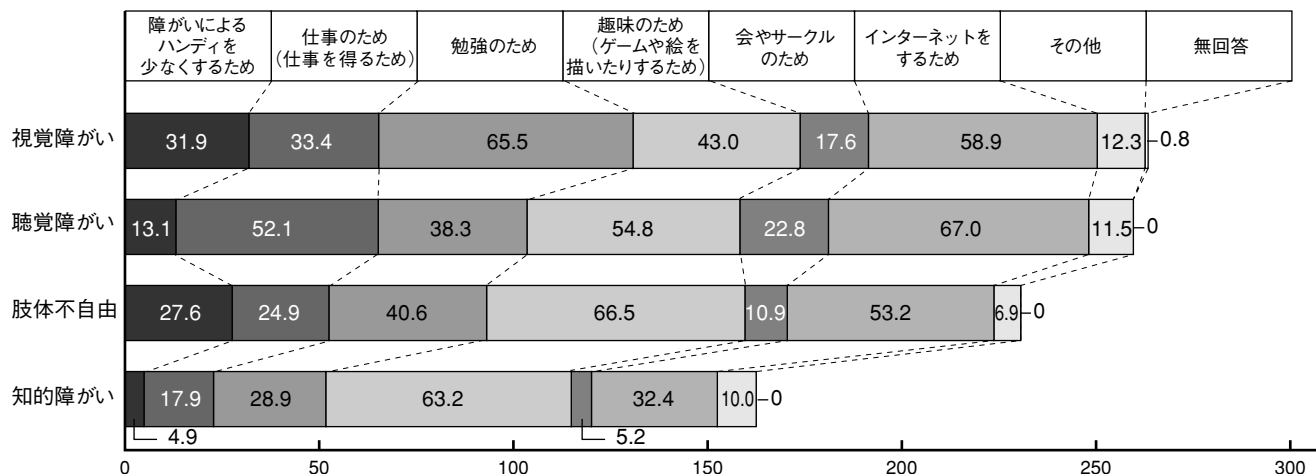
1-4 パソコンの利用目的(%)

パソコンを使っているのは何のためですか？(○はいくつでも)

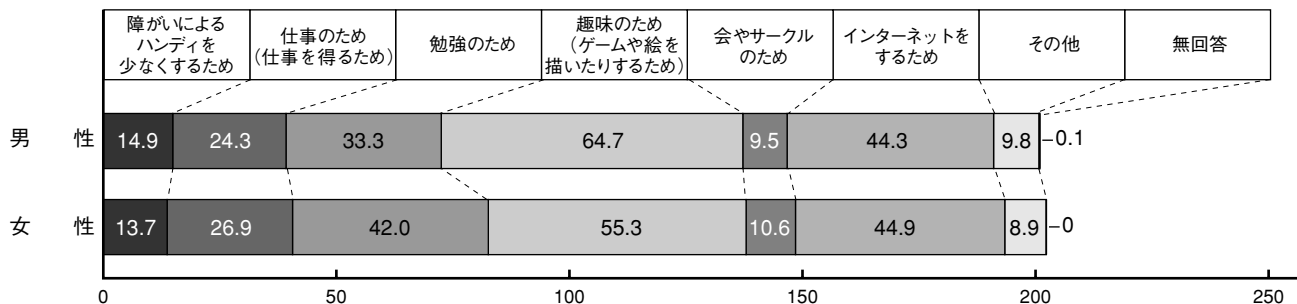
「趣味のため」が61.5%、「障害によるハンディキャップを少なくするため」は14.5%

- ・「趣味のため」が61.5%、「インターネットをするため」が44.5%で続いている。「障害によるハンディキャップを少なくするため」が14.5%であることを考えると、全般的には、余暇の充実のための利用が多いことがわかる。
- ・障がい別では、聴覚障がい者では「仕事のため」が50%以上、視覚障がい者と肢体不自由者では「障害によるハンディキャップを少なくするため」が30%前後と相対的に高く、障がいごとに利用目的が異なっていることがわかる。

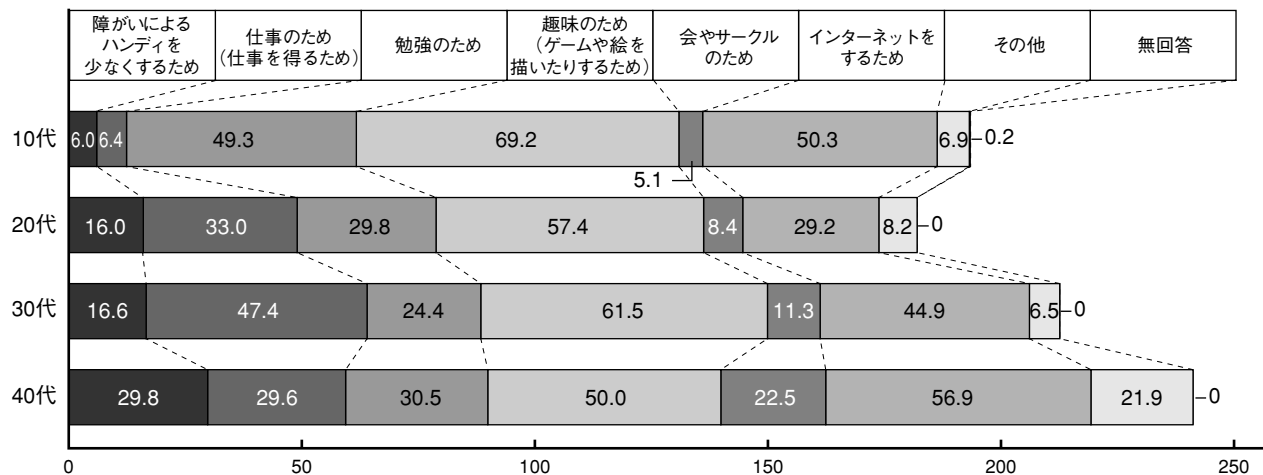
■図表1 障がい別

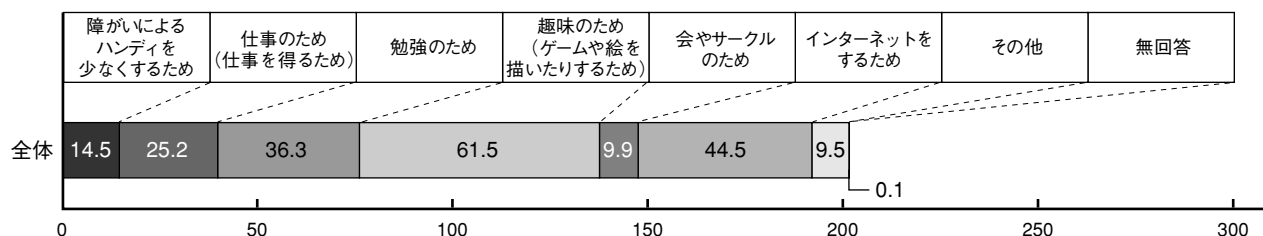


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
男性	14.9	24.3	33.3	64.7	9.5	44.3	9.8	0.1
している	15.3	43.5	22.6	63.5	10.4	35.0	10.0	0.0
していない	14.8	5.3	44.2	66.9	8.8	52.9	9.3	0.2
無回答	0.0	42.6	17.2	27.7	6.6	57.4	17.2	0.0
女性	13.7	26.9	42.0	55.3	10.6	44.9	8.9	0.0
している	13.6	43.4	31.4	47.2	23.7	43.1	4.2	0.0
していない	12.3	17.0	50.2	59.2	2.1	43.9	12.6	0.0
無回答	41.1	0.0	26.1	86.4	0.0	86.4	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
男性	14.9	24.3	33.3	64.7	9.5	44.3	9.8	0.1
在学中	5.7	4.9	52.8	71.0	6.5	56.7	6.9	0.2
卒業	21.8	37.5	21.0	61.6	11.9	36.4	12.2	0.0
無回答	12.5	39.9	2.6	42.4	7.5	24.9	4.9	0.0
女性	13.7	26.9	42.0	55.3	10.6	44.9	8.9	0.0
在学中	9.5	12.7	53.1	61.7	2.1	41.8	6.2	0.0
卒業	17.2	40.9	31.8	48.3	13.2	47.9	11.8	0.0
無回答	16.3	0.0	52.0	78.4	87.2	39.2	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
身体障害者手帳	22.7	30.4	44.8	61.8	13.2	56.2	9.0	0.1
1級	29.8	23.7	42.8	62.0	14.3	54.9	9.9	0.0
2級	19.3	45.2	43.5	59.8	15.1	58.8	6.1	0.0
3～6級	4.5	15.6	56.3	66.3	3.8	54.1	13.8	0.9
愛の手帳	5.7	17.6	24.8	62.8	4.8	30.7	12.5	0.0
1～2度	4.8	0.0	38.5	53.3	0.0	21.8	20.9	0.0
3度	5.3	16.9	35.3	59.9	2.4	16.8	10.0	0.0
4度	6.4	19.2	14.4	69.6	7.9	44.5	12.8	0.0
無回答	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	0.0	0.0	19.9	60.2	16.8	46.0	6.5	0.0
無回答	0.0	9.7	56.6	66.3	5.1	66.3	0.0	0.0

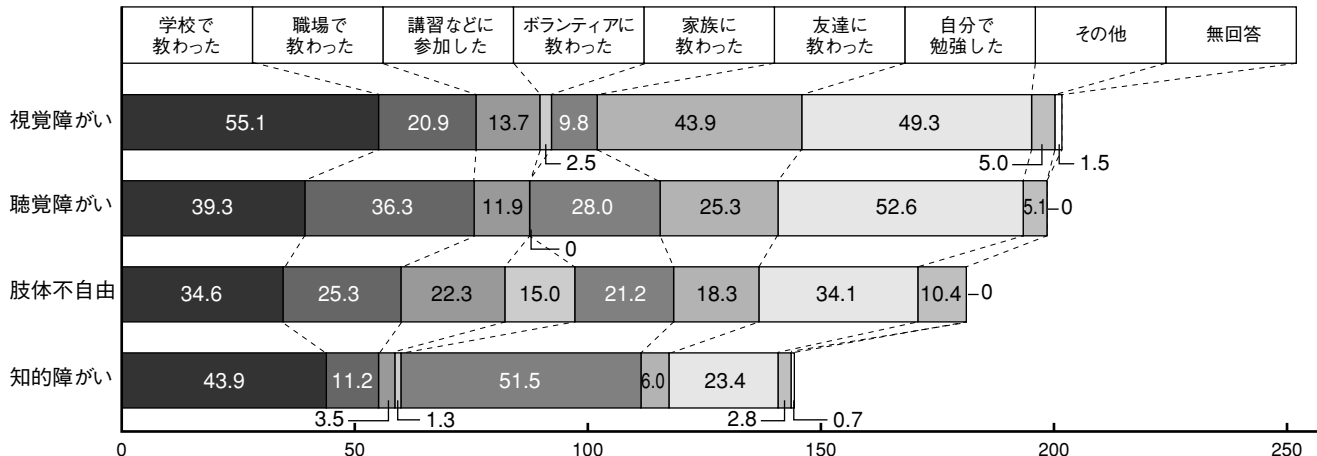
1-5 パソコンの使い方をどのように学んだか(%)

パソコンの使い方はどうやって知りましたか？ (○はいくつでも)

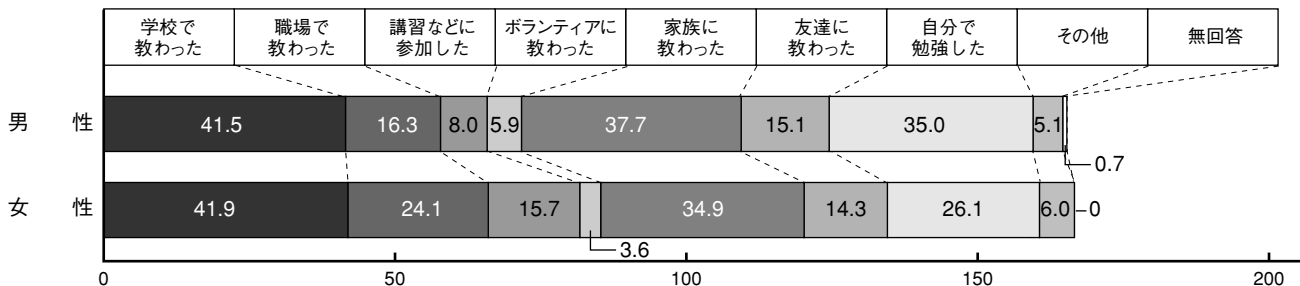
「学校」41.6%、次いで「家族」36.8%

- ・「学校で教わった」が41.6%、「家族に教わった」が36.8%、「自分で勉強した」が32%であることから、「学校」における情報教育が契機となり、家庭での利用につながっていると考えられる。視覚障がい者については、「友達に教わった」が43.9%と高い。
- ・就業者については、「職場で教わった」と「自分で勉強した」との回答が相対的に多い。

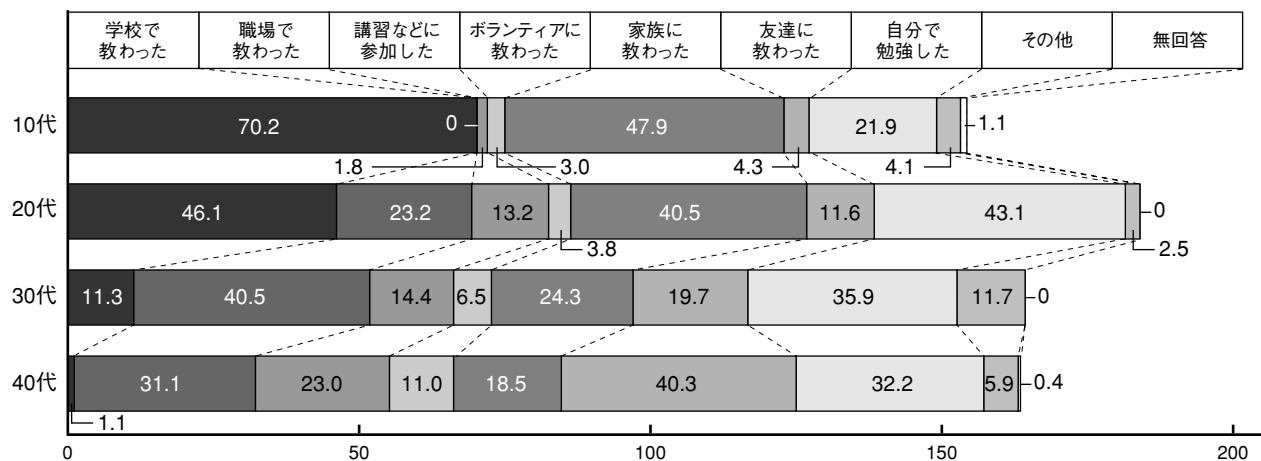
■図表1 障がい別

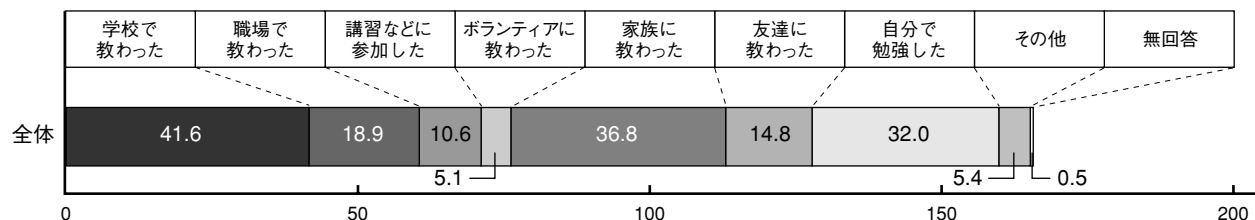


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
男性	41.5	16.3	8.0	5.9	37.7	15.1	35.0	5.1	0.7
している	30.5	28.8	10.6	3.1	34.0	20.5	37.1	1.1	0.0
していない	51.6	3.9	5.7	8.7	41.1	10.0	33.5	9.1	1.5
無回答	57.4	32.1	0.0	0.0	44.9	13.2	17.2	0.0	0.0
女性	41.9	24.1	15.7	3.6	34.9	14.3	26.1	6.0	0.0
している	22.8	44.5	18.0	3.4	45.2	18.2	30.9	6.5	0.0
していない	54.2	10.9	14.9	2.1	29.7	10.1	21.9	6.0	0.0
無回答	58.9	7.9	0.0	33.2	0.0	41.1	41.1	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
男性	41.5	16.3	8.0	5.9	37.7	15.1	35.0	5.1	0.7
在学中	67.1	1.7	2.6	3.0	47.4	7.5	27.9	5.7	1.6
卒業	22.4	25.7	11.7	8.4	30.2	20.9	39.5	5.0	0.2
無回答	42.7	37.6	12.5	0.0	42.7	12.4	47.3	0.0	0.0
女性	41.9	24.1	15.7	3.6	34.9	14.3	26.1	6.0	0.0
在学中	74.2	2.7	0.7	2.1	34.7	8.5	23.2	0.7	0.0
卒業	13.8	43.7	27.2	5.1	32.4	16.7	27.2	10.9	0.0
無回答	44.5	7.5	39.2	0.0	78.4	55.5	46.6	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
身体障害者手帳	38.9	25.4	16.3	8.8	22.8	23.7	38.4	8.7	0.2
1級	31.9	22.5	23.3	15.1	19.8	26.6	34.6	13.3	0.0
2級	40.5	34.9	12.0	1.5	25.2	20.9	40.3	3.0	0.3
3～6級	61.6	10.4	1.4	4.5	27.5	20.6	48.1	6.6	0.9
愛の手帳	38.7	12.1	4.1	2.5	51.6	7.0	21.7	4.9	0.7
1～2度	25.3	11.0	0.0	5.3	56.7	0.0	33.9	6.1	0.0
3度	33.6	17.5	4.9	3.4	61.5	3.5	7.3	1.5	0.0
4度	43.5	8.7	4.6	1.2	44.7	11.6	30.5	7.5	1.5
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	54.0	3.1	0.0	0.0	39.1	0.0	40.3	0.0	0.0
無回答	85.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0

1 パソコンについて (パソコンを利用しているひとに対して)

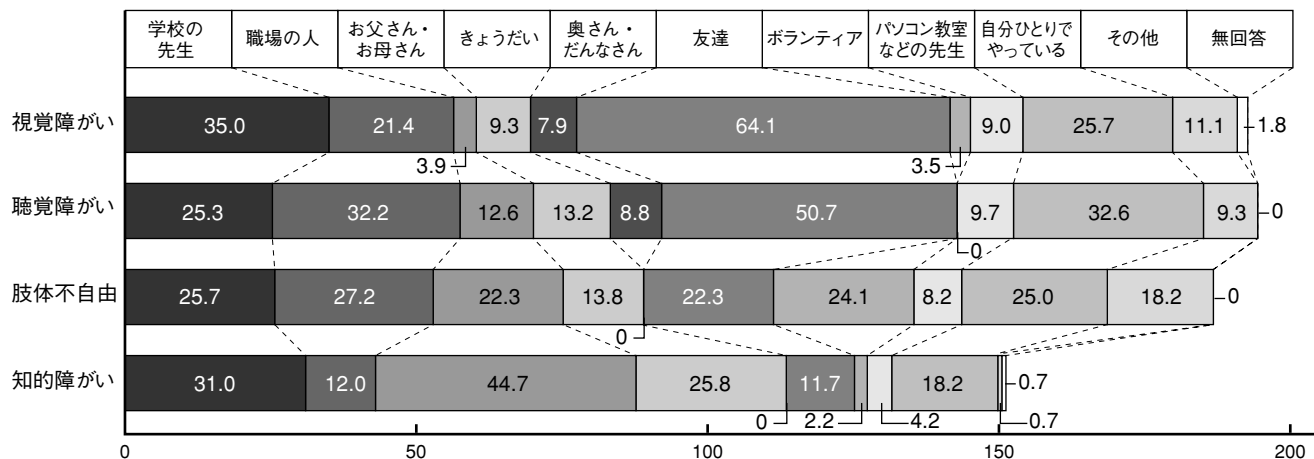
1-6 パソコンの使い方を誰に相談するか(%)

パソコンの使い方がわからないとき、誰に相談しますか？(○はいくつでも)

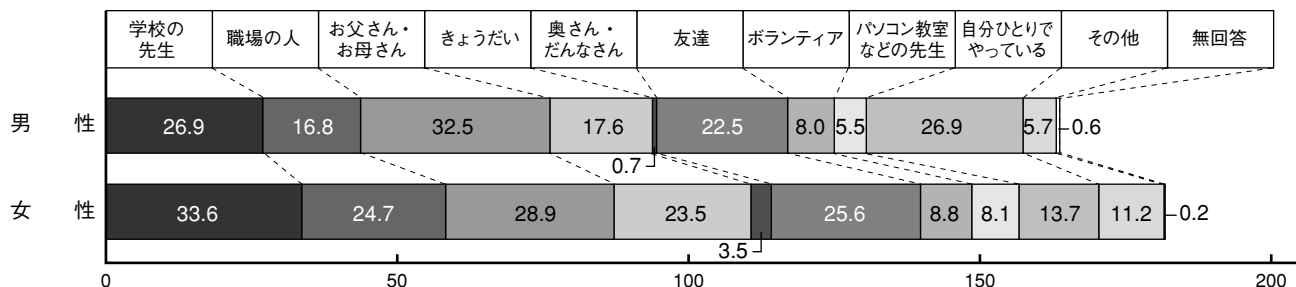
「お父さん・お母さん」31.3%、「学校の先生」29.2%。障がいの種別により回答が異なる

・視覚障がい者と聴覚障がい者に関しては、「友達」が50%を超えており、他に差をつけて一番多い。一方、肢体不自由者の回答は分かれており、「職場の人」、「ボランティア」、「学校の先生」、「自分ひとりでやっている」、「お父さん・お母さん」、「友達」が27.2%～22.3%の間で拮抗している。知的障がい者に関しては、「お父さん・お母さん」(44.7%)、「学校の先生」(31%)、「きょうだい」(25.8%)の順になっている。

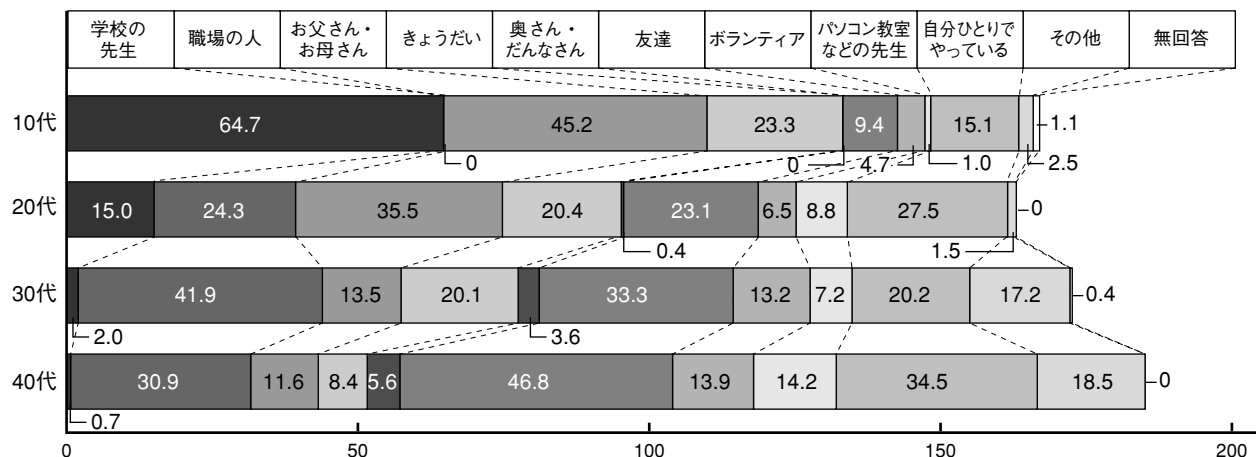
■図表1 障がい別

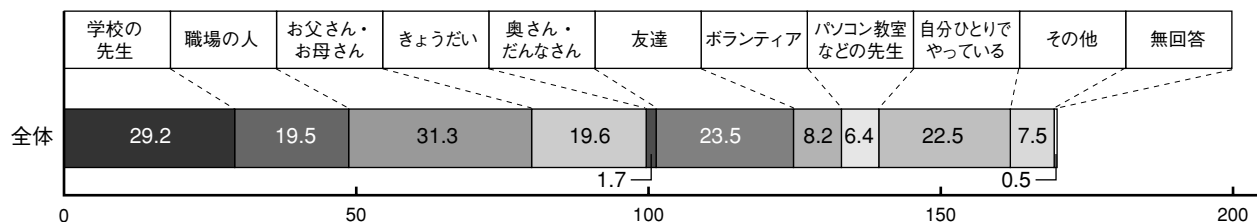


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友達	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
男性	26.9	16.8	32.5	17.6	0.7	22.5	8.0	5.5	26.9	5.7	0.6
している	8.9	31.5	29.6	16.4	1.4	31.9	4.7	7.3	23.7	4.9	0.0
していない	43.1	2.3	35.8	18.7	0.2	13.6	11.3	3.9	29.6	6.5	1.3
無回答	61.3	32.1	17.2	17.2	0.0	13.2	0.0	0.0	42.6	0.0	0.0
女性	33.6	24.7	28.9	23.5	3.5	25.6	8.8	8.1	13.7	11.2	0.2
している	6.1	50.6	19.5	29.2	6.1	28.7	12.8	11.9	19.6	10.3	0.6
していない	50.7	6.5	36.8	17.0	1.9	22.0	4.3	5.9	10.3	12.4	0.0
無回答	66.8	33.2	0.0	73.9	0.0	53.5	41.1	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友達	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
男性	26.9	16.8	32.5	17.6	0.7	22.5	8.0	5.5	26.9	5.7	0.6
在学中	59.4	1.0	40.3	21.0	0.0	15.2	3.8	1.5	20.4	2.4	1.6
卒業	4.4	27.1	26.2	16.0	1.3	28.5	11.6	8.8	32.3	7.5	0.0
無回答	2.6	37.6	40.1	2.6	0.0	12.4	0.0	0.0	19.7	14.8	0.0
女性	33.6	24.7	28.9	23.5	3.5	25.6	8.8	8.1	13.7	11.2	0.2
在学中	69.8	4.3	40.5	18.1	0.7	20.2	4.9	0.7	9.3	4.0	0.0
卒業	3.6	43.9	15.7	24.8	6.1	28.4	12.2	12.5	18.3	18.0	0.5
無回答	12.8	0.0	78.4	78.4	0.0	55.5	7.5	39.2	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友達	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
身体障害者手帳	28.1	25.7	18.4	12.9	3.1	36.4	13.8	7.8	25.1	13.2	0.3
1級	18.0	24.1	20.1	13.9	2.5	32.9	24.9	11.5	24.0	19.3	0.3
2級	35.3	33.5	14.5	10.9	5.0	40.2	1.5	5.3	28.9	5.5	0.0
3～6級	47.5	10.3	22.7	14.3	0.0	39.6	4.5	0.0	18.7	11.4	0.9
愛の手帳	26.0	12.9	46.1	25.3	0.0	9.9	3.9	5.4	15.3	2.9	0.7
1～2度	25.3	11.0	49.7	20.2	0.0	0.0	5.3	0.0	15.6	0.0	0.0
3度	24.1	17.5	48.1	27.5	0.0	5.8	5.8	4.9	9.2	1.5	0.0
4度	24.8	10.4	45.6	25.9	0.0	15.8	2.3	7.3	20.4	4.8	1.5
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	37.1	0.0	55.9	19.5	0.0	19.9	0.0	0.0	59.8	0.0	0.0
無回答	85.2	0.0	0.0	33.7	0.0	9.7	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0

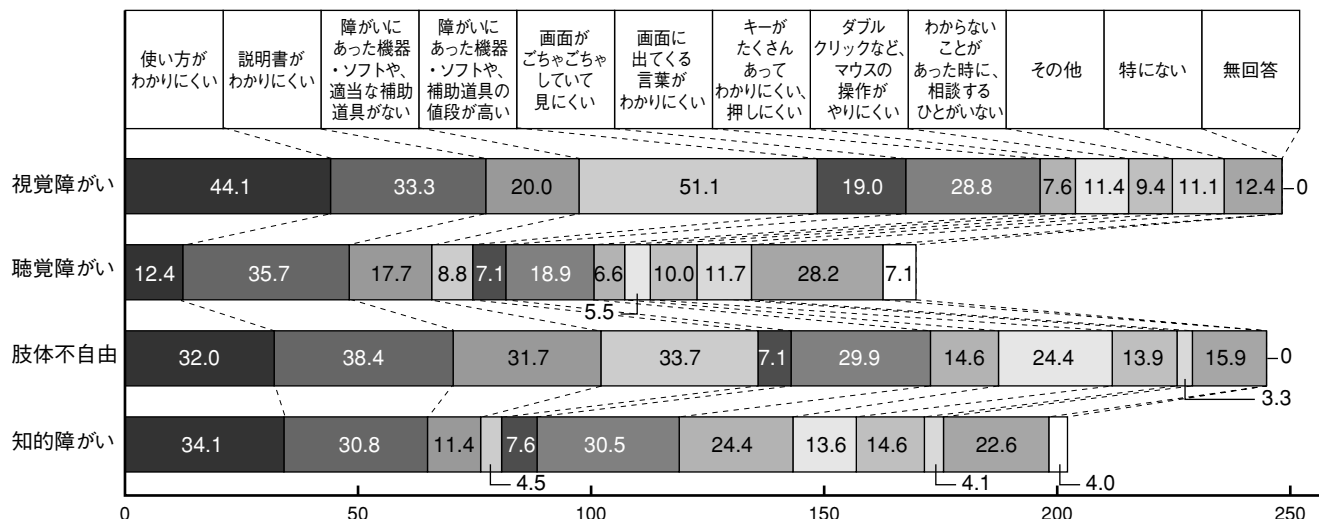
1-7 パソコンを利用する際に困ること(%)

パソコンを使うときに、困ることがありますか？(○はいくつでも)

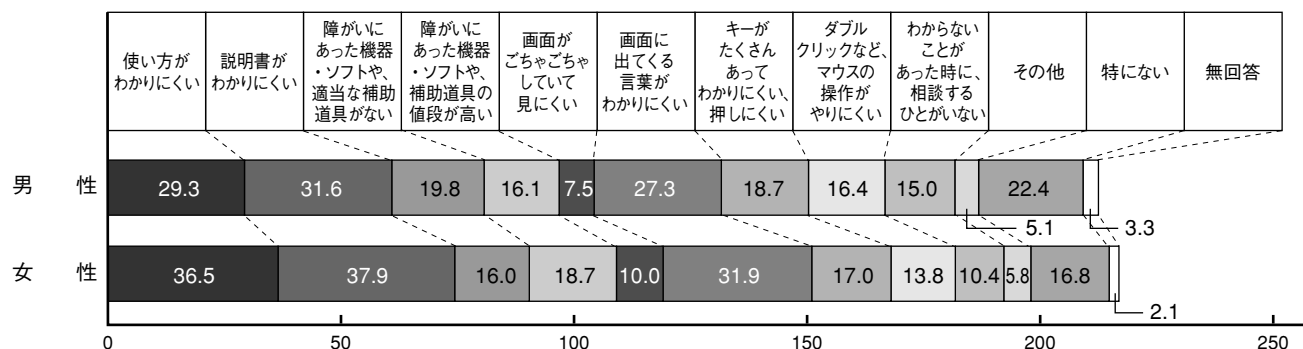
障がいの種別により回答が異なるため、それぞれの特性に応じた対応が必要

- すべての障がいにおいて、「説明書がわかりにくい」と30%以上が指摘。また、聴覚障がい者を除き、「使い方がわかりにくい」と「画面に出てくる言葉がわかりにくい」との回答が共通して多い。
- 視覚障がい者については「障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い」(51.1%)が最も多い。肢体不自由者の回答は多岐にわたっている。知的障がい者では、「キーがたくさんあってわかりにくい、押しにくい」(24.4%)の回答が他と比べて多い。

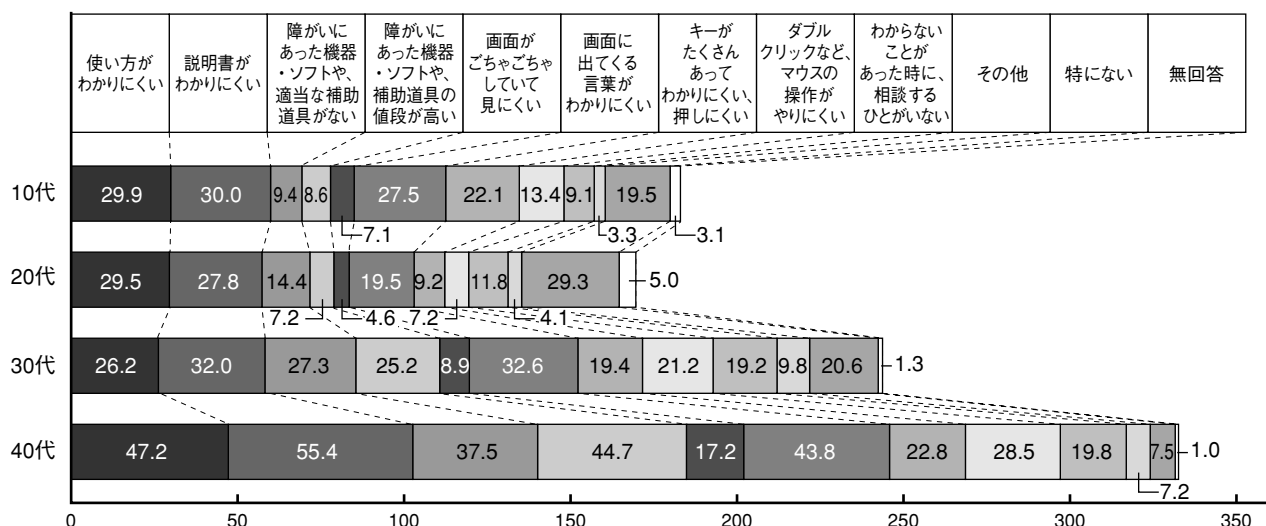
■図表1 障がい別

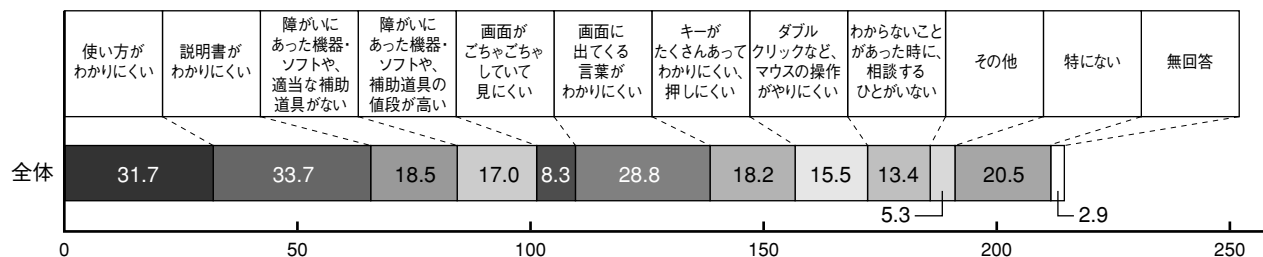


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	使い方がわかりにくい	説明書がわかりにくい	障がいにあった機器・ソフトや、適当な補助道具がない	障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い	画面がごちゃごちゃして見にくい	画面に出てくる言葉がわかりにくい	キーがたくさんあってわかりにくい、押しにくい	ダブルクリックなど、マウスの操作がやりにくい	わからないことがあった時に、相談するひとがない	その他	特になし	無回答
男性	29.3	31.6	19.8	16.1	7.5	27.3	18.7	16.4	15.0	5.1	22.4	3.3
している	34.7	35.1	21.0	17.7	7.3	29.2	17.2	17.1	19.6	6.3	25.8	3.7
していない	24.7	28.2	18.6	14.3	7.7	26.0	20.5	16.0	10.8	4.1	19.6	2.8
無回答	6.6	32.1	23.1	29.7	6.6	6.6	6.6	6.6	10.6	0.0	10.6	10.6
女性	36.5	37.9	16.0	18.7	10.0	31.9	17.0	13.8	10.4	5.8	16.8	2.1
している	36.6	35.9	14.5	15.9	12.9	40.0	16.6	12.7	10.3	6.1	22.7	4.4
していない	38.5	39.0	15.5	21.6	8.5	27.5	15.8	13.2	10.9	5.9	13.7	0.7
無回答	0.0	40.8	45.6	0.0	0.0	7.9	45.6	38.8	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	使い方がわかりにくい	説明書がわかりにくい	障がいにあった機器・ソフトや、適当な補助道具がない	障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い	画面がごちゃごちゃして見にくい	画面に出てくる言葉がわかりにくい	キーがたくさんあってわかりにくい、押しにくい	ダブルクリックなど、マウスの操作がやりにくい	わからないことがあった時に、相談するひとがない	その他	特になし	無回答
男性	29.3	31.6	19.8	16.1	7.5	27.3	18.7	16.4	15.0	5.1	22.4	3.3
在学中	28.7	29.4	8.4	10.2	7.2	26.4	20.7	10.8	8.4	3.6	25.0	3.8
卒業	28.7	35.1	28.8	21.4	7.5	29.6	18.4	21.5	20.6	6.6	19.5	3.2
無回答	45.0	4.9	12.5	2.6	9.8	2.6	2.6	2.6	4.9	0.0	37.6	0.0
女性	36.5	37.9	16.0	18.7	10.0	31.9	17.0	13.8	10.4	5.8	16.8	2.1
在学中	34.4	31.6	14.9	14.7	6.0	27.7	18.0	14.7	7.6	3.6	14.3	0.9
卒業	40.7	45.7	17.5	22.7	14.1	37.0	14.8	13.6	13.4	8.0	17.5	3.4
無回答	0.0	0.0	8.8	8.8	0.0	7.5	39.2	5.3	0.0	0.0	39.2	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	使い方がわかりにくい	説明書がわかりにくい	障がいにあった機器・ソフトや、適当な補助道具がない	障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い	画面がごちゃごちゃして見にくい	画面に出てくる言葉がわかりにくい	キーがたくさんあってわかりにくい、押しにくい	ダブルクリックなど、マウスの操作がやりにくい	わからないことがあった時に、相談するひとがない	その他	特になし	無回答
身体障害者手帳	33.0	37.8	23.9	27.2	9.3	31.1	14.3	19.7	12.1	7.2	17.4	2.3
1級	33.3	43.1	33.3	41.6	7.9	37.3	16.5	20.2	15.8	5.5	14.6	0.4
2級	32.9	36.9	15.0	11.7	7.9	28.4	14.2	22.3	9.7	10.6	14.7	3.1
3～6級	31.9	19.5	11.8	14.2	18.9	14.6	6.1	10.6	4.1	4.4	35.7	7.6
愛の手帳	34.9	30.7	14.6	7.6	7.8	30.6	24.0	16.1	15.0	3.6	20.8	4.1
1～2度	13.9	17.0	20.9	5.3	4.8	16.2	13.9	28.4	18.0	11.0	13.2	6.1
3度	57.8	37.8	24.4	10.8	14.6	43.6	32.2	18.7	17.5	3.9	3.9	2.3
4度	23.8	29.7	6.2	6.0	3.7	25.3	21.2	11.6	12.9	1.7	32.6	5.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0
どれも持っていない	16.8	33.7	0.0	0.0	16.8	16.8	33.7	0.0	33.7	19.5	29.9	0.0
無回答	0.0	33.7	33.7	17.8	0.0	17.8	0.0	33.7	0.0	0.0	14.8	0.0

パソコンについて (パソコンを利用していないひとに対して)

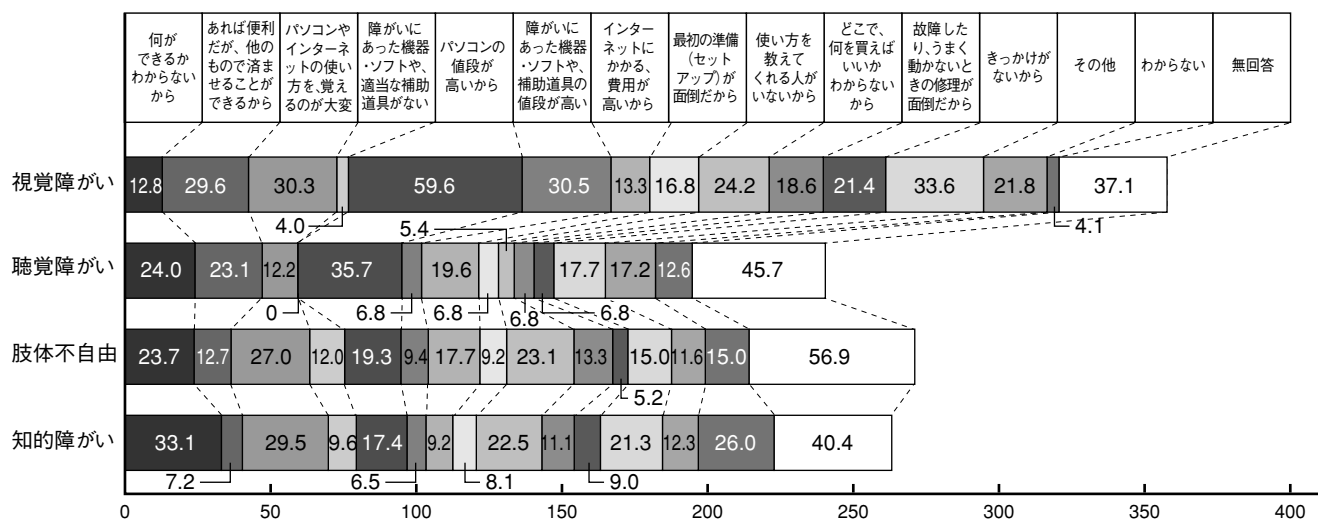
1-8-① パソコンを利用しない理由(%)

パソコンを使用しない理由は何ですか？(○はいくつでも)

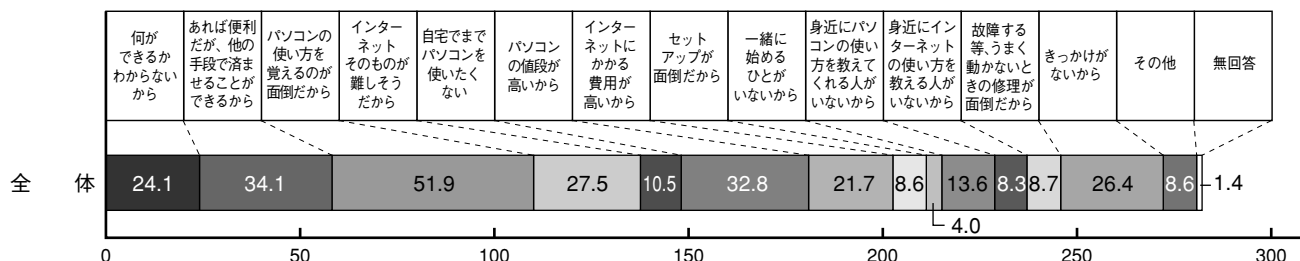
視覚障がい者と聴覚障がい者は「パソコン等の値段」、肢体不自由者と知的障がい者は「何ができるかわからない」、「使い方を覚えることが大変」、「教えてくれる人がいない」との回答が多い

- ・視覚障がい者は「パソコンの値段が高い」(59.6%)、「障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い」(30.5%)、聴覚障がい者は「パソコンの値段が高い」(35.7%)と購入価格が主な理由となっている。一方、肢体不自由者と知的障がい者については「何ができるかわからない」(それぞれ23.7%、33.1%)に加え、「使い方を覚えることが大変」(それぞれ27%、29.5%)である上、「教えてくれるひとがない」(それぞれ23.1%、22.5%)が主な理由となっている。
- ・聴覚障がい者を除き、「パソコンやインターネットの使い方を覚えるのが大変」との回答は30%前後と共通して多い。

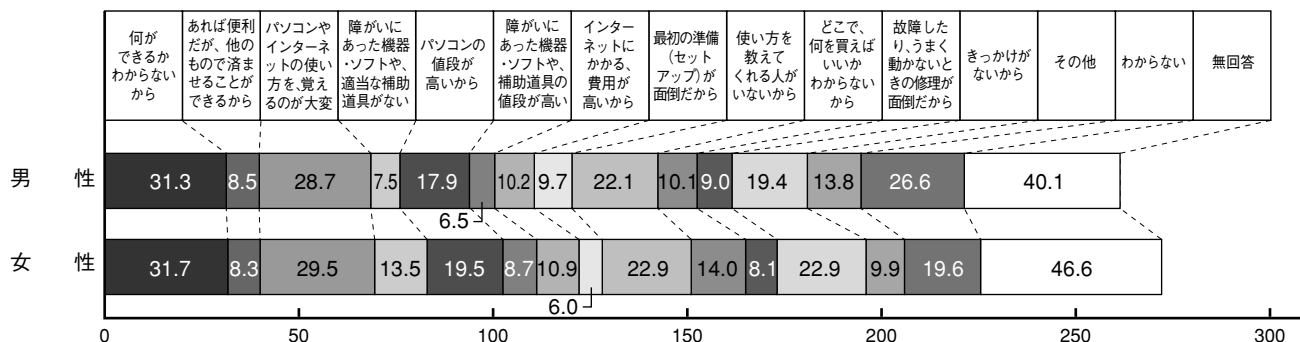
■図表1 障がい別

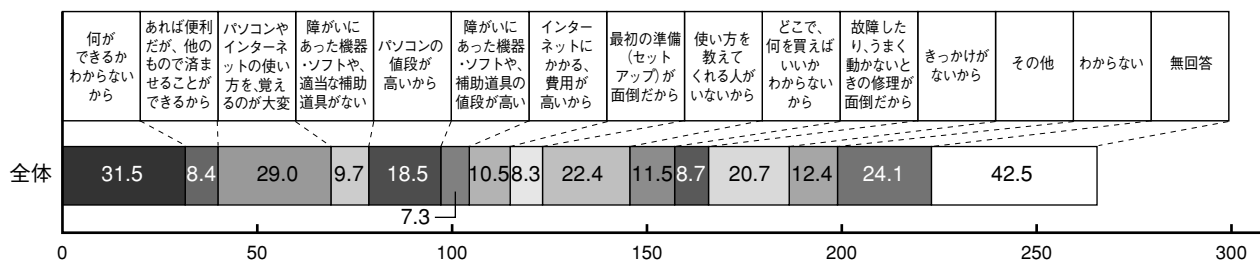


▼全国調査

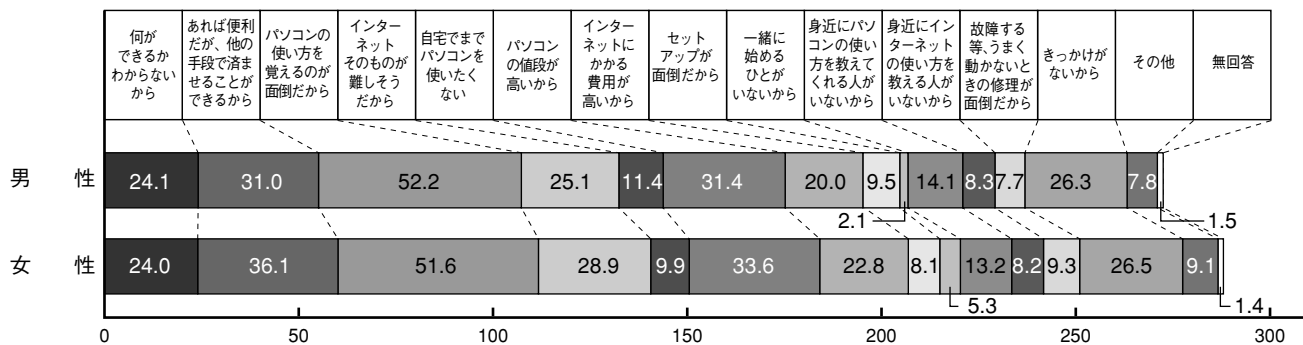


■図表2 性別

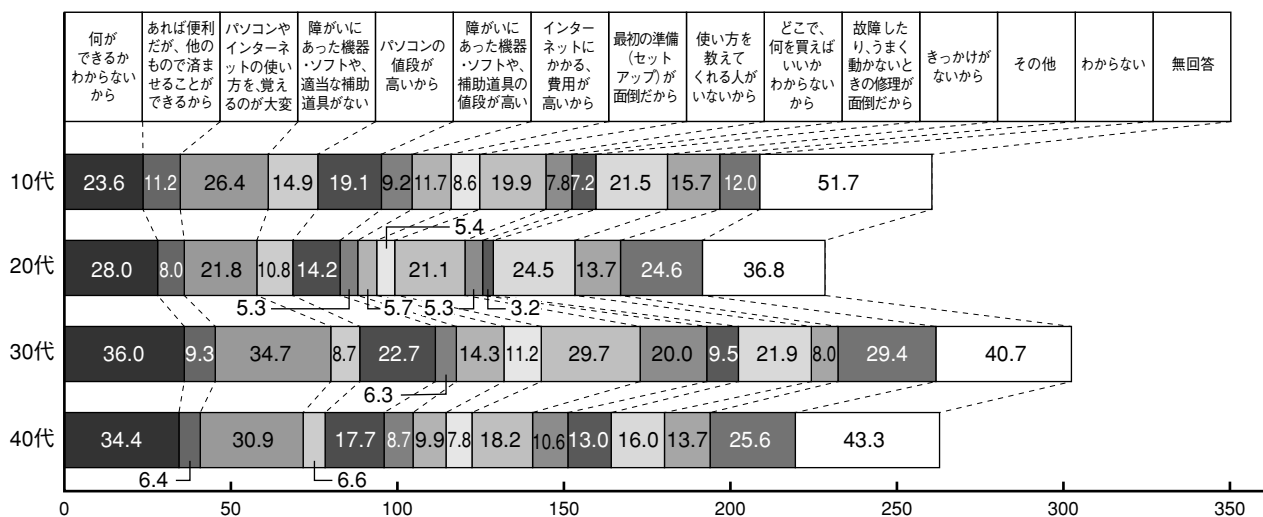




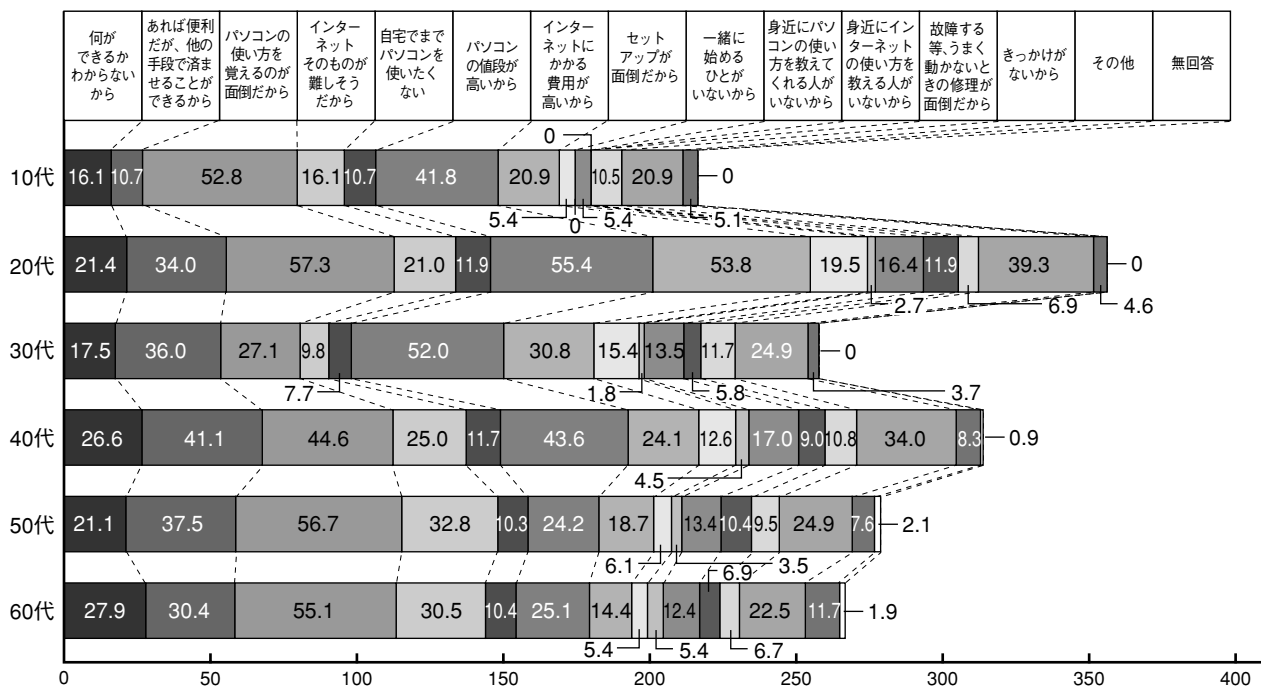
▼全国調査



■図表3 年代別



▼全国調査



パソコンについて (パソコンを利用していないひとに対して)

1-8-② パソコンを利用しない理由(%)

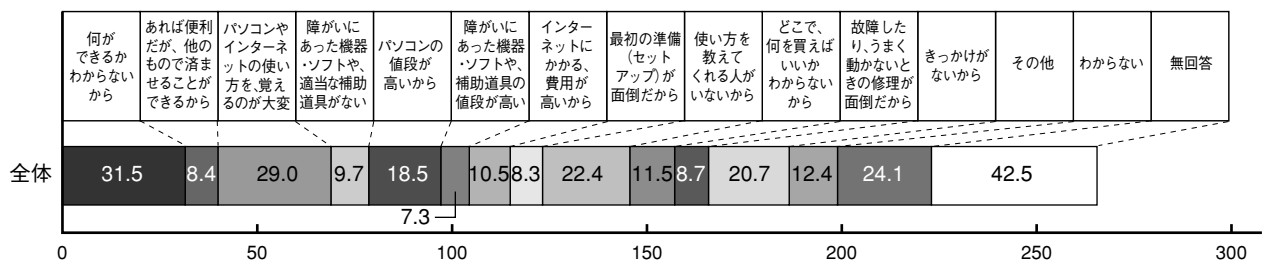
パソコンを使用しない理由は何ですか？(○はいくつでも)

■図表4 性別・就業の有無別

	何が できるか わからない から	あれば便利 だが、他の もので済ま せることが できるから	パソコンや インターネット の使い方を、 覚えるのが 大変	障がい にあった機器 ・ソフトや、 適当な補助 道具がない	パソコンの 値段が 高いから	障がい にあった機器 ・ソフトや、 補助道具の 値段が高い	インター ネットに かかる、 費用が 高いから	最初の準備 (セット アップ)が 面倒だから	使い方を 教えて くれる人が いないから	どこで、 何を買えば いいか わからない から	故障したり、 うまく動か ないときの 修理が 面倒だから	ぎっかけが ないから	その他	わからない	無回答
男性	24.1	31.0	52.2	25.1	11.4	31.4	20.0	9.5	2.1	14.1	8.3	7.7	26.3	7.8	1.5
している	33.2	7.8	44.3	2.1	25.3	6.6	12.1	10.7	32.9	16.6	12.6	21.0	9.2	17.3	52.1
していない	26.6	7.2	12.0	9.2	8.7	4.2	6.6	6.8	10.4	4.2	3.4	14.7	19.3	37.4	28.9
無回答	77.7	40.6	50.3	67.9	50.3	40.6	38.8	38.8	40.6	0.0	40.6	69.7	0.0	0.0	30.3
女性	24.0	36.1	51.6	28.9	9.9	33.6	22.8	8.1	5.3	13.2	8.2	9.3	26.5	9.1	1.4
している	38.5	9.3	28.2	5.1	21.0	3.8	13.8	5.4	28.0	16.7	8.0	25.7	7.9	23.2	42.0
していない	23.5	7.2	29.8	24.8	18.0	15.4	7.3	5.3	16.4	10.7	6.8	17.6	12.8	15.4	53.7
無回答	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	82.0	18.0	0.0	82.0	100	0.0	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	何が できるか わからない から	あれば便利 だが、他の もので済ま せることが できるから	パソコンや インターネット の使い方を、 覚えるのが 大変	障がい にあった機器 ・ソフトや、 適当な補助 道具がない	パソコンの 値段が 高いから	障がい にあった機器 ・ソフトや、 補助道具の 値段が高い	インター ネットに かかる、 費用が 高いから	最初の準備 (セット アップ)が 面倒だから	使い方を 教えて くれる人が いないから	どこで、 何を買えば いいか わからない から	故障したり、 うまく動か ないときの 修理が 面倒だから	ぎっかけが ないから	その他	わからない	無回答
男性	24.1	31.0	52.2	25.1	11.4	31.4	20.0	9.5	2.1	14.1	8.3	7.7	26.3	7.8	1.5
在学中	28.8	13.4	16.7	13.9	17.6	8.4	12.2	9.2	22.5	6.6	7.7	27.4	17.2	14.3	42.2
卒業	30.8	5.7	29.7	4.1	16.2	4.2	8.4	8.4	19.9	10.3	7.7	15.9	14.1	32.3	37.5
無回答	41.5	23.7	46.9	26.3	35.4	23.7	23.0	23.0	43.1	15.9	23.7	35.0	3.8	0.0	61.2
女性	24.0	36.1	51.6	28.9	9.9	33.6	22.8	8.1	5.3	13.2	8.2	9.3	26.5	9.1	1.4
在学中	14.1	4.2	40.7	16.4	21.3	11.0	7.4	8.0	15.3	10.5	7.4	9.8	13.3	8.4	67.2
卒業	35.7	10.0	27.5	14.2	19.9	9.1	11.9	5.9	25.7	15.0	7.0	26.0	9.1	22.2	43.6
無回答	32.0	0.0	24.1	0.0	11.9	0.0	9.7	2.2	12.2	11.9	22.0	20.9	10.0	19.5	29.8



■図表6 手帳の種別・等級別

	何が できるか わからない から	あれば便利 だが、他の もので済ま せることが できるから	パソコンや インターネット の使い方を 覚えるのが 大変	障がい にあった機器 ・ソフトや、 適当な補助 道具がない	パソコンの 値段が 高いから	障がい にあった機器 ・ソフトや、 補助道具の 値段が高い	インター ネットに かかる、 費用が 高いから	最初の準備 (セット アップ)が 面倒だから	使い方を 教えて くれる人が いないから	どこで、 何を買えば いいか わからない から	故障した り、うまく 動かないと きの修理が 面倒だから	きっかけが ないから	その他	わからない	無回答
身体障害者手帳	28.5	12.3	29.4	7.9	19.9	10.4	15.1	10.0	20.2	15.8	12.5	22.2	11.8	20.3	40.4
1級	24.2	10.6	19.6	13.2	18.4	10.5	15.8	8.7	16.7	10.2	7.6	15.8	10.9	22.1	47.6
2級	28.1	18.9	32.4	6.4	22.3	16.9	20.1	12.0	18.2	14.2	11.4	25.7	8.7	28.7	35.5
3～6級	33.6	10.5	41.6	0.0	21.4	5.2	10.4	11.0	25.2	27.3	22.3	31.2	16.4	11.0	29.7
無回答	100	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
愛の手帳	32.6	6.7	29.1	9.4	16.8	6.4	9.2	7.9	22.2	11.0	8.9	20.6	12.3	26.2	40.8
1～2度	27.3	3.2	20.1	17.8	4.3	4.3	2.3	4.0	15.1	2.7	1.8	19.4	23.4	25.0	34.7
3度	36.0	7.7	34.1	4.2	15.2	6.4	6.7	6.0	20.6	10.1	7.0	16.3	6.7	27.4	49.7
4度	34.5	8.9	32.4	7.1	28.5	8.4	16.8	12.6	28.9	18.6	16.2	23.9	8.1	26.4	39.5
無回答	25.5	0.0	25.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.5	0.0	0.0	50.3	0.0	24.2	25.5
どれも持っていない	77.5	22.5	0.0	0.0	100	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	87.8	0.0	0.0	12.2
無回答	16.6	0.0	33.5	0.0	16.6	0.0	0.0	0.0	16.8	0.0	0.0	0.0	66.5	0.0	33.5

パソコンについて (パソコンを利用していないひとに対して)

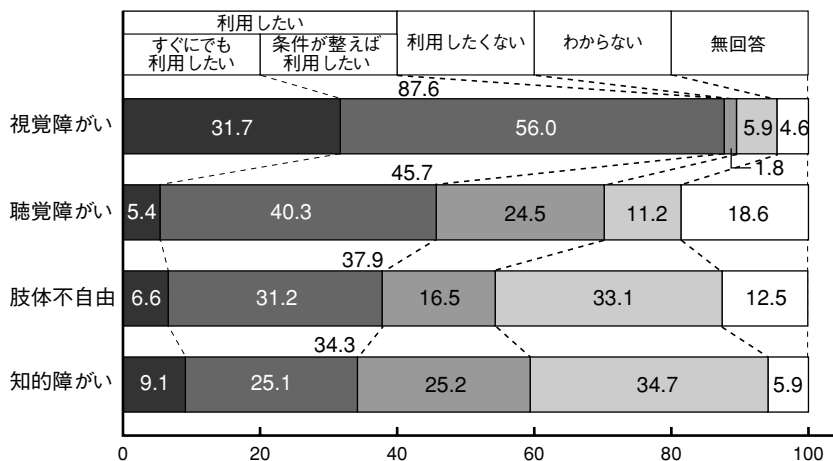
1-9 今後のパソコン利用意向(%)

あなたは、今後、パソコンを利用したいと思いますか？

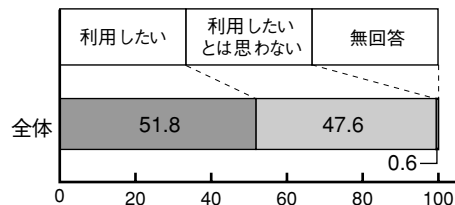
「すぐにでも利用したい」9.1%、「条件が整えば利用したい」26.6%

- ・条件付きを含めた「利用したい(計)」は、視覚障がい者(87.6%)、聴覚障がい者(45.7%)、肢体不自由者(37.9%)、知的障がい者(34.3%)。視覚障がい者は大多数が利用意向を持っていることがわかる。
- ・年代が下がるにつれ、「利用したい(計)」との回答が増加している。

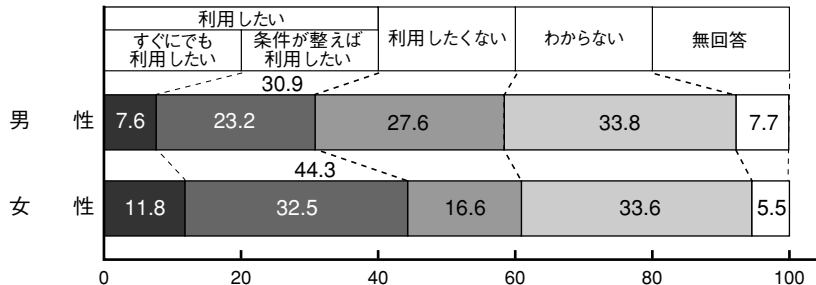
■図表1 障がい別



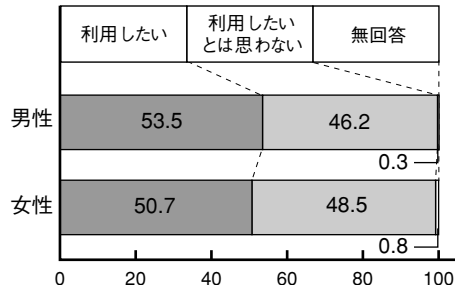
▼全国調査



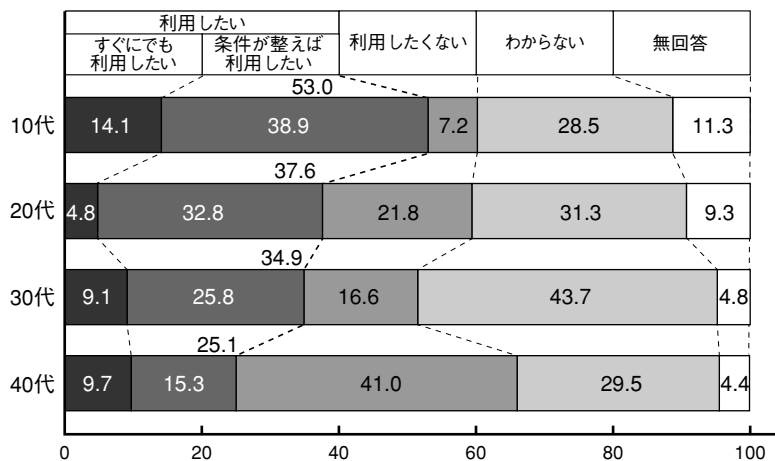
■図表2 性別



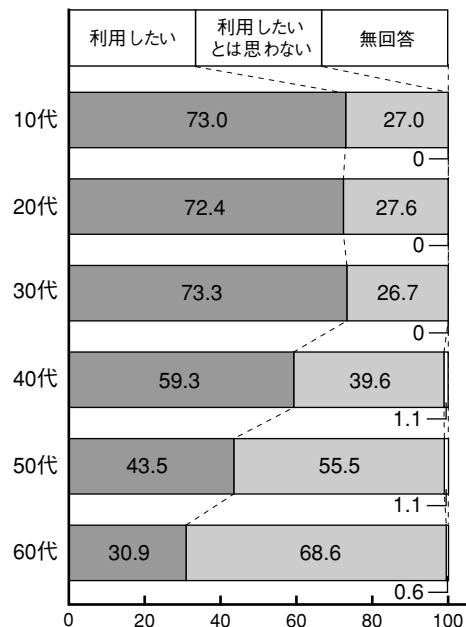
▼全国調査

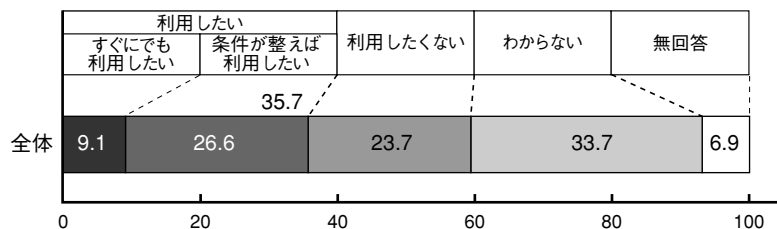


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
男性	7.6	23.2	27.6	33.8	7.7	30.9
している	10.6	24.2	35.5	25.5	4.3	34.7
していない	5.2	19.5	21.6	44.2	9.6	24.6
無回答	0.0	69.7	0.0	0.0	30.3	69.7
女性	11.8	32.5	16.6	33.6	5.5	44.3
している	11.9	31.7	20.5	33.4	2.5	43.6
していない	11.9	33.9	10.2	34.4	9.6	45.8
無回答	0.0	18.0	82.0	0.0	0.0	18.0

▼全国調査

	利用したい	利用したいとは思わない	無回答
男性	53.5	46.2	0.3
している	83.6	16.4	0.0
していない	52.0	47.9	0.2
無回答	34.5	56.8	8.6
女性	50.7	48.5	0.8
している	86.4	13.6	0.0
していない	49.7	49.6	0.8
無回答	34.7	57.5	7.9

■図表5 性別・就学の有無別

	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
男性	7.6	23.2	27.6	33.8	7.7	30.9
在学中	14.2	34.4	7.2	34.5	9.8	48.5
卒業	6.0	19.0	31.9	36.4	6.7	25.0
無回答	8.0	38.5	33.9	8.0	11.7	46.4
女性	11.8	32.5	16.6	33.6	5.5	44.3
在学中	17.1	47.6	7.4	13.3	14.6	64.7
卒業	10.8	30.1	18.4	36.7	4.0	40.9
無回答	10.0	21.7	20.0	48.3	0.0	31.7

▼全国調査

	利用したい	利用したいとは思わない	無回答
男性	53.5	46.2	0.3
在学中	83.6	16.4	0.0
卒業	52.0	47.9	0.2
無回答	34.5	56.8	8.6
女性	50.7	48.5	0.8
在学中	86.4	13.6	0.0
卒業	49.7	49.6	0.8
無回答	34.7	57.5	7.9

■図表6 手帳の種別・等級別

	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
身体障害者手帳	8.6	31.4	17.1	28.8	14.1	40.0
1級	6.7	34.2	13.8	28.7	16.6	40.9
2級	8.0	36.5	12.5	36.6	6.4	44.5
3～6級	9.0	23.7	27.4	23.6	16.3	32.7
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	100
愛の手帳	8.2	25.3	24.3	35.6	6.5	33.5
1～2度	0.8	21.1	18.9	46.0	13.3	21.9
3度	14.9	22.9	33.8	25.7	2.8	37.8
4度	7.1	31.2	22.3	35.3	4.1	38.3
無回答	75.8	0.0	0.0	24.2	0.0	75.8
どれも持っていない	77.5	12.2	10.3	0.0	0.0	89.7
無回答	16.8	0.0	66.5	0.0	16.6	16.8

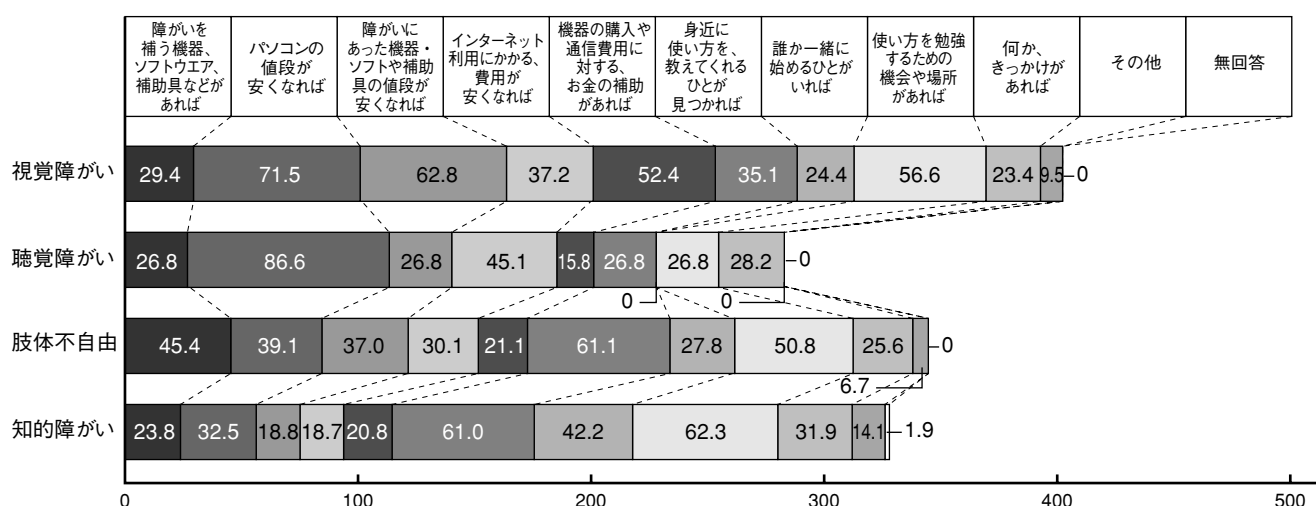
1-10-① どのような条件が整えば利用したいか(%)

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか？(○はいくつでも)

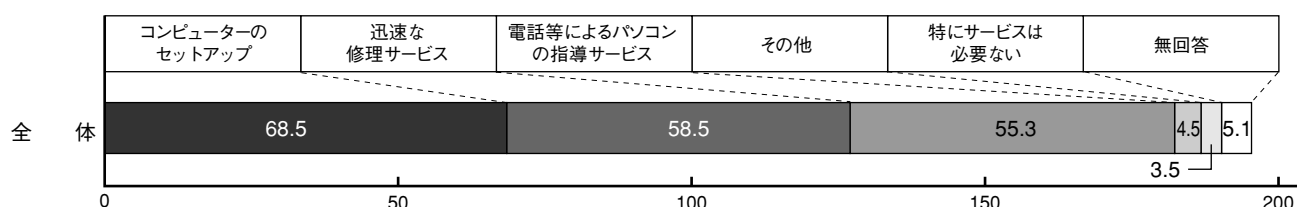
障がいの種別により条件が異なり、利用促進のためには個別の対策が必要

- ・視覚障がい者は「パソコンの値段が安くなれば」(71.5%)、「障がいにあった機器・ソフトや、適当な補助道具の値段が安くなれば」(62.8%)、聴覚障がい者は「パソコンの値段が安くなれば」(86.6%)と金銭面が条件となっている。
- ・肢体不自由者と知的障がい者は「身近に使い方を、教えてくれるひとが見つければ」(それぞれ61.1%、61%)、「使い方を勉強する機会や場所があれば」(それぞれ50.8%、62.3%)との回答が多い。また、肢体不自由者は「障がいを補う機器等があれば」(45.4%)という回答も多い。

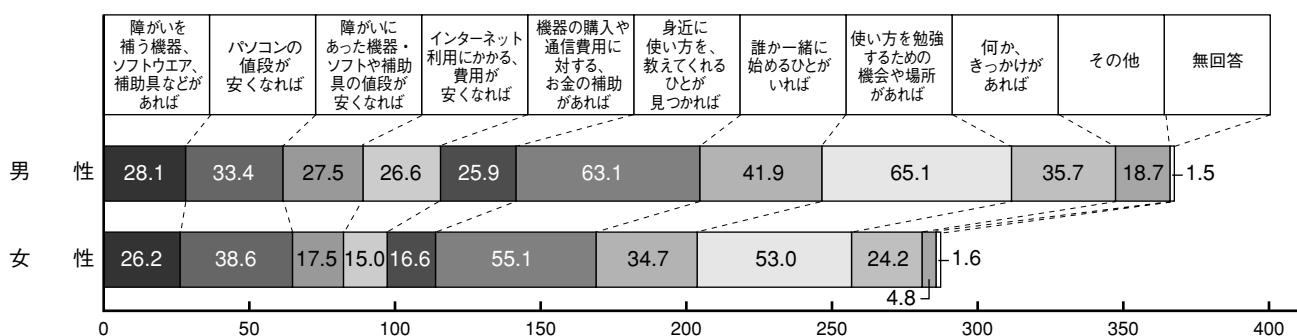
■図表1 障がい別



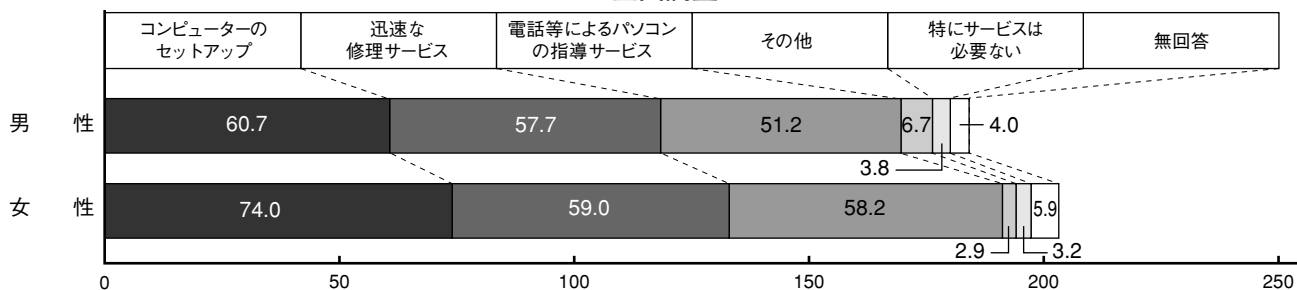
▼全国調査

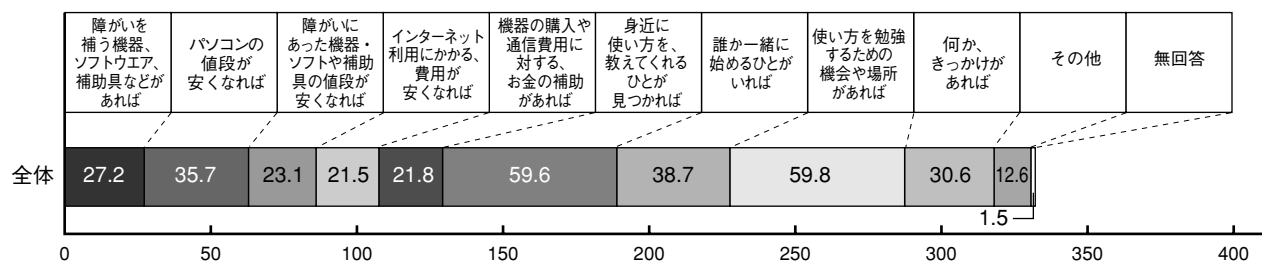


■図表2 性別

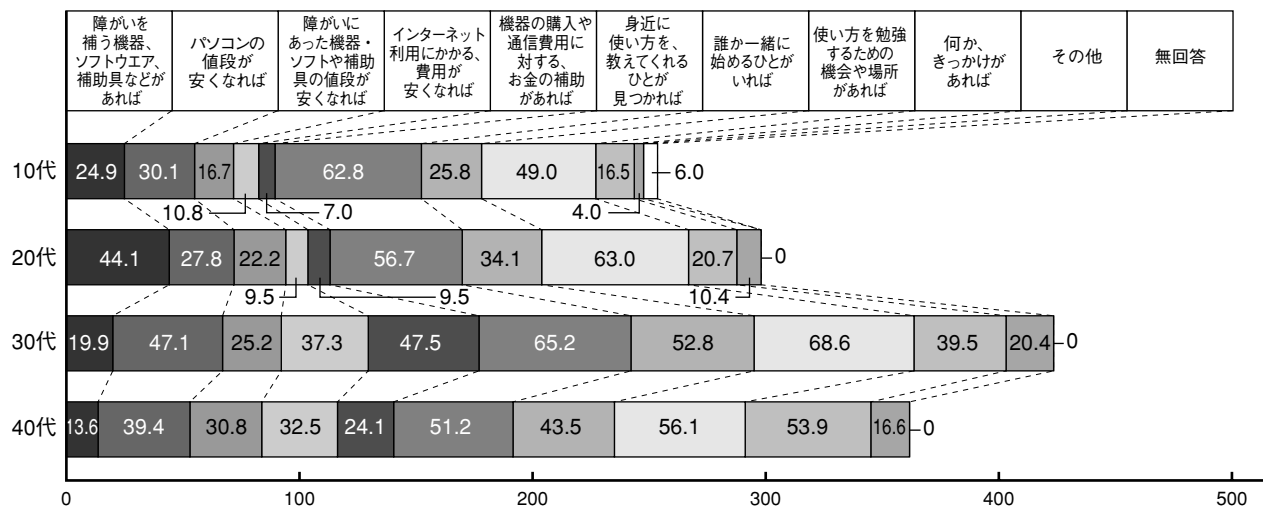


▼全国調査

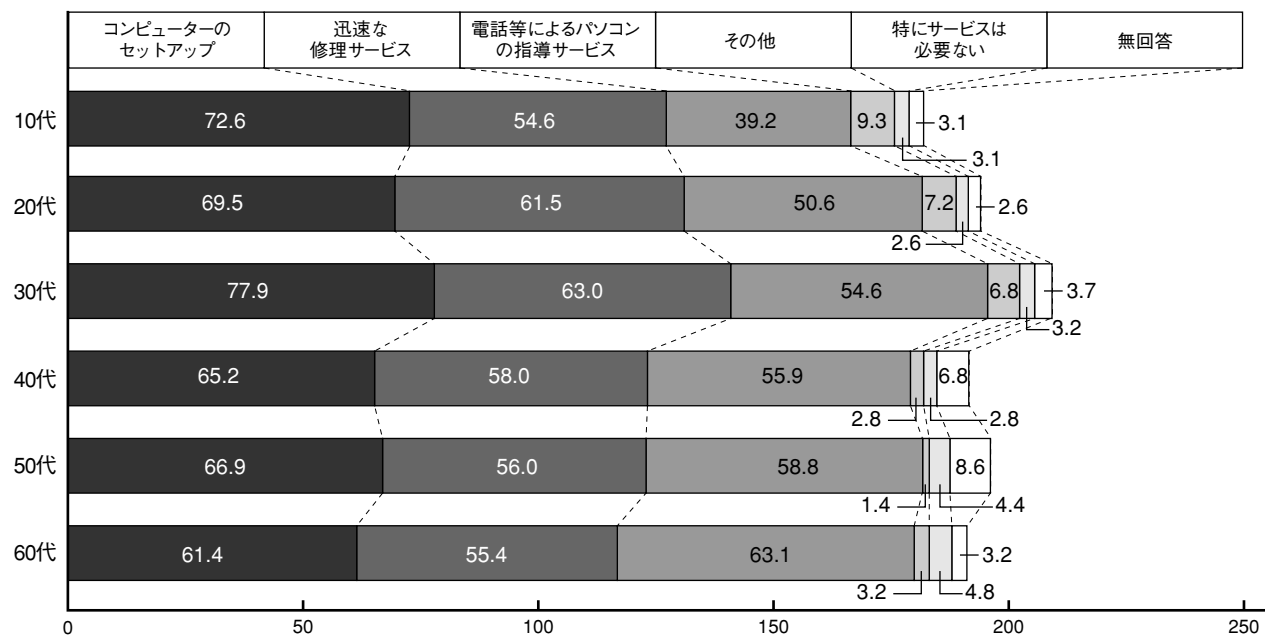




■図表3 年代別



▼全国調査



1-10-② どのような条件が整えば利用したいか(%)

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか？(○はいくつでも)



■図表4 性別・就業の有無別

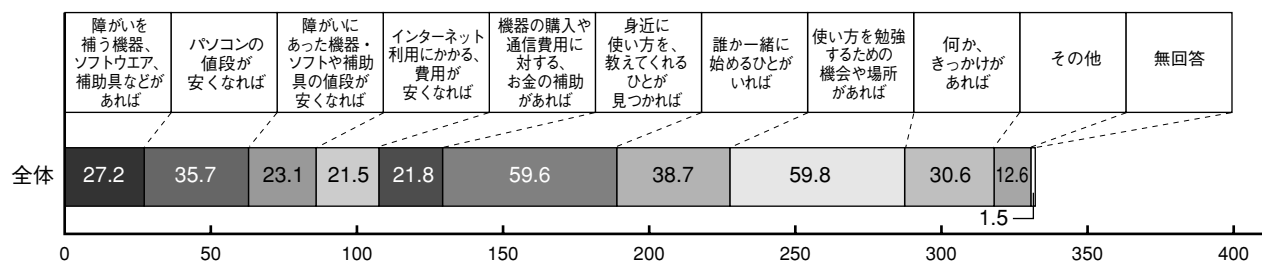
	障がい 補う機器、 ソフトウェア、 補助具などがあ れば	パソコンの 値段が 安くなれば	障がいにあ った機器・ ソフトや補助 具の値段が 安くなれば	インターネット 利用にかかる、 費用が 安くなれば	機器の購入や 通信費用に 対する、 お金の補助 があれば	身近に 使い方を、 教えてくれる ひとが 見つければ	誰か一緒に 始めるひとが いれば	使い方を勉強 するための 機会や場所 があれば	何か、 きっかけが あれば	その他	無回答
男性	28.1	33.4	27.5	26.6	25.9	63.1	41.9	65.1	35.7	18.7	1.5
している	14.4	33.0	23.5	29.4	32.1	68.3	57.4	80.8	44.5	26.3	0.0
していない	41.9	28.4	25.8	16.2	11.2	58.4	20.0	50.5	20.1	13.6	3.6
無回答	41.8	58.2	58.2	58.2	58.2	55.7	55.7	44.3	58.2	0.0	0.0
女性	26.2	38.6	17.5	15.0	16.6	55.1	34.7	53.0	24.2	4.8	1.6
している	5.8	36.9	4.9	16.1	19.8	51.7	47.5	56.7	28.1	3.9	0.0
していない	51.5	41.0	33.2	13.7	12.9	59.8	19.5	47.9	18.4	5.9	3.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100	0.0	0.0

▼全国調査

	コンピューター の セットアップ	迅速な 修理 サービス	電話等による パソコンの 指導サービス	その他	特に サービスは 必要ない	無回答
男性	60.7	57.7	51.2	6.7	3.8	4.0
している	62.7	58.4	52.2	7.0	3.1	3.6
していない	52.3	55.0	47.3	5.5	6.7	5.7
女性	74.0	59.0	58.2	2.9	3.2	5.9
している	73.7	57.5	57.4	1.3	2.9	7.0
していない	74.4	60.3	59.0	4.4	3.5	4.9

■図表5 性別・就学の有無別

	障がい 補う機器、 ソフトウェア、 補助具などがあ れば	パソコンの 値段が 安くなれば	障がいにあ った機器・ ソフトや補助 具の値段が 安くなれば	インターネット 利用にかかる、 費用が 安くなれば	機器の購入や 通信費用に 対する、 お金の補助 があれば	身近に 使い方を、 教えてくれる ひとが 見つければ	誰か一緒に 始めるひとが いれば	使い方を勉強 するための 機会や場所 があれば	何か、 きっかけが あれば	その他	無回答
男性	28.1	33.4	27.5	26.6	25.9	63.1	41.9	65.1	35.7	18.7	1.5
在学中	27.9	34.6	16.3	15.7	12.3	59.0	30.3	51.2	26.9	6.9	5.6
卒業	23.6	26.9	25.2	23.9	24.2	65.6	41.3	72.0	34.1	27.8	0.0
無回答	50.1	61.7	61.7	61.7	61.7	59.9	68.9	60.9	61.7	0.0	0.0
女性	26.2	38.6	17.5	15.0	16.6	55.1	34.7	53.0	24.2	4.8	1.6
在学中	21.5	32.2	19.3	6.4	1.2	61.4	12.9	38.6	6.4	0.0	6.4
卒業	29.7	40.4	18.1	19.1	23.3	53.5	44.9	54.8	28.3	6.9	0.0
無回答	0.0	44.9	0.0	0.0	0.0	44.9	0.0	100	55.1	0.0	0.0



▼全国調査

	コンピューターの セットアップ	迅速な 修理 サービス	電話等による パソコンの 指導サービス	その他	特に サービスは 必要ない	無回答
男性	60.7	57.7	51.2	6.7	3.8	4.0
在学中	82.5	59.3	29.1	17.5	5.8	0.0
卒業	59.0	58.0	53.3	5.7	3.6	4.0
無回答	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
女性	74.0	59.0	58.2	2.9	3.2	5.9
在学中	76.1	47.4	47.4	0.0	6.3	0.0
卒業	73.8	59.5	58.7	3.1	3.1	6.3
無回答	100	100	100	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	障がい補う機器、ソフトウェア、補助具などあれば	パソコンの値段が安くなれば	障がいにあった機器・ソフトや補助具の値段が安くなれば	インターネット利用にかかる費用が安くなれば	機器の購入や通信費用に対する、お金の補助があれば	身近に使い方を、教えてくれるひとが見つければ	誰か一緒に始めるひとがいれば	使い方を勉強するための機会や場所があれば	何か、きっかけがあれば	その他	無回答
身体障害者手帳	43.2	45.4	39.6	32.2	33.1	52.6	28.5	54.0	23.6	4.1	0.0
1級	63.4	45.4	49.5	27.3	26.2	51.9	13.0	47.3	14.8	7.9	0.0
2級	37.4	59.4	49.5	48.3	36.0	30.7	39.6	64.0	59.9	0.0	0.0
3～6級	0.0	27.9	2.4	24.5	46.5	81.7	53.5	58.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	24.4	31.2	19.9	17.6	19.3	61.3	42.2	62.5	30.5	13.9	1.8
1～2度	60.1	7.9	31.9	1.1	0.0	52.6	15.1	64.7	21.9	16.5	0.0
3度	26.1	29.4	17.1	20.6	19.8	57.4	60.5	71.0	41.2	6.6	3.7
4度	4.4	44.7	15.0	24.8	29.4	68.2	46.6	56.7	29.1	16.6	1.8
どれも持っていない	0.0	100	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

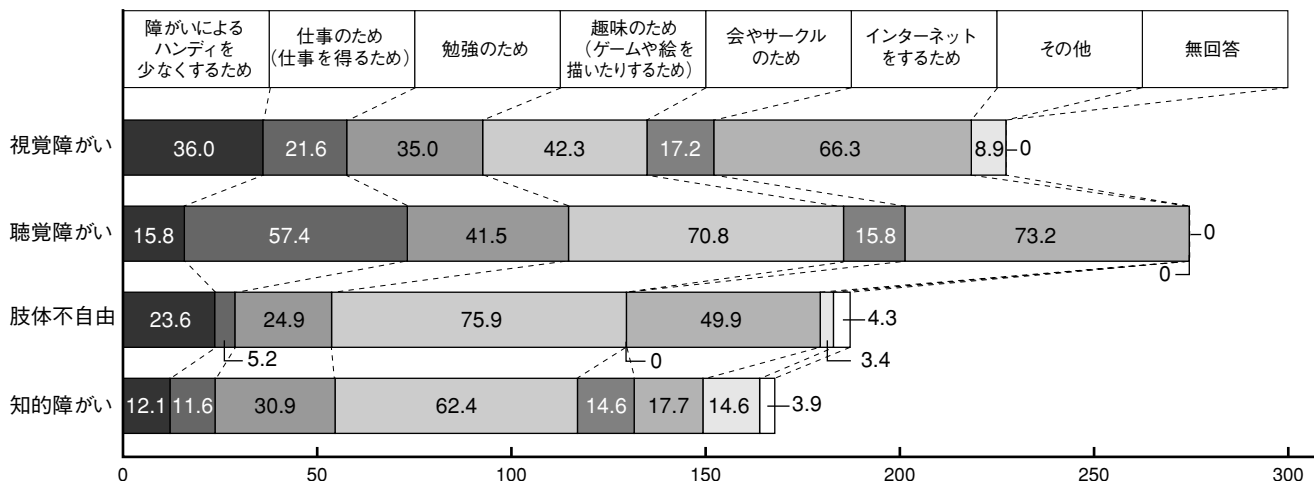
1-11 パソコンを利用する目的(%)

どのような目的でパソコンを利用したいと思いますか？(○はいくつでも)

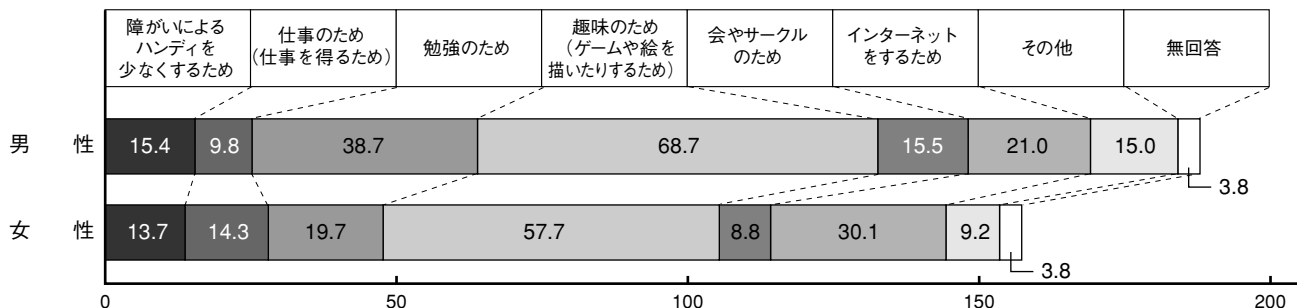
「趣味のため」(63.9%)が圧倒的

- ・障がいの種別に関わらず、「趣味のため」や「インターネットをするため」との回答が多い。また、「勉強のため」も共通して多い。
- ・他の障がいと比べ、視覚障がい者では「障がいによるハンディを少なくするため」(36%)、聴覚障がい者では「仕事のため(仕事を得るため)」(57.4%)という回答が多い点が目立つ。

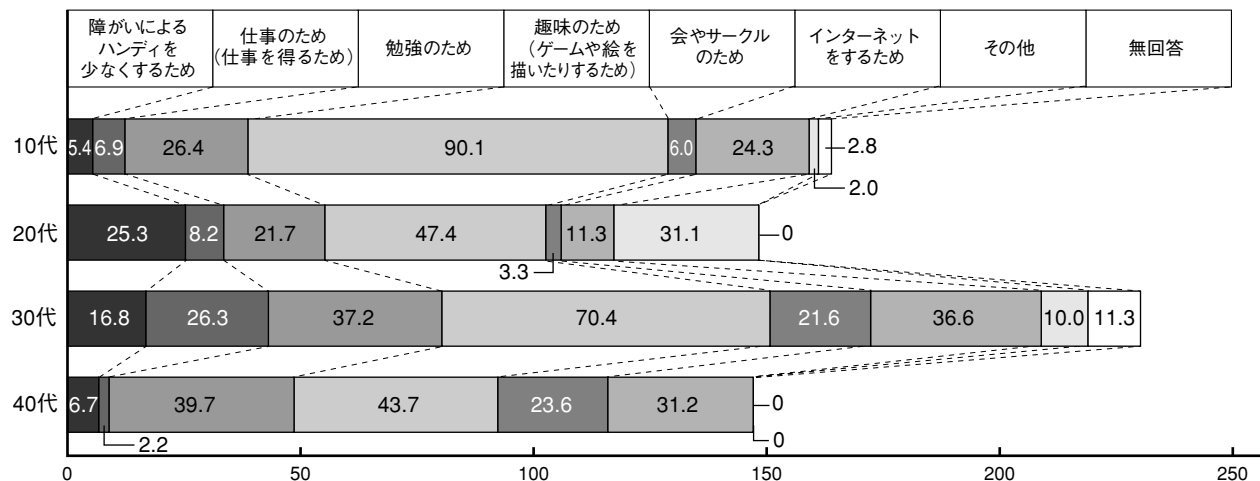
■図表1 障がい別

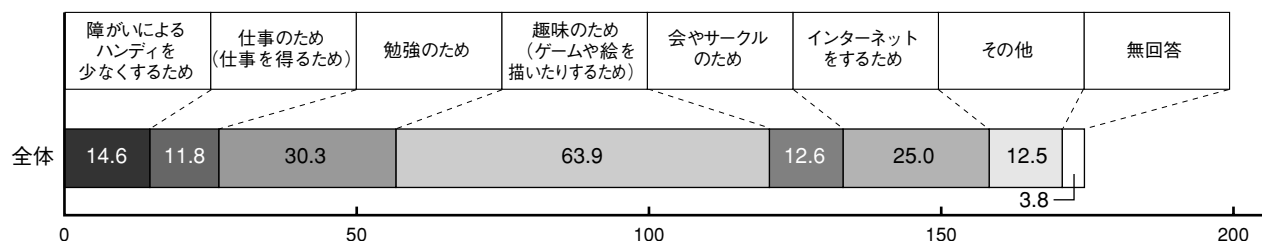


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	障害いによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
男性	15.4	9.8	38.7	68.7	15.5	21.0	15.0	3.8
している	15.3	12.9	60.4	79.7	17.2	22.6	5.7	7.6
していない	18.9	8.2	20.5	70.3	4.1	23.2	20.6	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	58.2	2.6	41.8	0.0
女性	13.7	14.3	19.7	57.7	8.8	30.1	9.2	3.8
している	12.0	23.2	12.2	55.1	13.1	27.2	3.9	3.9
していない	14.8	3.6	29.2	61.7	3.6	34.0	15.8	3.6
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	障害いによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
男性	15.4	9.8	38.7	68.7	15.5	21.0	15.0	3.8
在学中	6.4	12.1	27.5	95.5	5.6	22.2	3.4	0.0
卒業	18.2	6.5	47.2	65.3	10.1	20.2	17.0	6.2
無回答	20.7	20.7	20.7	29.7	61.7	22.5	29.3	0.0
女性	13.7	14.3	19.7	57.7	8.8	30.1	9.2	3.8
在学中	6.4	6.4	33.4	80.7	6.4	27.0	0.0	6.4
卒業	16.5	18.1	13.0	50.4	7.1	33.4	13.2	3.1
無回答	10.1	0.0	44.9	44.9	44.9	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	障害いによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
身体障害者手帳	29.8	9.6	26.4	57.1	7.3	47.5	12.1	5.0
1級	33.5	2.8	21.2	52.9	2.1	51.3	17.3	3.8
2級	46.3	28.0	35.6	65.3	23.5	54.7	11.6	0.0
3～6級	0.0	3.4	27.9	57.0	0.0	28.9	0.0	14.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	11.8	11.9	30.0	64.0	13.9	17.3	13.8	3.7
1～2度	20.5	0.0	6.3	46.9	0.0	0.0	42.7	0.0
3度	20.5	18.9	36.5	82.2	19.8	36.3	6.6	0.0
4度	2.4	14.5	39.1	63.0	18.0	15.9	2.4	7.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	0.0	100	100	100	0.0	100	0.0	0.0

2-1 インターネット利用率(%)

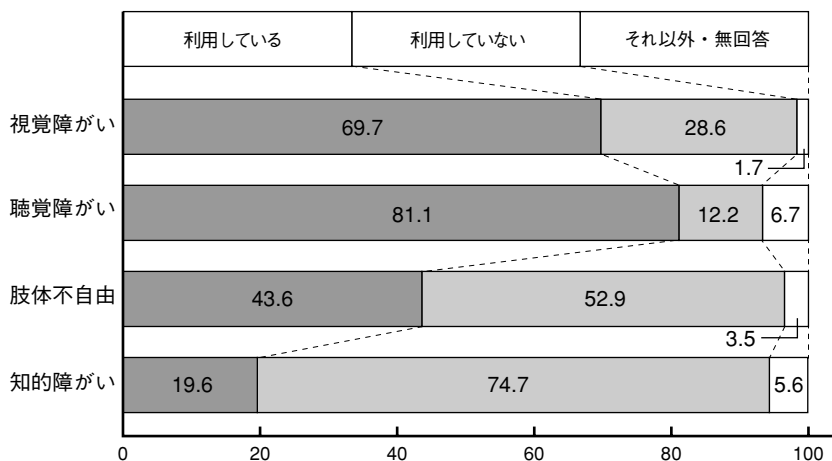
あなたはインターネットを利用していますか？(携帯電話等による利用も含む)



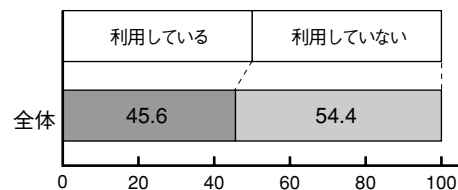
「使用している」は29.2%だが、障がい別の格差が大きい

- ・全国調査では「使用している」が45.6%。しかし、本調査の対象者が50歳未満であるのに対し、全国調査の対象者は70歳未満の方であることや一年間の時間差を考慮した場合、30%以上の差が生じていると考えられる。
- ・障がい別の利用格差も大きい。視覚障がい者は69.7%、聴覚障がい者は81.1%、肢体不自由者は43.6%が使用している。知的障がい者全体の使用は19.6%に止まっているが、愛の手帳4度所持者は25.8%が使用しており、格差はあるものの、障がい者全般に利用が広がっている。

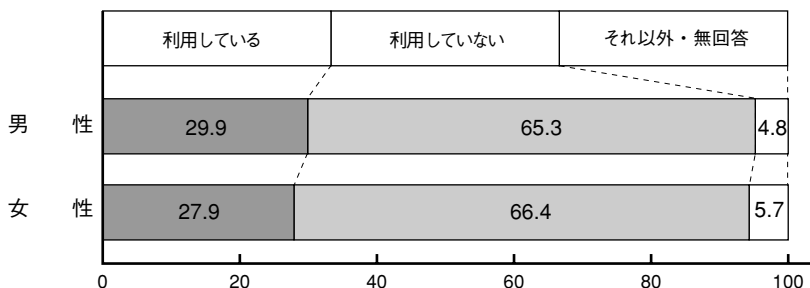
■図表1 障がい別



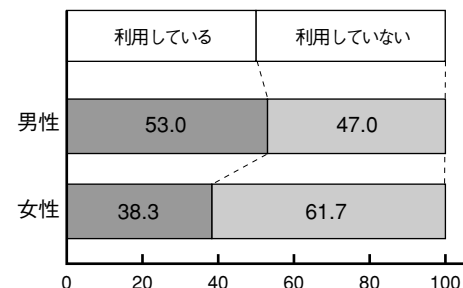
▼全国調査



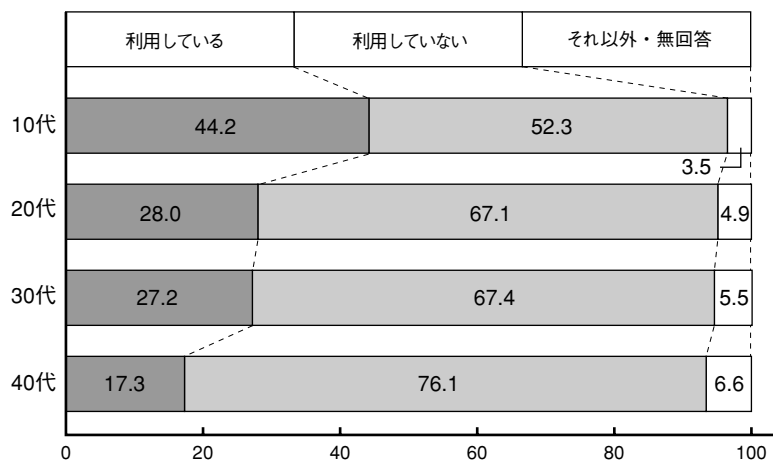
■図表2 性別



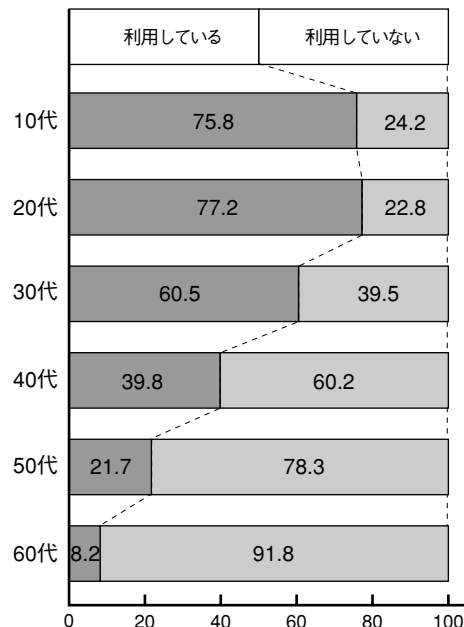
▼全国調査

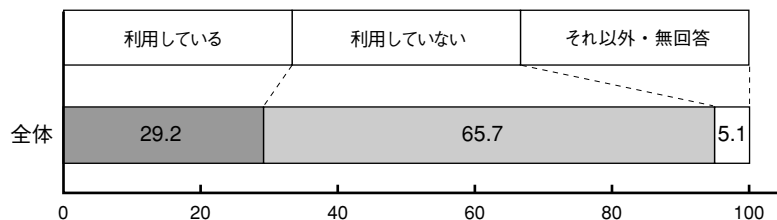


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	利用している	利用していない	それ以外・無回答
男性	37.5	8.6	51.8
している	30.1	65.2	4.7
していない	30.3	65.6	4.1
無回答	17.9	61.0	21.1
女性	35.0	12.1	50.1
している	26.9	69.2	4.0
していない	27.9	64.4	7.7
無回答	56.8	43.2	0.0

▼全国調査

	利用している	利用していない
男性	53.0	47.0
している	54.3	45.7
していない	47.2	52.8
女性	38.3	61.7
している	42.7	57.3
していない	32.2	67.8

■図表5 性別・就学の有無別

	利用している	利用していない	それ以外・無回答
男性	37.5	8.6	51.8
在学中	49.4	48.6	2.0
卒業	22.0	72.2	5.7
無回答	32.1	61.7	6.1
女性	35.0	12.1	50.1
在学中	43.3	50.6	6.1
卒業	22.7	71.2	6.1
無回答	17.4	82.6	0.0

▼全国調査

	利用している	利用していない
男性	53.0	47.0
在学中	84.6	15.4
卒業	49.3	50.7
無回答	21.4	78.6
女性	38.3	61.7
在学中	83.7	16.3
卒業	33.8	66.2
無回答	10.9	89.1

■図表6 手帳の種別・等級別

	利用している	利用していない	それ以外・無回答
身体障害者手帳	44.3	49.9	5.8
1級	38.8	55.1	6.1
2級	61.9	36.0	2.1
3～6級	32.6	56.4	11.0
無回答	0.0	100	0.0
愛の手帳	17.6	77.0	5.3
1～2度	6.4	86.0	7.6
3度	15.6	79.2	5.2
4度	25.8	70.0	4.2
無回答	34.8	65.2	0.0
どれも持っていない	70.6	29.4	0.0
無回答	60.2	0.0	39.8

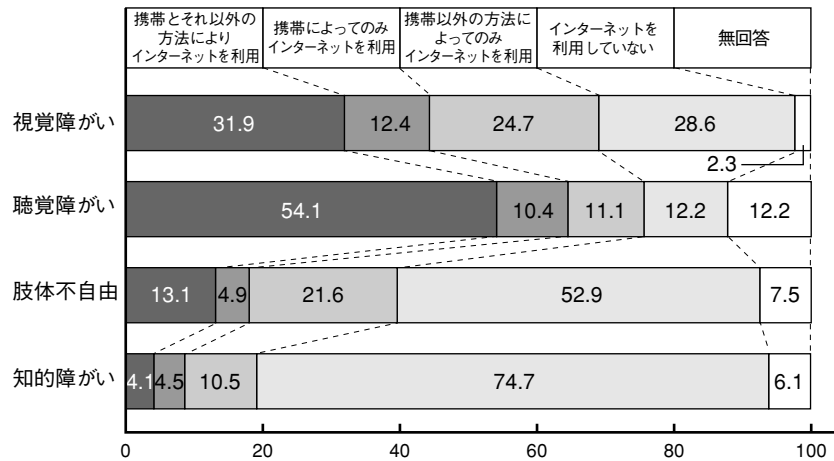
2-2 インターネット利用率(手段別)(%)

あなたはインターネットを利用していますか？(携帯電話等による利用も含む)

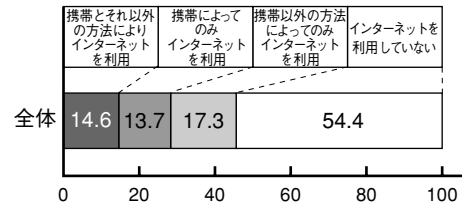
視覚障がい者の31.9%と聴覚障がい者の54.1%は「携帯電話」と「パソコン」で利用

・携帯電話とパソコンの両方によりインターネットを使用しているひとは全国調査では14.6%であり、比較すると、視覚障がい者(31.9%)と聴覚障がい者(54.1%)の利用率は高い。肢体不自由者と知的障がい者はパソコンによるインターネット利用が中心となっている。

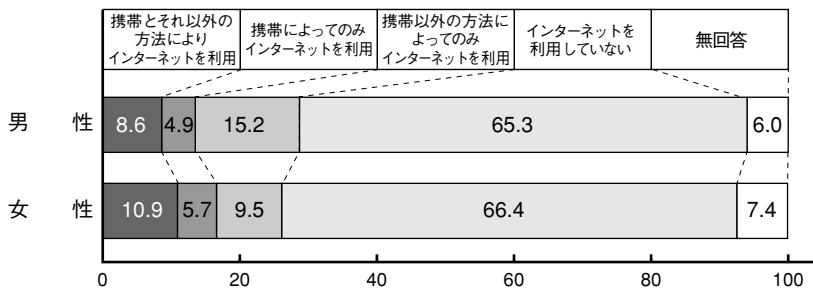
■図表1 障がい別



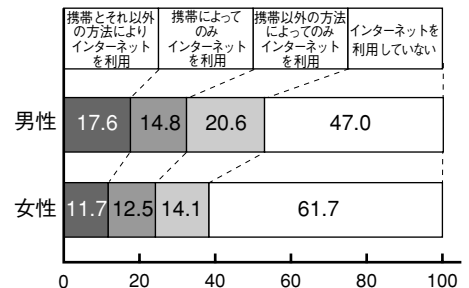
▼全国調査



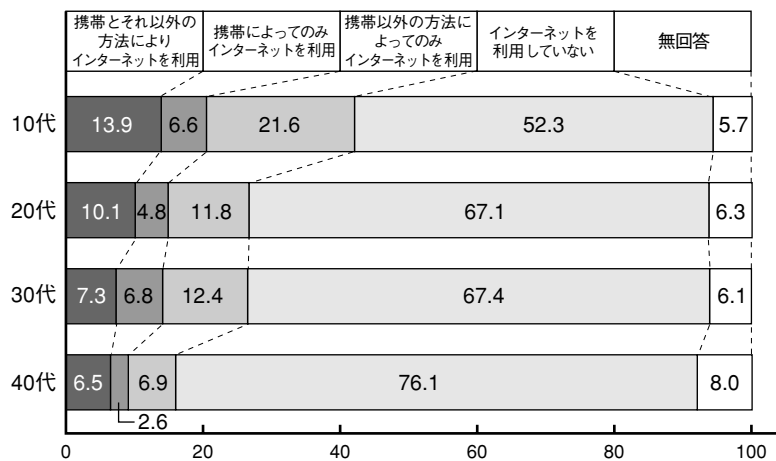
■図表2 性別



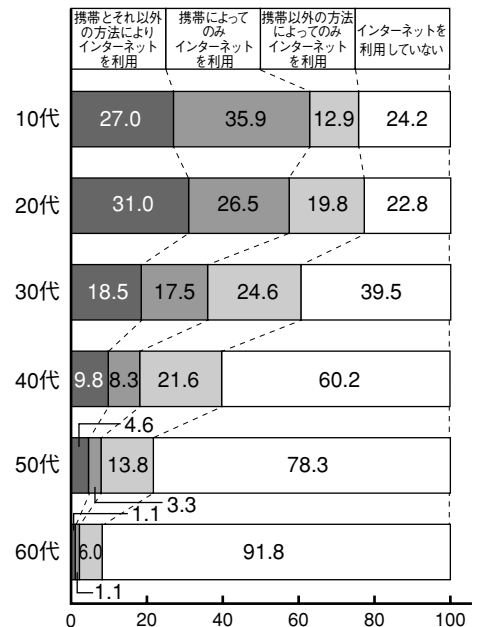
▼全国調査

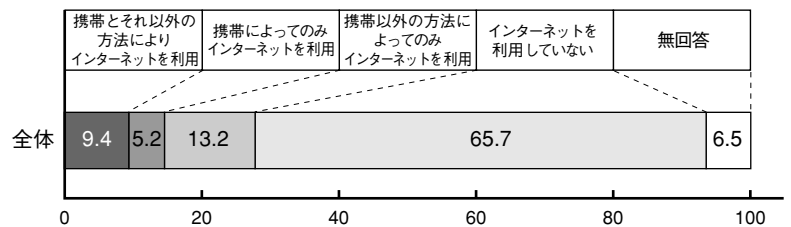


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用	携帯によってのみインターネットを利用	携帯以外の方法によってのみインターネットを利用	インターネットを利用していない	無回答
男性	8.6	4.9	15.2	65.3	6.0
している	9.2	5.3	13.7	65.2	6.7
していない	8.2	4.8	16.7	65.6	4.7
無回答	6.4	0.0	11.4	61.0	21.1
女性	10.9	5.7	9.5	66.4	7.4
している	9.4	7.4	9.8	69.2	4.3
していない	11.6	4.2	9.6	64.4	10.1
無回答	35.0	0.0	0.0	43.2	21.8

▼全国調査

	携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用	携帯によってのみインターネットを利用	携帯以外の方法によってのみインターネットを利用	インターネットを利用していない
男性	17.6	14.8	20.6	47.0
している	17.7	14.8	21.8	45.7
していない	17.2	15.1	14.9	52.8
女性	11.7	12.5	14.1	61.7
している	13.6	13.2	15.9	57.3
していない	9.2	11.6	11.5	67.8

■図表5 性別・就学の有無別

	携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用	携帯によってのみインターネットを利用	携帯以外の方法によってのみインターネットを利用	インターネットを利用していない	無回答
男性	8.6	4.9	15.2	65.3	6.0
在学中	15.9	7.6	24.9	48.6	3.1
卒業	6.4	2.9	11.3	72.2	7.1
無回答	1.7	14.8	15.6	61.7	6.1
女性	10.9	5.7	9.5	66.4	7.4
在学中	19.5	6.4	13.6	50.6	9.9
卒業	7.8	5.8	8.1	71.2	7.1
無回答	7.8	1.8	7.8	82.6	0.0

▼全国調査

	携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用	携帯によってのみインターネットを利用	携帯以外の方法によってのみインターネットを利用	インターネットを利用していない
男性	17.6	14.8	20.6	47.0
在学中	35.8	25.7	23.1	15.4
卒業	15.3	13.6	20.4	50.7
無回答	9.8	0.0	11.5	78.6
女性	11.7	12.5	14.1	61.7
在学中	38.3	28.4	17.1	16.3
卒業	9.0	11.0	13.9	66.2
無回答	5.4	0.0	5.4	89.1

■図表6 手帳の種別・等級別

	携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用	携帯によってのみインターネットを利用	携帯以外の方法によってのみインターネットを利用	インターネットを利用していない	無回答
身体障害者手帳	18.8	6.4	16.7	49.9	8.2
1級	10.6	4.8	21.5	55.1	8.1
2級	34.7	9.4	13.6	36.0	6.3
3～6級	16.2	6.4	9.3	56.4	11.6
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0
愛の手帳	3.3	4.5	9.3	77.0	5.9
1～2度	0.9	0.7	4.5	86.0	8.0
3度	1.9	3.8	9.9	79.2	5.2
4度	5.0	7.5	12.2	70.0	5.3
無回答	34.8	0.0	0.0	65.2	0.0
どれも持っていない	18.7	2.1	49.9	29.4	0.0
無回答	19.5	0.0	27.2	0.0	53.3

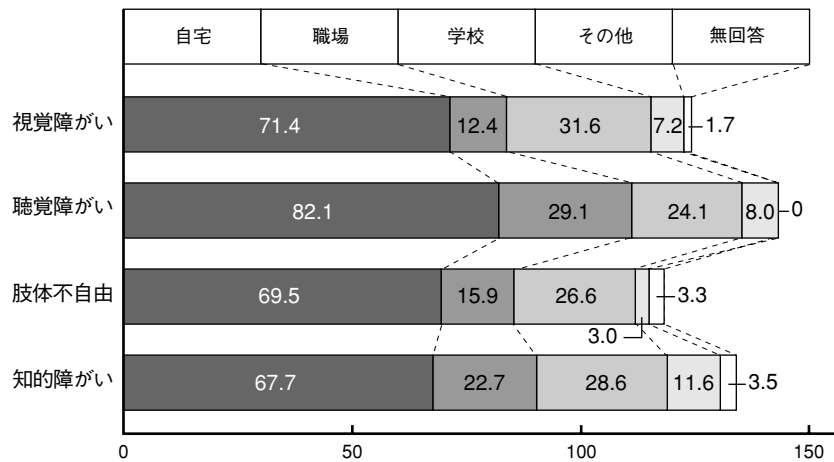
2-3 インターネット利用場所(%)

あなたは、インターネットをどこで利用していますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)(○はいくつでも)

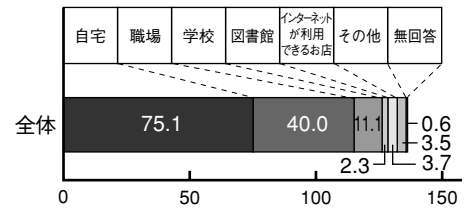
「自宅」での利用が70.7%

- ・「自宅」での利用は、聴覚障がい者が80%を超えており(82.1%)、他の障がい者においても70%前後となっている。
- ・就業している男女についても、「職場」での利用(それぞれ45.9%、33.4%)は「自宅」(それぞれ75.1%、76.8%)を大きく下回っている。

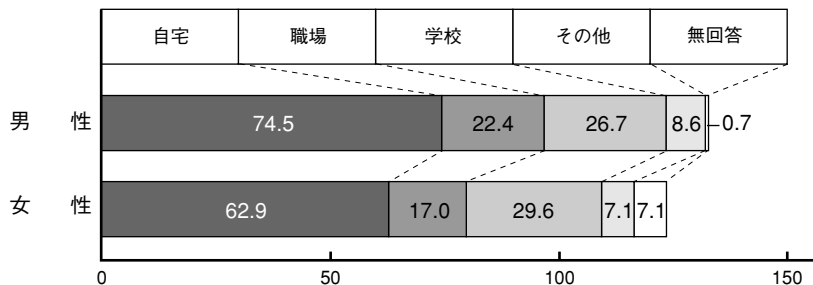
■図表1 障がい別



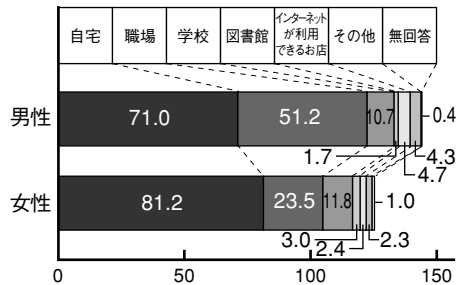
▼全国調査



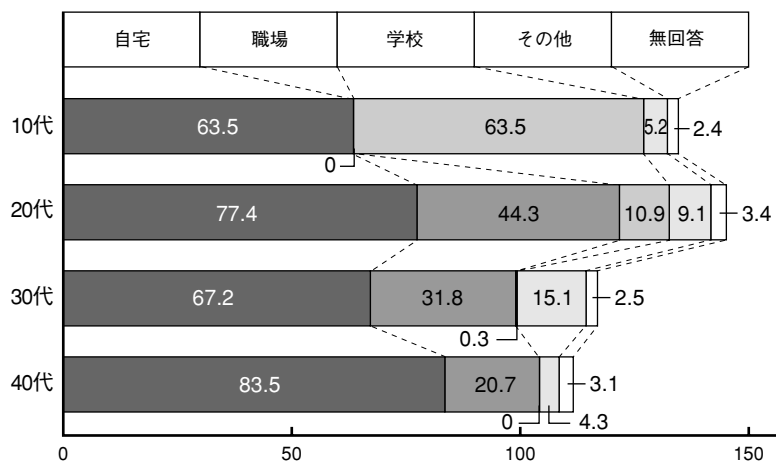
■図表2 性別



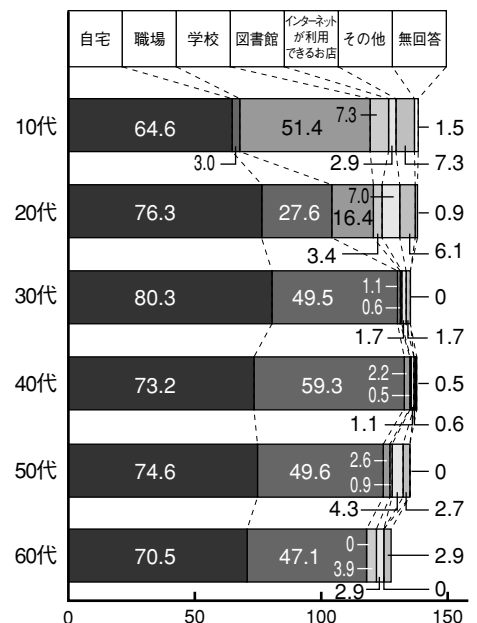
▼全国調査



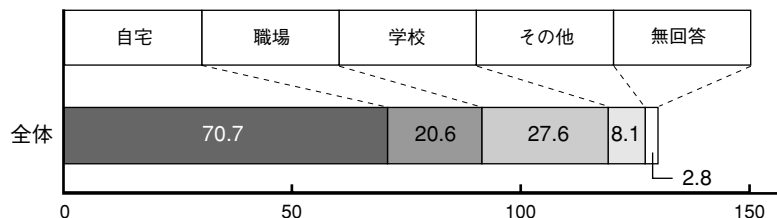
■図表3 年代別



▼全国調査



で、インターネットを利用している方に対して)



■図表4 性別・就業の有無別

	自 宅	職 場	学 校	その他	無回答
男性	74.5	22.4	26.7	8.6	0.7
している	75.1	45.9	4.5	12.0	0.0
していない	75.0	1.3	46.6	5.7	0.0
無回答	44.6	0.0	49.7	0.0	41.7
女性	62.9	17.0	29.6	7.1	7.1
している	76.8	33.4	0.0	11.5	4.7
していない	53.3	4.9	51.5	4.1	9.6
無回答	38.4	0.0	61.6	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	自 宅	職 場	学 校	その他	無回答
男性	74.5	22.4	26.7	8.6	0.7
在学中	72.4	5.4	59.5	5.5	0.0
卒業	77.1	34.8	0.3	10.5	0.0
無回答	66.6	50.1	3.4	16.7	16.7
女性	62.9	17.0	29.6	7.1	7.1
在学中	48.4	1.1	66.8	4.8	7.8
卒業	72.4	32.1	0.0	9.6	7.0
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	自 宅	職 場	学 校	その他	無回答
身体障害者手帳	73.3	21.3	27.5	4.4	3.1
1級	76.1	12.3	18.2	5.0	2.5
2級	69.4	29.8	29.3	2.9	2.0
3～6級	75.2	26.5	54.5	6.8	8.4
愛の手帳	70.2	21.9	21.6	12.1	2.8
1～2度	65.0	21.4	40.5	17.0	0.0
3度	47.3	26.8	20.4	13.6	5.8
4度	80.6	14.8	19.7	11.2	2.0
無回答	100	100	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	77.2	0.0	42.4	19.6	0.0
無回答	3.4	0.0	77.0	6.4	16.5

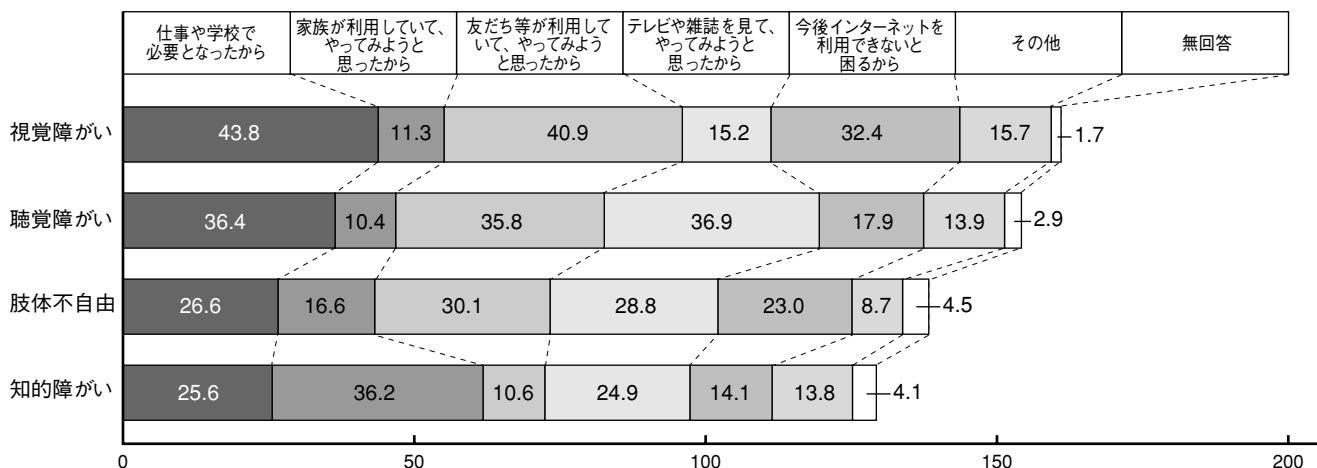
2-4-① インターネットを始めたきっかけ(%)

あなたがインターネットを始めたきっかけは何ですか？(携帯電話・PHS以外による方法)(○はいくつでも)

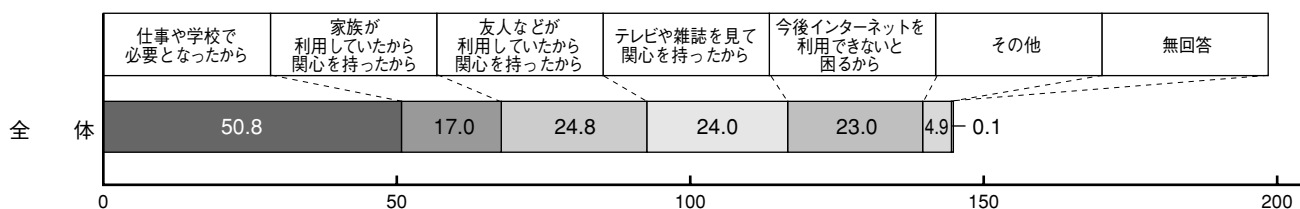
「仕事や学校で必要となったから」が29.2%

- ・「仕事や学校で必要となったから」との回答がいずれの障がいにおいても多い。特に、視覚障がい者(43.8%)では多くなっている。また、他の障がいと比べ、「今後インターネットを利用できないと困るから」(32.4%)の回答も多い。
- ・知的障がい者においては、「家族が利用していた」が36.2%と最も多いが、他の障がいでは、「友だちなどが利用していたから」との回答が多い。
- ・就業している男性に関しては、「仕事や学校で必要となったから」(40.1%)が最も多くなっている。

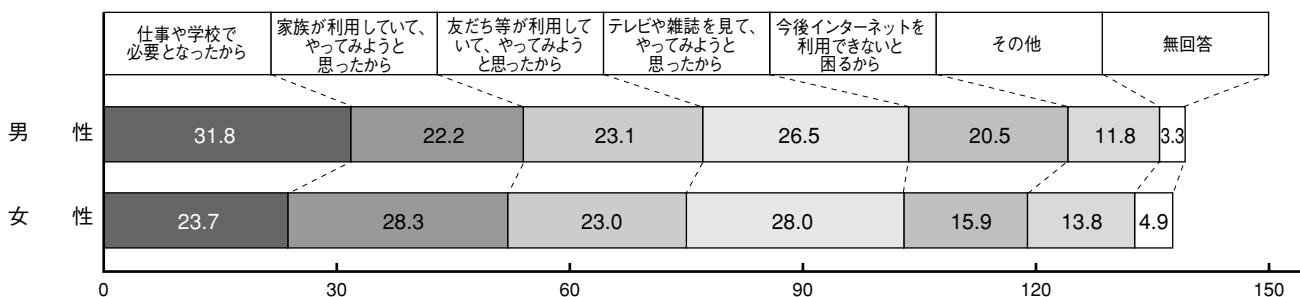
■図表1 障がい別



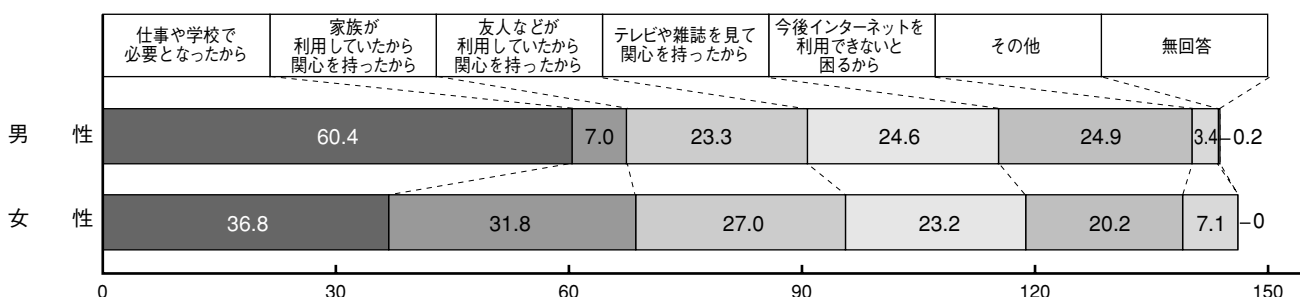
▼全国調査

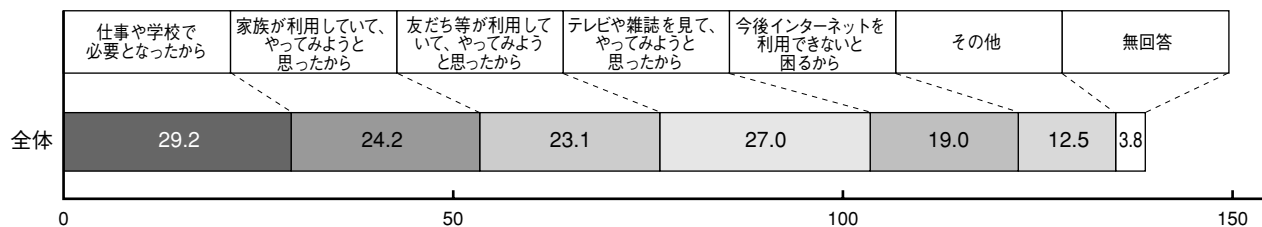


■図表2 性別

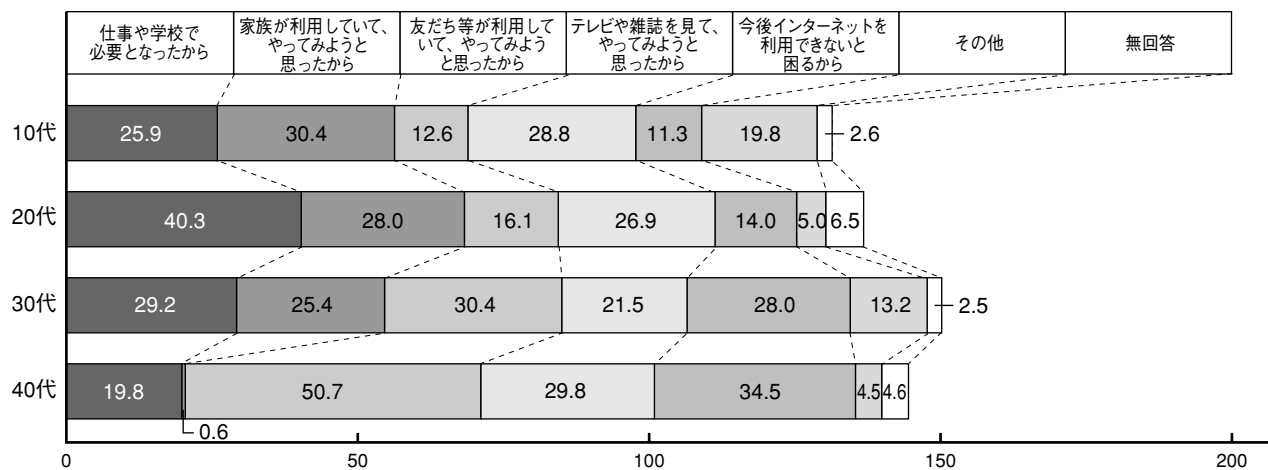


▼全国調査

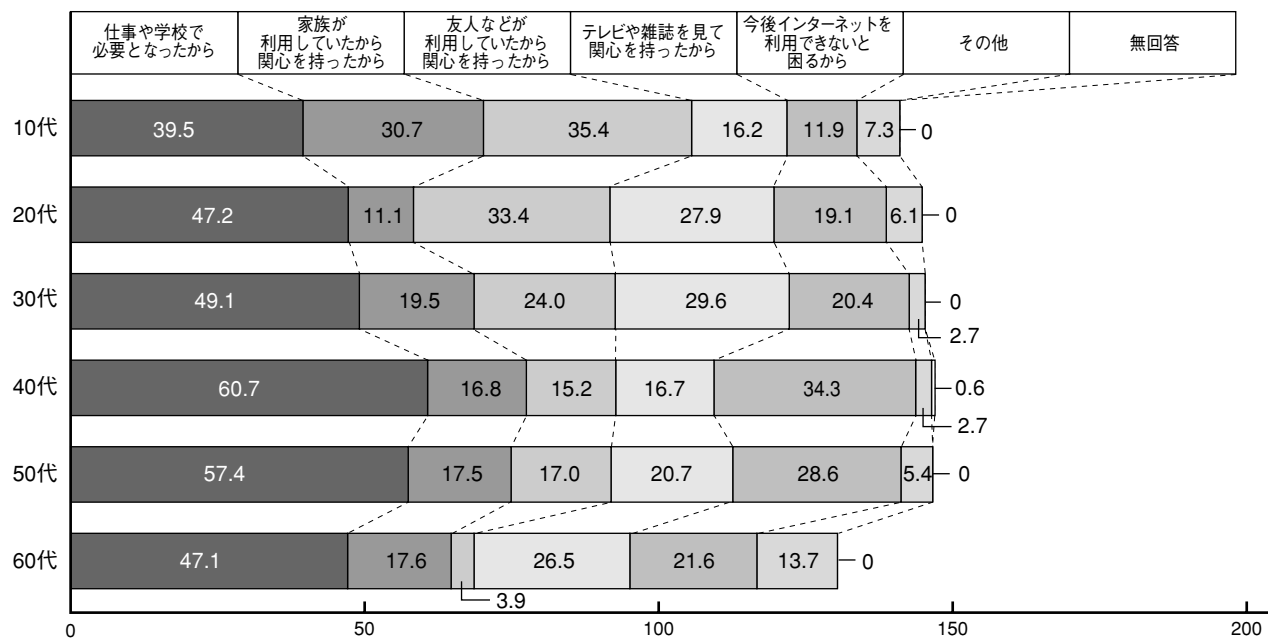




■図表3 年代別



▼全国調査



2-4-② インターネットを始めたきっかけ(%)

あなたがインターネットを始めたきっかけは何ですか？(携帯電話・PHS以外による方法)(○はいくつでも)

■図表4 性別・就業の有無別

	仕事や学校で必要となったから	家族が利用していて、やってみようと思ったから	友だちなどが利用していて、やってみようと思ったから	テレビや雑誌を見て、やってみようと思ったから	今後インターネットを利用できないと困るから	その他	無回答
男性	31.8	22.2	23.1	26.5	20.5	11.8	3.3
している	40.1	11.4	28.4	19.1	23.8	8.9	4.5
していない	24.4	32.3	18.9	33.2	18.2	14.7	1.0
無回答	22.3	22.3	0.0	30.9	0.0	8.6	41.7
女性	23.7	28.3	23.0	28.0	15.9	13.8	4.9
している	26.8	43.0	29.2	19.3	25.3	4.8	1.7
していない	22.0	18.3	15.5	29.4	9.4	22.3	8.0
無回答	14.4	0.0	52.8	100	0.0	0.0	0.0

▼全国調査

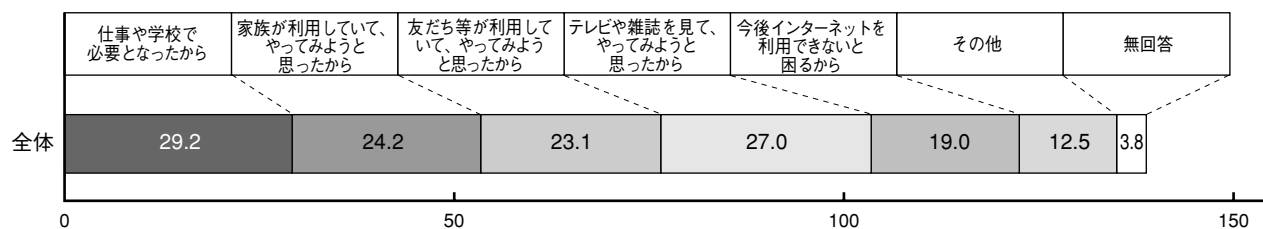
	仕事や学校で必要となったから	家族が利用していたから関心を持ったから	友人などが利用していたから関心を持ったから	テレビや雑誌を見て関心を持ったから	今後インターネットを利用できないと困るから	その他	無回答
している	54.5	13.0	23.9	24.2	23.9	4.5	0.2
していない	38.4	30.7	28.0	23.6	20.1	6.4	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	仕事や学校で必要となったから	家族が利用していて、やってみようと思ったから	友だちなどが利用していて、やってみようと思ったから	テレビや雑誌を見て、やってみようと思ったから	今後インターネットを利用できないと困るから	その他	無回答
男性	31.8	22.2	23.1	26.5	20.5	11.8	3.3
在学中	30.4	29.9	19.2	24.7	14.3	15.1	1.1
卒業	31.2	17.1	27.5	28.3	27.6	9.7	4.1
無回答	53.5	3.4	9.6	23.6	0.0	3.4	16.7
女性	23.7	28.3	23.0	28.0	15.9	13.8	4.9
在学中	28.5	21.7	9.6	30.7	8.5	24.7	5.8
卒業	21.5	28.3	36.3	27.8	19.7	5.5	4.5
無回答	0.0	100	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

▼全国調査

	仕事や学校で必要となったから	家族が利用していたから関心を持ったから	友人などが利用していたから関心を持ったから	テレビや雑誌を見て関心を持ったから	今後インターネットを利用できないと困るから	その他	無回答
在学中	54.4	21.6	23.2	22.7	16.2	4.6	0.0
卒業	50.0	15.9	25.2	24.4	24.5	5.0	0.2
無回答	52.5	18.8	28.7	18.8	37.7	0.0	0.0



■図表6 手帳の種別・等級別

	仕事や学校で必要となったから	家族が利用していて、やってみようと思ったから	友だち等が利用していて、やってみようと思ったから	テレビや雑誌を見て、やってみようと思ったから	今後インターネットを利用できないと困るから	その他	無回答
身体障害者手帳	31.8	15.3	35.8	25.8	21.7	12.8	3.3
1級	26.6	15.8	36.8	24.3	28.3	13.2	3.8
2級	33.3	15.5	37.3	28.0	18.0	10.3	3.8
3～6級	45.6	12.9	27.8	24.8	9.9	19.0	0.0
愛の手帳	24.0	39.0	12.4	24.9	15.8	10.4	3.5
1～2度	3.3	38.1	10.0	6.7	0.0	55.2	0.0
3度	37.3	43.4	15.3	17.2	27.6	4.8	0.0
4度	17.0	39.4	12.2	33.8	14.2	4.7	6.1
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	26.3	31.3	0.0	42.4	0.0	19.6	0.0
無回答	11.9	0.0	3.4	22.5	6.4	39.2	16.5

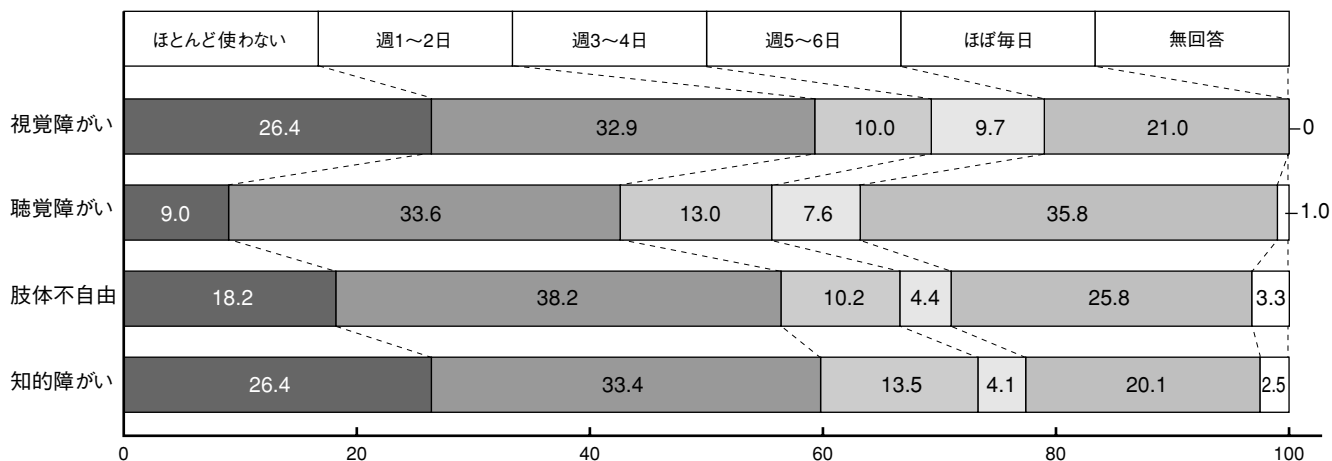
2-5 一週間のインターネット利用日数(%)

あなたは、1週間平均、何日くらいインターネットを利用しますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)

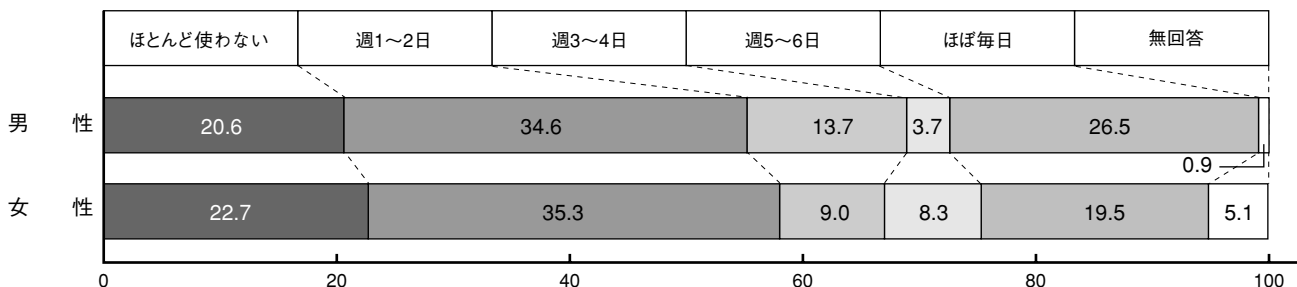
「週1～2日」が34.8%、次いで「ほぼ毎日」が24.2%

・障がいの種別に関わらず、「ほとんど使わない」または「週1～2日」という利用者と「ほぼ毎日」使っている利用者に大きく分けられる。

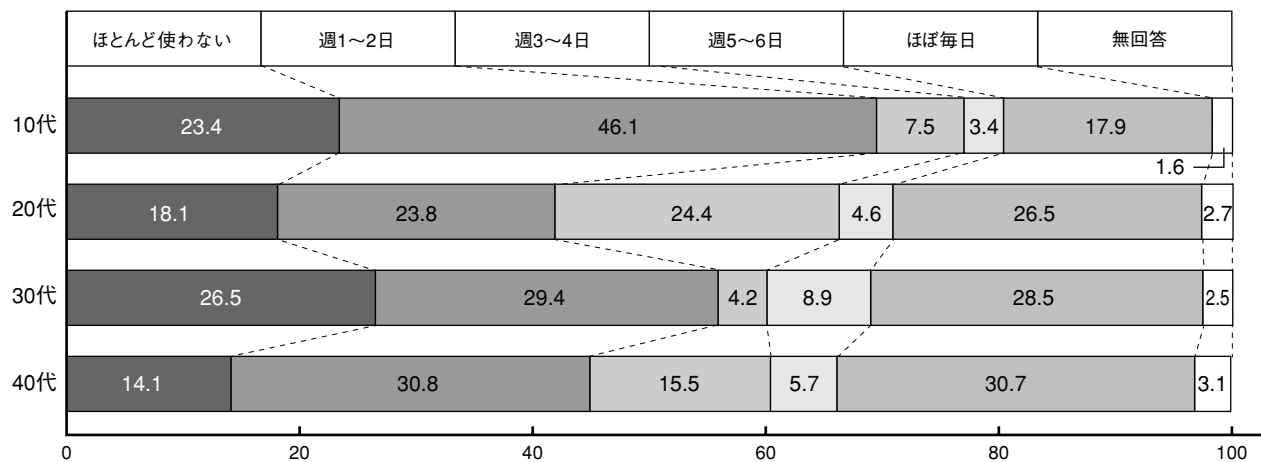
■図表1 障がい別

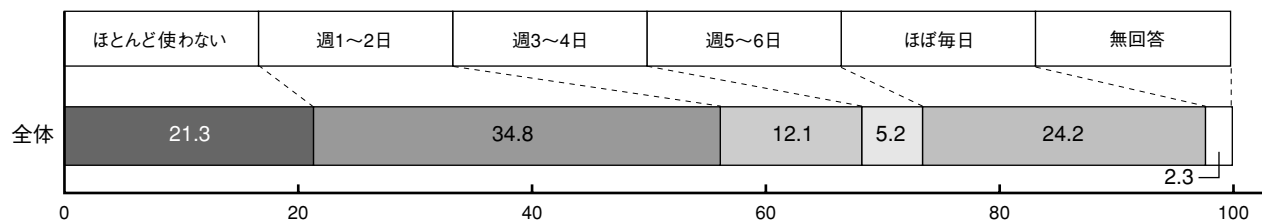


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	ほとんど使わない	週1~2日	週3~4日	週5~6日	ほぼ毎日	無回答
男性	20.6	34.6	13.7	3.7	26.5	0.9
している	20.0	31.2	15.5	1.9	31.4	0.0
していない	20.7	38.2	12.4	5.5	22.8	0.5
無回答	36.0	22.3	0.0	0.0	0.0	41.7
女性	22.7	35.3	9.0	8.3	19.5	5.1
している	23.1	17.3	14.0	10.4	30.4	4.7
していない	24.3	45.0	5.6	7.3	12.0	5.9
無回答	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	ほとんど使わない	週1~2日	週3~4日	週5~6日	ほぼ毎日	無回答
男性	20.6	34.6	13.7	3.7	26.5	0.9
在学中	22.1	39.5	9.4	4.5	23.9	0.5
卒業	20.8	31.3	17.9	3.3	26.8	0.0
無回答	3.4	23.2	6.5	0.0	50.1	16.7
女性	22.7	35.3	9.0	8.3	19.5	5.1
在学中	27.7	48.6	3.3	3.4	13.7	3.3
卒業	20.3	26.6	10.7	9.3	26.0	7.0
無回答	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	ほとんど使わない	週1~2日	週3~4日	週5~6日	ほぼ毎日	無回答
身体障害者手帳	17.0	36.1	10.9	5.5	27.5	3.1
1級	16.5	37.4	13.4	6.0	24.9	1.9
2級	16.4	36.6	11.3	5.9	27.8	2.0
3~6級	20.6	30.1	1.2	2.4	35.3	10.4
愛の手帳	26.8	33.9	14.1	4.9	18.7	1.6
1~2度	31.6	50.0	3.3	3.3	11.8	0.0
3度	38.4	29.6	9.0	0.0	17.2	5.8
4度	15.7	34.9	19.7	7.9	21.8	0.0
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	46.9	26.8	0.0	3.6	22.8	0.0
無回答	16.7	63.4	0.0	0.0	3.4	16.5

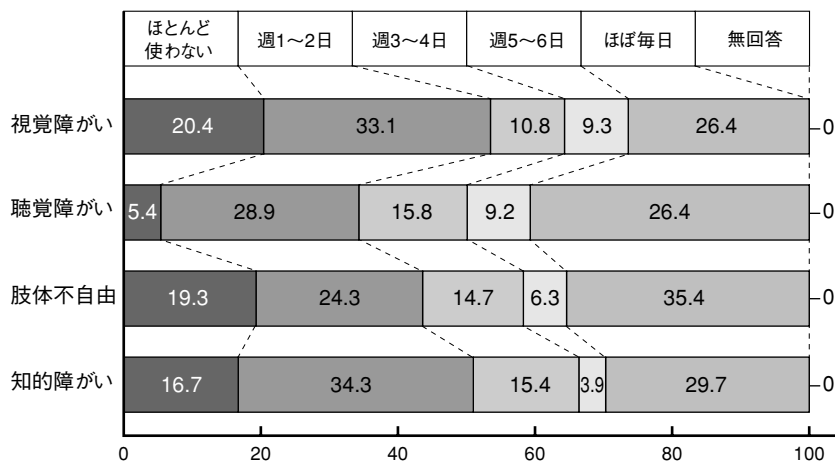
2-6 自宅での一週間のインターネット利用日数(%)

あなたは、自宅で、1週間平均、何日くらいインターネットを利用しますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)

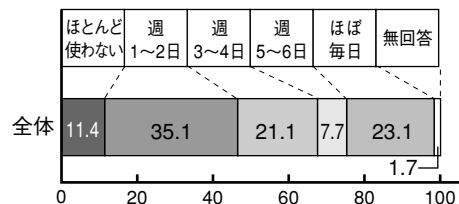
「ほぼ毎日」が33%、次いで「週1～2日」が30.3%

- ・障がいの種別に関わらず、「ほぼ毎日」使っている利用者と「ほとんど使わない」または「週1～2日」という利用者とに大きく分けられる。
- ・学校や職場でのみ利用しているひとがいるため、前の質問とは異なり、「ほぼ毎日」と「週1～2日」の回答順位が代わったと考えられる。

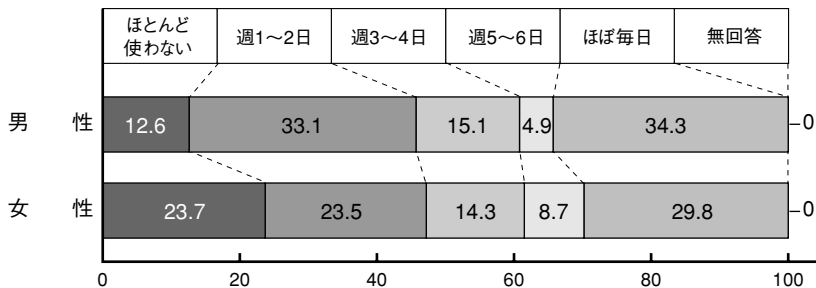
■図表1 障がい別



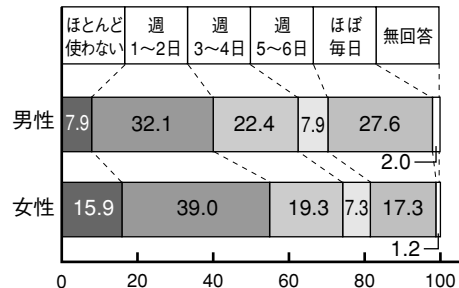
▼全国調査



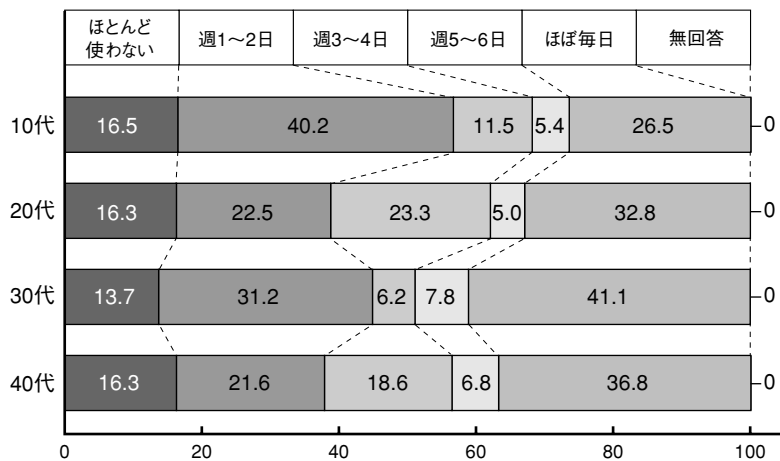
■図表2 性別



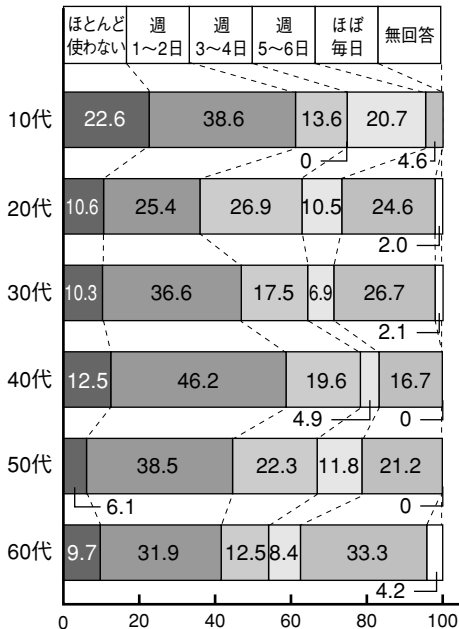
▼全国調査



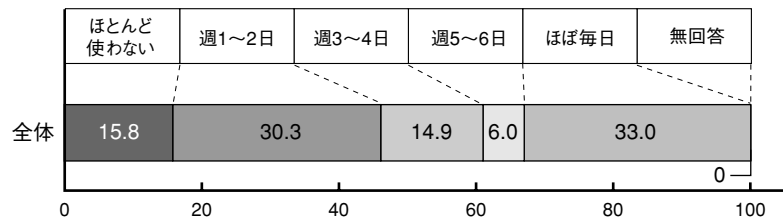
■図表3 年代別



▼全国調査



で、インターネットを利用している方に対して)



■図表4 手帳の種別・等級別

	ほとんど使わない	週1~2日	週3~4日	週5~6日	ほぼ毎日
身体障害者手帳	13.6	29.8	14.4	6.8	35.4
1級	19.1	25.8	17.5	7.1	30.5
2級	5.6	33.6	15.6	7.8	37.4
3~6級	16.8	33.1	0.0	3.1	47.0
愛の手帳	17.8	35.7	15.2	4.8	26.6
1~2度	15.7	55.8	5.1	5.1	18.2
3度	22.1	22.4	19.1	0.0	36.4
4度	10.7	38.9	16.9	6.4	27.1
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	31.3	34.6	0.0	4.6	29.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100

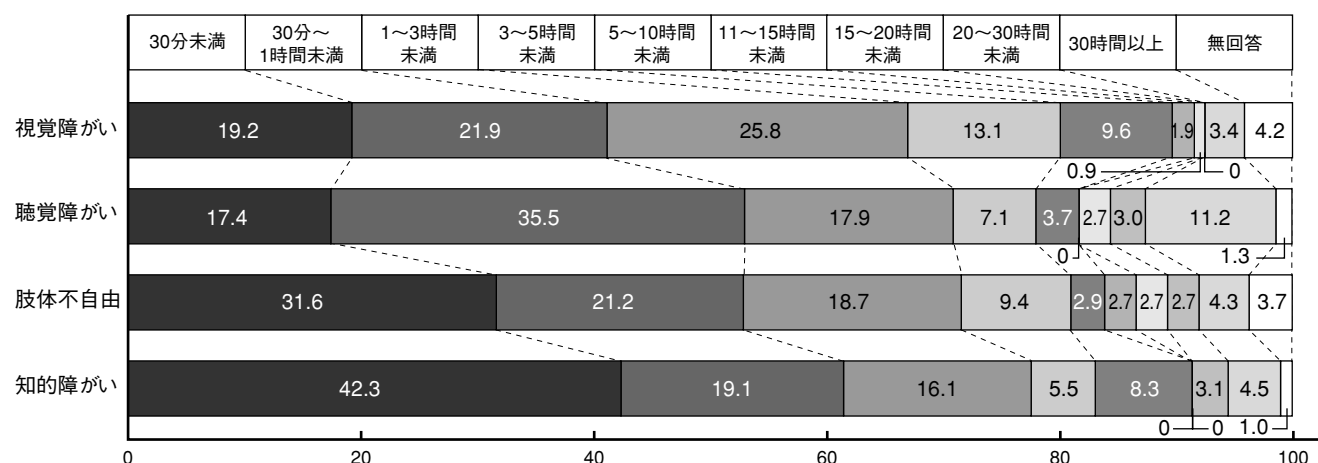
2-7-① 一週間のインターネット利用時間(%)

あなたは、1週間平均、何時間くらいインターネットを利用しますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)

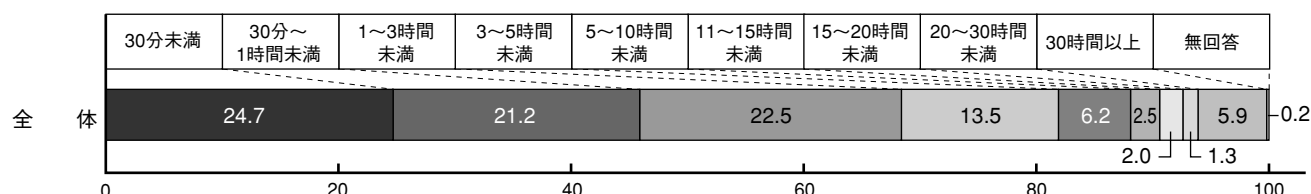
「週1時間未満(計)」が55.7%、「週3時間未満(計)」が73.8%

- ・「週1時間未満(計)」との回答は、それぞれ、視覚障がい者41.1%、聴覚障がい者52.9%、肢体不自由者52.8%、知的障がい者61.4%となっている。
- ・「週3時間未満(計)」との回答は、それぞれ、視覚障がい者66.9%、聴覚障がい者70.8%、肢体不自由者71.5%、知的障がい者77.5%となっている。

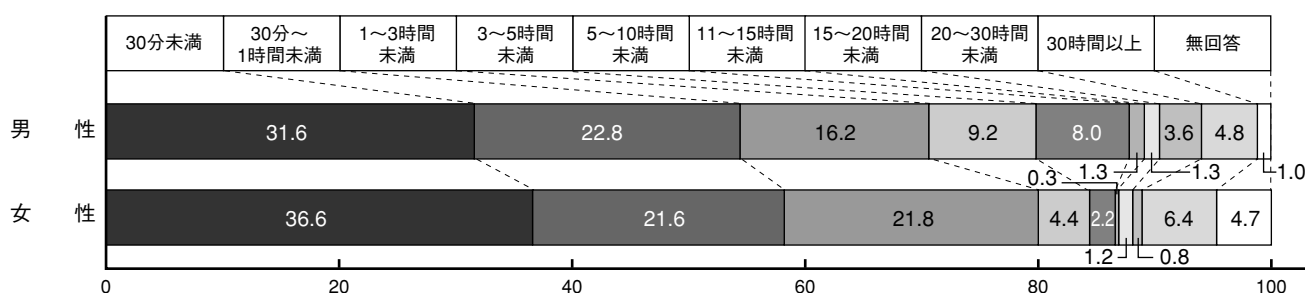
■図表1 障がい別



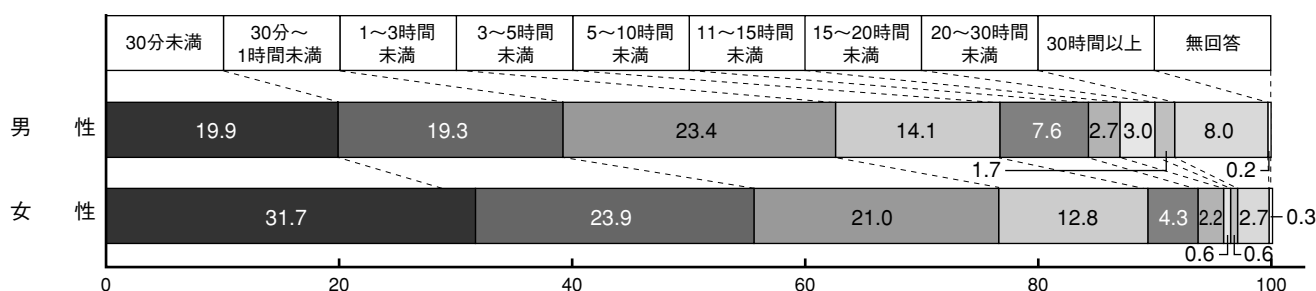
▼全国調査

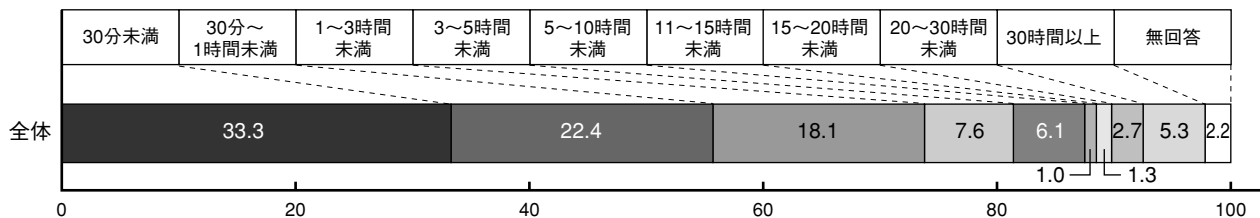


■図表2 性別

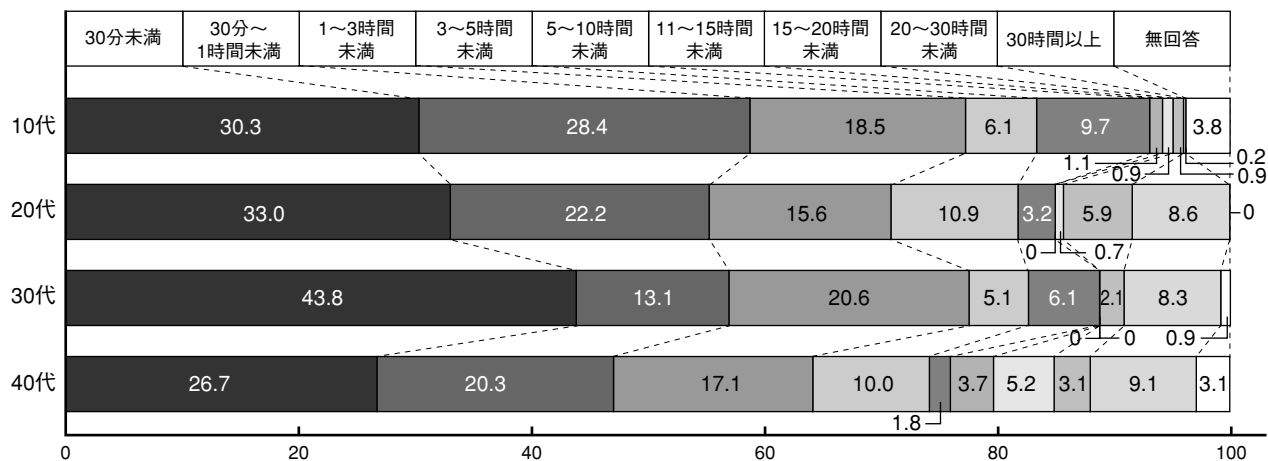


▼全国調査

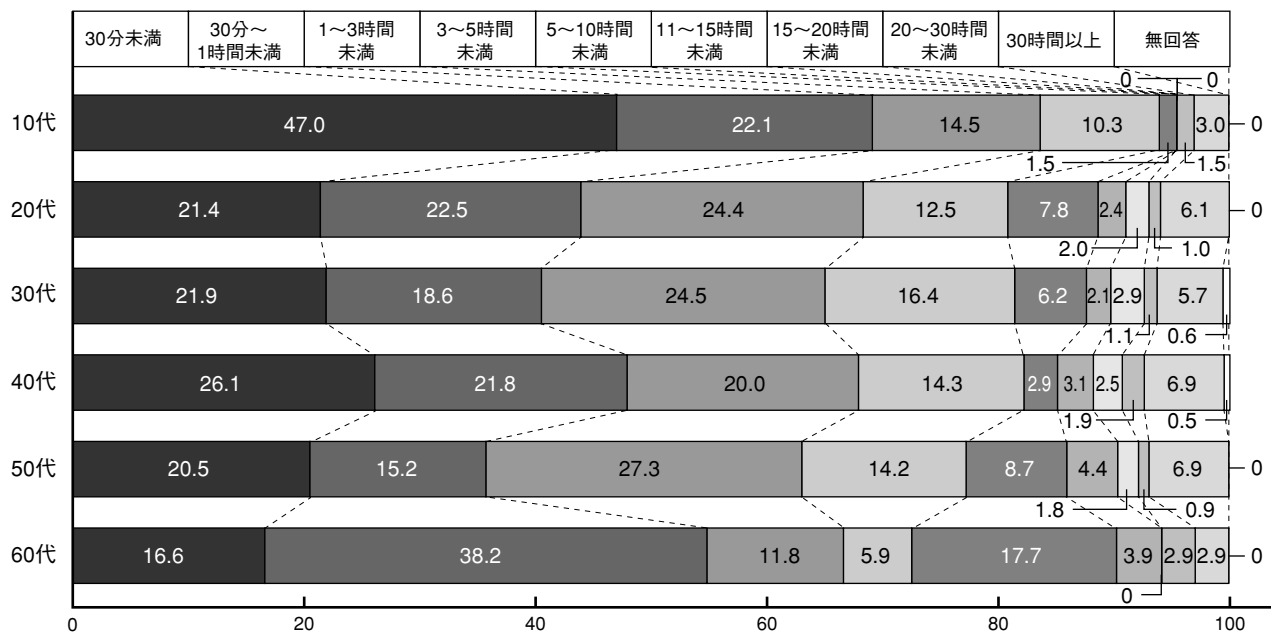




■図表3 年代別



▼全国調査



2-7-② 一週間のインターネット利用時間(%)

あなたは、1週間平均、何時間くらいインターネットを利用しますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)

■図表4 性別・就業の有無別

	30分未満	30分～1時間未満	1～3時間未満	3～5時間未満	5～10時間未満	11～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30時間以上	無回答
男性	31.6	22.8	16.2	9.2	8.0	1.3	1.3	3.6	4.8	1.0
している	32.2	21.5	18.2	9.0	5.2	0.3	1.5	6.5	5.4	0.2
していない	31.7	23.9	14.4	9.7	10.9	2.4	1.3	1.0	4.4	0.3
無回答	13.7	27.4	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7
女性	31.7	23.9	21.0	12.8	4.3	2.2	0.6	0.6	2.7	0.3
している	46.8	11.3	18.5	3.8	0.9	0.0	1.2	1.9	14.7	0.9
していない	27.3	27.5	26.3	5.3	3.5	0.5	1.4	0.0	0.0	8.3
無回答	47.2	52.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▼全国調査

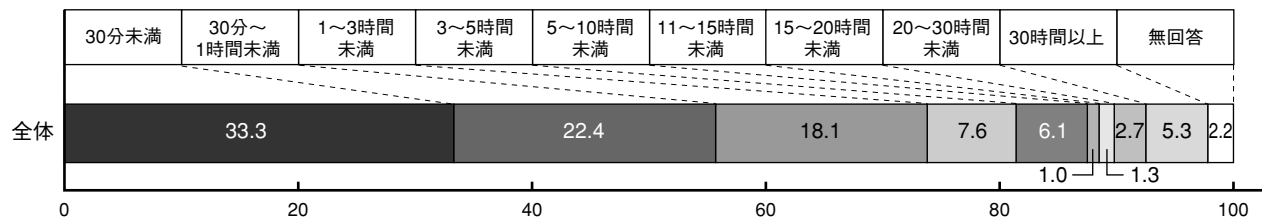
	30分未満	30分～1時間未満	1～3時間未満	3～5時間未満	5～10時間未満	11～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30時間以上	無回答
している	22.1	21.1	23.7	14.2	6.1	2.5	2.2	1.1	6.6	0.3
していない	33.3	21.5	18.2	11.3	6.5	2.5	1.5	1.8	3.4	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	30分未満	30分～1時間未満	1～3時間未満	3～5時間未満	5～10時間未満	11～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30時間以上	無回答
男性	31.6	22.8	16.2	9.2	8.0	1.3	1.3	3.6	4.8	1.0
在学中	29.5	25.8	16.5	6.6	12.5	1.1	1.1	5.9	0.6	0.3
卒業	36.1	17.5	16.5	10.9	4.8	1.6	1.6	1.9	8.9	0.2
無回答	0.0	56.6	10.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
女性	31.7	23.9	21.0	12.8	4.3	2.2	0.6	0.6	2.7	0.3
在学中	30.5	28.1	20.6	6.2	4.2	0.6	0.0	0.0	0.0	9.8
卒業	40.8	17.6	20.6	3.2	0.7	0.0	2.4	1.6	12.4	0.7
無回答	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▼全国調査

	30分未満	30分～1時間未満	1～3時間未満	3～5時間未満	5～10時間未満	11～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30時間以上	無回答
在学中	31.8	19.3	25.2	11.2	3.8	1.7	0.9	0.8	5.3	0.0
卒業	23.1	21.7	21.9	14.2	6.6	2.7	2.3	1.3	5.9	0.3
無回答	18.8	0.0	16.8	0.0	28.7	0.0	0.0	16.8	18.8	0.0



■図表6 手帳の種別・等級別

	30分未満	30分～1時間未満	1～3時間未満	3～5時間未満	5～10時間未満	11～15時間未満	15～20時間未満	20～30時間未満	30時間以上	無回答
身体障害者手帳	29.0	25.4	18.7	8.4	3.9	1.7	2.2	4.5	5.3	0.8
1級	29.2	23.2	20.6	9.9	3.0	2.1	1.6	3.9	5.8	0.7
2級	29.3	28.6	19.5	6.0	5.4	1.8	1.7	0.8	6.5	0.4
3～6級	27.1	23.5	9.9	10.6	2.4	0.0	6.0	18.1	0.0	2.5
愛の手帳	46.5	17.8	15.4	6.2	7.9	0.0	0.0	0.0	5.0	1.2
1～2度	41.7	12.6	11.8	0.0	23.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2
3度	59.6	13.2	5.0	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	12.4	0.0
4度	43.8	22.2	22.1	4.7	4.4	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	4.6	22.8	42.4	3.6	22.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
無回答	39.2	18.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	39.0

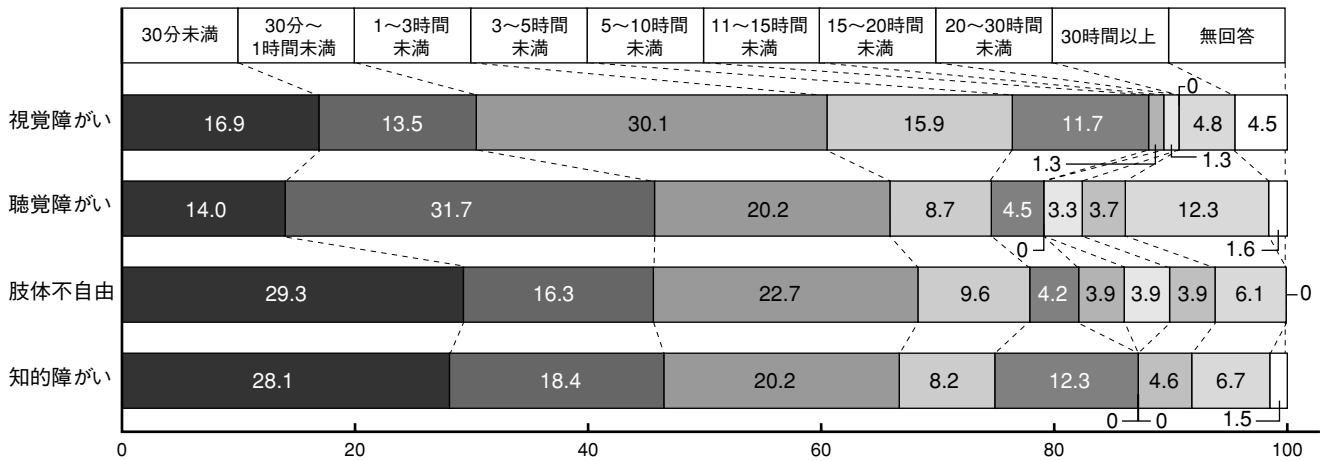
2-8-① 自宅での一週間のインターネット利用時間(%)

あなたは、自宅で、1週間平均、何時間くらいインターネットを利用しますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)

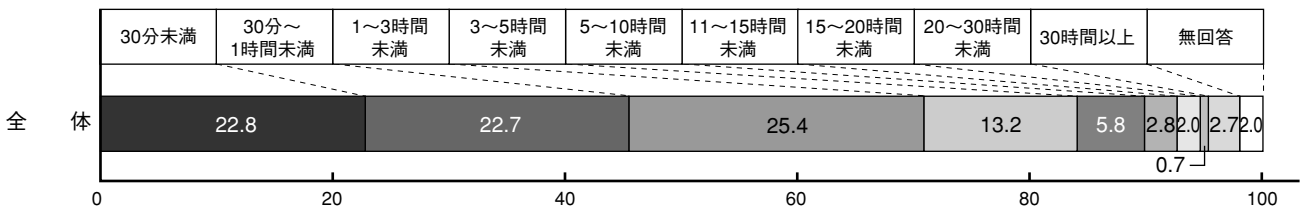
「週1時間未満(計)」が44.6%、「週3時間未満(計)」が66.5%

- ・「週1時間未満(計)」との回答は、それぞれ、視覚障がい者30.4%、聴覚障がい者45.7%、肢体不自由者45.6%、知的障がい者46.5%となっている。
- ・「週3時間未満(計)」との回答は、それぞれ、視覚障がい者60.5%、聴覚障がい者65.9%、肢体不自由者68.3%、知的障がい者66.7%となっている。
- ・学校や職場でのみ利用しているひとと比べ、自宅での利用者は利用時間が長いことがわかる。

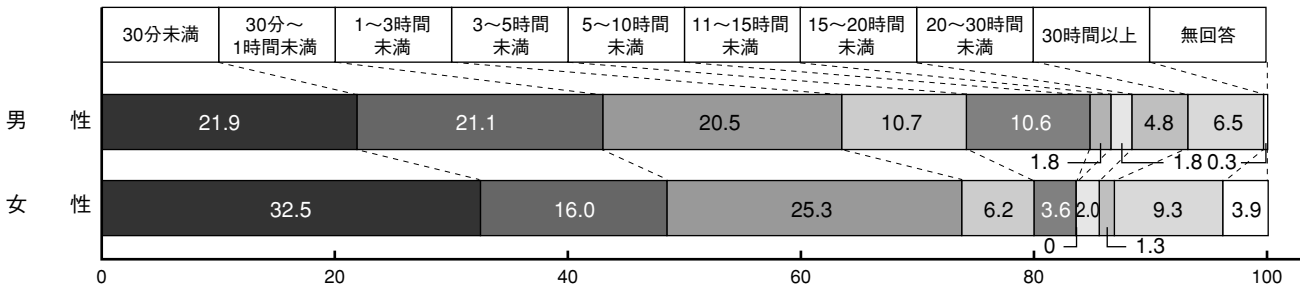
■図表1 障がい別



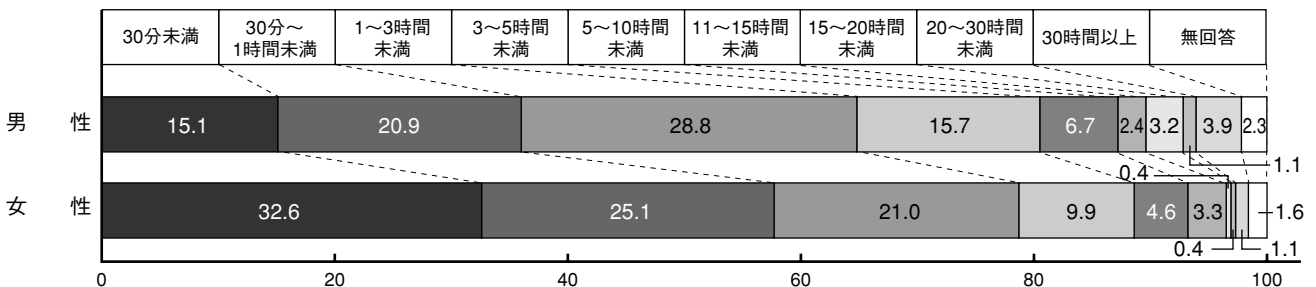
▼全国調査

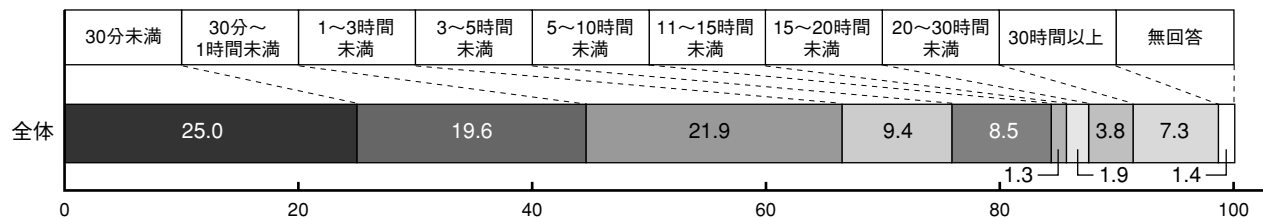


■図表2 性別

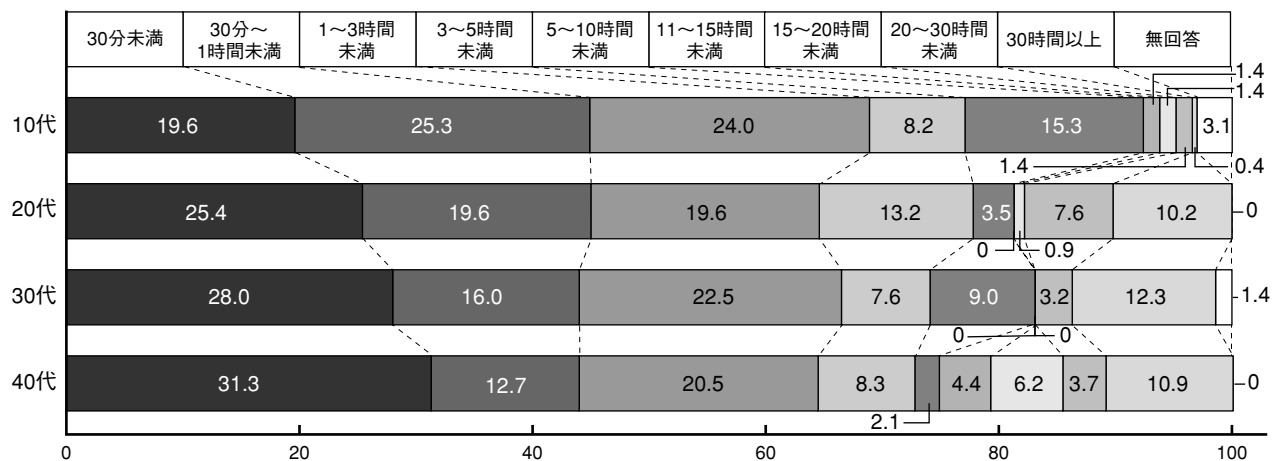


▼全国調査

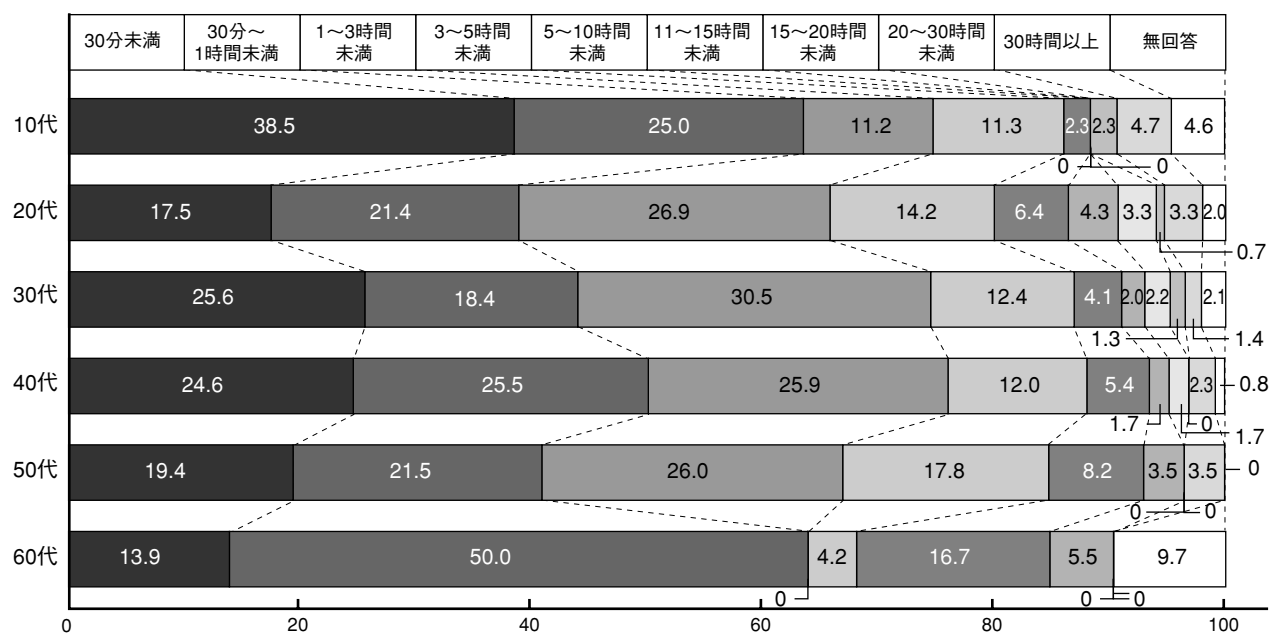




■図表3 年代別



▼全国調査

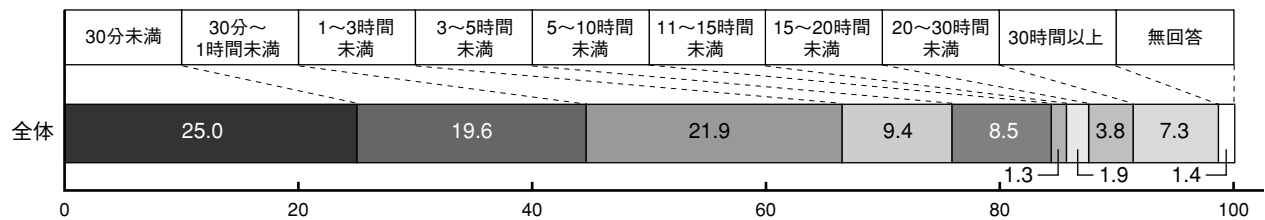


2-8-② 自宅での一週間のインターネット利用時間(%)

あなたは、自宅で、1週間平均、何時間くらいインターネットを利用しますか？(携帯電話・PHSによる利用は除きます)

■図表4 手帳の種別・等級別

	30分未満	30分～1時間 未満	1～3時間 未満	3～5時間 未満	5～10時間 未満	11～15時間 未満	15～20時間 未満	20～30時間 未満	30時間以上	無回答
身体障害者手帳	24.6	20.9	21.1	9.2	5.1	2.1	3.0	6.2	6.9	0.9
1級	26.3	20.1	22.3	10.0	4.0	2.3	2.1	5.2	6.8	1.0
2級	24.4	22.8	23.6	6.6	7.1	2.6	2.4	1.1	9.4	0.0
3～6級	19.4	18.1	9.8	14.1	3.1	0.0	8.0	24.1	0.0	3.3
愛の手帳	32.8	20.1	18.1	8.8	11.3	0.0	0.0	0.0	7.2	1.7
1～2度	10.2	19.4	18.2	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.7
3度	44.5	0.0	8.8	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0	26.2	0.0
4度	35.5	27.5	22.2	5.9	5.5	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	5.9	0.0	54.9	4.6	29.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0



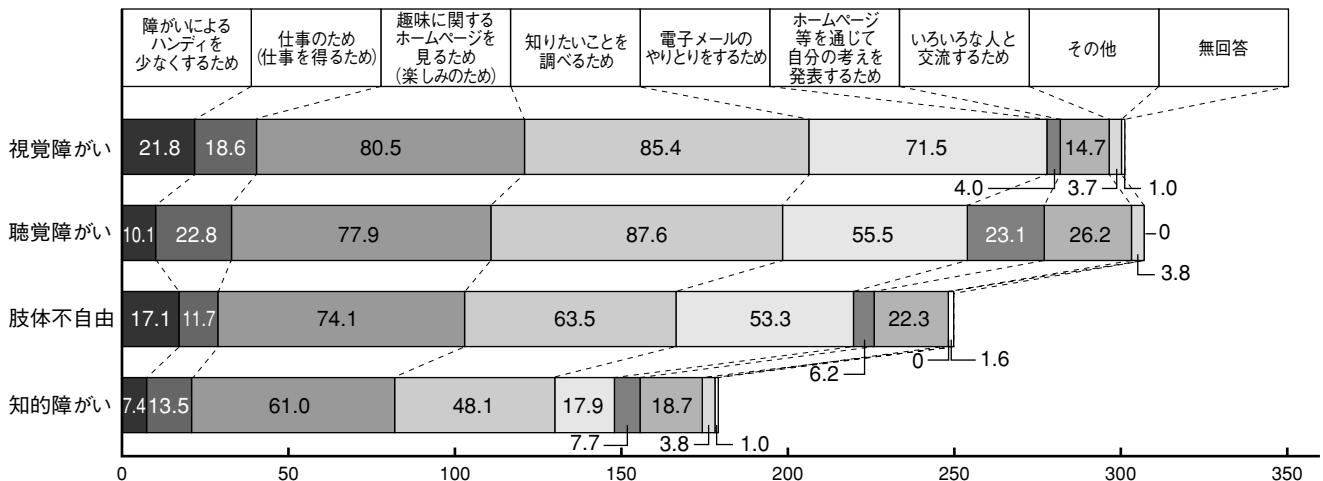
2-9 インターネットの利用目的(利用場所問わず)(%)

インターネットを使っているのは何のためですか? (○はいくつでも)

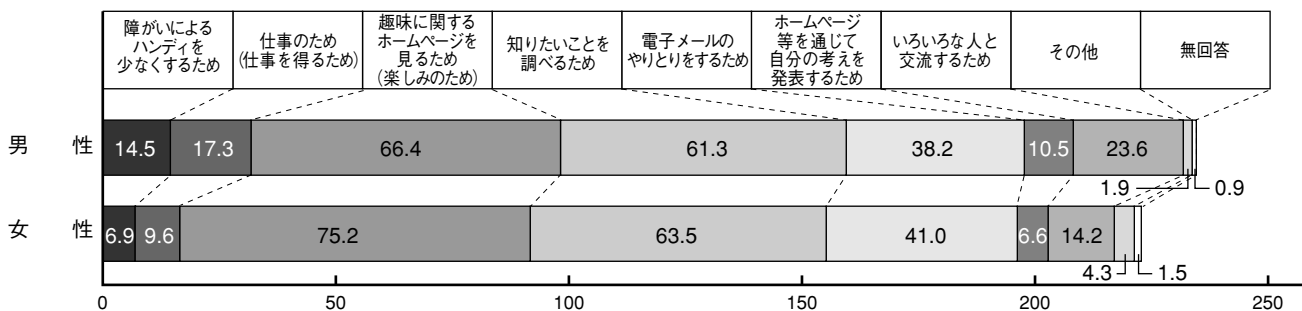
「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」が69.2%、「知りたいことを調べるため」が62.1%

- ・障がいの種別に関わらず、「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」、「知りたいことを調べるため」と「電子メールのやりとりをするため」の回答が多い。ただ、「電子メールのやりとりをするため」については、他の障がいと比べ、視覚障がい者の回答が多く(71.5%)、知的障がい者の回答は少ない(17.9%)。
- ・就業しているひと、特に男性に関しては、「仕事のため(仕事を得るため)」(29.2%)の回答が比較的多い。

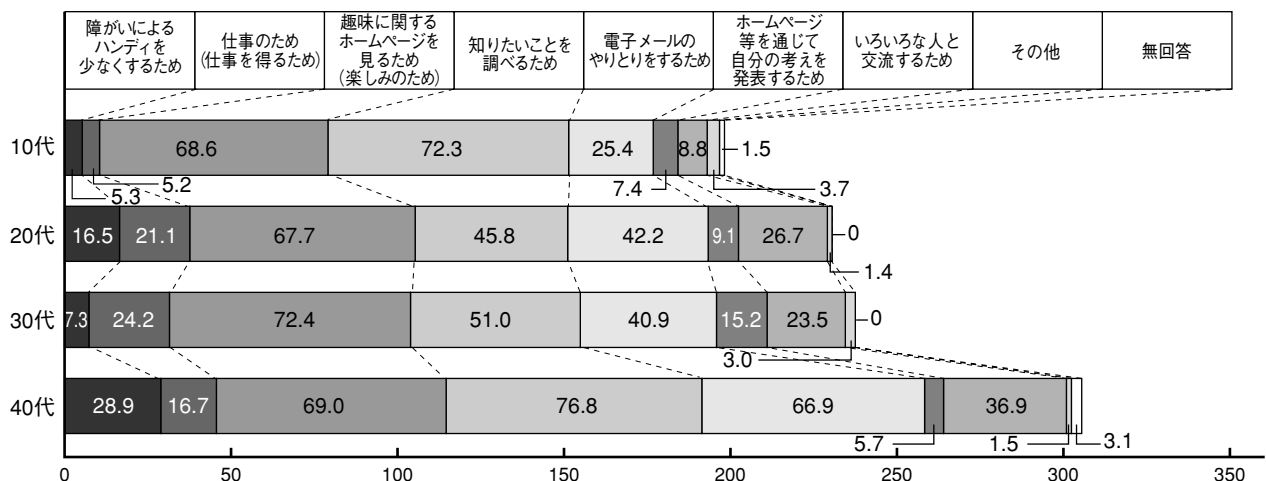
■図表1 障がい別

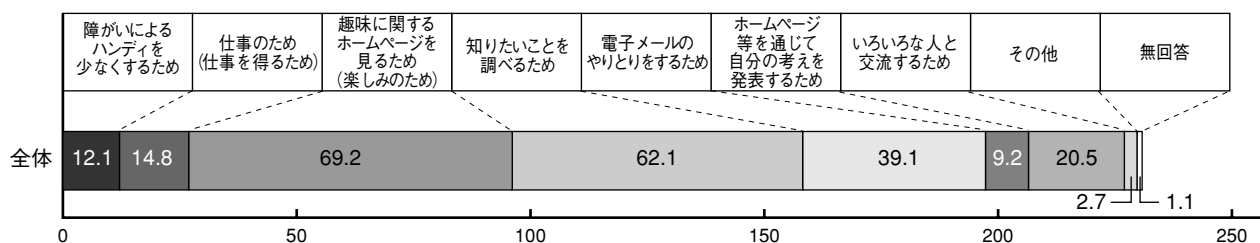


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)	知りたいことを調べるため	電子メールのやりとりをするため	ホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため	いろいろなひとと交流するため	その他	無回答
男性	14.5	17.3	66.4	61.3	38.2	10.5	23.6	1.9	0.9
している	18.6	29.2	64.7	50.8	48.8	16.3	29.3	0.0	0.0
していない	11.0	6.9	68.7	71.2	28.8	5.4	19.1	3.7	0.3
無回答	8.6	0.0	44.6	58.3	22.3	0.0	0.0	0.0	41.7
女性	6.9	9.6	75.2	63.5	41.0	6.6	14.2	4.3	1.5
している	14.9	18.8	69.1	51.2	46.2	6.1	20.4	5.7	0.0
していない	0.9	2.8	78.2	70.8	38.9	6.3	9.0	3.4	2.8
無回答	0.0	0.0	100	100	14.4	14.4	14.4	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)	知りたいことを調べるため	電子メールのやりとりをするため	ホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため	いろいろなひとと交流するため	その他	無回答
男性	14.5	17.3	66.4	61.3	38.2	10.5	23.6	1.9	0.9
在学中	7.0	6.0	67.8	71.8	29.5	11.4	14.3	4.2	0.3
卒業	17.8	28.6	69.8	54.6	48.0	10.6	33.6	0.0	0.0
無回答	53.5	0.0	10.0	33.2	10.0	0.0	0.0	0.0	16.7
女性	6.9	9.6	75.2	63.5	41.0	6.6	14.2	4.3	1.5
在学中	0.0	4.4	75.8	74.9	34.8	7.2	4.6	2.4	3.3
卒業	13.4	14.8	72.6	54.8	49.6	6.5	23.6	6.2	0.0
無回答	0.0	0.0	100	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)	知りたいことを調べるため	電子メールのやりとりをするため	ホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため	いろいろなひとと交流するため	その他	無回答
身体障害者手帳	14.6	14.2	75.8	73.0	58.2	11.9	26.6	3.4	0.0
1級	22.6	14.6	69.3	64.7	62.8	6.3	29.3	5.0	0.0
2級	9.4	14.6	85.7	80.6	50.5	12.4	23.2	1.7	0.0
3～6級	2.5	11.6	67.9	78.4	65.7	29.7	27.9	3.1	0.0
愛の手帳	8.5	15.8	60.9	41.8	18.4	5.2	18.7	1.6	1.2
1～2度	0.0	6.7	36.5	31.1	0.0	0.0	11.8	13.7	10.2
3度	13.2	14.4	57.8	42.5	12.4	13.6	36.3	0.0	0.0
4度	8.4	13.2	70.9	46.1	26.1	2.4	12.7	0.0	0.0
無回答	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	0.0	0.0	96.0	91.4	22.8	0.0	0.0	0.0	4.0
無回答	0.0	6.4	44.3	77.0	9.9	0.0	3.4	0.0	16.5

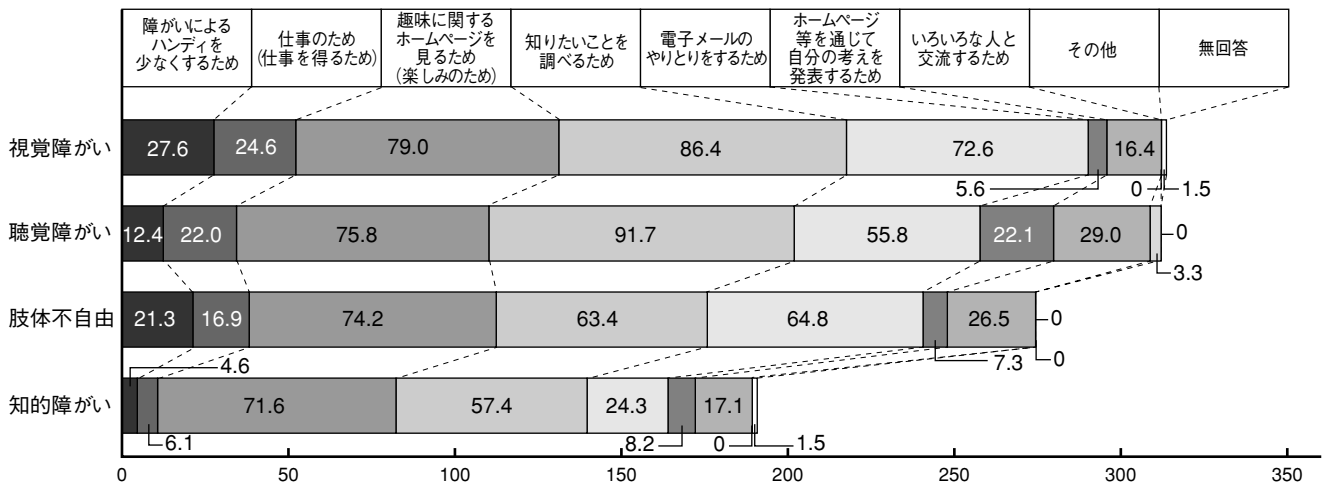
2-10-① 自宅でのインターネットの利用目的(利用場所問わず)(%)

自宅で、インターネットを使っているのは何のためですか？(○はいくつでも)

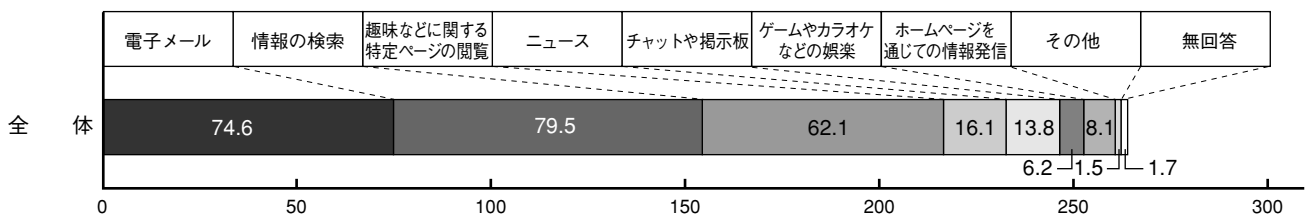
「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」が73.8%、「知りたいことを調べるため」が67.8%

・障がいの種別に関わらず、「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」、「知りたいことを調べるため」と「電子メールのやりとりをするため」の回答が多い。回答の傾向は全国調査と同じである。

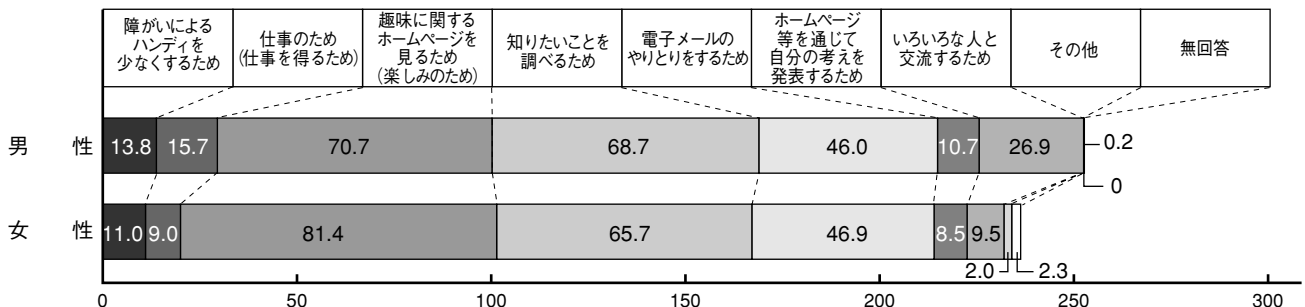
■図表1 障がい別



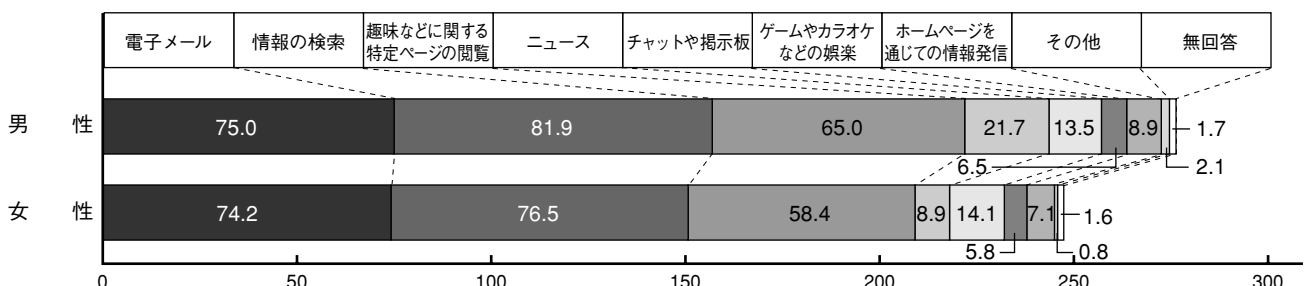
▼全国調査

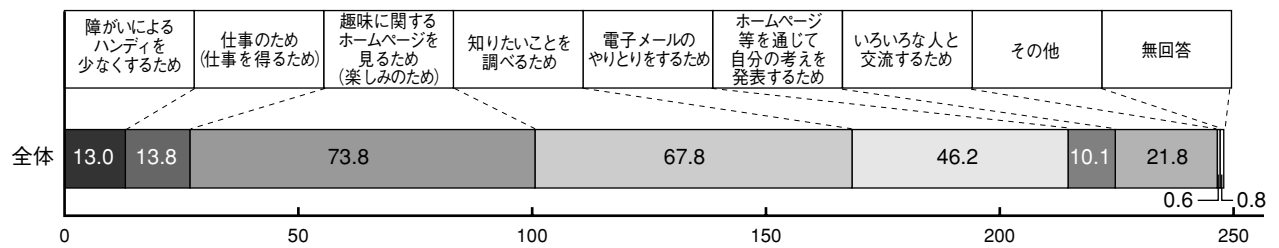


■図表2 性別

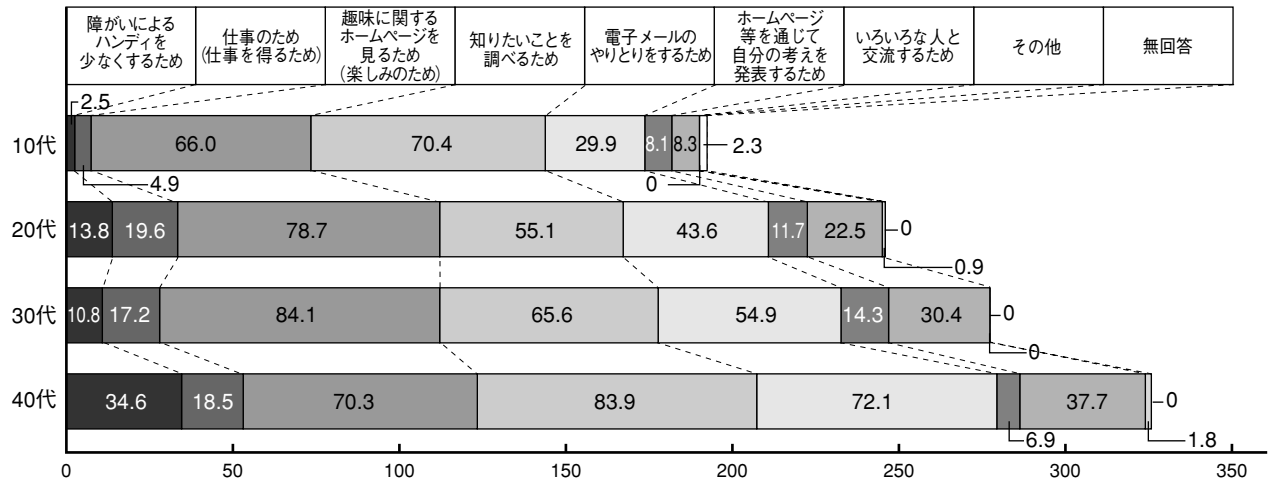


▼全国調査

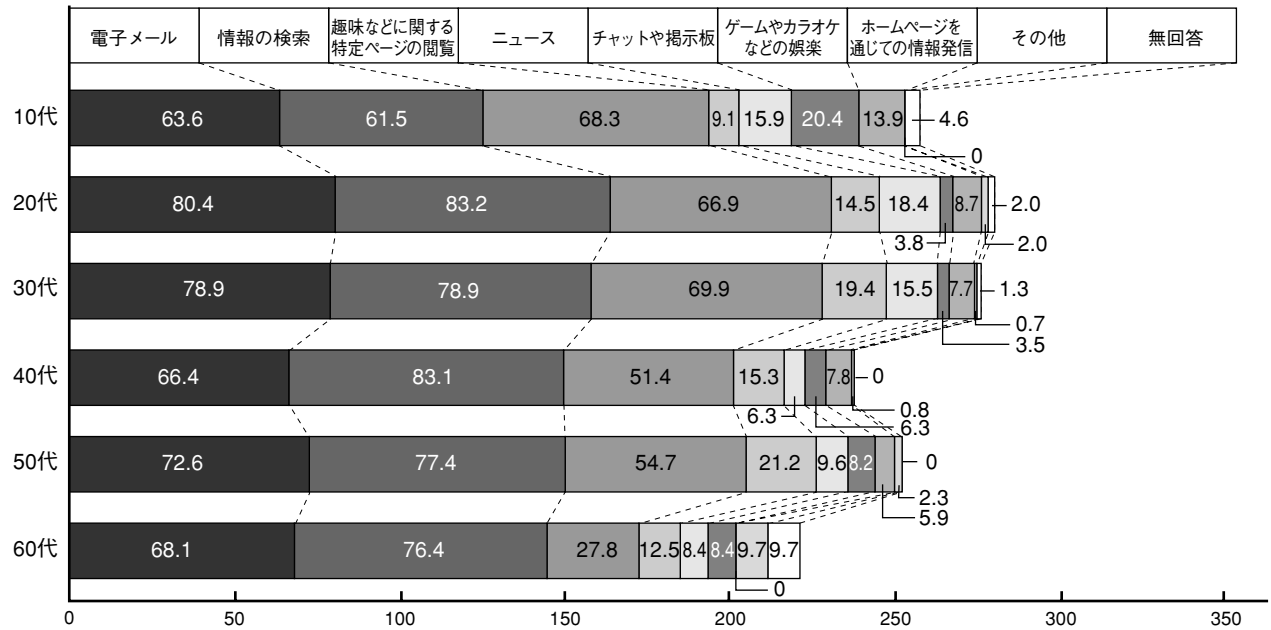




■図表3 年代別



▼全国調査

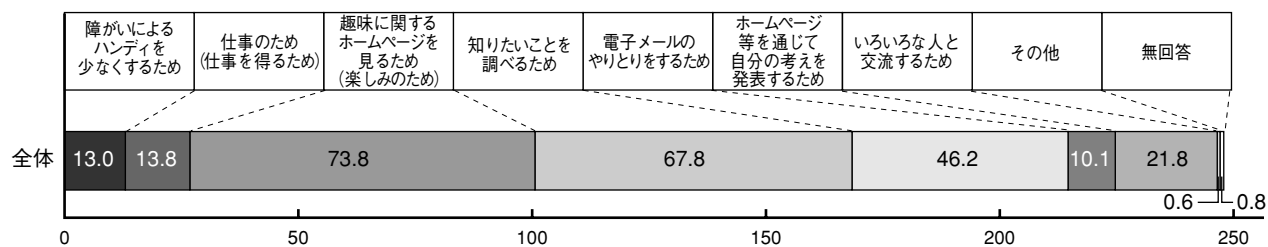


2-10-② 自宅でのインターネットの利用目的(利用場所問わず)(%)

自宅で、インターネットを使っているのは何のためですか? (○はいくつでも) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

■図表4 性別・就業の有無別

	障がいによる ハンディを 少なくするため	仕事のため (仕事を得るため)	趣味に関する ホームページを 見るため (楽しみのため)	知りたいことを 調べるため	電子メールの やりとりをするため	ホームページ などを通じて、 自分の考えを 発表するため	いろいろなひとと 交流するため	その他	無回答
身体障害者手帳	17.9	18.0	76.8	78.6	65.1	13.8	30.7	0.9	0.0
1級	27.6	18.3	71.1	70.1	70.0	6.7	31.1	0.0	0.0
2級	10.9	20.0	84.7	85.3	58.9	14.5	31.8	2.4	0.0
3～6級	3.3	11.2	74.6	89.4	65.6	36.9	25.9	0.0	0.0
愛の手帳	4.9	7.7	68.5	51.2	22.3	3.9	14.9	0.0	1.7
1～2度	0.0	10.2	23.3	47.9	0.0	0.0	18.2	0.0	15.7
3度	0.0	0.0	79.5	76.0	12.2	10.2	26.2	0.0	0.0
4度	7.5	2.5	77.8	48.4	30.5	2.9	12.3	0.0	0.0
無回答	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	0.0	0.0	94.8	88.9	29.5	0.0	0.0	0.0	5.2
無回答	0.0	0.0	100	100	100	0.0	100	0.0	0.0



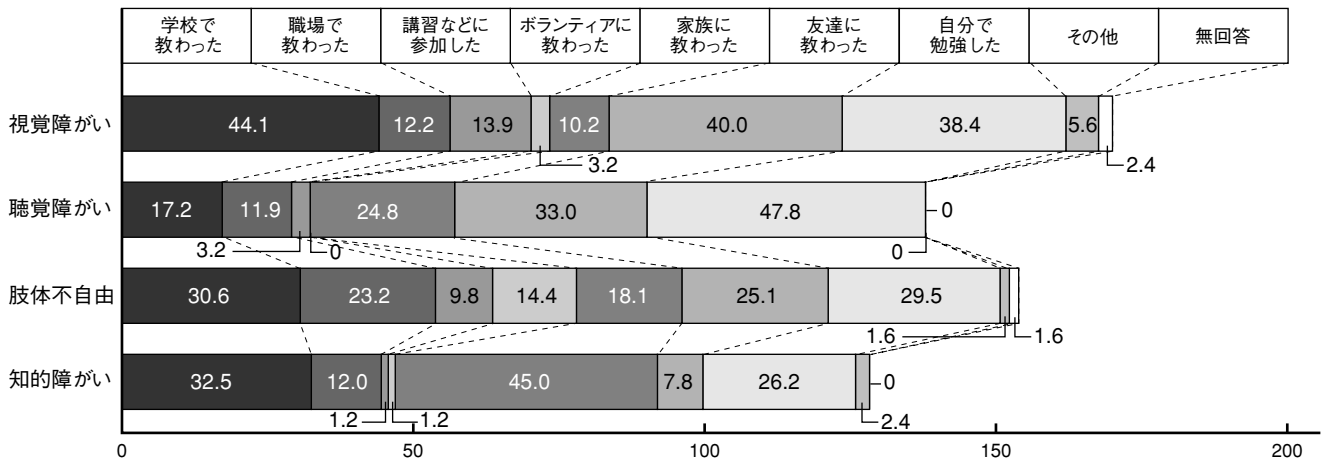
2-11 インターネットの使い方をどのように学んだか(%)

インターネットの使い方はどうやって知りましたか？(○はいくつでも)

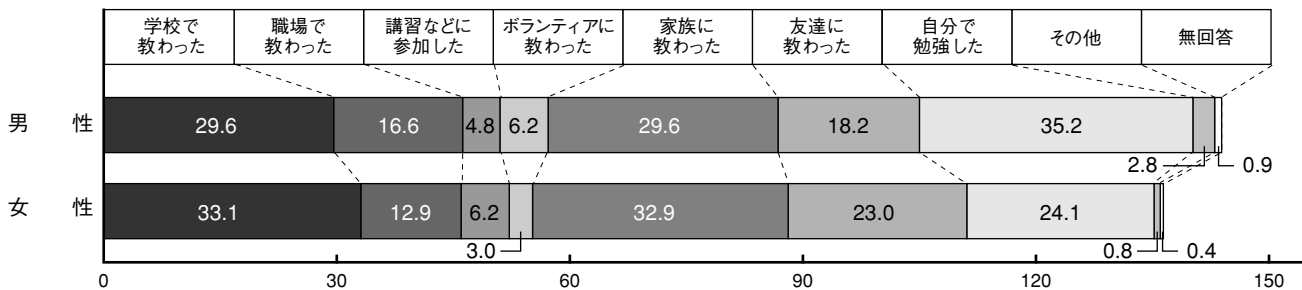
「自分で勉強した」31.5%、「学校」30.7%、「家族」30.7%

- ・障がいの種別に関わらず、「自分で勉強した」という回答が多い。聴覚障がい者を除き、「学校で教わった」という回答も多い。その他、視覚障がい者では「友達に教わった」(40%)、知的障がい者では「家族に教わった」(45%)という回答が多い。
- ・就業者、特に男性については、「職場で教わった」(32.2%)の回答が相対的に多い。

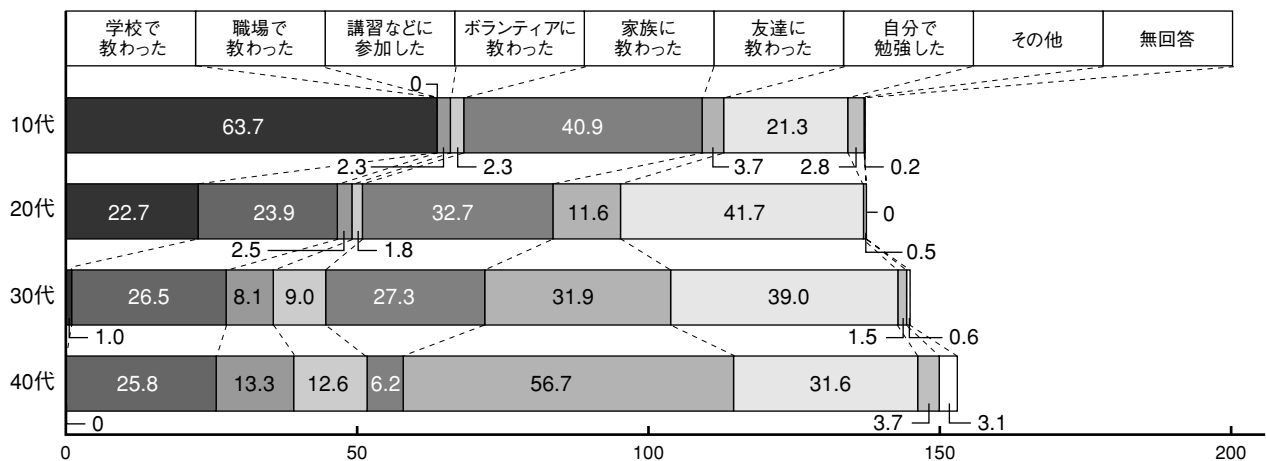
■図表1 障がい別

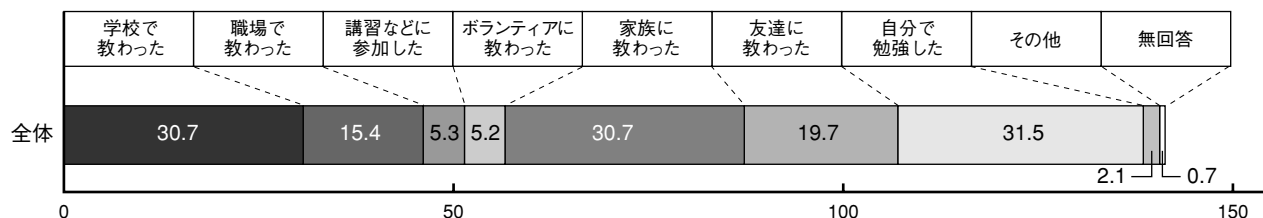


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
男性	29.6	16.6	4.8	6.2	29.6	18.2	35.2	2.8	0.9
している	8.7	32.2	4.1	4.6	19.3	26.0	39.2	1.8	0.0
していない	49.7	2.6	5.6	7.9	39.2	11.2	31.6	3.8	0.3
無回答	8.6	0.0	0.0	0.0	30.9	8.6	27.4	0.0	41.7
女性	33.1	12.9	6.2	3.0	32.9	23.0	24.1	0.8	0.4
している	7.0	23.7	4.0	5.9	39.6	32.2	22.7	1.8	0.9
していない	53.5	4.9	8.5	0.9	29.9	14.1	22.9	0.0	0.0
無回答	47.2	0.0	0.0	0.0	0.0	38.4	52.8	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
男性	29.6	16.6	4.8	6.2	29.6	18.2	35.2	2.8	0.9
在学中	57.0	1.4	3.3	3.0	39.0	7.7	29.4	4.3	0.3
卒業	8.1	26.9	6.5	9.5	23.4	27.9	40.9	1.6	0.0
無回答	3.4	50.1	0.0	0.0	6.9	10.0	26.3	0.0	16.7
女性	33.1	12.9	6.2	3.0	32.9	23.0	24.1	0.8	0.4
在学中	68.9	1.1	1.1	0.0	29.1	4.1	18.6	0.0	0.0
卒業	1.0	24.0	11.1	5.9	34.8	40.9	26.7	1.5	0.7
無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
身体障害者手帳	28.1	18.1	7.9	7.8	19.8	30.2	34.8	1.7	0.2
1級	19.8	18.7	13.5	16.8	21.1	37.6	32.0	2.5	0.5
2級	35.2	21.1	3.8	0.0	19.4	25.0	30.5	0.5	0.0
3～6級	35.1	7.0	0.9	0.0	16.6	20.2	57.4	2.4	0.0
愛の手帳	27.9	14.4	2.4	2.4	46.8	11.0	24.3	2.7	0.0
1～2度	25.4	21.4	0.0	0.0	65.1	0.0	11.8	0.0	0.0
3度	25.3	26.8	0.0	4.8	53.1	8.8	17.2	0.0	0.0
4度	25.2	7.9	4.2	1.9	42.8	15.0	31.7	4.7	0.0
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	46.9	3.6	0.0	0.0	45.5	0.0	42.4	0.0	4.0
無回答	73.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.9	0.0	16.5

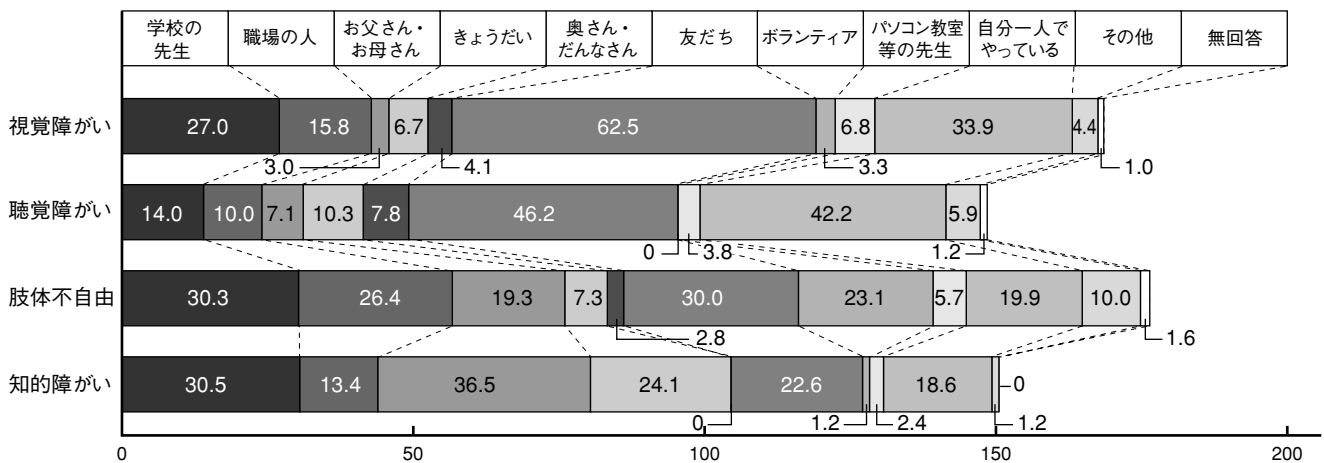
2-12 インターネットの使い方を誰に相談するか(%)

インターネットの使い方がわからないとき、誰に相談しますか？(○はいくつでも)

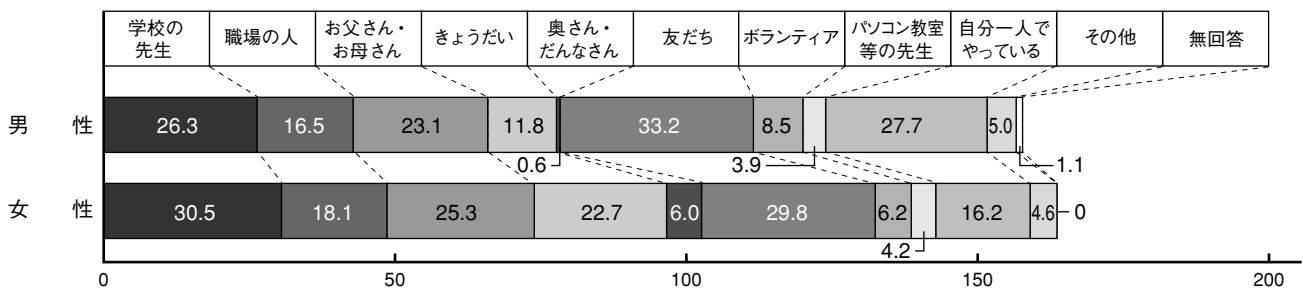
「友だち」32.1%、「学校の先生」27.7%、「お父さん・お母さん」23.9%、「自分ひとりでやっている」23.9%

- ・視覚障がい者は「友だち」(62.5%)が圧倒的に多い。聴覚障がい者は「友だち」(46.2%)、次いで「自分ひとりでやっている」(42.2%)となっている。肢体不自由者は「学校の先生」(30.3%)、「友だち」(30%)に次いで、「職場の人」(26.4%)と「ボランティア」(23.1%)が多いのが他の障がいと異なっている。知的障がい者については、「お父さん・お母さん」(36.5%)、「学校の先生」(30.5%)、「きょうだい」(24.1%)の順となっているが、「肉親」が多いのが特徴となっている。
- ・就業者、特に男性については、「職場で教わった」(33.9%)の回答が相対的に多い。

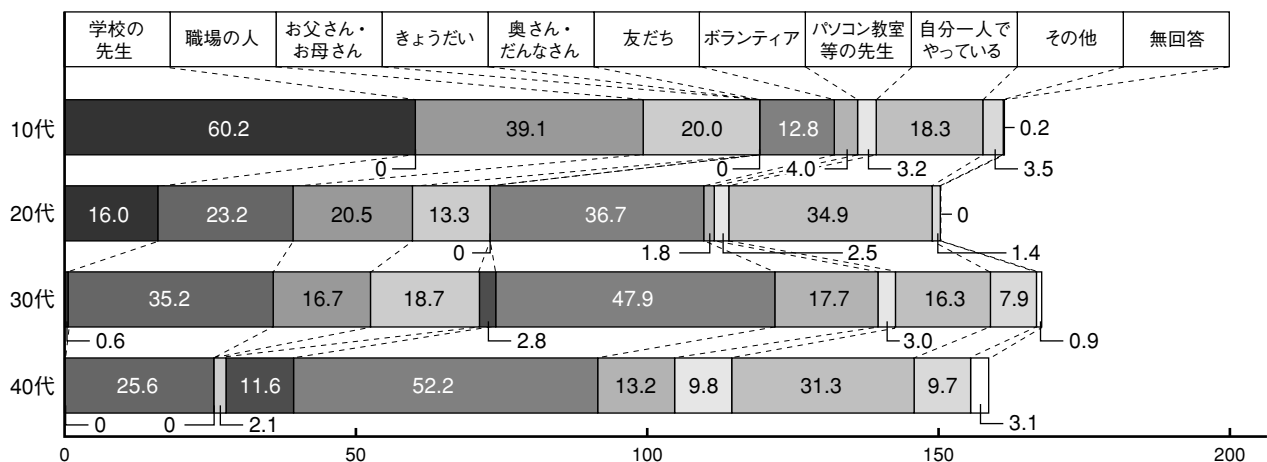
■図表1 障がい別

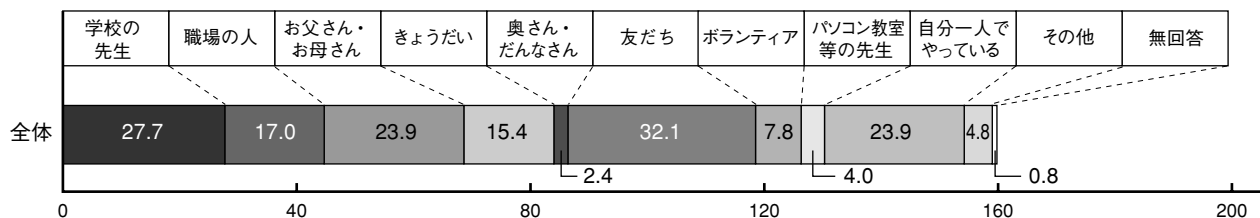


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友だち	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
男性	26.3	16.5	23.1	11.8	0.6	33.2	8.5	3.9	27.7	5.0	1.1
している	10.6	33.9	9.0	3.1	1.0	49.7	7.1	2.7	24.6	6.7	0.6
していない	40.7	0.8	36.3	19.6	0.3	18.6	10.2	5.2	31.0	3.5	0.3
無回答	30.9	0.0	22.3	22.3	0.0	8.6	0.0	0.0	13.7	0.0	41.7
女性	30.5	18.1	25.3	22.7	6.0	29.8	6.2	4.2	16.2	4.6	0.0
している	0.9	32.0	23.5	29.4	11.1	28.9	9.6	2.1	22.0	1.2	0.0
していない	53.7	4.9	28.9	18.9	2.3	28.7	0.9	6.3	12.7	7.8	0.0
無回答	47.2	38.4	0.0	0.0	0.0	52.8	38.4	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友だち	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
男性	26.3	16.5	23.1	11.8	0.6	33.2	8.5	3.9	27.7	5.0	1.1
在学中	52.0	1.1	34.5	18.5	0.0	20.0	5.3	4.2	25.5	2.6	0.3
卒業	5.7	27.0	15.0	6.8	1.2	45.3	12.0	4.0	31.3	6.0	0.5
無回答	6.9	50.1	3.4	3.4	0.0	23.2	0.0	0.0	6.5	16.7	16.7
女性	30.5	18.1	25.3	22.7	6.0	29.8	6.2	4.2	16.2	4.6	0.0
在学中	68.0	1.1	34.2	17.1	0.0	22.3	0.0	0.0	8.8	5.6	0.0
卒業	0.7	34.0	11.9	25.3	11.6	38.5	12.1	8.1	23.9	4.1	0.0
無回答	0.0	0.0	100	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友だち	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
身体障害者手帳	27.0	20.0	13.9	9.3	4.0	43.0	12.2	4.9	25.6	7.2	0.3
1級	17.4	23.6	16.7	9.6	4.8	41.3	26.4	6.7	25.8	9.5	0.7
2級	32.2	20.1	10.0	7.5	4.4	42.4	0.0	4.5	25.6	3.7	0.0
3～6級	44.6	7.0	16.1	14.2	0.0	50.5	0.0	0.0	24.7	10.2	0.0
愛の手帳	22.2	16.0	40.7	24.5	0.0	19.3	3.5	3.1	15.9	1.4	0.0
1～2度	25.4	21.4	48.1	27.2	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0
3度	20.4	26.8	37.6	42.5	0.0	8.8	4.8	0.0	18.2	0.0	0.0
4度	17.7	10.6	43.1	16.7	0.0	29.5	3.7	4.7	18.3	2.4	0.0
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	42.4	0.0	22.8	22.8	0.0	46.9	0.0	0.0	91.4	0.0	4.0
無回答	73.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	3.4	0.0	16.5

2-13 インターネット利用に際して困ること(%)

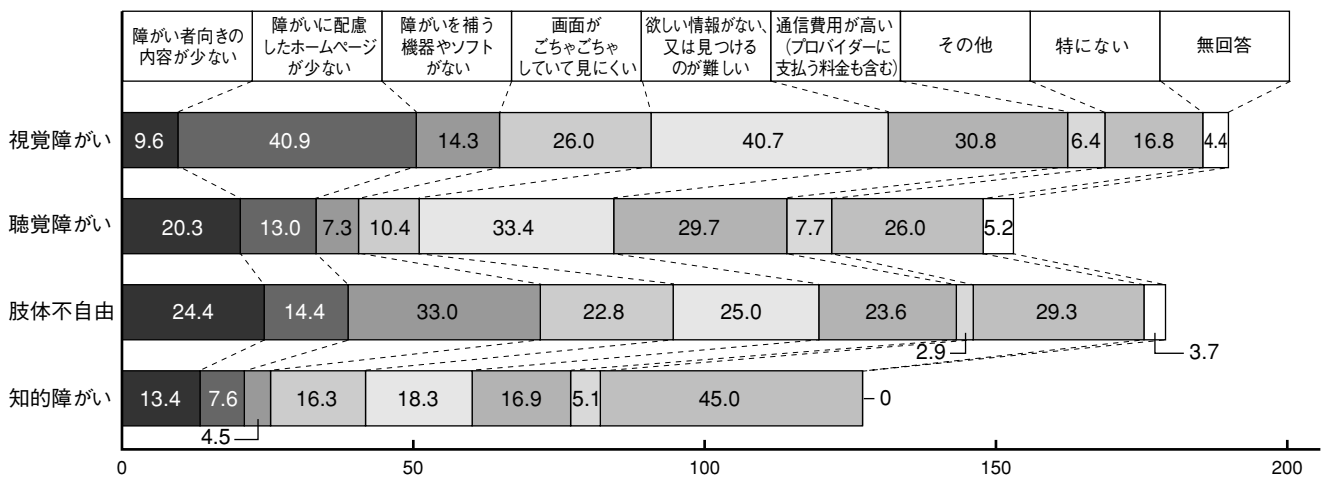
インターネットを使うときに、困ることがありますか？(○はいくつでも)



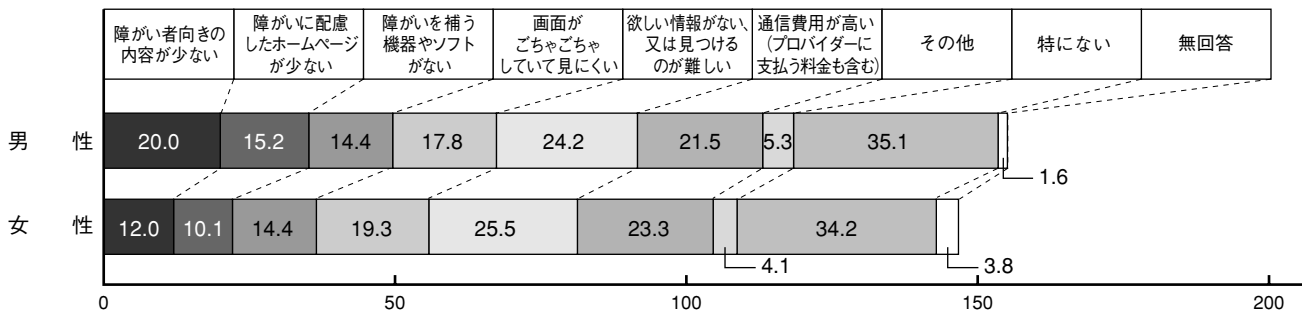
障がいの種別により回答が異なるため、それぞれの特性に応じた対応が必要

- ・視覚障がい者では「障がいに配慮したホームページが少ない」(40.9%)、肢体不自由者では「障がいを補う機器やソフトが少ない」(33%)が最も多い回答となっている。知的障がい者を除き、「欲しい情報がない、又は見つけるのが難しい」と「通信費用が高い」という回答が共通して多くなっている。
- ・年代別では、他の年代と比べ、40歳代は「障がい向きの内容が少ない」(42.5%)、「障がいに配慮したホームページが少ない」(32.9%)との回答が多い。

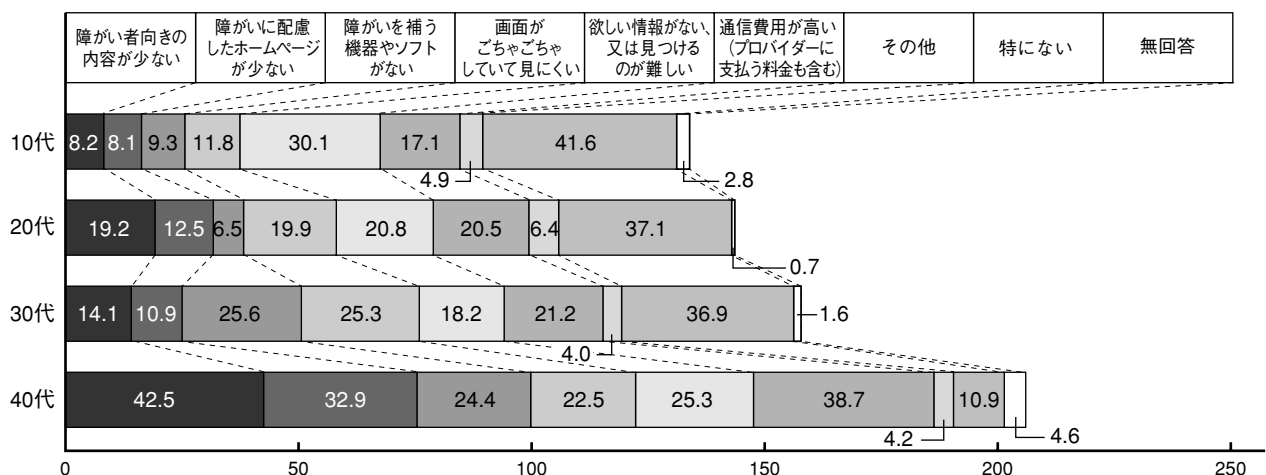
■図表1 障がい別

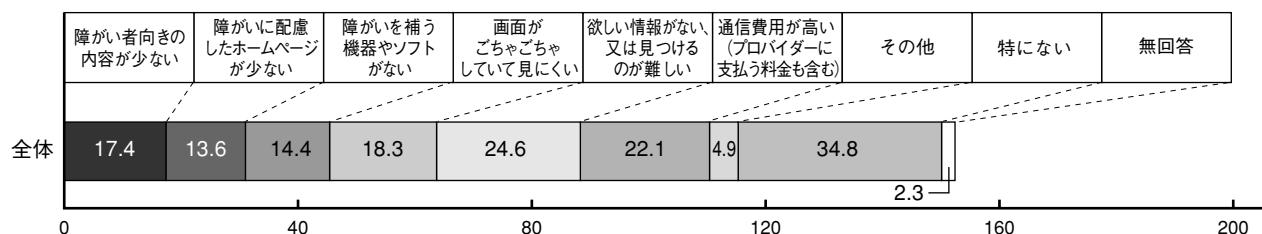


■図表2 性別



■図表3 年代別





■図表4 性別・就業の有無別

	障がい者向きの内容が少ない	障がいに配慮したホームページが少ない	障がいを補う機器やソフトがない	画面がごちゃごちゃして見にくい	欲しい情報ない、又は見つけるのが難しい	通信費用が高い (プロバイダーに支払う料金も含む)	その他	特にない	無回答
男性	20.0	15.2	14.4	17.8	24.2	21.5	5.3	35.1	1.6
している	26.2	17.0	16.9	18.2	19.0	19.3	4.9	37.2	1.0
していない	14.6	13.8	12.4	17.7	29.1	24.0	5.9	33.4	0.7
無回答	8.6	8.6	0.0	8.6	22.3	8.6	0.0	27.4	41.7
女性	12.0	10.1	14.4	19.3	25.5	23.3	4.1	34.2	3.8
している	15.5	12.5	15.5	33.2	18.6	23.8	3.0	30.3	2.8
していない	10.1	8.8	13.5	9.4	28.3	23.5	5.3	37.2	4.9
無回答	0.0	0.0	14.4	0.0	61.6	14.4	0.0	38.4	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	障がい者向きの内容が少ない	障がいに配慮したホームページが少ない	障がいを補う機器やソフトがない	画面がごちゃごちゃして見にくい	欲しい情報ない、又は見つけるのが難しい	通信費用が高い (プロバイダーに支払う料金も含む)	その他	特にない	無回答
男性	20.0	15.2	14.4	17.8	24.2	21.5	5.3	35.1	1.6
在学中	8.6	9.6	6.1	14.2	27.6	18.5	6.7	44.1	0.9
卒業	31.1	21.1	21.3	16.4	22.4	25.4	4.6	30.2	1.0
無回答	3.4	3.4	16.7	73.3	10.0	6.5	0.0	0.0	16.7
女性	12.0	10.1	14.4	19.3	25.5	23.3	4.1	34.2	3.8
在学中	4.6	7.8	13.7	11.1	32.5	15.5	1.7	38.7	7.0
卒業	15.5	12.8	16.1	24.0	17.6	23.9	6.5	33.1	1.4
無回答	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100	0.0	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	障がい者向きの内容が少ない	障がいに配慮したホームページが少ない	障がいを補う機器やソフトがない	画面がごちゃごちゃして見にくい	欲しい情報ない、又は見つけるのが難しい	通信費用が高い (プロバイダーに支払う料金も含む)	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳	22.1	20.1	19.6	20.1	27.2	23.8	6.3	28.1	2.9
1級	26.1	21.8	32.1	26.0	28.5	29.7	7.8	22.4	0.7
2級	22.9	21.1	10.6	11.5	27.4	19.1	6.1	28.7	6.4
3～6級	5.4	11.4	3.8	26.2	22.0	17.4	1.4	46.4	0.0
愛の手帳	16.0	9.6	7.4	19.0	17.3	17.4	3.3	43.2	0.0
1～2度	0.0	9.3	0.0	21.1	13.5	10.2	3.3	62.0	0.0
3度	4.8	4.8	5.7	21.0	31.1	0.0	0.0	47.1	0.0
4度	19.5	12.5	10.2	18.8	12.4	28.5	5.2	40.1	0.0
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どれも持っていない	0.0	0.0	0.0	0.0	19.6	42.4	0.0	53.6	4.0
無回答	0.0	0.0	22.5	16.7	34.4	3.4	0.0	6.4	16.5

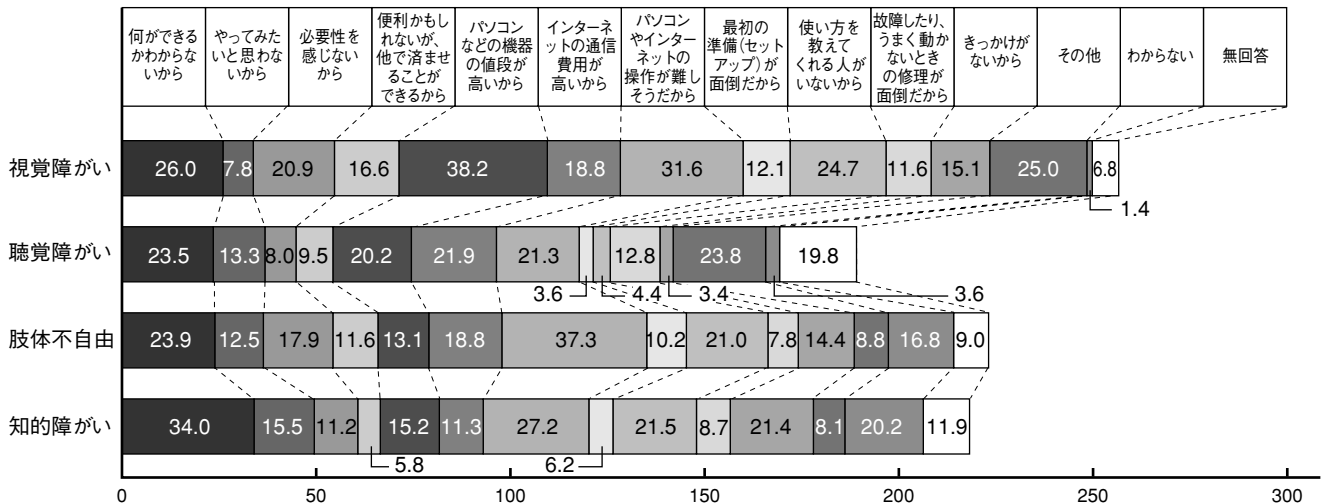
2-14-① インターネットを利用しない理由(%)

あなたが、インターネットを利用しない理由は何ですか？(○はいくつでも)

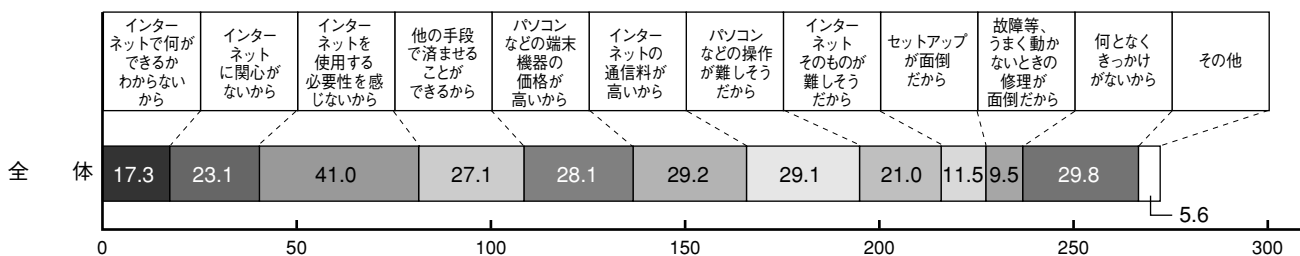
「何ができるかわからないから」32.2%、「パソコンやインターネットの操作が難しそう」28.7%

- ・障がいの種別に関わらず、「何ができるかわからないから」と「パソコンやインターネットの操作が難しそうだから」の回答が多い。また、聴覚障がい者を除き、「使い方を教えてくれる人がいないから」という回答も多い。
- ・障がい別にみた場合、視覚障がい者では「パソコンなどの機器の値段が高いから」(38.2%)、肢体不自由者では「パソコンやインターネットの操作が難しそうだから」(37.3%)、知的障がい者では「何ができるかわからないから」(34%)が一番多くなっている。

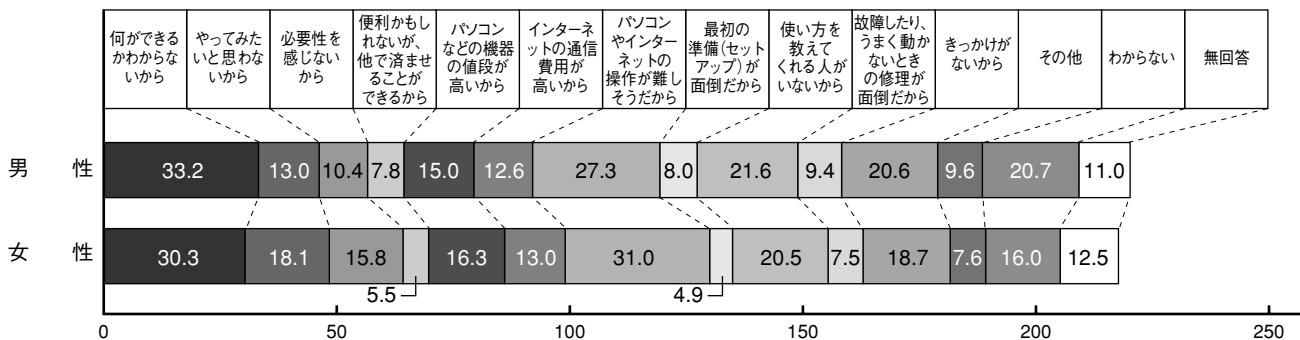
■図表1 障がい別

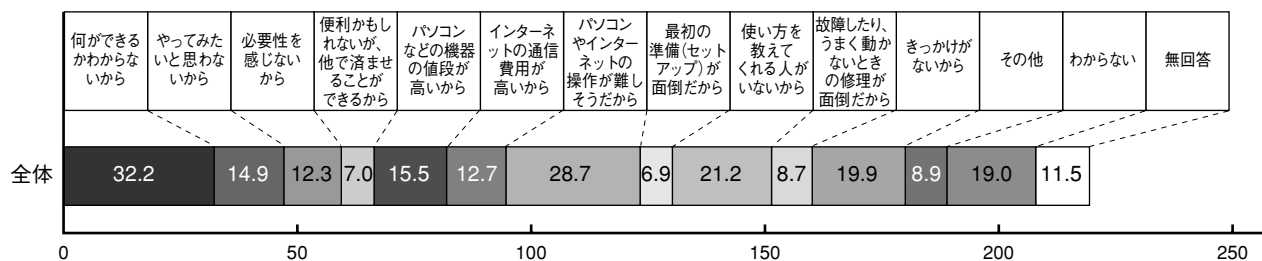


▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用しない理由)

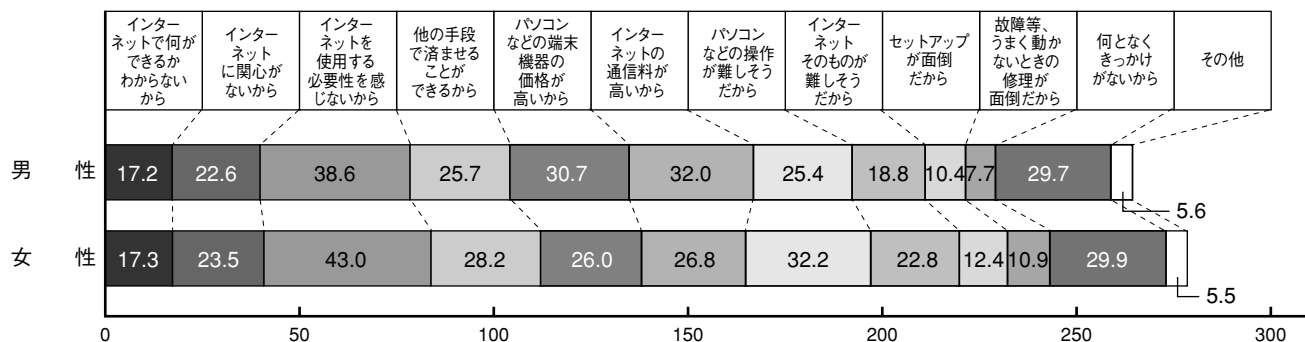


■図表2 性別

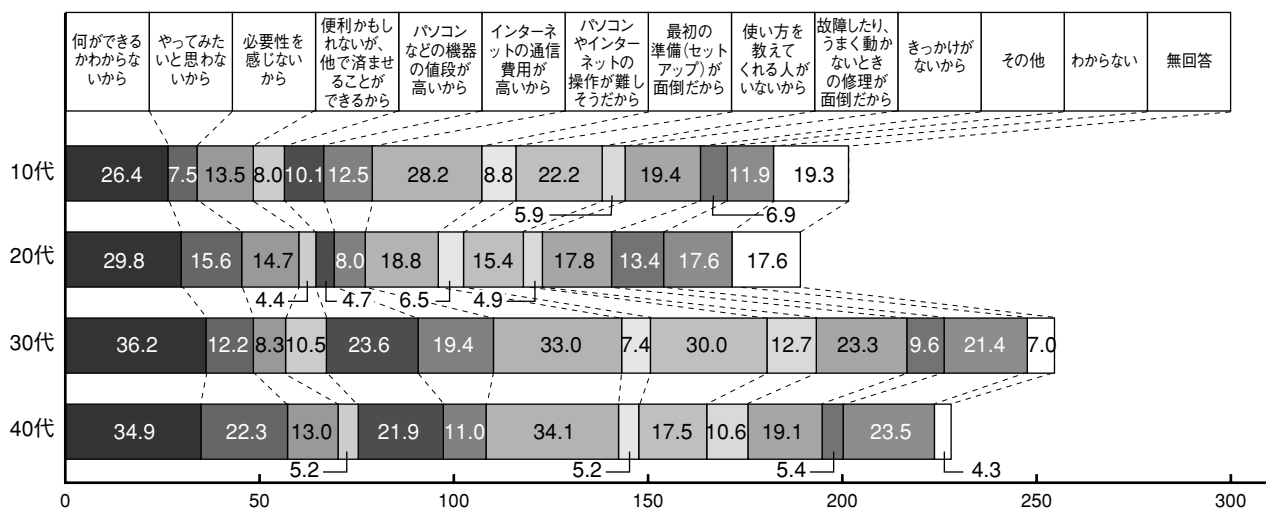




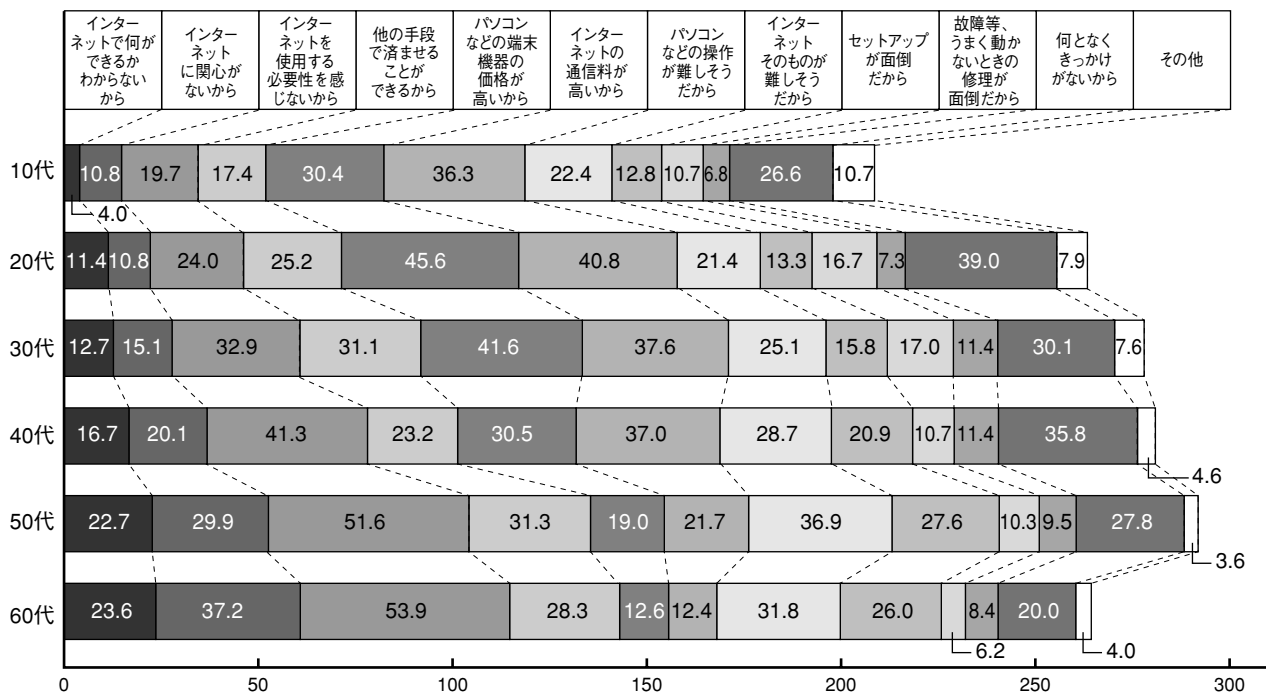
▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用しない理由)



■図表3 年代別



▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用しない理由)



2-14-② インターネットを利用しない理由(%)

あなたが、インターネットを利用しない理由は何ですか？(○はいくつでも)

■図表4 性別・就業の有無別

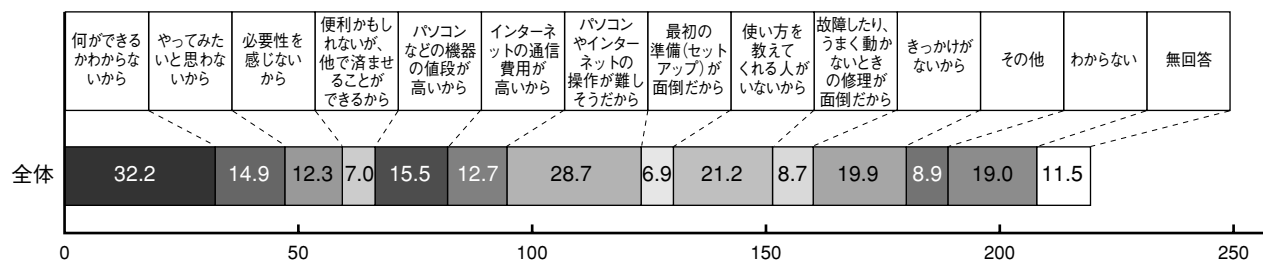
	何ができるかわからないから	やってみたいと思わないから	必要性を感じないから	便利かもしれないが、他で済ませることができるから	パソコンなどの機器の値段が高いから	インターネットの通信費用が高いから	パソコンやインターネットの操作が、難しいから	最初の準備(セットアップ)が面倒だから	使い方を教えてくれる人がいないから	故障したり、うまく動かないときの修理が面倒だから	きっかけがないから	その他	わからない	無回答
男性	33.2	13.0	10.4	7.8	15.0	12.6	27.3	8.0	21.6	9.4	20.6	9.6	20.7	11.0
している	38.0	13.3	9.8	9.7	22.9	15.4	39.3	8.6	26.5	13.9	23.4	6.7	11.7	12.9
していない	26.2	11.8	11.3	6.1	5.6	8.1	13.9	5.7	15.1	3.2	15.1	12.9	30.8	9.5
無回答	87.8	36.6	0.0	2.2	51.1	51.1	61.1	48.9	61.1	48.9	87.8	0.0	0.0	0.0
女性	30.3	18.1	15.8	5.5	16.3	13.0	31.0	4.9	20.5	7.5	18.7	7.6	16.0	12.5
している	29.3	18.9	16.7	7.1	21.7	16.1	29.6	3.6	22.8	8.5	22.3	6.8	15.4	13.3
していない	31.8	17.3	14.6	3.5	10.4	10.0	31.7	6.5	18.3	6.7	14.0	8.6	17.0	11.9
無回答	8.6	14.2	20.7	12.0	12.0	0.0	73.7	0.0	0.0	0.0	65.1	0.0	0.0	0.0

▼全国調査(「自宅で」インターネットを利用しない理由)

	インターネットで何ができるかわからないから	インターネットに関心がないから	インターネットを使用する必要性を感じないから	他の手段で済ませることができるから	パソコンなどの端末の機器の価格が高いから	インターネットの通信料が高いから	パソコンなどの操作が難しいから	インターネットそのものが難しいから	セットアップが面倒だから	故障等、うまく動かないときの修理が面倒だから	何となくきっかけがないから	その他
している	17.5	22.5	39.7	26.9	29.3	30.1	29.4	20.9	11.6	8.8	32.0	5.4
していない	16.8	24.3	43.5	27.6	25.7	27.2	28.6	21.2	11.3	10.8	25.5	5.9

■図表5 性別・就学の有無別

	何ができるかわからないから	やってみたいと思わないから	必要性を感じないから	便利かもしれないが、他で済ませることができるから	パソコンなどの機器の値段が高いから	インターネットの通信費用が高いから	パソコンやインターネットの操作が、難しいから	最初の準備(セットアップ)が面倒だから	使い方を教えてくれる人がいないから	故障したり、うまく動かないときの修理が面倒だから	きっかけがないから	その他	わからない	無回答
男性	33.2	13.0	10.4	7.8	15.0	12.6	27.3	8.0	21.6	9.4	20.6	9.6	20.7	11.0
在学中	24.2	6.4	10.7	7.9	9.7	11.3	18.0	10.1	18.0	5.3	23.6	7.0	14.7	17.9
卒業	35.3	15.1	10.8	8.4	16.5	12.6	30.0	6.7	22.2	10.0	18.9	11.2	23.0	6.9
無回答	38.6	11.3	3.8	0.7	15.8	15.8	26.9	15.1	26.6	15.1	30.9	0.0	15.1	34.5
女性	30.3	18.1	15.8	5.5	16.3	13.0	31.0	4.9	20.5	7.5	18.7	7.6	16.0	12.5
在学中	27.0	10.3	15.9	4.8	13.0	12.9	43.3	5.4	23.9	5.4	12.1	6.4	4.7	20.1
卒業	31.2	20.1	14.2	5.2	18.2	13.4	28.0	5.1	21.3	8.7	20.6	7.6	18.6	11.3
無回答	31.6	22.7	32.9	11.3	5.9	9.2	21.6	2.1	0.0	2.1	20.8	11.6	25.7	0.0



▼全国調査(「自宅で」インターネットを利用しない理由)

	インターネットで何ができるかわからないから	インターネットに関心がないから	インターネットを使用する必要性を感じないから	他の手段で済ませることができるから	パソコンなどの端末機器の値段が高いから	インターネットの通信料が高いから	パソコンなどの操作が難しそうだから	インターネットのそのものが難しそうだから	セットアップが面倒だから	故障等、うまく動かないときの修理が面倒だから	何となくきっかけがないから	その他
在学中	3.0	4.9	15.4	15.8	31.5	33.5	20.8	10.0	13.1	3.9	29.8	12.1
卒業	18.0	24.1	42.6	27.9	28.0	29.2	29.8	21.8	11.4	10.0	29.8	5.1
無回答	31.3	41.6	50.8	28.5	19.4	8.9	21.6	18.4	6.1	2.9	32.5	6.3

■図表6 手帳の種別・等級別

	何ができるかわからないから	やってみたと思わないから	必要性を感じないから	便利かもしれないが、他で済ませることができるから	パソコンなどの機器の値段が高いから	インターネットの通信料が高いから	パソコンやインターネットの操作が難しそうだから	最初の準備(セットアップ)が面倒だから	使い方を教えてくれる人がいないから	故障したり、うまく動かないときの修理が面倒だから	きっかけがないから	その他	わからない	無回答
身体障害者手帳	30.7	12.4	15.5	11.2	13.9	15.3	30.9	7.1	20.2	8.3	18.6	12.2	14.8	7.8
1級	26.3	8.2	17.4	8.9	12.3	14.9	30.4	7.9	19.9	7.4	16.3	9.9	20.4	8.4
2級	35.2	22.3	19.8	11.5	18.0	18.6	28.3	6.9	14.6	7.4	12.3	9.0	10.9	11.9
3～6級	33.6	12.6	7.3	16.2	13.9	13.4	35.6	5.9	27.1	11.3	27.4	21.0	6.5	2.6
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	33.5	15.2	11.6	6.2	14.7	11.3	27.3	6.2	21.3	8.7	20.7	8.7	20.7	11.3
1～2度	33.1	12.5	14.9	4.4	1.9	1.1	13.7	4.0	17.3	1.1	26.5	16.4	26.0	7.3
3度	38.8	17.8	14.3	5.9	12.2	5.2	30.1	4.6	14.3	4.7	15.2	6.9	15.2	13.3
4度	29.6	14.2	7.3	7.9	26.2	23.6	35.5	9.2	30.4	17.4	21.0	4.9	21.3	12.7
無回答	25.5	50.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.5	0.0	24.2	0.0
どれも持っていない	42.8	0.0	6.6	14.4	57.2	50.6	42.8	0.0	42.8	0.0	42.8	0.0	0.0	42.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

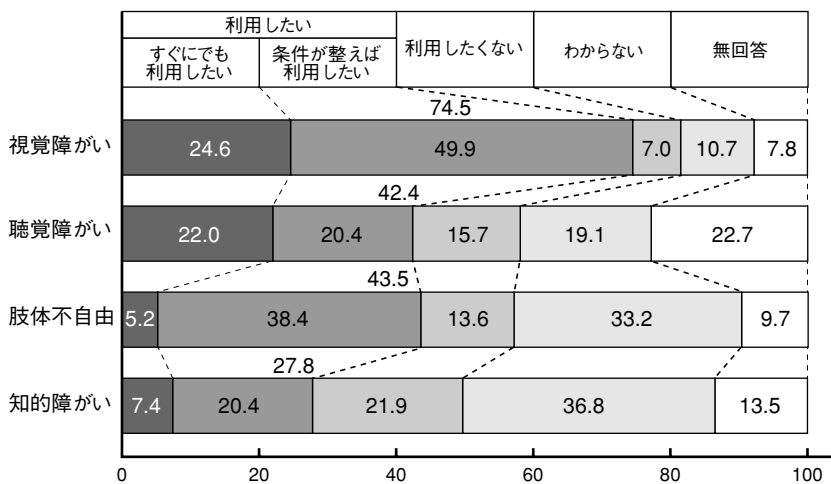
2-15 今後のインターネット利用意向(%)

あなたは、今後、インターネットを利用したいと思いますか？

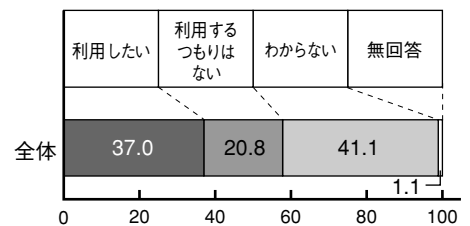
「利用したい(計)」視覚障がい者74.5%、聴覚障がい者42.4%、肢体不自由者43.5%、知的障がい者27.8%

- ・「すぐにでも利用したい」と「条件が整えば利用したい」をあわせた「利用したい(計)」をみた場合、視覚障がい者の利用意向が非常に高い。全体では31.4%。
- ・そのほか、就業している男性(34.5%)、学校在学中の男女(それぞれ38.7%と51.4%)の利用意向が高い。
- ・障害者手帳の種別と等級でみた場合、「身体障害者手帳」所持者では等級が高くなるほど利用意向が高く、「愛の手帳」所持者では逆の傾向となっている。

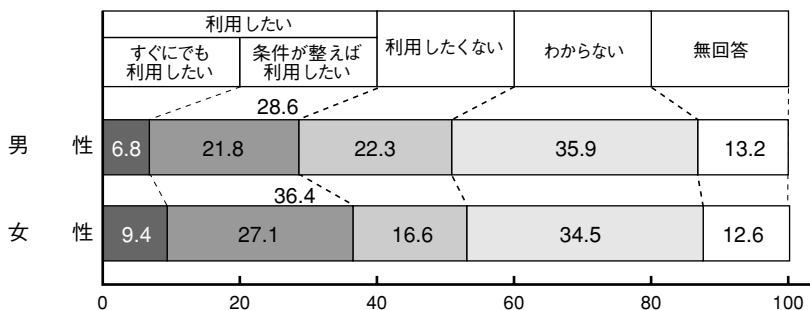
■図表1 障がい別



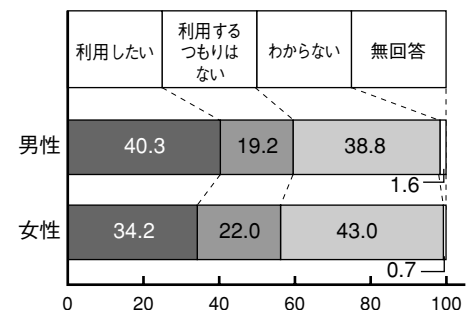
▼全国調査



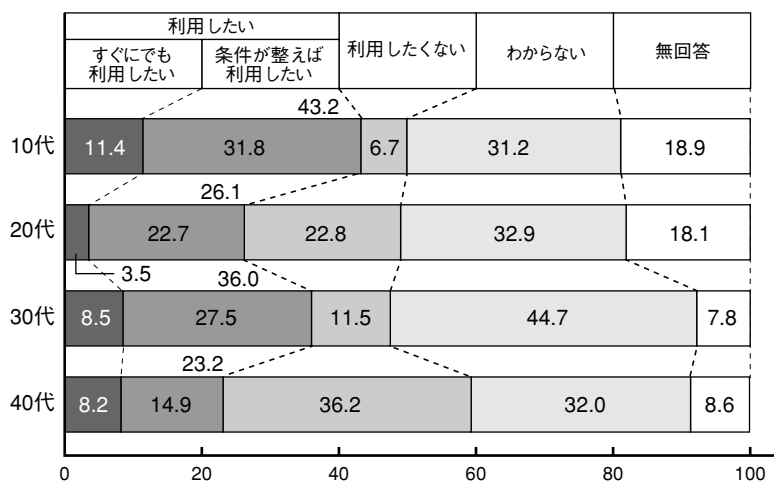
■図表2 性別



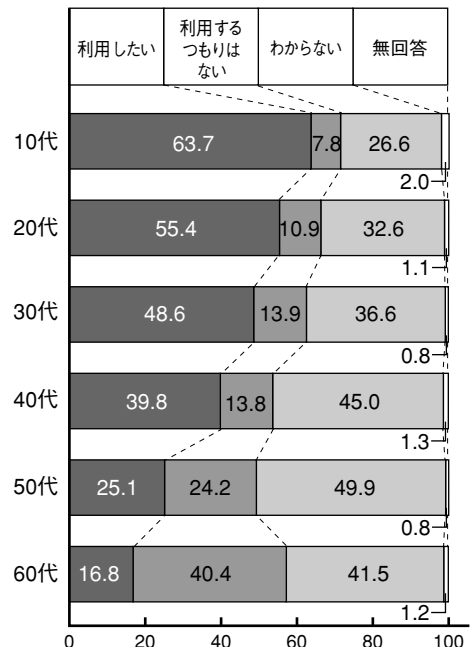
▼全国調査

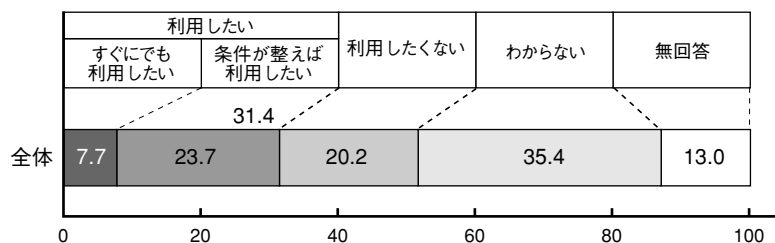


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
男性	6.8	21.8	22.3	35.9	13.2	28.6
している	8.2	26.3	29.3	21.3	14.9	34.5
していない	5.7	17.5	16.2	50.6	10.0	23.2
無回答	0.0	14.5	0.0	36.6	48.9	14.5
女性	9.4	27.1	16.6	34.5	12.6	36.4
している	9.3	23.6	20.0	34.4	12.7	32.8
していない	9.6	31.2	11.3	35.2	12.6	40.8
無回答	0.0	12.0	88.0	0.0	0.0	12.0

▼全国調査

	利用したい	利用するつもりはない	わからない	無回答
男性	40.3	19.2	38.8	1.6
している	40.6	17.0	40.6	1.9
していない	39.4	28.4	31.5	0.7
女性	34.2	22.0	43.0	0.7
している	35.4	20.1	43.7	0.8
していない	32.8	24.5	42.2	0.5

■図表5 性別・就学の有無別

	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
男性	6.8	21.8	22.3	35.9	13.2	28.6
在学中	12.2	26.5	7.8	35.5	18.1	38.7
卒業	5.9	22.0	28.1	36.8	7.2	27.9
無回答	0.0	4.2	3.8	27.3	64.7	4.2
女性	9.4	27.1	16.6	34.5	12.6	36.4
在学中	12.5	38.9	4.9	22.0	21.7	51.4
卒業	8.4	24.7	19.7	36.4	10.9	33.0
無回答	9.5	13.1	21.9	55.6	0.0	22.6

▼全国調査

	利用したい	利用するつもりはない	わからない	無回答
男性	40.3	19.2	38.8	1.6
在学中	68.0	2.0	28.1	2.0
卒業	38.6	20.5	39.3	1.6
無回答	6.8	28.2	65.0	0.0
女性	34.2	22.0	43.0	0.7
在学中	69.1	6.1	24.8	0.0
卒業	32.3	23.2	43.8	0.6
無回答	17.4	11.0	65.5	6.1

■図表6 手帳の種別・等級別

	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
身体障害者手帳	8.7	32.0	15.7	33.0	10.6	40.7
1級	7.2	37.4	10.9	35.4	9.1	44.6
2級	11.0	24.2	14.1	34.9	15.8	35.2
3～6級	6.9	28.6	28.7	26.6	9.1	35.5
無回答	100	0.0	0.0	0.0	0.0	100
愛の手帳	6.9	20.9	21.3	38.0	12.9	27.8
1～2度	0.0	19.5	13.6	58.3	8.6	19.5
3度	10.3	16.0	25.5	33.5	14.8	26.3
4度	7.9	26.5	23.3	27.6	14.6	34.4
無回答	50.3	0.0	25.5	24.2	0.0	50.3
どれも持っていない	42.8	7.8	0.0	0.0	49.4	50.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

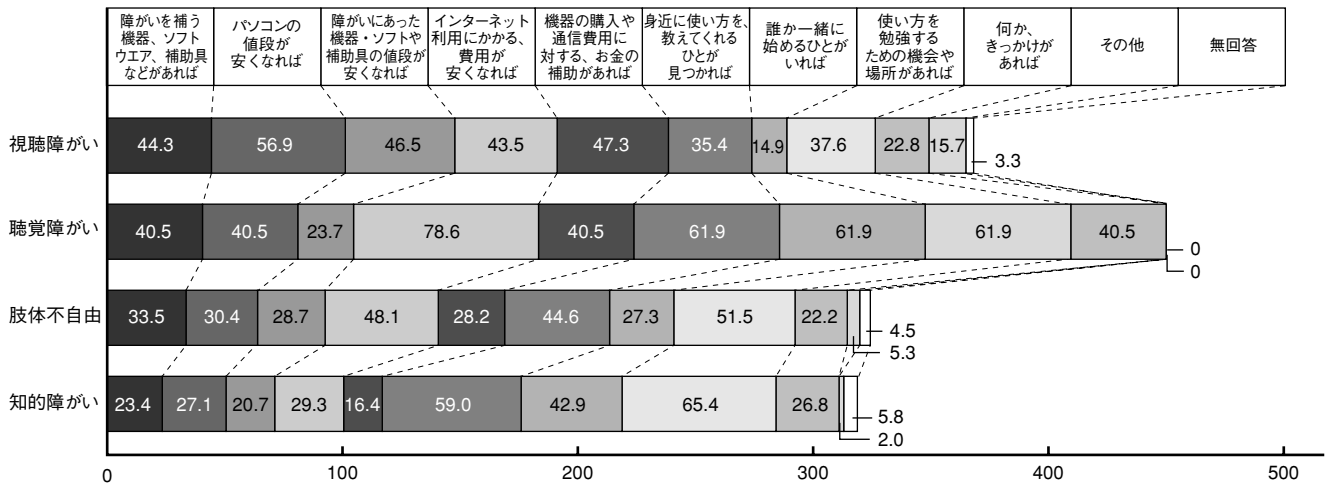
2-16-① インターネットを利用する条件(%)

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか？(○はいくつでも)

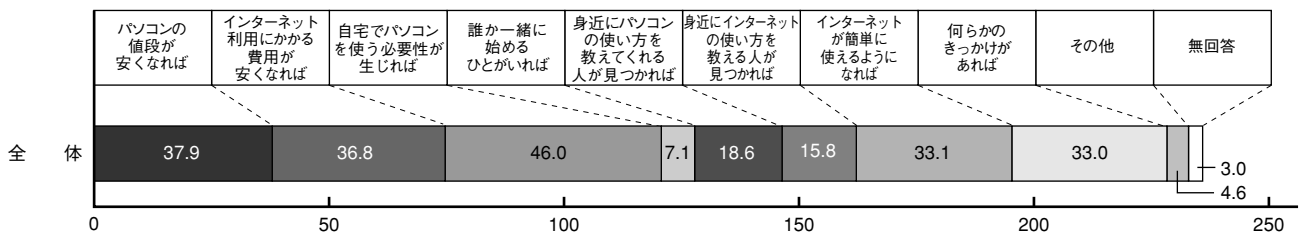
主に、視覚障がい者は「費用の低廉化」、その他は「教えてくれるひと」や「勉強の機会」

- ・障がいの種別に関わらず、「インターネット利用にかかる費用が安くなれば」の回答が多い。利用のための条件は非常に多岐にわたっているが、視覚障がい者は「パソコン等の値段が安くなれば」(56.9%)等、主に費用面を条件としているのに対し、他の障がい者は「使い方を勉強するための機会や場所があれば」等、主に使い方を覚えるための助けが条件となっている。

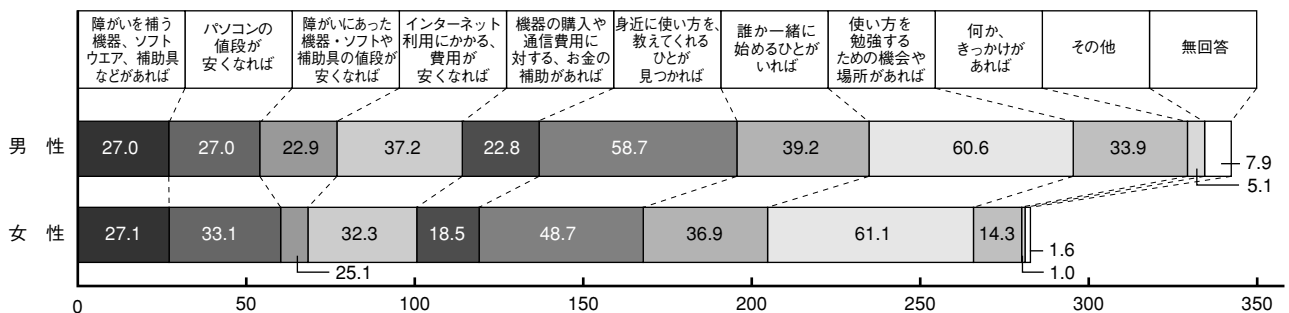
■図表1 障がい別



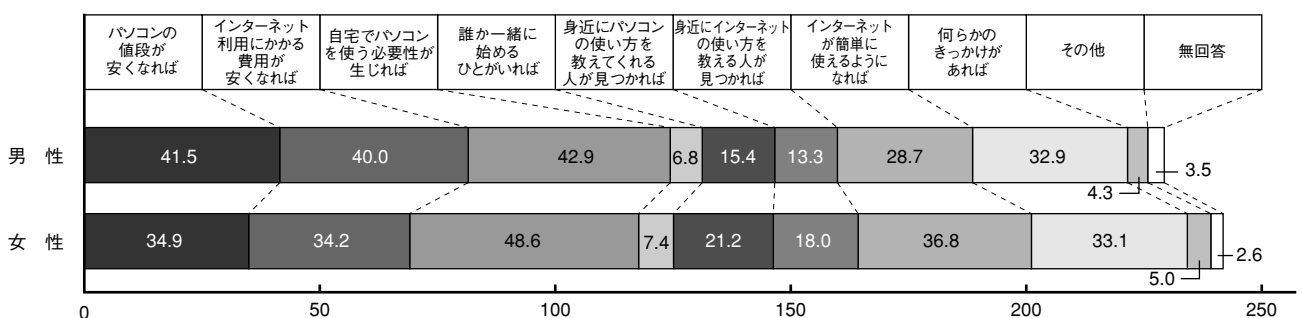
▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用するための条件)

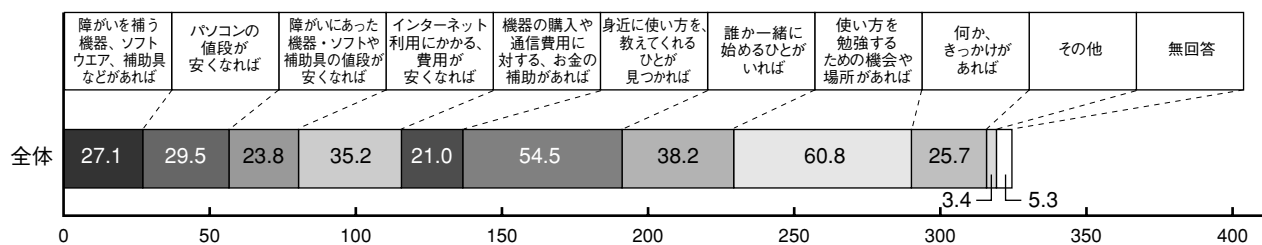


■図表2 性別

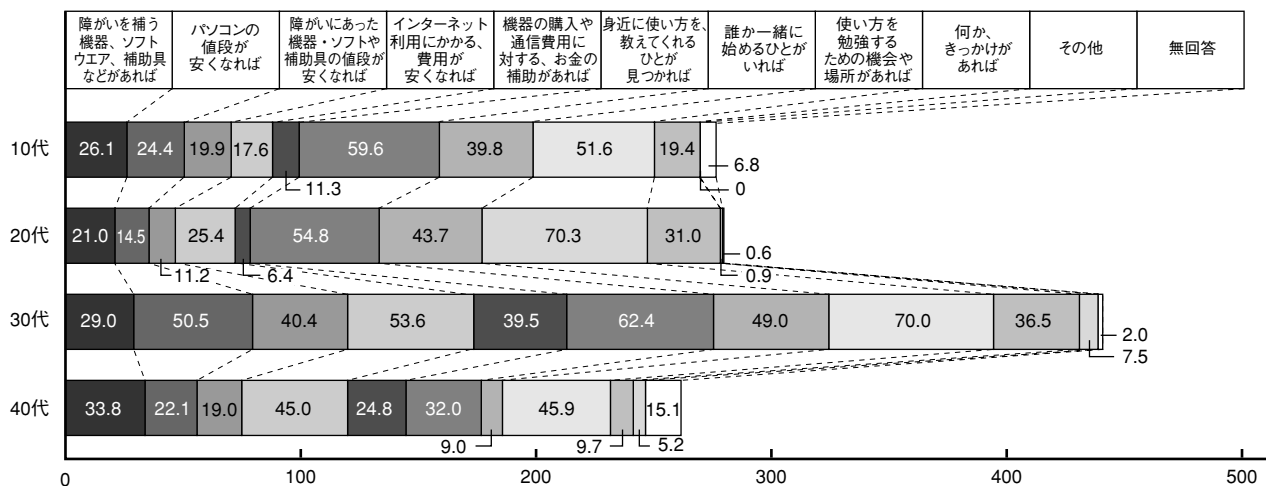


▼全国調査(「自宅」でインターネットを利用するための条件)

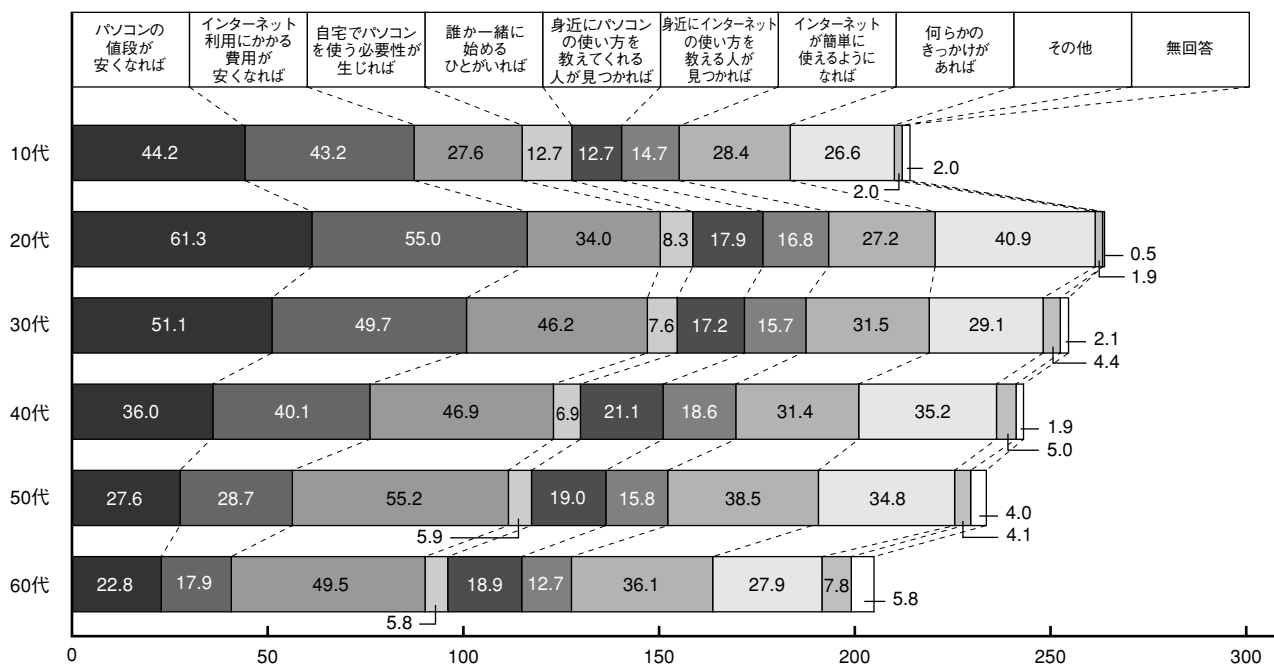




■図表3 年代別



▼全国調査「自宅」でインターネットを利用するための条件



2-16-② インターネットを利用する条件(%)

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか？(○はいくつでも)



■図表4 性別・就業の有無別

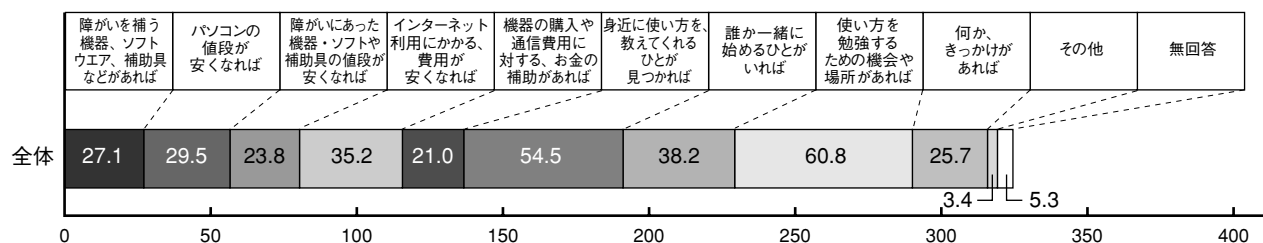
	障がいや補う機器、ソフトウェア、補助具などがあれば	パソコンの値段が安くなれば	障がいにあつた機器・ソフトや補助具の値段が安くなれば	インターネット利用にかかる、費用が安くなれば	機器の購入や通信費用に対する、お金の補助があれば	身近に使い方を、教えてくれるひとが見つければ	誰か一緒に始めるひとがいれば	使い方を勉強するための機会や場所があれば	何か、きっかけがあれば	その他	無回答
男性	27.0	27.0	22.9	37.2	22.8	58.7	39.2	60.6	33.9	5.1	7.9
している	24.9	27.2	24.6	41.4	26.4	62.4	44.7	70.0	40.3	6.5	7.5
していない	31.2	27.1	20.6	31.5	17.4	51.5	32.1	48.3	25.3	3.2	8.7
無回答	0.0	15.5	15.5	15.5	15.5	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	27.1	33.1	25.1	32.3	18.5	48.7	36.9	61.1	14.3	1.0	1.6
している	16.2	36.7	26.0	36.5	21.2	47.2	53.9	67.0	21.0	0.0	3.5
していない	36.4	29.6	23.8	28.3	15.7	50.3	23.0	56.6	8.8	1.8	0.0
無回答	0.0	100	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

▼全国調査(「自宅で」インターネットを利用するための条件)

	パソコンの値段が安くなれば	インターネット利用にかかる費用が安くなれば	自宅でパソコンを使う必要性が生じれば	誰か一緒に始めるひとがいれば	身近にパソコンの使い方を教えてくれる人が見つければ	身近にインターネットの使い方を教える人が見つければ	インターネットが簡単に使えるようになれば	何らかのきっかけがあれば	その他	無回答
男性	41.5	40.0	42.9	6.8	15.4	13.3	28.7	32.9	4.3	3.5
している	41.9	40.8	43.7	6.6	15.8	13.6	27.4	34.5	3.0	3.7
していない	40.2	36.5	39.6	7.7	13.8	11.9	34.0	26.2	9.5	2.8
女性	34.9	34.2	48.6	7.4	21.2	18.0	36.8	33.1	5.0	2.6
している	35.5	33.8	49.3	7.6	23.1	18.9	36.4	36.7	3.6	2.1
していない	34.1	34.6	47.7	7.3	18.9	16.9	37.2	28.6	6.7	3.1

■図表5 性別・就学の有無別

	障がいや補う機器、ソフトウェア、補助具などがあれば	パソコンの値段が安くなれば	障がいにあつた機器・ソフトや補助具の値段が安くなれば	インターネット利用にかかる、費用が安くなれば	機器の購入や通信費用に対する、お金の補助があれば	身近に使い方を、教えてくれるひとが見つければ	誰か一緒に始めるひとがいれば	使い方を勉強するための機会や場所があれば	何か、きっかけがあれば	その他	無回答
男性	27.0	27.0	22.9	37.2	22.8	58.7	39.2	60.6	33.9	5.1	7.9
在学中	26.9	29.1	15.7	28.1	14.5	54.4	40.9	40.8	26.3	0.8	9.5
卒業	27.5	26.4	25.5	40.7	25.7	59.4	37.8	67.0	37.1	6.7	7.5
無回答	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	100	83.3	83.3	0.0	0.0	0.0
女性	27.1	33.1	25.1	32.3	18.5	48.7	36.9	61.1	14.3	1.0	1.6
在学中	17.6	21.0	13.2	11.4	2.8	61.8	26.8	67.9	6.9	1.7	5.0
卒業	33.1	39.2	31.5	39.3	25.7	44.6	40.2	57.3	18.6	0.6	0.0
無回答	0.0	29.3	13.4	100	29.3	0.0	70.7	70.7	0.0	0.0	0.0



▼全国調査(「自宅で」インターネットを利用するための条件)

	パソコンの値段が安くなれば	インターネット利用にかかる費用が安くなれば	自宅でパソコンを使う必要性が生じれば	誰か一緒に始めるひとがいれば	身近にパソコンの使い方を教えてくれる人が見つければ	身近にインターネットの使い方を教える人が見つければ	インターネットが簡単に使えるようになれば	何らかのきっかけがあれば	その他	無回答
男性	41.5	40.0	42.9	6.8	15.4	13.3	28.7	32.9	4.3	3.5
在学中	41.4	50.4	28.5	5.9	9.8	13.7	29.3	30.4	0.0	2.0
卒業	41.9	39.4	44.1	6.9	15.8	13.3	28.9	33.2	4.7	3.5
無回答	21.4	20.3	41.2	7.3	20.9	6.8	14.7	23.2	0.0	13.6
女性	34.9	34.2	48.6	7.4	21.2	18.0	36.8	33.1	5.0	2.6
在学中	41.1	43.3	20.3	16.2	15.8	20.6	35.2	24.6	2.0	0.0
卒業	34.6	33.8	50.1	6.7	21.6	17.9	37.1	33.5	5.1	2.6
無回答	25.4	19.9	64.3	18.5	18.0	12.5	24.1	40.9	5.5	6.1

■図表6 手帳の種別・等級別

	障がい補助機器・ソフトウェア・補助具などがあれば	パソコンの値段が安くなれば	障がいを持った機器・ソフトウェア・補助具の値段が安くなれば	インターネット利用にかかる費用が安くなれば	機器の購入や通信費用に対するお金の補助があれば	身近に使い方を教えてくれる人が見つければ	誰か一緒に始めるひとがいれば	使い方を勉強するための機会や場所があれば	何か、きっかけがあれば	その他	無回答
身体障害者手帳	36.6	29.8	30.4	41.7	25.2	43.0	25.6	48.9	17.4	4.9	3.0
1級	47.4	30.4	30.4	47.5	29.1	37.2	13.0	46.5	13.8	7.0	4.3
2級	27.9	35.7	23.3	47.4	36.9	50.4	49.4	46.2	42.3	1.7	0.0
3～6級	12.5	23.2	36.4	19.9	4.0	53.6	42.2	57.9	7.3	1.4	1.8
愛の手帳	25.0	27.6	22.4	29.6	16.3	57.6	43.6	63.2	26.7	2.6	6.1
1～2度	46.1	13.2	22.1	4.8	2.4	56.9	23.2	60.9	30.2	0.0	0.0
3度	29.0	21.8	18.9	23.9	14.0	62.4	54.0	79.2	26.9	3.3	4.2
4度	12.0	38.0	24.3	45.3	24.6	55.6	49.1	56.6	24.8	3.7	10.3
どれも持っていない	0.0	100	0.0	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

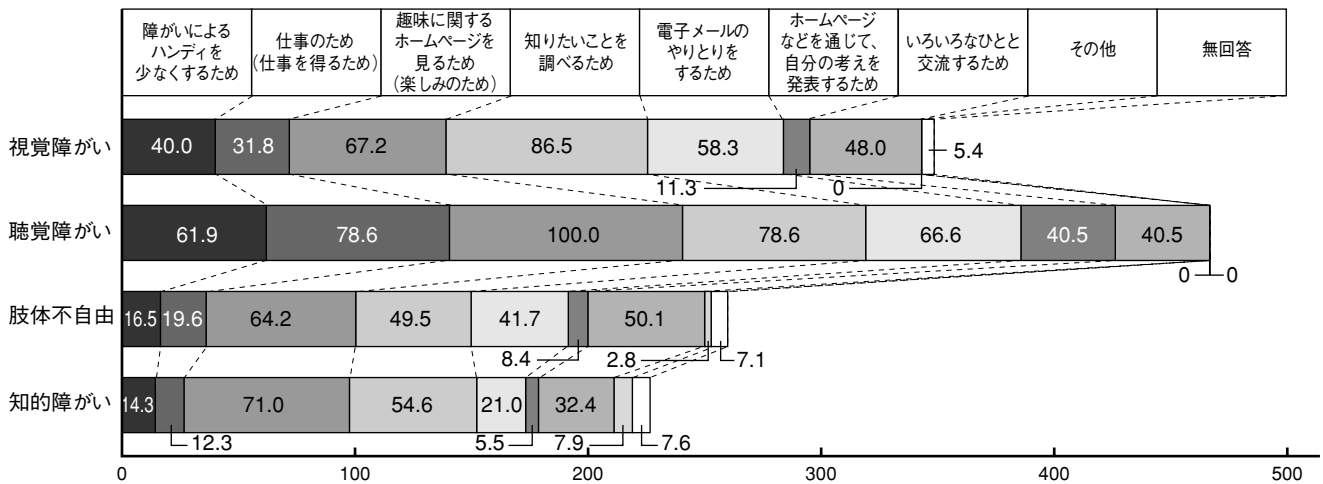
2-17-① インターネットの用途(現在、利用していないひと)(%)

どのような目的でインターネットを利用したいと思いますか？(○はいくつでも)

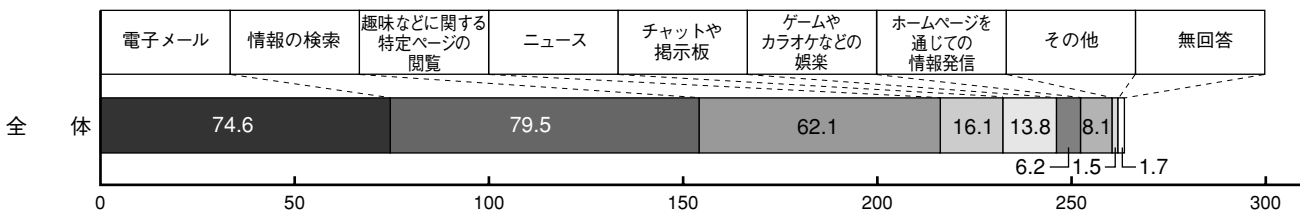
「趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)」69.7%、「知りたいことを調べるため」55.3%

- ・障がいの種別に関わらず、「趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)」、「知りたいことを調べるため」、「いろいろなひとと交流するため」、「電子メールのやりとりをするため」の回答が多い。
- ・聴覚障がい者と視覚障がい者については、「障害によるハンディを少なくするため」(それぞれ61.9%、40%)と「仕事のため(仕事を得るため)」(それぞれ78.6%、31.8%)との回答も多い。

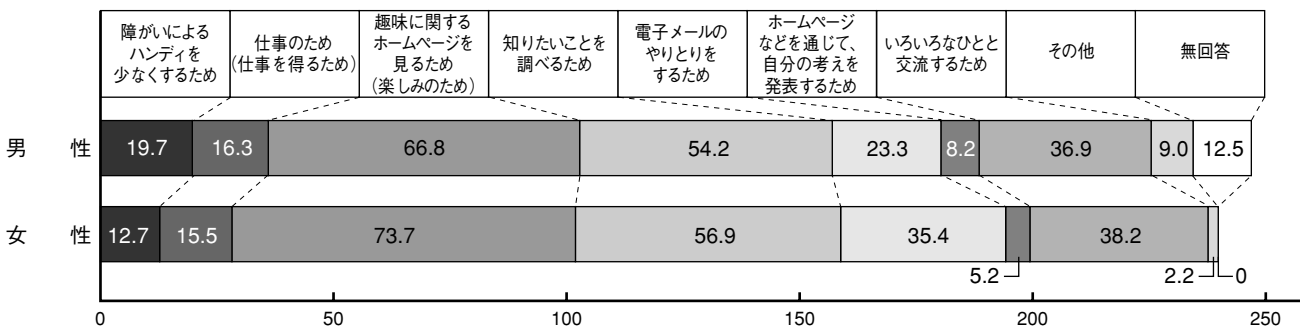
■図表1 障がい別



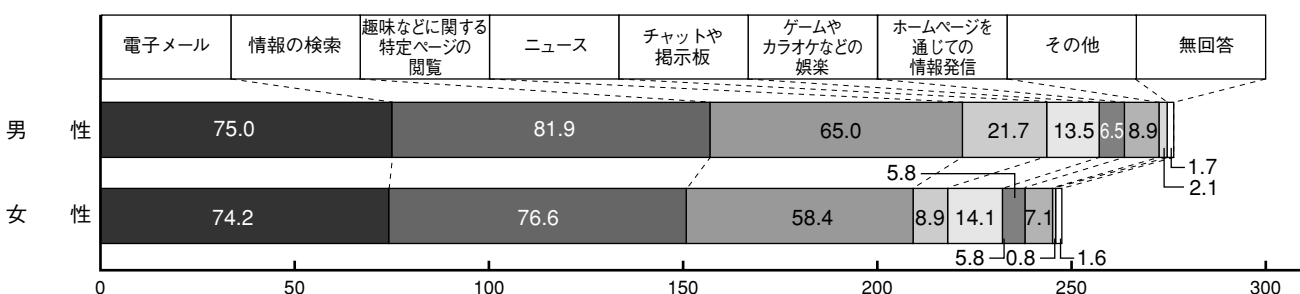
▼全国調査(「自宅」)でどのような用途でインターネットを利用しているか

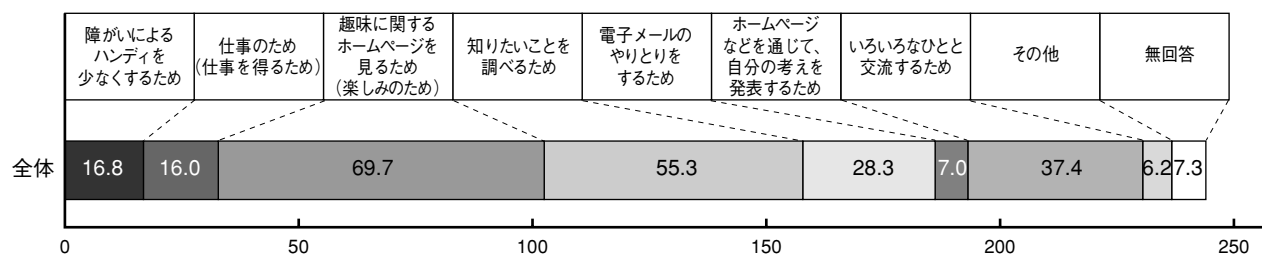


■図表2 性別

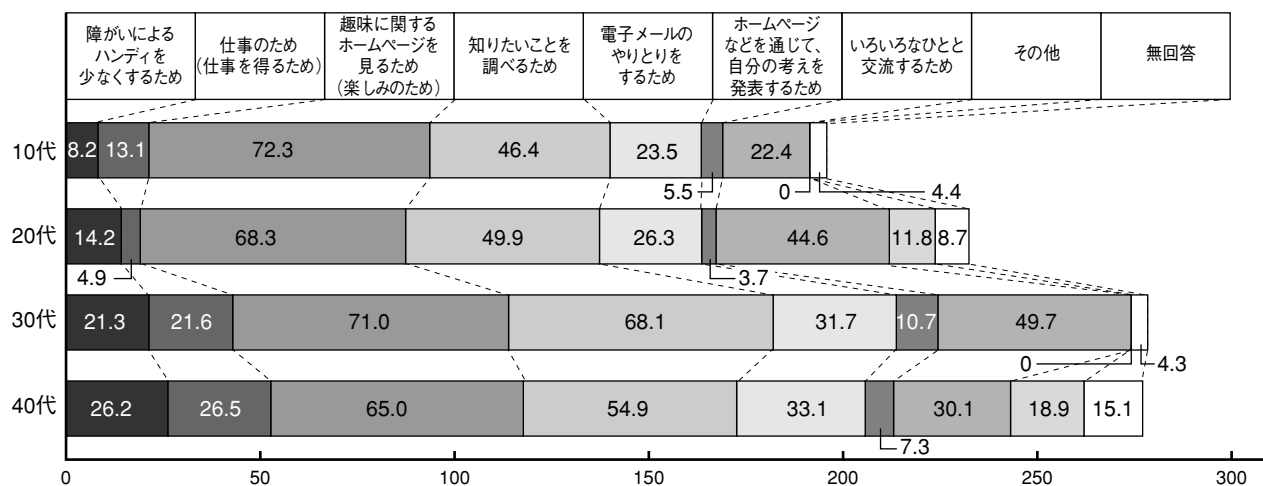


▼全国調査(「自宅」)でどのような用途でインターネットを利用しているか

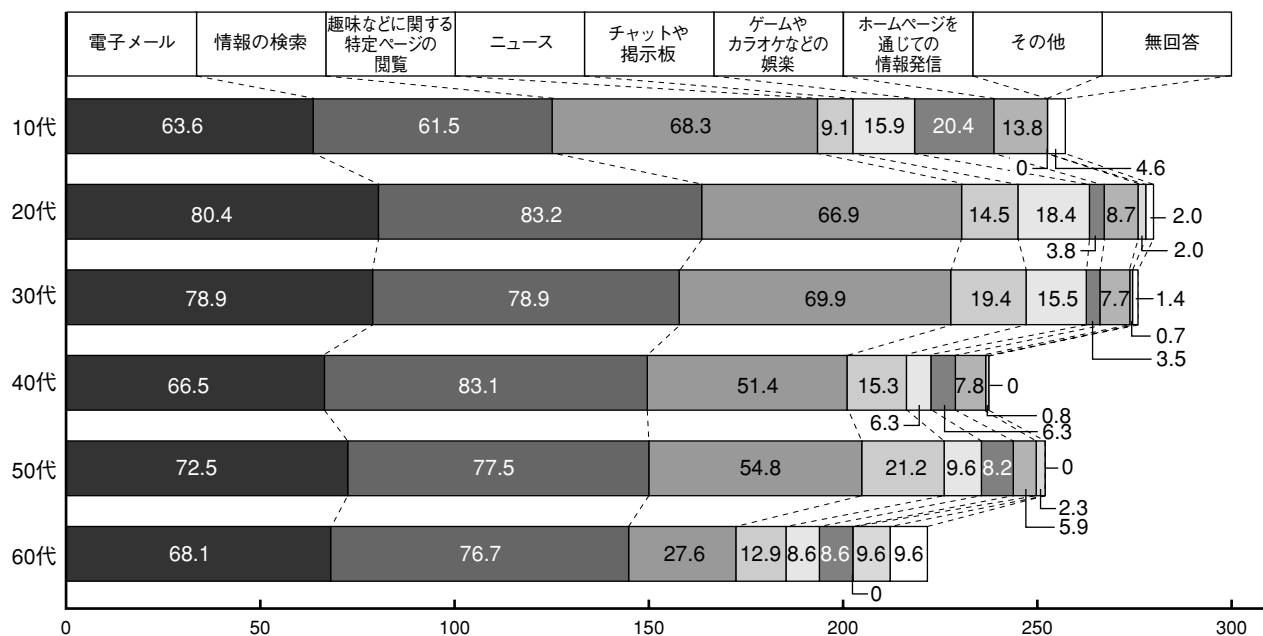




■図表3 年代別



▼全国調査(「自宅」)でどのような用途でインターネットを利用しているか



2-17-② インターネットの用途(現在、利用していないひと)(%)

どのような目的でインターネットを利用したいと思いますか？(○はいくつでも)



■図表4 性別・就業の有無別

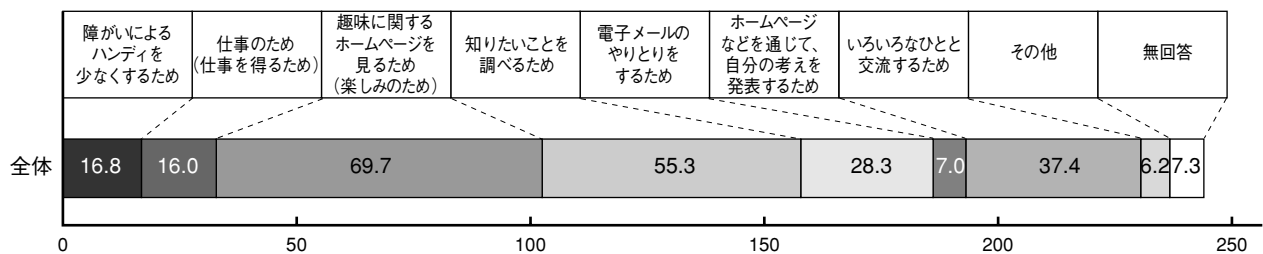
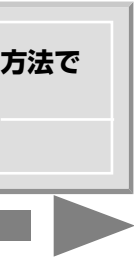
	障がいによる ハンディを 少なくするため	仕事のため (仕事を得るため)	趣味に関する ホームページを 見るため (楽しみのため)	知りたいことを 調べるため	電子メールの やりとりを するため	ホームページ などを通じて、 自分の考えを 発表するため	いろいろなひとと 交流するため	その他	無回答
男性	19.7	16.3	66.8	54.2	23.3	8.2	36.9	9.0	12.5
している	27.8	20.7	75.1	63.4	21.9	9.4	38.3	15.1	9.6
していない	8.0	10.3	53.1	41.5	25.8	3.4	32.7	0.0	17.3
無回答	0.0	0.0	100	15.5	15.5	100	100	0.0	0.0
女性	12.7	15.5	73.7	56.9	35.4	5.2	38.2	2.2	0.0
している	8.7	7.9	70.8	61.0	37.5	7.7	50.0	0.0	0.0
していない	15.3	21.2	75.9	53.2	34.0	3.2	27.9	4.0	0.0
無回答	100	100	100	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	障がいによる ハンディを 少なくするため	仕事のため (仕事を得るため)	趣味に関する ホームページを 見るため (楽しみのため)	知りたいことを 調べるため	電子メールの やりとりを するため	ホームページ などを通じて、 自分の考えを 発表するため	いろいろなひとと 交流するため	その他	無回答
男性	27.0	27.0	22.9	37.2	22.8	58.7	39.2	60.6	33.9
在学中	4.2	11.3	61.4	47.7	22.6	5.2	25.1	0.0	9.5
卒業	23.9	18.3	69.5	57.0	23.7	9.1	39.9	12.2	13.7
無回答	83.3	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	100	0.0	0.0
女性	12.7	15.5	73.7	56.9	35.4	5.2	38.2	2.2	0.0
在学中	10.9	26.5	79.3	55.5	22.9	1.3	10.9	0.0	0.0
卒業	13.6	10.2	69.7	55.5	39.1	7.4	48.5	3.4	0.0
無回答	13.4	13.4	100	100	86.6	0.0	100	0.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	障がいによる ハンディを 少なくするため	仕事のため (仕事を得るため)	趣味に関する ホームページを 見るため (楽しみのため)	知りたいことを 調べるため	電子メールの やりとりを するため	ホームページ などを通じて、 自分の考えを 発表するため	いろいろなひとと 交流するため	その他	無回答
身体障害者手帳	25.1	21.1	68.0	58.2	38.8	11.1	40.2	8.0	4.7
1級	28.8	19.5	72.4	46.8	39.7	7.2	44.8	13.1	6.7
2級	39.0	30.9	81.7	74.7	49.0	18.6	49.4	0.0	0.0
3～6級	2.6	17.6	43.8	77.7	27.5	16.2	18.9	0.0	3.0
愛の手帳	14.4	11.4	67.5	53.2	21.5	5.1	33.8	7.2	7.9
1～2度	20.4	0.0	64.5	43.9	17.0	0.0	20.7	18.0	10.0
3度	17.6	7.8	70.4	56.1	19.1	0.0	41.2	0.0	4.2
4度	9.7	19.0	67.7	56.7	25.0	10.2	37.0	5.2	8.5
どれも持っていない	0.0	100	100	100	100	0.0	0.0	0.0	0.0



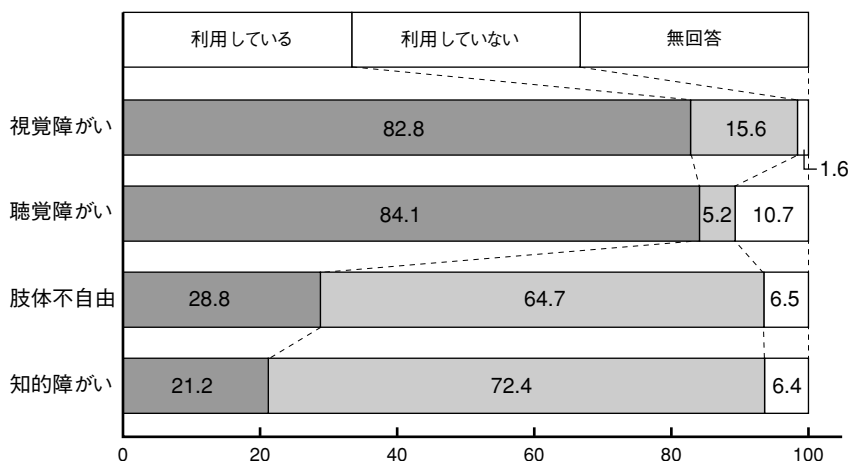
3-1 携帯電話・PHSの利用率(%)

あなたは携帯電話・PHSを利用していますか？

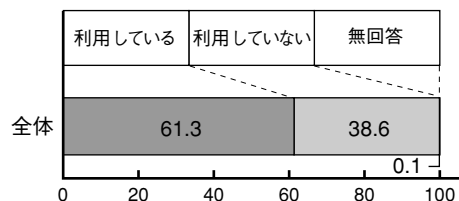
視覚障がい者82.8%、聴覚障がい者84.1%

- ・全国調査の結果は61.3%であり、対象者が70歳未満であること、本調査と1年間の時間差があることを考慮しても、視覚障がい者と聴覚障がい者の利用率は高い。視覚障がい者及び聴覚障がい者と比較した場合、肢体不自由者と知的障がい者の利用率は低いものの、それぞれ28.8%と21.2%が利用しており、多くの利用者がいることがわかる。
- ・障がい者全体では28.3%であるのに対し、就学者の利用率は高く、在学中の男性は38%、女性は46.7%が利用している。

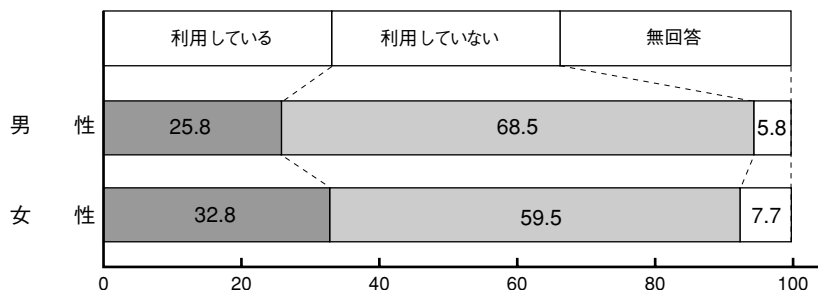
■図表1 障がい別



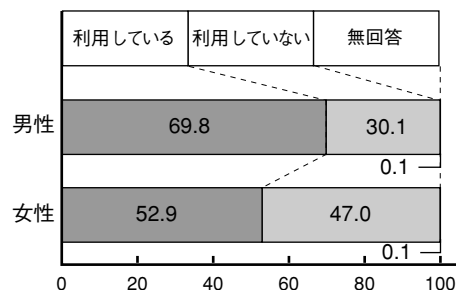
▼全国調査



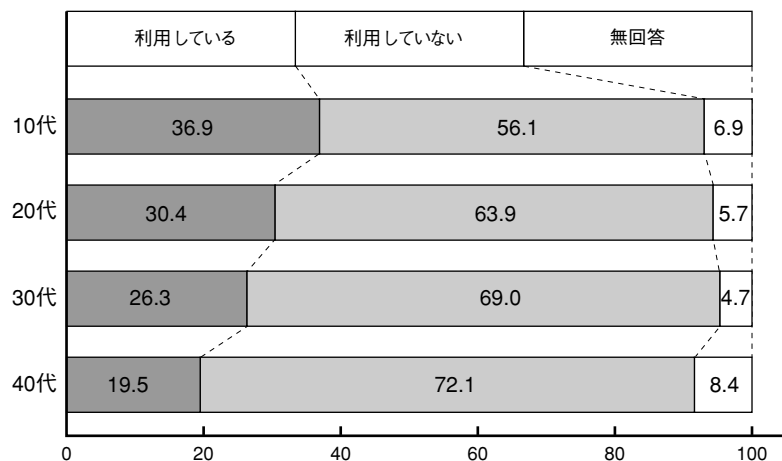
■図表2 性別



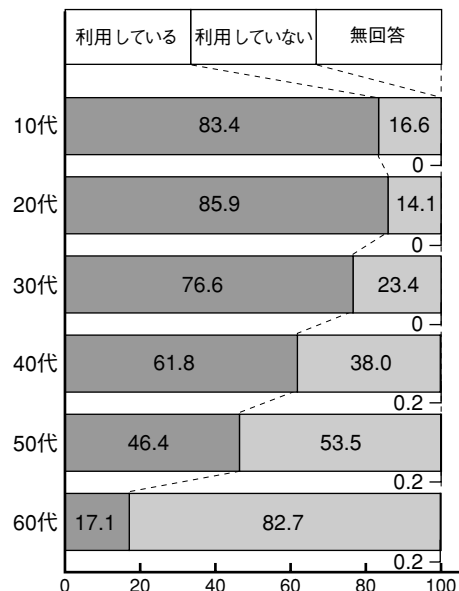
▼全国調査



■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	利用している	利用していない	無回答
男性	25.8	68.5	5.8
している	28.7	64.9	6.4
していない	23.5	72.5	4.0
無回答	13.9	56.3	29.8
女性	32.8	59.5	7.7
している	34.3	59.9	5.8
していない	30.1	60.7	9.2
無回答	69.3	8.9	21.8

▼全国調査

	利用している	利用していない	無回答
男性	69.8	30.1	0.1
している	73.2	26.7	0.1
していない	54.5	45.5	0.0
女性	52.9	47.0	0.1
している	61.6	38.3	0.1
していない	40.9	59.1	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	利用している	利用していない	無回答
男性	25.8	68.5	5.8
在学中	38.0	57.0	4.9
卒業	21.5	72.9	5.6
無回答	19.4	69.0	11.6
女性	32.8	59.5	7.7
在学中	46.7	43.4	9.9
卒業	27.2	65.9	6.8
無回答	34.1	57.8	8.0

▼全国調査

	利用している	利用していない	無回答
男性	69.8	30.1	0.1
在学中	84.3	15.7	0.0
卒業	68.1	31.9	0.0
無回答	56.1	32.9	11.1
女性	52.9	47.0	0.1
在学中	89.1	10.9	0.0
卒業	49.4	50.5	0.1
無回答	27.1	72.9	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	利用している	利用していない	無回答
身体障害者手帳	39.2	53.5	7.3
1級	29.5	65.7	4.8
2級	62.7	27.9	9.4
3～6級	29.9	59.1	11.0
無回答	0.0	100	0.0
愛の手帳	19.7	74.1	6.2
1～2度	5.9	87.1	6.9
3度	21.3	74.8	3.8
4度	26.7	65.5	7.8
無回答	34.8	65.2	0.0
どれも持っていない	52.9	47.1	0.0
無回答	29.4	17.2	53.3

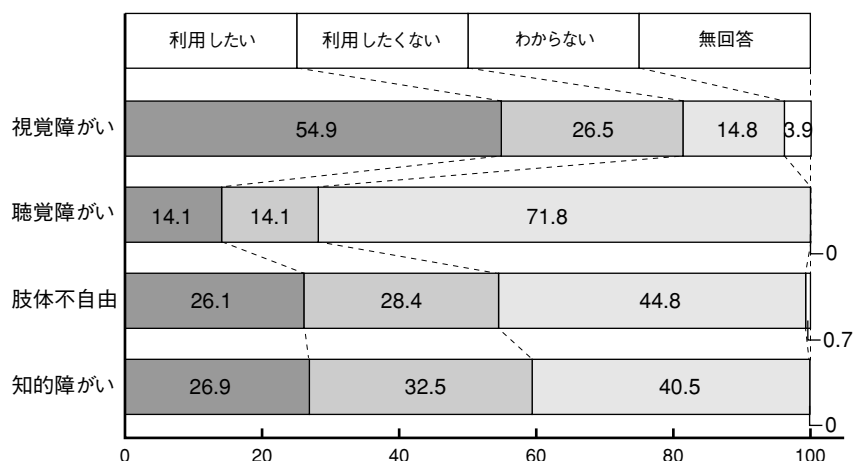
3-2 携帯電話・PHSの利用意向(%)

今後、携帯電話・PHSを利用したいと思いますか？

視覚障がい者54.9%

- ・障がい別にみた場合、視覚障がい者についてのみ、「利用したい」(54.9%)が「利用したくない」(26.5%)を上回る結果となっている。
- ・男女を比較した場合、女性の利用意向(35.8%)が男性(22.8%)を上回っており、全国調査とは逆の結果となっている。就学者の利用意向、特に在学中の女性の意向(52.6%)は高い。

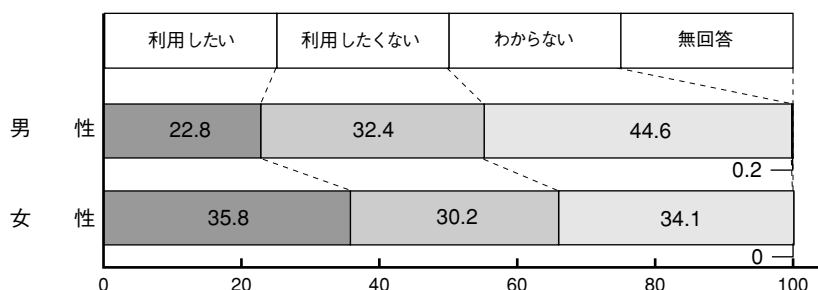
■図表1 障がい別



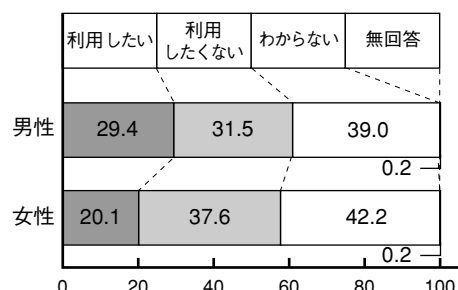
▼全国調査



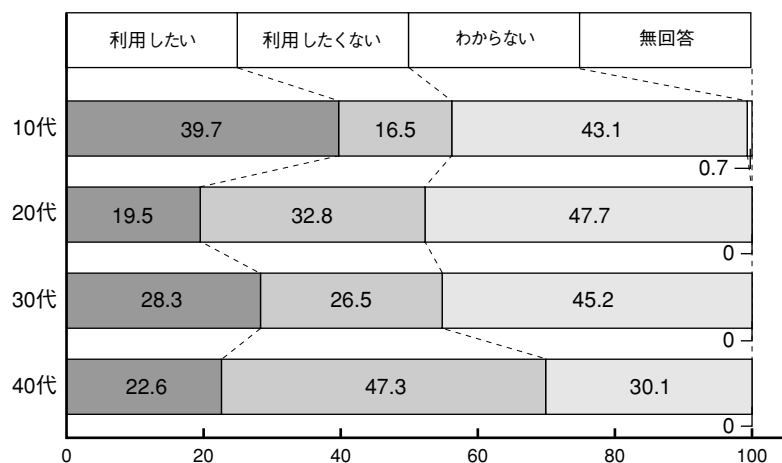
■図表2 性別



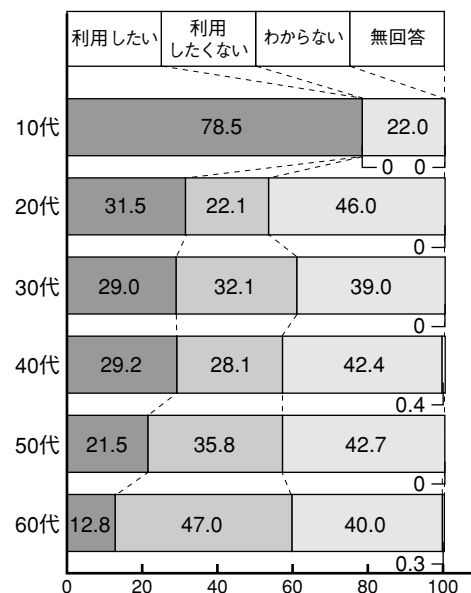
▼全国調査

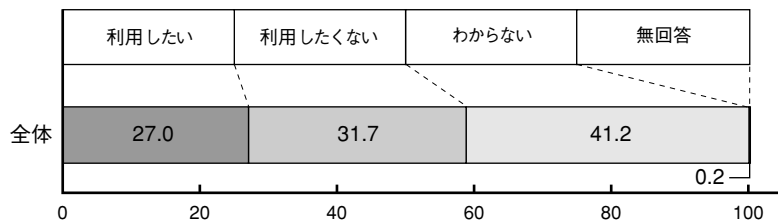


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	22.8	32.4	44.6	0.2
している	26.6	37.1	36.3	0.0
していない	20.2	27.5	51.8	0.5
無回答	7.1	52.9	40.0	0.0
女性	35.8	30.2	34.1	0.0
している	40.9	33.6	25.5	0.0
していない	30.6	26.9	42.4	0.0
無回答	41.8	0.0	58.2	0.0

▼全国調査

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	29.4	31.5	39.0	0.2
している	30.8	29.7	39.5	0.0
していない	25.5	36.2	37.6	0.8
女性	20.1	37.6	42.2	0.2
している	21.0	37.6	41.5	0.0
していない	19.3	37.7	42.8	0.3

■図表5 性別・就学の有無別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	22.8	32.4	44.6	0.2
在学中	33.7	16.7	48.5	1.1
卒業	21.3	34.6	44.1	0.0
無回答	1.6	63.1	35.3	0.0
女性	35.8	30.2	34.1	0.0
在学中	52.6	15.5	31.9	0.0
卒業	31.9	33.1	35.0	0.0
無回答	29.2	41.6	29.2	0.0

▼全国調査

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	29.4	31.5	39.0	0.2
在学中	67.6	4.9	27.5	0.0
卒業	27.1	32.7	40.0	0.2
無回答	16.2	66.2	17.5	0.0
女性	20.1	37.6	42.2	0.2
在学中	74.5	0.0	25.5	0.0
卒業	18.6	38.8	42.4	0.2
無回答	29.8	20.2	50.0	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
身体障害者手帳	27.3	28.0	44.2	0.5
1級	25.5	25.9	47.8	0.8
2級	30.7	31.3	37.9	0.0
3～6級	31.1	29.1	39.8	0.0
無回答	0.0	100	0.0	0.0
愛の手帳	25.5	32.0	42.3	0.1
1～2度	12.7	29.1	57.7	0.5
3度	31.4	36.6	31.9	0.0
4度	31.3	30.0	38.7	0.0
無回答	24.8	51.0	24.2	0.0
どれも持っていない	61.7	5.2	33.1	0.0
無回答	58.4	0.0	41.6	0.0

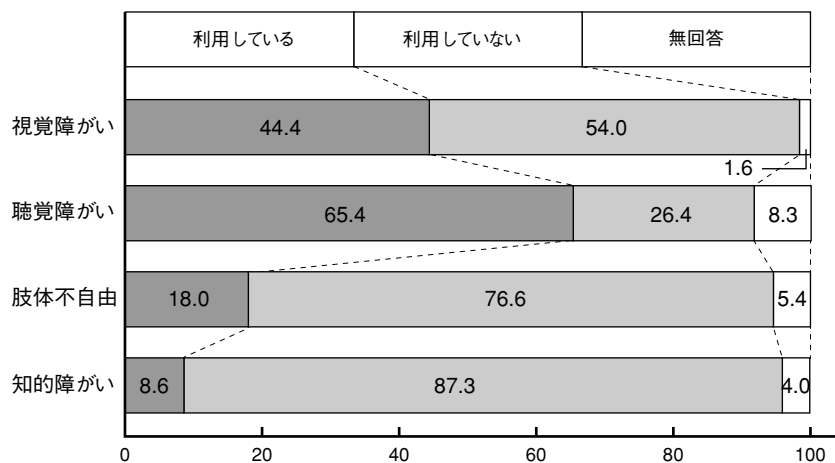
3-3 携帯電話・PHSによるインターネット利用率(%)

あなたは、iモード、Jスカイ、EZWebなど、携帯電話・PHSを使用したインターネット接続サービス(電子メールを含みます)を利用していますか？

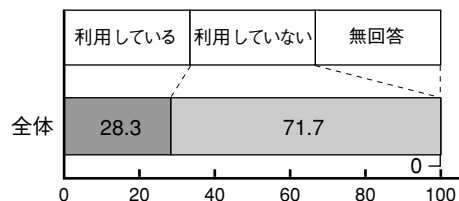
視覚障がい者44.4%、聴覚障がい者65.4%

- ・視覚障がい者の利用率が44.4%に達している。全国に障害者手帳を持つ視覚障がい者は約30万人とされているが、糖尿病等による後期障がい者を含めると、実際に視覚に不自由を感じる人は約300万人いるとされている。視覚障がい者にとって、携帯電話は必需品となりつつあり、大きな市場が存在する。しかしながら、メニューやメールを音声で読み上げる携帯電話は富士通(株)1社のみがNTTDoCoMoブランドで販売しているにすぎない。
- ・肢体不自由者と知的障がい者の利用率はそれぞれ18%と8.6%と相対的に低い。絶対数で見た場合、全国に多くの利用者がいることがわかる。より一層の障がい者向けのサービスや機器の開発と提供が望まれる。

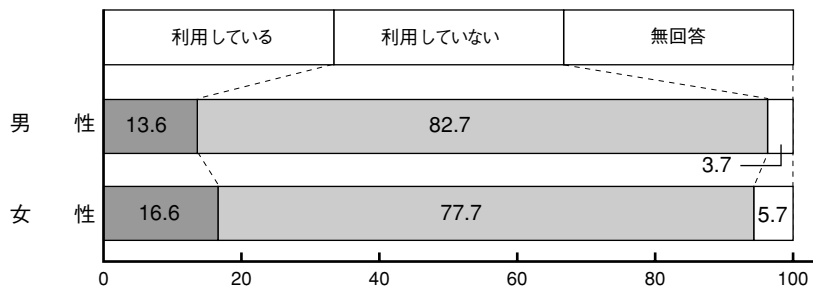
■図表1 障がい別



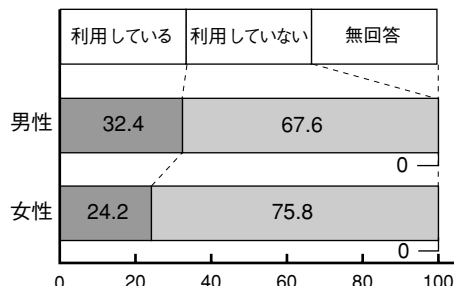
▼全国調査



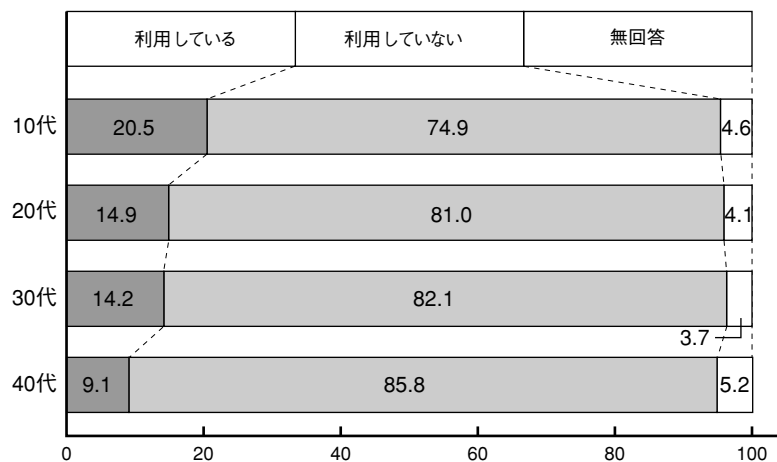
■図表2 性別



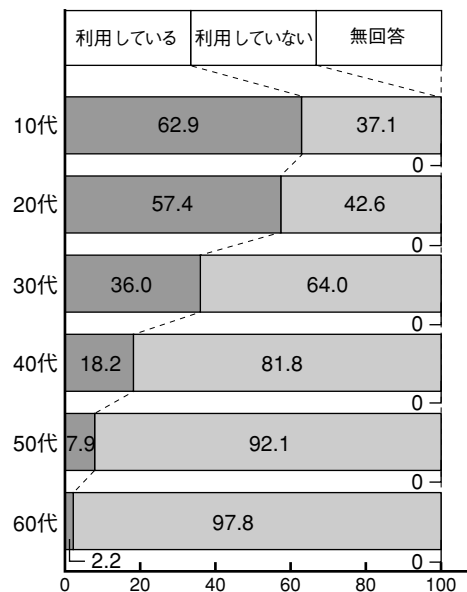
▼全国調査

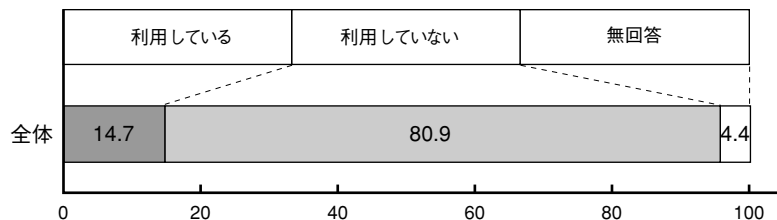


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	利用している	利用していない	無回答
男性	13.6	82.7	3.7
している	14.6	80.1	5.3
していない	13.0	84.6	2.4
無回答	6.4	93.6	0.0
女性	16.6	77.7	5.7
している	16.8	80.2	3.0
していない	15.8	76.4	7.8
無回答	35.0	43.2	21.8

▼全国調査

	利用している	利用していない	無回答
男性	32.4	67.6	0.0
している	32.4	67.6	0.0
していない	32.3	67.7	0.0
女性	24.2	75.8	0.0
している	26.8	73.2	0.0
していない	20.7	79.3	0.0

■図表5 性別・就学の有無別

	利用している	利用していない	無回答
男性	13.6	82.7	3.7
在学中	23.5	74.7	1.8
卒業	9.4	85.8	4.8
無回答	16.5	83.5	0.0
女性	16.6	77.7	5.7
在学中	25.9	64.7	9.4
卒業	13.6	81.8	4.7
無回答	9.6	90.4	0.0

▼全国調査

	利用している	利用していない	無回答
男性	32.4	67.6	0.0
在学中	61.4	38.6	0.0
卒業	29.0	71.0	0.0
無回答	9.8	90.2	0.0
女性	24.2	75.8	0.0
在学中	66.6	33.4	0.0
卒業	20.0	80.0	0.0
無回答	5.4	94.6	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	利用している	利用していない	無回答
身体障害者手帳	25.3	69.3	5.4
1級	15.4	80.9	3.7
2級	44.5	50.4	5.1
3～6級	22.6	67.0	10.4
無回答	0.0	100	0.0
愛の手帳	7.8	88.6	3.7
1～2度	1.5	94.8	3.7
3度	5.7	91.2	3.1
4度	12.5	83.3	4.2
無回答	34.8	65.2	0.0
どれも持っていない	20.8	79.2	0.0
無回答	19.5	27.2	53.3

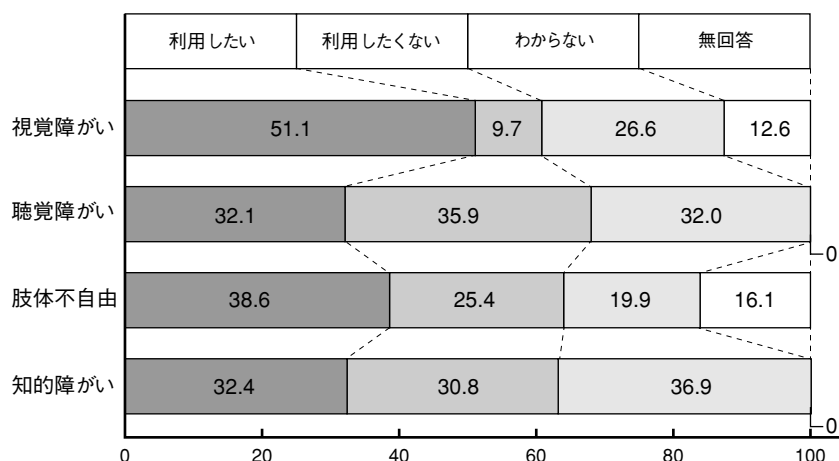
3-4 携帯電話・PHSによるインターネット利用意向(%)

今後、携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスを利用したいと思いますか？

視覚障がい者51.1%、肢体不自由者38.6%、知的障がい者32.4%、聴覚障がい者32.1%

・携帯電話・PHSを利用しており、今後、インターネット接続サービスを利用したいと考える障がい者(全体)は35.3%となっている。視覚障がい者は特に高く、51.1%が利用意向を持っている。

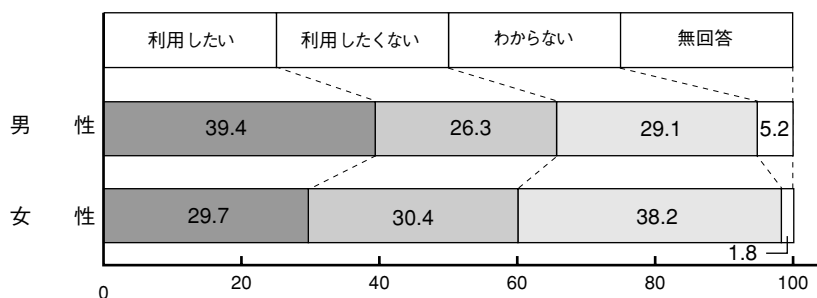
■図表1 障がい別



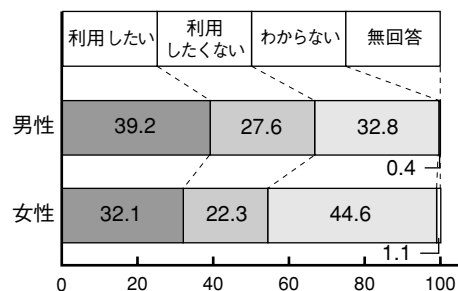
▼全国調査



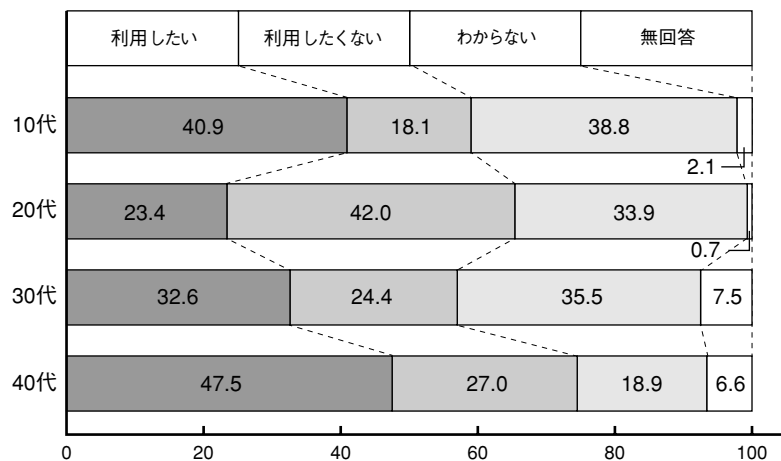
■図表2 性別



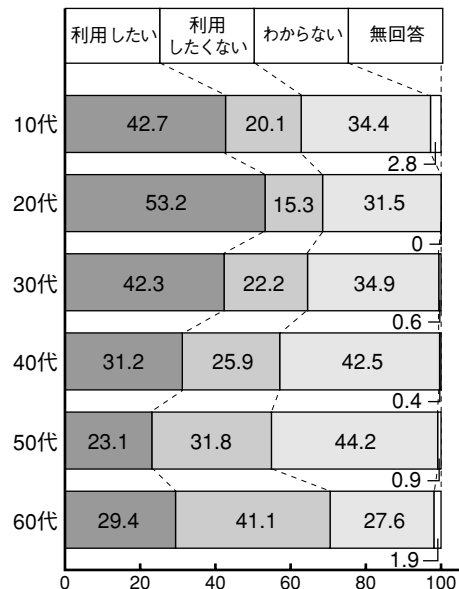
▼全国調査

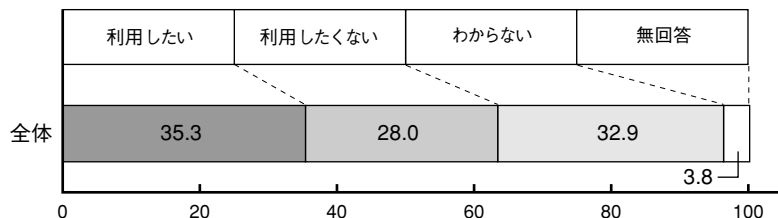


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	39.4	26.3	29.1	5.2
している	33.6	31.5	31.1	3.9
していない	48.4	20.4	27.4	3.8
無回答	0.0	0.0	0.0	100
女性	29.7	30.4	38.2	1.8
している	27.9	33.7	38.3	0.0
していない	34.3	22.1	41.0	2.6
無回答	0.0	82.0	0.0	18.0

▼全国調査

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	39.2	27.6	32.8	0.4
している	40.2	26.9	32.5	0.4
していない	30.6	33.4	36.0	0.0
女性	32.1	22.3	44.6	1.1
している	35.8	21.0	42.5	0.7
していない	23.4	25.3	49.4	1.9

■図表5 性別・就学の有無別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	39.4	26.3	29.1	5.2
在学中	55.5	9.6	34.0	0.9
卒業	32.7	34.7	27.4	5.2
無回答	0.0	0.0	0.0	100
女性	29.7	30.4	38.2	1.8
在学中	33.1	28.0	35.7	3.3
卒業	27.4	36.5	36.1	0.0
無回答	31.8	0.0	61.1	7.1

▼全国調査

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	39.2	27.6	32.8	0.4
在学中	46.2	23.1	30.8	0.0
卒業	39.1	27.6	33.0	0.4
無回答	12.5	52.9	34.6	0.0
女性	32.1	22.3	44.6	1.1
在学中	37.2	15.7	43.1	4.0
卒業	31.7	23.0	44.4	0.8
無回答	29.6	0.0	70.4	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
身体障害者手帳	40.7	21.9	30.3	7.1
1級	47.0	23.3	20.6	9.1
2級	29.4	25.6	40.9	4.1
3～6級	52.0	0.0	39.9	8.2
愛の手帳	32.7	31.6	35.7	0.0
1～2度	9.4	18.2	72.3	0.0
3度	27.8	41.9	30.3	0.0
4度	41.4	25.7	33.0	0.0
どれも持っていない	41.9	41.9	7.6	8.5
無回答	0.0	0.0	0.0	100

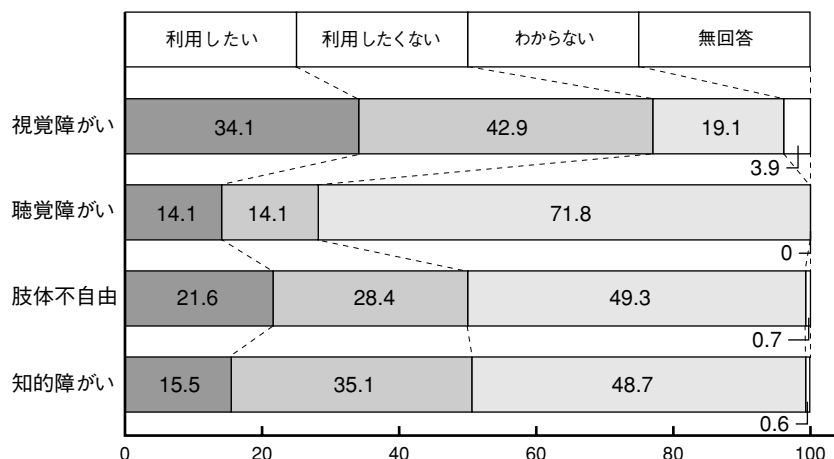
3-5 携帯電話・PHSによるインターネット利用意向(%)

今後、携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスを利用したいと思いますか？

視覚障がい者34.1%、肢体不自由者21.6%、知的障がい者15.5%、聴覚障がい者14.1%

・携帯電話・PHSを利用したいと考える障がい者(全体)は27%であるのに対し、インターネット接続サービスの利用希望については16.8%に止まっている。携帯電話・PHS利用者のうち、インターネット接続サービスを利用したいと考える障がい者(全体)が35.3%であることを考えると、携帯電話・PHSの利用を始めれば、インターネット接続サービスの利用希望も増えると推測される。

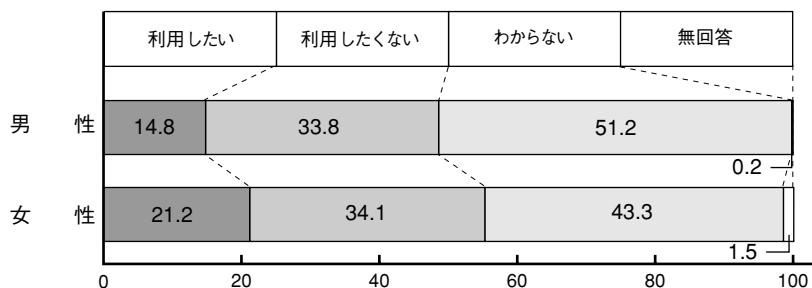
■図表1 障がい別



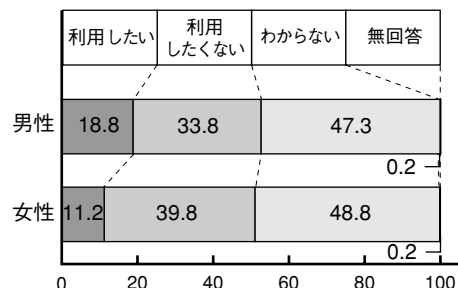
▼全国調査



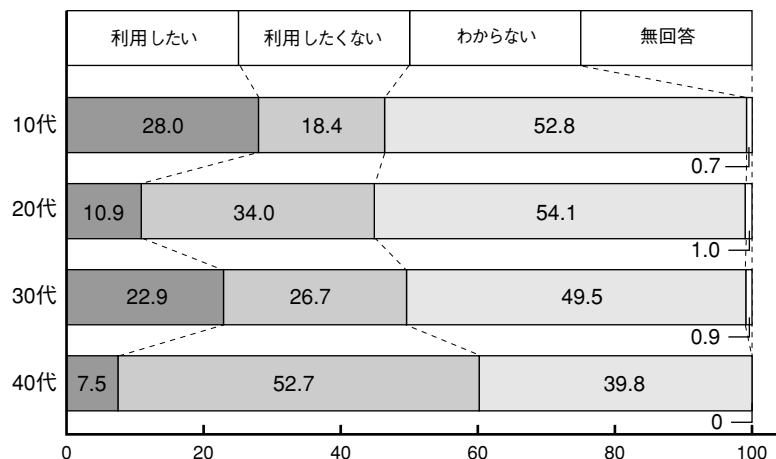
■図表2 性別



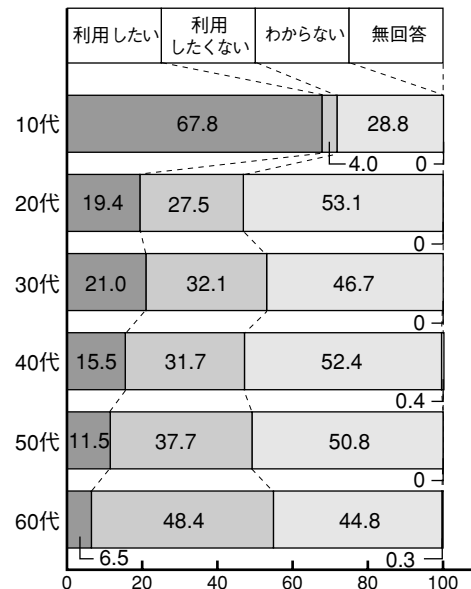
▼全国調査

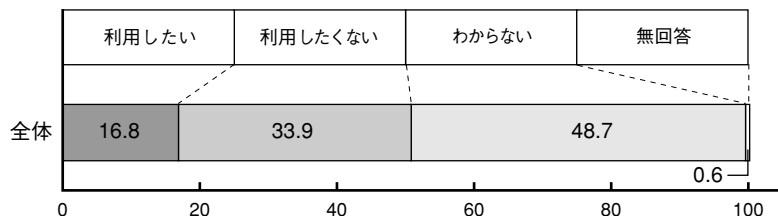


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	14.8	33.8	51.2	0.2
している	16.7	39.4	43.8	0.0
していない	13.3	28.2	58.0	0.5
無回答	7.1	52.9	40.0	0.0
女性	21.2	34.1	43.3	1.5
している	22.9	39.8	34.3	3.0
していない	19.6	28.3	52.1	0.0
無回答	0.0	41.8	58.2	0.0

▼全国調査

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	18.8	33.8	47.3	0.2
している	19.0	32.3	48.7	0.0
していない	18.1	37.7	43.4	0.8
女性	11.2	39.8	48.8	0.2
している	11.8	40.1	48.1	0.0
していない	10.7	39.6	49.5	0.3

■図表5 性別・就学の有無別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	14.8	33.8	51.2	0.2
在学中	25.5	18.3	55.1	1.1
卒業	12.6	36.0	51.4	0.0
無回答	0.9	63.8	35.3	0.0
女性	21.2	34.1	43.3	1.5
在学中	34.7	18.3	46.9	0.0
卒業	19.2	36.4	42.4	2.0
無回答	0.0	57.3	42.7	0.0

▼全国調査

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
男性	18.8	33.8	47.3	0.2
在学中	57.3	4.9	37.8	0.0
卒業	16.6	35.2	48.1	0.2
無回答	0.0	66.2	33.8	0.0
女性	11.2	39.8	48.8	0.2
在学中	66.2	8.3	25.5	0.0
卒業	9.7	40.9	49.2	0.2
無回答	22.0	20.2	57.8	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
身体障害者手帳	19.8	28.5	51.2	0.5
1級	17.8	26.1	55.3	0.8
2級	24.7	32.2	43.1	0.0
3～6級	23.1	30.1	46.8	0.0
無回答	0.0	100	0.0	0.0
愛の手帳	15.0	34.5	49.8	0.7
1～2度	3.4	29.1	67.0	0.5
3度	18.4	41.7	39.0	0.9
4度	21.6	32.2	45.4	0.8
無回答	24.8	51.0	24.2	0.0
どれも持っていない	33.1	5.2	61.7	0.0
無回答	58.4	0.0	41.6	0.0

4

電子商取引について

(全員に対して)

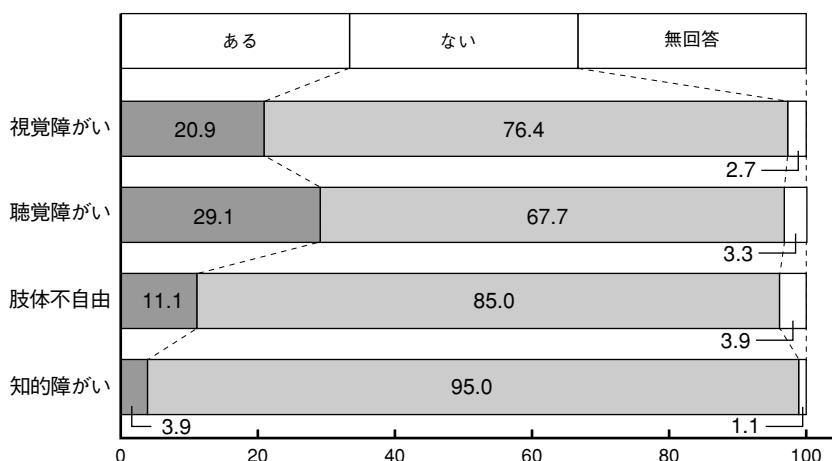
4-1 電子商取引の利用率(%)

インターネットを使って、チケットや本などを買ったりすることを「電子商取引」といいます。あなたは、これまで「電子商取引」(インターネットを使って、チケットや本などを購入すること)をしたことがありますか？(代金引きかえや、振込によって、代金の支払いを行った場合も、含みます。)

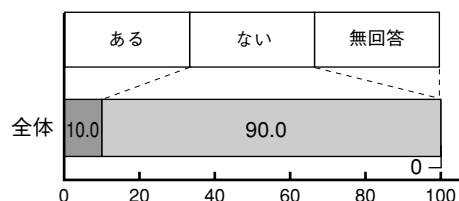
視覚障がい者20.9%、聴覚障がい者29.1%

・全国調査の結果は10%であり、対象者が70歳未満であること、本調査と1年間の時間差があることを考慮しても、視覚障がい者と聴覚障がい者の利用経験率は高い。肢体不自由者も11.1%の利用経験がある。

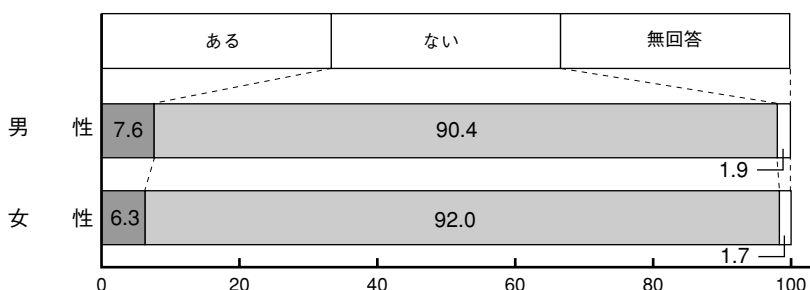
■図表1 障がい別



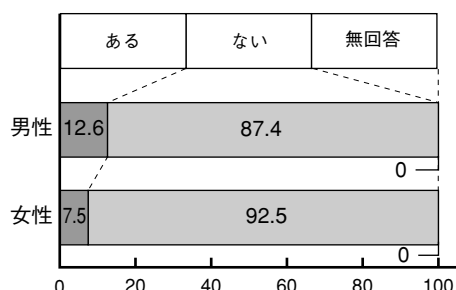
▼全国調査



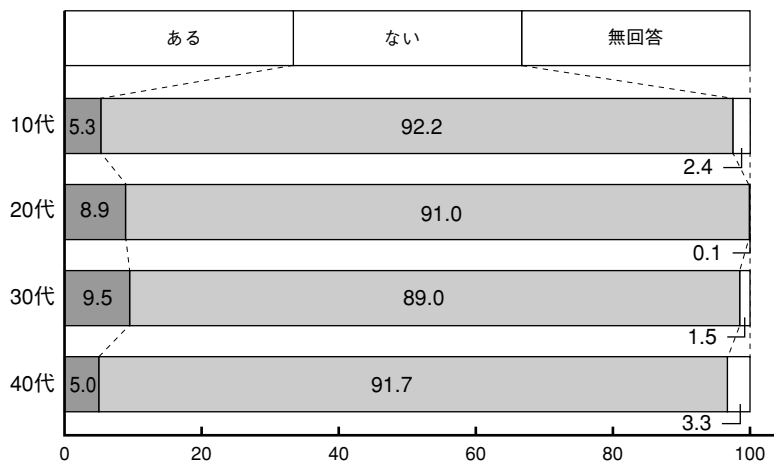
■図表2 性別



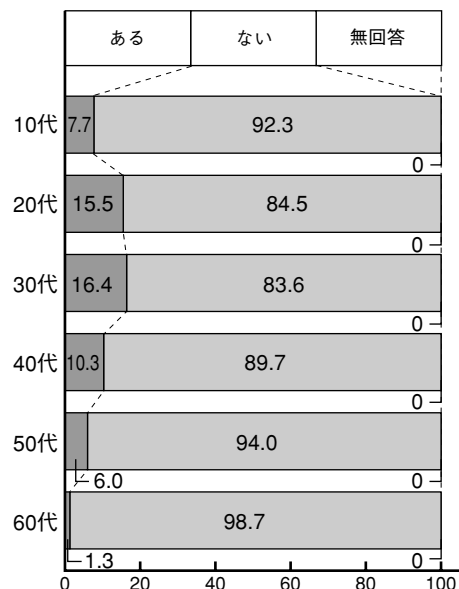
▼全国調査

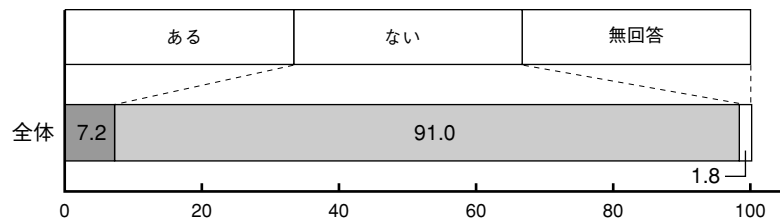


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 就業の有無別

	あ る	な い	無回答
【就業の有無別】			
している	9.5	89.8	0.6
していない	4.9	92.4	2.7
無回答	7.1	86.1	6.9
【性別・就業の有無別】			
男性	7.6	90.4	1.9
している	9.9	89.1	1.0
していない	5.8	91.7	2.5
無回答	1.5	91.0	7.5
女性	6.3	92.0	1.7
している	8.9	91.1	0.0
していない	3.2	93.6	3.2
無回答	21.8	73.0	5.2

▼全国調査

	あ る	な い	無回答
【就業の有無別】			
している	12.2	87.8	0.0
していない	5.0	95.0	0.0

■図表5 就学の有無別

	あ る	な い	無回答
【就学の有無別】			
在学中	6.9	90.8	2.3
卒業	7.3	91.1	1.6
無回答	6.8	90.9	2.4
【性別・就学の有無別】			
男性	7.6	90.4	1.9
在学中	8.6	89.9	1.5
卒業	7.1	90.9	2.0
無回答	9.3	87.8	2.9
女性	6.3	92.0	1.7
在学中	3.8	92.5	3.8
卒業	7.7	91.4	0.8
無回答	1.8	96.8	1.5

▼全国調査

	あ る	な い	無回答
【就学の有無】			
在学中	11.8	88.2	0.0
卒業	9.9	90.1	0.0
無回答	2.9	97.1	0.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	あ る	な い	無回答
身体障害者手帳	12.2	85.3	2.5
1級	11.9	86.2	2.0
2級	14.8	82.7	2.5
3～6級	9.4	86.6	4.0
無回答	0.0	100	0.0
愛の手帳	3.1	95.9	1.0
1～2度	0.7	97.7	1.6
3度	3.7	96.3	0.0
4度	3.3	95.3	1.4
無回答	34.8	65.2	0.0
どれも持っていない	23.2	74.0	2.7
無回答	2.1	34.7	63.3

4

電子商取引について

(全員に対して)

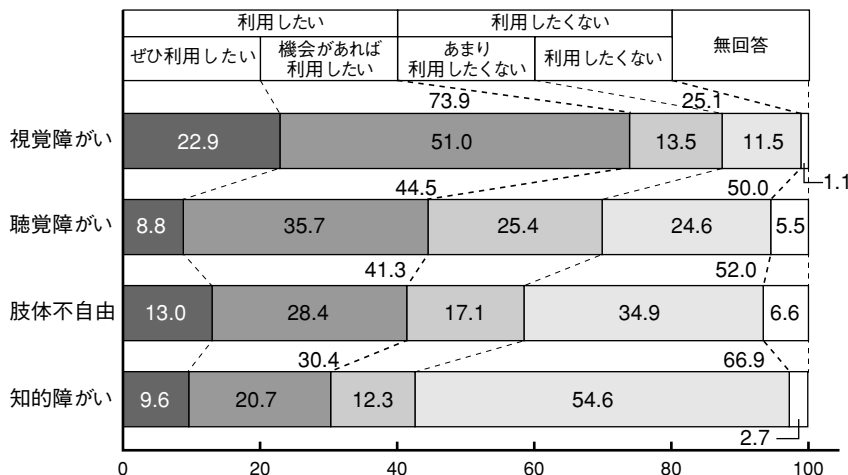
4-2 電子商取引の利用意向(%)

あなたは、今後、「電子商取引」を利用したい(インターネットを使い、チケットや本などを購入したい)と思いますか？

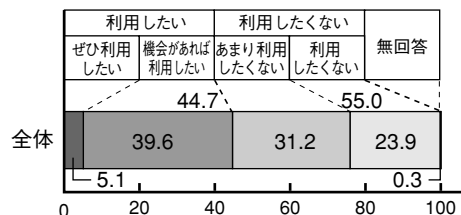
「利用したい(計)」視覚障がい者73.9%

- ・「ぜひ利用したい」と「機会があれば利用したい」をあわせた「利用したい(計)」では、視覚障がい者のみが「あまり利用したくない」と「利用したくない」の合計を上回っている。「利用したい(計)」が一番少ない知的障がい者においても30.4%であり、障がい者が安心して利用できる仕組みを作る必要がある。

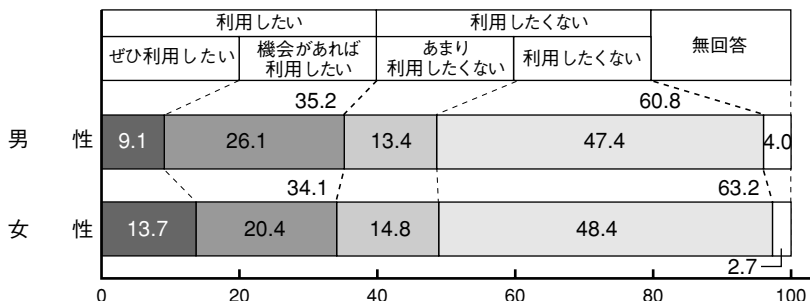
■図表1 障がい別



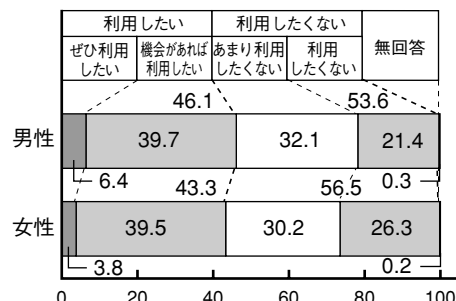
▼全国調査



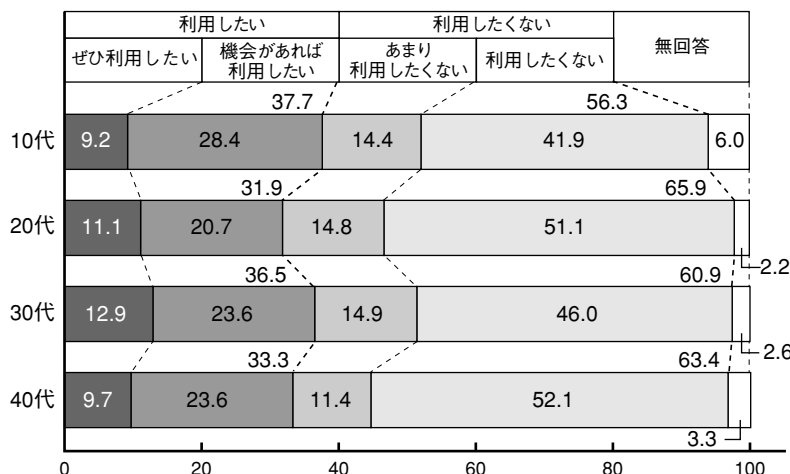
■図表2 性別



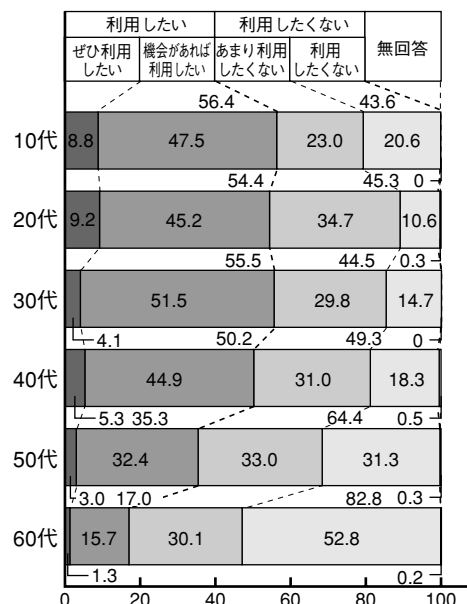
▼全国調査

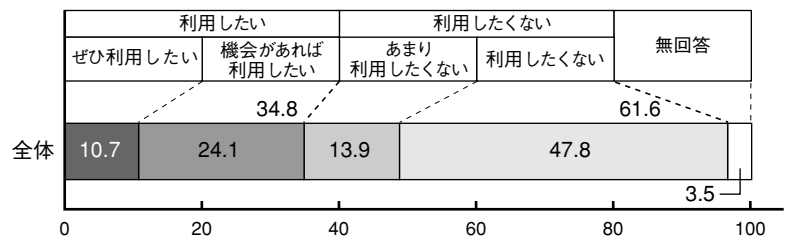


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	無回答	利用したい(計)	利用したくない(計)
男性	9.1	26.1	13.4	47.4	4.0	35.2	60.8
している	12.2	28.9	12.2	45.8	1.0	41.0	58.0
していない	6.6	22.6	14.3	49.9	6.7	29.2	64.2
無回答	1.5	43.7	19.6	27.7	7.5	45.2	47.3
女性	13.7	20.4	14.8	48.4	2.7	34.1	63.2
している	18.5	20.1	15.0	45.5	0.9	38.6	60.5
していない	9.3	20.3	14.3	51.5	4.6	29.6	65.8
無回答	0.0	35.7	21.8	42.5	0.0	35.7	64.3

▼全国調査

	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	無回答	利用したい(計)	利用したくない(計)
男性	6.4	39.7	32.1	21.4	0.3	46.1	53.6
している	6.1	42.1	31.9	19.5	0.4	48.2	51.4
していない	7.9	28.7	33.0	30.4	0.0	36.6	63.4
女性	3.8	39.5	30.2	26.3	0.2	43.3	56.5
している	4.3	42.7	30.5	22.2	0.4	46.9	52.7
していない	3.1	35.1	29.8	32.1	0.0	38.2	61.8

■図表5 性別・就学の有無別

	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	無回答	利用したい(計)	利用したくない(計)
男性	9.1	26.1	13.4	47.4	4.0	35.2	60.8
在学中	7.9	35.5	14.7	35.9	6.1	43.4	50.6
卒業	9.6	22.9	11.8	52.5	3.2	32.5	64.3
無回答	9.3	21.2	25.8	40.8	2.9	30.5	66.6
女性	13.7	20.4	14.8	48.4	2.7	34.1	63.2
在学中	11.1	19.8	14.3	49.8	5.0	30.9	64.1
卒業	15.9	20.2	15.6	46.3	2.0	36.1	61.9
無回答	0.0	25.8	7.8	66.4	0.0	25.8	74.2

▼全国調査

	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	無回答	利用したい(計)	利用したくない(計)
男性	6.4	39.7	32.1	21.4	0.3	46.1	53.6
在学中	15.2	42.9	28.8	13.2	0.0	58.0	42.0
卒業	5.4	39.6	32.5	22.1	0.4	45.0	54.6
無回答	0.0	11.5	37.4	51.1	0.0	11.5	88.5
女性	3.8	39.5	30.2	26.3	0.2	43.3	56.5
在学中	7.1	54.1	20.4	18.4	0.0	61.2	38.8
卒業	3.3	38.0	31.3	27.2	0.2	41.3	58.4
無回答	10.9	33.5	30.0	25.6	0.0	44.4	55.6

■図表6 手帳の種別・等級別

	ぜひ利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	無回答	利用したい(計)	利用したくない(計)
身体障害者手帳	12.6	33.2	16.0	33.4	4.9	45.7	49.4
1級	15.8	32.4	15.3	30.3	6.3	48.2	45.6
2級	9.8	40.2	19.1	27.9	3.1	50.0	47.0
3～6級	8.5	22.9	13.5	51.0	4.0	31.5	64.5
無回答	0.0	100	0.0	0.0	0.0	100	0.0
愛の手帳	9.5	20.1	12.4	54.8	3.2	29.6	67.2
1～2度	5.3	16.3	12.3	59.2	7.0	21.6	71.5
3度	13.8	15.8	11.3	57.1	2.0	29.6	68.5
4度	8.1	25.9	13.7	50.3	1.9	34.0	64.1
無回答	34.8	16.6	0.0	48.6	0.0	51.4	48.6
どれも持っていない	15.9	21.2	46.7	13.5	2.7	37.1	60.2
無回答	12.1	13.6	3.9	7.2	63.3	25.7	11.0

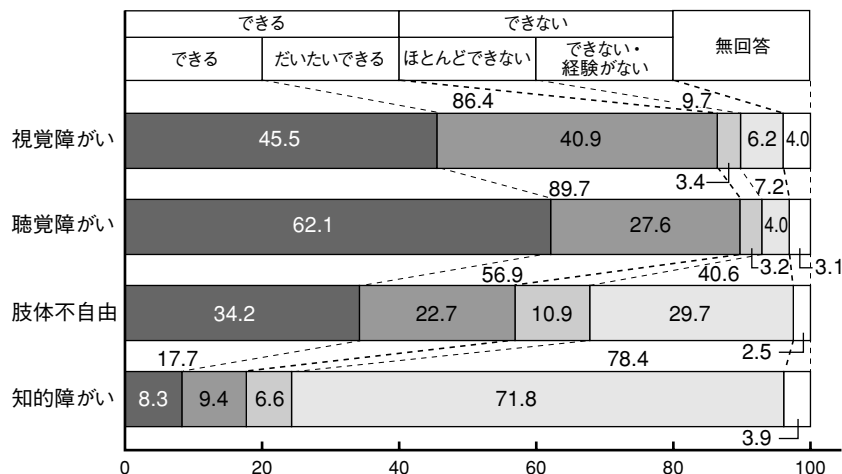
5-1 文書作成(%)

パソコンを使って、文書を作成することができますか？

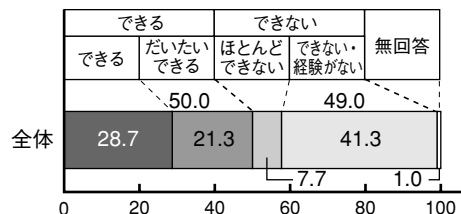
「できる(計)」視覚障がい者86.4%、聴覚障がい者89.7%、肢体不自由者56.9%、知的障がい者17.7%

- ・「できる」と「だいたいできる」をあわせた「できる(計)」は、障がい者全体では31.3%。全国調査の対象が70歳未満であり、50-60歳代では「できない」との回答が多いことから、全体としては30%程度の差が生じていると考えられる。
- ・一方、障害別にみた場合、知的障がい者を除き、全国調査の結果と比べ、遜色はない。視覚障がい者と聴覚障がい者についてはむしろ全国調査を上回る結果となっている。知的障がい者についても、「愛の手帳」4度の所持者は26.7%が「できる(計)」と答えている。

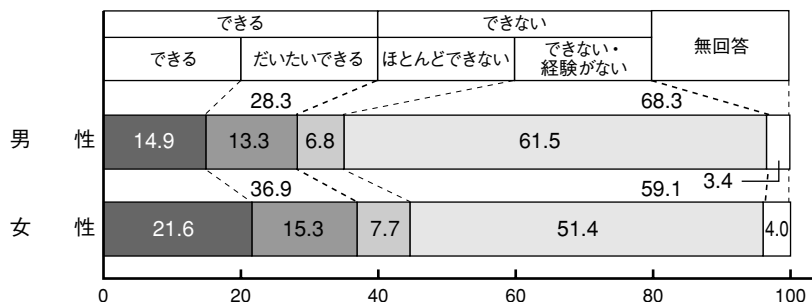
■図表1 障がい別



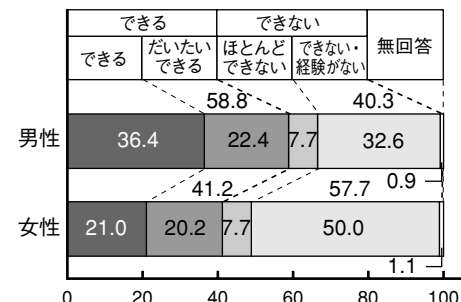
▼全国調査



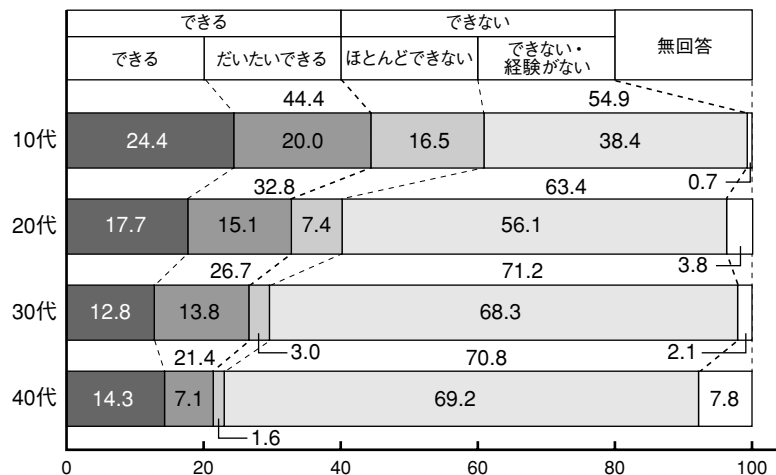
■図表2 性別



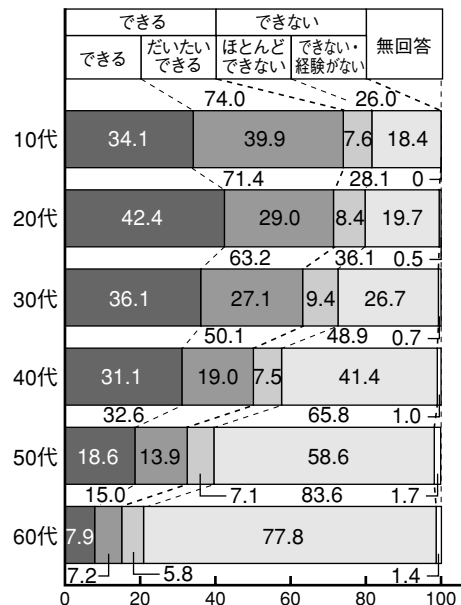
▼全国調査

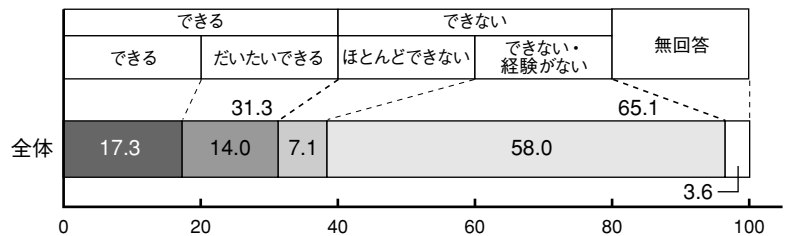


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	14.9	13.3	6.8	61.5	3.4	28.3	68.3
している	15.7	11.1	2.8	65.9	4.6	26.7	68.7
していない	14.4	16.0	10.6	57.0	2.0	30.4	67.7
無回答	11.8	4.0	7.5	67.9	8.8	15.8	75.4
女性	21.6	15.3	7.7	51.4	4.0	36.9	59.1
している	18.0	13.7	3.7	59.8	4.8	31.8	63.4
していない	24.8	16.2	11.9	43.7	3.4	41.0	55.6
無回答	33.7	32.0	0.0	34.3	0.0	65.7	34.3

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	36.4	22.4	7.7	32.6	0.9	58.8	40.3
している	38.2	22.5	7.8	30.7	0.8	60.7	38.4
していない	28.0	22.1	7.3	41.6	1.0	50.1	48.9
女性	21.0	20.2	7.7	50.0	1.1	41.2	57.7
している	24.6	21.8	7.3	45.2	1.1	46.4	52.5
していない	16.1	18.0	8.2	56.7	1.0	34.1	65.0

■図表5 性別・就学の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	14.9	13.3	6.8	61.5	3.4	28.3	68.3
している	24.1	22.3	14.9	38.4	0.4	46.4	53.3
していない	11.5	10.2	4.0	69.6	4.8	21.6	73.5
無回答	13.8	9.3	2.9	73.5	0.5	23.1	76.4
女性	21.6	15.3	7.7	51.4	4.0	36.9	59.1
している	30.4	21.0	16.7	30.6	1.2	51.4	47.4
していない	17.3	14.2	4.7	59.9	4.0	31.4	64.6
無回答	31.9	1.5	0.0	48.8	17.8	33.4	48.8

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	36.4	22.4	7.7	32.6	0.9	58.8	40.3
在学中	45.5	33.6	7.0	13.8	0.0	79.1	20.9
卒業	35.6	21.0	7.8	34.7	0.9	56.6	42.6
無回答	5.8	20.9	0.0	61.8	11.5	26.7	61.8
女性	21.0	20.2	7.7	50.0	1.1	41.2	57.7
在学中	37.2	42.0	9.1	11.7	0.0	79.2	20.8
卒業	19.4	18.0	7.7	53.9	1.0	37.4	61.6
無回答	16.5	9.8	0.0	63.3	10.3	26.4	63.3

■図表6 手帳の種別・等級別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
身体障害者手帳	31.7	19.3	6.2	39.8	3.0	51.0	46.0
1級	30.8	21.5	8.0	37.6	2.1	52.3	45.6
2級	40.6	21.4	2.4	30.0	5.6	62.0	32.4
3～6級	21.4	10.2	7.2	59.7	1.4	31.7	66.9
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
愛の手帳	7.1	9.4	6.9	73.2	3.3	16.6	80.1
1～2度	0.9	2.2	8.0	87.3	1.6	3.0	95.3
3度	2.3	10.9	7.7	73.9	5.2	13.2	81.6
4度	13.4	13.3	5.9	64.3	3.1	26.7	70.2
無回答	51.0	0.0	0.0	49.0	0.0	51.0	49.0
どれも持っていない	32.5	49.5	18.1	0.0	0.0	81.9	18.1
無回答	5.9	27.1	17.1	10.1	39.8	33.0	27.2

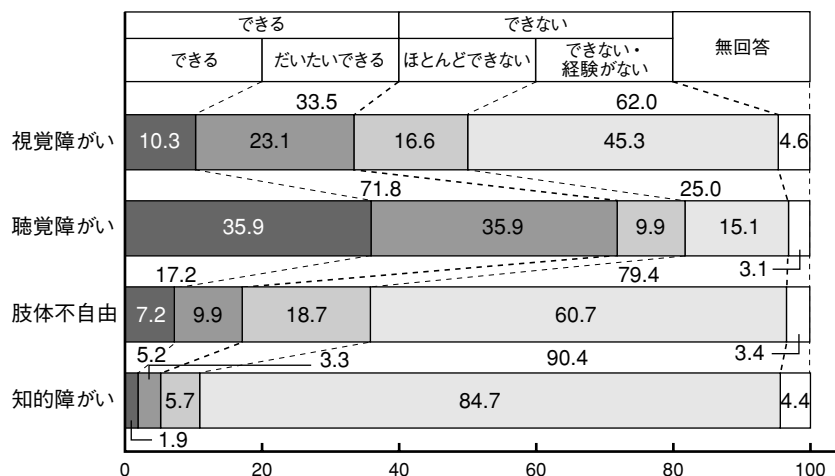
5-2 表計算(%)

パソコンを使って、表計算をすることができますか？

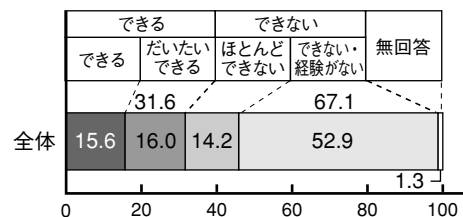
「できる(計)」視覚障がい者33.5%、聴覚障がい者71.8%、肢体不自由者17.2%、知的障がい者5.2%

- ・「できる(計)」は、障がい者全体では11.9%。条件の違いを考慮した上で全国調査と比べた場合、全体としては30%程度の差が生じていると考えられる。
- ・障害別にみた場合、視覚障がい者の「できる(計)」という回答率の高さが本調査では目立っている。

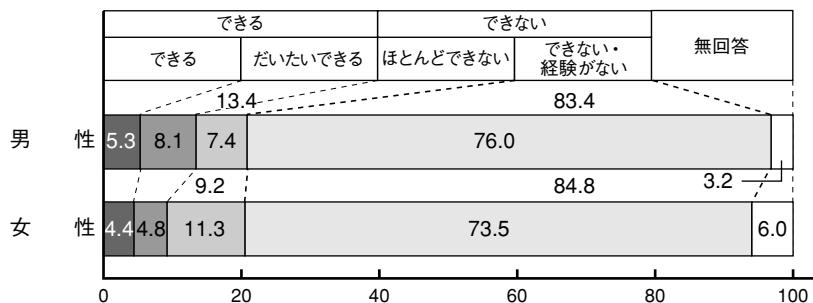
■図表1 障がい別



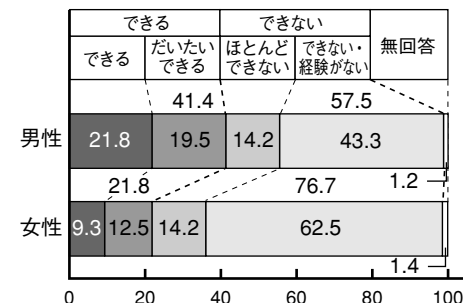
▼全国調査



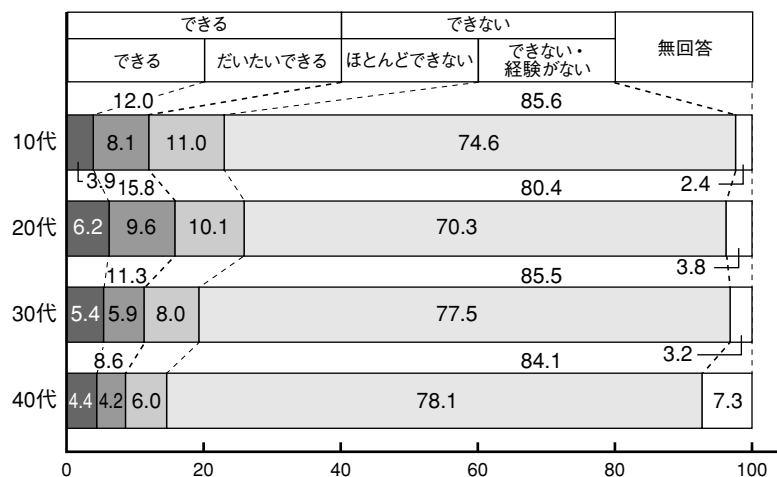
■図表2 性別



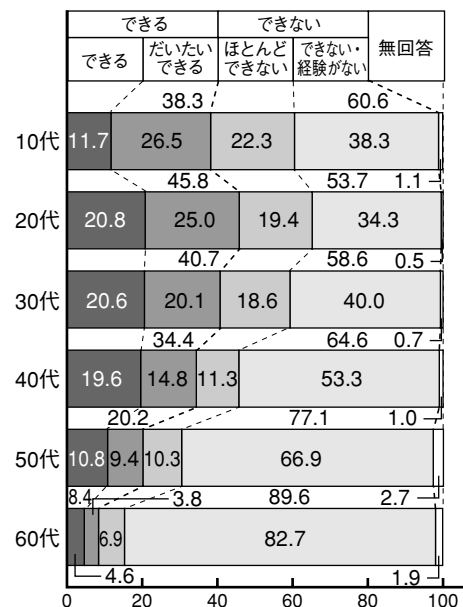
▼全国調査

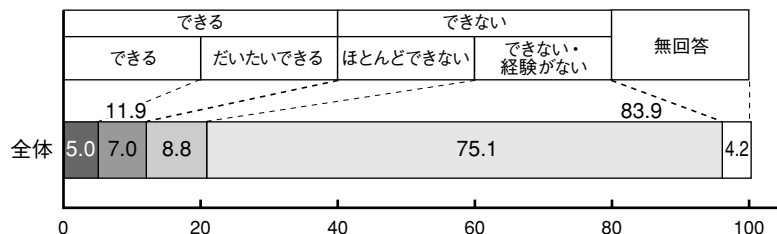


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	5.3	8.1	7.4	76.0	3.2	13.4	83.4
している	6.7	9.3	6.8	72.5	4.6	16.1	79.4
していない	3.9	7.1	7.8	79.4	1.7	11.1	87.3
無回答	3.8	4.0	9.9	74.8	7.5	7.8	84.7
女性	4.4	4.8	11.3	73.5	6.0	9.2	84.8
している	6.0	5.3	8.1	73.6	7.1	11.3	81.7
していない	3.0	4.2	14.0	73.7	5.1	7.2	87.7
無回答	0.0	8.2	26.8	65.0	0.0	8.2	91.8

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	21.8	19.5	14.2	43.3	1.2	41.4	57.5
している	24.1	19.5	14.2	41.1	1.2	43.5	55.2
していない	11.5	19.9	14.1	53.4	1.0	31.4	67.5
女性	9.3	12.5	14.2	62.5	1.4	21.8	76.7
している	11.7	14.2	14.3	58.6	1.2	25.9	72.9
していない	6.0	10.3	14.1	67.8	1.8	16.3	82.0

■図表5 性別・就学の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	5.3	8.1	7.4	76.0	3.2	13.4	83.4
している	5.2	10.2	10.8	73.2	0.5	15.4	84.1
していない	5.7	6.3	6.5	77.0	4.5	12.0	83.4
無回答	0.5	19.1	2.9	77.5	0.0	19.6	80.4
女性	4.4	4.8	11.3	73.5	6.0	9.2	84.8
している	5.2	10.2	10.8	73.2	0.5	15.4	84.1
していない	5.7	6.3	6.5	77.0	4.5	12.0	83.4
無回答	0.5	19.1	2.9	77.5	0.0	19.6	80.4

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	21.8	19.5	14.2	43.3	1.2	41.4	57.5
在学中	18.6	30.7	18.7	31.9	0.0	49.3	50.7
卒業	22.5	18.2	13.6	44.4	1.2	40.7	58.1
無回答	0.0	11.5	9.8	67.1	11.5	11.5	77.0
女性	9.3	12.5	14.2	62.5	1.4	21.8	76.7
在学中	13.0	23.9	28.7	33.4	0.9	36.9	62.1
卒業	8.9	11.5	12.6	65.7	1.3	20.4	78.3
無回答	10.9	0.0	16.0	57.9	15.3	10.9	73.9

■図表6 手帳の種別・等級別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
身体障害者手帳	9.7	12.2	12.7	62.4	3.1	21.8	75.0
1級	7.3	9.6	13.7	67.4	2.1	16.9	81.0
2級	17.3	18.9	11.0	46.7	6.0	36.2	57.8
3～6級	4.3	9.1	12.9	72.3	1.4	13.4	85.2
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
愛の手帳	1.8	3.1	5.6	85.8	3.7	4.9	91.4
1～2度	0.6	0.0	3.4	94.4	1.6	0.6	97.8
3度	0.7	1.5	4.6	87.4	5.9	2.2	92.0
4度	2.4	6.3	8.0	79.7	3.5	8.7	87.7
無回答	34.8	0.0	0.0	65.2	0.0	34.8	65.2
どれも持っていない	2.4	17.7	3.1	63.3	13.5	20.1	66.4
無回答	3.9	2.1	23.5	17.2	53.3	5.9	40.7

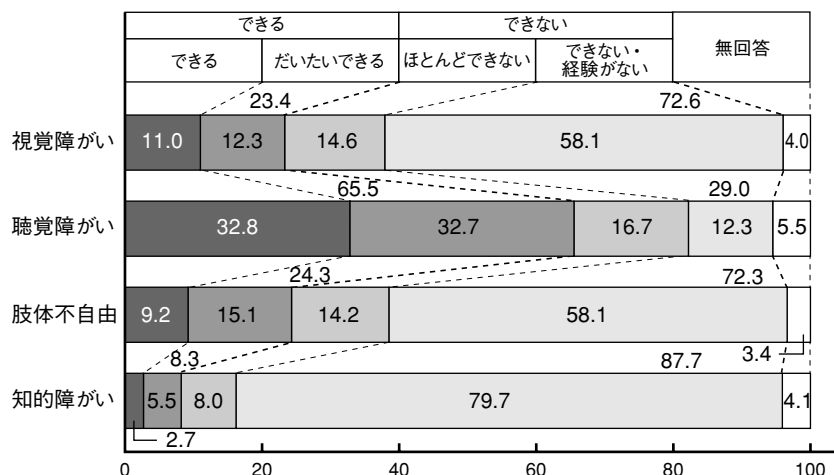
5-3 簡単な作図(%)

パソコンを使って、簡単な作図をすることができますか？

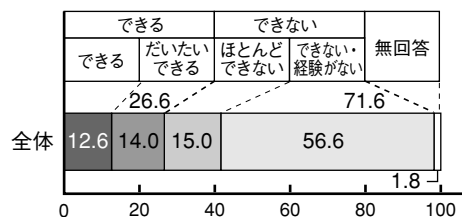
「できる(計)」視覚障がい者23.4%、聴覚障がい者65.5%、肢体不自由者24.3%、知的障がい者8.3%

- ・「できる(計)」は、障がい者全体では14.7%。全国調査においても「できる(計)」は26.6%に止まっている。条件の違いを考慮した上で全国調査と比べた場合、全体としては差は20%程度の差と考えられる。
- ・障害別にみた場合、視覚障がい者の「できる(計)」という回答率の高さが本調査では目立っている。

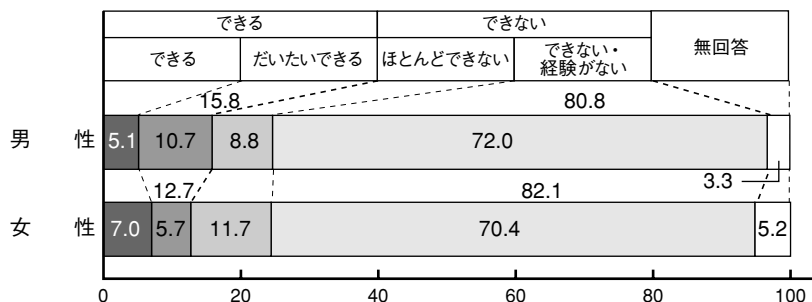
■図表1 障がい別



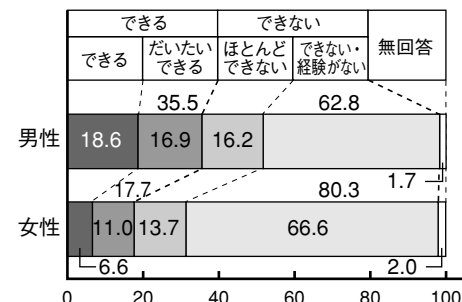
▼全国調査



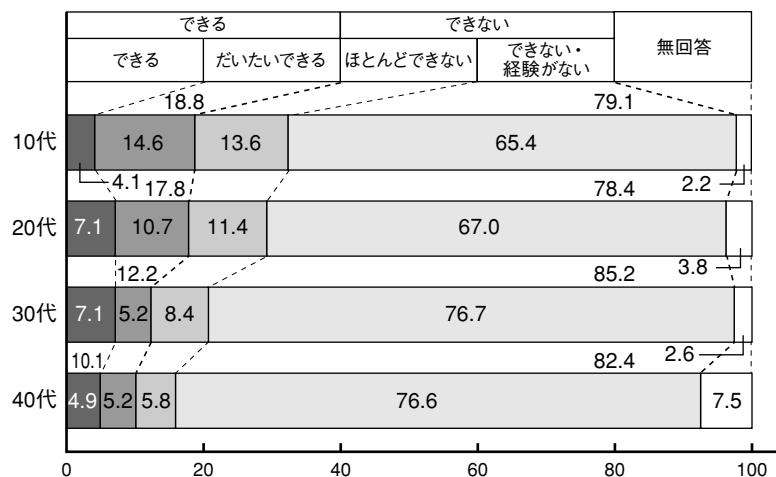
■図表2 性別



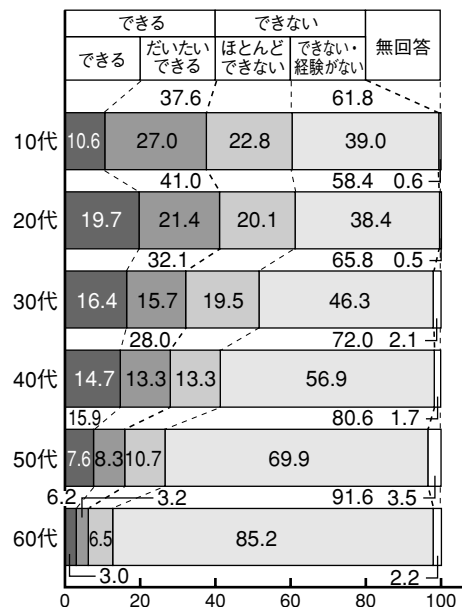
▼全国調査

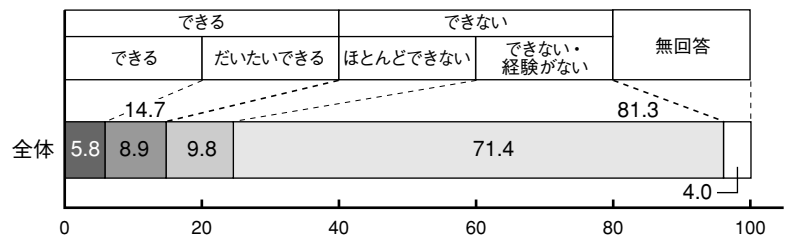


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	5.1	10.7	8.8	72.0	3.3	15.8	80.8
している	7.1	10.2	7.6	70.6	4.6	17.2	78.2
していない	3.3	11.7	9.9	73.1	1.9	15.1	83.1
無回答	3.8	0.0	9.9	76.3	9.9	3.8	86.3
女性	7.0	5.7	11.7	70.4	5.2	12.7	82.1
している	8.2	4.1	9.9	72.3	5.5	12.3	82.2
していない	5.3	7.1	13.0	69.6	5.1	12.4	82.5
無回答	21.8	11.9	26.8	39.5	0.0	33.7	66.3

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	18.6	16.9	16.2	46.6	1.7	35.5	62.8
している	20.1	17.0	17.0	44.1	1.9	37.1	61.1
していない	11.9	16.6	12.6	57.9	1.0	28.5	70.5
女性	6.6	11.0	13.7	66.6	2.0	17.7	80.3
している	7.9	12.2	13.8	64.0	2.1	20.1	77.8
していない	4.9	9.4	13.7	70.2	1.8	14.4	83.9

■図表5 性別・就学の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	5.1	10.7	8.8	72.0	3.3	15.8	80.8
している	3.5	19.5	14.0	62.2	0.8	23.0	76.2
していない	5.4	7.4	7.2	75.4	4.7	12.8	82.6
無回答	9.7	8.7	4.0	77.6	0.0	18.4	81.6
女性	7.0	5.7	11.7	70.4	5.2	12.7	82.1
している	8.6	10.1	13.7	63.3	4.3	18.7	77.0
していない	7.0	3.7	11.2	73.6	4.5	10.7	84.8
無回答	0.0	8.9	7.8	65.5	17.8	8.9	73.3

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	18.6	16.9	16.2	46.6	1.7	35.5	62.8
在学中	18.6	25.3	18.1	38.0	0.0	43.9	56.1
卒業	18.8	16.0	16.0	47.5	1.7	34.7	63.5
無回答	5.8	5.3	9.8	61.8	17.3	11.1	71.6
女性	6.6	11.0	13.7	66.6	2.0	17.7	80.3
在学中	12.9	27.7	24.9	34.5	0.0	40.6	59.4
卒業	6.0	9.3	12.7	70.0	2.0	15.3	82.7
無回答	5.4	5.4	5.7	68.2	15.3	10.9	73.9

■図表6 手帳の種別・等級別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
身体障害者手帳	10.5	14.1	11.7	60.3	3.4	24.6	72.0
1級	9.1	12.6	14.0	62.2	2.1	21.7	76.2
2級	17.0	18.1	10.1	48.6	6.2	35.1	58.8
3～6級	4.5	12.4	8.4	72.2	2.5	16.9	80.6
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
愛の手帳	2.2	4.8	8.4	81.2	3.3	7.1	89.6
1～2度	0.2	0.2	6.0	92.0	1.6	0.4	98.0
3度	0.7	4.1	9.7	80.3	5.2	4.8	90.0
4度	4.8	7.4	9.3	75.5	3.1	12.2	84.7
無回答	0.0	34.8	0.0	65.2	0.0	34.8	65.2
どれも持っていない	19.0	17.7	0.0	49.9	13.5	36.7	49.9
無回答	2.1	3.9	23.5	17.2	53.3	5.9	40.7

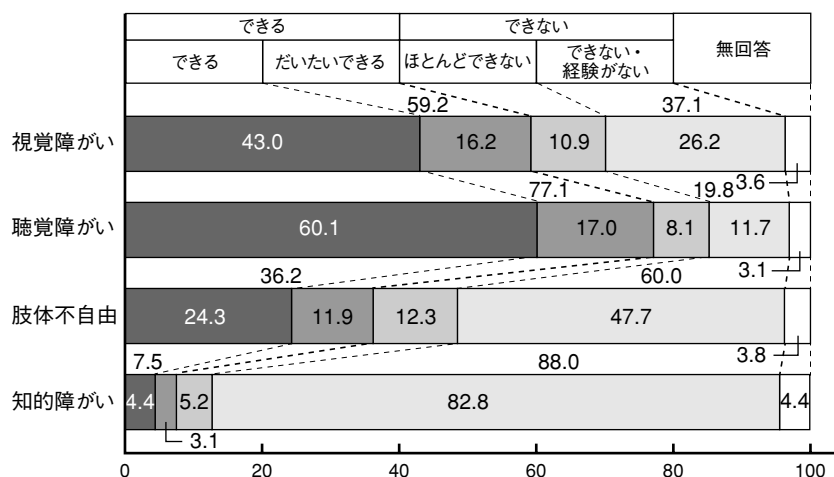
5-4 電子メールのやりとり(%)

パソコンを使って、電子メールのやりとりをすることができますか？

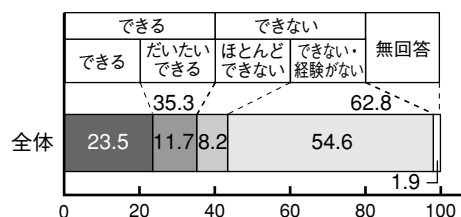
「できる(計)」視覚障がい者59.2%、聴覚障がい者77.1%、肢体不自由者36.2%、知的障がい者7.5%

- ・「できる(計)」は、障がい者全体では18.4%。条件の違いを考慮した上で全国調査と比べた場合、全体としては30%程度の差が生じていると考えられる。
- ・障害別にみた場合、知的障がい者を除き、全国調査の結果と比べ、遜色はない。知的障がい者についても、「愛の手帳」4度の所持者は14.4%が「できる(計)」と答えている。視覚障がい者と聴覚障がい者については全国調査を上回る結果となっている。

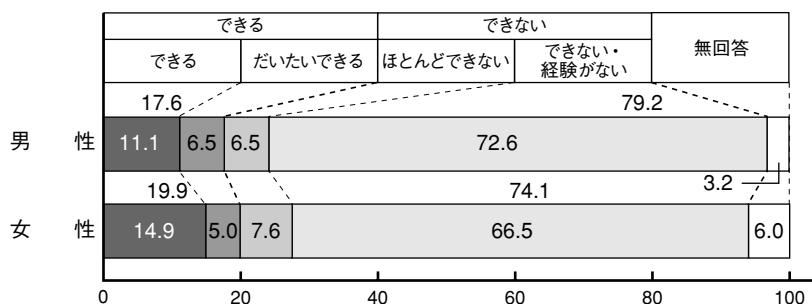
■図表1 障がい別



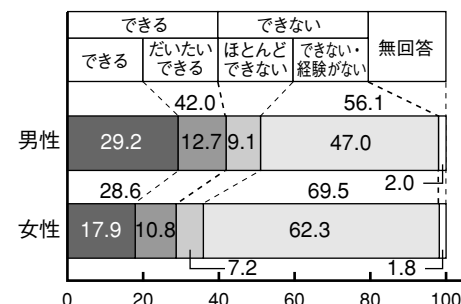
▼全国調査



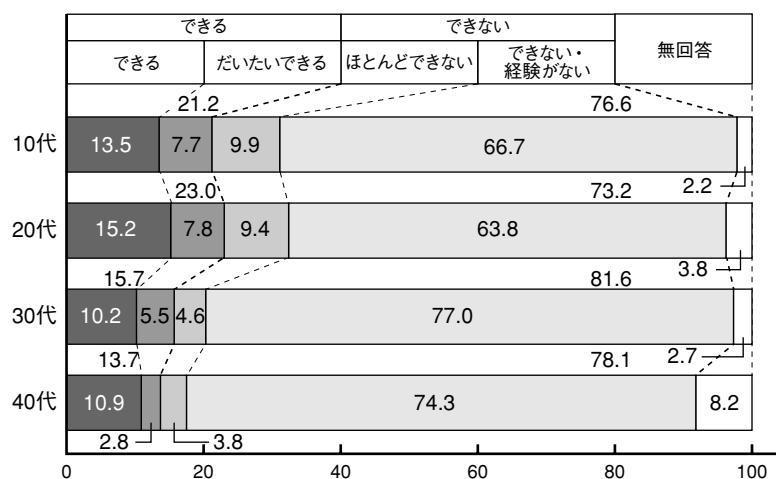
■図表2 性別



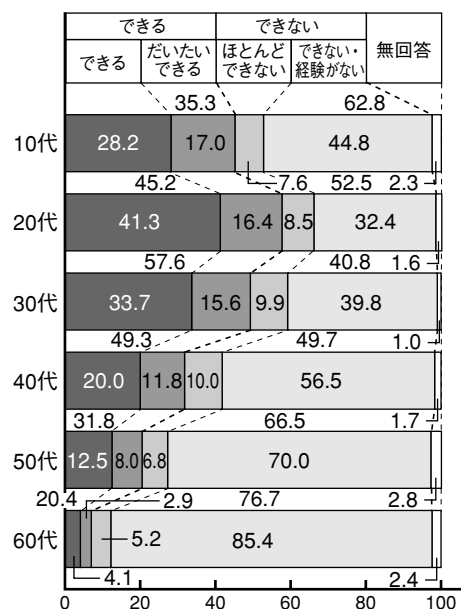
▼全国調査

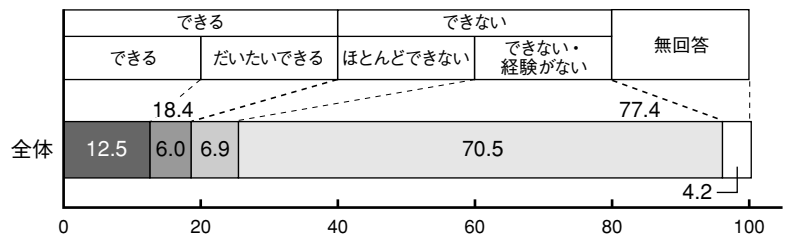


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	11.1	6.5	6.5	72.6	3.2	17.6	79.2
している	13.2	6.2	5.1	70.8	4.6	19.4	75.9
していない	9.4	7.0	7.8	74.2	1.6	16.4	82.0
無回答	4.0	2.5	7.5	77.3	8.8	6.4	84.7
女性	14.9	5.0	7.6	66.5	6.0	19.9	74.1
している	14.9	3.8	4.0	71.8	5.5	18.7	75.8
していない	14.5	6.3	10.5	61.9	6.8	20.8	72.5
無回答	30.0	0.0	26.8	43.2	0.0	30.0	70.0

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	29.2	12.7	9.1	47.0	2.0	42.0	56.1
している	31.0	12.9	9.4	44.5	2.2	43.9	54.0
していない	21.2	12.1	7.7	58.0	1.0	33.3	65.7
女性	17.9	10.8	7.2	62.3	1.8	28.6	69.5
している	20.2	13.2	7.4	57.8	1.3	33.5	65.2
していない	14.6	7.3	7.0	68.6	2.6	21.9	75.5

■図表5 性別・就学の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	11.1	6.5	6.5	72.6	3.2	17.6	79.2
している	16.6	7.9	10.2	65.0	0.4	24.5	75.2
していない	9.7	4.7	5.4	75.5	4.6	14.5	81.0
無回答	2.3	20.3	2.9	74.1	0.5	22.5	77.0
女性	14.9	5.0	7.6	66.5	6.0	19.9	74.1
している	17.6	8.3	10.7	56.0	7.4	25.9	66.7
していない	13.8	3.4	7.0	71.3	4.5	17.2	78.3
無回答	15.6	7.8	0.0	58.8	17.8	23.4	58.8

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	29.2	12.7	9.1	47.0	2.0	42.0	56.1
在学中	42.0	14.6	8.8	34.7	0.0	56.5	43.5
卒業	28.0	12.4	9.3	48.4	2.0	40.3	57.6
無回答	0.0	20.9	0.0	61.8	17.3	20.9	61.8
女性	17.9	10.8	7.2	62.3	1.8	28.6	69.5
在学中	38.8	19.2	9.3	30.9	1.8	58.0	40.2
卒業	15.8	10.0	7.1	65.4	1.6	25.8	72.5
無回答	5.4	0.0	0.0	79.3	15.3	5.4	79.3

■図表6 手帳の種別・等級別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
身体障害者手帳	25.1	10.1	8.5	53.1	3.2	35.2	61.6
1級	23.7	10.3	9.2	54.3	2.5	34.0	63.5
2級	31.5	12.0	10.1	40.7	5.6	43.5	50.9
3～6級	19.8	6.6	4.4	67.7	1.4	26.4	72.1
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
愛の手帳	3.9	3.4	6.0	82.8	3.9	7.4	88.8
1～2度	0.2	0.5	7.2	90.4	1.6	0.7	97.7
3度	1.3	1.2	6.4	84.8	6.4	2.5	91.2
4度	7.3	7.1	5.1	77.0	3.5	14.4	82.1
無回答	34.8	0.0	0.0	65.2	0.0	34.8	65.2
どれも持っていない	18.1	18.6	0.0	63.3	0.0	36.7	63.3
無回答	5.9	0.0	23.5	17.2	53.3	5.9	40.7

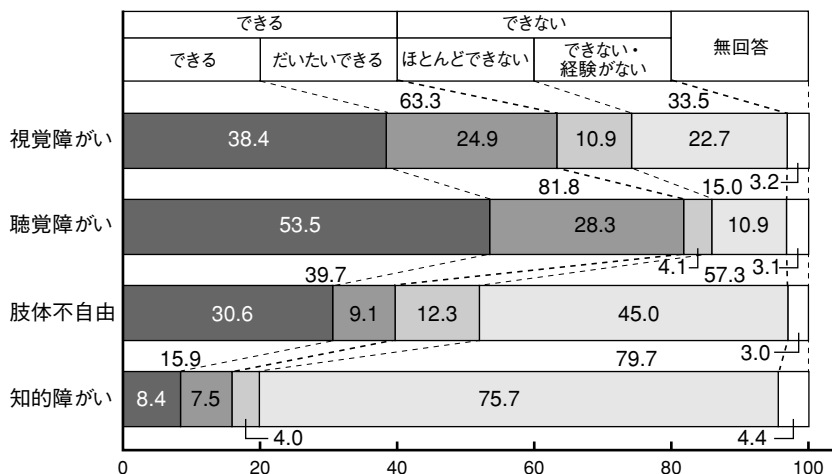
5-5 インターネットを使った情報検索(%)

インターネットを使って、情報を検索することができますか？

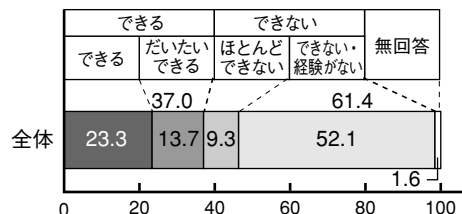
「できる(計)」視覚障がい者63.3%、聴覚障がい者81.8%、肢体不自由者39.7%、知的障がい者15.7%

- ・「できる(計)」は、障がい者全体では25.7%。条件の違いを考慮した上で全国調査と比べた場合、全体としては20%程度の差が生じていると考えられる。
- ・障害別にみた場合、視覚障がい者と聴覚障がい者については全国調査を上回る結果となっている。「できる(計)」の回答が一番低い知的障がい者についても、「愛の手帳」4度の所持者は22.4%が「できる(計)」と答えている。

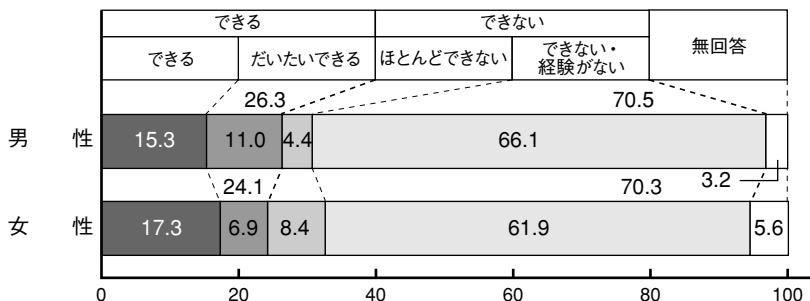
■図表1 障がい別



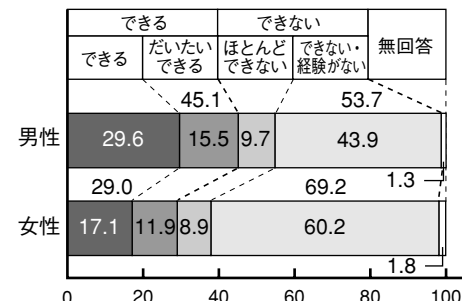
▼全国調査



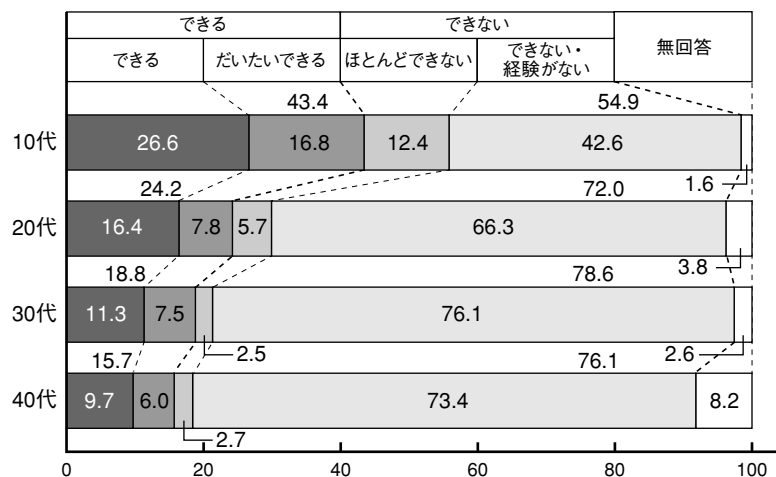
■図表2 性別



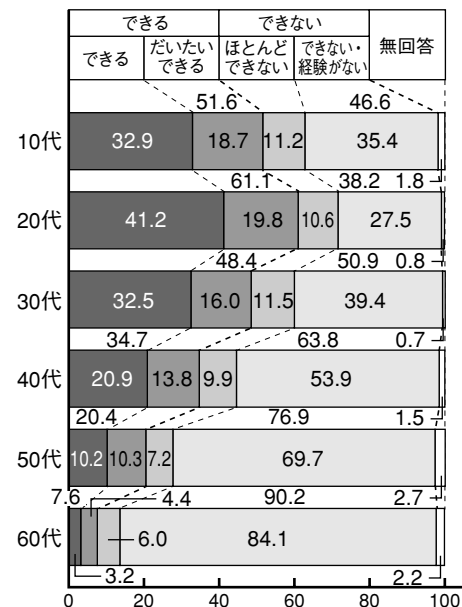
▼全国調査

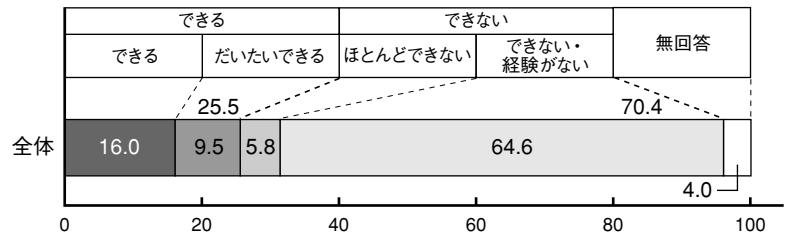


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	15.3	11.0	4.4	66.1	3.2	26.3	70.5
している	14.1	10.6	2.1	68.7	4.6	24.6	70.8
していない	16.5	11.9	6.5	63.5	1.6	28.4	70.0
無回答	14.3	1.5	7.5	67.9	8.8	15.8	75.4
女性	17.3	6.9	8.4	61.9	5.6	24.1	70.3
している	14.4	4.1	3.7	72.4	5.5	18.4	76.0
していない	20.1	8.7	13.3	52.0	5.9	28.8	65.4
無回答	21.8	35.0	0.0	43.2	0.0	56.8	43.2

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	29.6	15.5	9.7	43.9	1.3	45.1	53.7
している	30.5	16.0	9.6	42.5	1.3	46.6	52.1
していない	25.2	12.9	10.2	50.7	1.0	38.1	60.9
女性	17.1	11.9	8.9	60.2	1.8	29.0	69.2
している	19.8	13.0	9.7	56.2	1.4	32.7	65.9
していない	13.4	10.5	7.9	65.8	2.4	23.9	73.7

■図表5 性別・就学の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	15.3	11.0	4.4	66.1	3.2	26.3	70.5
している	28.5	17.7	10.5	43.0	0.4	46.2	53.4
していない	10.6	8.2	2.2	74.5	4.5	18.8	76.7
無回答	9.8	13.3	2.9	73.5	0.5	23.1	76.4
女性	17.3	6.9	8.4	61.9	5.6	24.1	70.3
している	30.7	15.8	14.7	32.9	5.8	46.6	47.6
していない	12.1	3.9	5.9	73.6	4.5	16.0	79.5
無回答	15.6	0.0	7.8	58.8	17.8	15.6	66.6

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	29.6	15.5	9.7	43.9	1.3	45.1	53.7
在学中	49.6	19.2	9.0	22.2	0.0	68.8	31.2
卒業	27.3	14.9	9.9	46.5	1.3	42.3	56.5
無回答	0.0	21.4	0.0	61.8	16.9	21.4	61.8
女性	17.1	11.9	8.9	60.2	1.8	29.0	69.2
在学中	43.5	22.9	7.4	25.3	0.9	66.4	32.7
卒業	14.4	10.8	9.2	63.8	1.7	25.2	73.1
無回答	5.4	10.3	0.0	69.0	15.3	15.8	69.0

■図表6 手帳の種別・等級別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
身体障害者手帳	28.0	12.5	7.1	49.2	3.2	40.5	56.3
1級	25.2	10.6	8.8	52.9	2.4	35.8	61.7
2級	37.5	20.0	5.9	31.0	5.6	57.4	36.9
3～6級	21.3	6.4	4.6	66.2	1.4	27.7	70.8
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
愛の手帳	7.0	7.0	4.2	78.0	3.9	13.9	82.2
1～2度	1.1	2.3	4.8	90.2	1.6	3.4	95.0
3度	5.0	5.8	3.0	79.9	6.4	10.8	82.8
4度	11.3	11.0	4.9	69.3	3.5	22.4	74.1
無回答	34.8	0.0	0.0	65.2	0.0	34.8	65.2
どれも持っていない	50.2	31.1	2.7	15.9	0.0	81.4	18.6
無回答	5.9	27.1	27.2	0.0	39.8	33.0	27.2

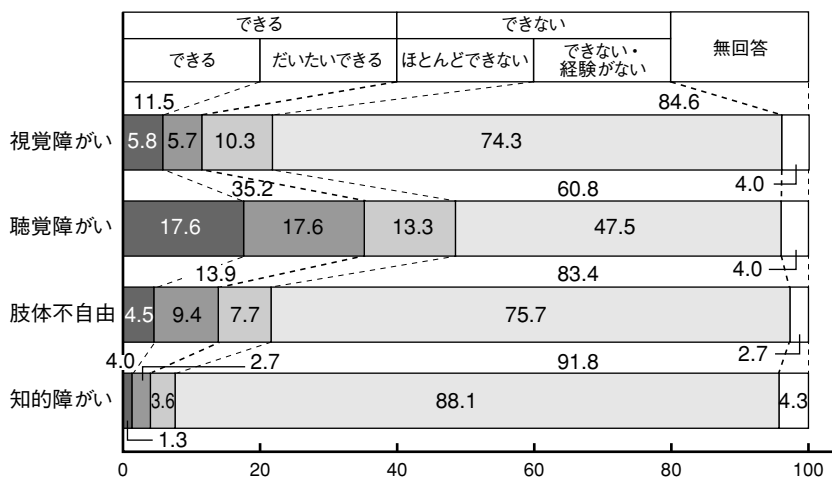
5-6 ホームページの作成(%)

ホームページを作成することができますか？

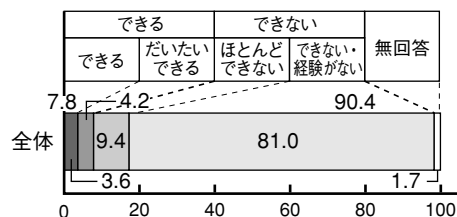
「できる(計)」視覚障がい者11.5%、聴覚障がい者35.2%、肢体不自由者13.9%、知的障がい者4.0%

- ・全国調査と本調査の結果とも、「できる(計)」の回答率は低く、全体として大きな差は生じていない。
- ・障がい別では、知的障がいを除き、全国調査を上回る結果となっており、聴覚障がい者の「できる(計)」という回答率の高さが本調査では目立っている。

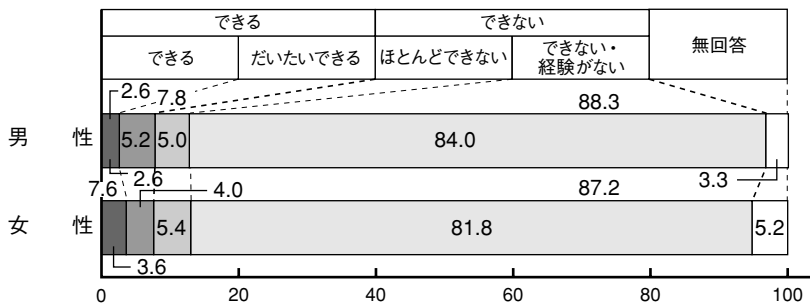
■図表1 障がい別



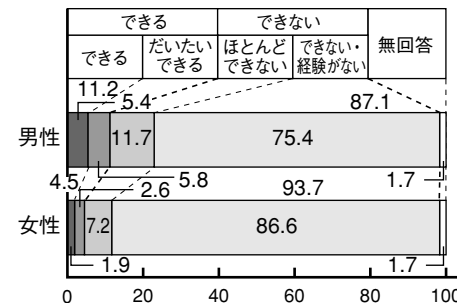
▼全国調査



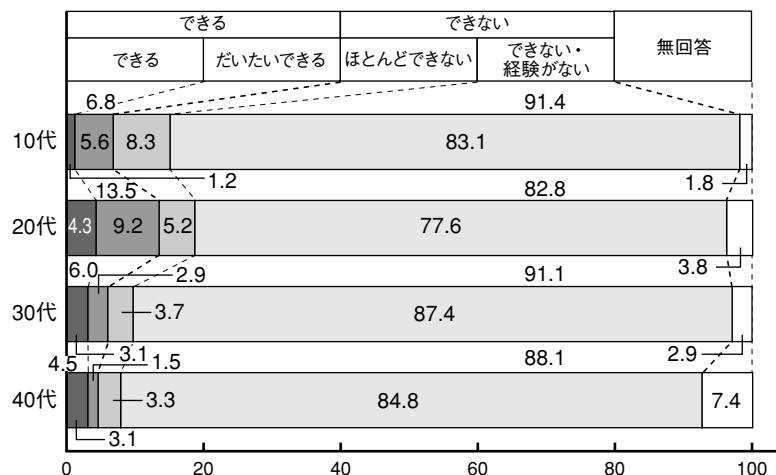
■図表2 性別



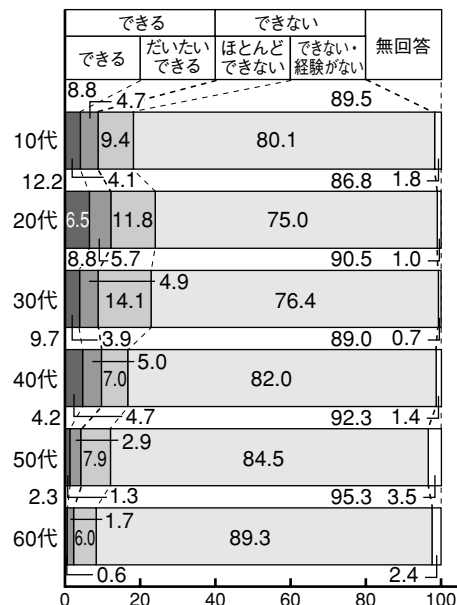
▼全国調査

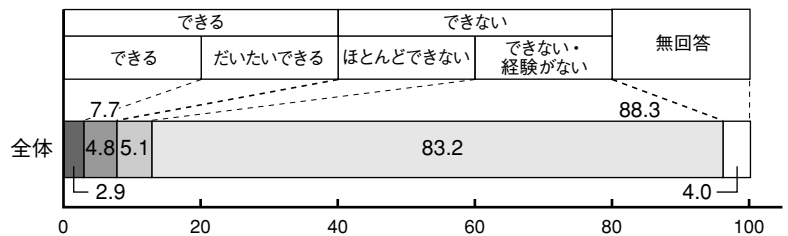


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	2.6	5.2	5.0	84.0	3.3	7.8	89.0
している	3.5	6.5	2.7	82.6	4.7	10.0	85.3
していない	1.8	3.9	7.0	85.7	1.6	5.7	92.7
無回答	0.0	7.4	7.5	76.3	8.8	7.4	83.8
女性	3.6	4.0	5.4	81.8	5.2	7.6	87.2
している	5.8	2.8	3.3	82.5	5.7	8.5	85.8
していない	1.5	5.3	6.5	81.8	5.0	6.8	88.2
無回答	0.0	0.0	35.0	65.0	0.0	0.0	100

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	5.4	5.8	11.7	75.4	1.7	11.2	87.1
している	5.6	6.1	12.5	73.9	1.9	11.7	86.4
していない	4.1	4.6	7.8	82.5	1.0	8.7	90.3
女性	1.9	2.6	7.2	86.6	1.7	4.5	93.7
している	2.1	3.5	7.8	85.2	1.4	5.6	93.0
していない	1.7	1.3	6.3	88.5	2.2	3.0	94.8

■図表5 性別・就学の有無別

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	2.6	5.2	5.0	84.0	3.3	7.8	89.0
している	4.1	4.9	8.9	81.8	0.4	9.0	90.6
していない	2.2	4.2	3.6	85.3	4.7	6.4	88.9
無回答	0.0	17.4	2.9	79.2	0.5	17.4	82.1
女性	3.6	4.0	5.4	81.8	5.2	7.6	87.2
している	0.8	6.9	8.6	79.5	4.1	7.8	88.2
していない	3.6	3.1	4.6	84.0	4.6	6.8	88.6
無回答	15.6	0.0	0.0	66.6	17.8	15.6	66.6

▼全国調査

	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
男性	5.4	5.8	11.7	75.4	1.7	11.2	87.1
在学中	4.5	7.2	14.2	74.2	0.0	11.7	88.3
卒業	5.5	5.6	11.5	75.6	1.7	11.2	87.1
無回答	0.0	5.8	0.0	71.6	22.6	5.8	71.6
女性	1.9	2.6	7.2	86.6	1.7	4.5	93.7
在学中	4.7	7.4	10.2	76.8	0.9	12.1	87.0
卒業	1.7	2.1	6.9	87.7	1.6	3.8	94.6
無回答	0.0	0.0	5.4	79.3	15.3	0.0	84.7

■図表6 手帳の種別・等級別

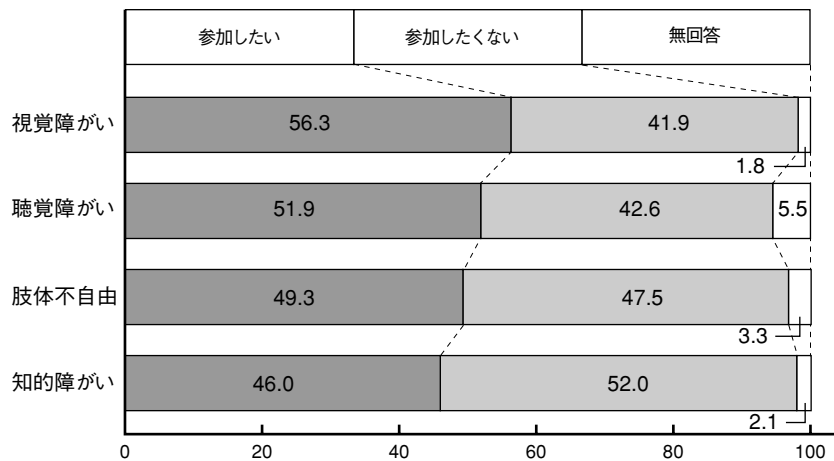
	できる	だいたいできる	ほとんどできない	できない・経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
身体障害者手帳	6.0	7.8	5.7	77.7	2.8	13.8	83.3
1級	4.4	6.6	6.2	81.0	1.8	11.0	87.2
2級	8.5	11.2	4.9	69.8	5.6	19.7	74.7
3～6級	6.8	5.8	5.6	80.3	1.4	12.6	86.0
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
愛の手帳	0.8	2.7	4.0	88.9	3.5	3.5	92.9
1～2度	0.0	0.0	3.4	94.9	1.6	0.0	98.4
3度	0.7	1.5	5.3	86.7	5.9	2.2	92.0
4度	1.5	4.4	3.4	87.6	3.1	5.9	91.0
無回答	0.0	34.8	0.0	65.2	0.0	34.8	65.2
どれも持っていない	0.0	3.1	2.7	80.7	13.5	3.1	83.4
無回答	2.1	0.0	27.4	17.2	53.3	2.1	44.6

あなたは、文書作成など、パソコンやインターネットの基本的な使い方についての、障がい者向け講習への参加を希望しますか？(「全国調査」では「講習」)

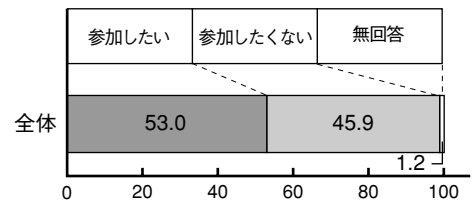
「参加したい」視覚障がい者56.3%、聴覚障がい者51.9%、肢体不自由者49.3%、知的障がい者46%

- ・知的障がい者を除き、「参加したい」が「参加したくない」を上回っている。
- ・年代別でみた場合、全国調査では40歳代の参加希望が一番多いのに対し、本調査では10歳代の参加希望が一番多くなっている。

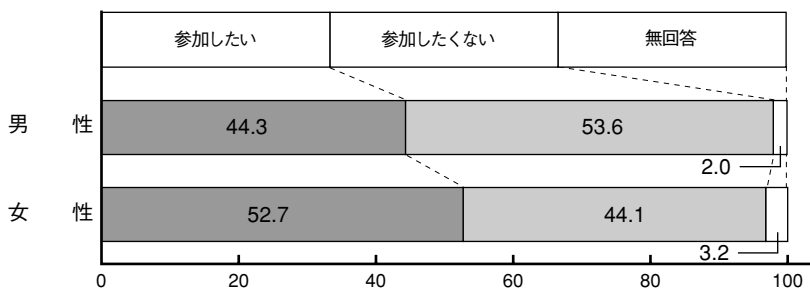
■図表1 障がい別



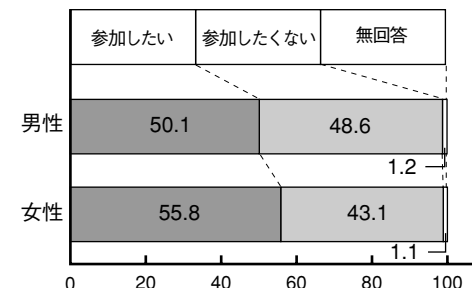
▼全国調査



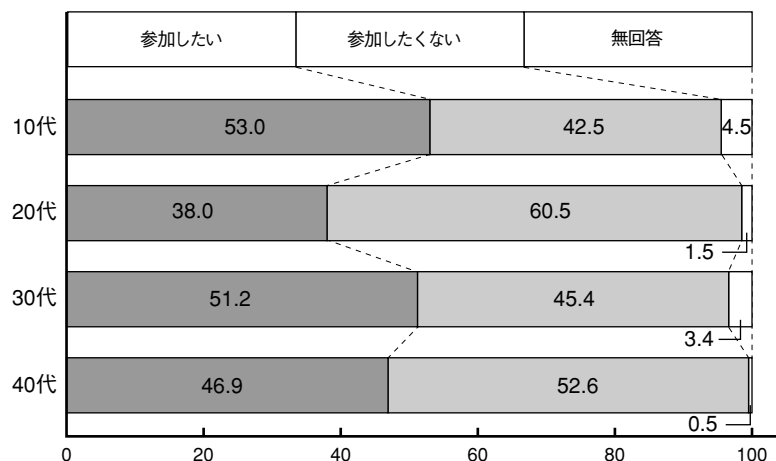
■図表2 性別



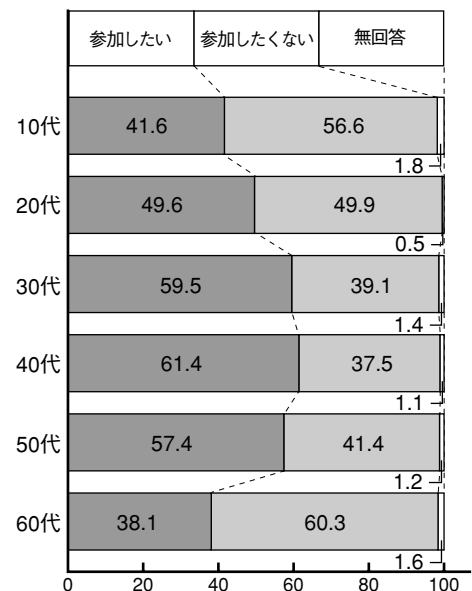
▼全国調査

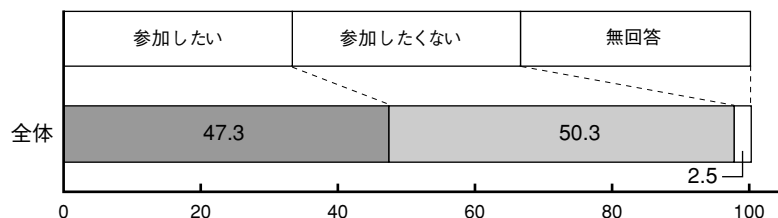


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	参加したい	参加したくない	無回答
男性	44.3	53.6	2.0
している	43.7	54.9	1.4
していない	46.5	50.8	2.7
無回答	10.4	87.2	2.5
女性	52.7	44.1	3.2
している	52.7	43.4	3.9
していない	51.3	46.1	2.6
無回答	96.3	3.7	0.0

▼全国調査

	参加したい	参加したくない	無回答
男性	50.1	48.6	1.2
している	51.7	47.3	1.0
していない	43.0	54.9	2.1
女性	55.8	43.1	1.1
している	60.7	37.9	1.4
していない	49.0	50.3	0.7

■図表5 性別・就学の有無別

	参加したい	参加したくない	無回答
男性	44.3	53.6	2.0
在学中	38.0	57.0	4.9
卒業	21.5	72.9	5.6
無回答	19.4	69.0	11.6
女性	52.7	44.1	3.2
在学中	46.7	43.4	9.9
卒業	27.2	65.9	6.8
無回答	34.1	57.8	8.0

▼全国調査

	参加したい	参加したくない	無回答
男性	50.1	48.6	1.2
在学中	39.0	59.4	1.6
卒業	51.7	47.3	1.1
無回答	42.7	46.2	11.1
女性	55.8	43.1	1.1
在学中	55.0	44.1	0.9
卒業	55.8	43.1	1.1
無回答	58.6	36.5	4.9

■図表6 手帳の種別・等級別

	参加したい	参加したくない	無回答
身体障害者手帳	48.6	47.7	3.8
1級	57.8	38.8	3.4
2級	43.2	50.7	6.1
3～6級	31.1	67.9	1.0
無回答	100	0.0	0.0
愛の手帳	45.4	52.3	2.2
1～2度	36.9	60.1	3.0
3度	48.0	50.1	1.9
4度	48.3	49.7	2.1
無回答	65.2	34.8	0.0
どれも持っていない	31.5	68.5	0.0
無回答	54.3	45.7	0.0

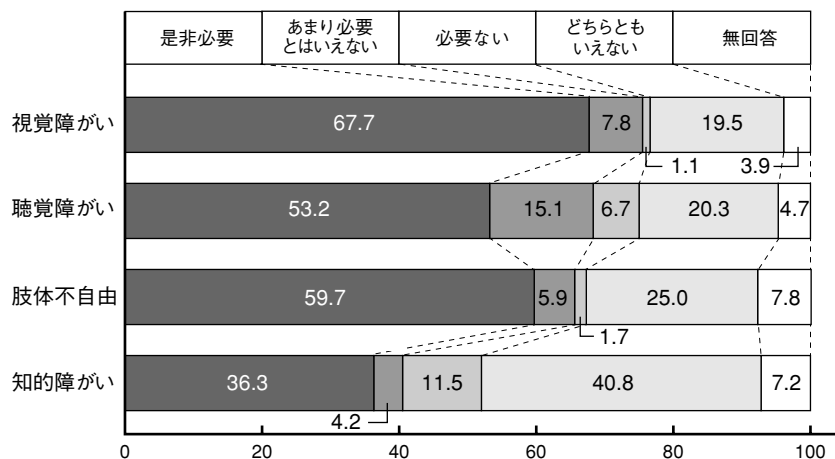
情報教育の必要性(%)

学校でコンピューターやインターネットを使った授業を行うことについて、あなたはどのように考えますか？

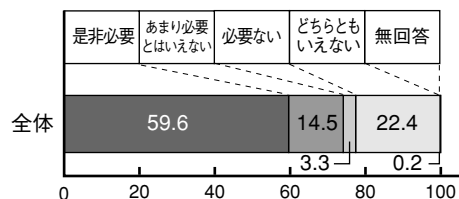
「是非必要」視覚障がい者67.7%、聴覚障がい者53.2%、肢体不自由者59.7%、知的障がい者36.3%

- ・ いずれの障がいにおいても、「是非必要」が「あまり必要とはいえない」、「必要ない」を大きく上回っている。
- ・ 本調査において、「どちらともいえない」(36%)との回答が多い。特に、知的障がい者については40.8%である。「身辺自立」等の「より基本的な生活能力」を身につけることの重要性を優先したためと推測される。
- ・ 「どちらともいえない」との回答を除いた場合、本調査と全国調査では、「是非必要」との回答率は同程度となる。

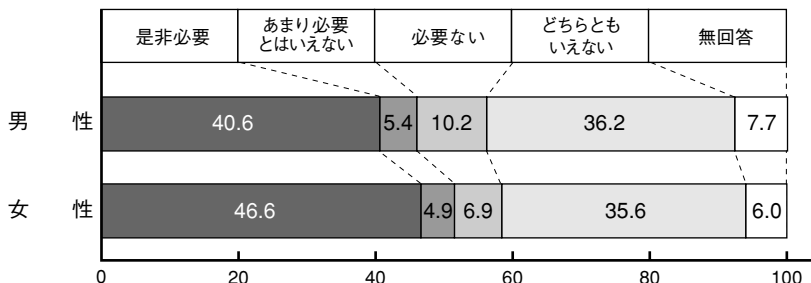
■図表1 障がい別



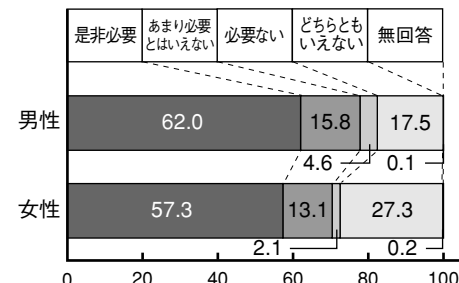
▼全国調査



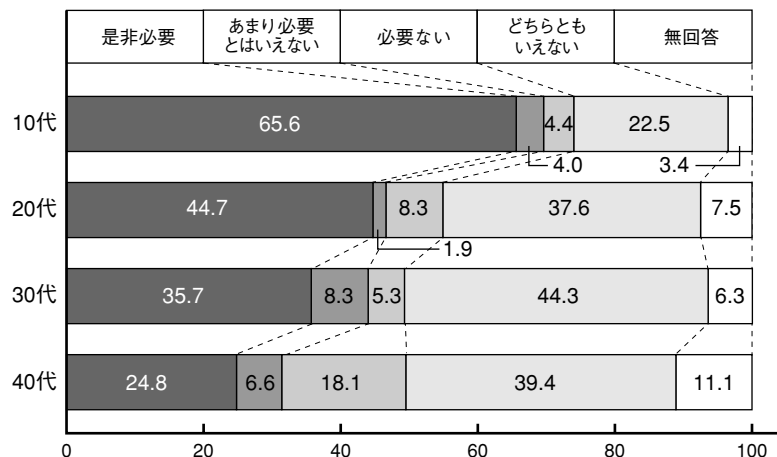
■図表2 性別



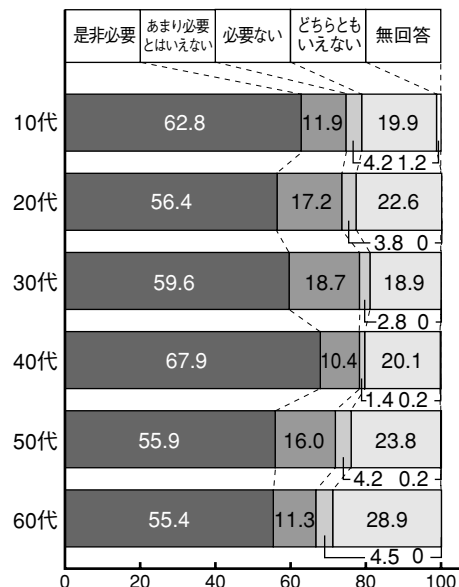
▼全国調査

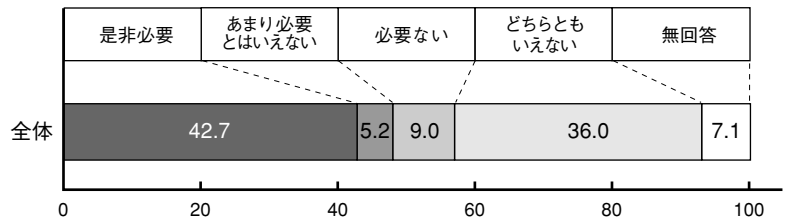


■図表3 年代別



▼全国調査





■図表4 性別・就業の有無別

	是非必要	あまり必要といえない	必要ない	どちらともいえない	無回答	必要(計)
男性	40.6	5.4	10.2	36.2	7.7	46.0
している	42.5	5.8	15.6	30.2	5.8	48.3
していない	40.2	3.6	5.5	42.4	8.3	43.8
無回答	10.7	33.8	0.0	24.8	30.7	44.5
女性	46.6	4.9	6.9	35.6	6.0	51.5
している	33.8	3.9	10.2	44.6	7.5	37.7
していない	58.7	5.2	3.9	27.6	4.6	63.9
無回答	68.1	28.1	0.0	3.7	0.0	96.2

▼全国調査

	是非必要	あまり必要といえない	必要ない	どちらともいえない	無回答	必要(計)
男性	62.0	15.8	4.6	17.5	0.1	77.8
している	63.9	15.8	3.8	16.5	0.0	79.7
していない	53.3	16.0	8.4	21.8	0.5	69.3
女性	57.3	13.1	2.1	27.3	0.2	70.4
している	58.3	13.2	2.4	25.8	0.2	71.5
していない	56.0	12.9	1.6	29.3	0.2	68.9

■図表5 性別・就学の有無別

	是非必要	あまり必要といえない	必要ない	どちらともいえない	無回答	必要(計)
男性	40.6	5.4	10.2	36.2	7.7	46.0
在学中	61.3	2.9	4.8	26.6	4.4	64.2
卒業	34.1	5.7	11.3	42.2	6.7	39.8
無回答	22.9	12.7	20.9	11.3	32.2	35.6
女性	46.6	4.9	6.9	35.6	6.0	51.5
在学中	74.3	6.3	3.4	14.4	1.6	80.6
卒業	36.5	4.8	7.6	44.3	6.7	41.3
無回答	36.2	0.0	15.6	30.8	17.4	36.2

▼全国調査

	是非必要	あまり必要といえない	必要ない	どちらともいえない	無回答	必要(計)
男性	62.0	15.8	4.6	17.5	0.1	77.8
在学中	63.9	14.7	6.1	14.6	0.8	78.6
卒業	61.9	16.2	4.4	17.6	0.0	78.1
無回答	48.5	0.0	10.7	40.9	0.0	48.5
女性	57.3	13.1	2.1	27.3	0.2	70.4
在学中	64.9	14.1	2.6	18.4	0.0	79.0
卒業	56.5	13.2	2.0	28.0	0.2	69.7
無回答	54.2	0.0	0.0	45.8	0.0	54.2

■図表6 手帳の種別・等級別

	是非必要	あまり必要といえない	必要ない	どちらともいえない	無回答	必要(計)
身体障害者手帳	54.2	6.4	1.7	30.5	7.2	60.6
1級	55.7	5.0	1.8	29.0	8.4	60.7
2級	55.4	7.6	1.6	31.9	3.5	63.0
3～6級	49.4	8.1	1.7	30.9	9.9	57.5
無回答	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0
愛の手帳	36.1	4.0	10.8	40.9	8.2	40.1
1～2度	37.4	1.2	5.7	47.2	8.4	38.6
3度	28.5	2.8	14.4	45.0	9.4	31.3
4度	40.1	7.0	11.6	33.9	7.4	47.1
無回答	67.6	0.0	0.0	32.4	0.0	67.6
どれも持っていない	50.5	15.6	0.0	31.1	2.7	66.1
無回答	32.8	0.0	43.7	0.0	23.5	32.8

詳しいプロフィール

【回答者数(所属学校・団体別)】

		全体／全体比		総数	視覚障がい	聴覚障がい	肢体不自由	知的障がい
10代	男性	789	ウエイト無	168	25	19	32	92
		21.3%	(%)	100%	14.9%	11.3%	19.0%	54.8%
		4,353	ウエイト有	704	26	31	114	534
		16.2%	(%)	100%	3.7%	4.4%	16.2%	75.8%
	女性	789	ウエイト無	94	18	12	13	51
		11.9%	(%)	100%	19.1%	12.8%	13.8%	54.3%
		4,353	ウエイト有	384	17	25	88	255
		8.8%	(%)	100%	4.4%	6.5%	22.9%	66.4%
20代	男性	789	ウエイト無	92	22	9	25	36
		11.7%	(%)	100%	23.9%	9.8%	27.2%	39.1%
		4,353	ウエイト有	704	26	31	114	534
		16.2%	(%)	100%	3.7%	4.4%	16.2%	75.9%
	女性	789	ウエイト無	73	10	14	12	37
		9.3%	(%)	100%	13.7%	19.2%	16.4%	50.7%
		4,353	ウエイト有	384	17	25	88	255
		8.8%	(%)	100%	4.4%	6.5%	22.9%	66.4%
30代	男性	789	ウエイト無	125	33	16	25	51
		15.8%	(%)	100%	26.4%	12.8%	20.0%	40.8%
		4,353	ウエイト有	704	26	31	114	534
		16.2%	(%)	100%	3.7%	4.4%	16.2%	75.9%
	女性	789	ウエイト無	76	13	9	16	38
		9.6%	(%)	100%	17.1%	11.8%	21.1%	50.0%
		4,353	ウエイト有	384	17	25	88	255
		8.8%	(%)	100%	4.4%	6.5%	22.9%	66.4%
40代	男性	789	ウエイト無	94	28	16	23	27
		11.9%	(%)	100%	29.8%	17.0%	24.5%	28.7%
		4,353	ウエイト有	704	26	31	114	534
		16.2%	(%)	100%	3.7%	4.4%	16.2%	75.9%
	女性	789	ウエイト無	67	11	10	10	36
		8.5%	(%)	100%	16.4%	14.9%	14.9%	53.7%
		4,353	ウエイト有	384	17	25	88	255
		8.8%	(%)	100%	4.4%	6.5%	22.9%	66.4%
合計		789	ウエイト無	789	160	105	156	368
		100%	(%)	100%	20.3%	13.3%	19.8%	46.6%
		4,353	ウエイト有	4,353	170	220	806	3,155
		100%	(%)	100%	3.9%	5.1%	18.5%	72.5%

【実際に持っている障がい】

	全体	視覚障がい	聴覚障がい	肢体不自由	知的障がい	病弱	その他	無回答
ウエイト無	789	170	119	173	378	6	31	12
(%)	100%	21.5%	15.1%	21.9%	47.9%	0.8%	3.9%	1.5%
ウエイト有	4,353	267	301	956	3,092	29	230	102
(%)	100%	6.1%	6.9%	22.0%	71.0%	0.7%	5.3%	2.4%

【性別】

	全体	男性	女性
ウエイト無	789	479	310
(%)	100%	60.7%	39.3%
ウエイト有	4,353	2,816	1,537
(%)	100%	64.7%	35.3%

【年齢】

	全体	10代	20代	30代	40代
ウエイト無	789	262	165	201	161
(%)	100%	33.2%	20.9%	25.5%	20.4%
ウエイト有	4,353	1,088	1,088	1,088	1,089
(%)	100%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%

【性・年齢】

(男性)

	全体／全体比	総数	10代	20代	30代	40代
ウエイト無	479	479	168	92	125	94
(%)	60.7%	100%	21.3%	11.7%	15.8%	11.9%
ウエイト有	2,816	2,816	704	704	704	704
(%)	64.7%	100%	16.2%	16.2%	16.2%	16.2%

(女性)

	全体／全体比	総数	10代	20代	30代	40代
ウエイト無	310	310	94	73	76	67
(%)	39.3%	100%	11.9%	9.3%	9.6%	8.5%
ウエイト有	1,537	1,537	384	384	384	384
(%)	35.3%	100%	8.8%	8.8%	8.8%	8.8%

詳しいプロフィール

【就業の有無】

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	789	331	439	19
(%)	100%	42.0%	55.6%	2.4%
ウエイト有	4,353	2,105	2,157	92
(%)	100%	48.3%	49.5%	2.1%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	はい	いいえ	無回答
ウエイト無	160	62	92	6
(%)	100%	38.8%	57.5%	3.8%
ウエイト有	170	61	102	7
(%)	100%	36.0%	60.1%	4.0%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	はい	いいえ	無回答
ウエイト無	105	60	41	4
(%)	100%	57.1%	39.0%	3.8%
ウエイト有	222	134	81	7
(%)	100%	60.5%	36.3%	3.1%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	はい	いいえ	無回答
ウエイト無	156	43	108	5
(%)	100%	27.6%	69.2%	3.2%
ウエイト有	806	227	553	26
(%)	100%	28.2%	68.6%	3.2%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	はい	いいえ	無回答
ウエイト無	368	166	198	4
(%)	100%	45.1%	53.8%	1.1%
ウエイト有	3,155	1,524	1,562	66
(%)	100%	48.3%	49.5%	2.1%

(性*就業の有無)

(男性)

	全体／全体比	あり	なし	無回答
ウエイト無	479	193	274	12
(%)	60.7%	24.5%	34.7%	1.5%
ウエイト有	2,816	1,348	1,402	66
(%)	64.7%	31.0%	32.2%	1.5%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	479	193	274	12
(%)	100%	40.3%	57.2%	2.5%
ウエイト有	2,816	1,348	1,402	66
(%)	100%	47.9%	49.8%	2.3%

(女性)

	全体／全体比	あり	なし	無回答
ウエイト無	310	138	165	7
(%)	39.3%	17.5%	20.9%	0.9%
ウエイト有	1,537	757	755	25
(%)	35.3%	17.4%	17.3%	0.6%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	310	138	165	7
(%)	100%	44.5%	53.2%	2.3%
ウエイト有	1,537	757	755	25
(%)	100%	49.3%	49.1%	1.6%

詳しいプロフィール

(年齢*就業の有無)

(10代)

	全体／全体比	あり	なし	無回答
ウエイト無	262	5	248	9
(%)	33.1%	0.6%	31.4%	1.1%
ウエイト有	1,088	27	1,041	20
(%)	25.0%	0.6%	23.9%	0.5%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	262	5	248	9
(%)	100%	1.9%	94.7%	3.4%
ウエイト有	1,088	27	1,041	20
(%)	100%	2.5%	95.7%	1.8%

(20代)

	全体／全体比	あり	なし	無回答
ウエイト無	165	79	85	1
(%)	20.9%	10.0%	10.8%	0.1%
ウエイト有	1,088	606	467	15
(%)	24.9%	13.9%	10.7%	0.3%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	165	79	85	1
(%)	100%	47.9%	51.5%	0.6%
ウエイト有	1,088	606	467	15
(%)	100%	55.7%	42.9%	1.4%

(30代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	201	140	58	3
(%)	25.5%	17.7%	7.4%	0.4%
ウエイト有	1,088	743	328	17
(%)	25.0%	17.1%	7.5%	0.4%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	201	140	58	3
(%)	100%	69.7%	28.9%	1.5%
ウエイト有	1,088	743	328	17
(%)	100%	68.3%	30.1%	1.6%

(40代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	161	107	48	6
(%)	20.5%	13.6%	6.1%	0.8%
ウエイト有	4,353	729	321	39
(%)	25.0%	16.7%	7.4%	0.9%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	161	107	48	6
(%)	100%	66.5%	29.8%	3.7%
ウエイト有	1,088	729	321	39
(%)	100%	67.0%	29.5%	3.6%

詳しいプロフィール

(性・年齢*就業の有無)

(男性・10代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	168	3	159	6
(%)	21.4%	0.4%	20.2%	0.8%
ウエイト有	704	17	676	10
(%)	16.2%	0.4%	15.5%	0.2%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	168	3	159	6
(%)	100%	1.8%	94.6%	3.6%
ウエイト有	704	17	676	10
(%)	100%	2.4%	96.0%	1.4%

(男性・20代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	92	39	52	1
(%)	11.6%	4.9%	6.6%	0.1%
ウエイト有	704	386	304	15
(%)	16.2%	8.9%	7.0%	0.3%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	92	39	52	1
(%)	100%	42.4%	56.5%	1.1%
ウエイト有	704	386	304	15
(%)	100%	54.8%	43.2%	2.1%

(男性・30代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	125	87	37	1
(%)	15.8%	11.0%	4.7%	0.1%
ウエイト有	704	469	224	10
(%)	16.2%	10.8%	5.2%	0.2%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	125	87	37	1
(%)	100%	69.6%	29.6%	0.8%
ウエイト有	704	469	224	10
(%)	100%	66.6%	31.8%	1.4%

(男性・40代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	789	64	26	4
(%)	11.9%	8.1%	3.3%	0.5%
ウエイト有	4,353	475	198	31
(%)	16.2%	10.9%	4.6%	0.7%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	94	64	26	4
(%)	100%	68.1%	27.7%	4.3%
ウエイト有	704	475	198	31
(%)	100%	67.5%	28.1%	4.4%

詳しいプロフィール

(女性・10代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	94	2	89	3
(%)	12.0%	0.3%	11.3%	0.4%
ウエイト有	384	10	365	10
(%)	8.8%	0.2%	8.4%	0.2%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	94	2	89	3
(%)	100%	2.1%	94.7%	3.2%
ウエイト有	384	10	365	10
(%)	100%	2.6%	95.1%	2.6%

(女性・20代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	73	40	33	0
(%)	9.3%	5.1%	4.2%	0.0%
ウエイト有	384	220	164	0
(%)	8.9%	5.1%	3.8%	0.0%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	73	40	33	0
(%)	100%	54.8%	45.2%	0.0%
ウエイト有	384	220	164	0
(%)	100%	57.3%	42.7%	0.0%

(女性・30代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	76	53	21	2
(%)	9.7%	6.7%	2.7%	0.3%
ウエイト有	384	273	104	7
(%)	8.9%	6.3%	2.4%	0.2%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	76	53	21	2
(%)	100%	69.7%	27.6%	2.6%
ウエイト有	384	273	104	7
(%)	100%	71.1%	27.1%	1.8%

(女性・40代)

	全体	あり	なし	無回答
ウエイト無	67	43	22	2
(%)	8.5%	5.4%	2.8%	0.3%
ウエイト有	384	253	122	9
(%)	8.8%	5.8%	2.8%	0.2%

	総数	あり	なし	無回答
ウエイト無	67	43	22	2
(%)	100%	64.2%	32.8%	3.0%
ウエイト有	384	253	122	9
(%)	100%	65.9%	31.8%	2.3%

詳しいプロフィール

【就学の有無】

	全体	在学中	卒業	無回答
ウエイト無	789	312	441	36
(%)	100%	39.5%	55.9%	4.6%
ウエイト有	4,353	1,156	2,939	259
(%)	100%	26.5%	67.5%	6.0%

(性＊就学の有無)

(男性)

	全体	在学中	卒業	無回答
ウエイト無	479	202	258	19
(%)	60.7%	25.6%	32.7%	2.4%
ウエイト有	2,816	746	1,899	171
(%)	64.6%	17.1%	43.6%	3.9%

	総数	在学中	卒業	無回答
ウエイト無	479	202	258	19
(%)	100%	42.2%	53.9%	4.0%
ウエイト有	2,816	746	1,899	171
(%)	100%	26.5%	67.4%	6.1%

(女性)

	全体	在学中	卒業	無回答
ウエイト無	310	110	183	17
(%)	39.3%	13.9%	23.2%	2.2%
ウエイト有	1,537	410	1,039	88
(%)	35.3%	9.4%	23.9%	2.0%

	総数	在学中	卒業	無回答
ウエイト無	310	110	183	17
(%)	100%	35.5%	59.0%	5.5%
ウエイト有	1,537	410	1,039	88
(%)	100%	26.7%	67.6%	5.7%

【最終学歴】

	全体	中学校	高等学校	短大・高専、専門	大学(文系)	大学(理系)	大学院(文系)	大学院(理系)	無回答
ウエイト無	789	76	559	64	36	16	5	2	31
(%)	100%	9.6%	70.8%	8.1%	4.6%	2.0%	0.6%	0.3%	3.9%
ウエイト有	4,353	691	3,210	143	74	20	4	3	209
(%)	100%	15.9%	73.7%	3.3%	1.7%	0.5%	0.1%	0.1%	4.8%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	中学校	高等学校	短大・高専、専門	大学(文系)	大学(理系)	大学院(文系)	大学院(理系)	無回答
ウエイト無	160	3	74	29	26	14	5	1	8
(%)	100%	1.9%	46.3%	18.1%	16.3%	8.8%	3.1%	0.6%	5.0%
ウエイト有	170	3	79	32	28	13	4	1	10
(%)	100%	1.6%	46.2%	19.0%	16.5%	7.7%	2.6%	0.5%	6.0%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	中学校	高等学校	短大・高専、専門	大学(文系)	大学(理系)	大学院(文系)	大学院(理系)	無回答
ウエイト無	105	2	64	29	6	1	0	1	2
(%)	100%	1.9%	61.0%	27.6%	5.7%	1.0%	0.0%	1.0%	1.9%
ウエイト有	222	4	133	65	11	2	0	2	4
(%)	100%	1.8%	59.9%	29.4%	5.1%	0.9%	0.0%	0.9%	2.0%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	中学校	高等学校	短大・高専、専門	大学(文系)	大学(理系)	大学院(文系)	大学院(理系)	無回答
ウエイト無	156	8	134	4	3	1	0	0	6
(%)	100%	5.1%	85.9%	2.6%	1.9%	0.6%	0.0%	0.0%	3.8%
ウエイト有	806	37	683	24	15	5	0	0	43
(%)	100%	4.6%	84.7%	3.0%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%	5.3%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	中学校	高等学校	短大・高専、専門	大学(文系)	大学(理系)	大学院(文系)	大学院(理系)	無回答
ウエイト無	368	63	287	2	1	0	0	0	15
(%)	100%	17.1%	78.0%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
ウエイト有	3,155	647	2,316	22	19	0	0	0	151
(%)	100%	20.5%	73.4%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%

詳しいプロフィール

【所持している手帳の種類等】

(全体)

	全体	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	789	460	403	5	11	8
(%)	100%	58.3%	51.1%	0.6%	1.4%	1.0%
ウエイト有	4,353	1,641	3,252	22	39	48
(%)	100%	37.7%	74.7%	0.5%	0.9%	1.1%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	160	152	5	0	5	1
(%)	100%	95.0%	3.1%	0.0%	3.1%	0.6%
ウエイト有	170	162	5	0	5	1
(%)	100%	95.4%	3.0%	0.0%	2.8%	0.6%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	105	104	8	3	0	1
(%)	100%	99.0%	7.6%	2.9%	0.0%	1.0%
ウエイト有	220	220	14	5	0	2
(%)	100%	99.1%	6.1%	2.2%	0.0%	0.9%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	156	150	39	0	0	4
(%)	100%	96.2%	25.0%	0.0%	0.0%	2.6%
ウエイト有	806	771	195	0	0	22
(%)	100%	95.7%	24.2%	0.0%	0.0%	2.7%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	368	54	351	2	6	2
(%)	100%	14.7%	95.4%	0.5%	1.6%	0.5%
ウエイト有	3,155	489	3,038	16	32	25
(%)	100%	15.5%	96.3%	0.5%	1.0%	0.8%

【手帳の等級等】

身体障害者手帳所持者(全体)

	全体	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	460	205	171	36	25	15	7	1
(%)	58.3%	26.0%	21.7%	4.6%	3.2%	1.9%	0.9%	0.1%
ウエイト有	1,643	838	485	141	120	31	20	7
(%)	37.7%	19.2%	11.1%	3.2%	2.8%	0.7%	0.5%	0.2%

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	460	205	171	36	25	15	7	1
(%)	100%	44.6%	37.2%	7.8%	5.4%	3.3%	1.5%	0.2%
ウエイト有	1,643	838	485	141	120	31	20	7
(%)	100%	51.0%	29.5%	8.6%	7.3%	1.9%	1.2%	0.4%

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	460	205	171	83	1
(%)	58.3%	26.0%	21.7%	10.5%	0.1%
ウエイト有	1,643	839	484	313	7
(%)	37.7%	19.3%	11.1%	7.2%	0.2%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	460	205	171	83	1
(%)	100%	44.6%	83.4%	48.5%	1.2%
ウエイト有	1,643	839	484	313	7
(%)	100%	51.0%	29.5%	19.1%	0.4%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	152	65	48	15	11	12	1	0
(%)	100%	42.8%	31.6%	9.9%	7.2%	7.9%	0.7%	0.0%
ウエイト有	162	71	51	16	11	14	1	0
(%)	100%	43.6%	31.3%	9.6%	6.5%	8.6%	0.5%	0.0%

詳しいプロフィール

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	104	8	79	9	4	1	3	0
(%)	100%	7.7%	76.0%	8.7%	3.8%	1.0%	2.9%	0.0%
ウエイト有	220	17	168	19	9	2	5	0
(%)	100%	7.8%	76.4%	8.8%	4.0%	0.7%	2.3%	0.0%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	150	117	27	3	1	1	1	0
(%)	100%	78.0%	18.0%	2.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%
ウエイト有	771	6	1	0	0	0	0	0
(%)	100%	79.1%	16.9%	2.2%	0.7%	0.6%	0.5%	0.0%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	54	15	17	9	9	1	2	1
(%)	100%	27.8%	31.5%	16.7%	16.7%	1.9%	3.7%	1.9%
ウエイト有	489	1	1	1	1	0	0	0
(%)	100%	28.8%	27.6%	18.4%	19.4%	2.1%	2.2%	1.4%

(性別)

(男性)

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	292	138	92	62	0
(%)	37.0%	17.5%	11.7%	7.9%	0.0%
ウエイト有	999	512	251	236	0
(%)	22.9%	11.8%	5.8%	5.4%	0.0%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	292	138	92	62	0
(%)	100%	47.3%	31.5%	21.2%	0.0%
ウエイト有	999	512	251	236	0
(%)	100%	51.3%	25.1%	23.6%	0.0%

(女性)

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	168	67	79	21	1
(%)	21.3%	8.5%	10.0%	2.7%	0.1%
ウエイト有	645	327	234	77	7
(%)	14.8%	7.5%	5.4%	1.8%	0.2%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	168	67	79	21	1
(%)	100%	39.9%	47.0%	12.5%	0.1%
ウエイト有	645	327	234	77	7
(%)	100%	50.7%	36.3%	11.9%	0.2%

詳しいプロフィール

(年代別)

(10代)

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	128	43	53	32	0
(%)	16.2%	5.4%	6.7%	4.1%	0.0%
ウエイト有	367	146	146	75	0
(%)	8.4%	3.4%	3.4%	1.7%	0.0%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	128	43	53	32	0
(%)	100%	33.6%	41.4%	25.0%	0.0%
ウエイト有	367	146	146	75	0
(%)	100%	39.8%	39.8%	20.4%	0.0%

(20代)

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	99	44	32	23	0
(%)	12.5%	5.6%	4.1%	2.9%	0%
ウエイト有	409	217	81	111	0
(%)	9.4%	5.0%	1.9%	2.5%	0%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	99	44	32	23	0
(%)	100%	44.4%	32.3%	23.2%	0.0%
ウエイト有	409	217	81	111	0
(%)	100%	53.1%	19.8%	27.1%	0.0%

(30代)

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	127	60	48	19	0
(%)	16.1%	7.6%	6.1%	2.4%	0.0%
ウエイト有	441	214	144	83	0
(%)	10.1%	4.9%	3.3%	1.9%	0.0%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	127	60	48	19	0
(%)	100%	47.2%	37.8%	15.0%	0.0%
ウエイト有	441	214	144	83	0
(%)	100%	48.5%	32.7%	18.8%	0.0%

(40代)

	全体	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	106	58	38	9	1
(%)	13.4%	7.4%	4.8%	1.1%	0.1%
ウエイト有	427	261	114	45	7
(%)	9.8%	6.0%	2.6%	1.0%	0.2%

	総数	1級	2級	3～6級	無回答
ウエイト無	106	58	38	9	1
(%)	100%	54.7%	35.8%	8.5%	0.0%
ウエイト有	427	261	114	45	7
(%)	100%	61.1%	26.7%	10.5%	1.6%

詳しいプロフィール

愛の手帳所持者(全体)

	全体	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	403	14	102	120	162	5
(%)	51.1%	1.8%	12.9%	15.2%	20.5%	0.6%
ウエイト有	3,252	68	790	1,015	1,337	42
(%)	74.7%	1.6%	18.2%	23.3%	30.7%	1.0%

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	403	14	102	120	162	5
(%)	100%	3.5%	25.3%	29.8%	40.2%	1.2%
ウエイト有	3,252	68	790	1,015	1,337	42
(%)	100%	2.1%	24.3%	31.2%	41.1%	1.3%

	全体	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	403	116	120	162	5
(%)	51.1%	14.7%	15.2%	20.5%	0.6%
ウエイト有	3,252	858	1,014	1,337	43
(%)	74.7%	19.7%	23.3%	30.7%	1.0%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	403	116	120	162	5
(%)	100%	28.8%	103.4%	135.0%	3.1%
ウエイト有	3,252	858	1,014	1,337	43
(%)	100%	26.4%	118.2%	131.9%	3.2%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	5	0	0	2	3	0
(%)	100%	0.0%	0.0%	40.6%	59.4%	0.0%
ウエイト有	5	0	0	2	3	0
(%)	100%	0.0%	0.0%	40.6%	59.4%	0.0%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	8	3	1	1	3	0
(%)	100%	37.5%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%
ウエイト有	14	5	2	2	6	0
(%)	100%	36.0%	12.0%	12.0%	40.1%	0.0%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	39	7	20	5	7	0
(%)	100%	17.9%	51.3%	12.8%	17.9%	0.0%
ウエイト有	195	28	106	26	36	0
(%)	100%	14.3%	54.2%	13.1%	18.4%	0.0%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	351	4	81	112	149	5
(%)	100%	1.1%	23.1%	31.9%	42.5%	1.4%
ウエイト有	3,038	36	681	984	1,291	43
(%)	100%	1.2%	22.4%	32.4%	42.5%	1.4%

詳しいプロフィール

(性別)

(男性)

	全体	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	237	78	66	92	1
(%)	30.0%	9.9%	8.4%	11.7%	0.1%
ウエイト有	2,205	620	660	910	15
(%)	50.7%	14.2%	15.2%	20.9%	0.34%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	237	78	66	92	1
(%)	100%	32.9%	27.8%	38.8%	0.4%
ウエイト有	2,205	620	660	910	15
(%)	100%	28.1%	29.9%	41.3%	0.7%

(女性)

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	166	38	54	70	4
(%)	21.0%	4.8%	6.8%	8.9%	0.5%
ウエイト有	1,047	238	354	427	28
(%)	24.1%	5.5%	8.1%	9.8%	0.6%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	166	38	54	70	4
(%)	100%	22.9%	32.5%	42.2%	2.4%
ウエイト有	1,047	238	354	427	28
(%)	100%	22.7%	33.8%	40.8%	2.7%

(年代別)

(10代)

	全体	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	147	49	35	63	0
(%)	18.6%	6.2%	4.4%	8.0%	0.0%
ウエイト有	751	246	181	324	0
(%)	17.3%	5.6%	4.2%	7.4%	0.0%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	147	49	35	63	0
(%)	100%	33.3%	23.8%	42.9%	0.0%
ウエイト有	751	246	181	324	0
(%)	100%	32.8%	24.1%	43.1%	0.0%

(20代)

	全体	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	91	38	22	29	2
(%)	11.5%	4.8%	2.8%	3.7%	0.3%
ウエイト有	866	335	219	290	22
(%)	19.9%	7.7%	5.0%	6.7%	0.5%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	91	38	22	29	2
(%)	100%	41.8%	24.2%	31.9%	2.2%
ウエイト有	866	335	219	290	22
(%)	100%	38.7%	25.3%	33.5%	2.5%

詳しいプロフィール

(30代)

	全体	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	100	20	36	43	1
(%)	12.7%	2.5%	4.6%	5.4%	0.1%
ウエイト有	840	159	309	365	7
(%)	19.3%	3.7%	7.1%	8.4%	0.2%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	100	20	36	43	1
(%)	100%	20.0%	36.0%	43.0%	1.0%
ウエイト有	840	159	309	365	7
(%)	100%	18.9%	36.8%	43.5%	0.8%

(40代)

	全体	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	65	9	27	27	2
(%)	8.2%	1.1%	3.4%	3.4%	0.3%
ウエイト有	795	118	305	358	14
(%)	18.3%	2.7%	7.0%	8.2%	0.3%

	総数	1～2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	65	9	27	27	2
(%)	100%	13.8%	41.5%	41.5%	3.1%
ウエイト有	795	118	305	358	14
(%)	100%	14.8%	38.4%	45.0%	1.8%

精神障害者保健福祉手帳所持者(全体)

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	5	2	3	0	0
(%)	0.6%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%
ウエイト有	22	12	9	0	0
(%)	0.5%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	5	2	3	0	0
(%)	100%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	22	12	9	0	0
(%)	100%	54.5%	40.9%	0.0%	0.0%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	3	1	2	0	0	0
(%)	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	5	2	3	0	0	0
(%)	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

詳しいプロフィール

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	2	1	1	0	0	0
(%)	100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	16	10	6	0	0	0
(%)	100%	64.4%	35.6%	0.0%	0.0%	0.0%

(性別)

(男性)

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	5	2	3	0	0
(%)	0.6%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%
ウエイト有	21	12	9	0	0
(%)	0.5%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	5	2	3	0	0
(%)	100%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	21	12	9	0	0
(%)	100%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%

(女性)

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(年代別)

(10代)

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	4	1	3	0	0
(%)	0.5%	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%
ウエイト有	11	2	9	0	0
(%)	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	4	1	3	0	0
(%)	100%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	11	2	9	0	0
(%)	100%	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%

(20代)

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

詳しいプロフィール

(30代)

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	1	1	0	0	0
(%)	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	10	10	0	0	0
(%)	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	1	1	0	0	0
(%)	100%	100%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	10	10	0	0	0
(%)	100%	100%	0.0%	0.0%	0.0%

(40代)

	全体	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	総数	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	0	0	0	0	0
(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「どれも持っていない」又は「無回答」

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	11	8
(%)	1.4%	0.1%
ウエイト有	37	50
(%)	0.9%	1.1%

(性別)

(男性)

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	8	5
(%)	1.0%	0.6%
ウエイト有	22	31
(%)	0.5%	0.7%

(女性)

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	3	3
(%)	0.4%	0.4%
ウエイト有	15	18
(%)	0.3%	0.4%

(年代別)

(10代)

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	7	5
(%)	0.9%	0.6%
ウエイト有	33	23
(%)	0.8%	0.5%

(20代)

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	1	0
(%)	0.1%	0.0%
ウエイト有	1	0
(%)	0.0%	0.0%

(30代)

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	1	0
(%)	0.1%	0.0%
ウエイト有	1	0
(%)	0.0%	0.0%

(40代)

	どれも持っていない	無回答
ウエイト無	2	3
(%)	0.3%	0.4%
ウエイト有	2	27
(%)	0.0%	0.6%

詳しいプロフィール

【記入者】

	全体	自分で書いた	自分で書いていない	無回答
ウエイト無	789	439	339	11
(%)	100%	55.6%	43.0%	1.4%
ウエイト有	4,353	1,989	2,329	35
(%)	100%	45.7%	53.5%	0.8%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	自分で書いた	自分で書いていない	無回答
ウエイト無	160	141	14	5
(%)	100%	88.1%	8.8%	3.1%
ウエイト有	170	149	15	6
(%)	100%	87.8%	8.7%	3.4%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	自分で書いた	自分で書いていない	無回答
ウエイト無	105	95	7	3
(%)	100%	90.5%	6.7%	2.9%
ウエイト有	222	204	11	0
(%)	100%	91.9%	5.5%	2.7%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	自分で書いた	自分で書いていない	無回答
ウエイト無	156	49	107	0
(%)	100%	31.4%	68.6%	0.0%
ウエイト有	806	256	175	0
(%)	100%	31.7%	68.3%	0.0%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	自分で書いた	自分で書いていない	無回答
ウエイト無	368	154	211	3
(%)	100%	41.8%	57.3%	0.8%
ウエイト有	3,155	1,382	767	5
(%)	100%	43.8%	55.5%	0.7%

【代筆者】

	全体	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
ウエイト無	339	69	180	2	1	85	2
(%)	100%	20.4%	53.1%	0.6%	0.3%	25.1%	0.6%
ウエイト有	2,329	352	1,229	2	2	737	7
(%)	100%	15.1%	52.8%	0.1%	0.1%	31.6%	0.3%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	総数	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
ウエイト無	14	2	4	2	1	4	1
(%)	100%	14.3%	28.6%	14.3%	7.1%	28.6%	7.1%
ウエイト有	15	2	1	0	0	0	0
(%)	100%	13.7%	27.0%	11.3%	10.4%	28.6%	8.8%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	総数	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
ウエイト無	7	5	2	0	0	0	0
(%)	100%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	12	8	2	0	0	0	0
(%)	100%	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	総数	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
ウエイト無	107	21	70	0	0	16	0
(%)	100%	19.6%	65.4%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%
ウエイト有	550	99	67	0	0	0	0
(%)	100%	18.0%	67.2%	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	総数	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
ウエイト無	211	41	104	0	0	65	1
(%)	100%	19.4%	49.3%	0.0%	0.0%	31.0%	0.0%
ウエイト有	1,751	243	118	0	0	0	0
(%)	100%	13.9%	48.6%	0.0%	0.0%	37.2%	0.3%

詳しいプロフィール

【回答への意見の反映】

	全体	ご本人の意見を 確認しながら書いた	ご本人の意見を 推察しながら書いた	無回答
ウエイト無	339	172	165	2
(%)	100%	50.7%	48.7%	0.6%
ウエイト有	2,329	1,127	1,193	9
(%)	100%	48.4%	51.2%	0.4%

(所属学校・団体別) 視覚障がい

	全体	ご本人の意見を 確認しながら書いた	ご本人の意見を 推察しながら書いた	無回答
ウエイト無	14	12	2	0
(%)	100%	85.7%	14.3%	0.0%
ウエイト有	15	13	2	0
(%)	100%	88.7%	11.3%	0.0%

(所属学校・団体別) 聴覚障がい

	全体	ご本人の意見を 確認しながら書いた	ご本人の意見を 推察しながら書いた	無回答
ウエイト無	7	1	5	1
(%)	100%	14.3%	71.4%	14.0%
ウエイト有	550	74	52	8
(%)	100%	13.4%	70.7%	15.9%

(所属学校・団体別) 肢体不自由

	全体	ご本人の意見を 確認しながら書いた	ご本人の意見を 推察しながら書いた	無回答
ウエイト無	107	63	44	0
(%)	100%	58.9%	41.1%	0.0%
ウエイト有	550	327	133	0
(%)	100%	59.4%	40.6%	0.0%

(所属学校・団体別) 知的障がい

	全体	ご本人の意見を 確認しながら書いた	ご本人の意見を 推察しながら書いた	無回答
ウエイト無	211	96	114	1
(%)	100%	45.5%	54.0%	0.0%
ウエイト有	1,751	784	429	2
(%)	100%	44.8%	54.7%	0.4%



しょうがい かたがた など りよう かん ちょうさ
障害のある方々のインターネット等に関する調査

規正標本数=4,353(100%)

- この調査では、あなたの名前は書かなくていいです。あなたの秘密は守られます。思っていることをそのままに答えてください。答えたくないことは無理に答えなくてもいいです。
- この質問票は、障害児者ご本人を対象としています。できるだけ、ご本人が中心になって答えてください。ただし、先生やご家族などと相談してもいいです。
- 問1から順番に答えてください。★印のある質問には、全部に答えてください。★印のない質問は【 】の中や矢印(→)の指示に従ってください。
- 答えには、あてはまる番号に○印をつけるところと、数字を書くところがあります。

(例1)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

 (例2)

--	--

さい
歳

こた た とき かいうばんごう ないよう なか か
 答えが「その他」の時は、回答番号に○をつけて、その内容を（ ）の中にわかりやすく書
 いてください。

■ ぜんいん かた 全員の方におたずねします

★問 1. あなたは、文書作成など、パソコンやインターネットの基本的な使い方について
の、障害者向け講習への参加を希望しますか。

N = 4,353

51.2	さんか 参加したい
45.8	さんか 参加したくない

⑦

★問 2. パソコンを使った次^{つぎ}にあげる (ア) ~ (カ) の作業のうち、あなたができるものはどれですか。(ア) ~ (カ) それぞれについて、(1) できる、(2) だいたいできる、(3) ほとんどできない、(4) できない／経験^{けいけん}がない、で^{こた}お答えください。

	(1) できる	(2) だいたい できる	(3) ほとんど できない	(4) できない けいけん 経験がない	
(ア) 文書作成 ぶんしよさくせい —————→	17.3	14.0	7.1	58.0	⑧
(イ) 表計算 ひょうけいさん —————→	5.0	7.0	8.8	75.1	⑨
(ウ) 簡単な作図 かんたん さくず —————→	5.8	8.9	9.8	71.4	⑩
(エ) 電子メールのやりとり でんし —————→	12.5	6.0	6.9	70.5	⑪
(オ) インターネットをつか じょうほうけんさく 使った情報検索 —————→	16.0	9.5	5.8	64.6	⑫
(カ) ホームページの作成 さくせい —————→	2.9	4.8	5.1	83.2	⑬

★問 3. あなたはパソコンを使用していますか。

36.6 しょう 使用している	9.8 いま つか 今は使っていないが、 いぜん つか 以前使ったことがある	51.2 つか 使ったことがない
---------------------------------------	---	--

↓

【付問 1 へお進み下さい】

→

【問 4 (P4) へお進み下さい】

■ パソコンを使用している方におたずねします

付問 1. あなたはパソコンをどのくらい利用していますか。

N = 1,593

31.8	まいにちつか ほぼ毎日使っている (週 しゅう 6 日以上)
18.3	しゅう 週 3 ~ 5 日使っている
28.1	しゅう 週 1 ~ 2 日使っている
16.5	つき 月 1 ~ 2 日程度使っている
4.6	ねん 年 1 ~ 2 回程度使っている

付問 2. あなたはどこでパソコンを利用していますか。(○はいくつでも)

72.0	じ た く 自宅
23.5	し ょ く ば 職場
28.3	が っ こ う 学校
11.2	た その他 (具体的に)

付問 3. パソコンを使っているのは何のためですか。(○はいくつでも)

14.5	しょうがい 障害 によるハンディを少なくするため
25.2	しごと 仕事のため (仕事を え 得るため)
36.3	べんきょう 勉強のため
61.5	しゅみ 趣味のため (ゲームや絵を描いたりするため)
9.9	かい 会やサークルのため
44.5	インターネットをするため
9.5	た その他 (具体的に)

ふもん
付問 4. パソコンの使い方はどうやって知りましたか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------|-------------------------|------|------------------------------|
| 41.6 | がっこう おそ
学校で教わった | 36.8 | かぞく おそ
家族に教わった |
| 18.9 | しょくば おそ
職場で教わった | 14.8 | ともだち おそ
友達に教わった |
| 10.6 | こうしゅう さんか
講習 などに参加した | 32.0 | じぶん べんきょう
自分で勉強 した |
| 5.1 | ボランティア おそ
に教わった | 5.4 | その他 () |

⑱

ふもん
付問 5. パソコンの使い方がわからないとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------|--------------------|------|------------------------------|
| 29.2 | がっこう せんせい
学校の先生 | 23.5 | とも
友だち |
| 19.5 | しょくば ひと
職場の人 | 8.2 | ボランティア |
| 31.3 | とう かあ
お父さん・お母さん | 6.4 | パソコン きょうしつ せんせい
教室 などの先生 |
| 19.6 | きょうだい | 22.5 | じぶん
自分ひとりでやっている |
| 1.7 | おく
奥さん・旦那さん | 7.5 | その他 () |

⑲

ふもん
付問 6. パソコンを使うときに、困ることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------|--|
| 31.7 | つか かた
使い方がわかりにくい |
| 33.7 | せつめいしょ
説明書がわかりにくい |
| 18.5 | しょうがい きき てきとう ほじどうぐ
障害 にあった機器・ソフトや、適当な補助道具がない |
| 17.0 | しょうがい きき てきとう ほじどうぐ ねだん たか
障害 にあった機器・ソフトや、適当な補助道具の値段が高い |
| 8.3 | がめん み
画面がごちゃごちゃしていて見にくい |
| 28.8 | がめん で ことば
画面に出てくる言葉がわかりにくい |
| 18.2 | キーボードのキー(ボタン)がたくさんあってわかりにくい、押しにくい |
| 15.5 | ダブルクリックなど、マウスの操作(そうさ)がやりにくい |
| 13.4 | わからないことがあったとき(とき)に、相談(そうだん)するひとがいない |
| 5.3 | その他(た ぐたいてき
具体的に) |
| 20.5 | とく
特にな |

⑳

【問 6 (P5) へお進(すす)みください】

■ パソコンを使用していない方におたずねします

問 4. パソコンを使用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

N = 2,657

- 31.5 何ができるかわからないから
- 8.4 あれば便利だが、他のもので済ませることができるから
- 29.0 パソコンやインターネットの使い方を、覚えるのが大変だから(やり方がわからないから)
- 9.7 障害にあった機器・ソフトや、適当な補助道具がない
- 18.5 パソコンの値段が高いから
- 7.3 障害にあった機器・ソフトや、適当な補助道具の値段が高い
- 10.5 インターネットにかかる、費用が高いから
- 8.3 最初の準備(セットアップ)が面倒だから
- 22.4 使い方を教えてくれる人がいないから
- 11.5 どこで、何を買えばいいかわからないから
- 8.7 故障したり、うまく動かないときの修理が面倒だから
- 20.7 きっかけがないから
- 12.4 その他(具体的に)
- 24.1 わからない

問 5. あなたは、今後、パソコンを利用したいと思いますか。

- 9.1 すぐにでも利用したい
- 26.6 条件が整えば利用したい
- 23.7 利用したくない
- 33.7 わからない
- 【次のページの問 6 へお進みください】

付問 1. 問 5 で 2 を選んだ方にお聞きします。

N = 706

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

- 27.2 障害を補う機器、ソフトウェア、補助具などがあれば
- 35.7 パソコンの値段が安くなれば
- 23.1 障害にあった機器・ソフトや、適当な補助道具の値段が安くなれば
- 21.5 インターネット利用にかかる、費用が安くなれば
- 21.8 機器の購入や通信費用に対する、お金の補助があれば
- 59.6 身近にパソコンやインターネットの使い方を、教えてくれるひとが見つかれば
- 38.7 誰か一緒に始めるひとがいれば
- 59.8 使い方を勉強するための機会や場所があれば
- 30.6 何か、きっかけがあれば
- 12.6 その他(具体的に)

付問 2. どのような目的でパソコンを利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

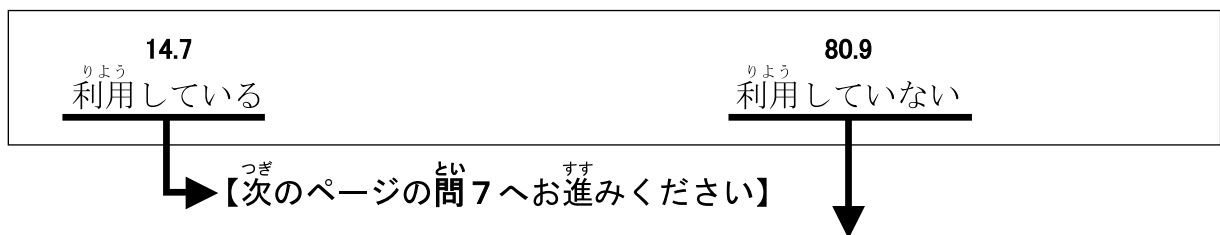
- 14.6 障害によるハンディを少なくするため
- 11.8 仕事のため (仕事を得るため)
- 30.3 勉強のため
- 63.9 趣味のため (ゲームや絵を描いたりするため)
- 12.6 会やサークルのため
- 25.0 インターネットをするため
- 12.5 その他 (具体的に)

【問 6 へお進みください】

■ 全員の方におたずねします

★問 6. あなたは、i モード、J スカイ、E Z W e b など、携帯電話・PHSを使用したインターネット接続サービス(電子メールを含みます)を利用していますか。

N = 4,353



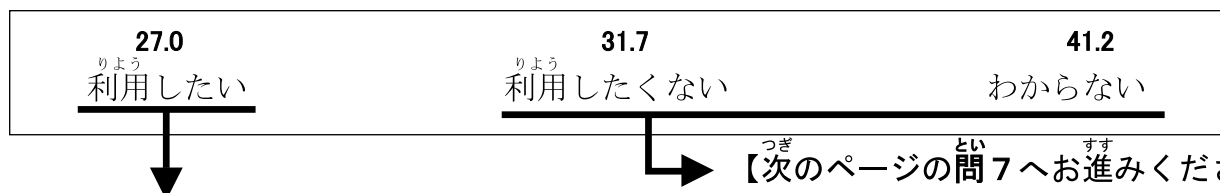
付問 1. あなたは、携帯電話・PHSを利用していますか。

N = 3,523



付問 2. あなたは、今後、携帯電話・PHSを利用したいと思いますか。

N = 2,842



付問 3. あなたは、今後、i モード、J スカイウェブ、E Z W e b など、携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスを利用したいと思いますか。

N = 1,360



★問 7. ^{けいたいでんわ}携帯電話・^{いがい ほうほう}PHS以外の方法（パソコンなど）で、インターネットを^{りよう}利用していますか。（利用している^{りよう}場所は、どこでもいいです）

N = 4,353



■ ^{けいたいでんわ}携帯電話・^{いがい ほうほう}PHS以外の方法（パソコンなど）で、インターネットを^{りよう}利用している方^{かた}におたずねします

付問 1. あなたは、インターネットをどこで^{りよう}利用していますか。

N = 1,043 ^{けいたいでんわ}（携帯電話・PHSによる^{りよう}利用は除きます）（○はいくつでも）

70.7	^じ 自	^{たく} 宅							
20.6	^し 職	^く 場							
27.6	^が 学	^こ 校							
8.1	^た その他（ ^ぐ 具体的に								

付問 2. あなたが、インターネットを^{はじ}始めたきっかけは何ですか。

^{けいたいでんわ}（携帯電話・PHS以外による^{りよう}方法）（○はいくつでも）

29.2	^し 仕事	^が や学校	^ひ 必要	^つ となった					
24.2	^か 家族	^ぞ が利用	^{して} いて	^り 、やってみよう	^と 思った	^か から（家族	^ぞ から	^す すすめ	^ら れた）
23.1	^と 友だち	^な などが	^り 利用	^{して} いて	^り 、やってみよう	^と 思った	^か から（友だち	^な など	^か ら
	^す すすめられた）								
27.0	^て テレビ	^や 雑誌	^を 見て	^り 、やってみよう	^と 思った	^か から			
19.0	^こ 今後	^ん インターネット	^を 利用	^し て	^な いと	^こ 困る	^か ら		
12.5	^た その他（ ^ぐ 具体的に								

付問 3. あなたは、1 週間 ^{しゅうかんへいきん}平均、何日くらいインターネットを^{りよう}利用しますか。

^{けいたい}（携帯・PHSによる^{りよう}利用は除きます）

21.3	^ほ ほとんど	^{つか} 使わない							
34.8	^し 週	^に 1～2 日							
12.1	^し 週	^に 3～4 日							
5.2	^し 週	^に 5～6 日							
24.2	^ま ほぼ毎日								

付問 4. あなたは、1 週間 平均、どのくらいインターネットを利用しますか。
(携帯・PHSによる利用は除きます)

- | | | | |
|------|-----------|-----|-----------|
| 33.3 | 30分未満 | 1.0 | 11～15時間未満 |
| 22.4 | 30分～1時間未満 | 1.3 | 15～20時間未満 |
| 18.1 | 1～3時間未満 | 2.7 | 20～30時間未満 |
| 7.6 | 3～5時間未満 | 5.3 | 30時間以上 |
| 6.1 | 5～10時間未満 | | |

付問 5. インターネットを使っているのは何のためですか。(〇はいくつでも)

- 12.1 障害によるハンディを少なくするため
- 14.8 仕事のため(仕事を得るため)
- 69.2 趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)
- 62.1 知りたいことを調べるため
- 39.1 電子メールのやりとりをするため
- 9.2 自分のホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため
- 20.5 いろいろなひとと交流するため
- 2.7 その他(具体的に)

付問 6. インターネットの使い方はどうやって知りましたか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|------|-------------|------|---------|
| 30.7 | 学校で教わった | 30.7 | 家族に教わった |
| 15.4 | 職場で教わった | 19.7 | 友達に教わった |
| 5.3 | 講習などに参加した | 31.5 | 自分で勉強した |
| 5.2 | ボランティアに教わった | 2.1 | その他() |

付問 7. インターネットの使い方がわからないとき、誰に相談しますか。
(〇はいくつでも)

- | | | | |
|------|-----------|------|-------------|
| 27.7 | 学校の先生 | 32.1 | 友だち |
| 17.0 | 職場の人 | 7.8 | ボランティア |
| 23.9 | お父さん・お母さん | 4.0 | パソコン教室などの先生 |
| 15.4 | きょうだい | 23.9 | 自分ひとりでやっている |
| 2.4 | 奥さん・旦那さん | 4.8 | その他() |

【次のページの付問 8 へお進みください】

付問 8. インターネットを使うときに、困ることがありますか。

(○はいくつでも)

- 17.4 障害者向きの内容が少ない
13.6 障害に配慮したホームページが少ない
14.4 障害を補う機器やソフトがない
18.3 画面がごちゃごちゃして見にくい
24.6 欲しい情報ない、又は見つけるのが難しい
22.1 通信費用が高い(プロバイダーに支払う料金も含む)
4.9 その他(具体的に)
34.8 特にない

【問10(P10)へお進み下さい】

■ 次の方におたずねします

- 携帯電話・PHS以外の方法で、インターネットを利用していない方
○ 全くインターネットを利用していない方

問 8. あなたが、インターネットを利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

N = 3,181

- 32.2 何ができるかわからないから
14.9 やってみたいと思わないから
12.3 必要性を感じないから
7.0 便利かもしれないが、他のもので済ませることができるから
15.5 パソコンなどの機器の値段が高いから
12.7 インターネットの通信費用が高いから
28.7 パソコンやインターネットの操作が、難しいそうだから(やり方がわからないから)
6.9 最初の準備(セットアップ)が面倒だから
21.2 使い方を教えてくれる人がいないから
8.7 故障したり、うまく動かないときの修理が面倒だから
19.9 きっかけがないから
8.9 その他(具体的に)
19.0 わからない

とい 問 9. あなたは、今後、インターネットを利用したいと思いますか。

- 7.7 すぐにでも利用したい
23.7 条件が整えば利用したい
20.2 利用したくない
35.4 わからない
- 【次のページの問10 へお進み下さい】

付問 1. どのような条件が整えば、利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

N = 754

- 27.1 障害を補う機器、ソフトウェア、補助具などがあれば
29.5 パソコンの値段が安くなれば
23.8 障害にあった機器・ソフトや、適当な補助道具の値段が安くなれば
35.2 インターネット利用にかかる、費用が安くなれば
21.0 機器の購入や通信費用に対する、お金の補助があれば
54.5 身近にパソコンやインターネットの使い方を、教えてくれるひとが見つかれば
38.2 誰か一緒に始めるひとがいれば
60.8 使い方を勉強するための機会や場所があれば
25.7 何か、きっかけがあれば
3.4 その他 (具体的に)

付問 2. どのような目的でインターネットを利用したいと思いますか。
(○はいくつでも)

- 16.8 障害によるハンディを少なくするため
16.0 仕事のため (仕事を得るため)
69.7 趣味に関するホームページを見るため (楽しみのため)
55.3 知りたいことを調べるため
28.3 電子メールのやりとりをするため
7.0 自分のホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため
37.4 いろいろなひとと交流するため
6.2 その他 (具体的に)

【次のページの問10 へお進み下さい】

■ ぜんいん かた
全員の方におたずねします

★問10. インターネットを使って、チケットや本などを買ったりすることを「電子商取引」といいます。あなたは、これまで「電子商取引」（インターネットを使って、チケットや本などを購入すること）をしたことがありますか。（代金引きかえや、振込によって、代金の支払いを行った場合も、含みます。）

N = 4,353

7.2 あ る

91.0 な い

★問11. あなたは、今後、「電子商取引」を利用したい（インターネットを使い、チケットや本などを購入したい）と思いますか。

10.7 ぜひ利用したい

24.1 機会があれば利用したい

13.9 あまり利用したくない

47.8 利用したくない

★問12. 学校でコンピューターやインターネットを使った授業を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

42.7 是非必要

5.2 あまり必要といえない

9.0 必要ない

36.0 どちらともいえない

■ さいご じしん すこ
最後に、あなたご自身のことについて少しおたずねします

★問13. あなたの年齢はおいくつですか。

| さい 歳

★問14. 性別を教えてください。

64.7 だん せい
男 性

35.3 じょ せい
女 性

★問15. 次の手帳をお持ちですか。お持ちの方はその等級や判定を教えてください。

37.7 身体障害者手帳 N = 1,643	→	51.0 1級 7.3 4級	29.5 2級 1.9 5級	8.6 3級 1.2 6級	・	
74.7 愛の手帳 N = 3,252	→	2.1 1度	24.3 2度	31.2 3度	41.1 4度	・
0.5 精神障害者保健福祉手帳 N = 21	→	57.2 1度	42.8 2度	-	3度	・
0.9 どれも持っていない						

★問16. あなたはどのような障害をお持ちですか。

6.1 視覚障害	71.0 知的障害	・
6.9 聴覚障害	0.7 病弱	
22.0 肢体不自由	5.3 その他（具体的に	）

★問17. あなたは、仕事をして、給料をもらっていますか。

48.3 はい	・
49.5 いいえ	

★問18. あなたは学校に在学中ですか。

26.5 在学中	・
67.5 卒業	

★問19. 最終学歴はどれですか。各種学校、中退の場合はそのひとつ前を卒業とみなしてください。また在学中の方は、在学している学校を選んでください。

15.9 中学校（盲、ろう、養護学校中学部）	・
73.7 高等学校（盲、ろう、養護学校高等部）	
3.3 短大・高専、専門学校	
1.7 大学（文系学部）	・
0.5 大学（理系学部）	
0.1 大学院（文系）修士以上	
0.1 大学院（理系）修士以上	

【次のページの問20へお進み下さい】

★問20. この調査の答えは、あなた自身で書いてくださいましたか。

45.7 自分で書いた
53.5 自分で書いていない

付問 1. 問20 で2を選んだ方にお聞きします。
書いてくださった方はどなたですか。ご本人からみた関係でお答えください。

N = 2,329

15.1	学校の先生	0.1	子供
52.8	父親・母親	31.6	その他（具体的に
0.1	配偶者（妻・夫）		）

付問 2. この調査に、どのように答えてくださいましたか。

48.4 ご本人の意見を確認しながら書いた
51.2 ご本人の本人を推察しながら書いた

長時間ご協力 いただきありがとうございました。

記入もれがないかご確認ください。

回答

(全員に対して)

■問1. 障がい者向け講習への参加希望

あなたは、文書作成など、パソコンやインターネットの基本的な使い方についての、障がい者向け講習への参加を希望しますか。

	総数	参加したい	参加したくない	無回答
ウエイト無	789	404	361	24
(%)	100%	51.2%	45.8%	3.0%
ウエイト有	4,353	2,058	2,188	107
(%)	100%	47.3%	50.3%	2.5%

■問2. パソコンの習熟度

パソコンを使った次にあげる(ア)～(カ)の作業のうち、あなたができるものはどれですか。

(ア)文書作成

	総数	できる	だいたいできる	ほとんど できない	できない・ 経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
ウエイト無	789	227	171	60	306	25	398	366
(%)	100%	28.8%	21.7%	7.6%	38.8%	3.2%	50.4%	46.4%
ウエイト有	4,353	753	610	309	2,524	157	1,363	2,833
(%)	100%	17.3%	14.0%	7.1%	58.0%	3.6%	31.3%	65.1%

(イ)表計算

	総数	できる	だいたいできる	ほとんど できない	できない・ 経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
ウエイト無	789	75	105	86	493	30	180	579
(%)	100%	9.5%	13.3%	10.9%	62.5%	3.8%	22.8%	73.4%
ウエイト有	4,353	216	303	382	3,271	182	519	3,653
(%)	100%	5.0%	7.0%	8.8%	75.1%	4.2%	11.9%	83.9%

(ウ)簡単な作図

	総数	できる	だいたいできる	ほとんど できない	できない・ 経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
ウエイト無	789	77	102	96	484	30	179	580
(%)	100%	9.8%	12.9%	12.2%	61.3%	3.8%	22.7%	73.5%
ウエイト有	4,353	252	389	427	3,110	174	641	3,538
(%)	100%	5.8%	8.9%	9.8%	71.4%	4.0%	14.7%	81.3%

(エ) 電子メールのやりとり

	総数	できる	だいたいできる	ほとんど できない	できない・ 経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
ウエイト無	789	186	76	64	434	29	262	498
(%)	100%	23.6%	9.6%	8.1%	55.0%	3.7%	33.2%	63.1%
ウエイト有	4,353	542	259	301	3,068	184	801	3,369
(%)	100%	12.5%	6.0%	6.9%	70.5%	4.2%	18.4%	77.4%

(オ) インターネットを使った情報検索

	総数	できる	だいたいできる	ほとんど できない	できない・ 経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
ウエイト無	789	205	116	59	382	27	321	441
(%)	100%	26.0%	14.7%	7.5%	48.4%	3.4%	40.7%	55.9%
ウエイト有	4,353	696	415	253	2,813	176	1,112	3,066
(%)	100%	16.0%	9.5%	5.8%	64.6%	4.0%	25.5%	70.4%

(カ) ホームページの作成

	総数	できる	だいたいできる	ほとんど できない	できない・ 経験がない	無回答	できる(計)	できない(計)
ウエイト無	789	39	52	59	611	28	91	670
(%)	100%	4.9%	6.6%	7.5%	77.4%	3.5%	11.5%	84.9%
ウエイト有	4,353	127	208	223	3,623	172	335	3,846
(%)	100%	2.9%	4.8%	5.1%	83.2%	4.0%	7.7%	88.3%

■問3. パソコンの使用

あなたはパソコンを使用していますか。

	総数	使用している	今は使っていない が、以前使った ことがある	使ったことがない	無回答	使ったことがある (計)
ウエイト無	789	408	98	269	14	506
(%)	100%	51.7%	12.4%	34.1%	1.8%	64.1%
ウエイト有	4,353	1,593	429	2,228	104	2,022
(%)	100%	36.6%	9.8%	51.2%	2.4%	46.4%

回答

(パソコンを使用している方に対して)

■問3付問1. パソコンの利用頻度

あなたはパソコンをどのくらい利用していますか。

	該当者	ほぼ毎日使っている(週6日以上)	週3～5日使っている	週1～2日使っている	月1～2日程度使っている	年1～2回程度使っている	無回答
ウエイト無	408	158	82	102	53	11	2
(%)	100%	38.7%	20.1%	25.0%	13.0%	2.7%	0.5%
ウエイト有	1,593	507	292	447	263	73	11
(%)	100%	31.8%	18.3%	28.1%	16.5%	4.6%	0.7%

■問3付問2. パソコンの利用場所

あなたはどこでパソコンを利用していますか。(○はいくつでも)

	該当者	自宅	職場	学校	その他	無回答
ウエイト無	408	313	112	132	37	1
(%)	100%	76.7%	27.5%	32.4%	9.1%	0.2%
ウエイト有	1,593	1,147	375	451	178	5
(%)	100%	72.0%	23.5%	28.3%	11.2%	0.3%

■問3付問3. パソコンの使用目的

パソコンを使っているのは何のためですか。(○はいくつでも)

	該当者	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため(ゲームや絵を描いたりするため)	会やサークルのため	インターネットをするため	その他	無回答
ウエイト無	408	78	129	187	235	59	216	40	1
(%)	100%	19.1%	31.6%	45.8%	57.6%	14.5%	52.9%	9.8%	0.2%
ウエイト有	1,593	230	401	578	980	158	709	151	1
(%)	100%	14.5%	25.2%	36.3%	61.5%	9.9%	44.5%	9.5%	0.1%

■問3付問4. パソコンの使い方を知った方法

パソコンの使い方はどうやって知りましたか。(○はいくつでも)

	該当者	学校で教わった	職場で教わった	講習などに参加した	ボランティアに教わった	家族に教わった	友達に教わった	自分で勉強した	その他	無回答
ウエイト無	408	190	87	48	19	116	94	160	22	3
(%)	100%	46.6%	21.3%	11.8%	4.7%	28.4%	23.0%	39.2%	5.4%	0.7%
ウエイト有	1,593	663	302	169	81	586	236	509	86	8
(%)	100%	41.6%	18.9%	10.6%	5.1%	36.8%	14.8%	32.0%	5.4%	0.5%

■問3付問5. パソコンの使い方について相談する人

パソコンの使い方がわからないとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

	該当者	学校の先生	職場の人	お父さん・お母さん	きょうだい	奥さん・旦那さん	友だち	ボランティア	パソコン教室などの先生	自分ひとりでやっている	その他	無回答
ウエイト無	408	133	88	89	63	16	151	29	30	102	38	3
(%)	100%	32.6%	21.6%	21.8%	15.4%	3.9%	37.0%	7.1%	7.4%	25.0%	9.3%	0.7%
ウエイト有	1,593	464	310	498	312	27	375	131	101	358	120	8
(%)	100%	29.2%	19.5%	31.3%	19.6%	1.7%	23.5%	8.2%	6.4%	22.5%	7.5%	0.5%

■問3付問6. パソコンを使うときに困ること

パソコンを使うときに、困ることがありますか。(○はいくつでも)

	該当者	使い方がわかりにくい	説明書がわかりにくい	障がいにあった機器・ソフトや、適切な補助道具がない	障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い	画面がごちゃごちゃしていて見にくい	画面に出てくる言葉がわかりにくい	キーがたくさんあってわかりにくい、押しにくい	ダブルクリックなど、マウスの操作がやりにくい	わからないことがあった時に、相談するひとがない	その他	特になし	無回答
ウエイト無	408	126	137	78	104	45	113	57	56	48	32	79	11
(%)	100%	30.9%	33.6%	19.1%	25.5%	11.0%	27.7%	14.0%	13.7%	11.8%	7.8%	19.4%	2.7%
ウエイト有	1,593	506	537	295	271	133	459	289	247	214	85	327	47
(%)	100%	31.7%	33.7%	18.5%	17.0%	8.3%	28.8%	18.2%	15.5%	13.4%	5.3%	20.5%	2.9%

(パソコンを使用していない方に対して)

■問4. パソコンを使用しない理由

パソコンを使用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

	該当者	何ができるかわからないから	あれば便利だが、他のもので済ませることができるから	パソコンやインターネットの使い方を、覚えるのが大変	障がいにあった機器・ソフトや、適切な補助道具がない	パソコンの値段が高いから	障がいにあった機器・ソフトや、補助道具の値段が高い	インターネットにかかる費用が高いから	最初の準備(セットアップ)が面倒だから	使い方を教えてくれる人がいないから	どこで、何を買いえばいいかわからないから	故障したり、うまく動かないときの修理が面倒だから	きっかけがないから	その他	わからない	無回答
ウエイト無	367	106	44	101	38	87	37	47	34	83	46	35	82	51	70	161
(%)	100%	28.9%	12.0%	27.5%	10.4%	23.7%	10.1%	12.8%	9.3%	22.6%	12.5%	9.5%	22.3%	13.9%	19.1%	43.9%
ウエイト有	2,657	836	224	771	257	492	194	278	222	595	305	230	549	330	640	1,128
(%)	100%	31.5%	8.4%	29.0%	9.7%	18.5%	7.3%	10.5%	8.3%	22.4%	11.5%	8.7%	20.7%	12.4%	24.1%	42.5%

■問5. 今後のパソコン利用意向

あなたは、今後、パソコンを利用したいと思いますか。

	該当者	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
ウエイト無	367	42	121	65	111	28	163
(%)	100%	11.4%	33.0%	17.7%	30.2%	7.6%	44.4%
ウエイト有	2,657	243	706	629	896	183	948
(%)	100%	9.1%	26.6%	23.7%	33.7%	6.9%	35.7%

回答

■問5付問1. パソコンを利用する条件

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

	該当者	障がい を補う機器、 ソフトウェア、 補助具など があれば	パソコンの 値段が 安くなれば	障がいにあっ た機器・ソフト や補助具の 値段が 安くなれば	インターネット 利用に かかる、 費用が 安くなれば	機器の購入 や通信費用 に対する、 お金の補助 があれば	身近に 使い方を、 教えてくれる ひとが 見つければ	誰か一緒に 始めるひとが いれば	使い方を 勉強する ための機会 や場所が あれば	何か、 きっかけが あれば	その他	無回答
ウエイト無	121	33	53	35	30	30	64	39	66	32	11	2
(%)	100%	27.3%	43.8%	28.9%	24.8%	24.8%	52.9%	32.2%	54.5%	26.4%	9.1%	1.7%
ウエイト有	706	192	252	163	152	154	421	273	422	216	89	11
(%)	100%	27.2%	35.7%	23.1%	21.5%	21.8%	59.6%	38.7%	59.8%	30.6%	12.6%	1.5%

問5付問2. パソコンの利用目的

どのような目的でパソコンを利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

	該当者	障がいによる ハンディを 少なくするため	仕事のため (仕事を得るため)	勉強のため	趣味のため (ゲームや絵を描 いたりするため)	会や サークルのため	インターネットを するため	その他	無回答
ウエイト無	121	22	19	35	78	14	44	11	4
(%)	100%	18.2%	15.7%	28.9%	64.5%	11.6%	36.4%	9.1%	3.3%
ウエイト有	706	103	83	214	451	89	177	88	27
(%)	100%	14.6%	11.8%	30.3%	63.9%	12.6%	25.0%	12.5%	3.8%

(全員に対して)

■問6. 携帯電話・PHSによるインターネット利用

あなたは、iモード、Jスカイ、EZWebなど、携帯電話・PHSを使用したインターネット接続サービス(電子メールを含みます)を利用していますか。

	総数	利用している	利用していない	無回答
ウエイト無	789	201	556	32
(%)	100%	25.5%	70.5%	4.1%
ウエイト有	4,353	638	3,523	192
(%)	100%	14.7%	80.9%	4.4%

■問6付問1. 携帯電話・PHSの利用

あなたは、携帯電話・PHSを利用していますか。

	該当者	利用している	利用していない	無回答
ウエイト無	556	154	390	12
(%)	100%	27.7%	70.1%	2.2%
ウエイト有	3,523	592	2,842	89
(%)	100%	16.8%	80.7%	2.5%

■問6付問2. 今後の携帯電話・PHS利用意向

あなたは、今後、携帯電話・PHSを利用したいと思いますか。

	該当者	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ウエイト無	390	122	112	154	2
(%)	100%	31.3%	28.7%	39.5%	0.5%
ウエイト有	2,842	767	900	1,170	5
(%)	100%	27.0%	31.7%	41.2%	0.2%

■問6付問3. 今後の携帯電話・PHSによるインターネット利用意向

あなたは、今後、iモード、Jスカイウェブ、EZWebなど、携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスを利用したいと思いますか。

	該当者	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ウエイト無	276	146	44	73	13
(%)	100%	52.9%	15.9%	26.4%	4.7%
ウエイト有	1,360	687	229	408	36
(%)	100%	50.6%	16.8%	30.0%	2.6%

■問7. 携帯電話・PHS以外によるインターネット利用

携帯電話・PHS以外の方法(パソコンなど)で、インターネットを利用していますか。(利用している場所は、どこでもいいです)

	総数	利用している	利用していない	無回答
ウエイト無	789	294	476	19
(%)	100%	37.3%	60.3%	2.4%
ウエイト有	4,353	1,043	3,181	130
(%)	100%	23.9%	73.1%	3.0%

(携帯電話・PHS以外の方法(パソコンなど)で、インターネットを利用している方に対して)

■問7付問1. インターネットの利用場所

あなたは、インターネットをどこで利用していますか。(携帯電話・PHSによる利用は除きます)(○はいくつでも)

	該当者	自宅	職場	学校	その他	無回答
ウエイト無	294	216	52	90	22	6
(%)	100%	73.5%	17.7%	30.6%	7.5%	2.0%
ウエイト有	1,043	737	215	288	84	29
(%)	100%	70.7%	20.6%	27.6%	8.1%	2.8%

回答

■問7付問2. インターネットを始めたきっかけ

あなたが、インターネットを始めたきっかけは何ですか。(携帯電話・PHS以外による方法)(○はいくつでも)

	該当者	仕事や学校で必要となったから	家族が利用して、やってみようと思ったから	友だちなどが利用して、やってみようと思ったから	テレビや雑誌を見て、やってみようと思ったから	今後インターネットを利用できないと困るから	その他	無回答
ウエイト無	294	102	56	88	74	69	40	8
(%)	100%	34.7%	19.0%	29.9%	25.2%	23.5%	13.6%	2.7%
ウエイト有	1,043	304	252	240	281	198	130	40
(%)	100%	29.2%	24.2%	23.1%	27.0%	19.0%	12.5%	3.8%

■問7付問3. インターネットの利用頻度

あなたは、1週間平均、何日くらいインターネットを利用しますか。(携帯・PHSによる利用は除きます)

	該当者	ほとんど使わない	週1~2日	週3~4日	週5~6日	ほぼ毎日	無回答
ウエイト無	294	57	103	32	21	76	5
(%)	100%	19.4%	35.0%	10.9%	7.1%	25.9%	1.7%
ウエイト有	1,043	222	363	127	54	252	24
(%)	100%	21.3%	34.8%	12.1%	5.2%	24.2%	2.3%

■問7付問4. インターネットの利用時間

あなたは、1週間平均、どのくらいインターネットを利用しますか。(携帯・PHSによる利用は除きます)

	該当者	30分未満	30分~1時間未満	1~3時間未満	3~5時間未満	5~10時間未満	11~15時間未満	15~20時間未満	20~30時間未満	30時間以上	無回答
ウエイト無	294	76	75	59	25	21	4	5	5	16	8
(%)	100%	25.9%	25.5%	20.1%	8.5%	7.1%	1.4%	1.7%	1.7%	5.4%	2.7%
ウエイト有	1,043	347	234	188	80	64	10	14	28	56	23
(%)	100%	33.3%	22.4%	18.1%	7.6%	6.1%	1.0%	1.3%	2.7%	5.3%	2.2%

■問7付問5. インターネットの使用目的

インターネットを使っているのは何のためですか。(○はいくつでも)

	該当者	障害によるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を 得るため)	趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)	知りたいことを調べるため	電子メールのやりとりをするため	ホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため	いろいろなひとと交流するため	その他	無回答
ウエイト無	294	42	51	217	219	150	29	57	9	3
(%)	100%	14.3%	17.3%	73.8%	74.5%	51.0%	9.9%	19.4%	3.1%	1.0%
ウエイト有	1,043	126	155	722	647	408	96	214	28	11
(%)	100%	12.1%	14.8%	69.2%	62.1%	39.1%	9.2%	20.5%	2.7%	1.1%

問7付問6. インターネットの使い方を知った方法

インターネットの使い方はどうやって知りましたか。(○はいくつでも)

	該当者	学校で 教わった	職場で 教わった	講習などに 参加した	ボランティア に教わった	家族に 教わった	友達に 教わった	自分で 勉強した	その他	無回答
ウエイト無	294	99	39	21	13	71	78	107	8	3
(%)	100%	33.7%	13.3%	7.1%	4.4%	24.1%	26.5%	36.4%	2.7%	1.0%
ウエイト有	1,043	320	160	55	54	320	206	329	22	7
(%)	100%	30.7%	15.4%	5.3%	5.2%	30.7%	19.7%	31.5%	2.1%	0.7%

問7付問7. インターネットの使い方について相談する人

インターネットの使い方がわからないとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

	該当者	学校の先生	職場の人	お父さん・ お母さん	きょうだい	奥さん・ 旦那さん	友だち	ボランティア	パソコン教室 などの先生	自分ひとりで やっている	その他	無回答
ウエイト無	294	80	45	49	36	10	119	19	15	87	16	3
(%)	100%	27.2%	15.3%	16.7%	12.2%	3.4%	40.5%	6.5%	5.1%	29.6%	5.4%	1.0%
ウエイト有	1,043	288	177	249	160	25	334	81	42	250	50	8
(%)	100%	27.7%	17.0%	23.9%	15.4%	2.4%	32.1%	7.8%	4.0%	23.9%	4.8%	0.8%

問7付問8. インターネットを使うときに困ること

インターネットを使うときに、困ることがありますか。(○はいくつでも)

	該当者	障害者向きの 内容が少ない から	障がい に配慮した ホームページ が少ない	障がいを補う 機器やソフト がない	画面が ごちゃごちゃ していて 見にくい	欲しい情報 ない、又は 見つけるの が難しい	通信費用が 高い(プロバ イダーに支払 う料金も含む)	その他	特にない	無回答
ウエイト無	294	45	62	44	56	94	77	18	82	10
(%)	100%	15.3%	21.1%	15.0%	19.0%	32.0%	26.2%	6.1%	27.9%	3.4%
ウエイト有	1,043	181	141	150	191	257	230	52	363	24
(%)	100%	17.4%	13.6%	14.4%	18.3%	24.6%	22.1%	4.9%	34.8%	2.3%

(携帯電話・PHS以外の方法でインターネットを利用していない方及び全くインターネットを利用していない方に対して)

問8. インターネットを利用しない理由

あなたが、インターネットを利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

	該当者	何が できるか わからない から	やって みたいと 思わない から	必要を 感じない から	便利かも しれない が、他で 済ませる ことがで きるから	パソコン などの 機器の 値段が高 いから	インター ネットの 通信 費用が高 いから	パソコン やインター ネットの操 作が、難し そうだから	最初の 準備 (セットア ップ)が 面倒 だから	使い方を 教えて くれる人 がいな いから	故障した り、うまく 動かない ときの修 理が面倒 だから	きっかけ がないから	その他	わからない	無回答
ウエイト無	476	140	63	71	46	85	74	138	38	101	41	89	54	69	57
(%)	100%	29.4%	13.2%	14.9%	9.7%	17.9%	15.5%	29.0%	8.0%	21.2%	8.6%	18.7%	11.3%	14.5%	12.0%
ウエイト有	3,181	1,023	473	392	221	492	405	912	219	675	277	634	282	605	367
(%)	100%	32.2%	14.9%	12.3%	7.0%	15.5%	12.7%	28.7%	6.9%	21.2%	8.7%	19.9%	8.9%	19.0%	11.5%

回答

■問9. 今後のインターネット利用意向

あなたは、今後、インターネットを利用したいと思いますか。

	該当者	すぐにでも利用したい	条件が整えば利用したい	利用したくない	わからない	無回答	利用したい(計)
ウエイト無	476	51	140	76	147	62	191
(%)	100%	10.7%	29.4%	16.0%	30.9%	13.0%	40.1%
ウエイト有	3,181	246	754	643	1,126	412	1,000
(%)	100%	7.7%	23.7%	20.2%	35.4%	13.0%	31.4%

■問9付問1. インターネットの利用条件

どのような条件が整えば、利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

	該当者	障がいを持つ機器、ソフトウェア、補助具などがあれば	パソコンの値段が安くなれば	障がいにあった機器・ソフトや補助具の値段が安くなれば	インターネット利用にかかる費用が安くなれば	機器の購入や通信費用に対する、お金の補助があれば	身近に使い方を教えてくれるひとが見つければ	誰か一緒に始めるひとがいれば	使い方を勉強するための機会や場所があれば	何か、きっかけがあれば	その他	無回答
ウエイト無	140	44	52	42	54	39	70	48	75	35	8	6
(%)	100%	31.4%	37.1%	30.0%	38.6%	27.9%	50.0%	34.3%	53.6%	25.0%	5.7%	4.3%
ウエイト有	754	204	223	180	265	158	411	288	458	194	26	40
(%)	100%	27.1%	29.5%	23.8%	35.2%	21.0%	54.5%	38.2	60.8%	25.7%	3.4%	5.3%

■問9付問2. インターネットの利用目的

どのような目的でインターネットを利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

	該当者	障がいによるハンディを少なくするため	仕事のため(仕事を得るため)	趣味に関するホームページを見るため(楽しみのため)	知りたいことを調べるため	電子メールのやりとりをするため	ホームページなどを通じて、自分の考えを発表するため	いろいろなひとと交流するため	その他	無回答
ウエイト無	140	30	30	96	86	50	13	55	4	8
(%)	100%	21.4%	21.4%	68.6%	61.4%	35.7%	9.3%	39.3%	2.9%	5.7%
ウエイト有	754	126	121	526	417	214	53	282	46	55
(%)	100%	16.8%	16.0%	69.7%	55.3%	28.3%	7.0%	37.4%	6.2%	7.3%

(全員に対して)

■問10. 電子商取引の利用経験

インターネットを使って、チケットや本などを買ったりすることを「電子商取引」といいます。あなたは、これまで「電子商取引」(インターネットを使って、チケットや本などを購入すること)をしたことがありますか。(代金引きかえや、振込によって、代金の支払いを行った場合も、含みます。)

	総数	ある	ない	無回答
ウエイト無	789	94	679	16
(%)	100%	11.9%	86.1%	2.0%
ウエイト有	4,353	312	3,961	80
(%)	100%	7.2%	91.0%	1.8%

■問11. 電子商取引の利用意向

あなたは、今後、「電子商取引」を利用したい(インターネットを使い、チケットや本などを購入したい)と思いますか。

	総数	ぜひ利用したい	機会があれば 利用したい	あまり 利用したくない	利用したくない	無回答	利用したい (計)	利用したくない (計)
ウエイト無	789	106	240	124	290	29	346	414
(%)	100%	13.4%	30.4%	15.7%	36.8%	3.7%	43.9%	52.5%
ウエイト有	4,353	467	1,049	605	2,079	153	1,516	2,684
(%)	100%	10.7%	24.1%	13.9%	47.8%	3.5%	34.8%	61.6%

■問12. コンピューター授業の必要性

学校でコンピューターやインターネットを使った授業を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

	総数	是非必要	あまり 必要といえない	必要ない	どちらとも いえない	無回答
ウエイト無	789	415	53	46	228	47
(%)	100%	52.6%	6.7%	5.8%	28.9%	6.0%
ウエイト有	4,353	1,860	227	394	1,566	308
(%)	100%	42.7%	5.2%	9.0%	36.0%	7.1%

■問13. 年齢

あなたの年齢はいくつですか。

	総数	10代	20代	30代	40代	無回答
ウエイト無	789	262	165	201	161	0
(%)	100%	33.2%	20.9%	25.5%	20.4%	0.0%
ウエイト有	4,353	1,088	1,088	1,088	1,089	0
(%)	100%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%

■問14. 性別

性別を教えてください。

	総数	男性	女性	無回答
ウエイト無	789	479	310	0
(%)	100%	60.7%	39.3%	0.0%
ウエイト有	4,353	2,816	1,537	0
(%)	100%	64.7%	35.3%	0.0%

回答

■問15. 手帳の有無

次の手帳をお持ちですか。お持ちの方はその等級や判定を教えてください。

	総数	身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉手帳	どれも 持っていない	無回答
ウエイト無	789	460	403	5	11	8
(%)	100%	58.3%	51.1%	0.6%	1.4%	1.0%
ウエイト有	4,353	1,643	3,252	21	37	50
(%)	100%	37.7%	74.7%	0.5%	0.9%	1.1%

「身体障害者手帳」の等級・判定

	該当者	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
ウエイト無	460	205	171	36	25	15	7	1
(%)	100%	44.6%	37.2%	7.8%	5.4%	3.3%	1.5%	0.2%
ウエイト有	1,643	839	484	142	120	31	20	7
(%)	100%	51.0%	29.5%	8.6%	7.3%	1.9%	1.2%	0.4%

「愛の手帳」の等級・判定

	該当者	1度	2度	3度	4度	無回答
ウエイト無	403	14	102	120	162	5
(%)	100%	3.5%	25.3%	29.8%	40.2%	1.2%
ウエイト有	3,252	69	789	1,014	1,337	43
(%)	100%	2.1%	24.3%	31.2%	41.1%	1.3%

「精神障害者保健福祉手帳」の等級・判定

	該当者	1度	2度	3度	無回答
ウエイト無	5	2	3	0	0
(%)	100%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
ウエイト有	21	12	9	0	0
(%)	100%	57.2%	42.8%	0.0%	0.0%

■問16. もっている障がい

あなたはどのような障がいをお持ちですか。

	総数	視覚障がい	聴覚障がい	肢体不自由	知的障がい	病弱	その他	無回答
ウエイト無	789	170	119	173	378	6	31	12
(%)	100%	21.5%	15.1%	21.9%	47.9%	0.8%	3.9%	1.5%
ウエイト有	4,353	267	301	956	3,092	29	230	102
(%)	100%	6.1%	6.9%	22.0%	71.0%	0.7%	5.3%	2.4%

■問17. 就業の有無

あなたは、仕事をして、給料をもらっていますか。

	総数	はい	いいえ	無回答
ウエイト無	789	331	439	19
(%)	100%	42.0%	55.6%	2.4%
ウエイト有	4,353	2,105	2,157	92
(%)	100%	48.3%	49.5%	2.1%

■問18. 就学の有無

あなたは学校に在学中ですか。

	総数	在学中	卒業	無回答
ウエイト無	789	312	441	36
(%)	100%	39.5%	55.9%	4.6%
ウエイト有	4,353	1,156	2,939	259
(%)	100%	26.5%	67.5%	6.0%

■問19. 学歴

最終学歴はどれですか。各種学校、中退の場合はそのひとつ前を卒業とみなしてください。また在学中の方は、在学している学校を選んでください。

	総数	中学校 (盲、ろう、養護 学校中学部)	高等学校 (盲、ろう、養護 学校高等部)	短大・高専、 専門学校	大学 (文系学部)	大学 (理系学部)	大学院(文系) 修士以上	大学院(理系) 修士以上	無回答
ウエイト無	789	76	559	64	36	16	5	2	31
(%)	100%	9.6%	70.8%	8.1%	4.6%	2.0%	0.6%	0.3%	3.9%
ウエイト有	4,353	691	3,210	143	74	20	4	3	209
(%)	100%	15.9%	73.7%	3.3%	1.7%	0.5%	0.1%	0.1%	4.8%

■問20. 記入者

この調査の答えは、あなた自身で書いてくださいましたか。

	総数	自分で書いた	自分で 書いていない	無回答
ウエイト無	789	439	339	11
(%)	100%	55.6%	43.0%	1.4%
ウエイト有	4,353	1,989	2,329	35
(%)	100%	45.7%	53.5%	0.8%

回答

■問20付問1. 代筆者

書いてくださった方はどなたですか。ご本人からみた関係でお答えください。

	該当者	学校の先生	父親・母親	配偶者(妻・夫)	子供	その他	無回答
ウエイト無	339	69	180	2	1	85	2
(%)	100%	20.4%	53.1%	0.6%	0.3%	25.1%	0.6%
ウエイト有	2,329	352	1,229	2	2	737	7
(%)	100%	15.1%	52.8%	0.1%	0.1%	31.6%	0.3%

■問20付問2. 本人への確認・推察

この調査に、どのように答えてくださいましたか。

	該当者	ご本人の意見 を確認しながら 書いた	ご本人の意見 を推察しながら 書いた	無回答
ウエイト無	339	172	165	2
(%)	100%	50.7%	48.7%	0.6%
ウエイト有	2,329	1,127	1,193	9
(%)	100%	48.4%	51.2%	0.4%

(その他)

問6+問7. インターネット利用率

	総数	いずれかの方法 で利用している	まったく 利用していない	それ以外・ 無回答
ウエイト無	789	351	406	32
(%)	100%	44.5%	51.5%	4.1%
ウエイト有	4,353	1,270	2,860	223
(%)	100%	29.2%	65.7%	5.1%

問6+問7. 携帯以外の方法のみでインターネット利用率

	総数	携帯以外の 方法のみで 利用している	携帯以外の 方法で 利用していない	それ以外・無回答
ウエイト無	789	137	476	176
(%)	100%	17.4%	60.3%	22.3%
ウエイト有	4,353	573	3,181	599
(%)	100%	13.2%	73.1%	13.8%

問6+問7. 携帯とそれ以外の方法の両方でインターネット利用率

	総数	両方とも 利用している	いずれか・ 両方とも 利用していない	それ以外・無回答
ウエイト無	789	144	626	19
(%)	100%	18.3%	79.3%	2.4%
ウエイト有	4,353	411	3,844	99
(%)	100%	9.4%	88.3%	2.3%

問6+付問1. 携帯電話・PHSの利用率

	総数	利用している	利用していない	無回答
ウエイト無	789	355	390	44
(%)	100%	45.0%	49.4%	5.6%
ウエイト有	4,353	1,230	2,842	281
(%)	100%	28.3%	65.3%	6.4%

問6付問1+付問2+付問3. 携帯電話・PHSの未使用者の携帯インターネット利用意向

	該当者	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ウエイト無	390	82	123	181	4
(%)	100%	21.0%	31.5%	46.4%	1.0%
ウエイト有	2,842	478	963	1,383	18
(%)	100%	16.8%	33.9%	48.7%	0.6%

問6付問1+付問3. 携帯電話・PHSの使用者の携帯インターネット利用意向

	該当者	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
ウエイト無	154	64	33	46	11
(%)	100%	41.6%	21.4%	29.9%	7.1%
ウエイト有	592	209	166	195	22
(%)	100%	35.3%	28.0%	32.9%	3.8%

問6+問7. インターネット利用率(利用方法の組み合わせ)

	総数	両方利用	携帯インターネ ットのみを利用	携帯インターネ ット以外で利用	まったく 利用していない	無回答
ウエイト無	789	144	56	137	406	46
(%)	100%	18.3%	7.1%	17.4%	51.5%	5.8%
ウエイト有	4,353	411	226	573	2,860	283
(%)	100%	9.4%	5.2%	13.2%	65.7%	6.5%

(参考 1)

「暮らしとインターネットに関する 全国調査」 報告書

総務省 情報通信政策研究所

「暮らしとインターネットに関する全国調査」について

平成 13 年 2 月から 3 月末にかけて、「暮らしとインターネットに関する全国調査」を実施した。主な調査目的は、1) パソコン、インターネット及び電子商取引の利用状況、国民の情報リテラシーなど、「情報環境」を幅広く調査すること、及び 2) セキュリティ意識を調査した上、セキュリティ意識と電子商取引(B to C 市場)利用との関係について調査することであった。

なお、添付している項目別調査等の結果は補正を行う前のものである。回収率が 80%を超えているため、補正により大きな差は生じていないが、「障がいのある方々のインターネット等の利用についての調査」結果との比較に使用している補正後の調査結果とは数値が異なっている。

1 調査の目的

- (1) パソコン、インターネット及び携帯電話の利用状況(以下「情報環境」という)の把握
- (2) 電子メール利用能力の有無等、IT リテラシーの把握
- (3) セキュリティ意識の把握
- (4) セキュリティ意識と電子商取引の利用との関係の把握
- (5) 上記の結果を踏まえ、情報リテラシーを向上させ、パソコンやインターネットの利用率を増加させる施策の提言
- (6) セキュリティ意識との関係を中心に、電子商取引の利用拡大への提言

2 主な調査内容

- (1) パソコン、インターネット及び電子商取引のイメージ比較
- (2) パソコン、インターネット、電子商取引及び携帯電話の利用状況と問題点
- (3) 電子メールの送受信等、IT リテラシーの状況
- (4) セキュリティ意識
- (5) IT 講習会への参加意向
- (6) 電子政府に対する期待
- (7) 学校での情報教育に対する考え方

3 調査方法

- (1) 地 域：全国 (161 地点)
- (2) 対 象：16 歳以上 69 歳以下の男女個人
- (3) 対 象 数：3 2 0 0 (名)
- (4) 抽出方法：層化多段無作為抽出法
- (5) 調査方法：訪問留置面接回収法
- (6) 調査時期：2001 年 2 月 15 日～3 月 25 日

4 結果回収状況

- (1) 回収数： 2 5 8 9 (名)
(2) 回収率： 8 0 . 9 % (2589/3200)

(参考) 規正標本数と回収内訳

全国規模の調査において、回収率が80%を超える例は少ない。回収率が高いため、回収結果集計と補正結果集計との間に大きな差異は生じないが、「障がいのある方々のインターネット等利用についての調査」においては結果を補正していることから、「項目分析」における結果比較においては本調査についても補正を行った。補正は次のように行った。繰り返しとなるが、補正を行ったのは、「障がいのある方々のインターネット等利用についての調査」においては「項目分析」で比較した結果のみであり、本調査自体の「項目分析」では補正を行っていない。

	依頼数	回収数	規正数
全体	3200	2589	2589
回収率(%)		80.9%	80.9%

	回収数	規正数		回収数	規正数
男性	1276	1293	女性	1313	1296
%	49.3%	49.9%	%	50.7%	50.1%
10代	85	100	10代	85	95
%	3.3%	3.9%	%	3.3%	3.7%
20代	192	268	20代	215	259
%	7.4%	10.4%	%	8.3%	10.0%
30代	203	268	30代	232	222
%	7.8%	10.4%	%	9.0%	8.6%
40代	258	278	40代	301	275
%	10.0%	10.7%	%	11.6%	10.6%
50代	311	235	50代	290	240
%	12.0%	9.1%	%	11.2%	9.3%
60代	228	186	60代	189	204
%	8.8%	7.2%	%	7.3%	7.9%

目 次

I 調査結果の分析

● イメージ	—1—
1. パソコン(Q1)	—1—
2. インターネット(Q2)	—2—
3. 電子商取引(Q54)	—3—
● コンピューター・リテラシ	—4—
4. 文書作成能力など(Q4 ア～カ)	—4—
● I T 講習会	—10—
5. 講習参加経験(Q5)	—10—
6. 講習参加時間(Q5-1)	—11—
7. 講習参加希望(Q6)	—12—
8. 講習の自己負担額(Q6-1)	—13—
9. 公費負担(Q7)	—14—
● 情報環境／利用実態	—15—
パソコン	—15—
10. 利用率(Q8N)	—15—
11. 週当たりの利用頻度(Q8)	—16—
12. 利用場所(Q8-1)	—17—
13. 利用環境(Q8-2：自宅)	—18—
14. 利用環境(Q8-2：職場)	—19—
15. パソコン利用経験(Q9)	—20—
16. 自宅での利用意向(Q10)	—21—
17. パソコン購入予定(Q11)	—22—
18. 希望価格(Q12)	—23—
19. 必要サービス(Q13)	—24—
20. 自宅でパソコンを利用しない理由(Q11-1)	—25—
インターネット	—26—
21. インターネット利用率(Q14N1：Q14 と Q17)	—26—

22. 携帯インターネット及び携帯電話利用率(Q14N2：Q14 と Q14-1)	27-
23. 自宅でのインターネット利用率（携帯以外）(Q17 と Q33 から作成)	28-
24. 携帯未使用者の携帯の利用意向(Q14-2)	29-
25. 携帯インターネットの利用意向(Q14-3)	30-
26. 携帯インターネットの利用目的(Q15)	31-
27. 利用経験年数(Q19)	32-
28. 利用時間（携帯除く）(Q21)	33-
29. 利用場所（携帯除く）(Q18)	34-
30. 始めたきっかけ（携帯除く）(Q20)	35-
31. 同居家族のインターネット利用（携帯除く）(Q16)	36-
32. 生活時間への影響(Q22 ア～キ)	37-
33. 自分のホームページの有無(Q32)	44-
34. 同居家族のインターネット利用者数（自分含む、携帯除く）(Q34)	45-
35. インターネット接続端末（携帯除く）(Q35)	46-
36. 自宅でのインターネット利用時間数（携帯除く）(Q42)	47-
37. 自宅でのインターネット利用日数（携帯除く）(Q43)	48-
38. 自宅でのインターネット利用曜日（携帯除く）(Q44)	49-
39. 自宅でのインターネット利用目的（EC 除く）(Q45)	50-
40. 現在の接続方式（携帯除く）(Q36-1)	51-
41. 将来に希望する接続方式（携帯除く）(Q36-2)	52-
42. 現在のインターネットへの支払い料金（携帯除く）(Q37)	54-
43. 現在のインターネットへの支払い料金への評価（携帯除く）(Q38)	55-
44. 望ましい料金（携帯除く）(Q39)	56-
45. 常時接続インターネットの利用意向(Q40)	58-
46. ブロードバンド化と通信料金(Q41)	60-
47. 不当な料金請求(Q46)	62-
48. 不当な料金請求の内容(Q46-1)	63-

【職場などでは利用するが、自宅では利用しないグループ】

49. 自宅でインターネットをしない理由（職場等では利用）(Q47)	64-
50. 自宅での利用意向(Q48)	66-
51. 自宅での利用予定(Q49)	67-
52. 希望する接続方式(Q49-1)	68-
53. 望ましい料金2 (Q49-2)	69-

【インターネットを利用しないグループ】

54. 利用しない理由(Q50)	—70—
55. 利用するための条件(Q51)	—72—
56. 自宅での利用意向(Q52)	—74—
57. 自宅での利用予定(Q53)	—75—
58. 望ましい料金3(Q53-1)	—76—

電子商取引 **—77—**

59. 電子商取引利用率（仕事除く）(Q55)	—77—
-------------------------	------

【電子商取引を利用したことのないグループ】

60. 利用意向(Q56)	—78—
61. 電子商取引の魅力(Q57)	—79—
62. 電子商取引をためらう理由(Q58)	—81—

【電子商取引経験グループ】

63. 利用回数(Q65)	—84—
64. 平均購入金額(Q66)	—85—
65. 決済方法(Q67)	—86—
66. 将来的な利用意向(Q68)	—87—
67. 今後、利用したくない理由(Q68-1)	—88—
68. 電子商取引の魅力(Q69)	—89—
69. 電子商取引をためらう理由(Q70)	—91—

● セキュリティ **—94—**

【インターネット利用者(携帯インターネット以外)】

70. 違法情報や有害情報の目撃(Q23)	—94—
71. 違法情報への対応(Q24)	—95—
72. 有害情報への対応(Q25)	—96—
73. ウィルス感染メールの受信経験(Q26)	—97—
74. ウィルス感染メールへの防御(Q27)	—98—
75. 迷惑メールの受信経験(Q28)	—99—
76. 迷惑メールへの対応(Q29)	—100—
77. パスワード変更頻度(Q30)	—101—
78. パスワード決定方法(Q31)	—102—
79. セキュリティ意識	—103—

【携帯インターネット利用グループ】(Q15-1 ア～ウ)	—103—
-------------------------------------	-------

【電子商取引を経験したことの無いグループ】(Q59 ア～イ)	106
【電子商取引経験グループ】(Q71 ア～イ)	108
80. セキュリティに対する不安の変化(Q72)	110
81. 免責条項の認知	111
【電子商取引を経験したことの無いグループ】(Q60)	111
【電子商取引経験グループ】(Q73)	112
82. セキュリティに関する知識	113
【電子商取引を経験したことの無いグループ】(Q61 ア～ウ)	113
【電子商取引経験グループ】(Q74 ア～ウ)	116
83. 不正利用などに対する損害負担	119
【電子商取引を経験したことの無いグループ】(Q62)	119
【電子商取引経験グループ】(Q75)	120
84. インターネットでの個人情報入力	121
【電子商取引を経験したことの無いグループ】(Q63)	121
【電子商取引経験グループ】(Q76)	122
85. 個人情報の第三者提供	123
【電子商取引を経験したことの無いグループ】(Q64)	123
【電子商取引経験グループ】(Q77)	124
86. 個人情報保護マークの認知(Q78)	125
87. 個人情報保護マークへの信頼(Q79)	126
88. 不正アクセス法の認知(Q80)	127
89. 不正利用などへの対応(Q81)	128
90. 認証に関する政府の役割(Q82)	129
91. 情報倫理(Q83)	130
● 行政の情報化	131
92. 行政の情報化への期待(Q84)	131
● 学校での情報教育	133
93. 情報教育の必要性(Q85)	133
94. 情報化教育のための公費負担(Q86)	134
● 地域の情報化	135
95. 情報化の地域差の有無(Q87)	135
96. 情報化への公費負担(Q88)	136

イメージ

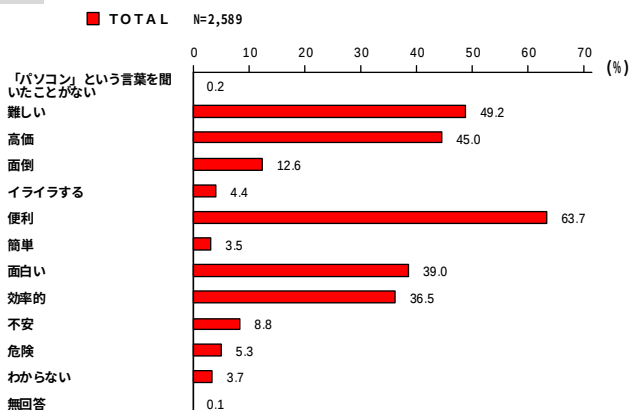
(1)パソコン(Q1)

「便利」が6割強

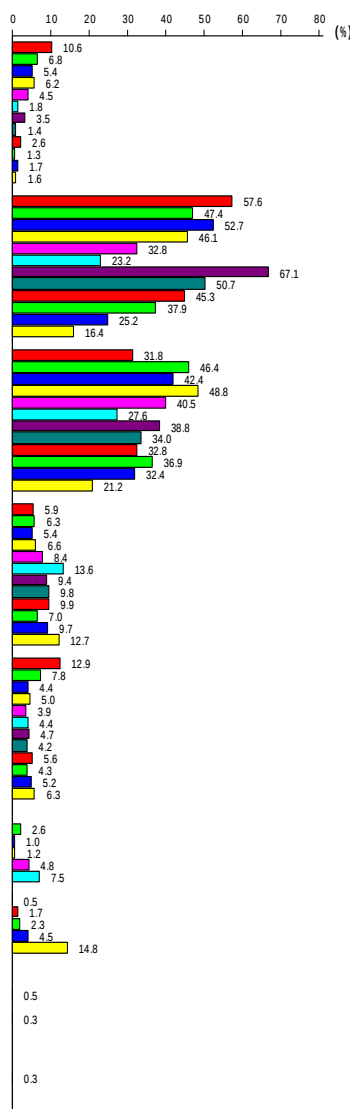
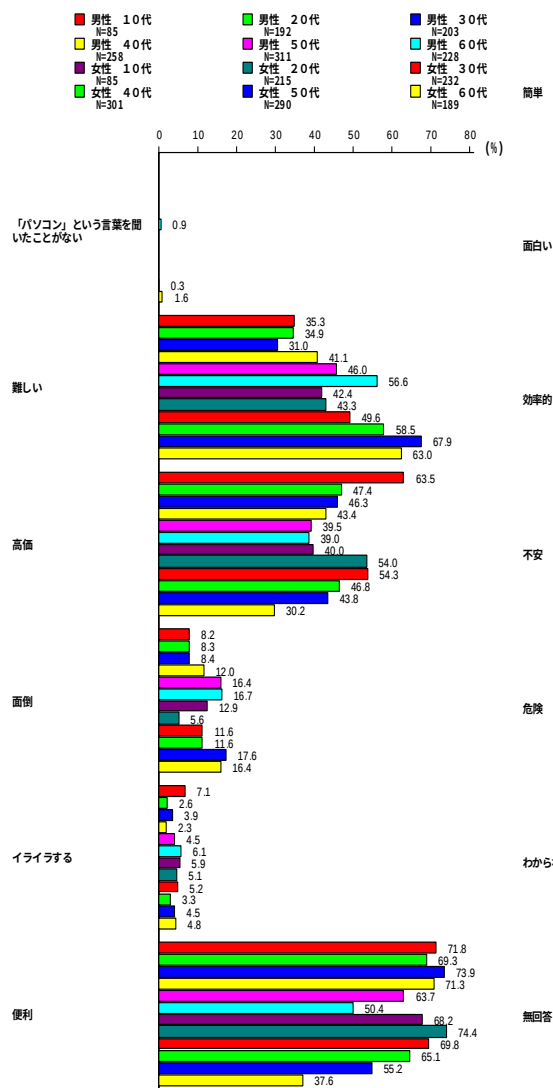
- パソコンに対するイメージで最も多いのは、「便利」で64%、以下、「難しい」49%、「高価」45%、「面白い」39%、「効率的」37%が続いている。
- 「便利」は高年層で少なく若年層で多い。「高価」、「面白い」、「効率的」も同様である。反対に、「難しい」は高年層で多くなっている。パソコンの利用の有無別では、使っている人で「便利」などプラスのイメージをあげる人が多い。

Q.あなたは、「パソコン」に対してどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

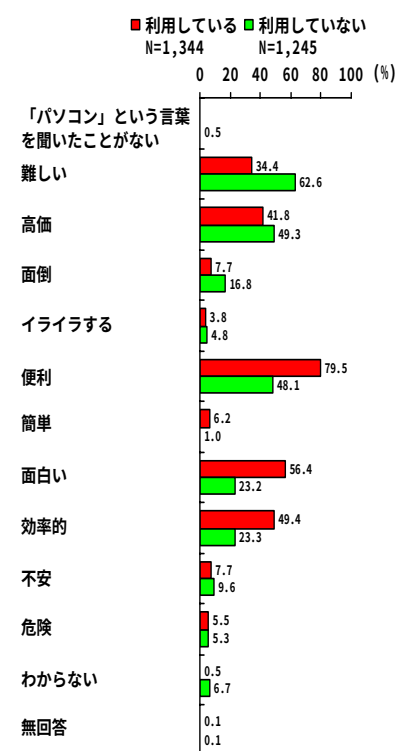
全体



男女別・年齢別



パソコンの利用の有無別



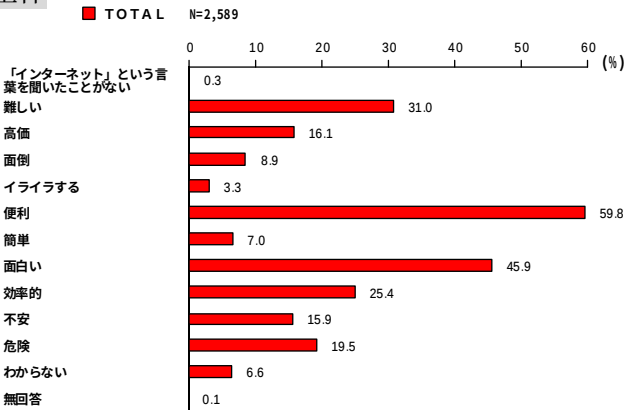
(2) インターネット (Q2)

「便利」が6割

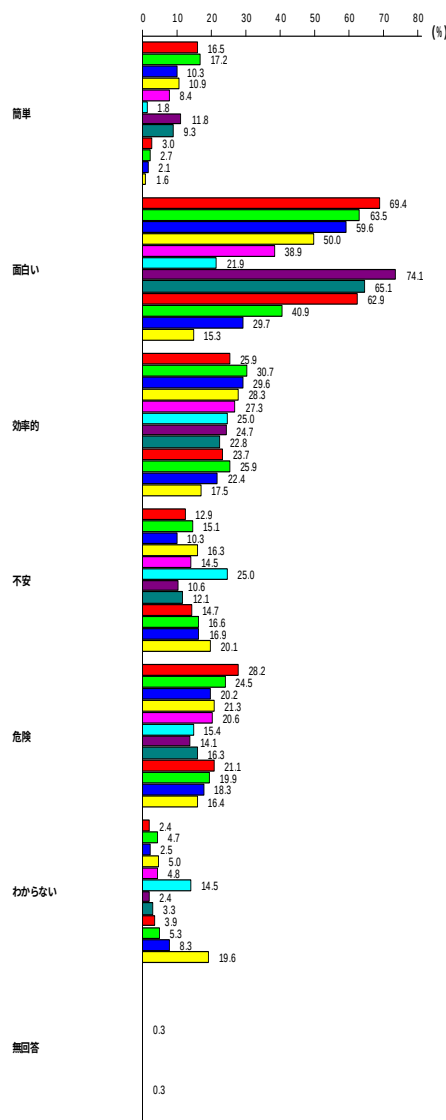
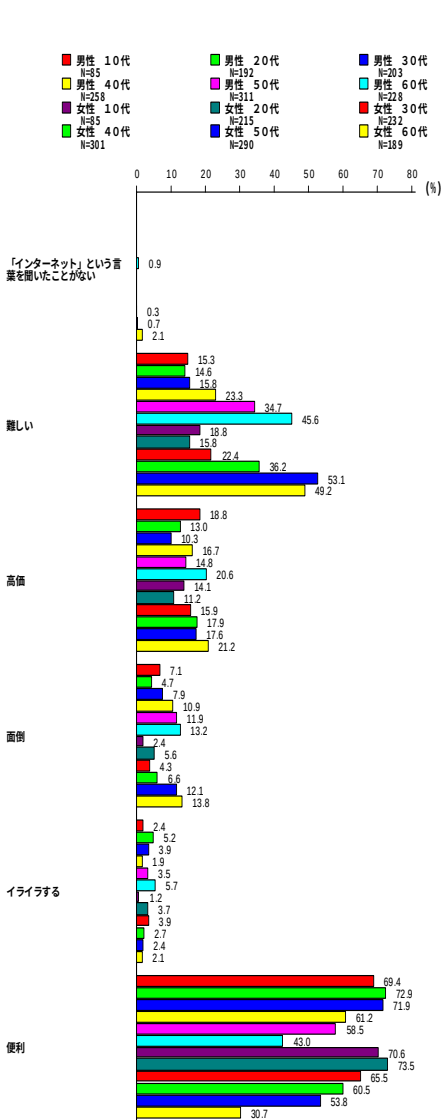
- インターネットに対するイメージで最も多いのは、「便利」で60%、以下、「面白い」46%、「難しい」31%、「効率的」25%が続いている。
- 「便利」、「面白い」、「効率的」は高年層で少なく若年層で多い。反対に、「難しい」、「面倒」は高年層で多くなっている。インターネットの利用の有無別では、利用している人で「便利」、「面白い」が多く、「高価」は携帯によってのみ利用している人で多い。

Q.あなたは、「インターネット」に対してはどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

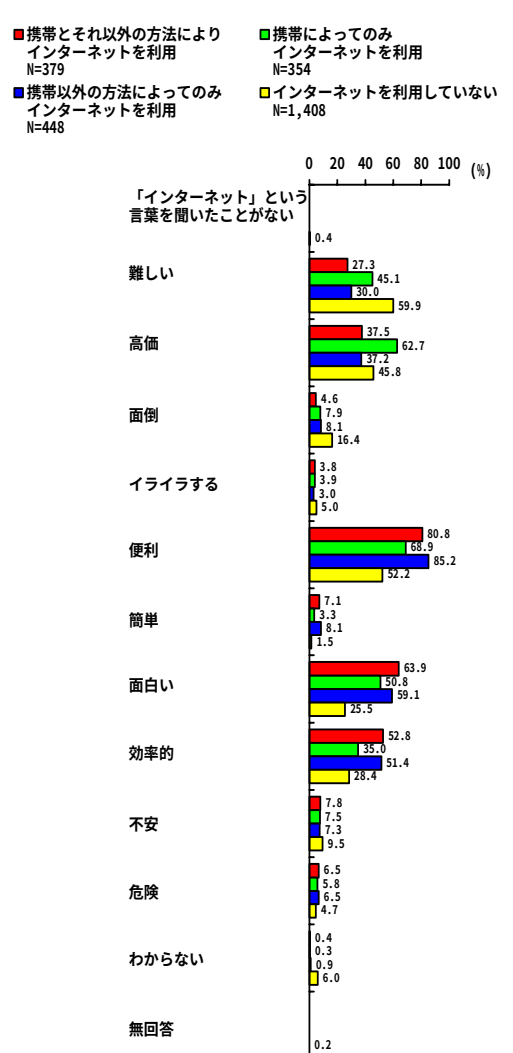
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用の有無別



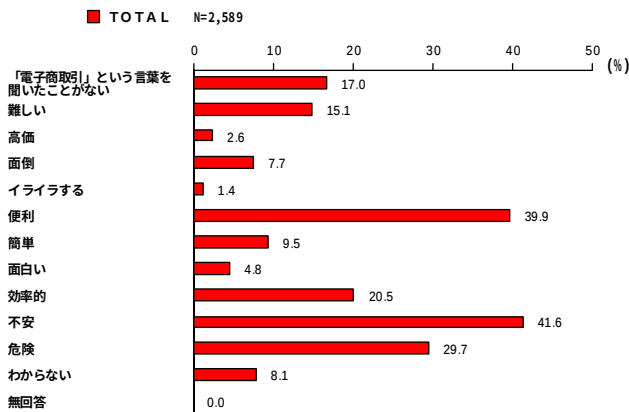
(3)電子商取引(Q54)

「不安」と「便利」が4割

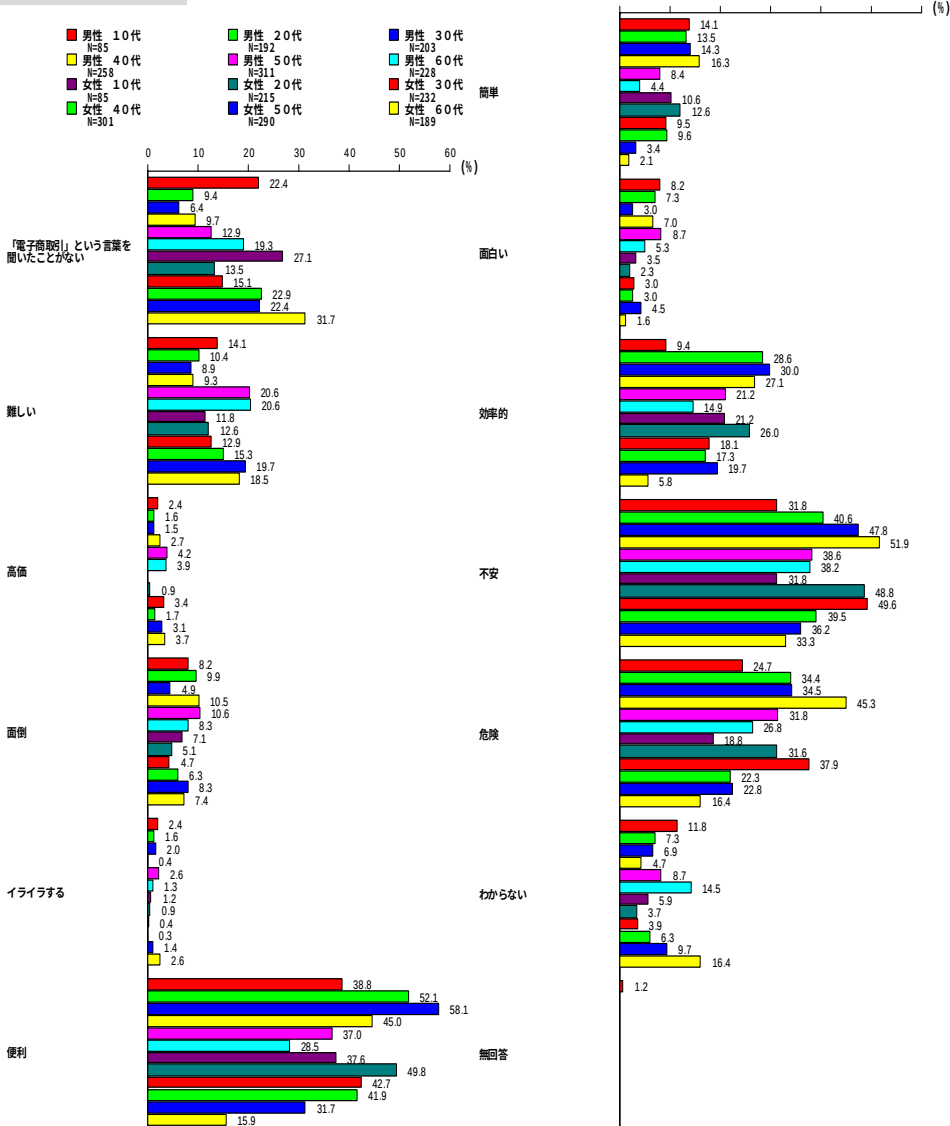
- 電子商取引に対するイメージで最も多いのは、「不安」で42%、次いで「便利」が40%となっている。以下、「危険」30%、「効率的」21%が続いている。
- 上位にあげられた項目は、いずれも20代から40代にかけて多くなっており、プラス、マイナス双方のイメージが混在している。

Q. インターネットを使って、チケットや本などを購入したり、銀行振込したりすることを「電子商取引」といいますが、あなたは、「電子商取引」に対してどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

全体



男女別・年齢別



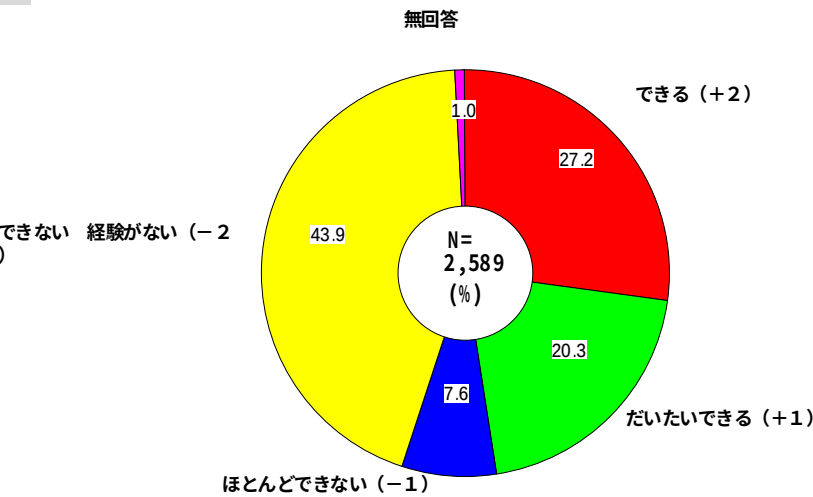
コンピューター・リテラシ
(4)文書作成能力など(Q4 ア)

文書作成が『できる』は半数近く

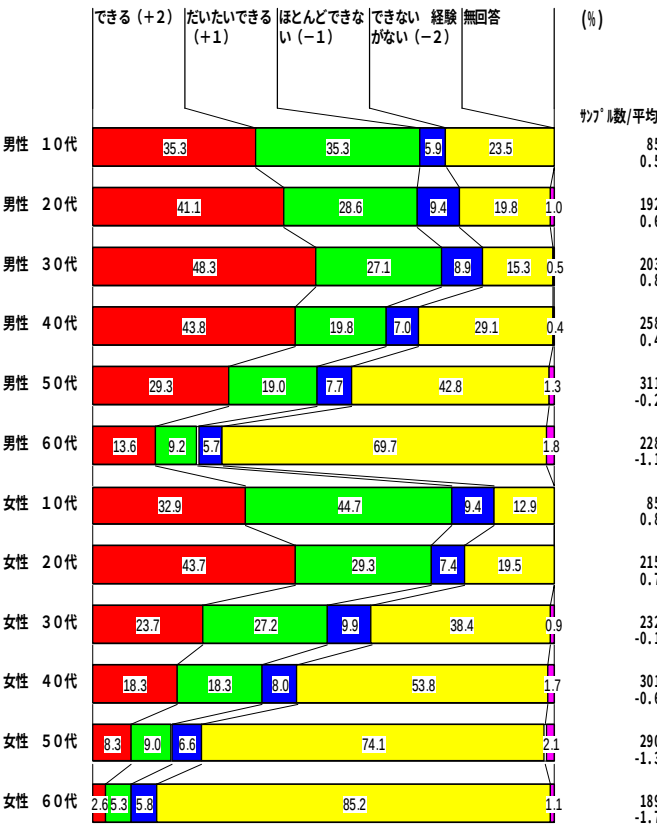
- 文書作成が「できる」人が27%、「だいたいできる」人が20%で、半数近くの人が『できる』と答えている。
- 『できる』人は、男性では30代、女性では10代で最も多く、いずれも年代が上がるにつれて比率が下がる。世帯収入別では、700万円以上の世帯で『できる』人が過半数に及ぶ。

Q. コンピューターを使った次にあげる(ア)～(カ)の作業のうち、あなたができるものはどれですか。(ア)～(カ)それぞれについて、(1)できる、(2)だいたいできる、(3)ほとんどできない、(4)できない／経験がない、でお答え下さい。
(ア) 文書作成

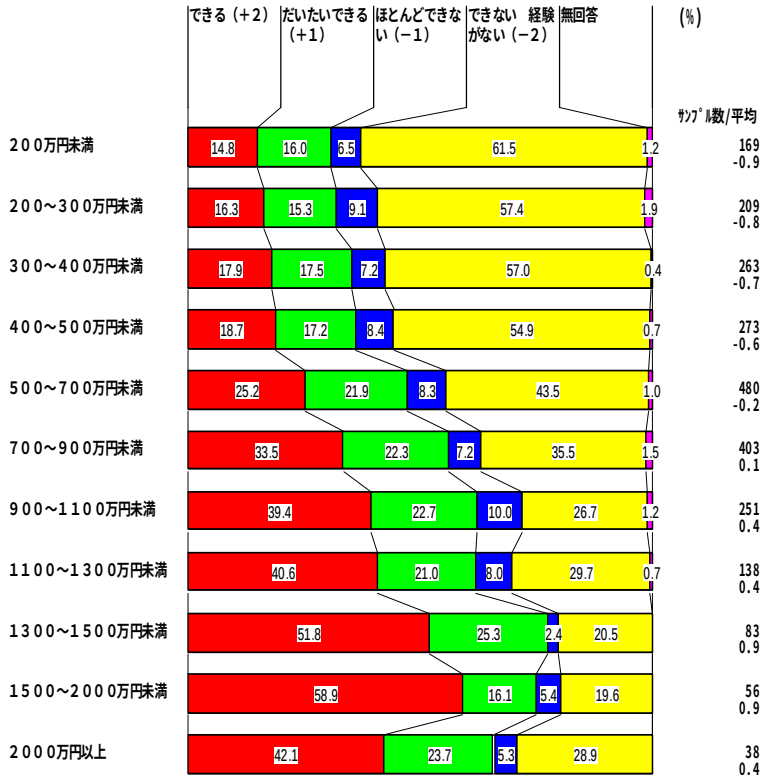
全体



男女別・年齢別



世帯収入別



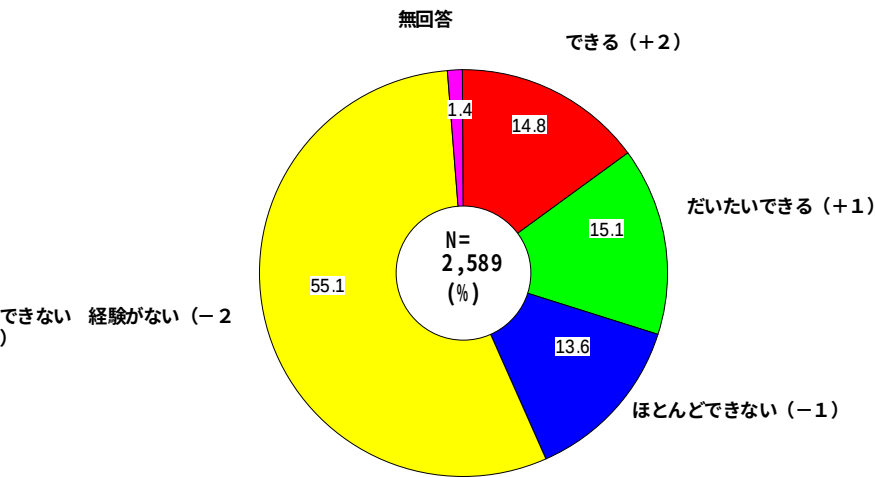
(4) 文書作成能力など(Q4 イ)

表計算が『できる』は3割

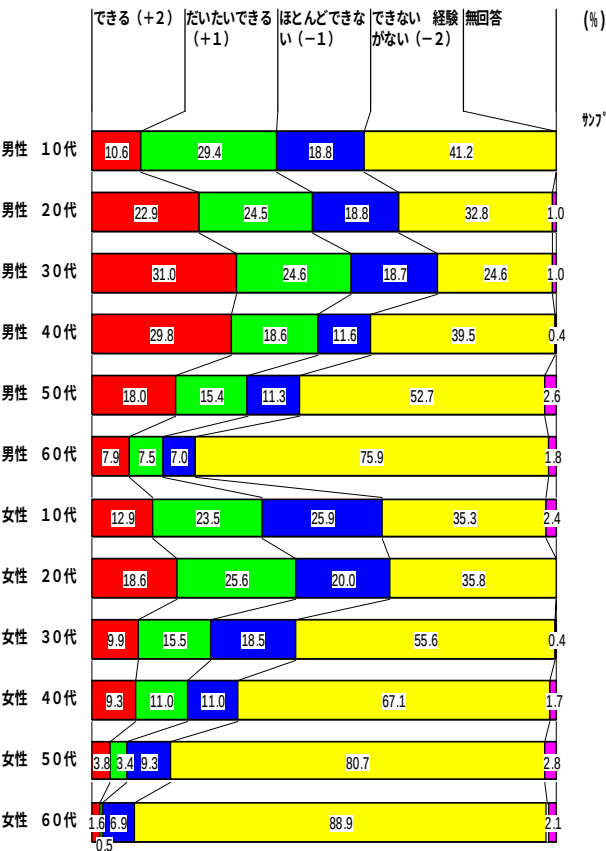
- 表計算が「できる」人が15%、「だいたいできる」人が15%で、3割の人が『できる』と答えている。
- 『できる』人は、男性では30代を中心に10代から40代にかけて多く、女性では20代と10代で多くなっている。世帯収入別では、1300～1500万円未満と1500～2000万円未満の世帯で『できる』人が過半数に及ぶ。

Q. コンピューターを使った次にあげる（ア）～（カ）の作業のうち、あなたができるものはどれですか。（ア）～（カ）それぞれについて、(1)できる、(2)だいたいできる、(3)ほとんどできない、(4)できない／経験がない、でお答え下さい。
(イ) 表計算

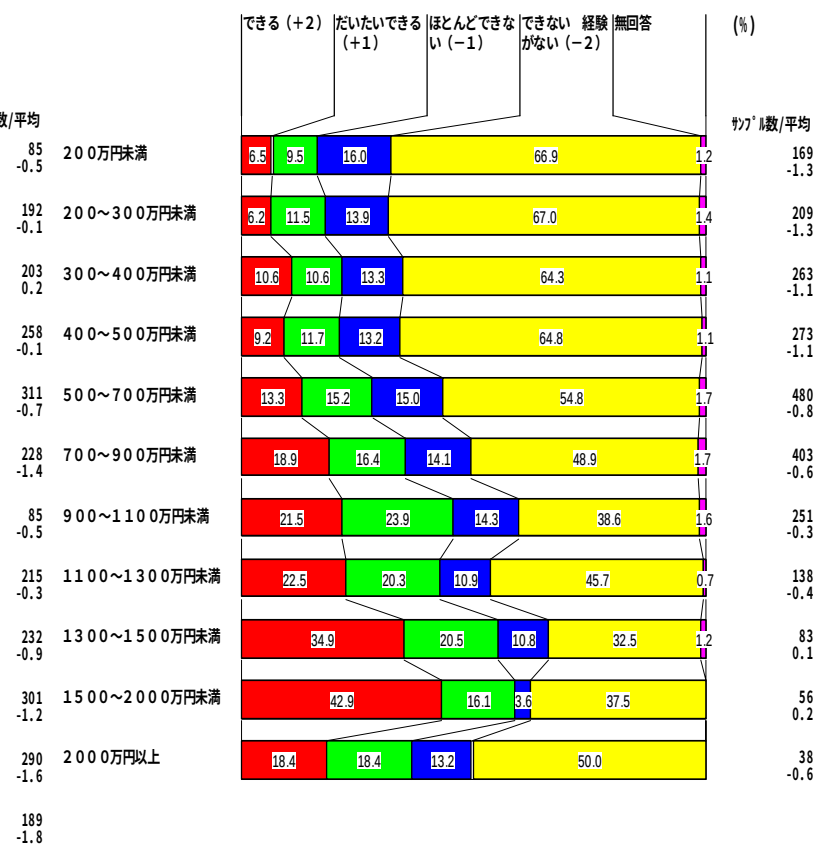
全体



男女別・年齢別



世帯収入別



(4) 文書作成能力など(Q4 ウ)

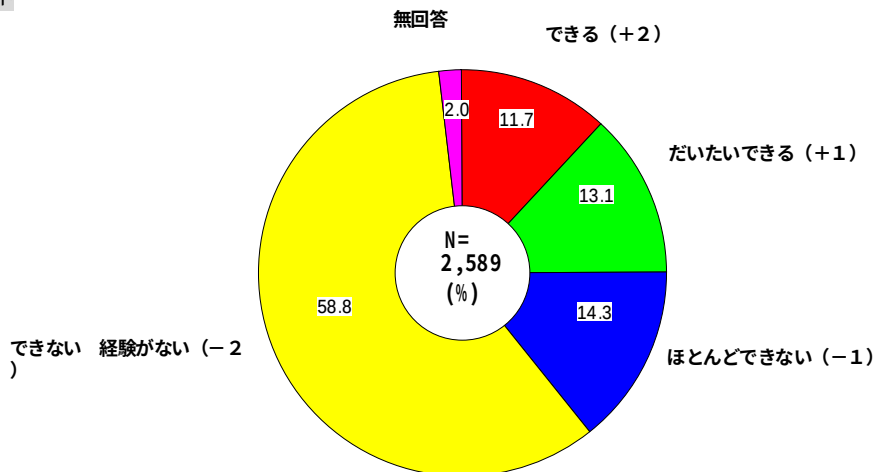
簡単な作図が『できる』は4人に1人

- 簡単な作図が「できる」人が12%、「だいたいできる」人が13%で、4人に1人が『できる』と答えている。
- 『できる』人は、男性では20代から40代にかけて多く、女性では20代と10代で多くなっている。世帯収入別では、1300～1500万円未満と1500～2000万円未満の世帯で『できる』人が多くなっている。

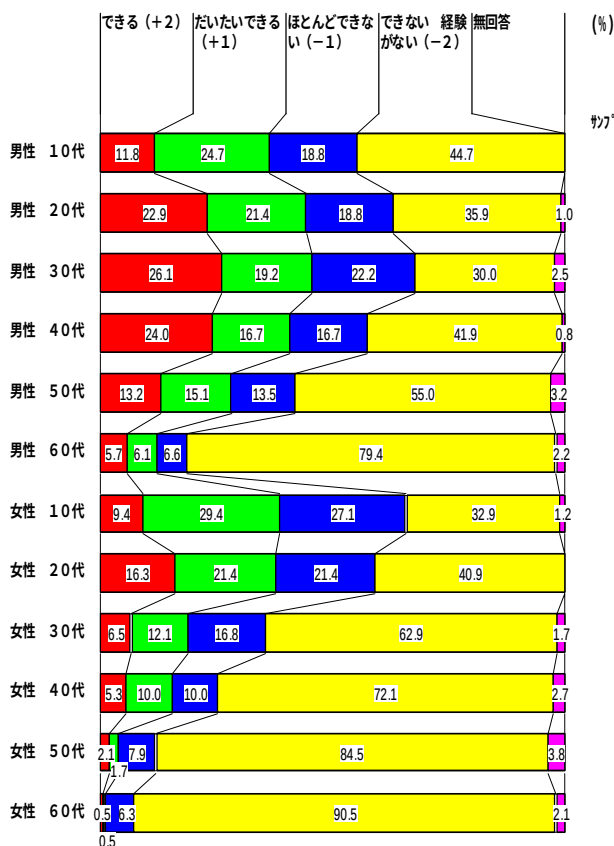
Q. コンピューターを使った次にあげる（ア）～（カ）の作業のうち、あなたができるものはどれですか。（ア）～（カ）それぞれについて、(1)できる、(2)だいたいできる、(3)ほとんどできない、(4)できない／経験がない、でお答え下さい。

（ウ）簡単な作図

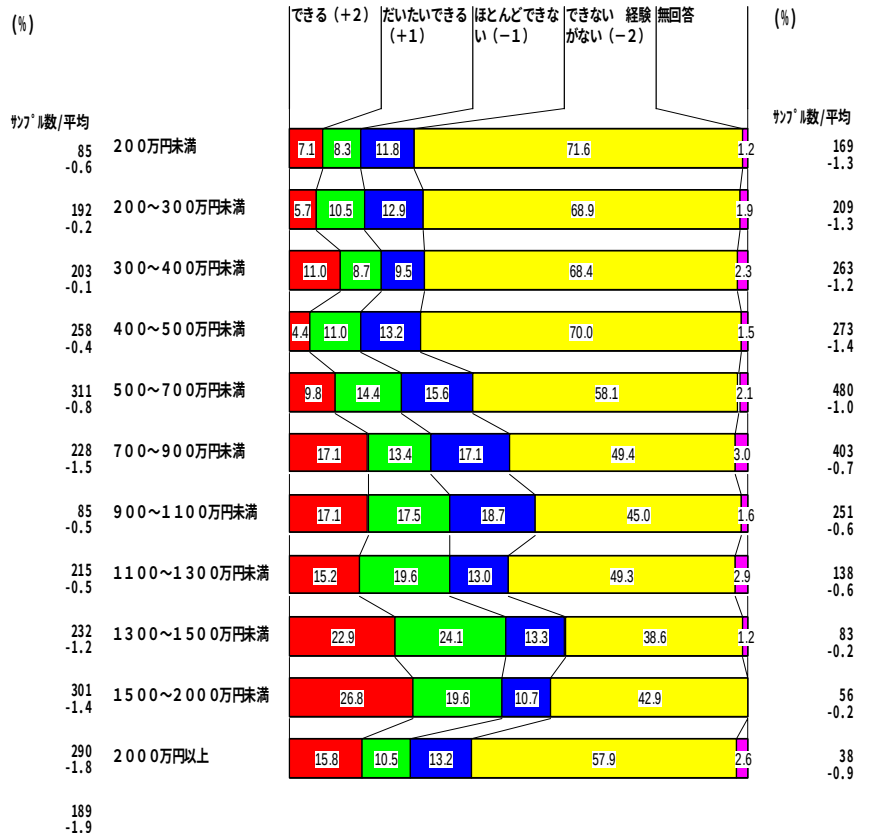
全体



男女別・年齢別



世帯収入別



(4) 文書作成能力など(Q4 エ)

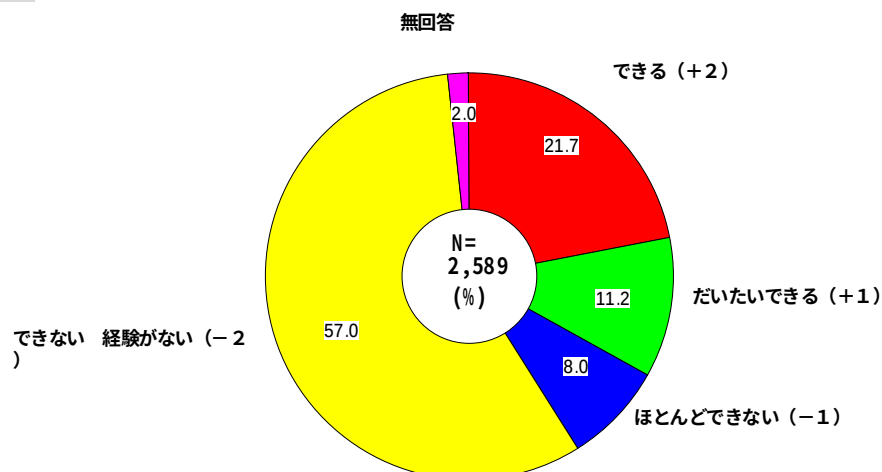
電子メールのやりとりが『できる』は3人に1人

- 電子メールのやりとりが「できる」人が22%、「だいたいできる」人が11%で、3人に1人が『できる』と答えている。
- 『できる』人は、男性では20代と30代、女性では20代で半数を上回る。世帯収入別では、1300～1500万円未満と1500～2000万円未満の世帯で『できる』人が過半数に及ぶ。

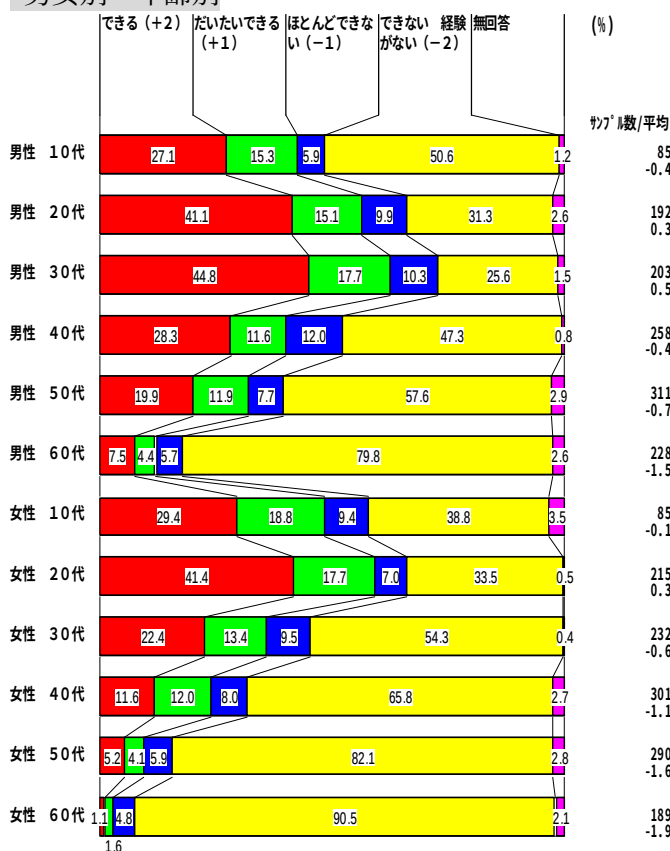
Q. コンピューターを使った次にあげる(ア)～(カ)の作業のうち、あなたができるものはどれですか。(ア)～(カ)それぞれについて、(1)できる、(2)だいたいできる、(3)ほとんどできない、(4)できない／経験がない、で答え下さい。

(エ) 電子メールのやりとり

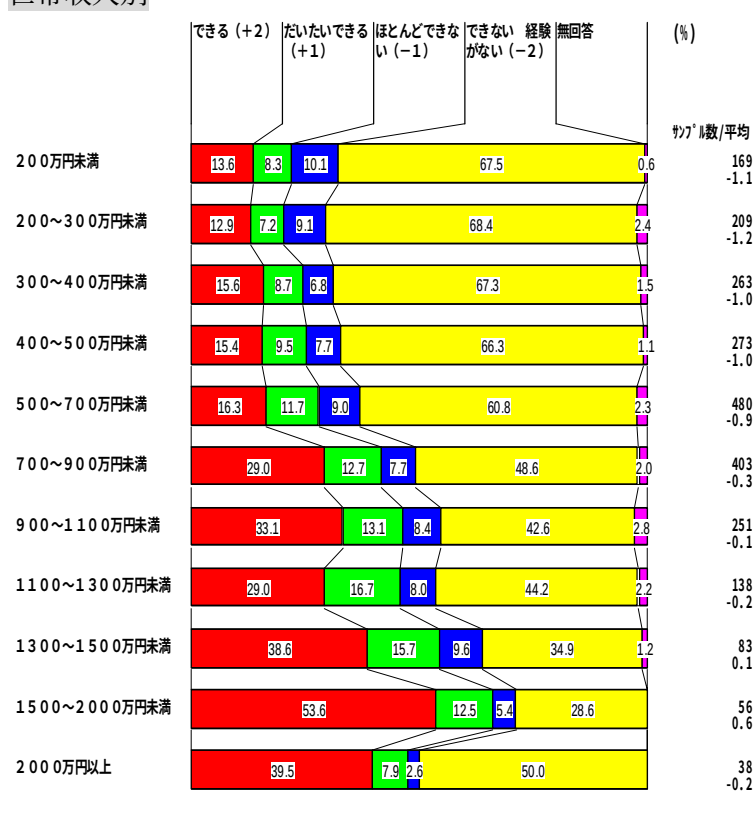
全体



男女別・年齢別



世帯収入別



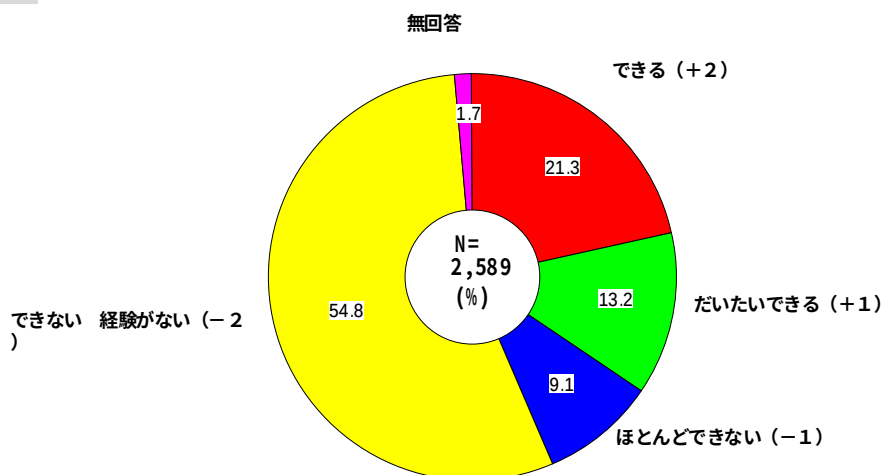
(4) 文書作成能力など(Q4 オ)

インターネットを使った情報検索が『できる』は3人に1人

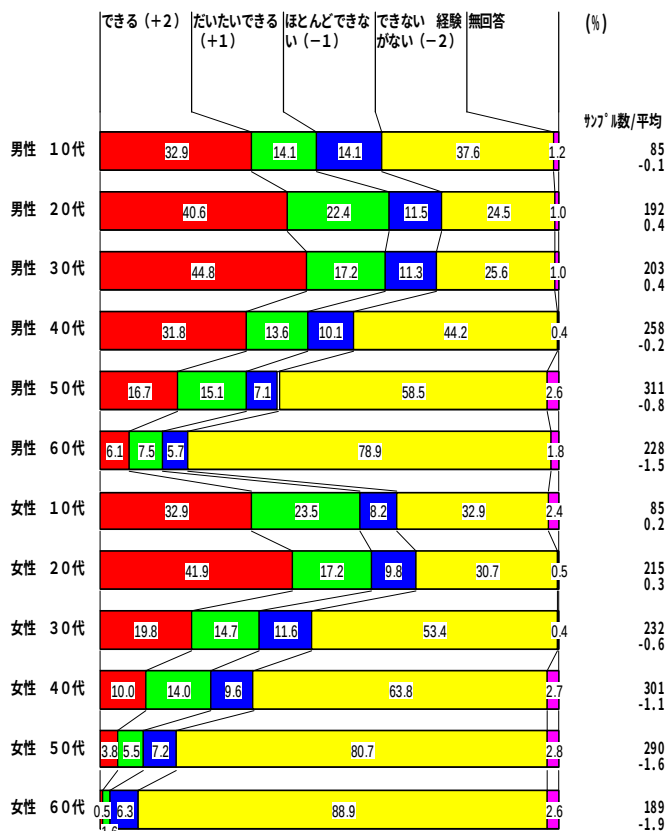
- インターネットを使った情報検索が「できる」人が21%、「だいたいできる」人が13%で、3人に1人が『できる』と答えている。
- 『できる』人は、男性では20代と30代で6割を占め、女性では10代と20代で過半数を占める。世帯収入別では、1500～2000万円未満の世帯で『できる』人が最も多く、収入の低い層よりも高い層で多くなっている。

Q. コンピューターを使った次にあげる（ア）～（カ）の作業のうち、あなたができるものはどれですか。（ア）～（カ）それぞれについて、(1)できる、(2)だいたいできる、(3)ほとんどできない、(4)できない／経験がない、でお答え下さい。
（オ）インターネットを使った情報検索

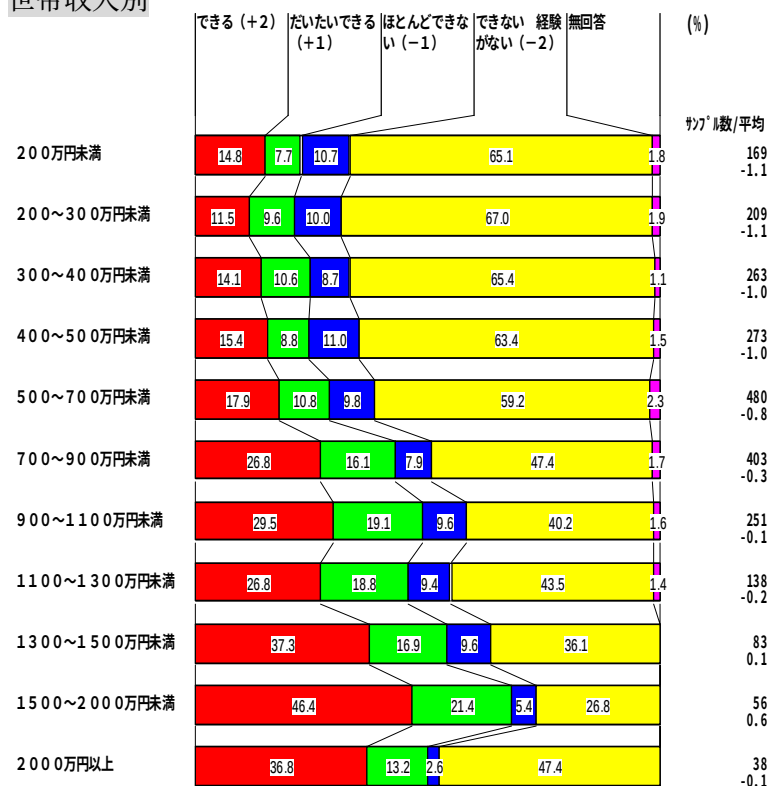
全体



男女別・年齢別



世帯収入別



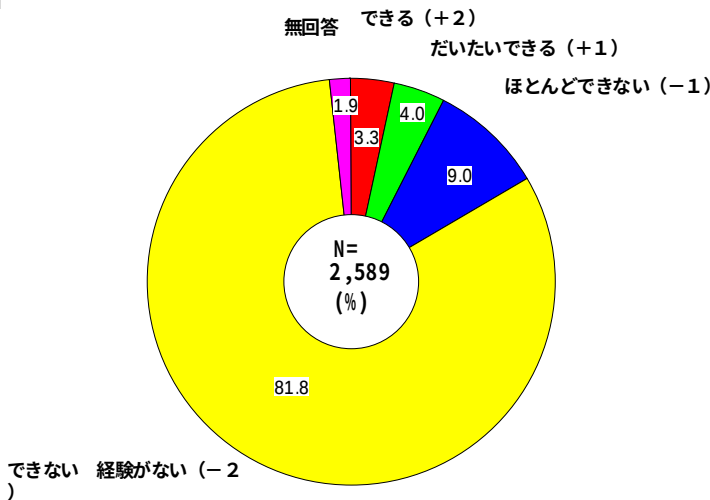
(4) 文書作成能力など(Q4 カ)

ホームページの作成が『できる』は7%

- ホームページの作成が「できる」人が3%、「だいたいできる」人が4%で、『できる』と答えた人は1割に満たない。
- 『できる』人は、男性では20代から40代で、女性では10代と20代で1割を超える。世帯収入別では、1500～2000万円未満の世帯で『できる』人が最も多い。

Q. コンピューターを使った次にあげる（ア）～（カ）の作業のうち、あなたができるものはどれですか。（ア）～（カ）それぞれについて、(1)できる、(2)だいたいできる、(3)ほとんどできない、(4)できない／経験がない、で答え下さい。
（カ）ホームページの作成

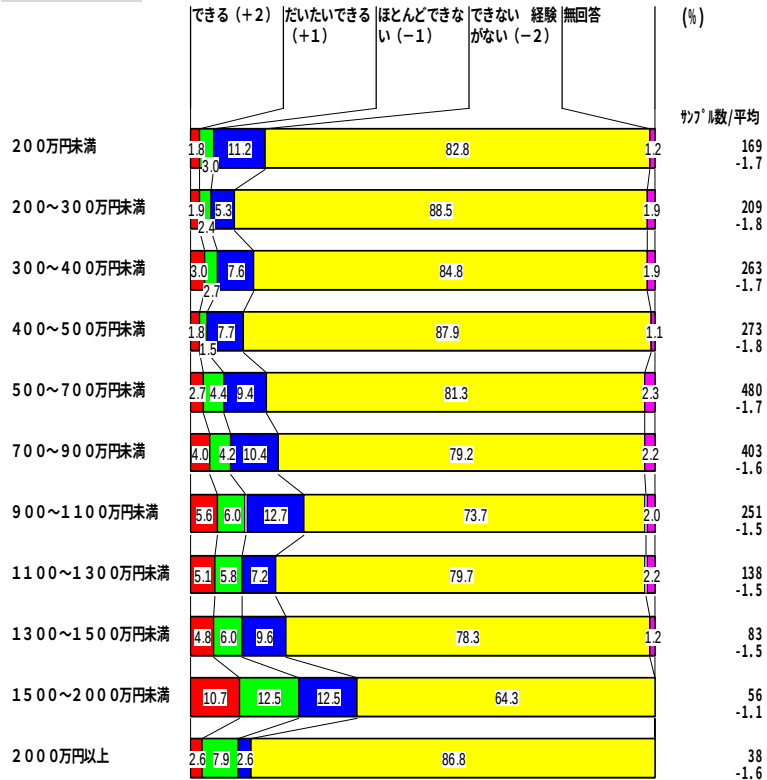
全体



男女別・年齢別



世帯収入別



IT講習会

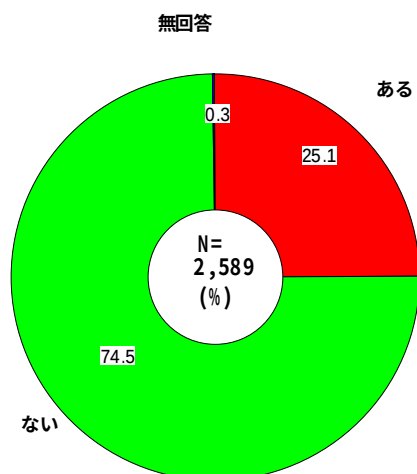
(5)講習参加経験(Q5)

参加経験が「ある」は4人に1人

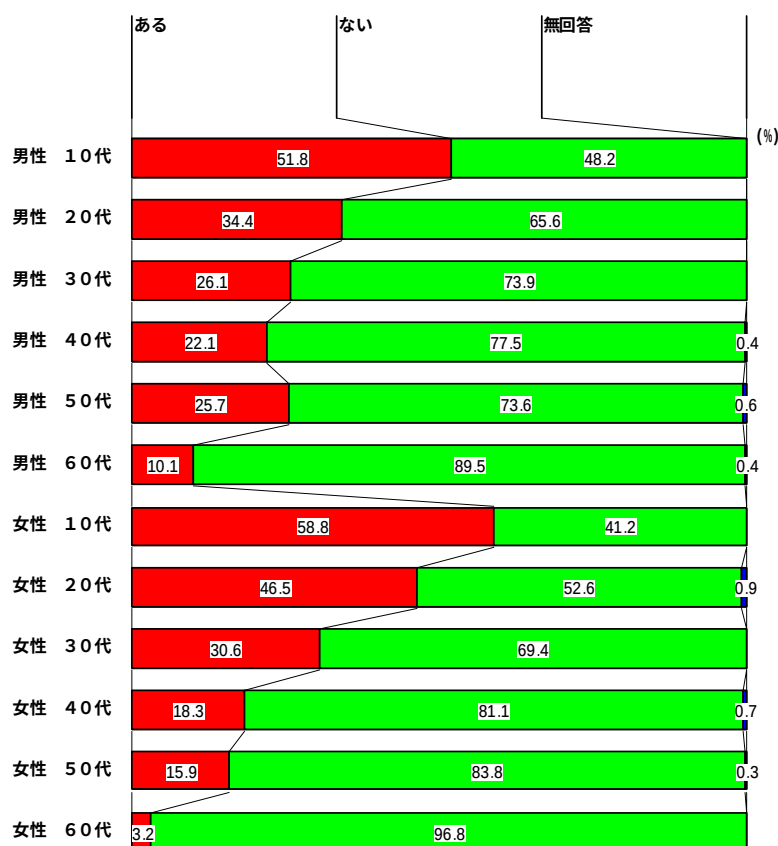
- 講習参加経験が「ある」人が25%である。
- 「ある」人は、男女ともに年齢が低いほど多く、10代では半数を超える。パソコン利用別では利用している層、インターネット利用別では携帯以外の方法によって利用している層で多くなっている。

Q. あなたはこれまでにパソコンやインターネットの使い方についての講習へ参加したことがありますか。(職場や学校での講習を含みます。)

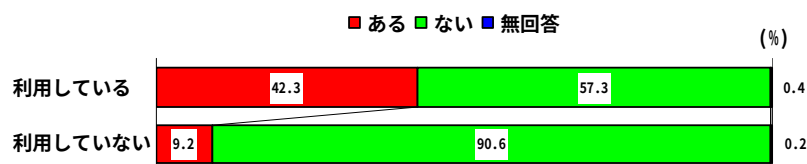
全体



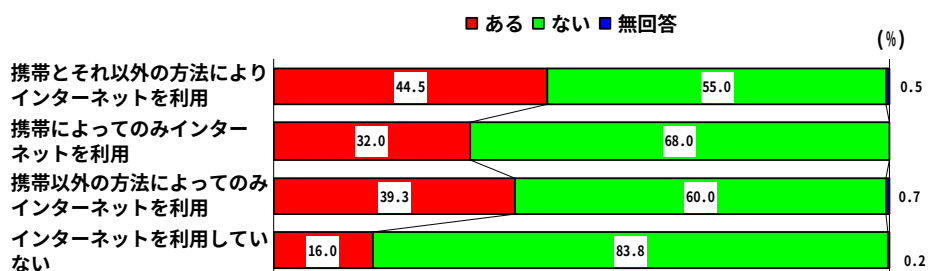
男女別・年齢別



パソコン利用別



インターネット利用別



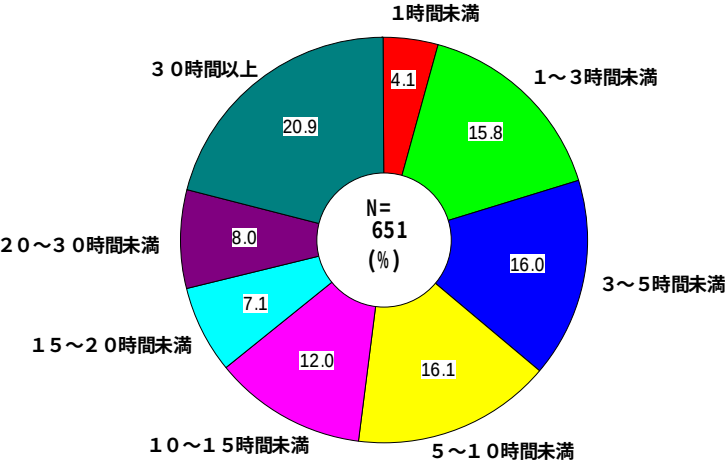
(6)講習参加時間(Q5-1)

「30 時間以上」が2割

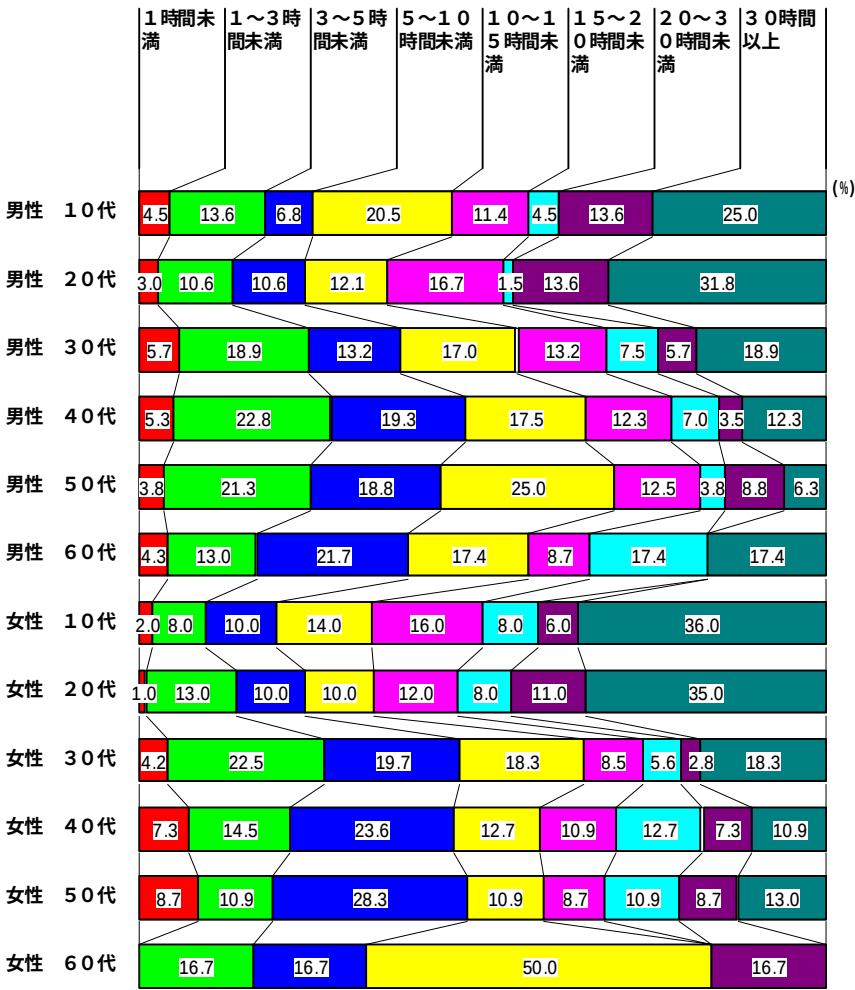
- 講習参加時間は「30 時間以上」が21%で最も多い。次いで、「1～3 時間未満」、「3～5 時間未満」、「5～10 時間未満」が16%となっている。
- 「30 時間以上」は男女ともに10代と20代で多くなっている。30代より上の年代では10 時間未満の短い時間帯に集中している。

Q. 講習に参加したことがある方にお聞きします。
これまで講習に参加した合計時間はどれですか。

全体



男女別・年齢別



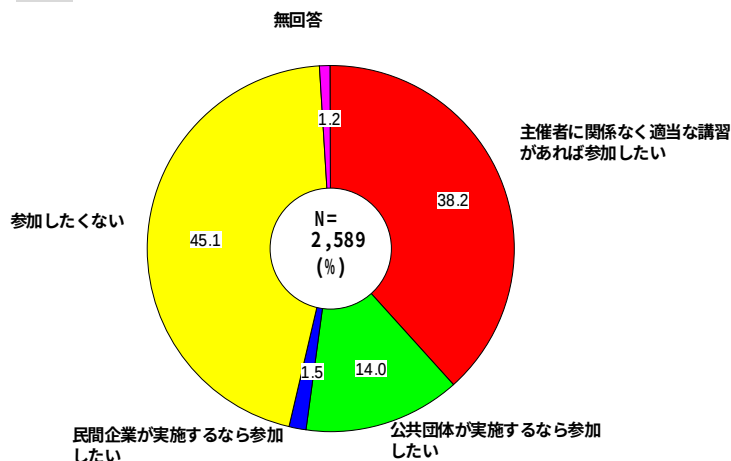
(7) 講習参加希望(Q6)

『参加したい』が半数強

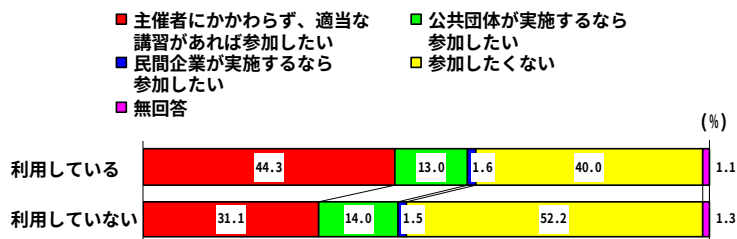
- 講習参加希望は「主催者が公共団体であれ民間企業であれ、適当な講習があれば参加したい」が 38%、「公共団体が実施するなら参加したい」が 14%、「民間企業が実施するなら参加したい」が 2%である。一方、「参加したくない」は 45%である。
- 参加希望は男性では 30 代から 50 代、女性では 20 代から 50 代にかけて多く、パソコンを利用している層、講習会参加経験がある層、自宅でパソコンを利用したい層、インターネットを利用したい層で多くなっている。「公共団体が実施するなら参加したい」は女性の 30 代から 50 代で多い。

Q. あなたは、文書作成など、パソコンやインターネットの基本的な使い方についての講習への参加を希望しますか。

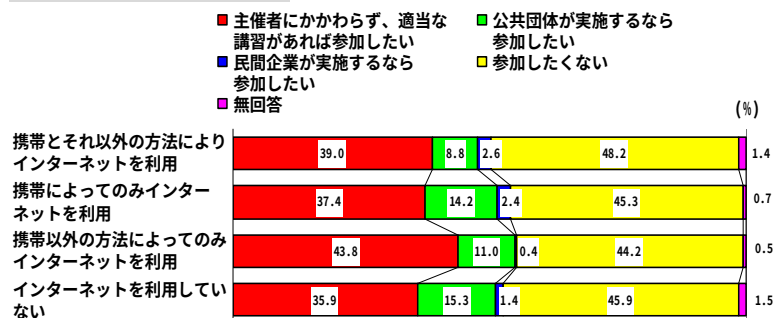
全体



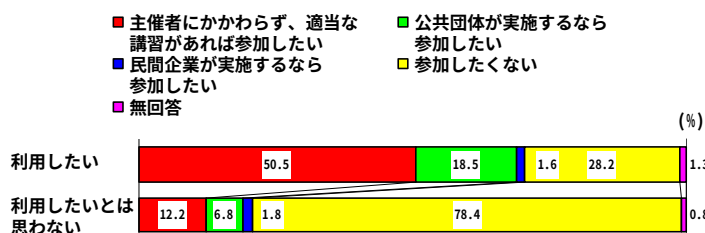
パソコン利用別



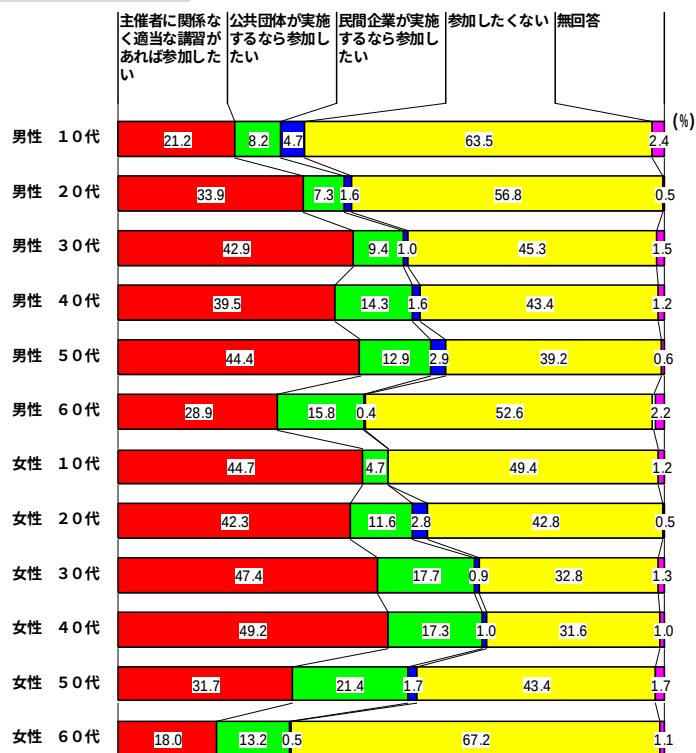
インターネット利用別



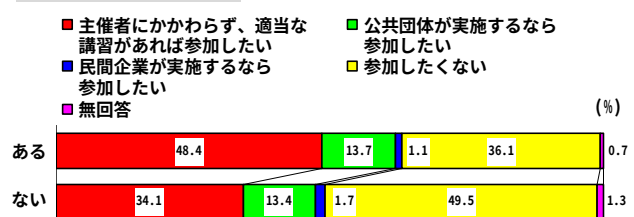
自宅でのパソコン利用意向別



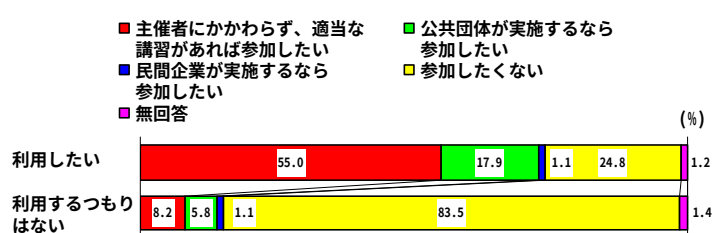
男女別・年齢別



講習会参加経験別



自宅でのインターネット利用意向別



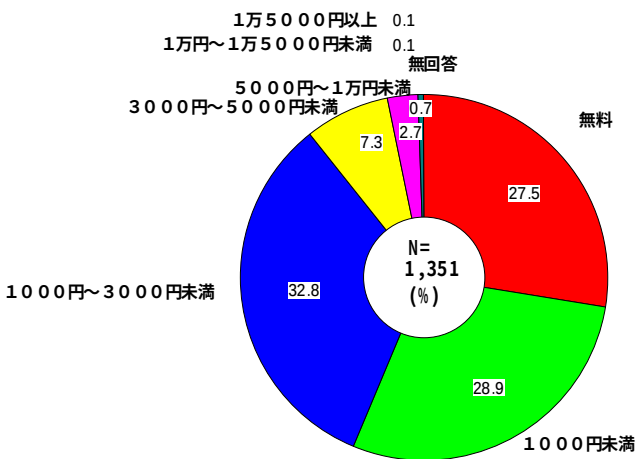
(8)講習の自己負担額(Q6-1)

3000 円未満の金額帯が 9 割

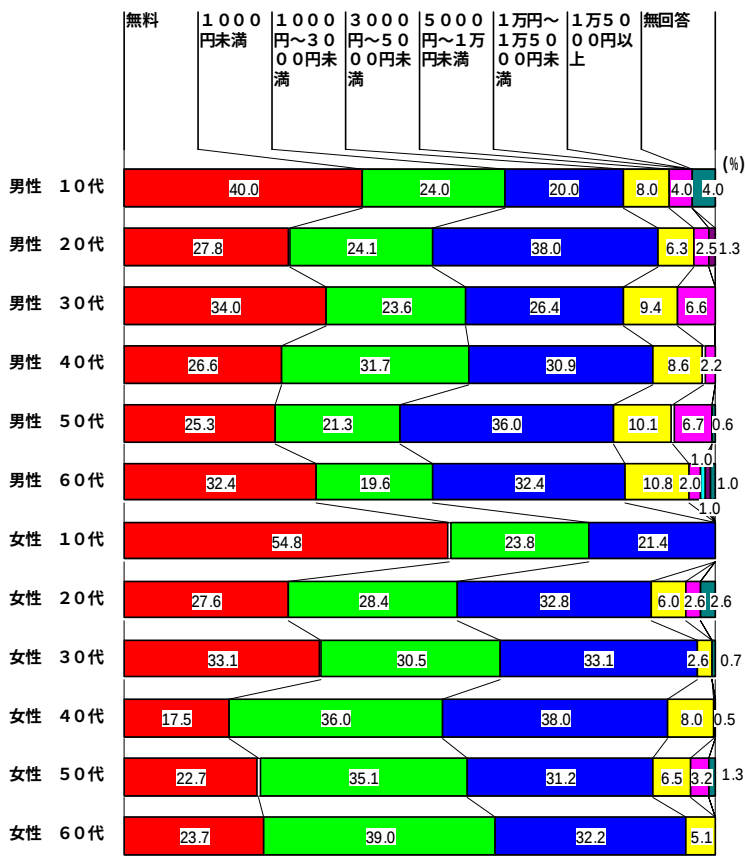
- 講習の自己負担額は「無料」が 28%、「1000 円未満」が 29%、「1000 円～3000 円未満」が 33%である。3000 円未満の金額帯に 9 割が集中し、3000 円以上の金額帯は 1 割程度にとどまる。
- いずれの層でも 3000 円未満の金額帯に集中している。特に女性の 10 代、自宅でパソコンを利用したいとは思わない層で「無料」と答えた人が多い。

Q. 公共団体主催のパソコン講習に参加したい方にお聞きします。
公共団体主催のパソコン講習に参加する際、1 回当たりいくらまで支払ってもよいと思いますか。

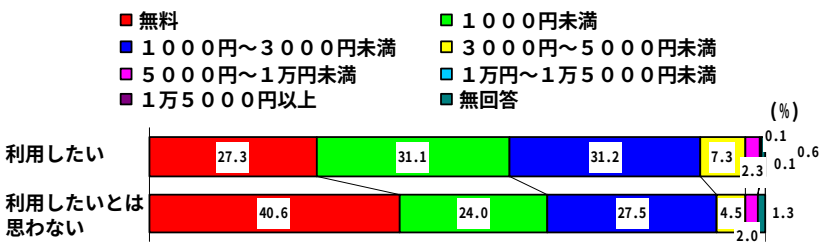
全体



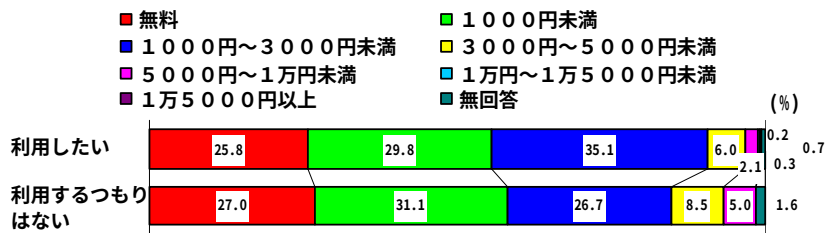
男女別・年齢別



自宅でのパソコン利用意向別



自宅でのインターネット利用意向別



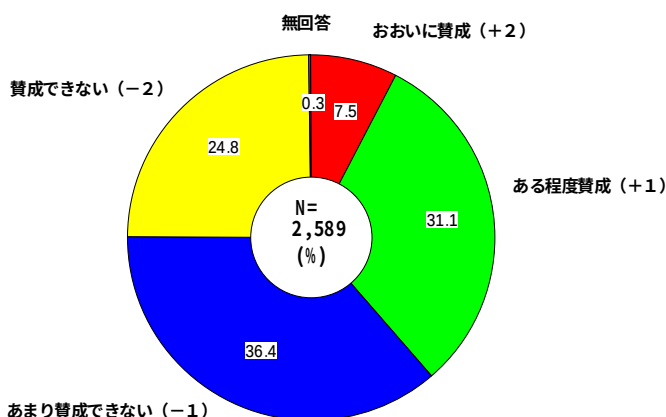
(9)公費負担(Q7)

『賛成できない』が過半数

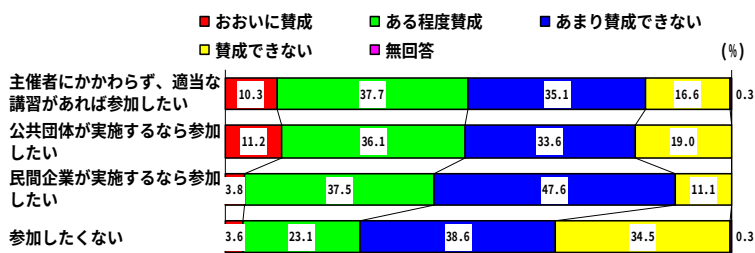
- 講習への公費負担について「あまり賛成できない」が36%と最も多く、「賛成できない」の25%と合わせた『賛成できない』が過半数を占める。
- いずれの層でも『賛成できない』が過半数を占めるが、女性の20代と30代、講習会に参加したくない層、パソコンを利用していない層、携帯によってのみインターネットを利用している層で多くなっている。

Q.「国民全員がパソコンやインターネットを使用できるようにするため、ある程度税金など個人の負担が増加しても公共団体が主催してパソコンの使い方の基礎講習を開催すべき」という考え方がありますが、あなたはごどう思いますか。

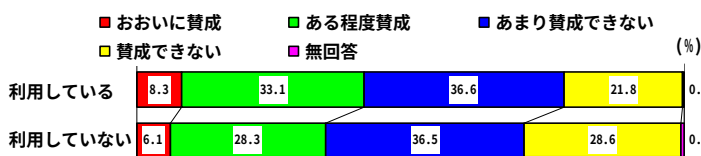
全体



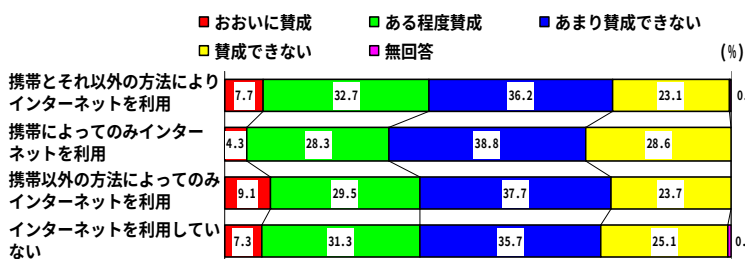
講習会参加希望別



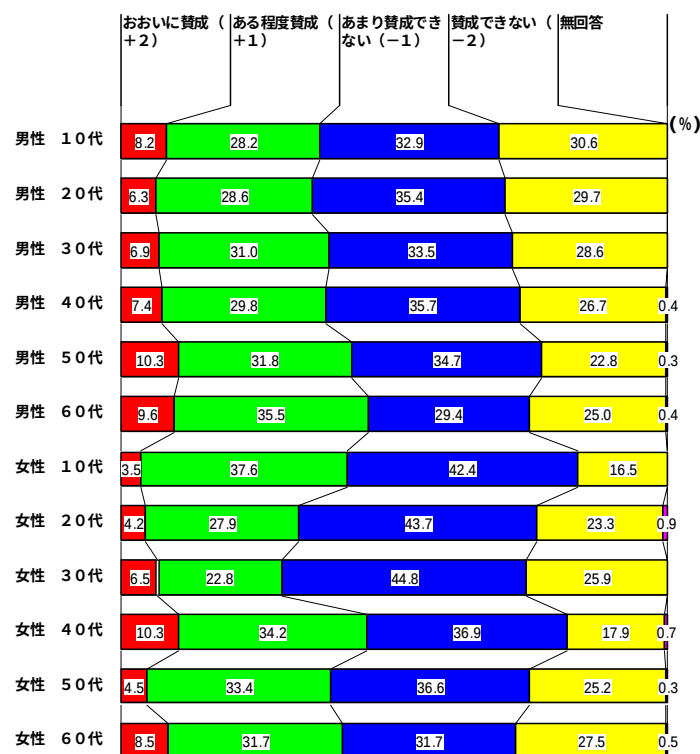
パソコン利用別



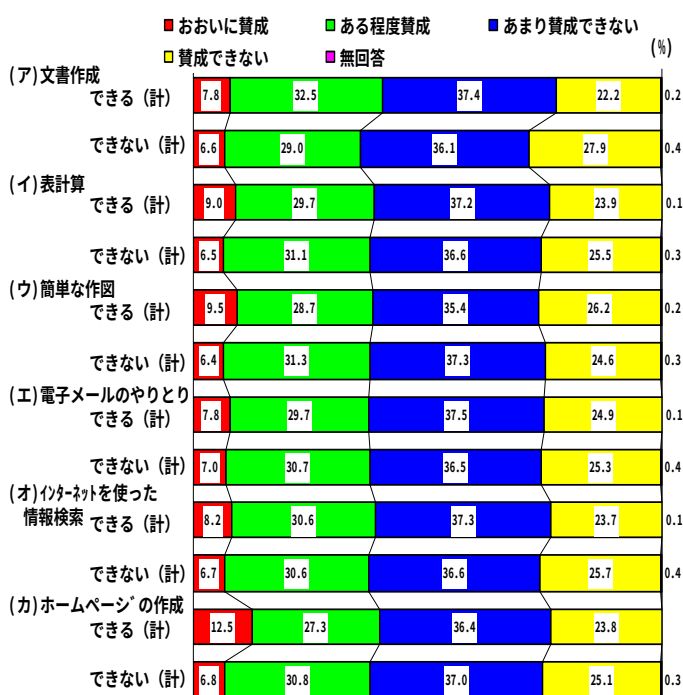
インターネット利用別



男女別・年齢別



コンピューター・リテラシ別



情報環境／利用実態 ～パソコン～

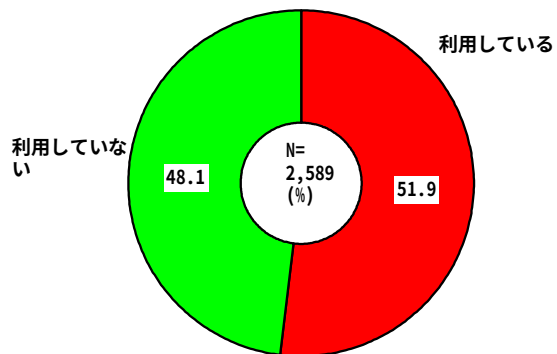
(10)利用率(Q8N)

「利用している」が半数強

●パソコンを「利用している」が52%を占めている。

Q. あなたは自宅、職場／学校等でパソコンをどの程度利用していますか。

全体



(11) 週当たりの利用頻度(Q8)

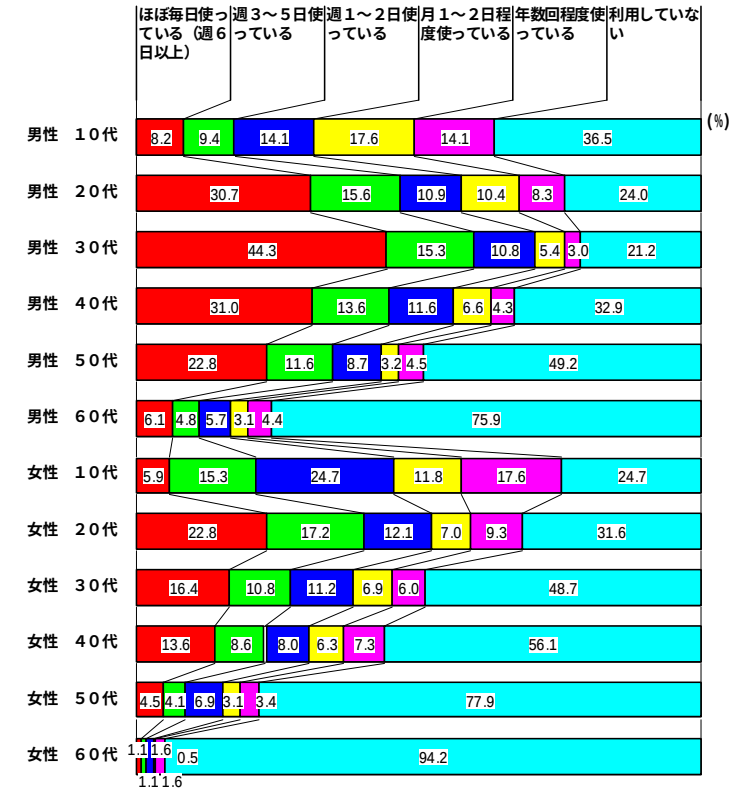
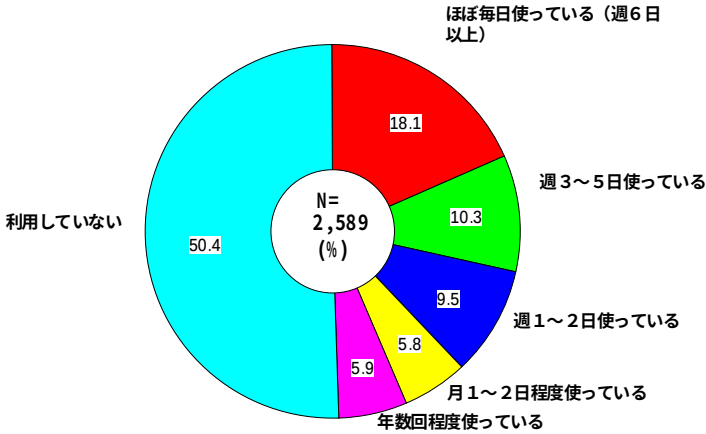
「ほぼ毎日使っている」が18%

- パソコンを「ほぼ毎日使っている」が18%、「週3～5日使っている」、「週1～2日使っている」がそれぞれ10%、「月1～2日程度使っている」と「年数回程度使っている」がそれぞれ6%となっている。
- 「ほぼ毎日使っている」は、男性の30代で多く、次いで男性の20代と40代でも多くなっている。利用頻度が高いのは、職業別では、収入の伴う仕事をしている層、該当する仕事では正社員や派遣社員、職種では経営・管理職、専門・技術職、事務職である。

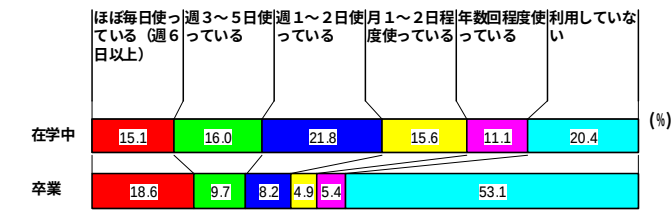
Q. あなたは自宅、職場／学校等でパソコンをどの程度利用していますか。

全体

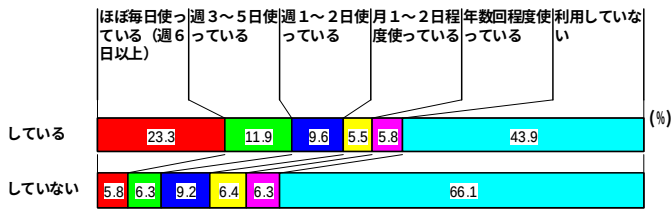
男女別・年齢別



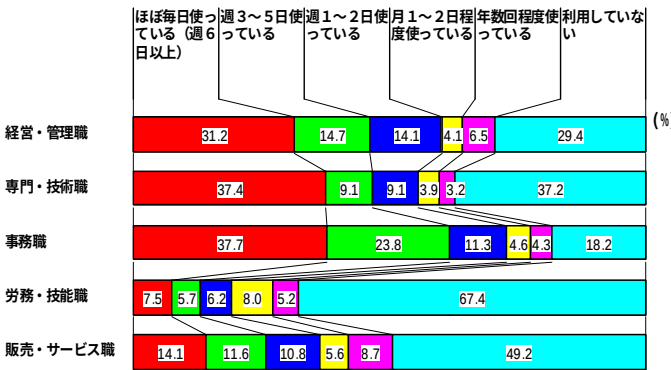
在学別



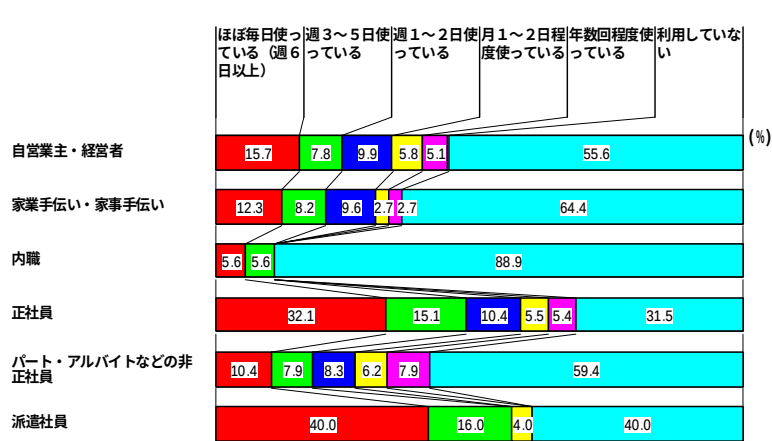
職業別 (収入の伴う仕事)



職業別 (職種)



職業別 (該当する仕事)



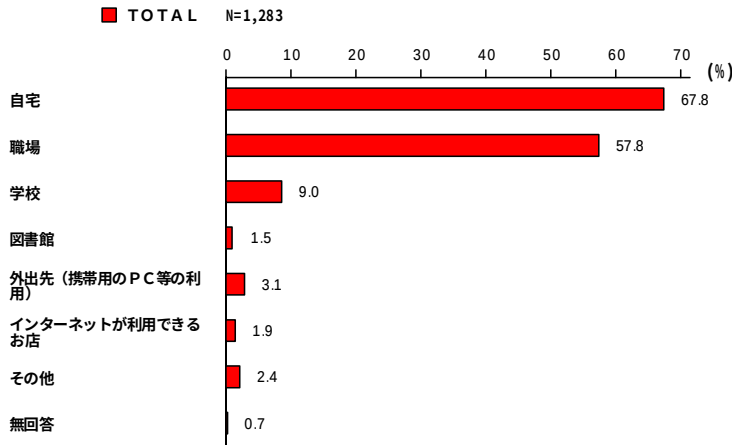
(12)利用場所(Q8-1)

「自宅」が68%、「職場」が58%

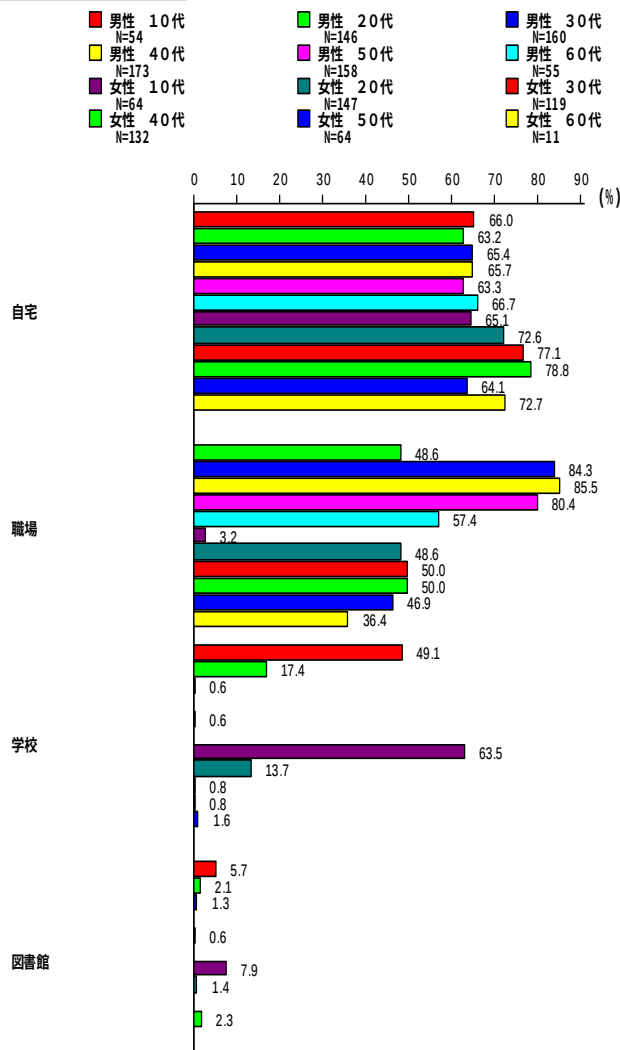
- 利用場所は「自宅」が68%で最も多く、次いで「職場」が58%、以下、大きく比率が下がり「学校」が9%、「外出先」が3%となっている。
- 男性の20代から40代では「職場」が8割を超え、「自宅」よりも多くなっている。「学校」は男女ともに10代が多い。週あたりの利用頻度別では、「職場」と答えた人は利用頻度と比例している。

Q. パソコン利用している人についてお聞きます。
あなたは、どこでパソコンを利用していますか。(○はいくつでも)

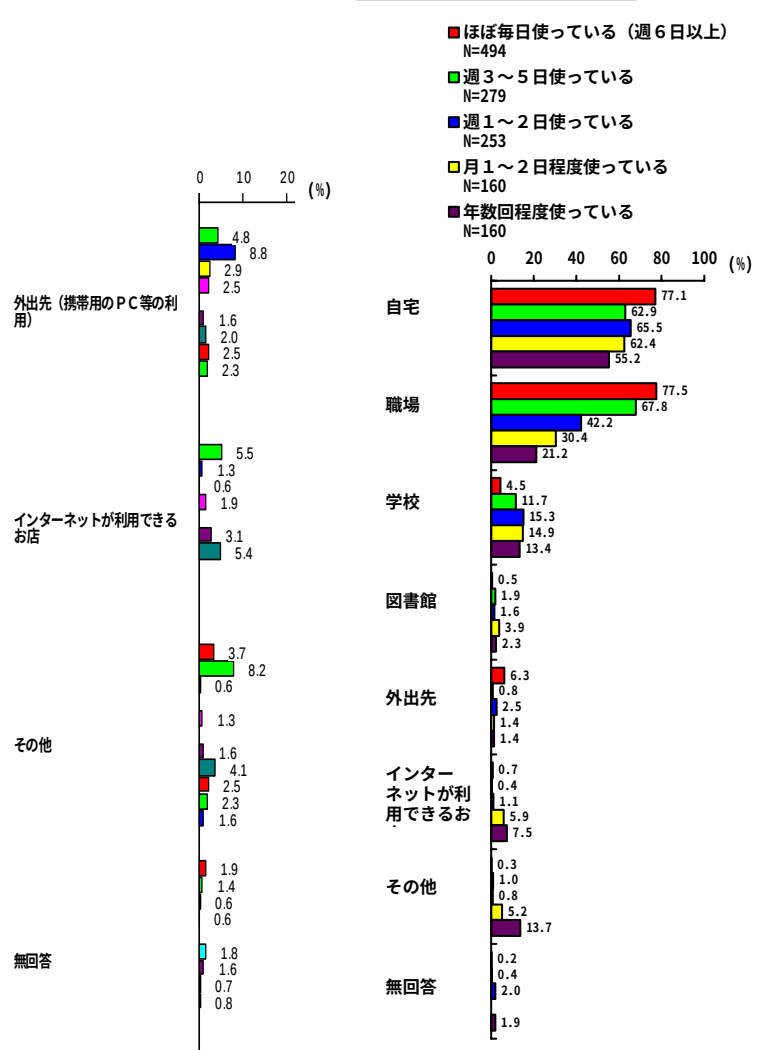
全体



男女別・年齢別



週あたりの利用頻度別



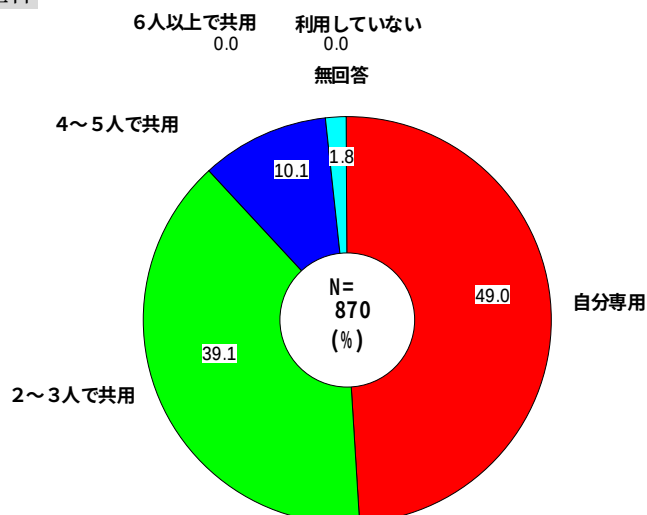
(13)利用環境(Q8-2：自宅)

「自分専用」が49%

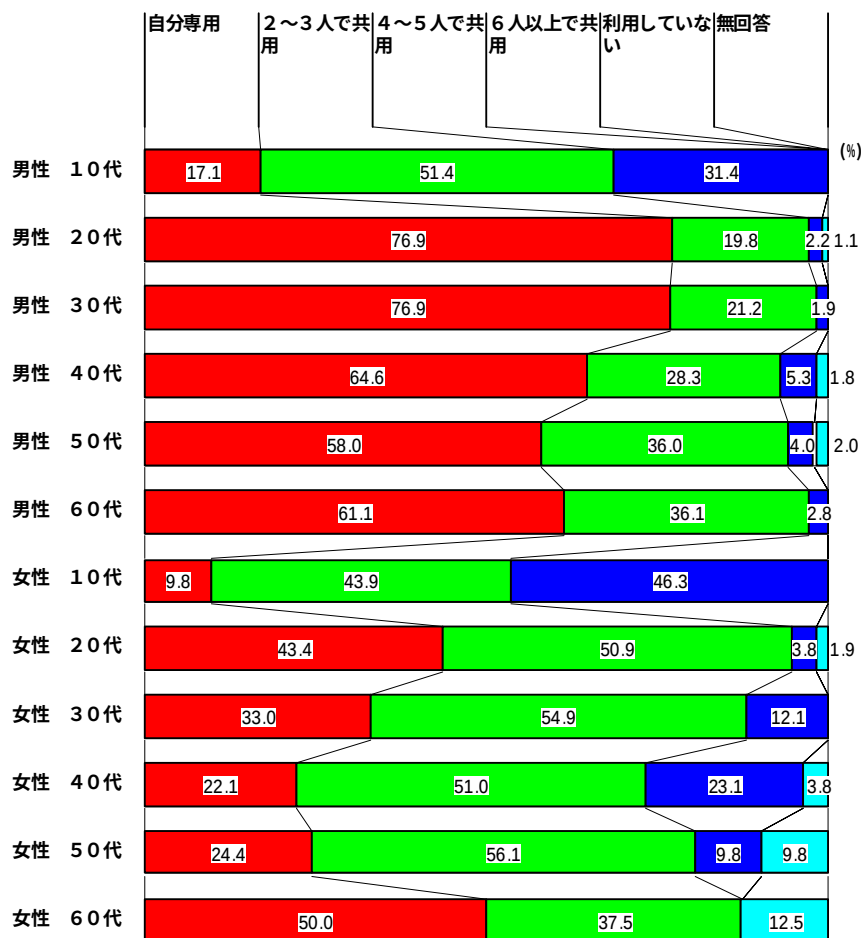
- 自宅での利用環境は「自分専用」が49%で最も多く、次いで「2～3人で共用」が39%となっている。
- 「自分専用」は女性よりも男性で多く、特に男性の20代と30代では4人に3人の割合となっている。女性では20代から50代にかけて「2～3人で共用」が半数を超える。「自分専用」は60代と20代を除いて少数派である。

Q. 自宅もしくは職場でパソコン利用している人についてお聞きます。自分専用のパソコンを利用していますか。(ア) 自宅、(イ) 職場それぞれについてお答えください。
(ア) 自宅ではどうでしょうか (○は1つ)

全体



男女別・年齢別



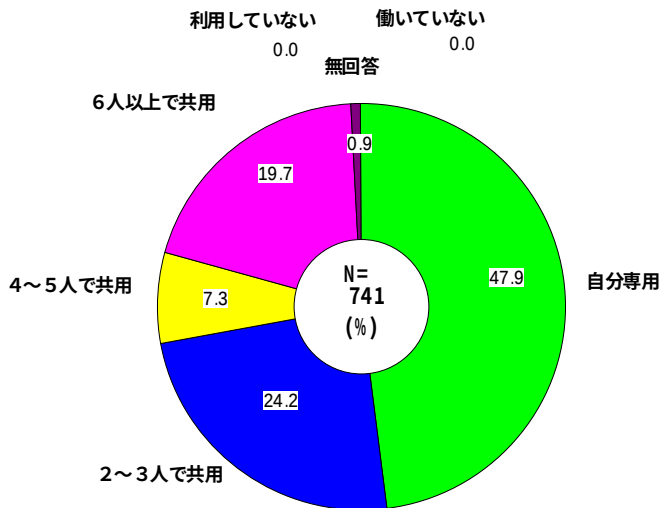
(14)利用環境(Q8-2：職場)

「自分専用」が48%

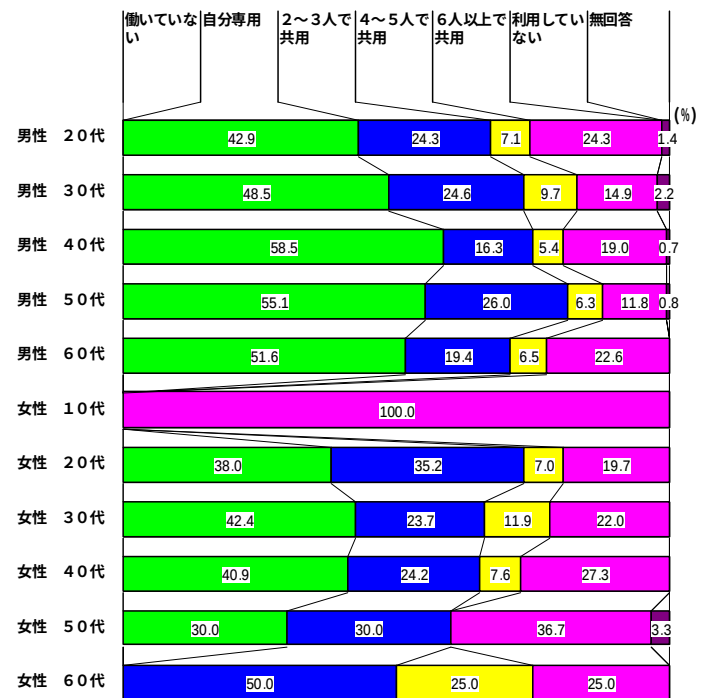
- 職場での利用環境は「自分専用」が48%で最も多く、次いで「2～3人で共用」が24%、「6人以上で共用」が20%となっている。
- 「自分専用」は女性よりも男性で多く、特に男性の40代より上の年代では半数強を占める。職業別では、該当する仕事のうち、パート・アルバイトなどの非正社員、職種では労務・技能職と販売・サービス職で「自分専用」が少なく、複数での共用が多くなっている。

Q. 自宅もしくは職場でパソコン利用している人についてお聞きます。自分専用のパソコンを利用していますか。(ア) 自宅、(イ) 職場それぞれについてお答えください。
(イ) 職場ではどうでしょうか (○は1つ)

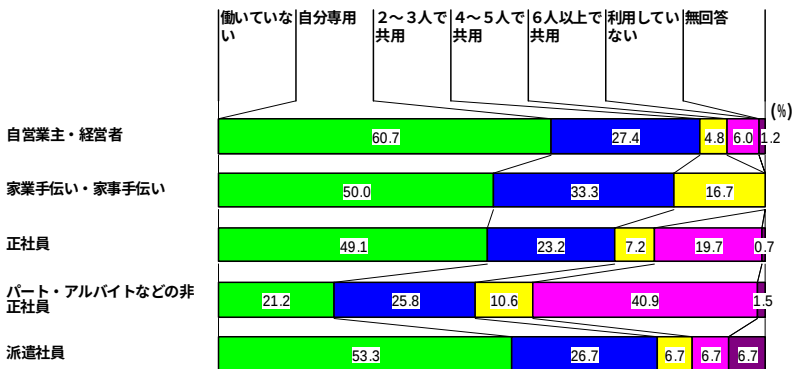
全体



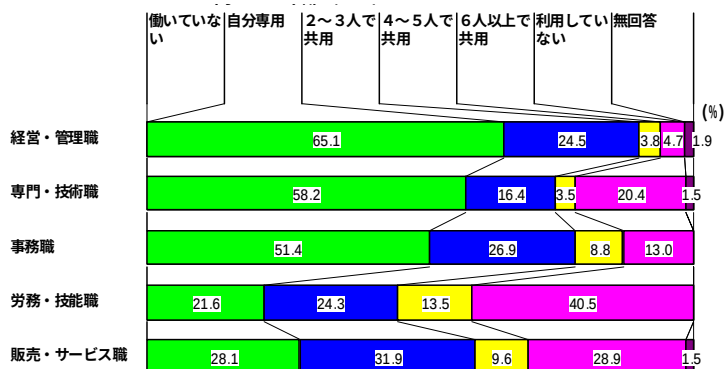
男女別・年齢別



職業別 (該当する仕事)



職業別 (職種)



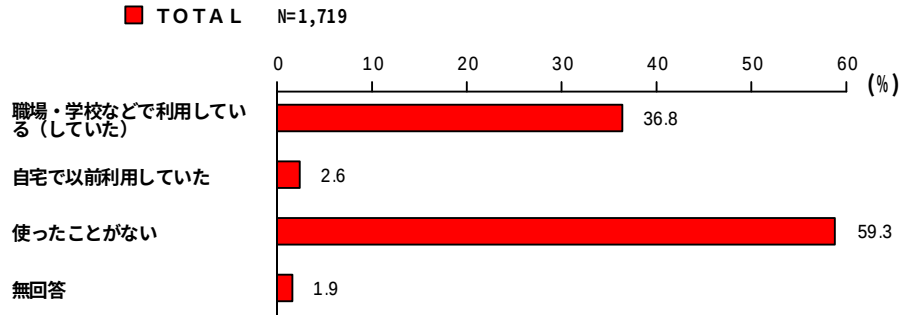
(15)パソコン利用経験(Q9)

「使ったことがない」が6割

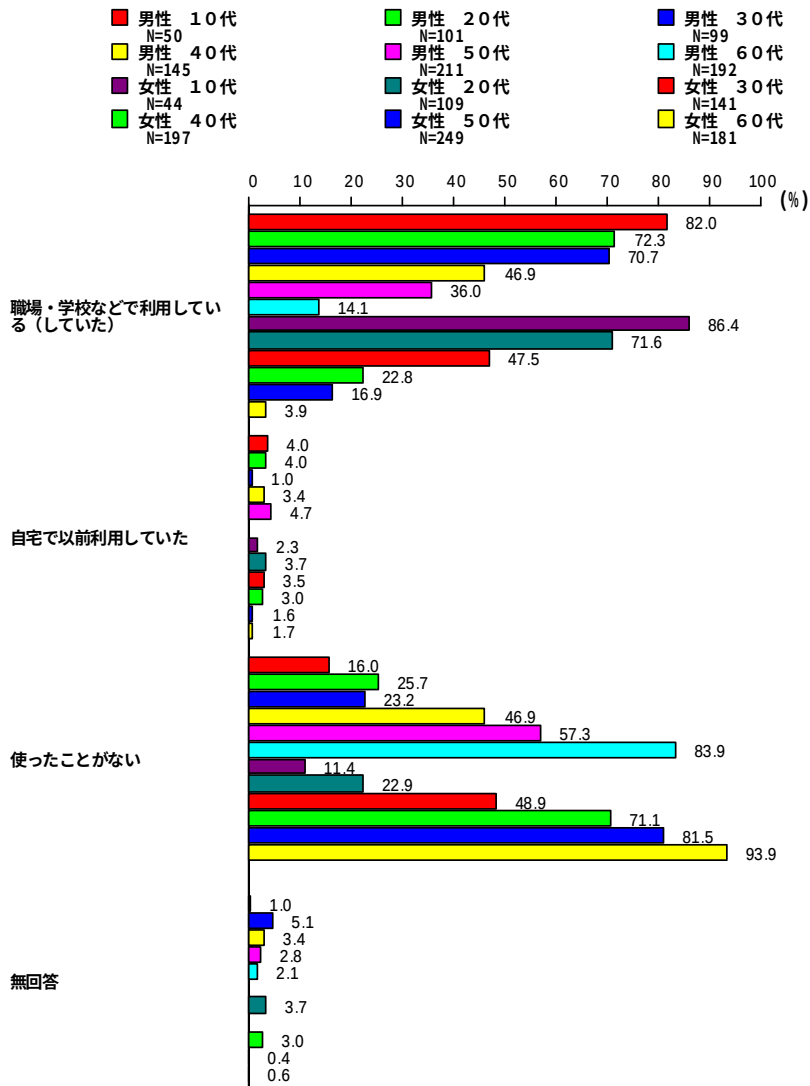
- 自宅でパソコンを利用していない人のうち、パソコンを「使ったことがない」が 59%で最も多い。「職場・学校などで利用している（していた）」が 37%、「自宅で以前利用していた」が 3%となっている。
- 「使ったことがない」は男女ともに高年層で多い。逆に、「職場・学校などで利用している（していた）」は若年層で多く、男性の 10 代から 30 代と女性の 10 代から 20 代で 7 割を超える。

Q. 自宅でパソコンを利用していない人におたずねします。
あなたは、これまでに自宅でパソコンを使った経験がありますか。

全体



男女別・年齢別



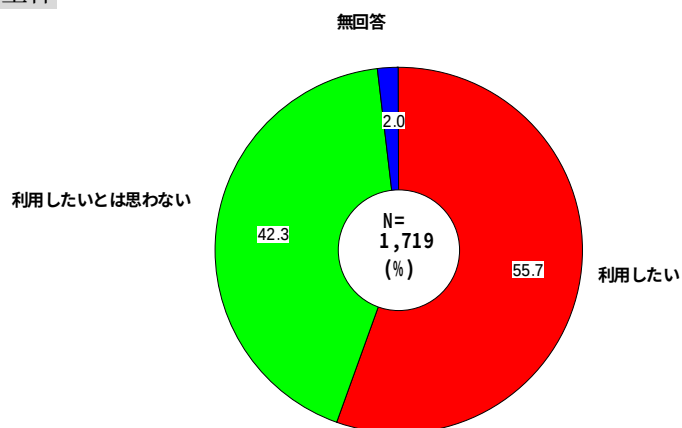
(16) 自宅での利用意向(Q10)

「利用したい」が半数強

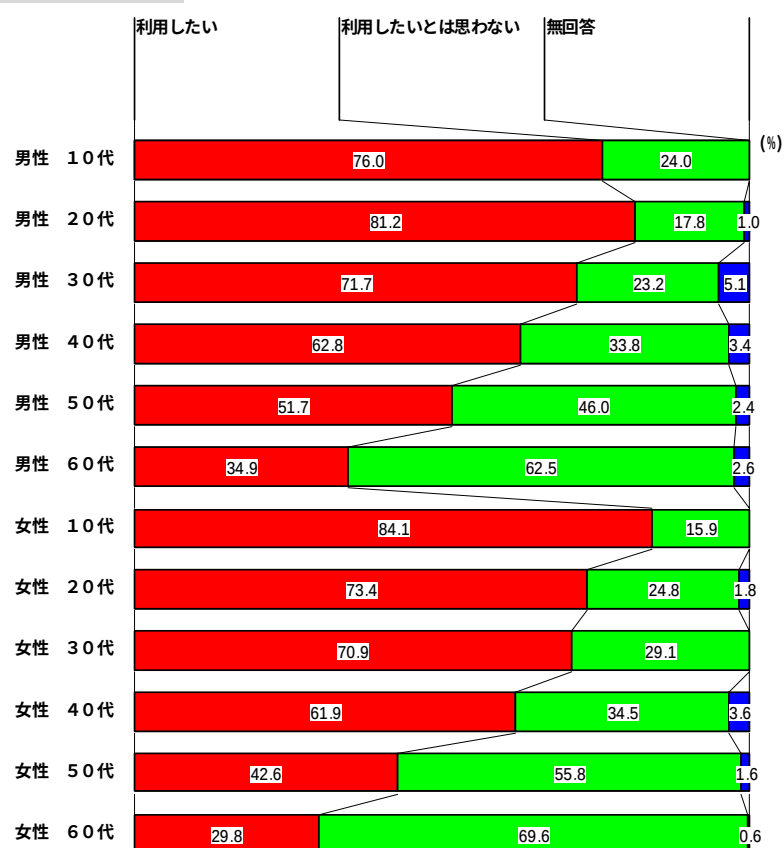
- 自宅でパソコンを利用していない人の今後の利用意向では、「利用したい」が56%、「利用したいとは思わない」が42%となっている。
- 「利用したい」は男女ともに若年層で多く、10代から30代では7割を超える。パソコン利用経験別では、利用経験がある層で利用意向が高い。

Q. 自宅でパソコンを利用していない人におたずねします。
あなたは、今後、自宅でパソコンを利用したいと思いますか。

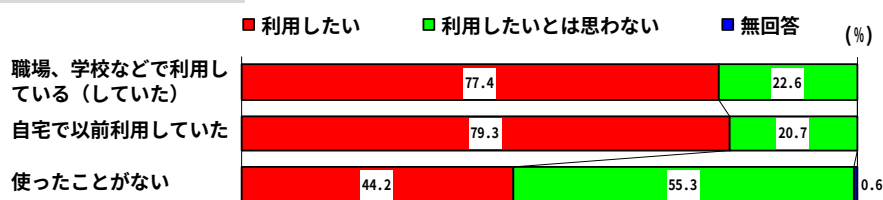
全体



男女別・年齢別



パソコン利用経験別



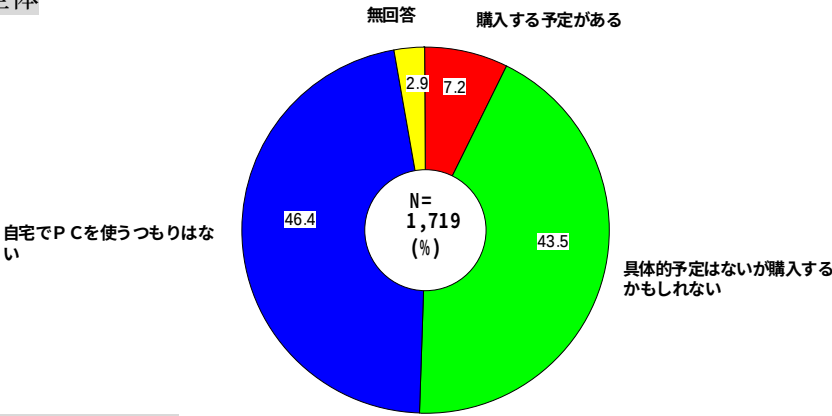
(17)パソコン購入予定(Q11)

「具体的予定はないが購入するかもしれない」が4割強

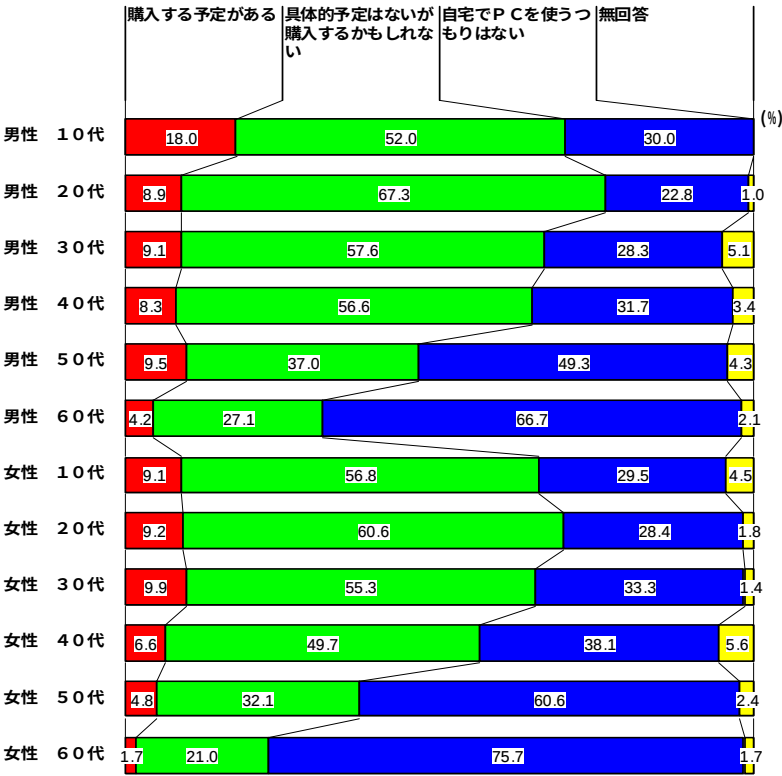
- 自宅でパソコンを利用していない人の今後の購入予定では、「購入する予定がある」が7%、「具体的予定はないが購入するかもしれない」が44%となっている。一方、「自宅でパソコンを使うつもりはない」は46%となっている。
- 「購入する予定がある」は男性の10代で多く、「具体的予定はないが購入するかもしれない」は男女ともに10代から40代で多くなっている。パソコン利用経験別、パソコン利用意向別では、「購入する予定がある」及び「具体的予定はないが購入するかもしれない」は、経験がある層と利用意向がある層で多くなっている。

Q. 自宅でパソコンを利用していない人におたずねします。
あなたは、近い将来（1年以内程度）、自宅にパソコンを購入する予定がありますか。

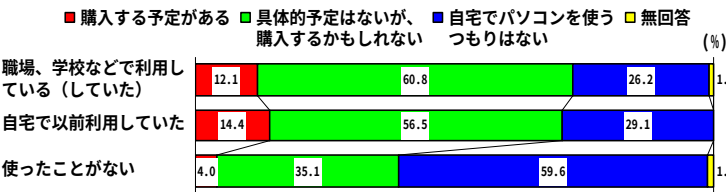
全体



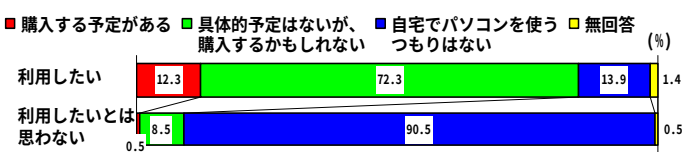
男女別・年齢別



パソコン利用経験別



自宅でのパソコン利用意向別



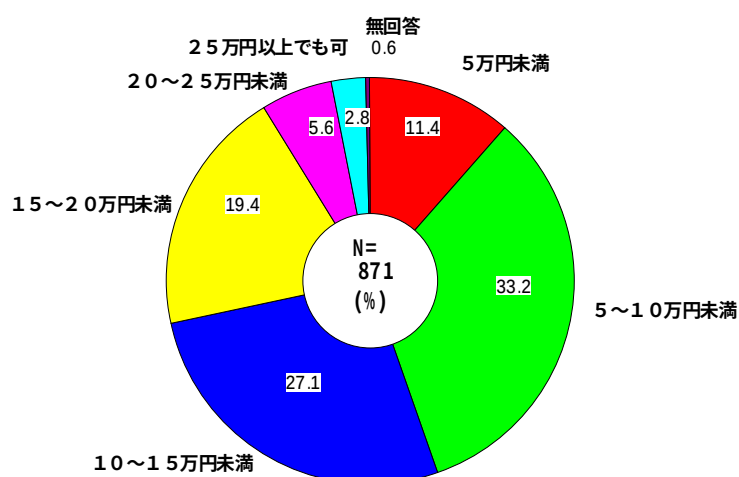
(18) 希望価格(Q12)

「5～10万円未満」が33%、「10～15万円未満」が27%

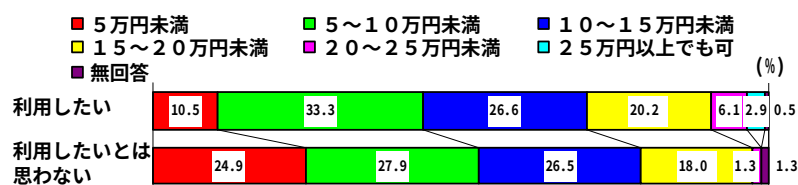
- 自宅でパソコンを購入する場合の希望価格では、「5～10万円未満」が33%、「10～15万円未満」が27%、「15～20万円未満」が19%となっている。
- 自宅でのパソコン利用意向別では、利用意向がない層に比べある層で15万円以上の金額帯を答えた人が多く、パソコン購入予定別では、購入する予定がある層で15万円以上の金額帯を答えた人が多くなっている。

Q. パソコンを購入する予定がある方、又は購入するかもしれない方にお聞きます。
もしあなたがパソコンを購入するとすれば、必要最低限度の機能を持つパソコンを（基本的なソフトとプリンター購入費込みで）いくらぐらいなら購入してもよいと思いますか。

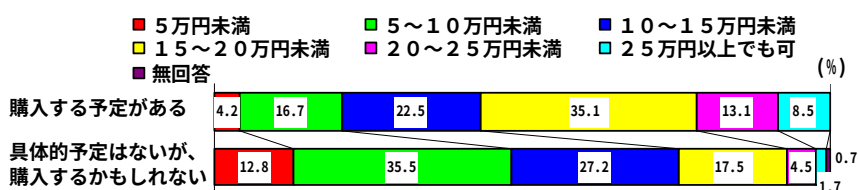
全体



自宅でのパソコン利用意向別



パソコン購入予定別

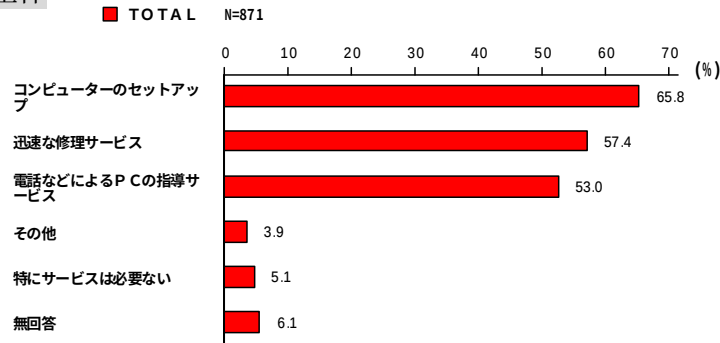


- 自宅でパソコンを購入する場合に必要なサービスとしては、「コンピューターのセットアップ」66%、「迅速な修理サービス」57%、「電話等によるパソコンの指導サービス」53%の順にあげられている。
- 「コンピューターのセットアップ」は男性に比べ女性で多く、「迅速な修理サービス」は男女ともに20代と30代で多く、「電話等によるパソコンの指導サービス」は男性の60代と女性の30代から60代で多くなっている。

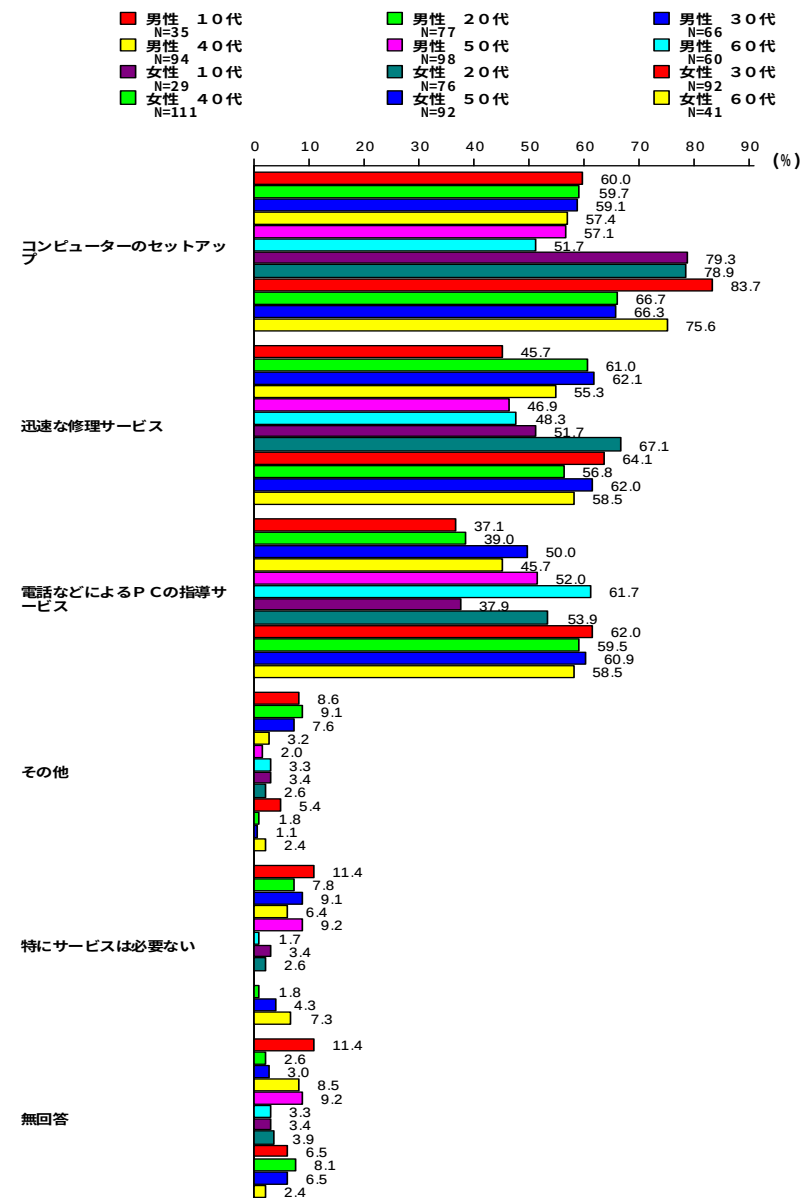
Q. パソコンを購入する予定がある方、又は購入するかもしれない方にお聞きます。

あなたがパソコンを購入するとすれば、どのようなサービスが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

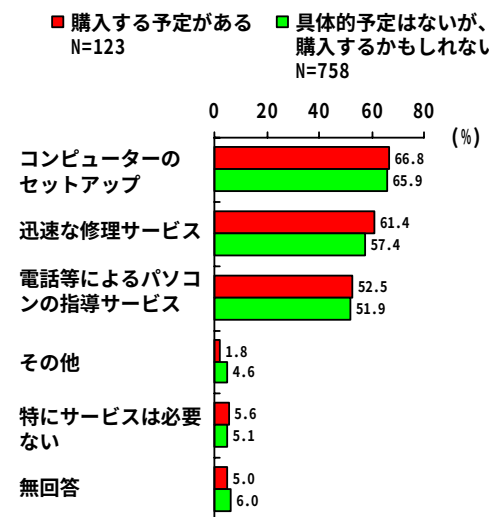
全体



男女別・年齢別



パソコン購入予定別



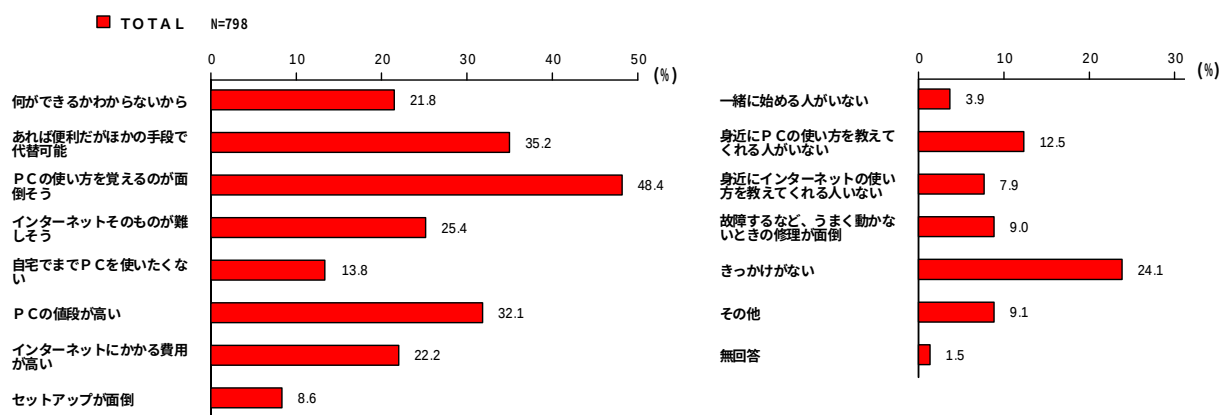
(20) 自宅でパソコンを利用しない理由(Q11-1)

「パソコンの使い方を覚えるのが面倒だから」が48%

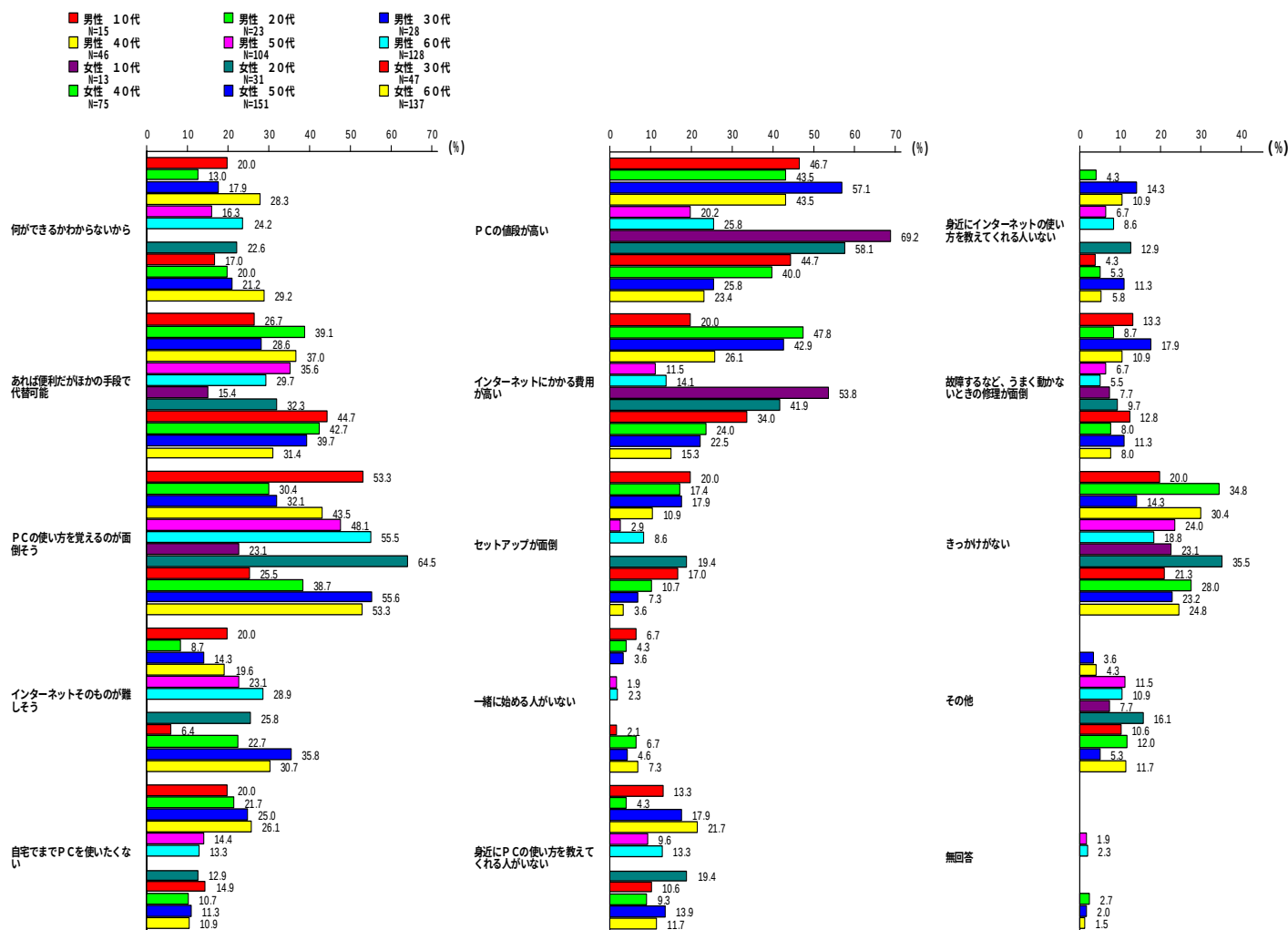
- 自宅でパソコンを利用しない理由としては、「パソコンの使い方を覚えるのが面倒だから」が48%で最も多く、以下、「あれば便利だが、他の手段で済ませることが出来るから」35%、「パソコンの値段が高いから」32%の順にあげられている。
- 「パソコンの使い方を覚えるのが面倒だから」は女性の20代で多く、「パソコンの値段が高いから」、「インターネットにかかる費用が高いから」はともに女性の10代で多くなっている。「インターネットそのものが難しそうだから」は男女の高年齢層で多い。

Q. 自宅でパソコンを使うつもりはない方にお聞きします。
その理由は何ですか。(○はいくつでも)

全体



男女別・年齢別



情報環境／利用実態 ～インターネット～

(21) インターネット利用率(Q14N1:Q14 と Q17)

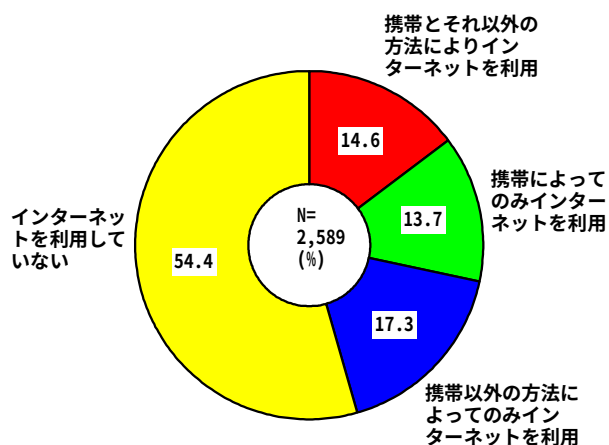
『利用』が 46%

● インターネット利用についてみると、「携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用」が 15%、「携帯によってのみインターネットを利用」が 14%、「携帯以外の方法によってのみインターネットを利用」が 17%、一方、「インターネットを利用していない」が 54%となっている。

Q. あなたは、I モード、J スカイウェブ、EZWeb など、携帯電話・PHS 単体によるインターネット接続サービスを利用していますか。

Q. 携帯電話・PHS 単体以外の方法でインターネットを利用していますか。(利用場所は問いません)

全体

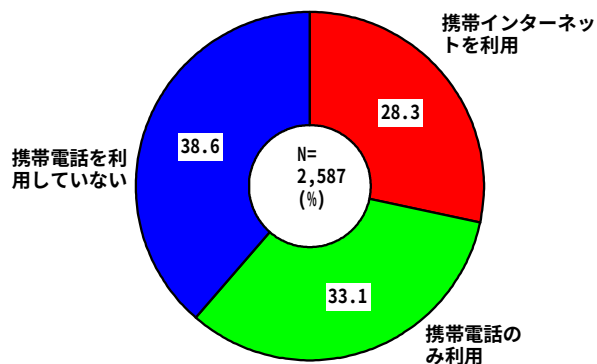


●「携帯インターネットを利用」が28%、「携帯電話のみ利用」が33%。一方、「携帯電話を利用していない」が39%となっている。

Q. あなたは、I モード、J スカイウェブ、EZWeb など、携帯電話・PHS単体によるインターネット接続サービスを利用していますか。

Q. 携帯電話・PHS単体によるインターネット接続サービスを利用していない方にお聞きます。
それでは、あなたは、携帯電話・PHSを利用していますか。

全体



(23) 自宅でのインターネット利用率（携帯以外）（Q17 と Q33 から作成）

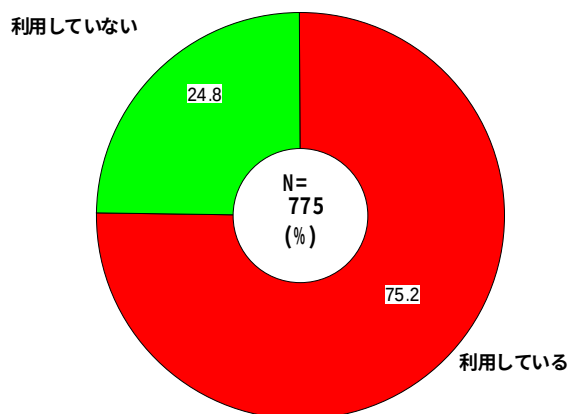
「利用している」が 75%

- 自宅でインターネットを「利用している」が 75%である。
- 「利用している」は、いずれの年代でも女性の方が多く、なかでも女性の 30 代と 60 代で多くなっている。世帯収入別では 400～500 万円未満、1500～2000 万円未満、2000 万円以上の世帯で多くなっている。

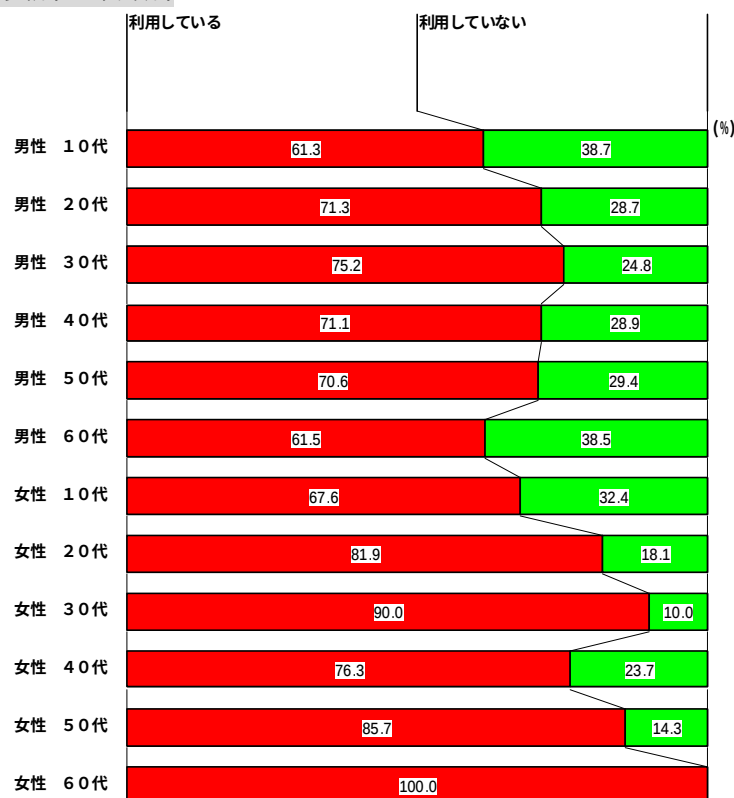
Q. 携帯電話・PHS 単体以外の方法でインターネットを利用していますか。（利用場所は問いません）

Q. あなたは、自宅でインターネットを利用していますか。

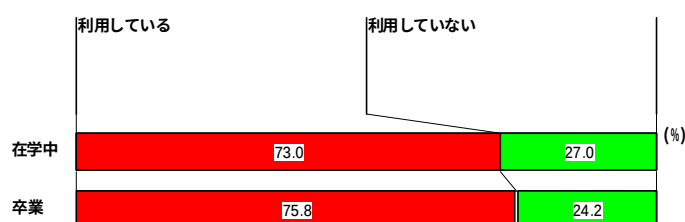
全体



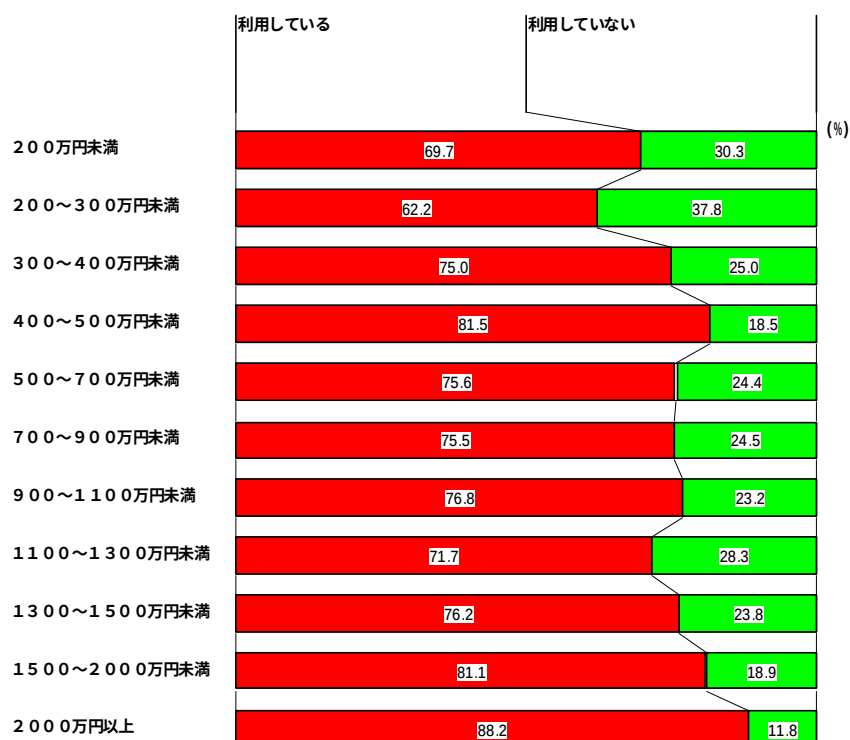
男女別・年齢別



在学別



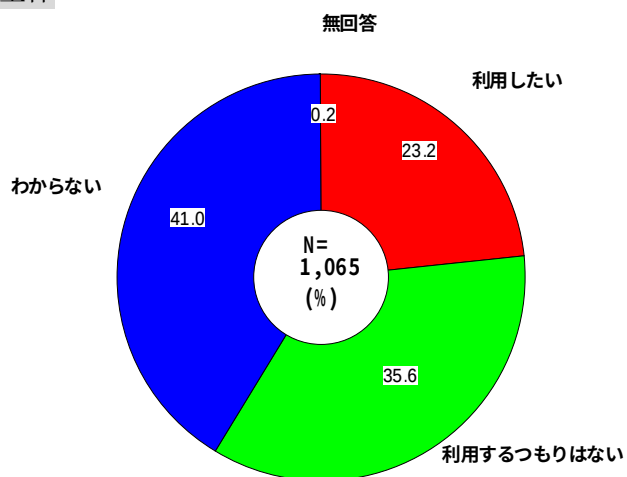
世帯収入別



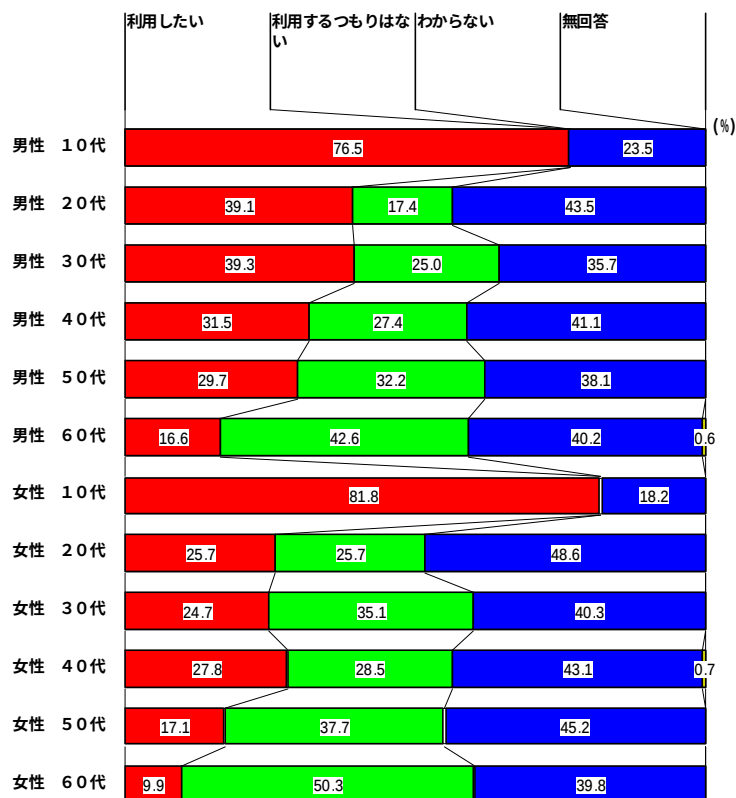
- 「利用したい」が23%、「利用するつもりはない」が36%である。
- 「利用したい」は、男女ともに10代できわだって多い。在学別では在学中の層で多くなっている。

Q. 携帯電話・PHSを利用していない方にお聞きます。
あなたは、今後、携帯電話・PHSを利用したいと思いますか。

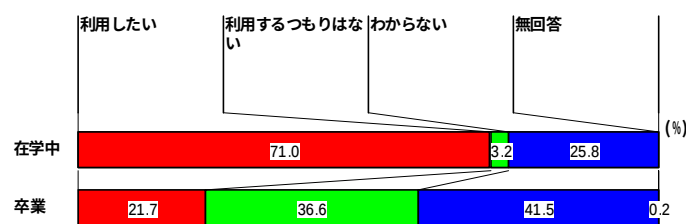
全体



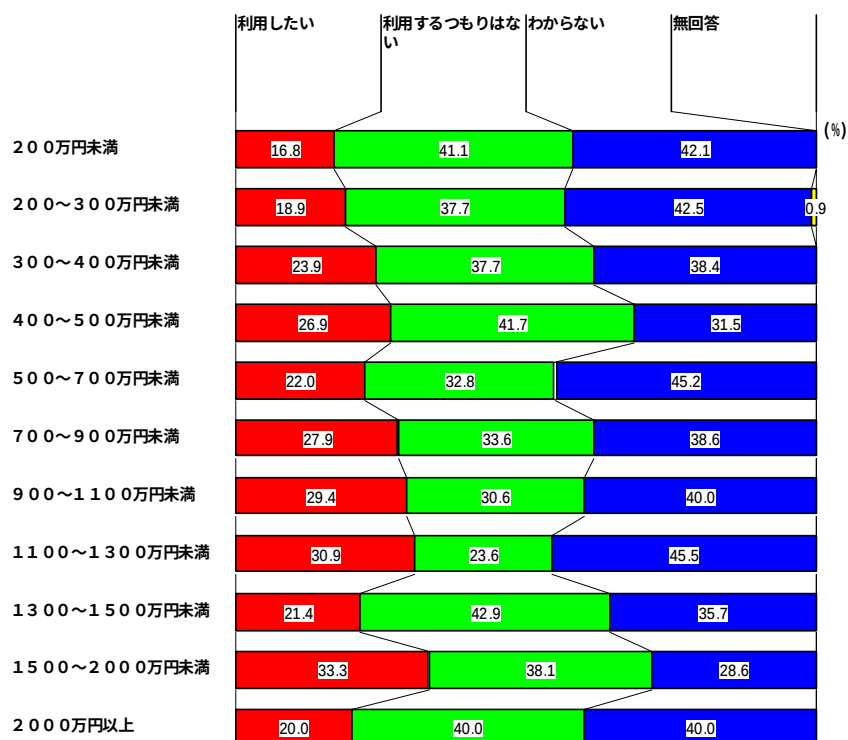
男女別・年齢別



在学別



収入別



(25)携帯インターネットの利用意向(Q14-3)

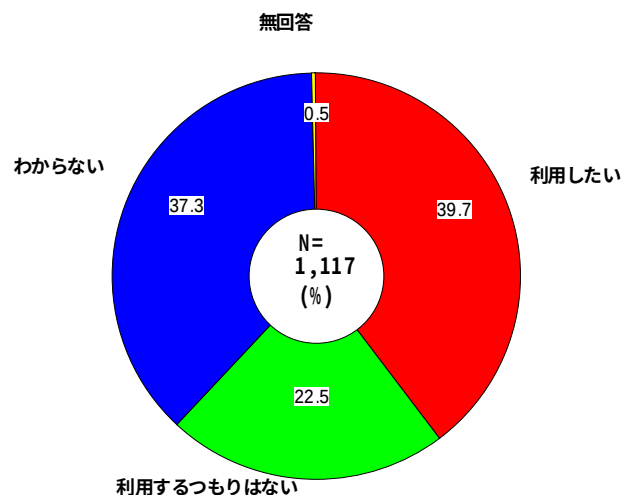
「利用したい」が40%

- 「利用したい」が40%、「利用するつもりはない」が23%である。
- 「利用したい」は、男女ともに若年層が多い。在学別では在学中の層で多くなっている。

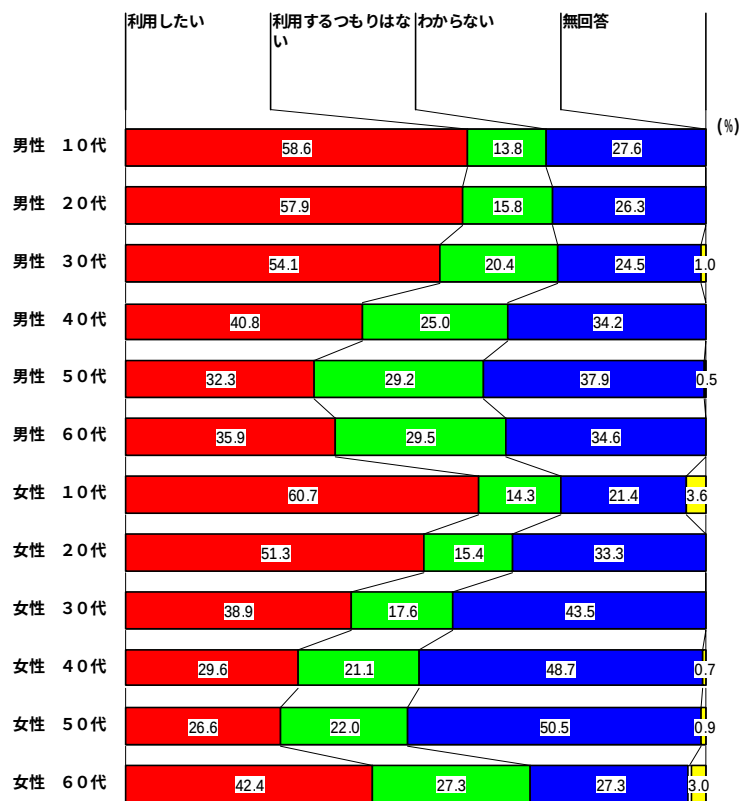
Q. 携帯電話・PHSを利用している方及び利用したい方にお聞きします。

あなたは、今後、Iモード、Jスカイウェブ、EZWebなど、携帯電話・PHS単体によるインターネット接続サービスを利用したいと思いますか。

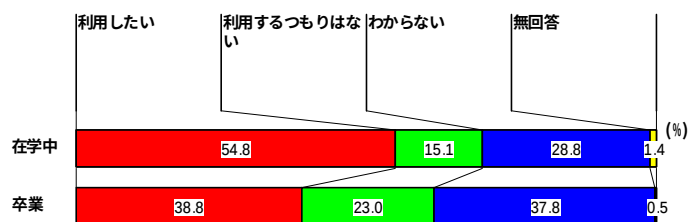
全体



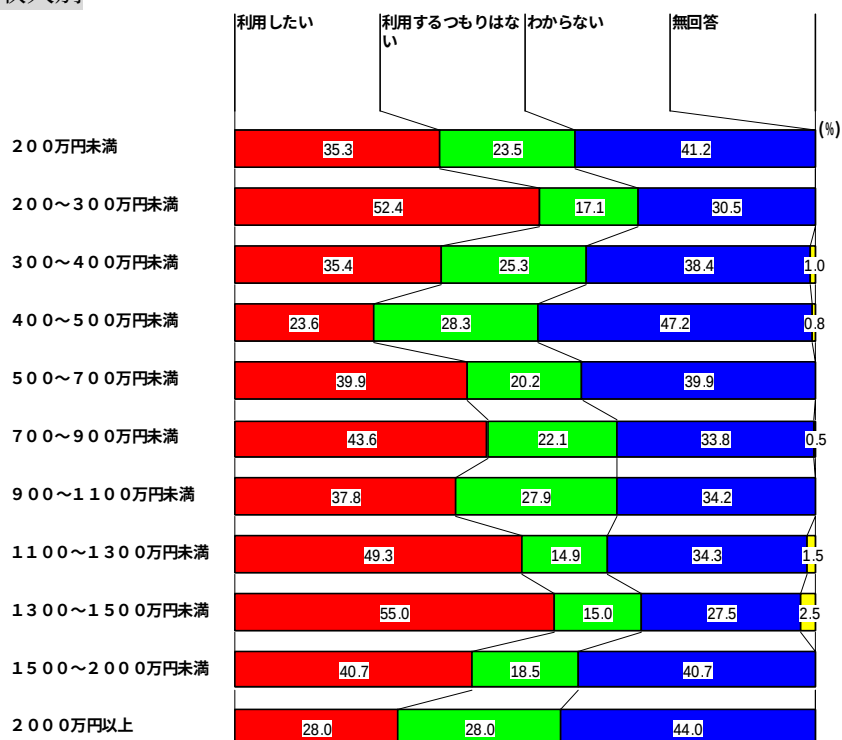
男女別・年齢別



在学別



収入別



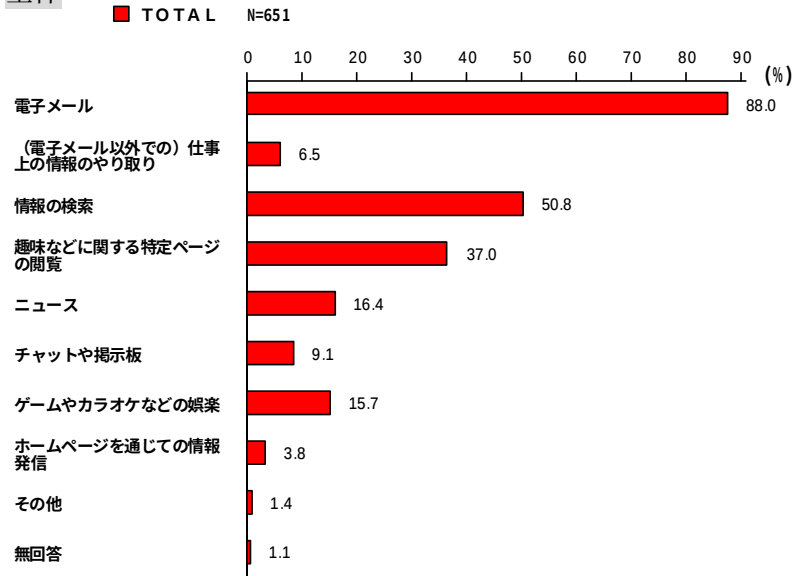
(26)携帯インターネットの利用目的(Q15)

「電子メール」が9割近く

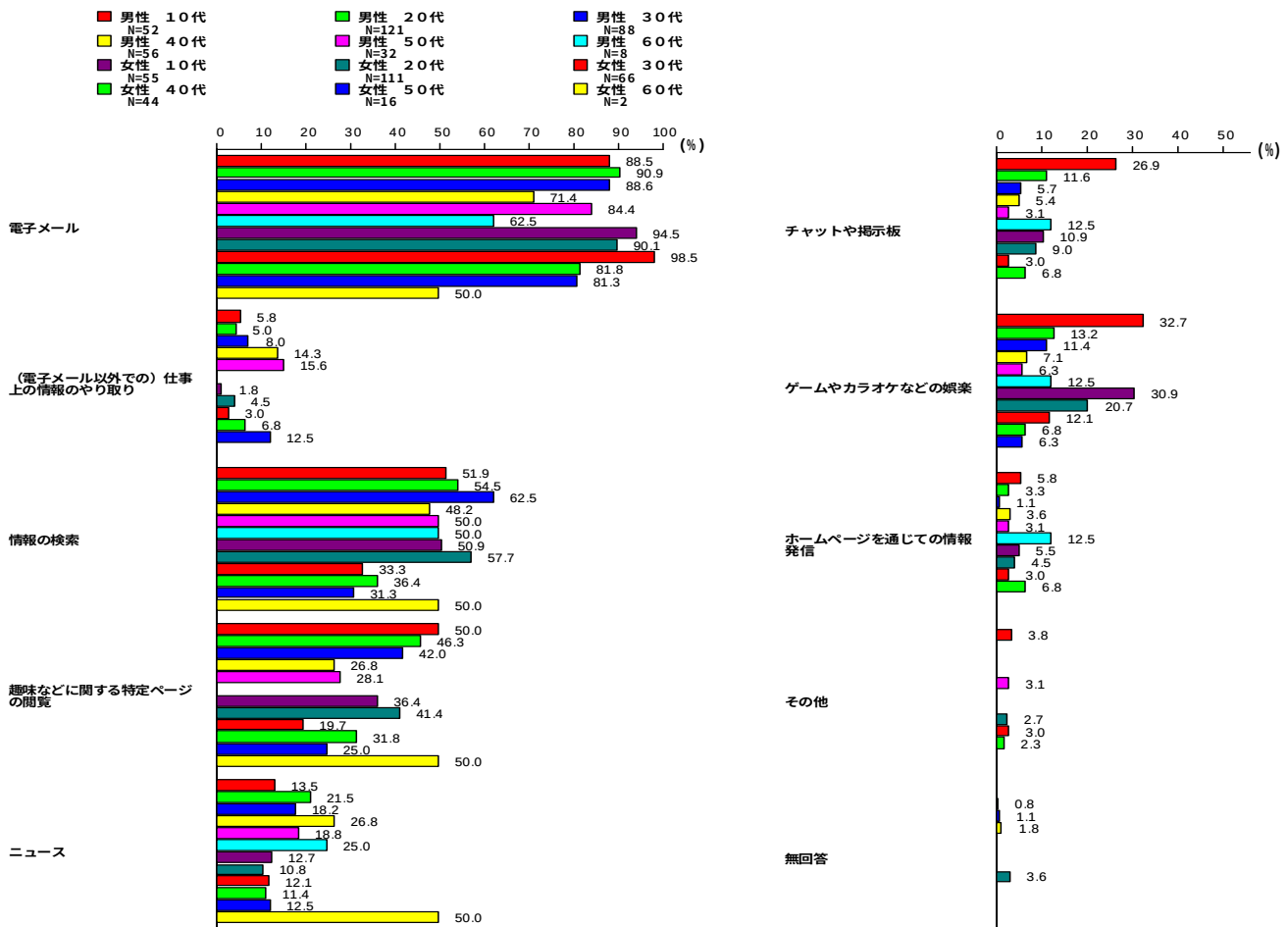
- 携帯インターネットの利用目的は、「電子メール」が88%で最も多く、以下、「情報の検索」が51%、「趣味などに関する特定ページの閲覧」が37%で続いている。
- 男性の40代と男女の60代を除いて、「電子メール」はいずれも8割を超える。「ゲームやカラオケなどの娯楽」が男女の10代、「チャットや掲示板」が男性の10代で多くなっている。

Q. あなたは、i モード、J スカイウェブ、EZWeb など携帯電話・PHS単体によるインターネット接続サービスにおいて、どのようなサービスを利用していますか。(物品やチケット購入などは除きます)(○はいくつでも)

全体



男女別・年齢別



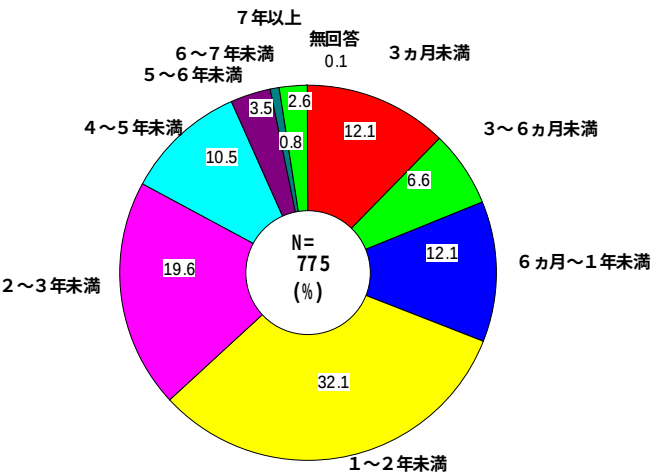
(27)利用経験年数(Q19)

「1～2 年未満」が3 割強

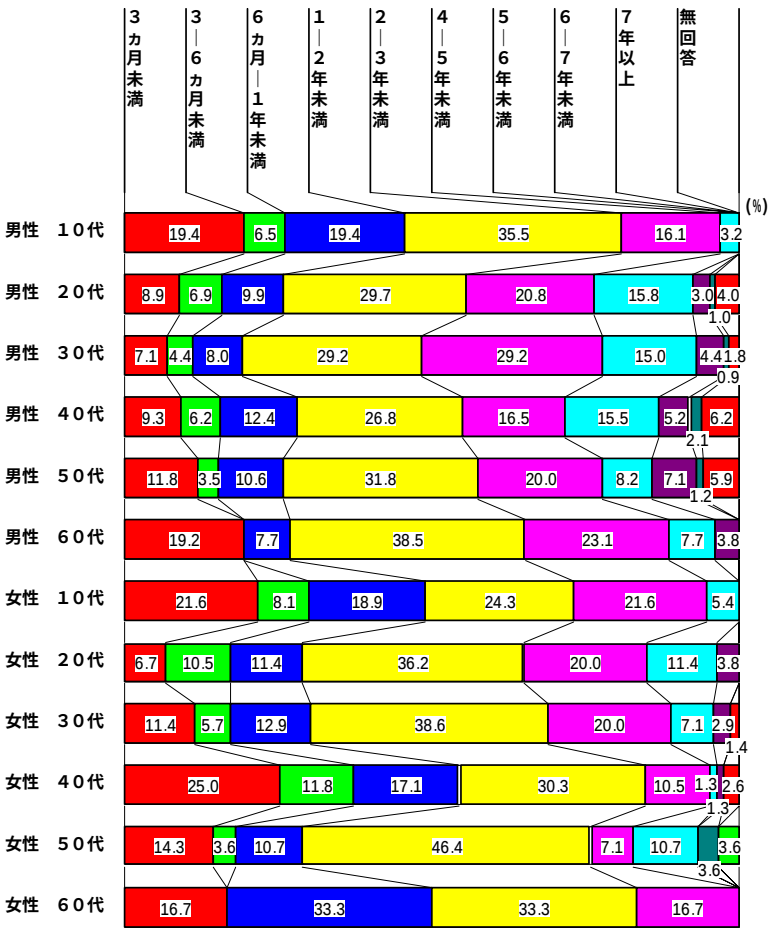
- インターネットの利用経験年数は、「1～2 年未満」が 32%、「2～3 年未満」が 20%で、3 年未満の人が全体に占める割合は 8 割を超える。
- 3 年未満の割合は男女の 10 代と 60 代及び女性の 40 代で多い。これらの層では「3 ヶ月未満」の割合も多くなっている。

Q. あなたは、どのくらいインターネットの利用経験がありますか。

全体



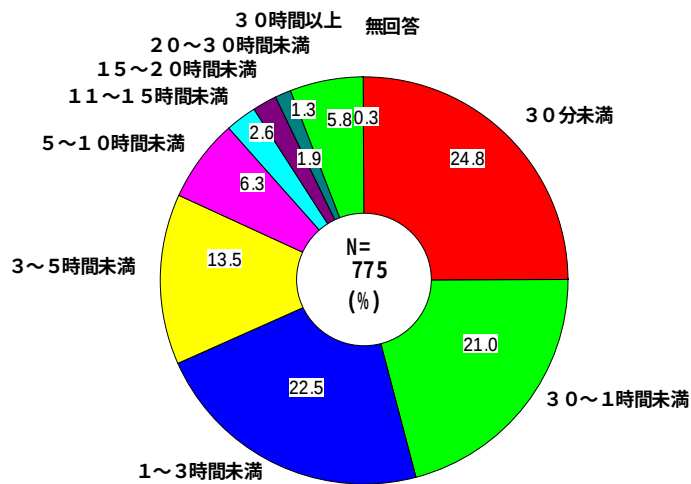
男女別・年齢別



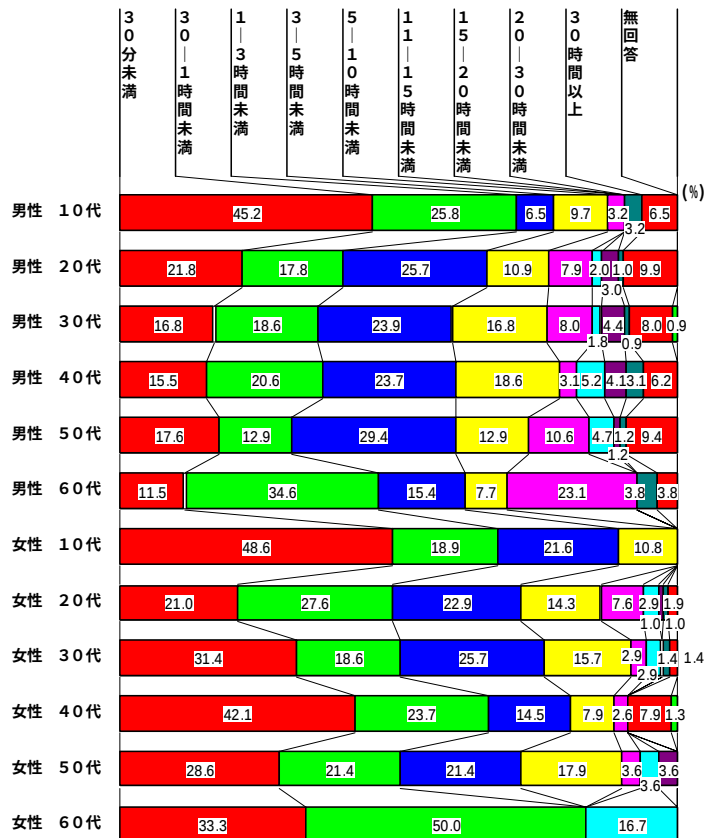
- インターネットの一週間平均の利用時間は、「30 分未満」が 25%、「30 分～1 時間未満」が 21%、「1～3 時間未満」が 23%で、3 時間未満の人が全体に占める割合は 7 割近くになる。
- 全体に女性よりも男性で利用時間が長くなっている。「30 分未満」は男女の 10 代、女性の 40 代で、「30 分～1 時間」は女性の 60 代で多い。また、「5～10 時間」は男性の 60 代で多い。インターネットの利用年数別では、利用年数に比例して利用時間も長くなる傾向がみられる。

Q. あなたは、一週間平均、どのくらいインターネットに接続していますか。（携帯電話・PHSによる利用は除きます）（利用場所は問いません）

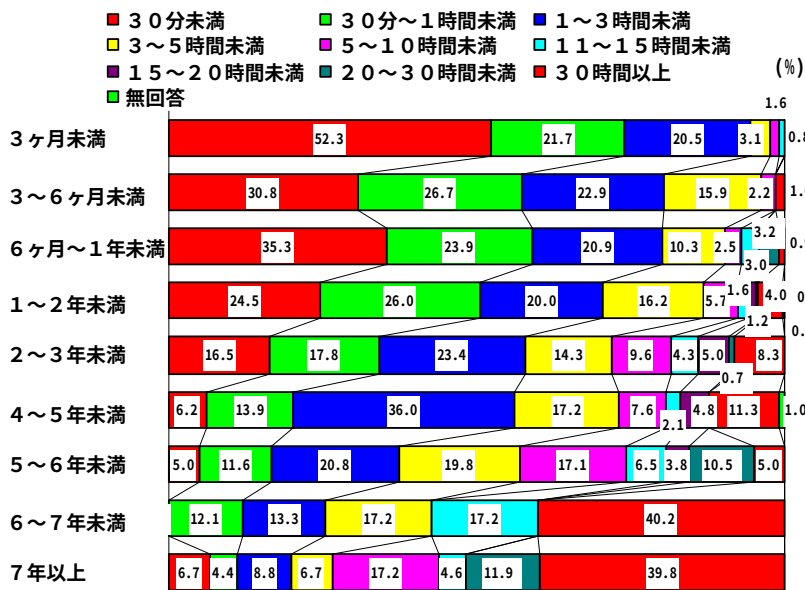
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用年数別



(29)利用場所（携帯除く）(Q18)

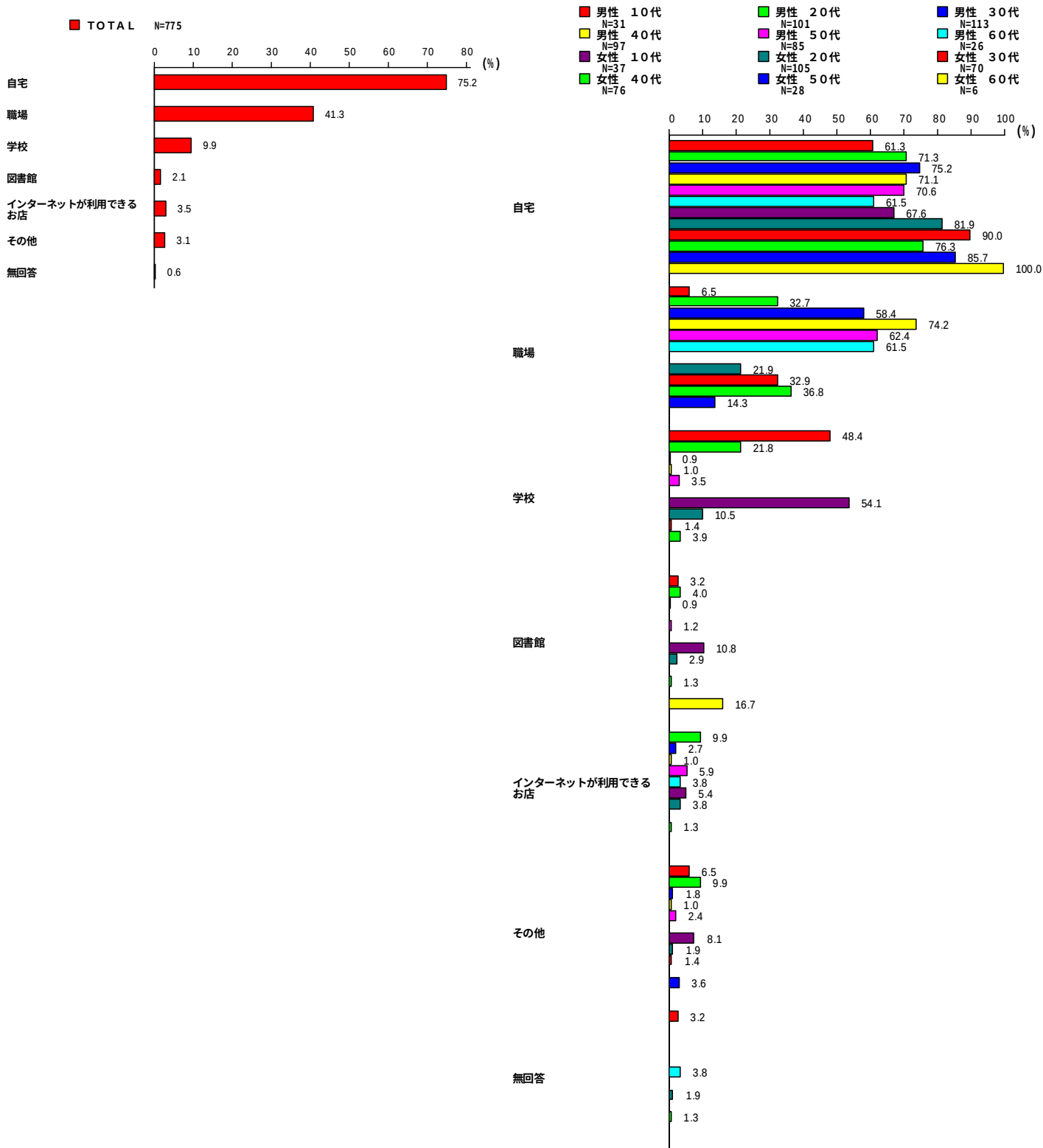
「自宅」が4人に3人

- インターネットの利用場所は、「自宅」が75%、「職場」が41%、「学校」が10%となっている。
- 全体に「自宅」は男性よりも女性で多く、「職場」は女性に比べ男性で多い。特に男性の40代では「職場」の割合が「自宅」を上回っている。「学校」は男女ともに10代が多い。

Q. あなたは、インターネットをどこで利用していますか。（携帯電話・PHSによる利用は除きます）（○はいくつでも）

全体

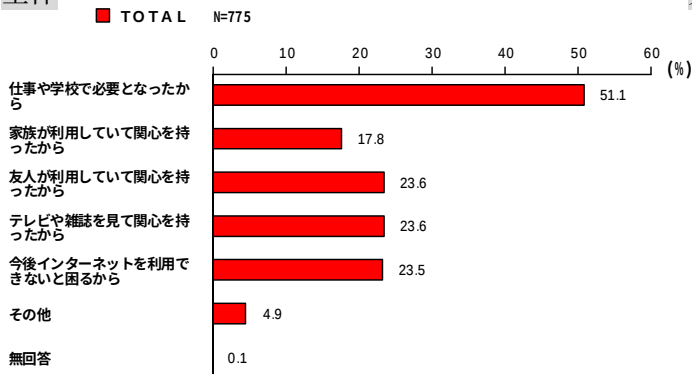
男女別・年齢別



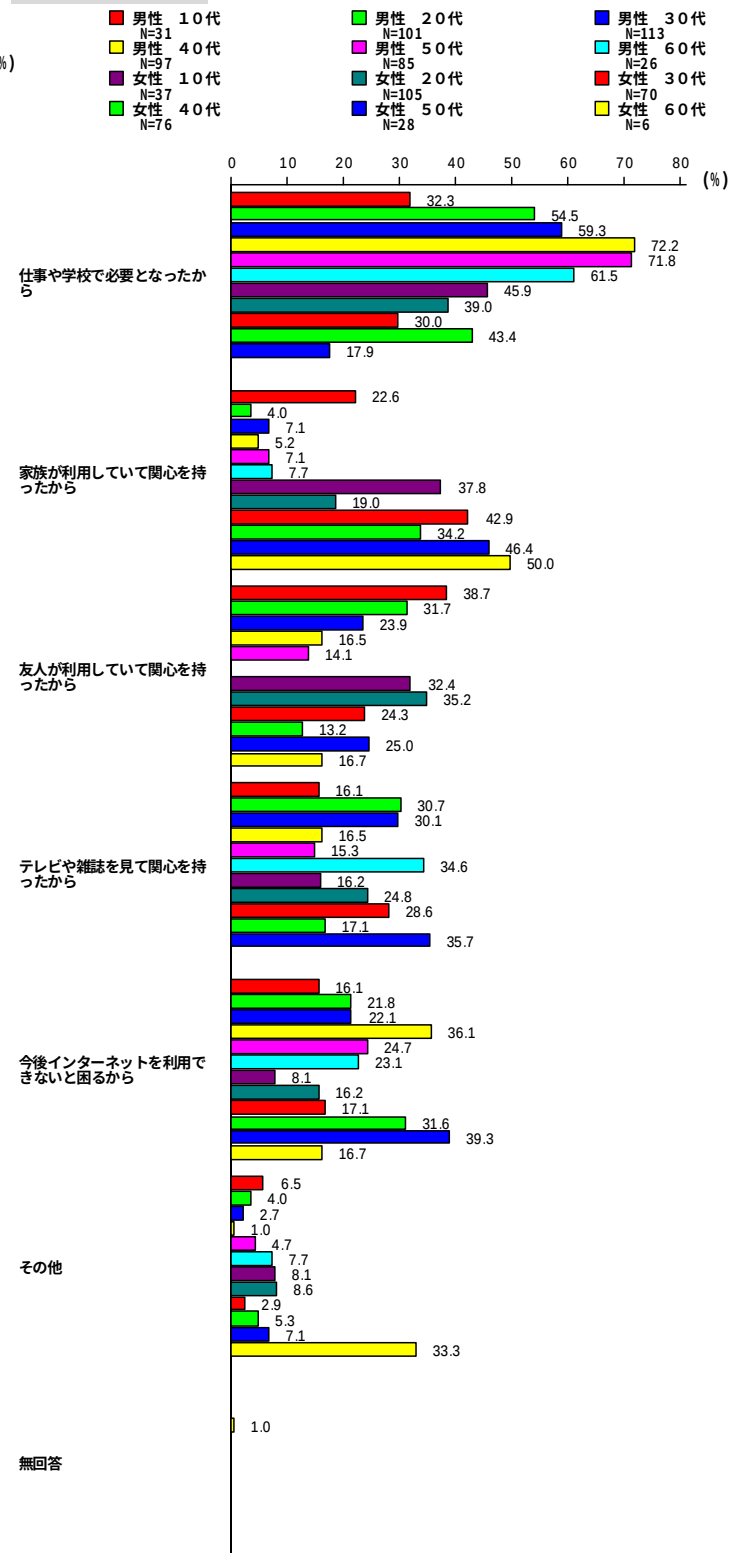
- インターネットを始めたきっかけは、「仕事や学校で必要となったから」が51%で最も多く、以下、「友人などが利用していたから関心を持ったから（友人などからすすめられた）」、「テレビや雑誌を見て関心を持ったから」、「今後インターネットを利用できないと困るから」が24%、「家族が利用していたから関心を持ったから（家族からすすめられた）」が18%となっている。
- 「仕事や学校で必要となったから」は男性の40代、50代をはじめ、女性に比べ男性が多い。「家族が利用していたから関心を持ったから」は女性が多い。「友人などが利用していたから関心を持ったから」は男女ともに若年層で多く、「テレビや雑誌を見て関心を持ったから」は男性の60代と女性の50代、「今後インターネットを利用できないと困るから」は男性の40代と女性の50代が多い。

Q. あなたは、インターネットを始めたきっかけは何ですか。（携帯電話・PHS単体以外による方法）（○はいくつでも）

全体



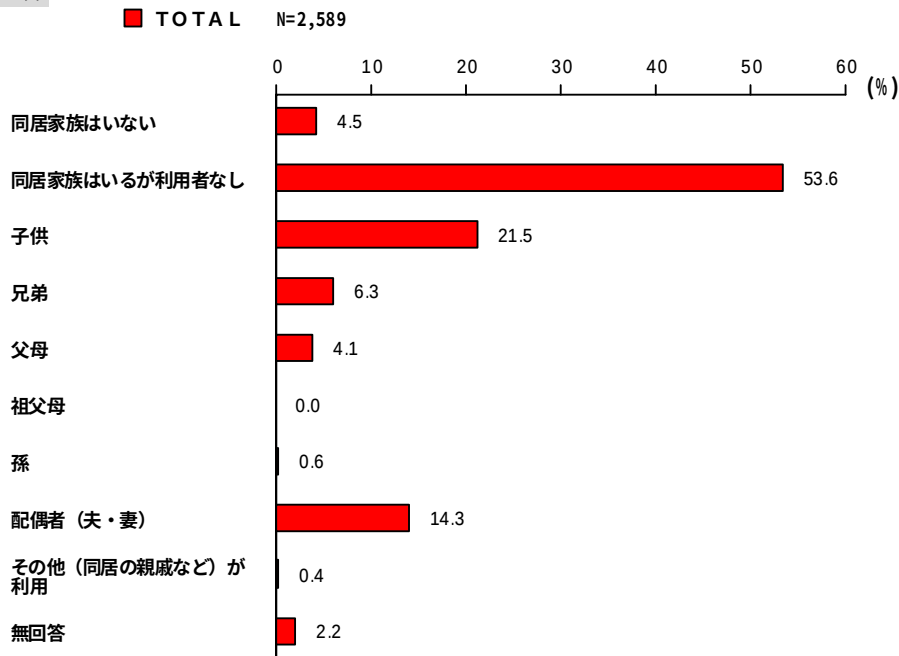
男女別・年齢別



●同居家族のインターネット利用では、「同居家族はいるが利用者なし」が54%を占める。具体的にあげられたのは、「子供」が22%、「配偶者(夫・妻)」が14%、「兄弟」が6%、「父母」が4%となっている。

Q. 携帯電話・PHS単体以外の方法により、あなた以外の同居家族でインターネットを利用している方がいますか。(利用場所は問いません)(〇はいくつでも)

全体

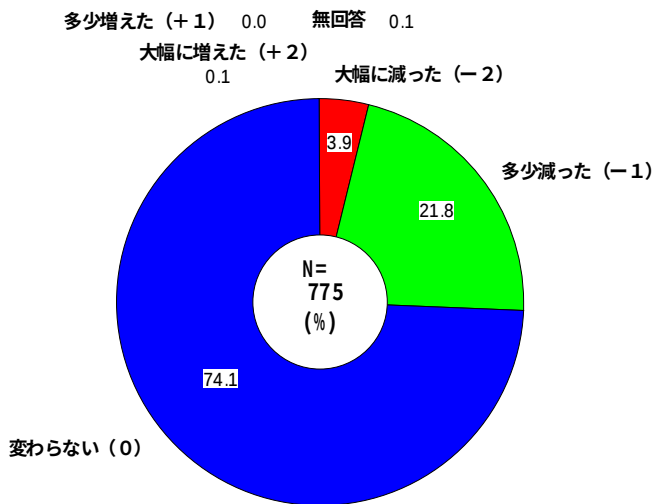


- 睡眠時間については、「大幅に減った」が4%、「多少減った」が22%でこれらを合わせた『減った』が4人に1人を占める。「変わらない」は74%となっている。
- 『減った』は男性の30代と女性の50代で多い。また、自宅での利用時間別では、利用時間に比例して『減った』と答えた人も多くなる傾向がみられる。30時間以上の層では過半数が「大幅に減った」と答えている。

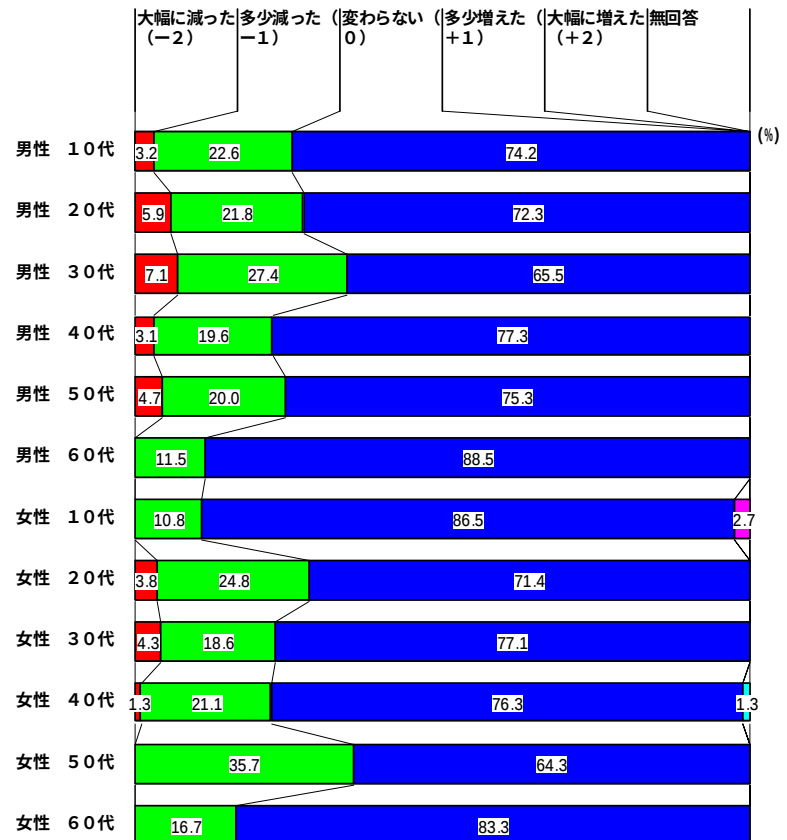
Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答え下さい。

(ア) 睡眠時間

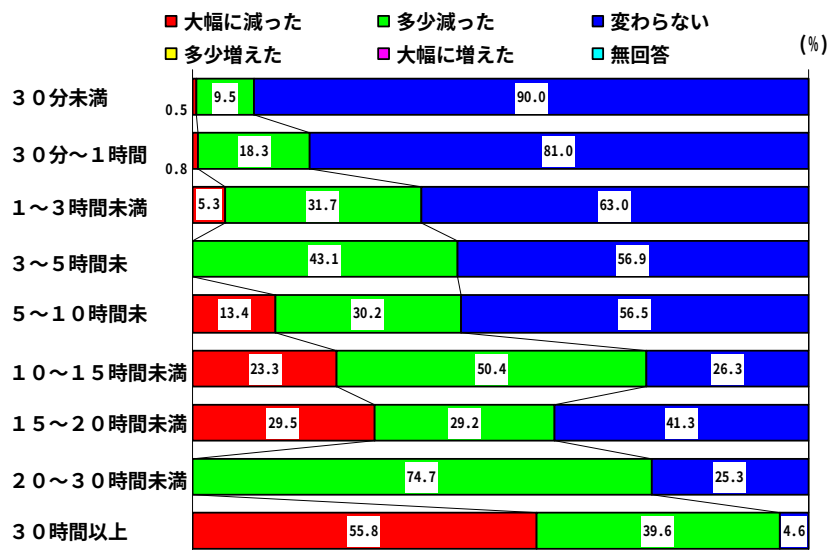
全体



男女別・年齢別



自宅での利用時間別

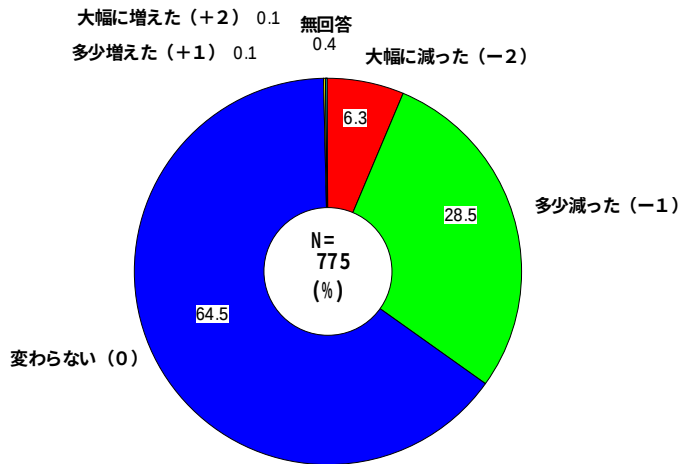


- テレビを見る時間については、「大幅に減った」が6%、「多少減った」が29%でこれらを合わせた『減った』が35%を占める。「変わらない」は65%となっている。
- 『減った』は男性の50代と女性の20代で多い。また、自宅での利用時間別では、利用時間に比例して『減った』と答えた人も多くなる傾向がみられる。20～30時間未満の層と30時間以上の層では過半数が「大幅に減った」と答えている。

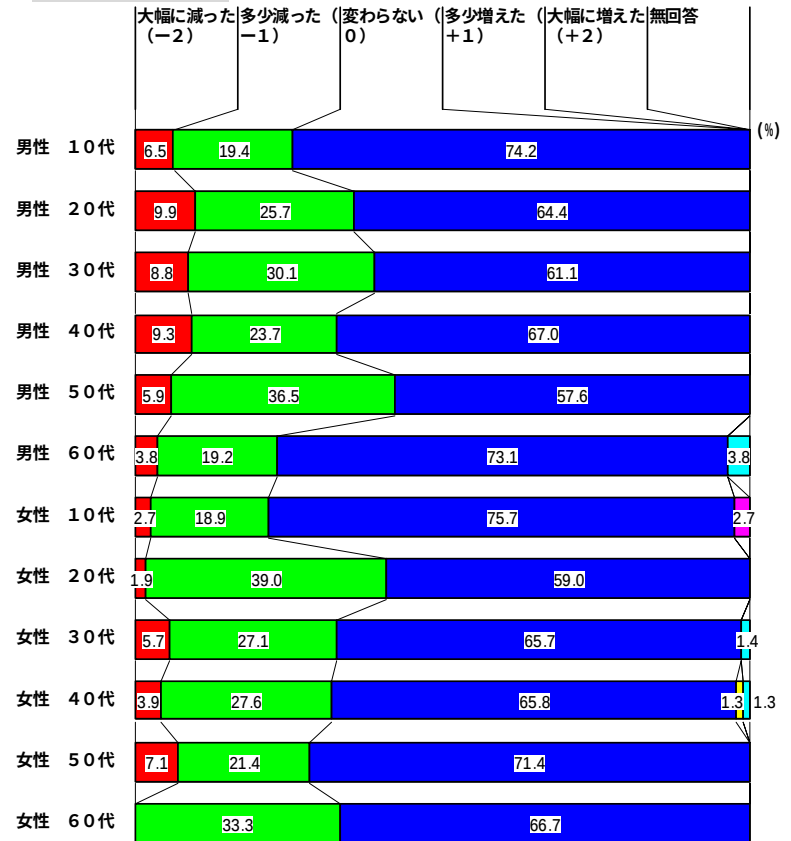
Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答え下さい。

(イ) テレビを見る時間

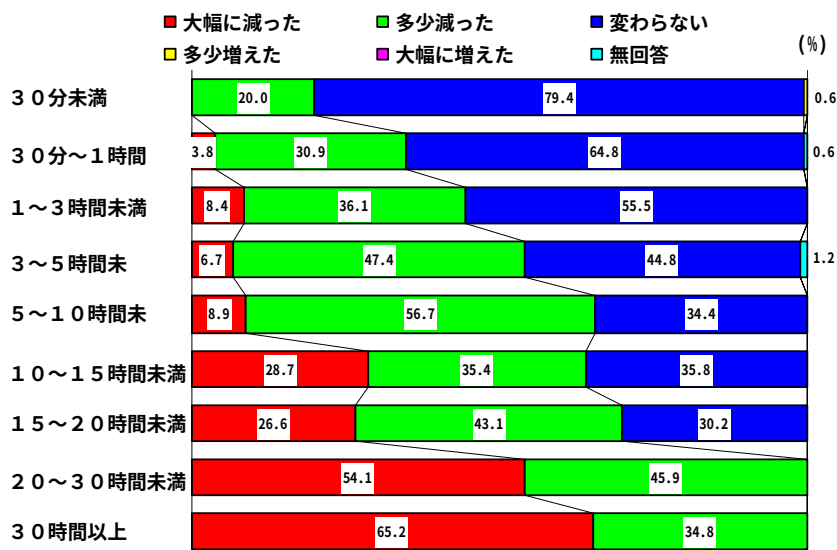
全体



男女別・年齢別



自宅での利用時間別

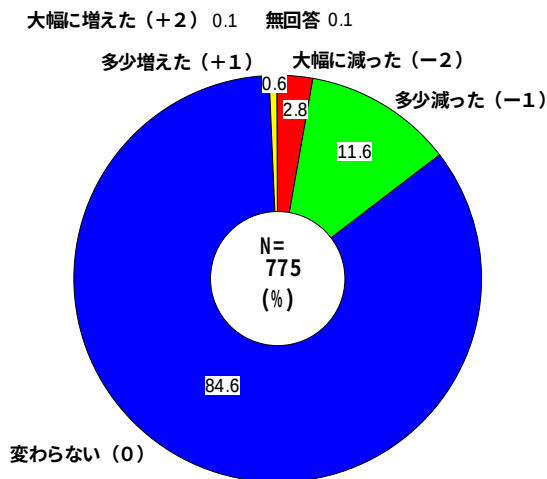


- 新聞を読む時間については、「大幅に減った」が3%、「多少減った」が12%でこれらを合わせた『減った』が14%である。「変わらない」は85%となっている。
- 『減った』は女性よりも男性で多い。また、自宅での利用時間別では、20～30 時間未満の層で多い。

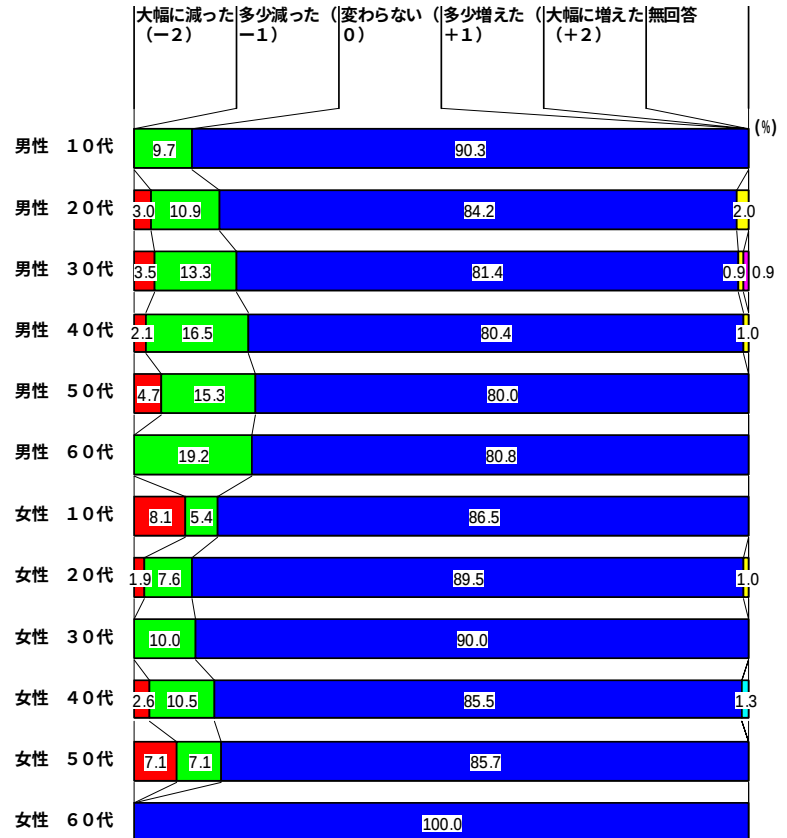
Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答え下さい。

(ウ) 新聞を読む時間

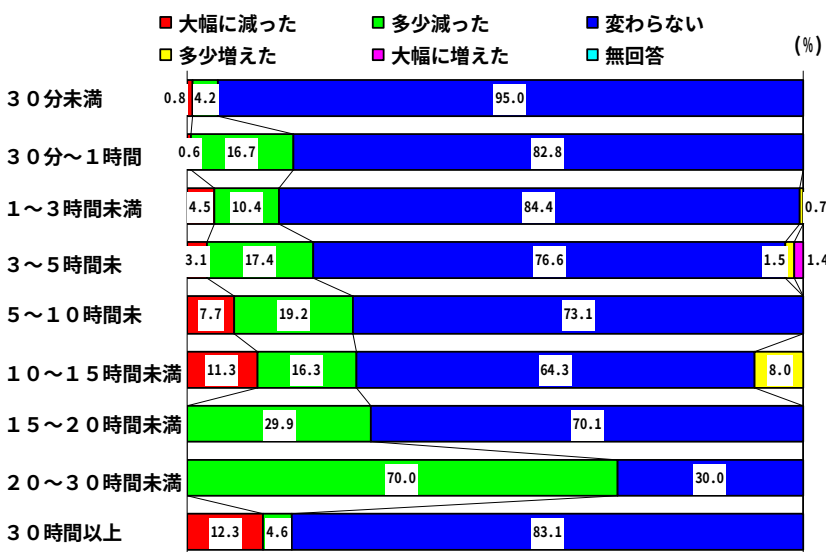
全体



男女別・年齢別



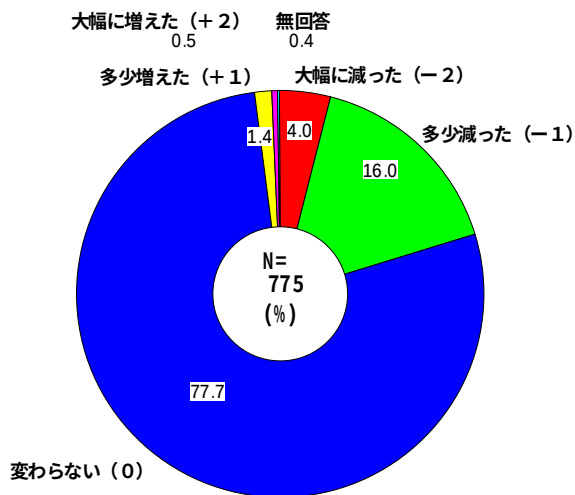
自宅での利用時間別



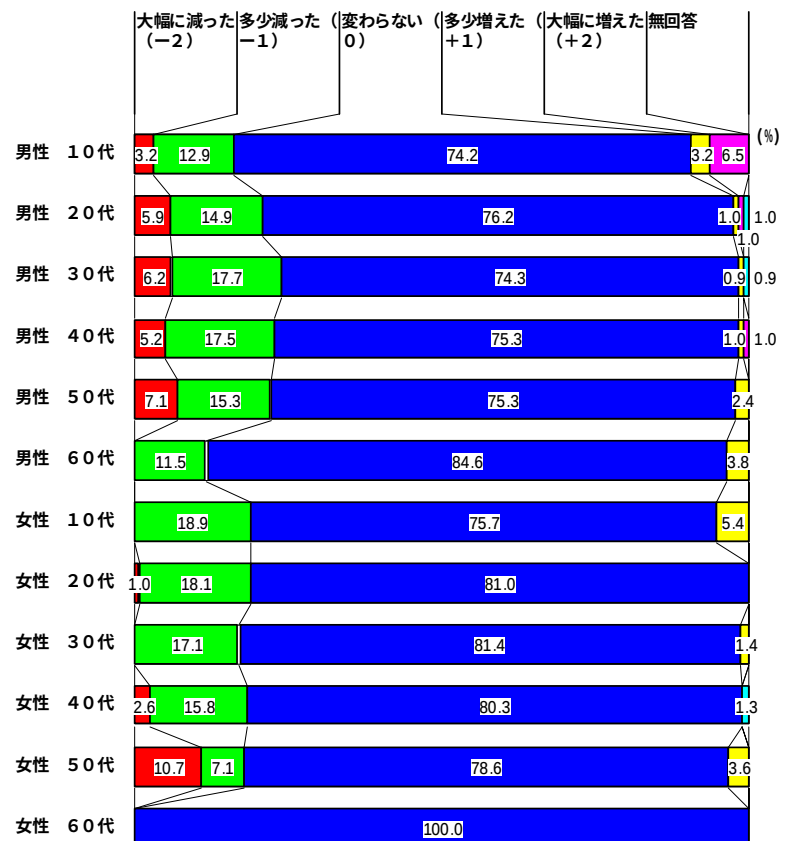
- 雑誌を読む時間については、「大幅に減った」が4%、「多少減った」が16%でこれらを合わせた『減った』が20%である。「変わらない」は78%となっている。
- 『減った』は男性の30代から50代で多い。また、自宅での利用時間別では、15～20時間未満の層と10～15時間未満の層で多い。

Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答え下さい。
(エ) 雑誌を読む時間

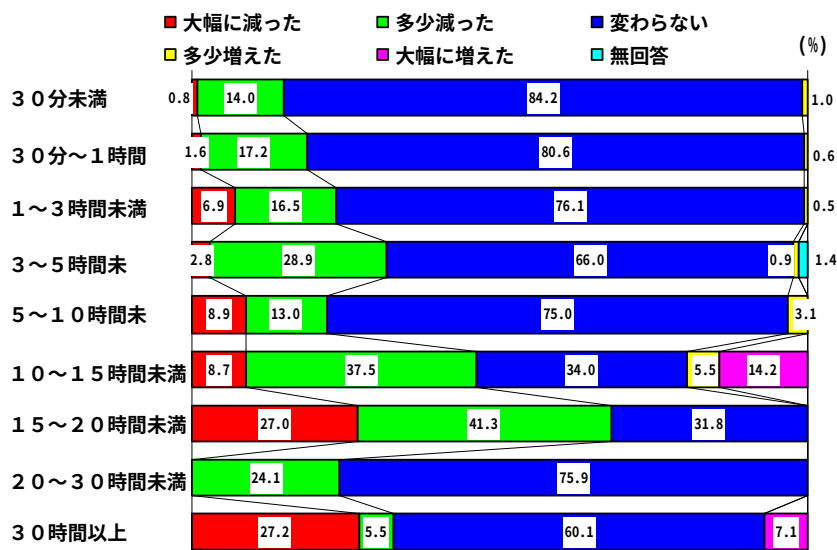
全体



男女別・年齢別



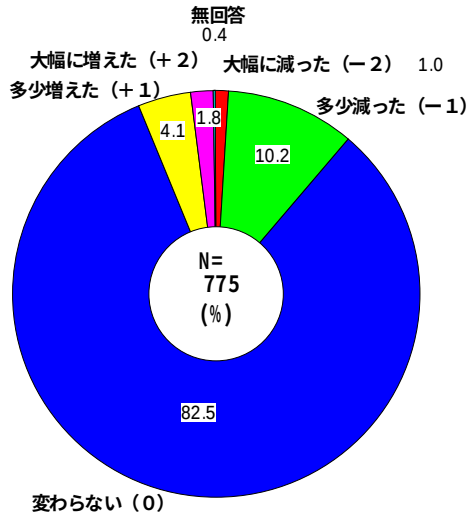
自宅での利用時間別



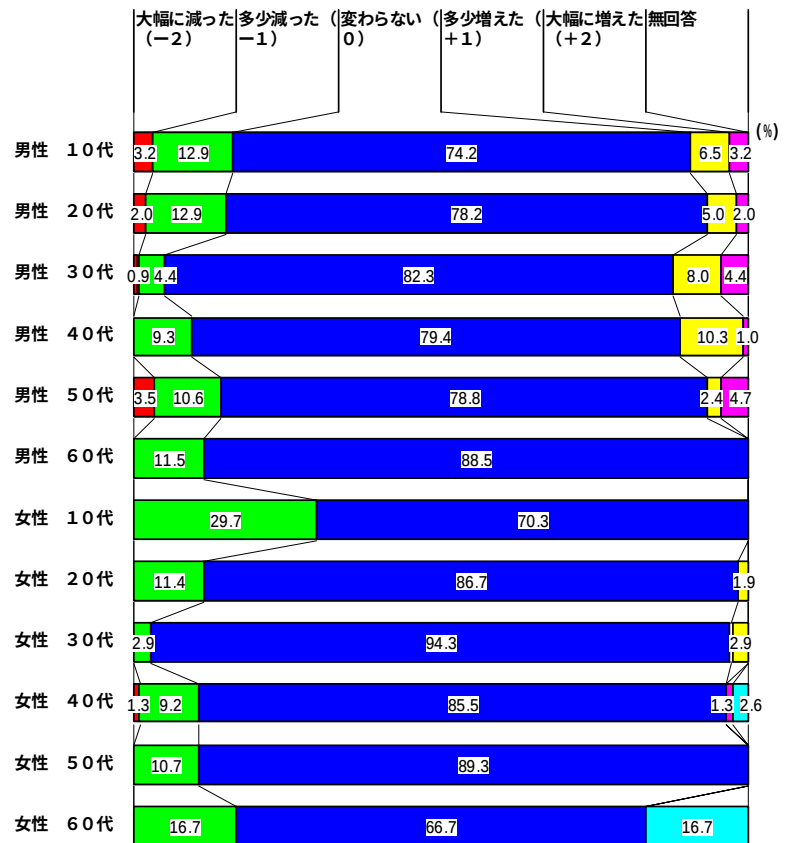
- 勉強や仕事の時間については、「大幅に減った」が1%、「多少減った」が10%でこれらを合わせた『減った』が11%である。「変わらない」は83%となっている。
- 『減った』は女性の10代が多い。また、自宅での利用時間別では、30時間以上の層で過半数に及ぶ。

Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答え下さい。
(オ) 勉強や仕事の時間

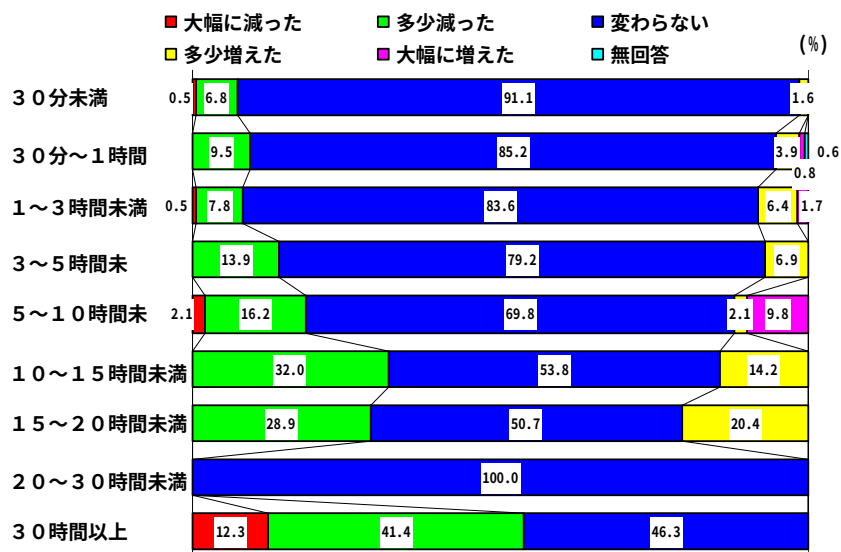
全体



男女別・年齢別



自宅での利用時間別

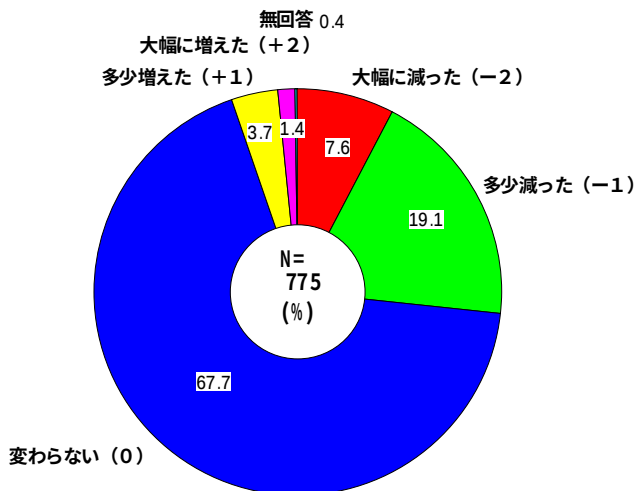


- 電話の通話時間については、「大幅に減った」が8%、「多少減った」が19%でこれらを合わせた『減った』が27%である。「変わらない」は68%となっている。
- 『減った』はいずれの年代でも女性の方が多く、特に60代では半数を占める。また、自宅での利用時間別では、10～15時間未満、15～20時間未満、20～30時間未満の層で多くなっている。

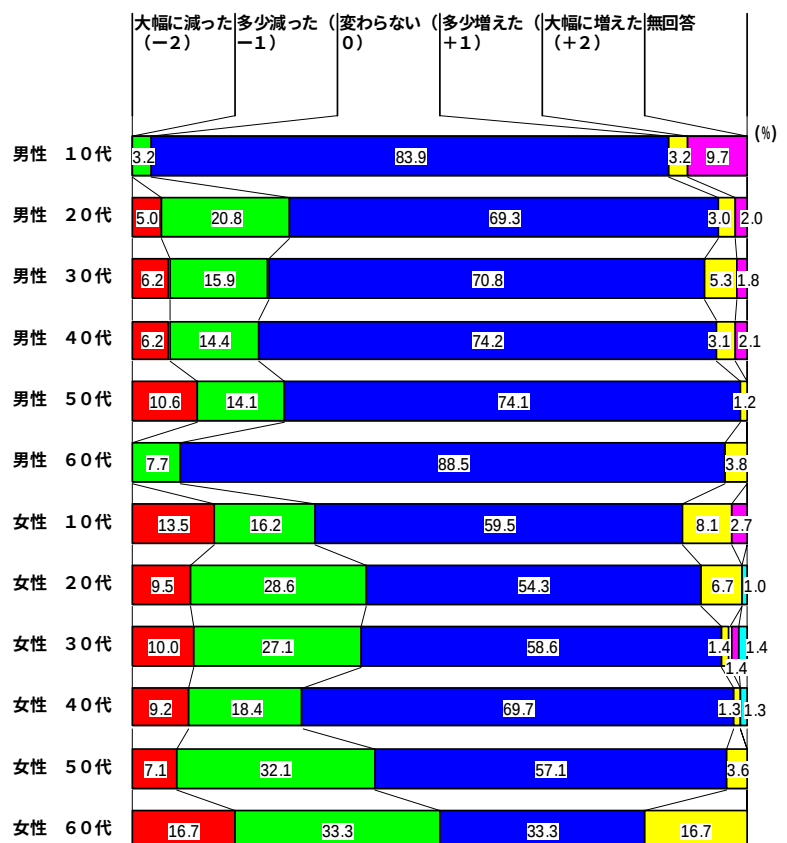
Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答え下さい。

(カ) 電話の通話時間

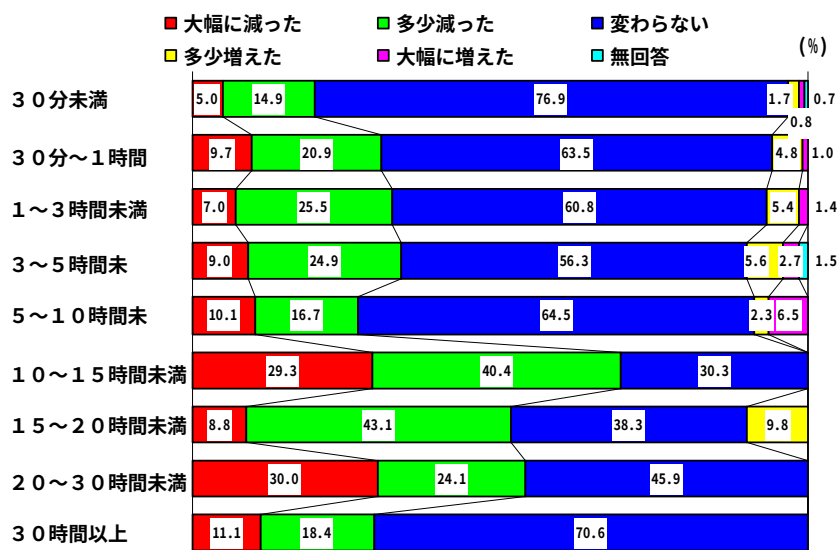
全体



男女別・年齢別



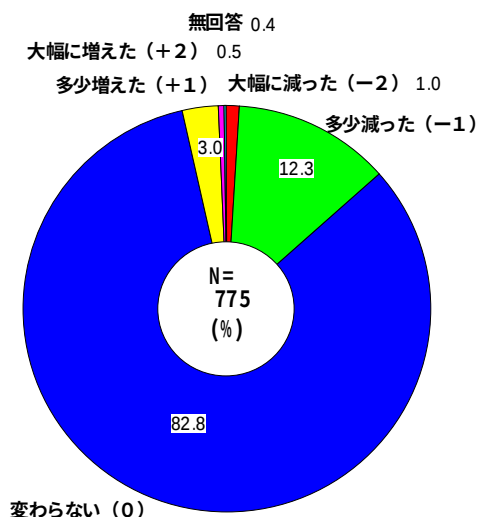
自宅での利用時間別



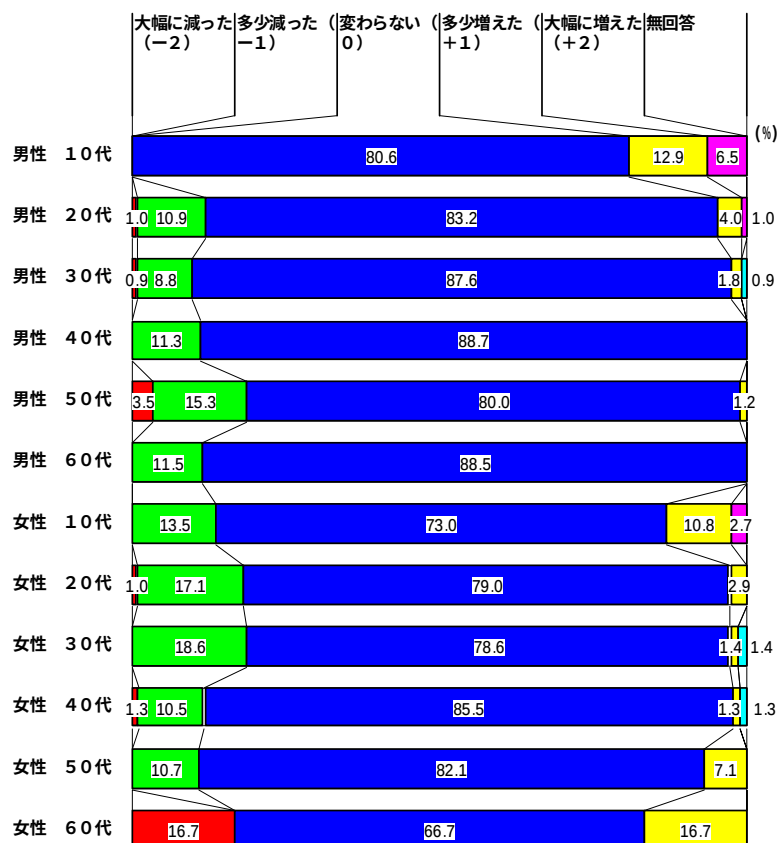
- 家族や友人と話しをする時間については、「大幅に減った」が1%、「多少減った」が12%でこれらを合わせた『減った』が13%である。「変わらない」は83%となっている。
- 『減った』は男性の50代、女性の20代と30代で多い。また、自宅での利用時間別では、10～15時間未満、30時間以上の層で多くなっている。

Q. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、で答え下さい。
(キ) 家族や友人と話しをする時間

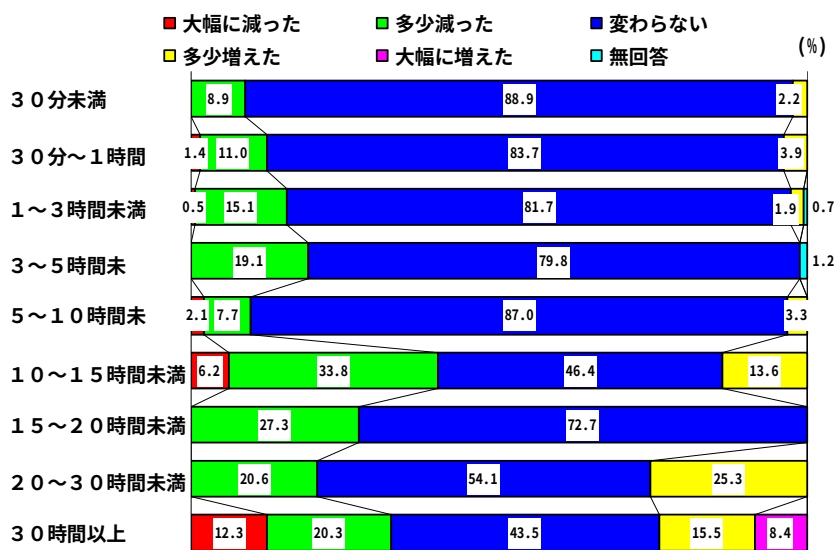
全体



男女別・年齢別



自宅での利用時間別



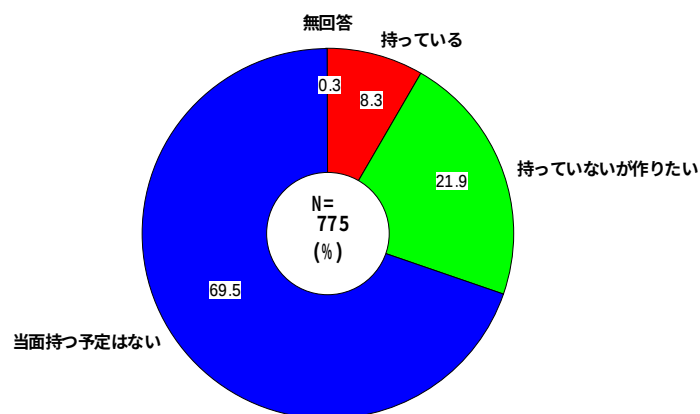
(33)自分のホームページの有無(Q32)

「持っている」8%、「持っていないが、作りたい」22%

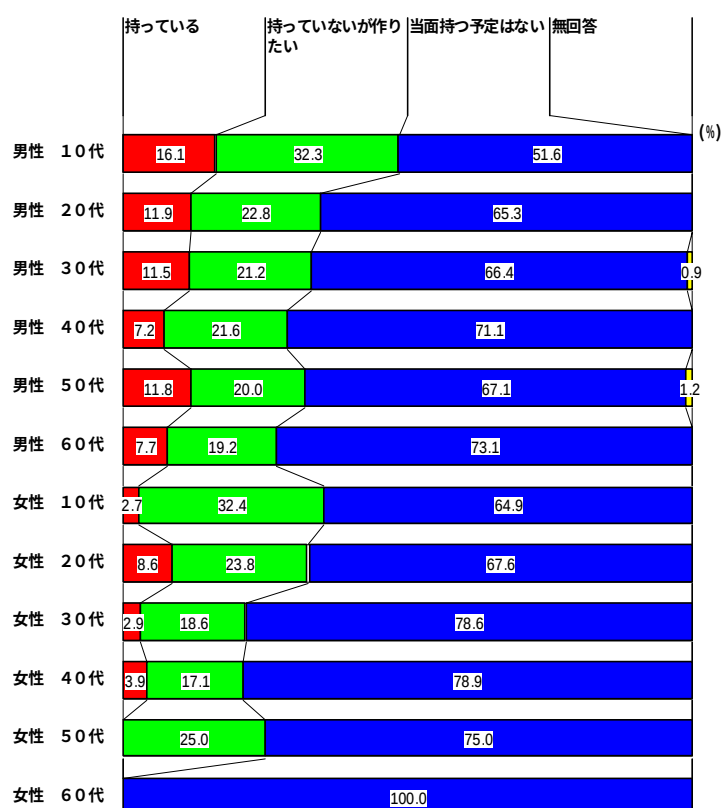
- 自分のホームページを「持っている」が8%、「持っていないが、作りたい」が22%である。一方、「当面持つ予定はない」は70%である。
- 「持っている」は女性よりも男性で多く、ホームページ作成能力やインターネットの利用年数と比例している。「持っていないが、作りたい」は、男女の10代で多く、インターネットの利用年数別では5～6年未満の層で多くなっている。

Q. あなたは、自分のホームページを持っていますか。

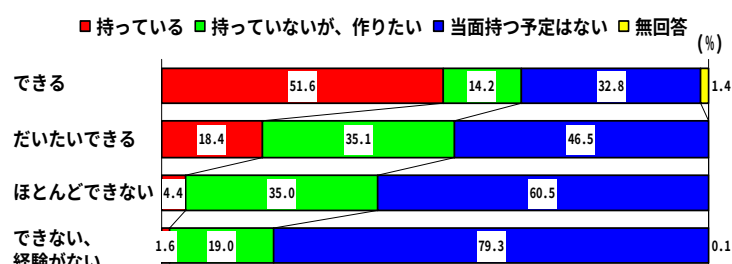
全体



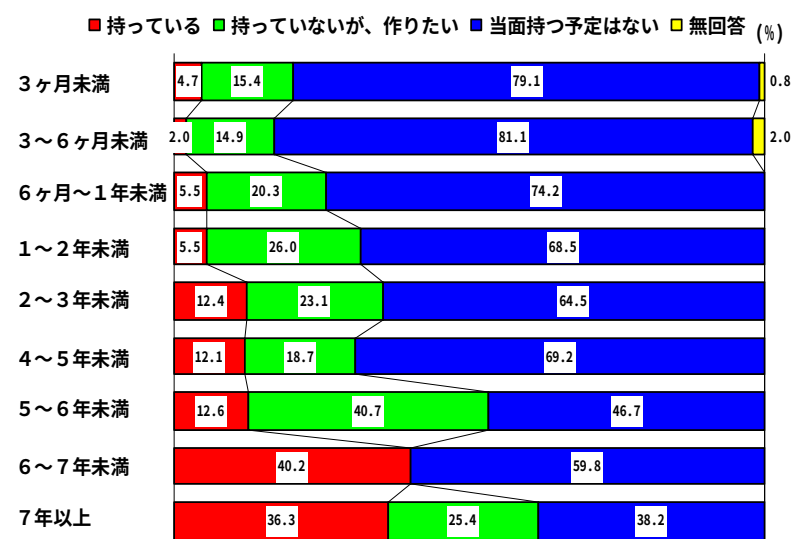
男女別・年齢別



ホームページ作成能力別



インターネットの利用年数別



[自宅で利用するグループ]

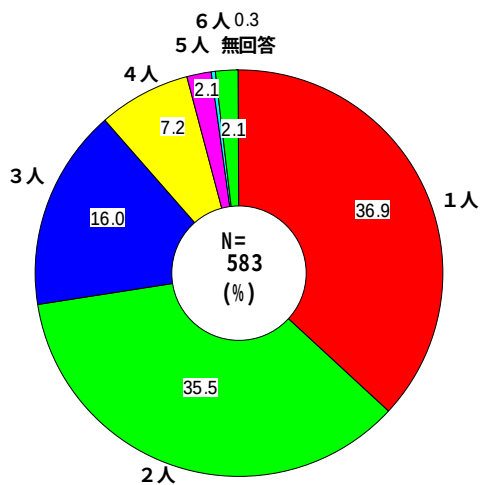
(34)同居家族のインターネット利用者数（自分含む、携帯除く）(Q34)

「1人」が37%、「2人」が36%

●インターネット利用者数は「1人」が37%、「2人」が36%である。以下、「3人」が16%、「4人」が7%となっている。

Q. 同居家族のうち、携帯電話・PHS単体以外の方法により、自宅で、インターネットを利用している方は何名いますか。あなたも人数に加えて下さい。

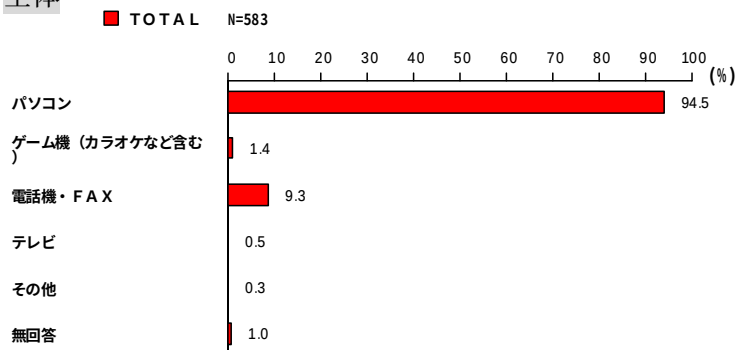
全体



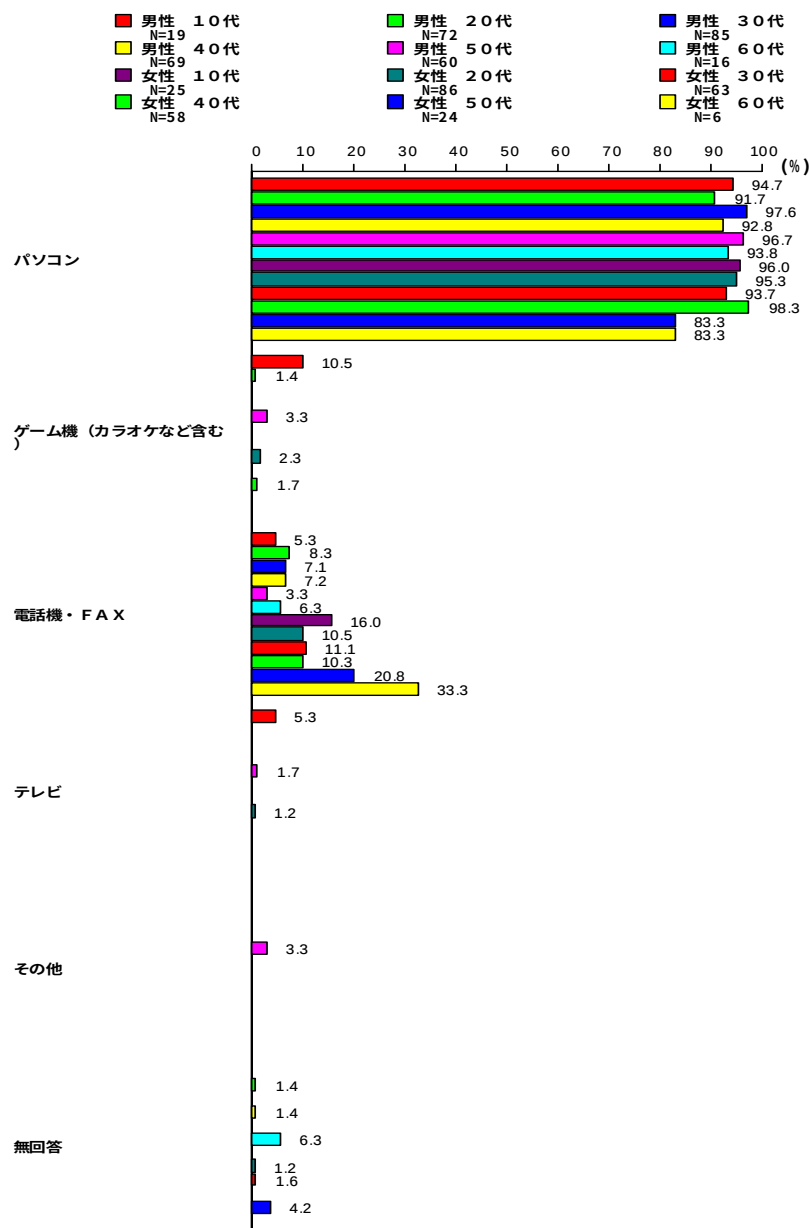
- インターネットの接続端末は「パソコン」が95%を占め、圧倒的に多い。「電話機・FAX」が9%、「ゲーム機(カラオケなど含む)」が1%となっている。
- 「パソコン」は女性の50代と60代を除くいずれの年代でも9割を越えている。「電話機・FAX」は女性の60代で多い。

Q. 自宅で何を使ってインターネット接続をしていますか。（携帯電話・PHSは除きます）（○はいくつでも）

全体



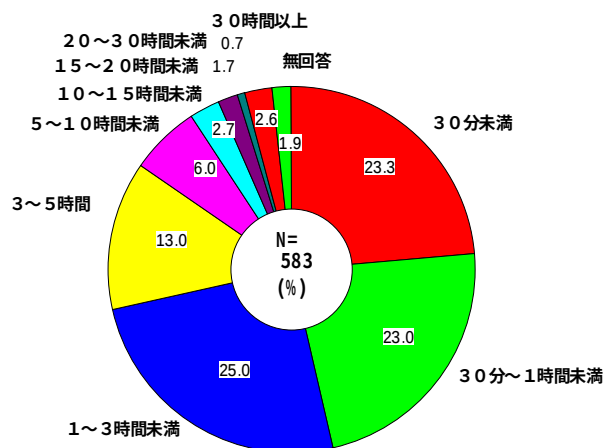
男女別・年齢別



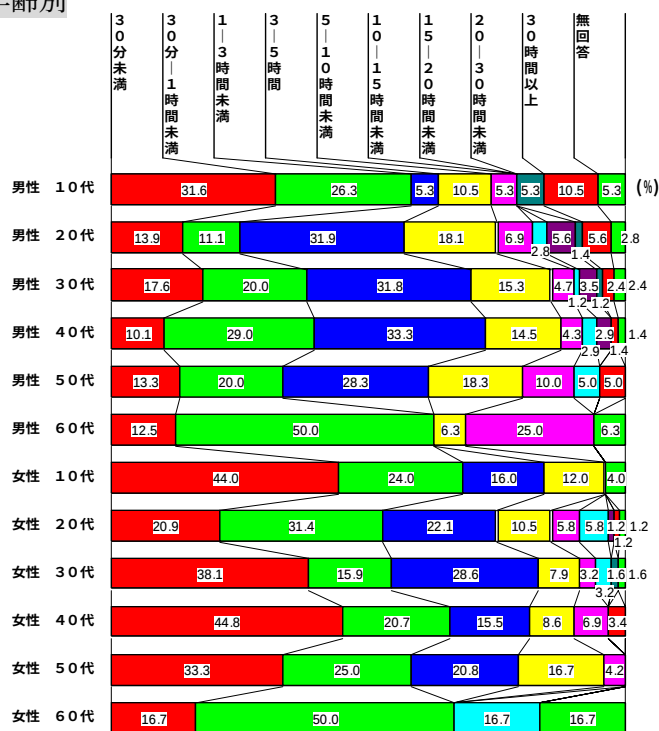
- 自宅でのインターネット利用時間数は「30 分未満」が 23%、「30 分～1 時間未満」が 23%、「1～3 時間未満」が 25%、「3～5 時間未満」が 13%となっている。
- 利用時間は女性よりも男性で多く、利用日数別では利用日数が多いほど利用時間も多くなる傾向がみられる。インターネットの利用年数別では、利用年数に比例して利用時間も多くなる傾向がみられるが、6～7 年未満の層で利用時間が多い。現在の接続方式別では、常時接続の方が利用時間が多くなっている。

Q. あなたは、自宅で、一週間、どのくらいインターネットを利用しますか。（携帯・PHS 単体による利用は除きます）

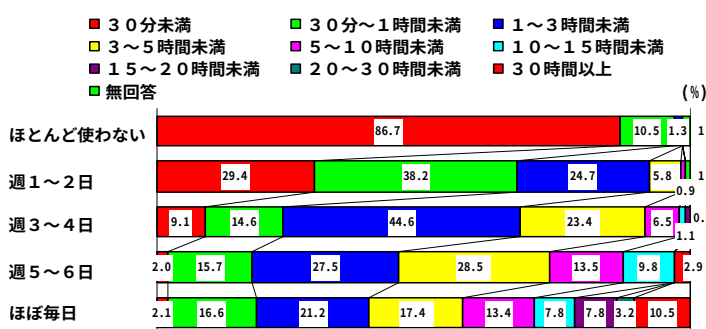
全体



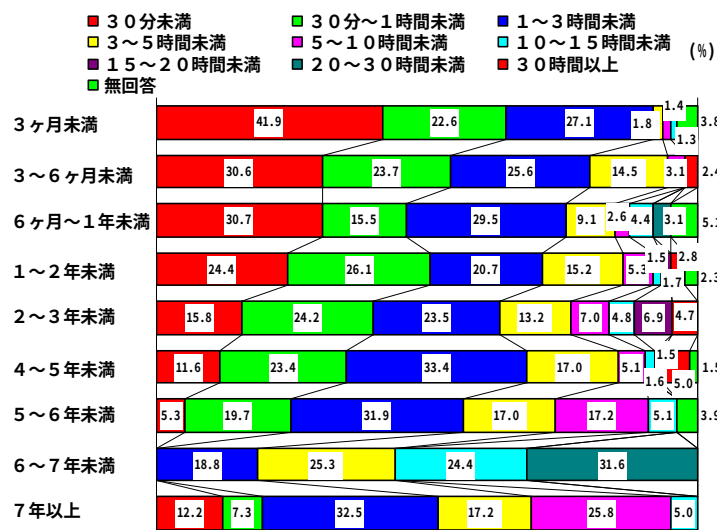
男女別・年齢別



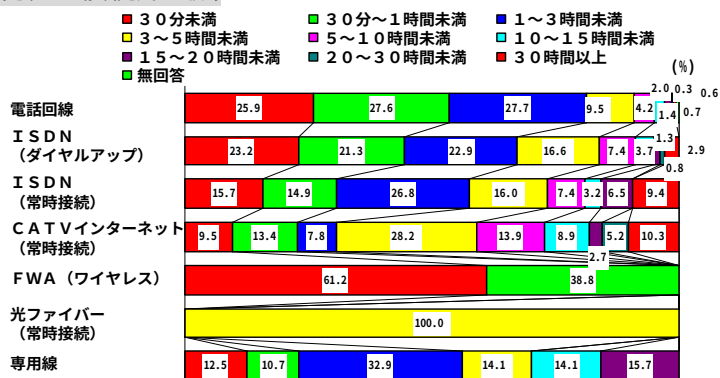
利用日数別



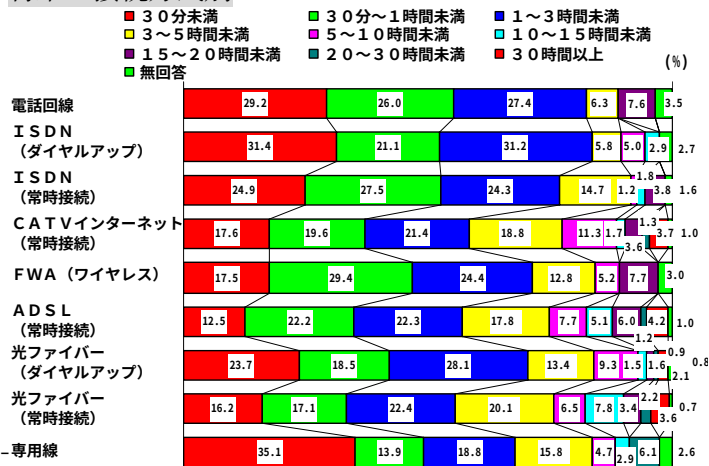
インターネットの利用年数別



現在の接続方式別



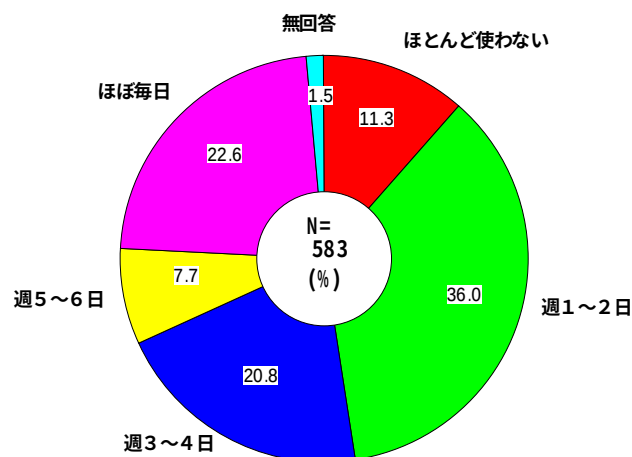
将来の接続方式別



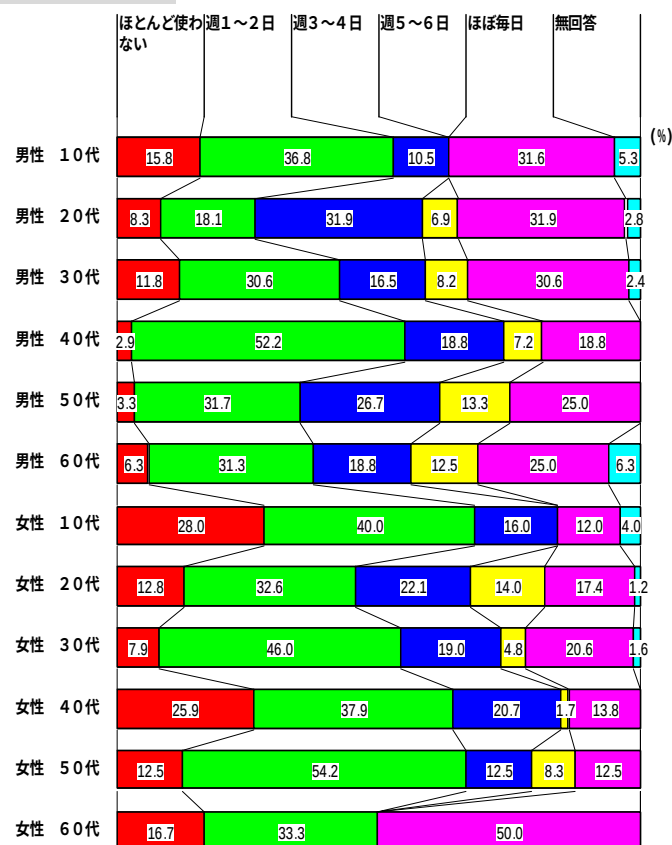
- 自宅でのインターネット利用日数は「ほとんど使わない」が11%、「週1～2日」が36%、「週3～4日」が21%、「週5～6日」が8%、「ほぼ毎日」が23%となっている。
- 利用日数は女性よりも男性で多く、男性の10代から30代では「ほぼ毎日」が3割を超える。インターネットの利用年数別では、利用年数に比例して利用日数も多くなる傾向がみられるが、6～7年未満の層で「ほぼ毎日」が多い。現在の接続方式別では、常時接続の方が利用日数が多くなっている。

Q. あなたは、自宅で、1週間平均、何日どのくらいインターネットを利用しますか。（携帯・PHS単体による利用は除きます）

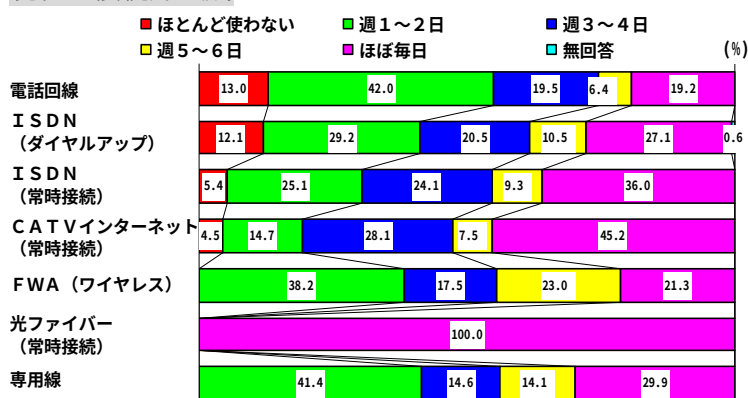
全体



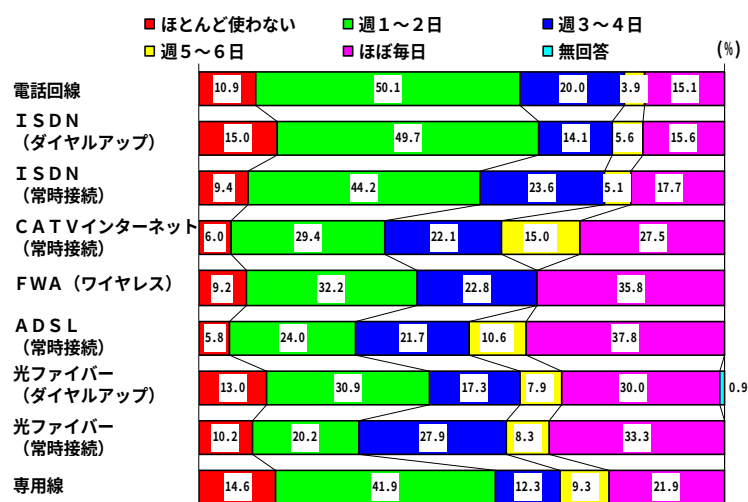
男女別・年齢別



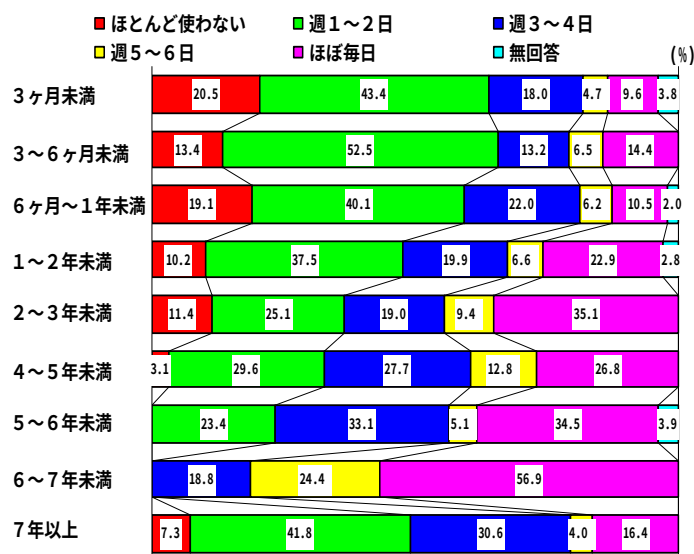
現在の接続方式別



将来の接続方式別



インターネットの利用年数別



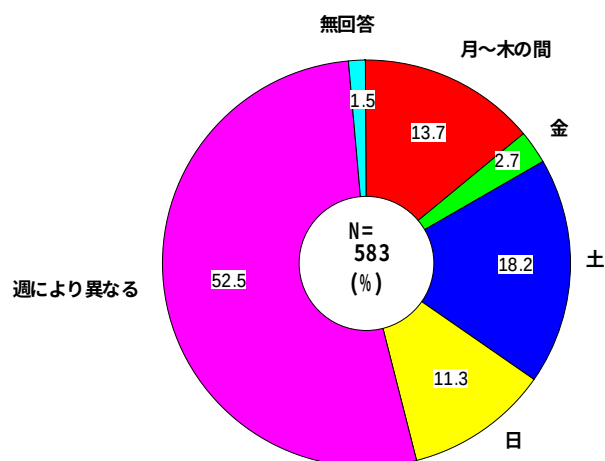
(38) 自宅でのインターネット利用曜日（携帯除く）（Q44）

「週により異なる」が半数強

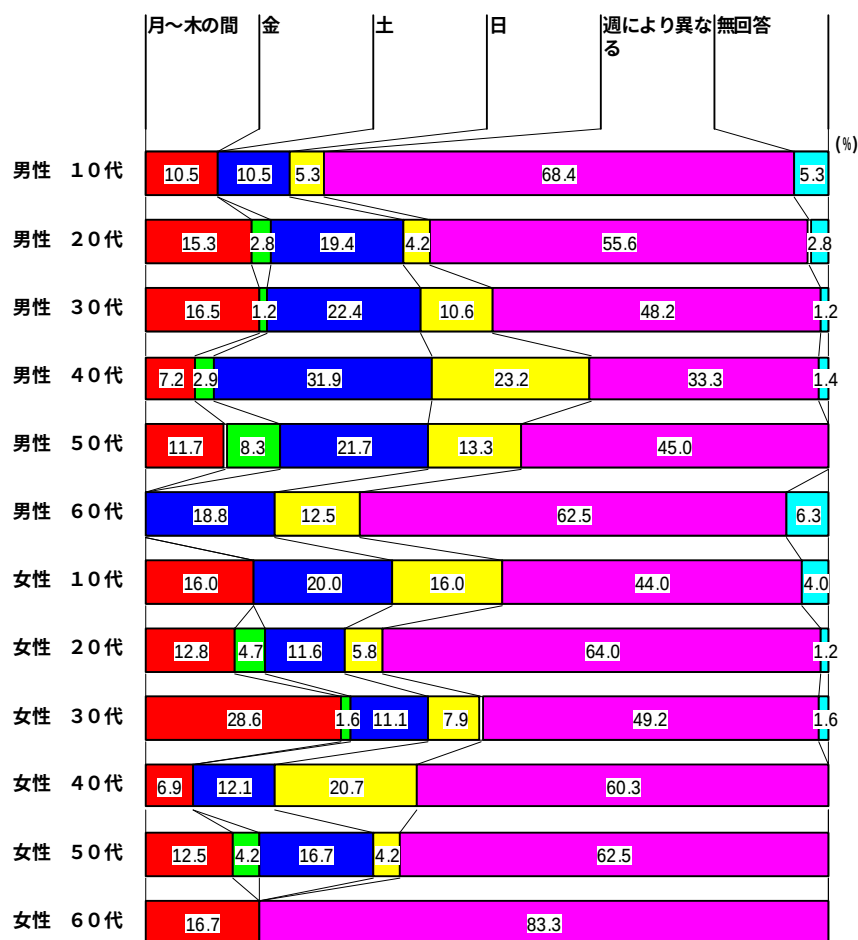
- 自宅でのインターネット利用曜日は「週により異なる」が53%を占める。特定の曜日では、「月～木の間」が14%、「金」が3%、「土」が18%、「日」が11%となっている。
- 「週により異なる」は男性の10代と60代、女性の20代と40代から60代で6割を超える。男性の40代では「土」、「日」が多く、女性の30代では「月～木の間」が多くなっている。

Q. あなたは、自宅で、どの曜日にインターネットを一番多く利用しますか。（○は1つ）

全体



男女別・年齢別



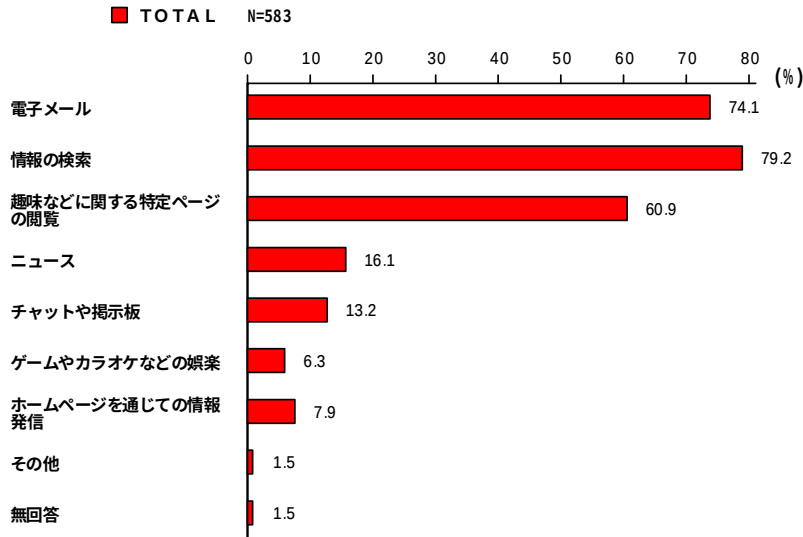
(39) 自宅でのインターネット利用目的（EC 除く）（Q45）

「情報の検索」79%、「電子メール」74%

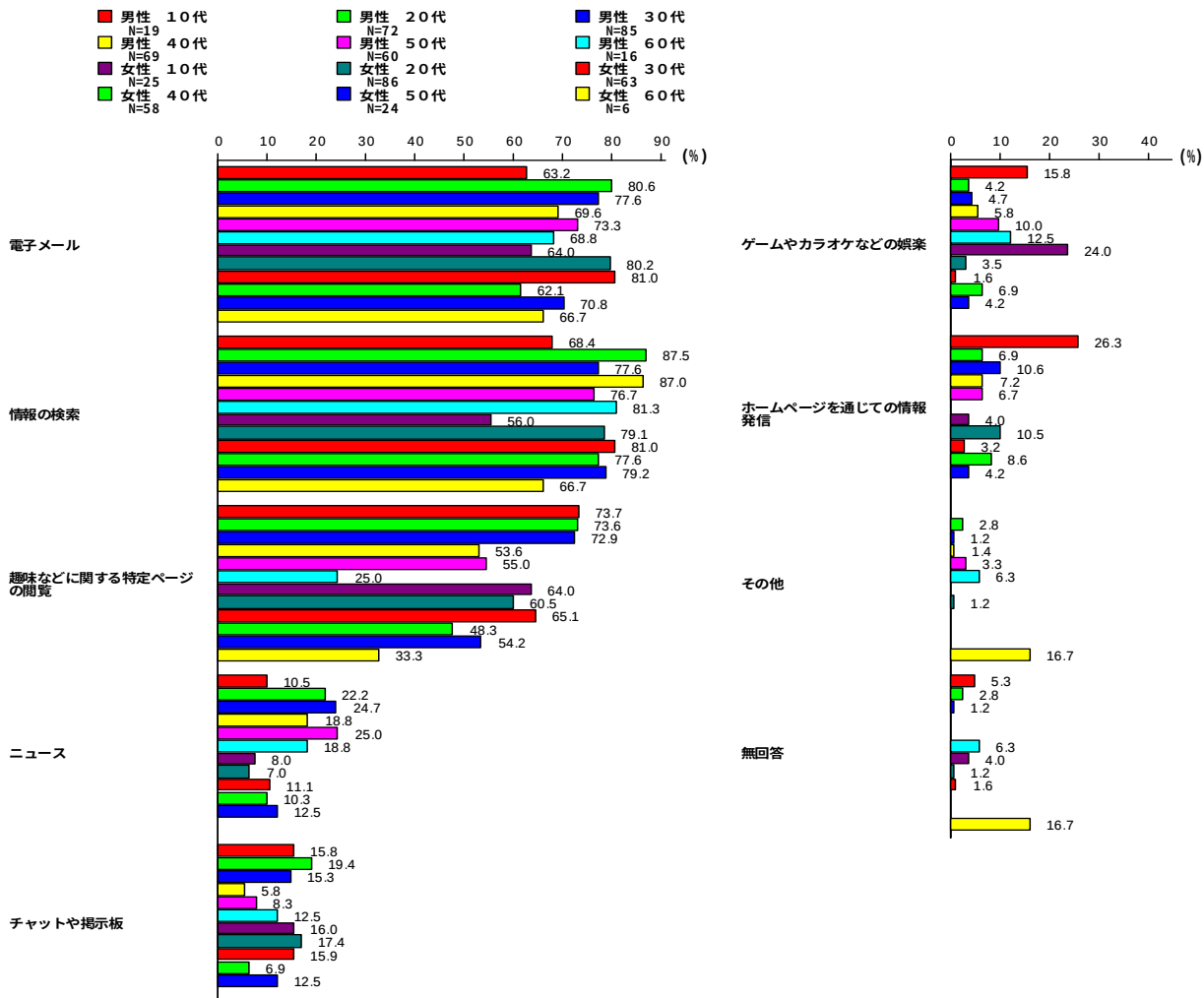
- 自宅でのインターネット利用目的としては「情報の検索」79%、「電子メール」74%、「趣味などに関する特定ページの閲覧」61%が主なものとしてあげられる。
- 「情報の検索」は男性の20代と40代で多く、「趣味などに関する特定ページの閲覧」は男性の10代から30代で多くなっている。また、「ゲームやカラオケなどの娯楽」は女性の10代で、「ホームページを通じての情報発信」は男性の10代が多い。

Q. あなたは、自宅でインターネットを利用する場合、どのようなサービスを利用していますか。（物品やチケット購入などは除きます）（○はいくつでも）

全体



男女別・年齢別

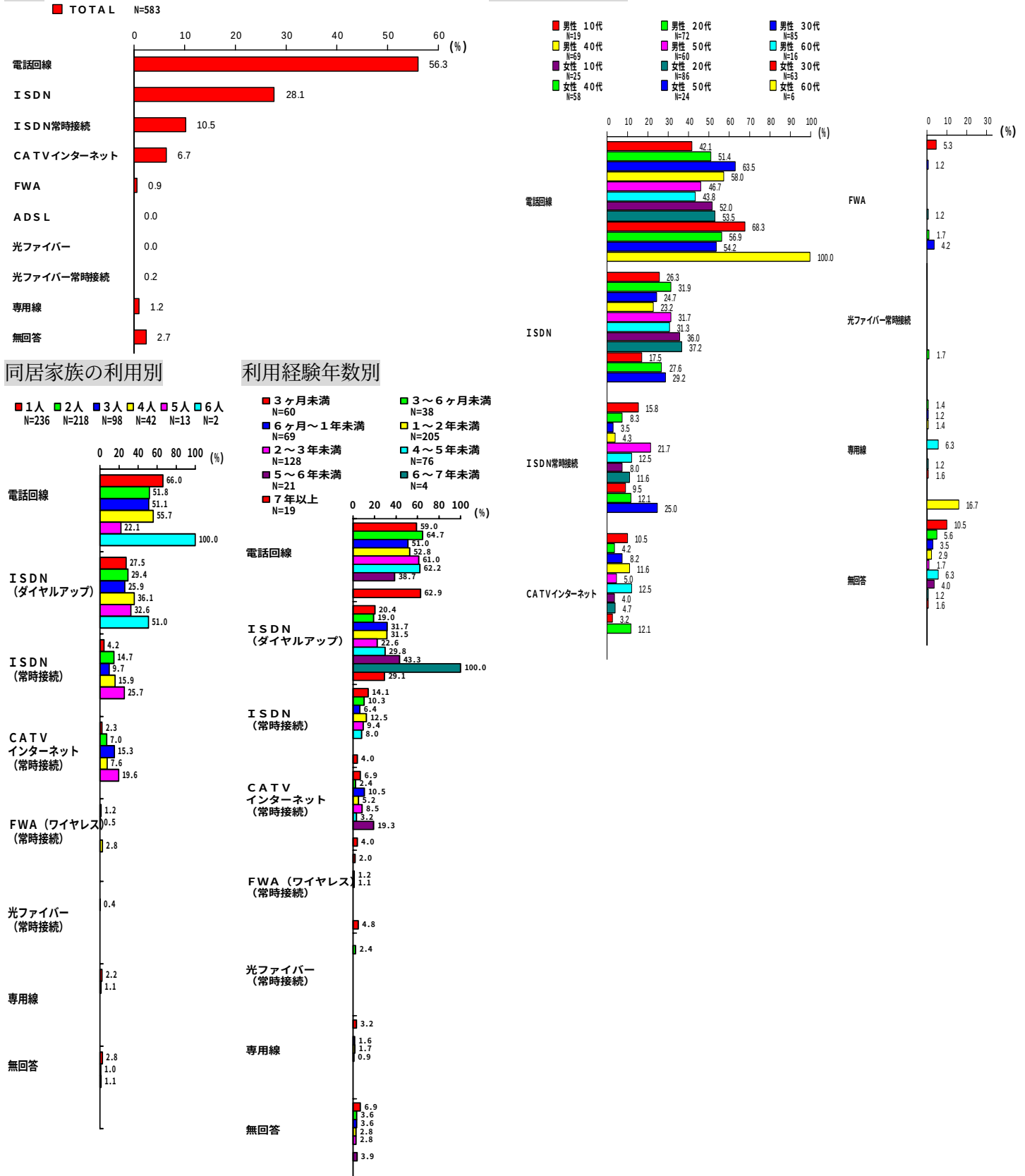


- 現在の接続方式としては「電話回線」が56%で最も多く、「ISDN（ダイヤルアップ）」が28%、「ISDN（常時接続）」が11%となっている。
- 「電話回線」は男女の30代と女性の60代で、「ISDN（常時接続）」は男女ともに50代で多くなっている。

Q. あなたは、現在、自宅でどのような方法でインターネットに接続していますか。また、今後、どの接続方式を利用したいですか。
 現在、今後それぞれについてお答えください。（○はいくつでも）
 なお、（ ）内の時間は5分程度の音楽をコンピューターに取り入れるために必要なおおよその時間です。

全体

男女別・年齢別



(41) 将来希望する接続方式（携帯除く）(Q36-2)

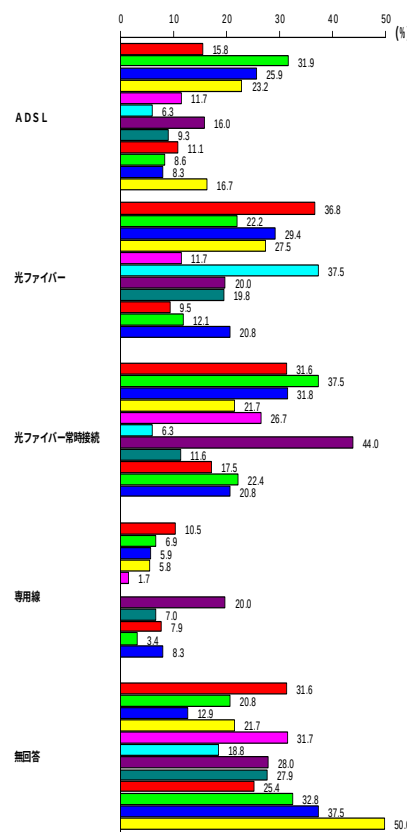
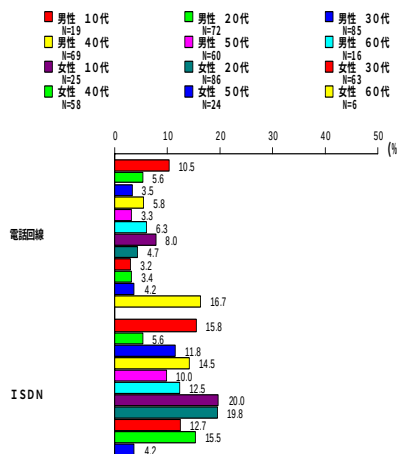
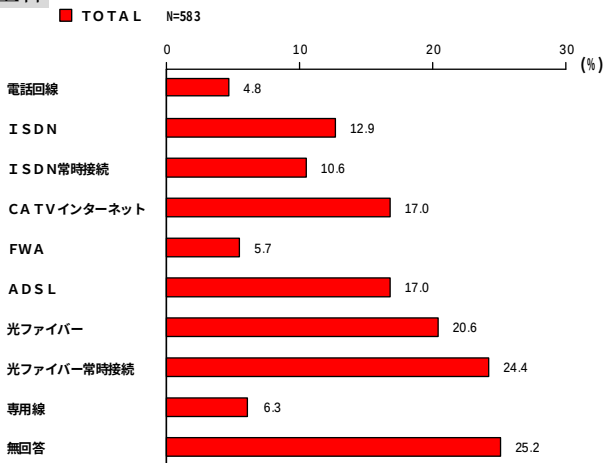
「光ファイバー（常時接続）」24%、「光ファイバー（ダイヤルアップ）」21%

- 将来希望する接続方式としては「光ファイバー（常時接続）」が24%で最も多く、以下、「光ファイバー（ダイヤルアップ）」が21%、「CATVインターネット（常時接続）」と「ADSL（常時接続）」が17%となっている。
- 「光ファイバー（常時接続）」は女性の10代で、「光ファイバー（ダイヤルアップ）」は男性の10代と60代で、「ADSL（常時接続）」は男性の20代から40代で多くなっている。

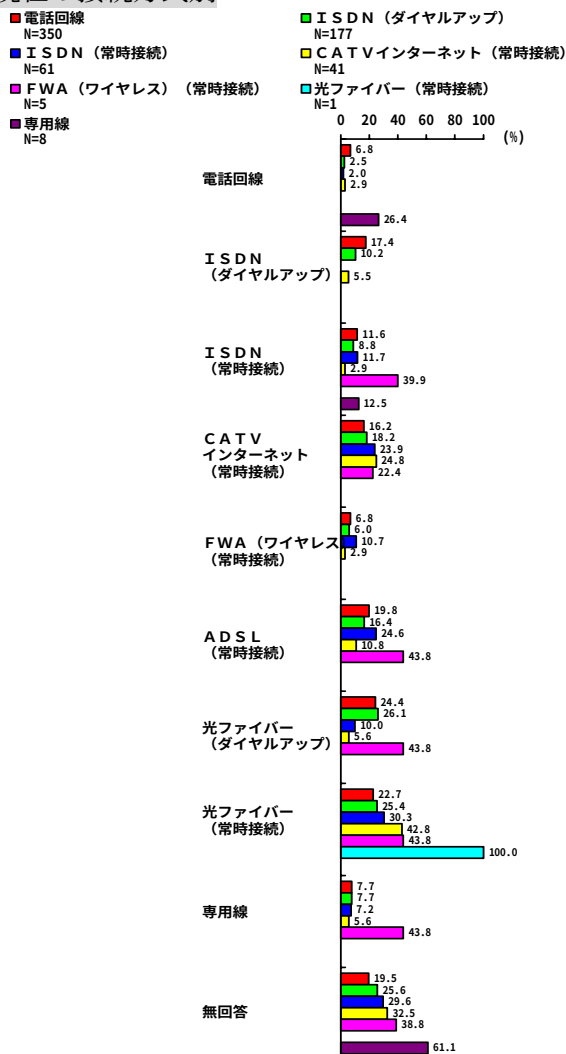
Q. あなたは、現在、自宅でどのような方法でインターネットに接続していますか。また、今後、どの接続方式を利用したいですか。
現在、今後それぞれについてお答えください。（○はいくつでも）
なお、（ ）内の時間は5分程度の音楽をコンピューターに取り入れるために必要なおおよその時間です。

全体

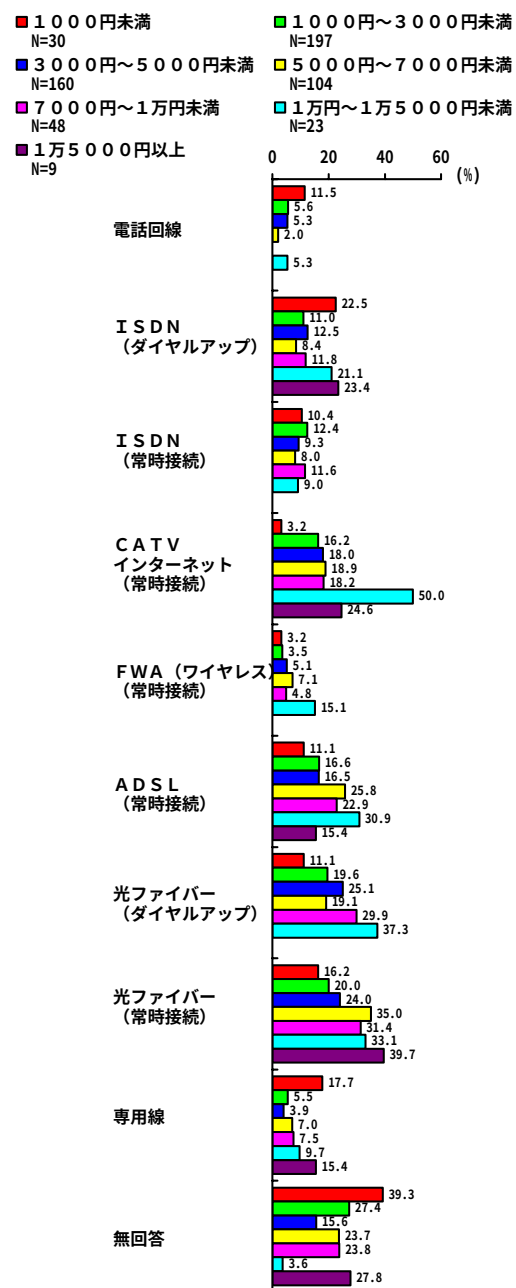
男女別・年齢別



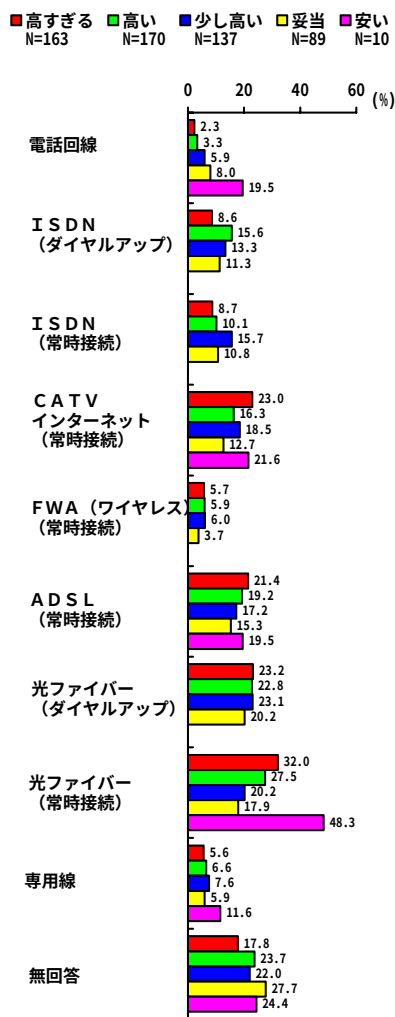
現在の接続方式別



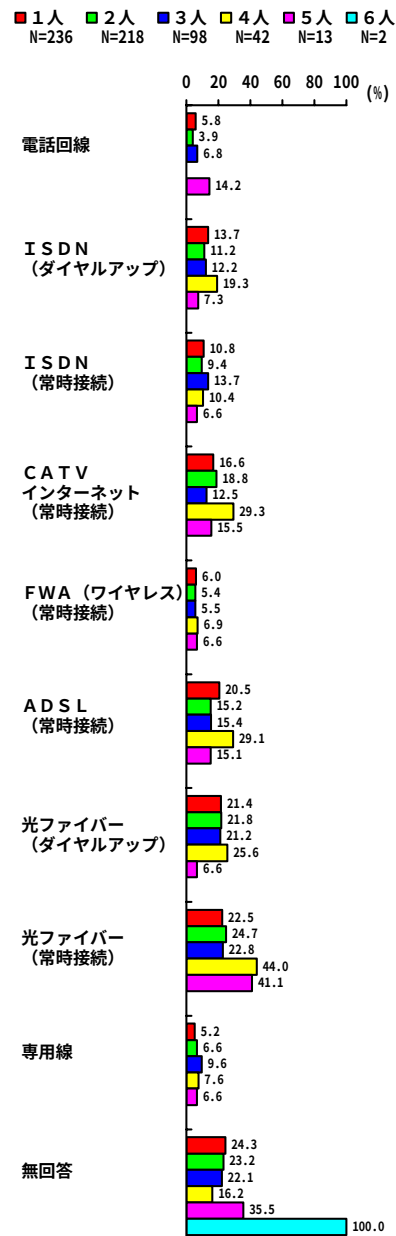
支払い料金別



支払い料金に対する評価別



同居家族の利用別



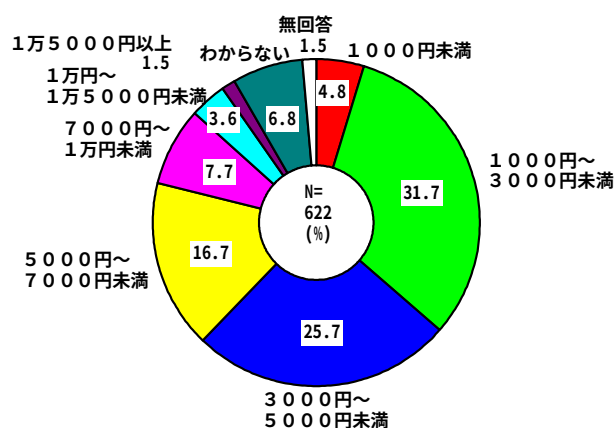
(42) 現在のインターネットへの支払い料金（携帯除く）(Q37)

「1000 円～3000 円未満」が 32%、「3000 円～5000 円未満」が 26%

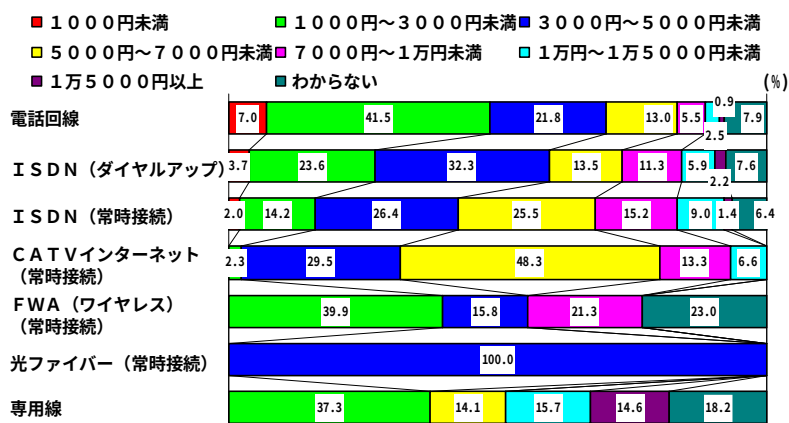
- 現在のインターネットへの支払い料金は「1000 円～3000 円未満」が 32%で最も多く、以下、「3000 円～5000 円未満」が 26%、「5000 円～7000 円未満」が 17%となっている。
- 現在の接続方式別では、電話回線、FWA（ワイヤレス）、専用線の層で「1000 円～3000 円未満」が多く、CATV インターネットと ISDN（常時接続）の層で「5000 円～7000 円未満」が多くなっている。同居家族の利用別では、利用人数が多い層で支払い料金も高くなる傾向がみられる。

Q. あなたは、自宅でのインターネット利用により、一ヶ月当たり、インターネット接続のためだけに、すべて併せて、どのくらいの通信料金（接続料金、通話料など）を支払っていますか。（世帯当たりの通信料金です。携帯電話・PHSでの利用代金やサービス開始時の工事代などは含みません。）

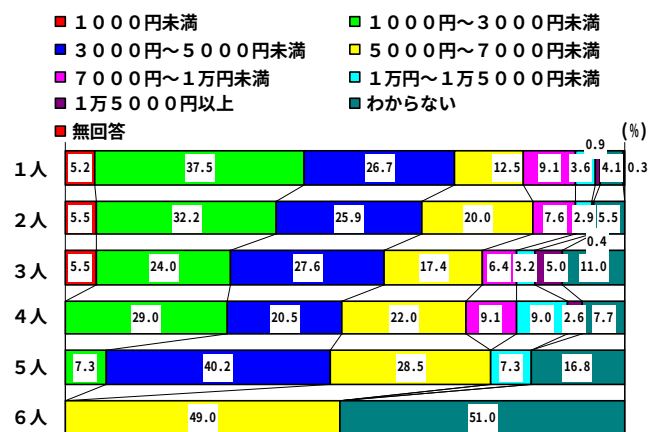
全体



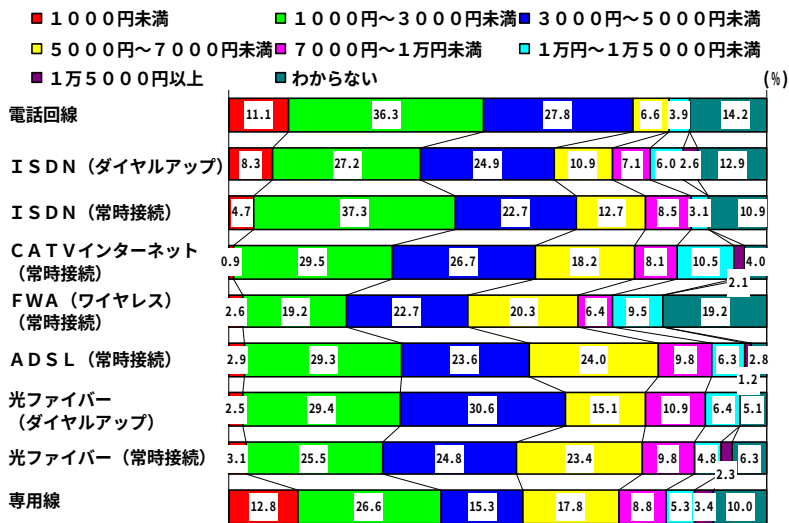
現在の接続方式別



同居家族の利用別



将来の接続方式別



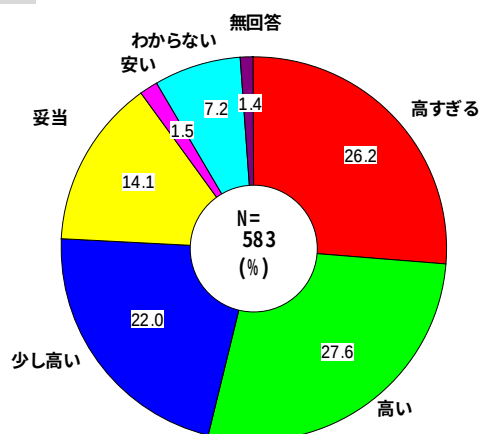
(43) 現在のインターネットへの支払い料金への評価（携帯除く）(Q38)

『高い』が4人に3人

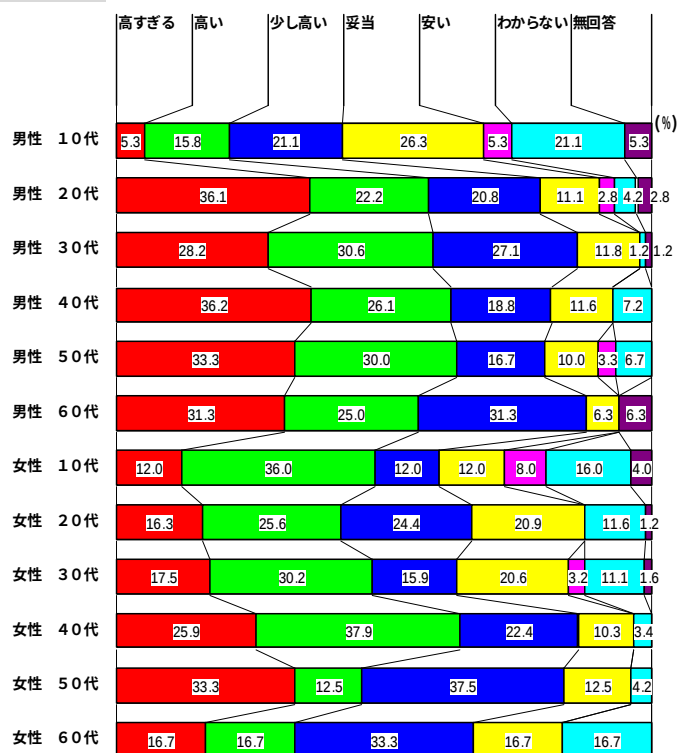
- 現在のインターネットへの支払い料金への評価は「高すぎる」が26%、「高い」が28%、「少し高い」が22%と、4人に3人が『高い』と感じている。
- 『高い』は男性の20代から60代と女性の40代で多い。現在の接続方式別では、ISDN（ダイヤルアップ）と専用線の層で「高すぎる」が多く、世帯あたり通信料金別では、支払い料金が高い層で『高い』と感じる人が多くなる傾向がみられる。

Q. あなたは、現在自宅で使っているインターネット接続サービスを考えた場合、インターネット接続にかかる通信料金(接続料金、通信料など)をどのように思いますか。

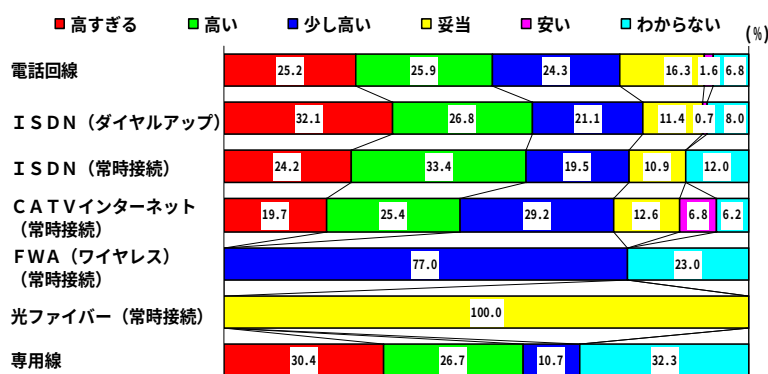
全体



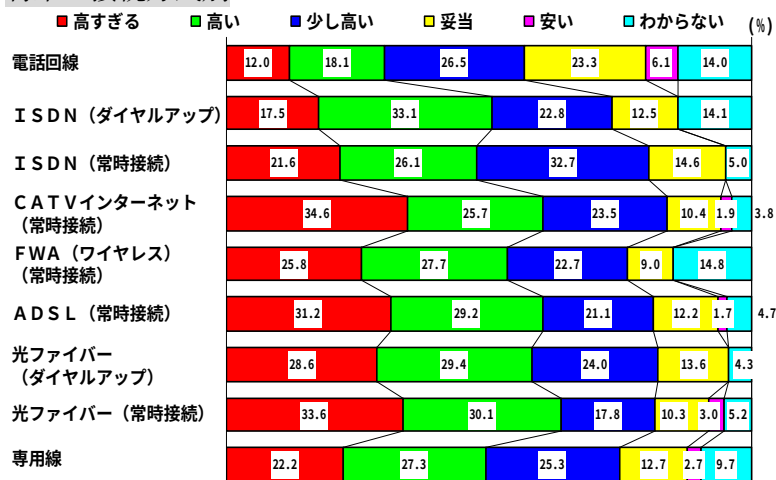
男女別・年齢別



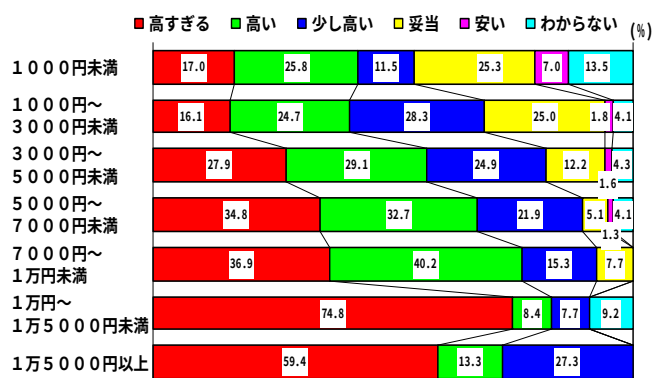
現在の接続方式別



将来の接続方式別



世帯あたり通信料金別



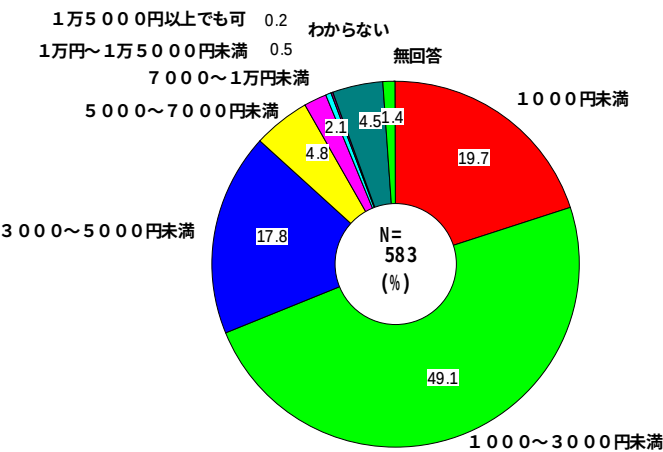
(44) 望ましい料金（携帯除く）(Q39)

「1000 円～3000 円未満」が半数

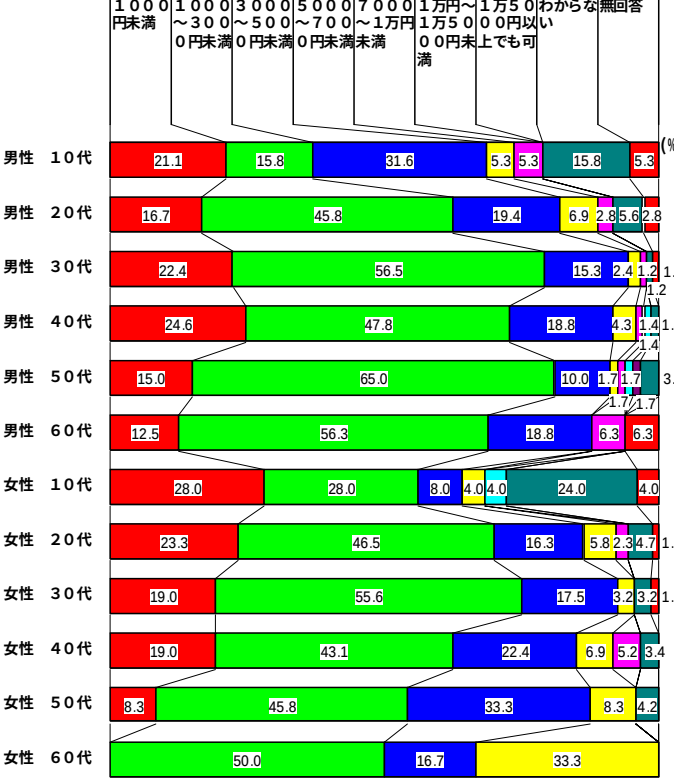
- 望ましい料金は「1000 円～3000 円未満」が 49%を占め、「1000 円未満」が 20%、「3000 円～5000 円未満」が 18%となっている。
- 「1000 円～3000 円未満」は、男性の 30 代、50 代、60 代、女性の 30 代で多く、個人収入別では 400～500 万円未満と 900 万円以上の層、世帯収入別では 400～500 万円未満、500～700 万円未満、1300～1500 万円未満と 1500 万円～200 万円未満の世帯で多い。世帯あたり通信料金別では現在の通信料金と同額か低い金額帯を希望する人が多くなっている。

Q. あなたが自宅で利用する場合、サービスの内容や自分の収入を考えると、インターネット接続のためだけに必要となる一ヶ月当たりの通信料金（接続料金、通話料など）の総額として、望ましい料金はいくらくらいですか。（世帯当たりの通信料金です。携帯・PHSでの利用代金やサービス開始時の工事代などは含みません。）

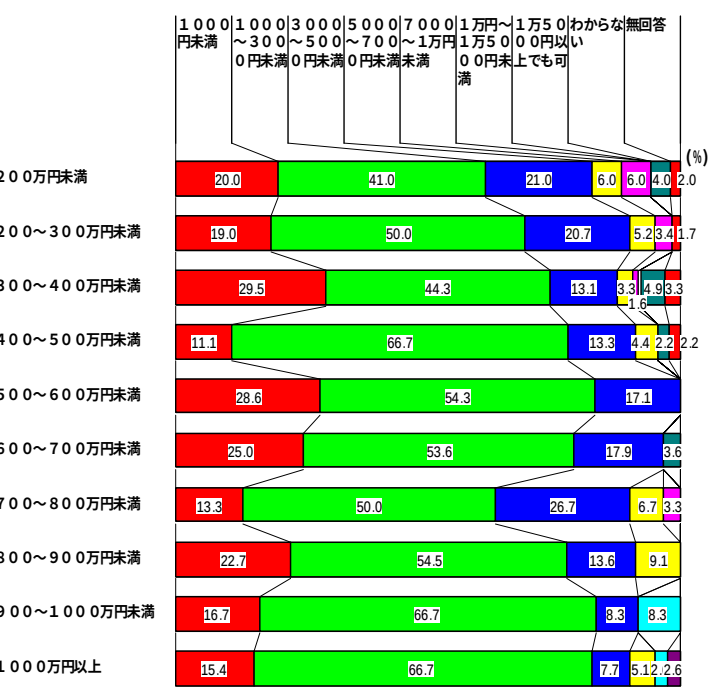
全体



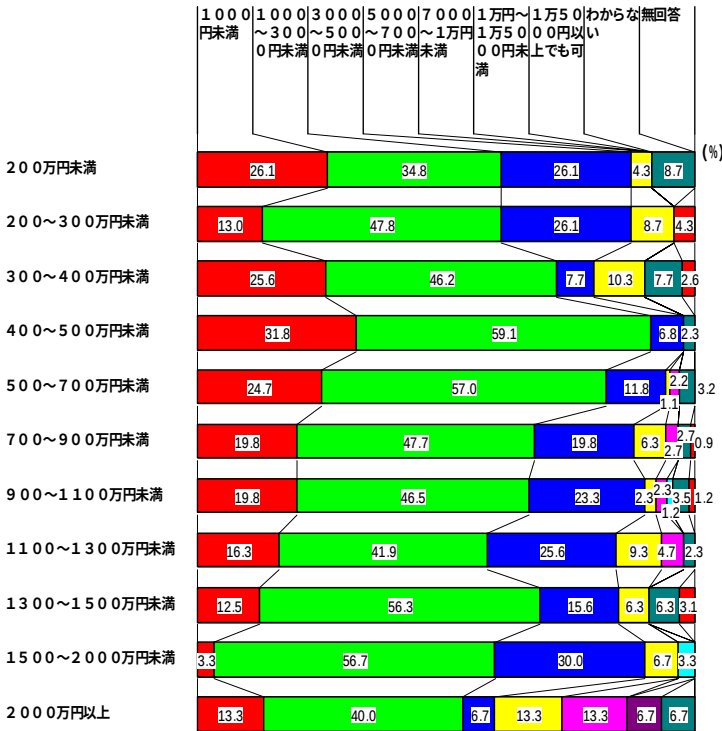
男女別・年齢別



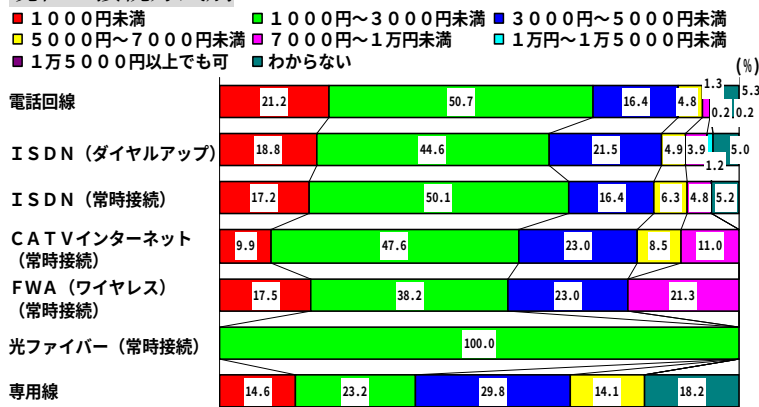
個人収入別



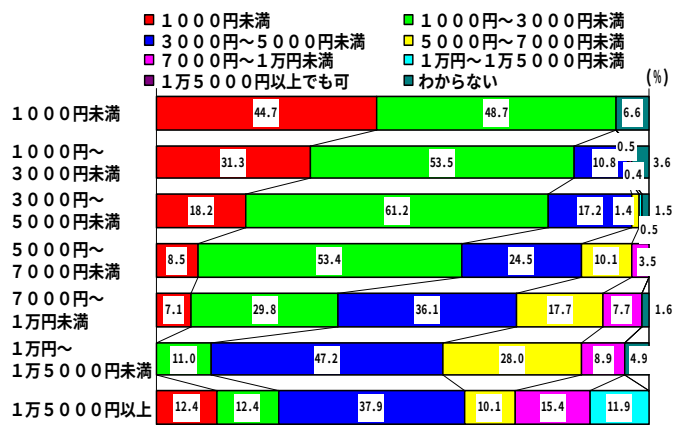
世帯収入別



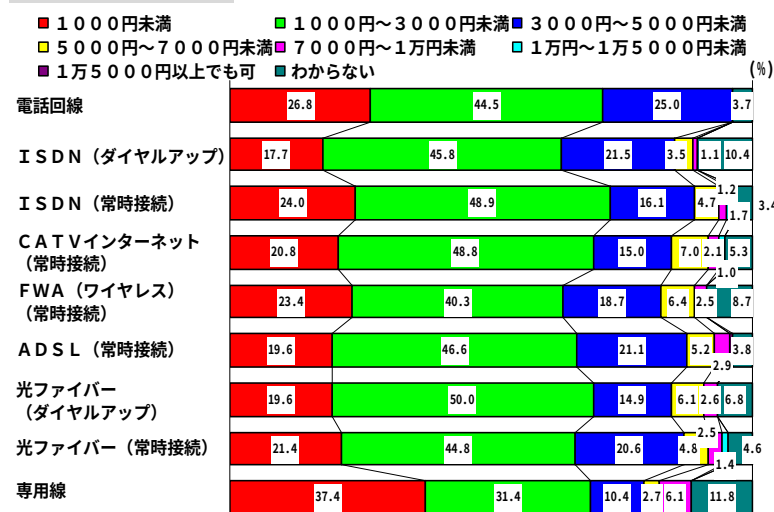
現在の接続方式別



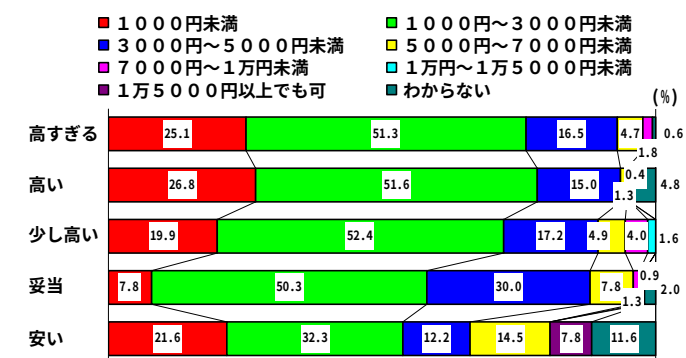
世帯あたり通信料金別



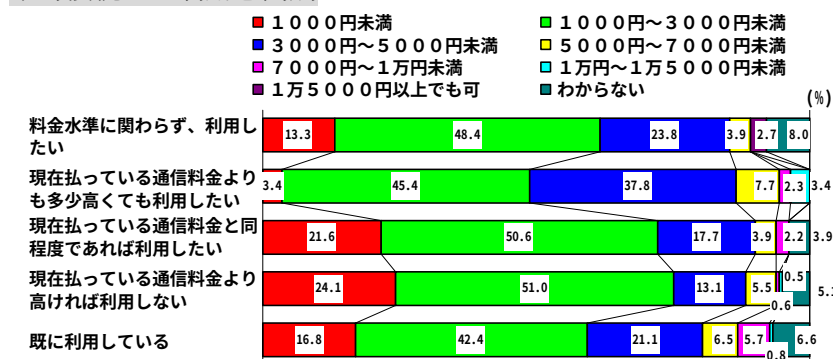
将来の接続方式別



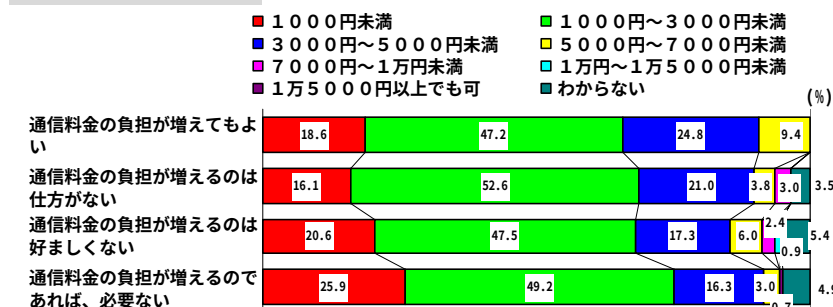
支払い料金に対する評価別



常時接続への利用意向別



ブロードバンド化別



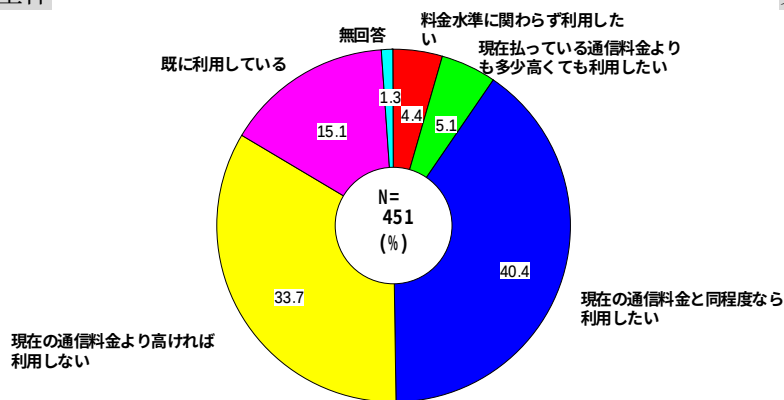
(45) 常時接続インターネットの利用意向(Q40)

「現在と同程度の料金なら利用したい」が4割

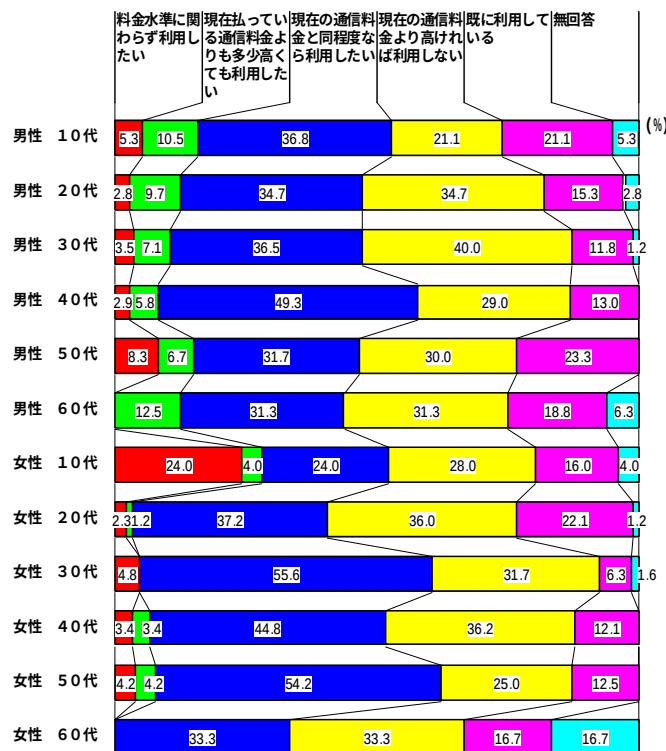
- 常時接続インターネットの利用意向は「現在払っている通信料金と同程度の料金であれば利用したい」が40%、「現在払っている通信料金より高ければ利用しない」が34%となっている。「既に利用している」は15%である。
- 「現在払っている通信料金と同程度の料金であれば利用したい」は女性の30代と50代で多い。自宅での利用時間、自宅での利用日数はいずれも多い層で「既に利用している」の割合が多く、利用時間、利用日数が少ない層では「現在払っている通信料金より高ければ利用しない」の割合が多くなっている。世帯あたり通信料金別では1000円～3000円未満の層で「現在払っている通信料金と同程度の料金であれば利用したい」が多い。ブロードバンド化別では通信料金の負担増に対する考え方と常時接続の利用意向に関連がみられる。

Q. あなたは、自宅で、通話料金が定額で接続し放題のインターネットの接続を利用したいと思いますか。

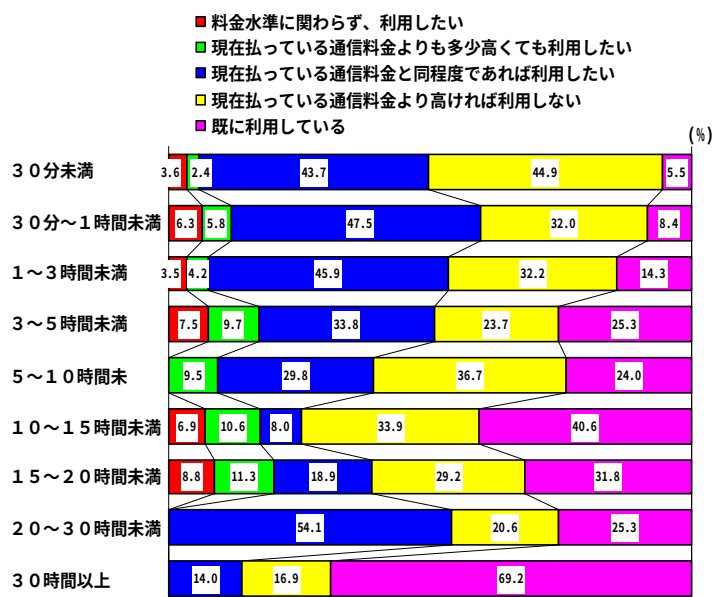
全体



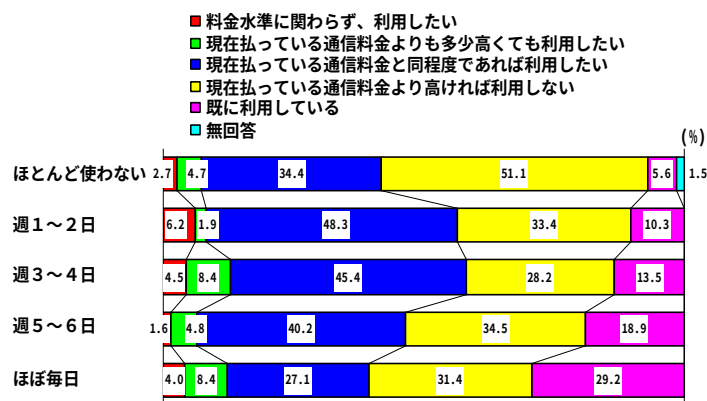
男女別・年齢別



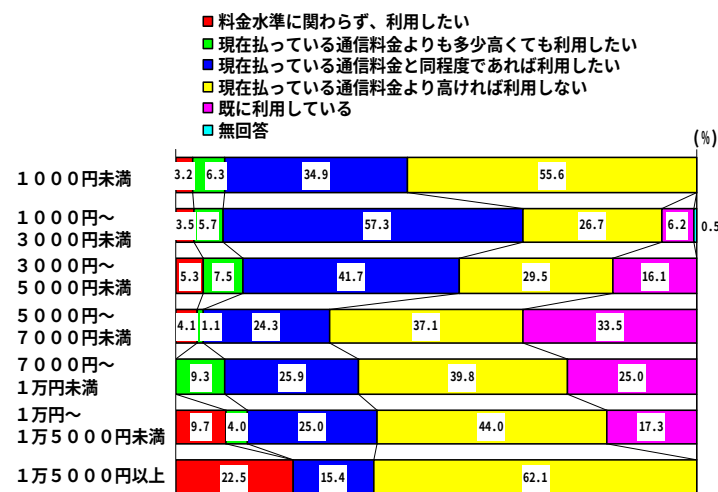
自宅での利用時間別



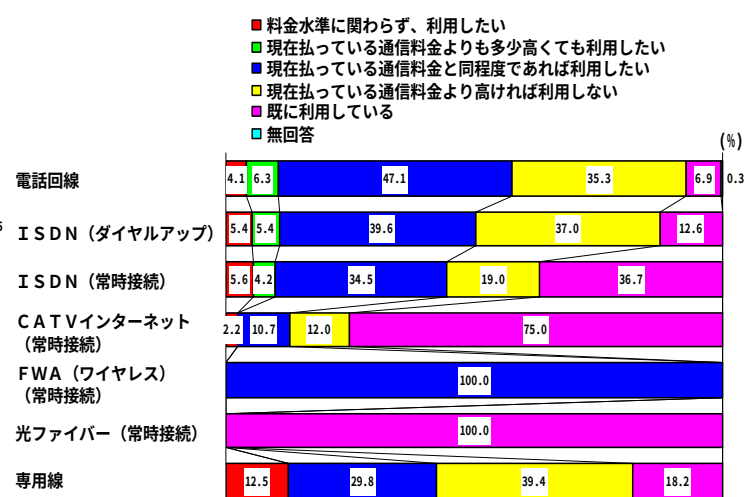
自宅での利用日数別



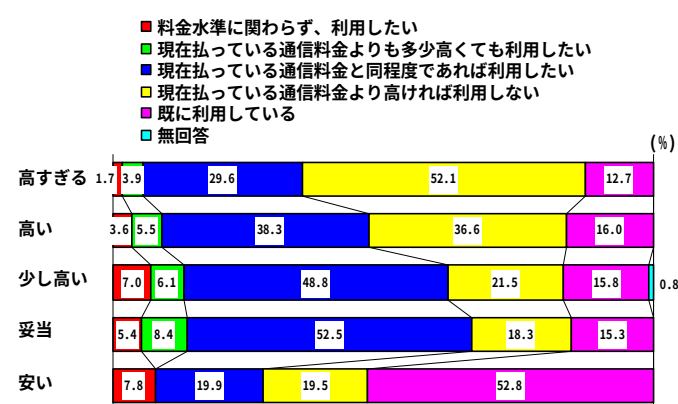
世帯あたり通信料金別



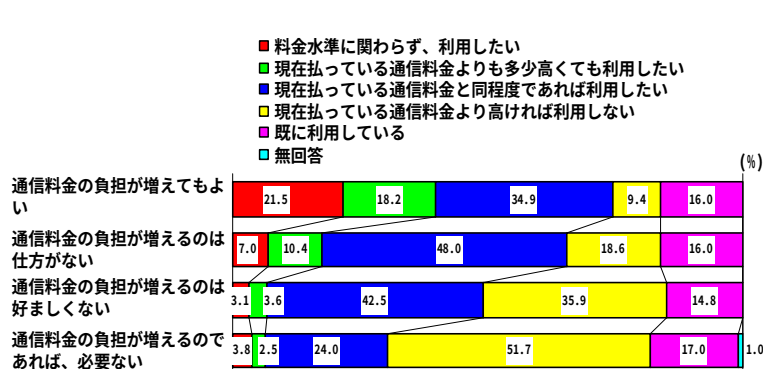
現在の接続方式別



支払い料金に対する評価別



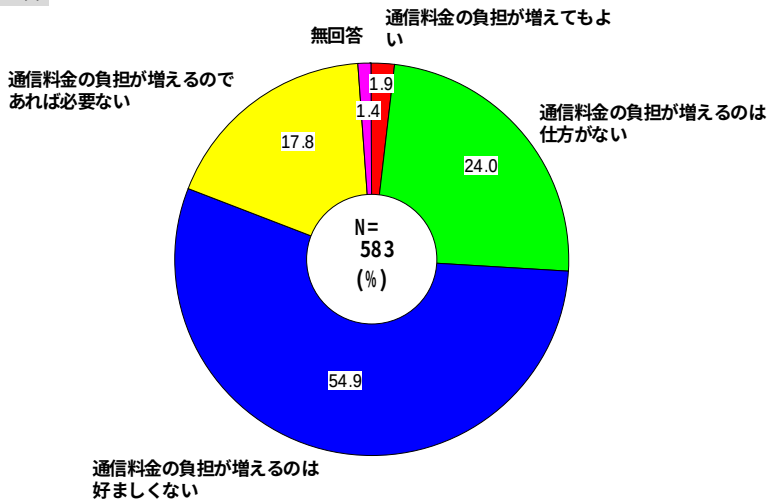
ブロードバンド化別



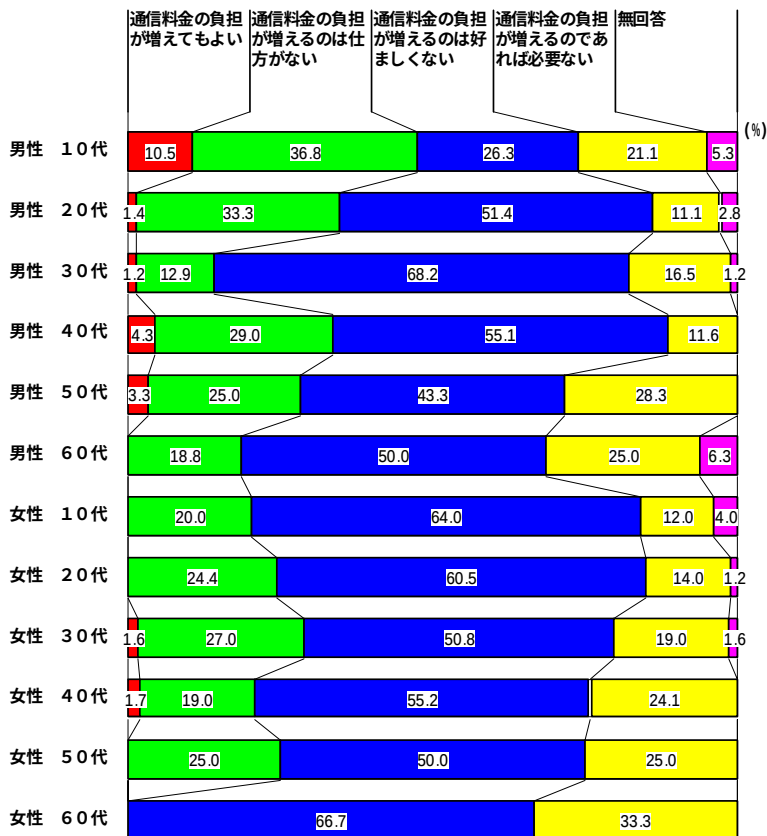
- ブロードバンド化と通信料金については「通信料金の負担が増えるのは好ましくない」が55%を占める。「通信料金の負担が増えるのは仕方がない」は24%、「通信料金の負担が増えるのであれば、必要ない」は18%、「通信料金の負担が増えてもよい」は2%である。
- 「通信料金の負担が増えるのは好ましくない」は男性の30代と女性の10代、60代で多く、「通信料金の負担が増えるのは仕方がない」は男性の10代と20代で多い。支払い料金に対する評価別では高いと感じている層で「通信料金が増えるのは好ましくない」が多い。

Q. 今以上スムーズに、画像や音楽をコンピューターに取り入れられるようになる（ダウンロードできる）とすれば、あなたは通信料金負担の増加についてどのように思いますか。

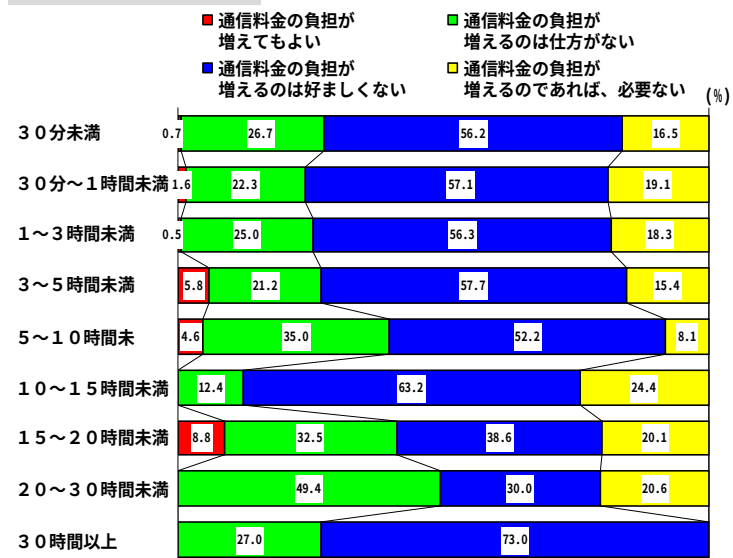
全体



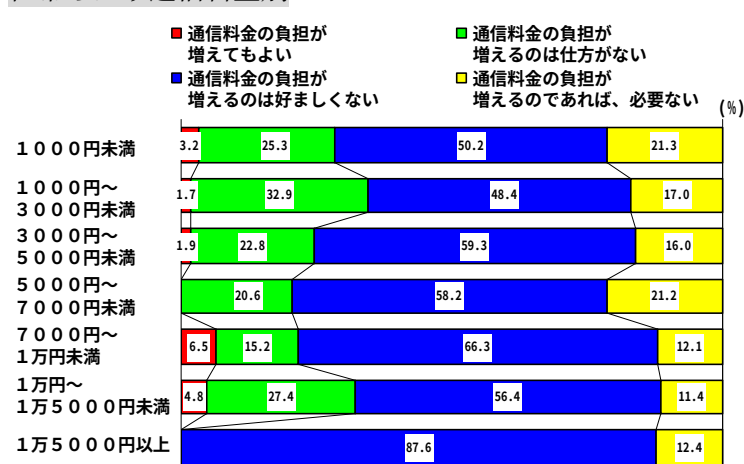
男女別・年齢別



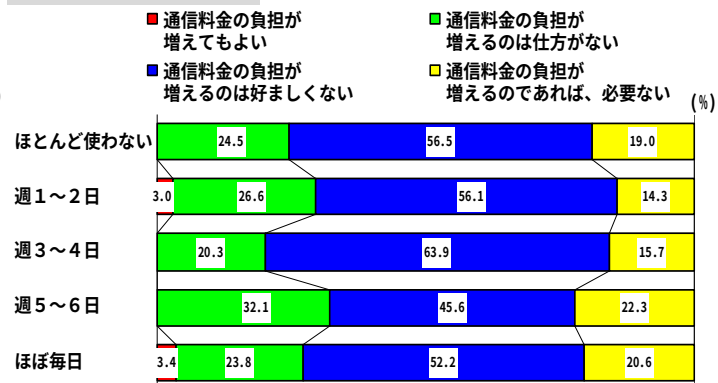
自宅での利用時間別



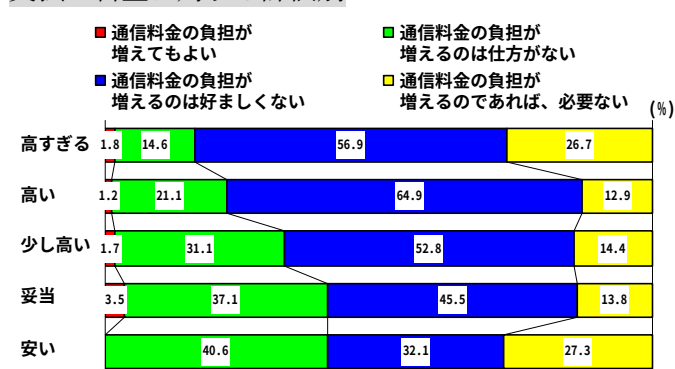
世帯あたり通信料金別



自宅での利用日数別



支払い料金に対する評価別



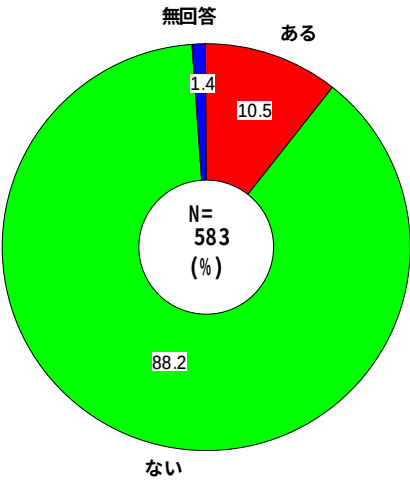
(47) 不当な料金請求 (Q46)

「ある」が1割

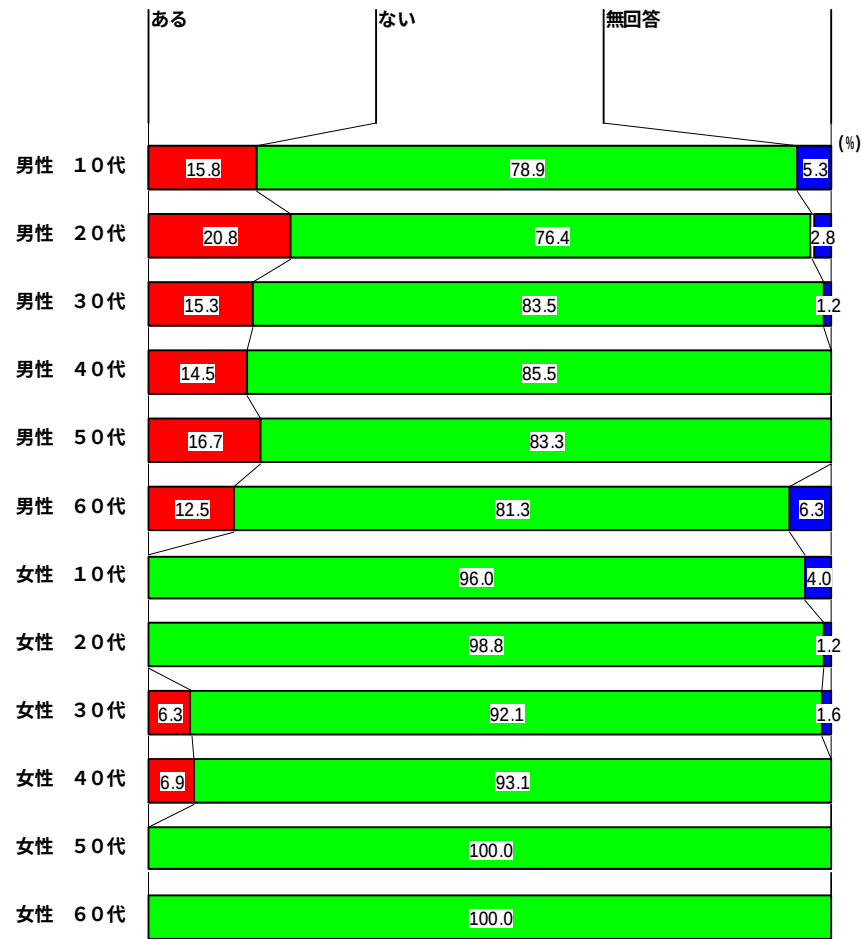
- 不当な料金請求の経験が「ある」が11%となっている。
- 「ある」は女性に比べ男性で多く、男性の20代では2割を占める。

Q. インターネット利用に関し、あなたは、ダイヤルQ2など、利用した覚えのない料金を請求された経験がありますか。

全体



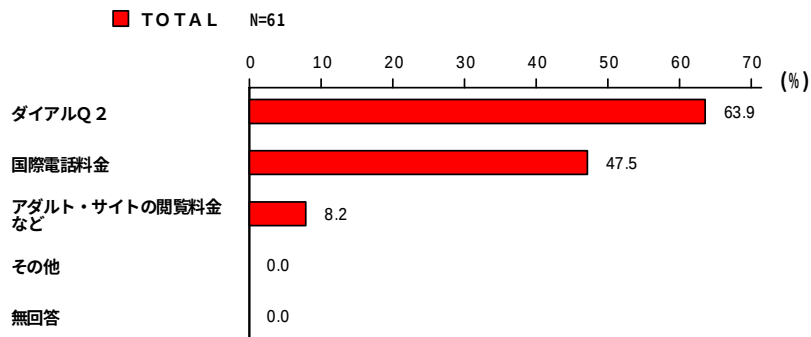
男女別・年齢別



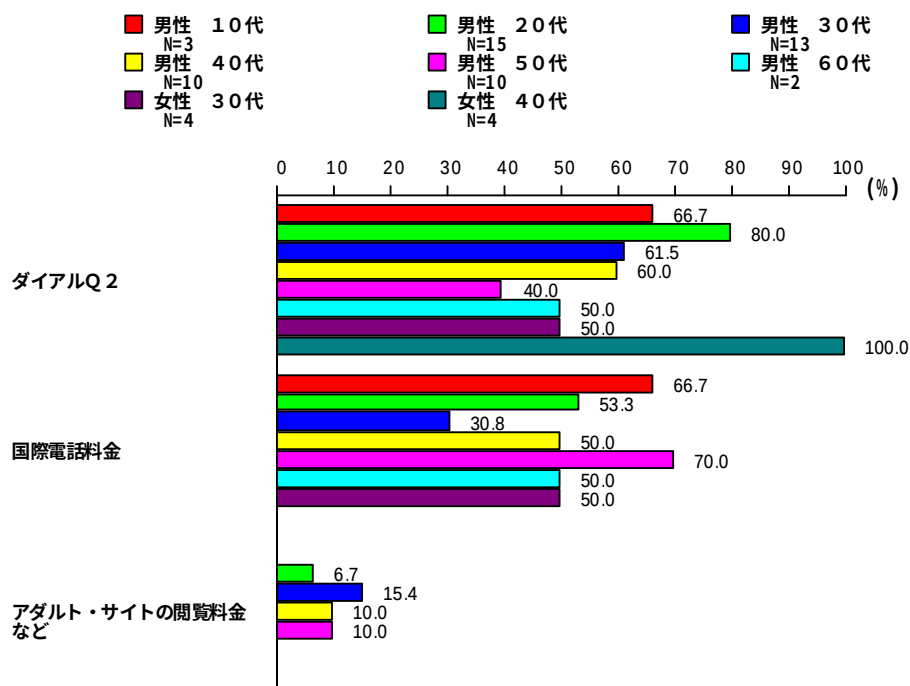
●不当な料金請求の内容では「ダイヤルQ2」が64%と最も多く、次いで「国際電話料金」が48%となっている。

Q. 利用した覚えのない料金を請求された経験がある方にお聞きします。
あなたが請求された料金は次のどれですか。(○はいくつでも)

全体



男女別・年齢別



[職場などでは利用するが自宅では利用しないグループ]

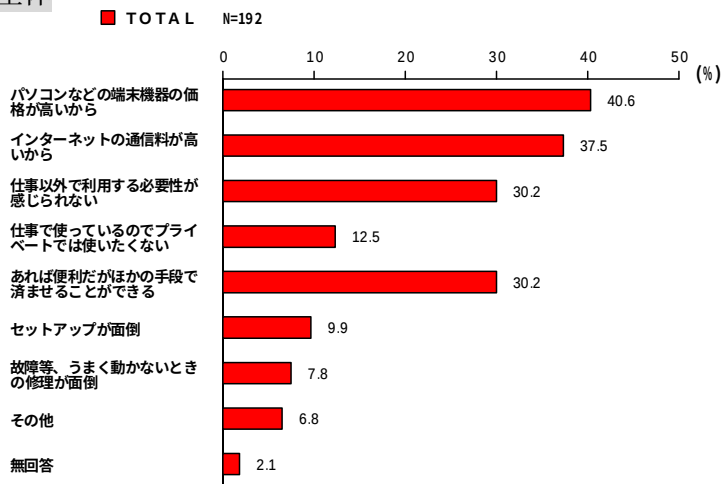
(49) 自宅でインターネットを利用しない理由（職場等では利用）（Q47）

「パソコンなどの価格が高いから」41%、「インターネットの通信料が高いから」38%

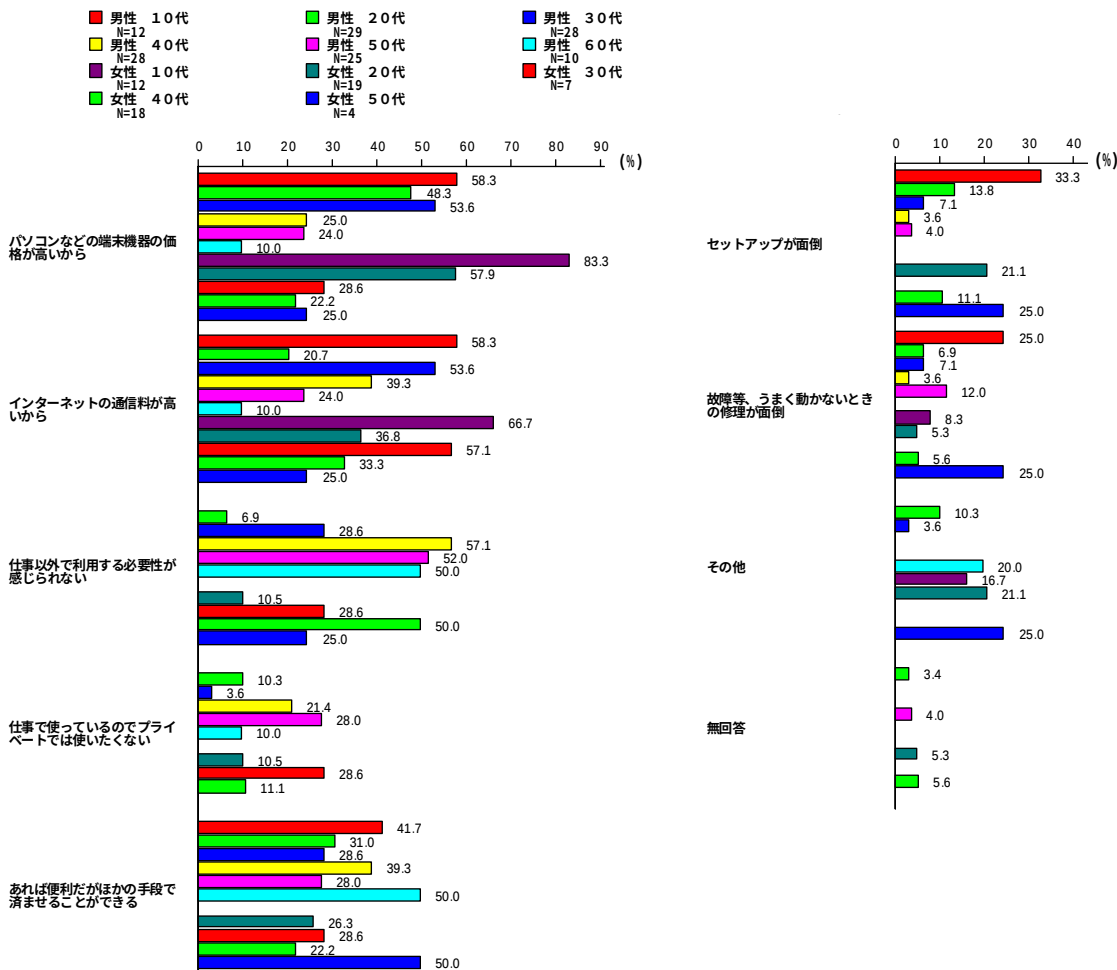
- 自宅でインターネットをしない理由としては「パソコンなどの端末機器の価格が高いから」が41%で最も多く、以下、「インターネットの通信料が高いから」が38%、「仕事以外で利用する必要性を感じられないから」と「あれば便利だが、他の手段で済ませることができるから」が30%となっている。
- 「パソコンなどの端末機器の価格が高いから」と「インターネットの通信料が高いから」は女性の10代、男女別・職業別では無職の女性、在学別では在学中の層で多い。「仕事以外で利用する必要性を感じられないから」は男性の40代から60代と女性の40代、男女別・職業別では男女ともに有職者で多い。「あれば便利だが、他の手段で済ませることができるから」は男性の60代と女性の50代で多くなっている。

Q. あなたが、自宅でインターネットを利用しない理由は何ですか。（携帯・PHSによる利用は除きます。）（○はいくつでも）

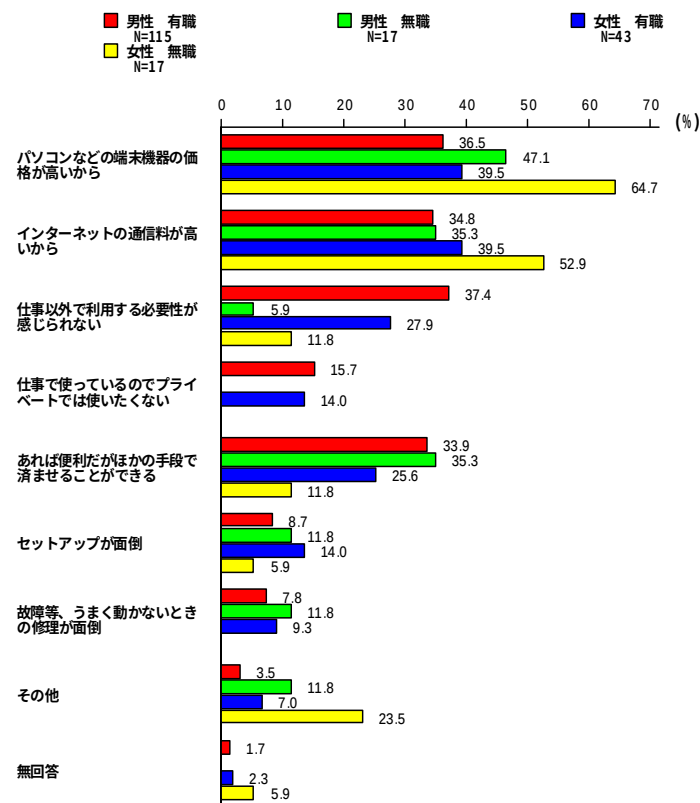
全体



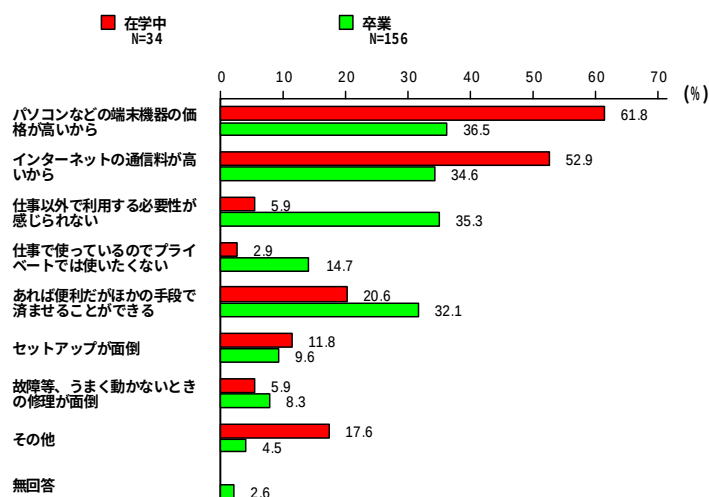
男女別・年齢別



男女別・職業（仕事の有無）別

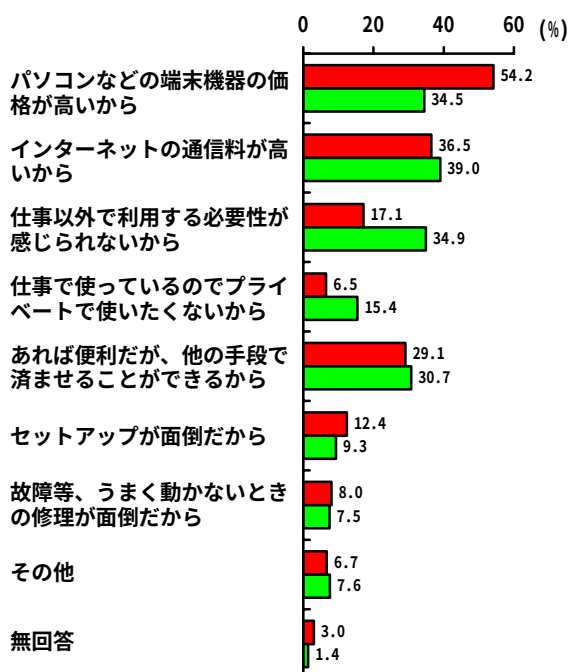


在学別



インターネットの利用形態別

■ 携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用 (N=87)
 ■ 携帯以外の方法によってのみインターネットを利用 (N=118)



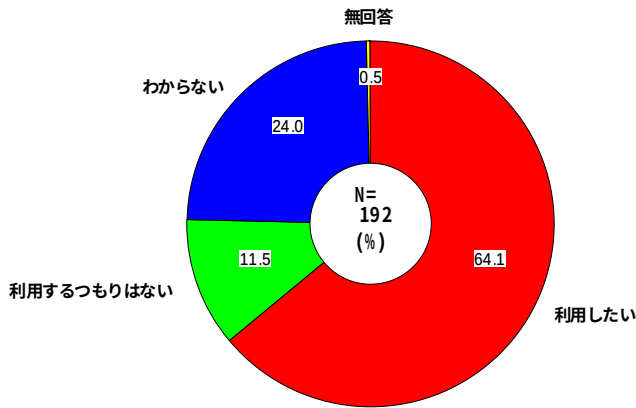
(50) 自宅での利用意向(Q48)

「利用したい」が6割強

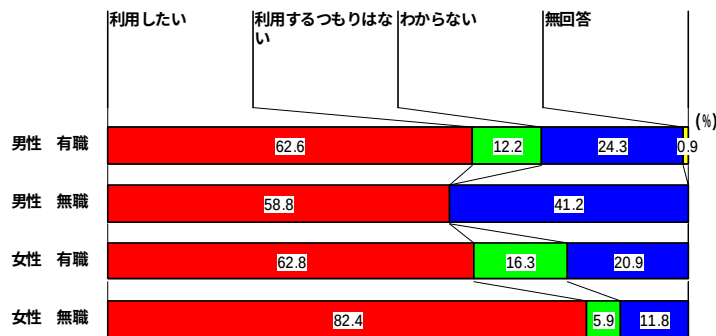
- 自宅でインターネットを「利用したい」が64%を占め、「利用するつもりはない」は12%にとどまる。
- 「利用したい」は男性の20代と40代、女性の10代と20代で多く、男女別・職業別では無職の女性、在学別では在学中、インターネットの利用形態別では携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用の各層で多くなっている。

Q. あなたは、今後、自宅でインターネットを利用したいと思いますか。

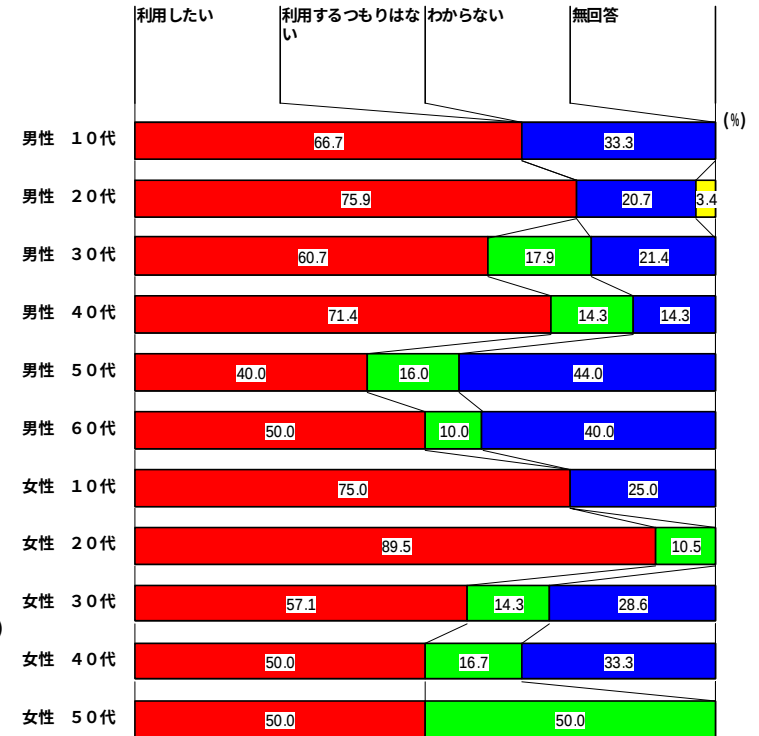
全体



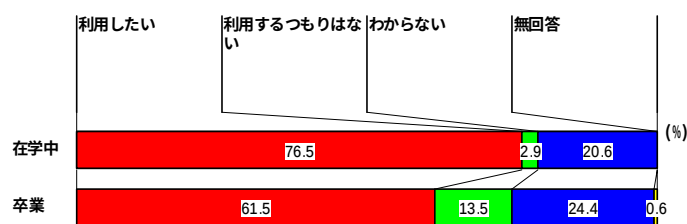
男女別・職業（仕事の有無）別



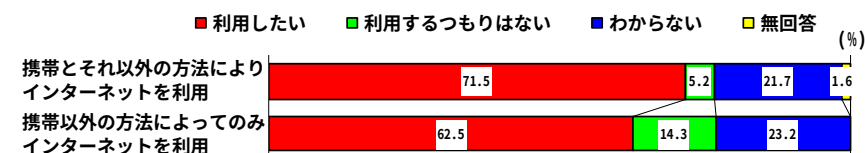
男女別・年齢別



在学別



インターネットの利用形態別



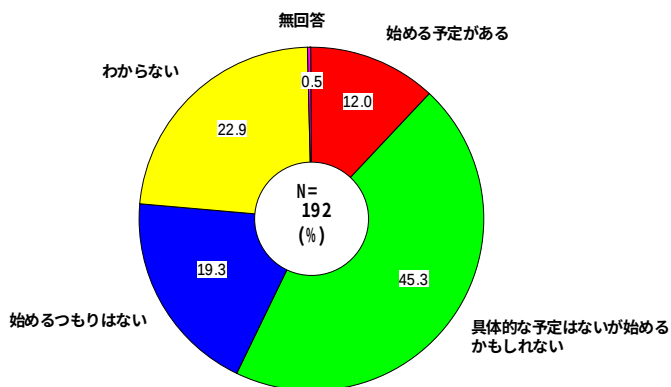
(51) 自宅での利用予定(Q49)

「始める予定がある」12%、「始めるかもしれない」45%

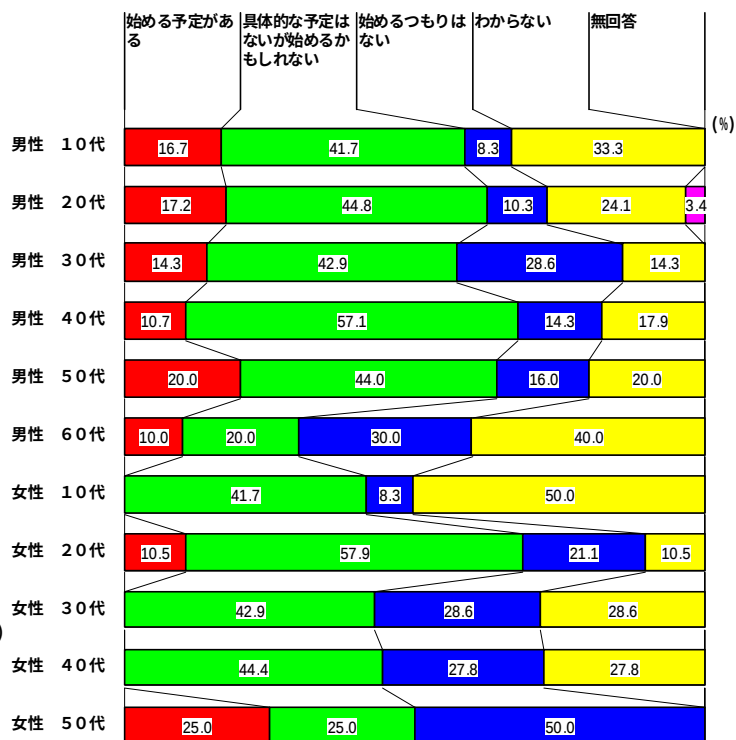
- 自宅でインターネットを「始める予定がある」が12%、「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」は45%である。一方、「始めるつもりはない」は19%である。
- 「始める予定がある」は男女ともに50代で多い。「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」は、男性の40代、女性の20代で多く、インターネットの利用形態別では携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用の層で多くなっている。

Q. あなたは、近い将来（1年以内程度）、自宅でインターネットを始める予定がありますか。

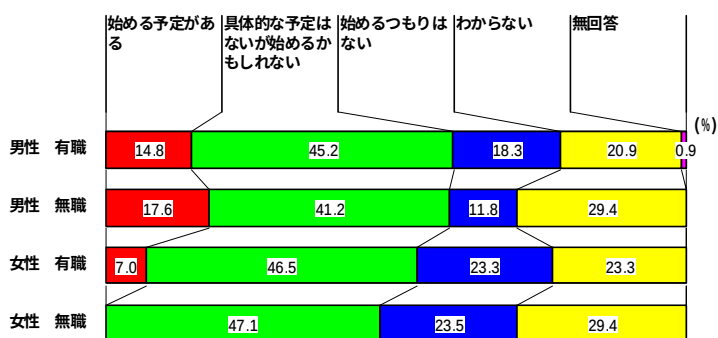
全体



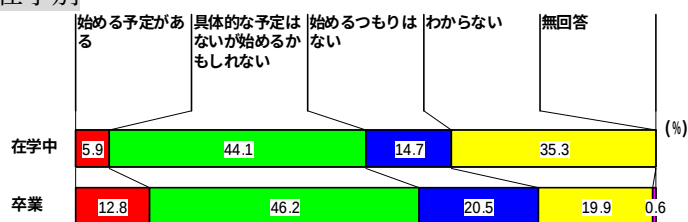
男女別・年齢別



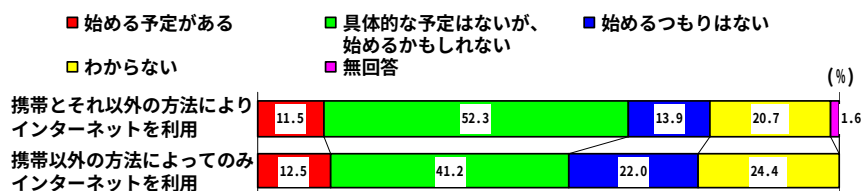
男女別・職業（仕事の有無）別



在学別



インターネットの利用形態別



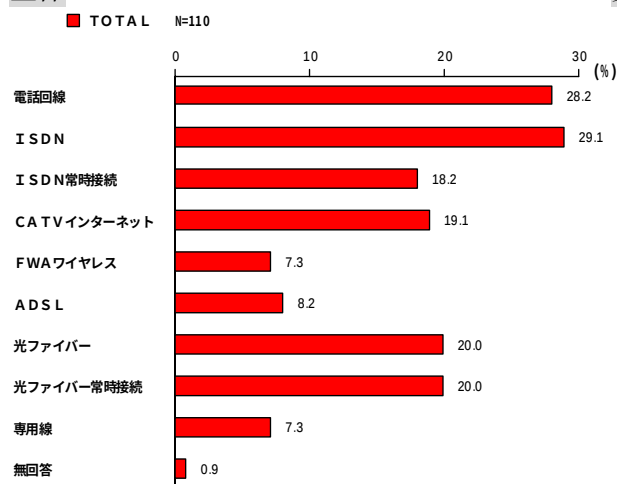
(52) 希望する接続方式(Q49-1)

「ISDN (ダイヤルアップ)」29%、「電話回線」28%

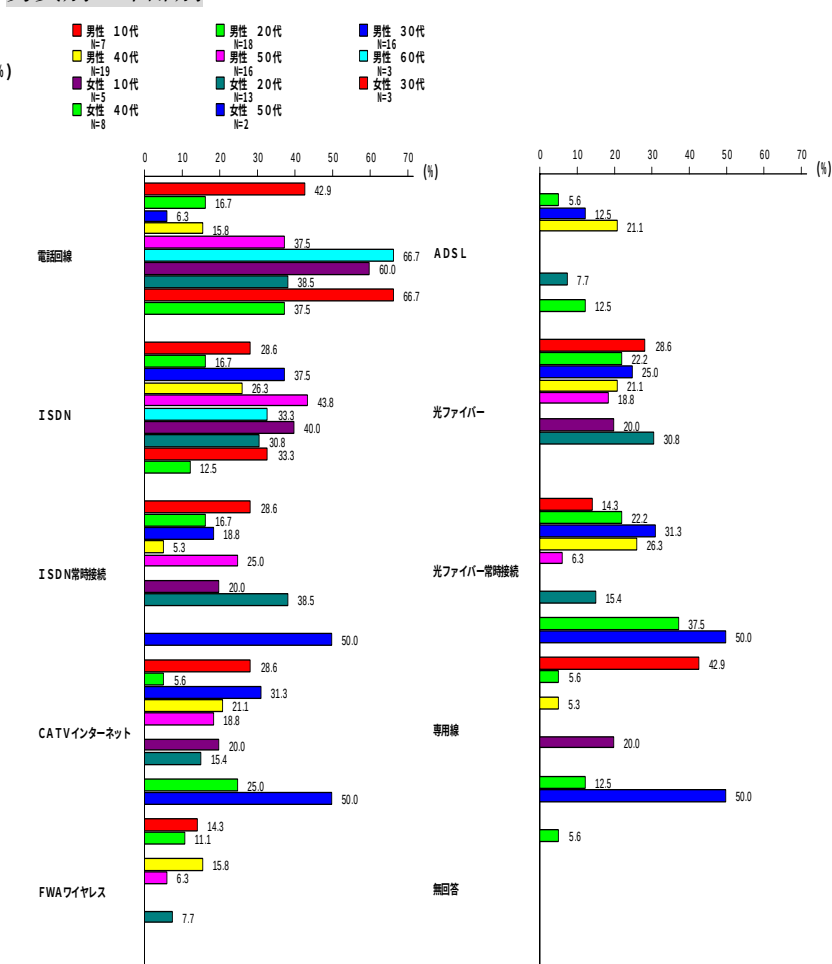
● 自宅でインターネットを「始める予定がある」又は「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」人の希望する接続方式は「ISDN (ダイヤルアップ)」が29%、「電話回線」が28%、以下、「光ファイバー (ダイヤルアップ)」と「光ファイバー (常時接続)」が20%、「CATVインターネット (常時接続)」が19%、「ISDN (常時接続)」が18%である。

Q. 自宅でインターネットを「始める予定がある」又は「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」方にお聞きします。
あなたは、今後、自宅でインターネットを利用する場合、次のうち、どの接続方式を利用したいですか。(○はいくつでも)
なお、() 内は5分程度の音楽をコンピューターに取り入れるために必要なおおよその時間です。

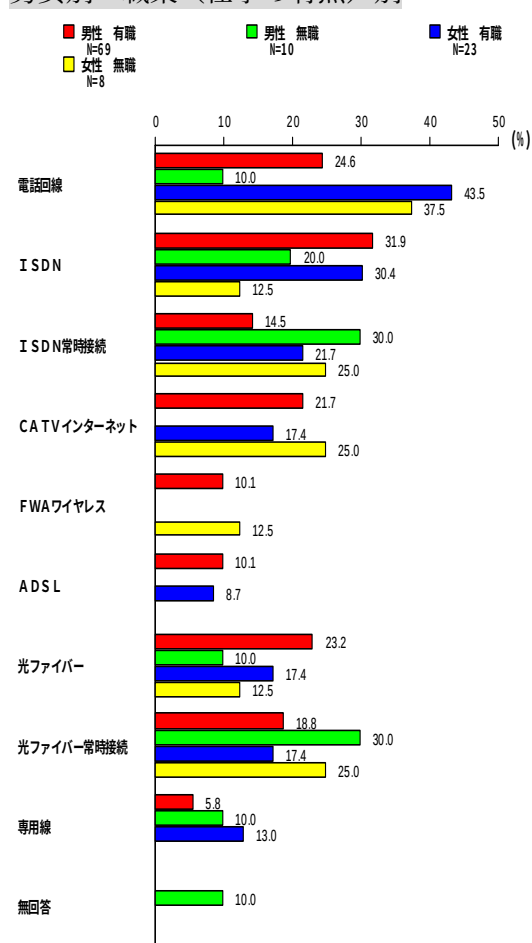
全体



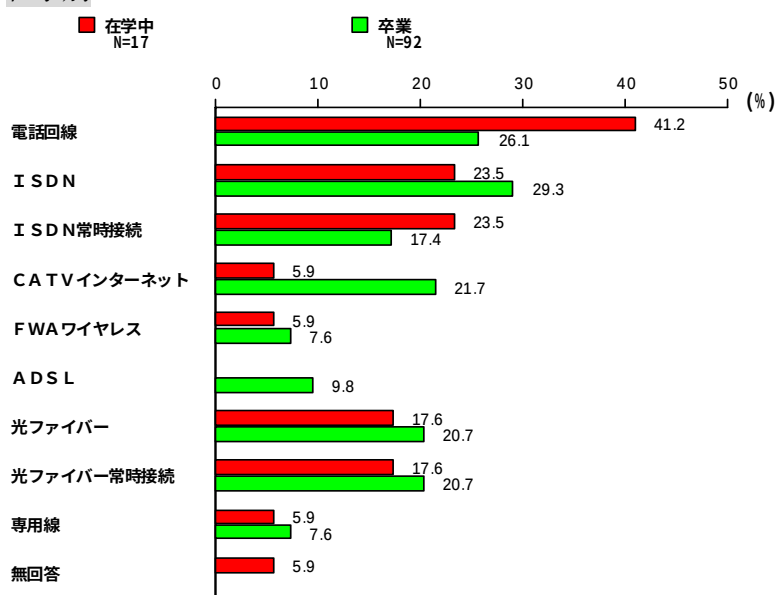
男女別・年齢別



男女別・職業 (仕事の有無) 別



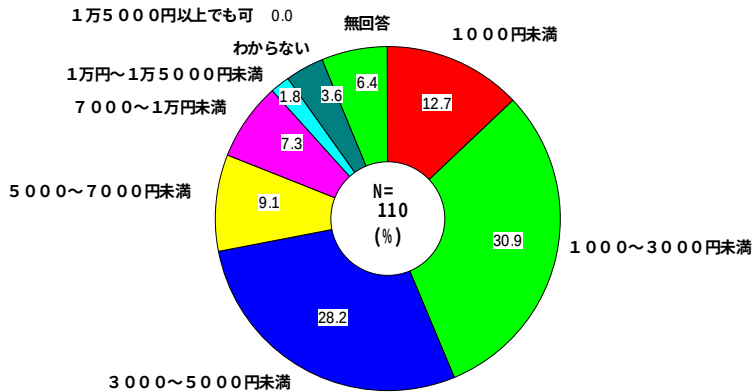
在学別



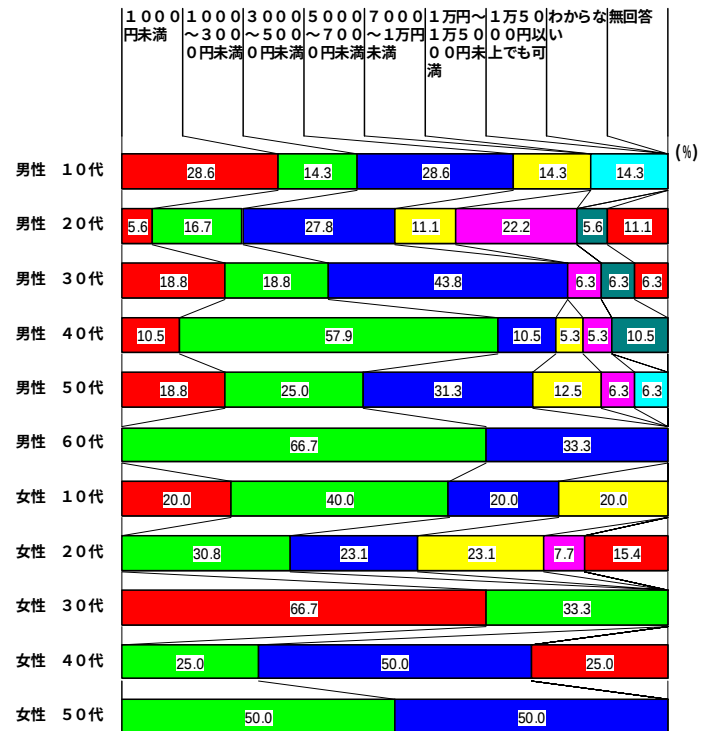
- 望ましい料金としては、「1000 円～3000 円未満」が 31%、「3000 円～5000 円未満」が 28%、「1000 円未満」が 13%となっており、5000 円未満の金額を希望する人が 7 割以上を占める。
- 「1000 円～3000 円未満」は男性の 40 代と 60 代、希望する接続方法別では FWA（ワイヤレス）（常時接続）、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法によってのみインターネットを利用の各層で多くなっている。

Q. 自宅でインターネットを「始める予定がある」又は「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」方にお聞きします。
今後、あなたが自宅でインターネットを利用する場合、サービスの内容や自分の収入を考えると、インターネット接続のためだけに必要となる一ヶ月当たりの通信料金（接続料金、通話料など）の総額として、望ましい料金は次のどれですか。（世帯当たりの料金です。携帯・PHSの利用代金やサービス開始時の工事代などは含みません。）

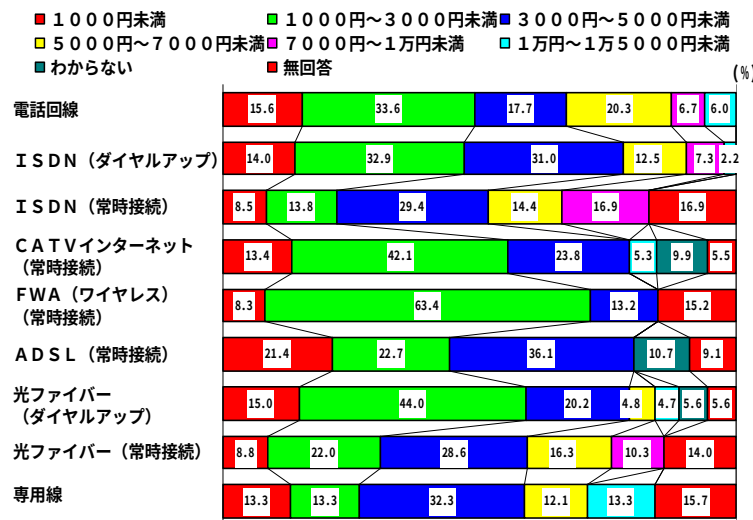
全体



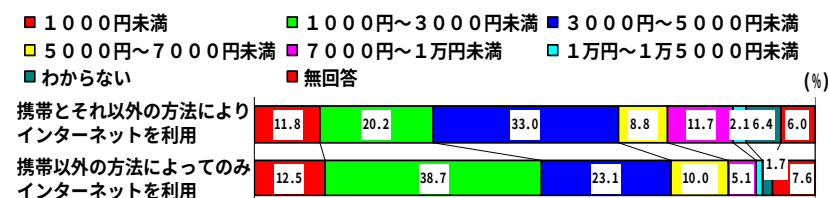
男女別・年齢別



希望する接続方法別



インターネットの利用形態別



1.2

[インターネットを利用しないグループ]

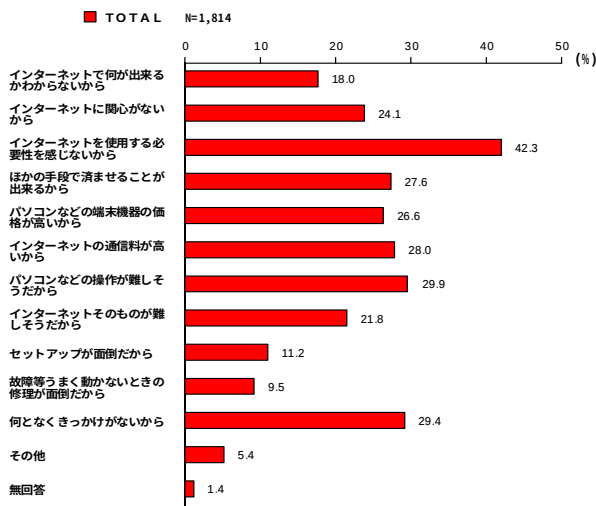
(54)利用しない理由(Q50)

「インターネットを使用する必要性を感じないから」が4割

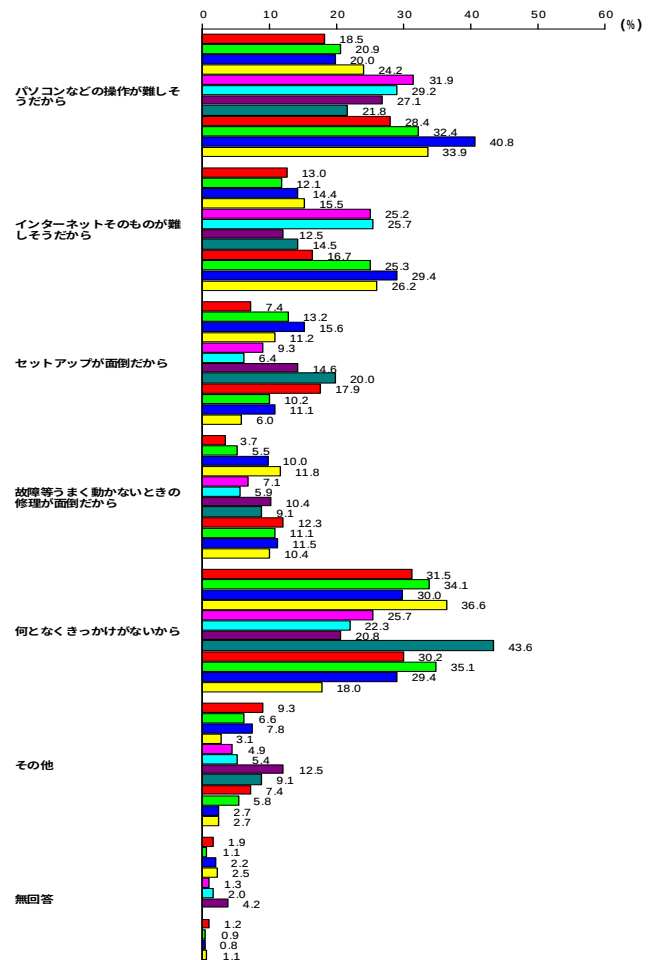
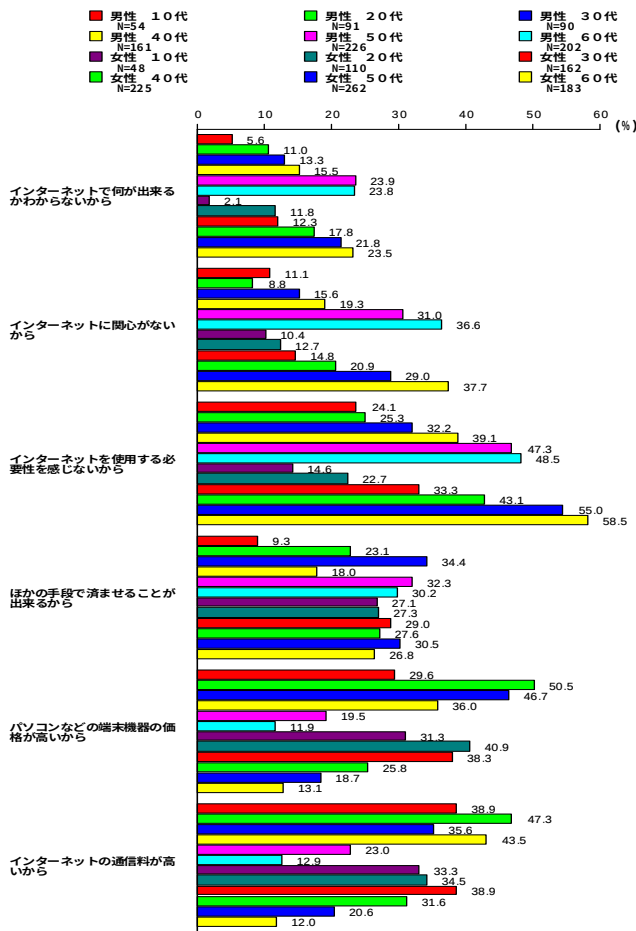
- 自宅でインターネットをしない理由としては「インターネットを使用する必要性を感じないから」が42%で最も多く、以下、「パソコンなどの操作が難しそうだから」が30%、「何となくきっかけがないから」が29%、「インターネットの通信料が高いから」と「他の手段で済ませることができるから」が28%、「パソコンなどの端末機器の価格が高いから」が27%と続いている。
- 「インターネットを使用する必要性を感じないから」、「インターネットに関心がないから」、「インターネットで何ができるかわからないから」、「パソコンなどの操作が難しそうだから」、「インターネットそのものが難しそうだから」は男女とも高齢層で多くなっている。「インターネットの通信料が高いから」、「パソコンなどの端末機器の価格が高いから」は男女とも若年層で多くなっている。また、「何となくきっかけがないから」は男女ともに有職者で多い。

Q. あなたが、自宅でインターネットを利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

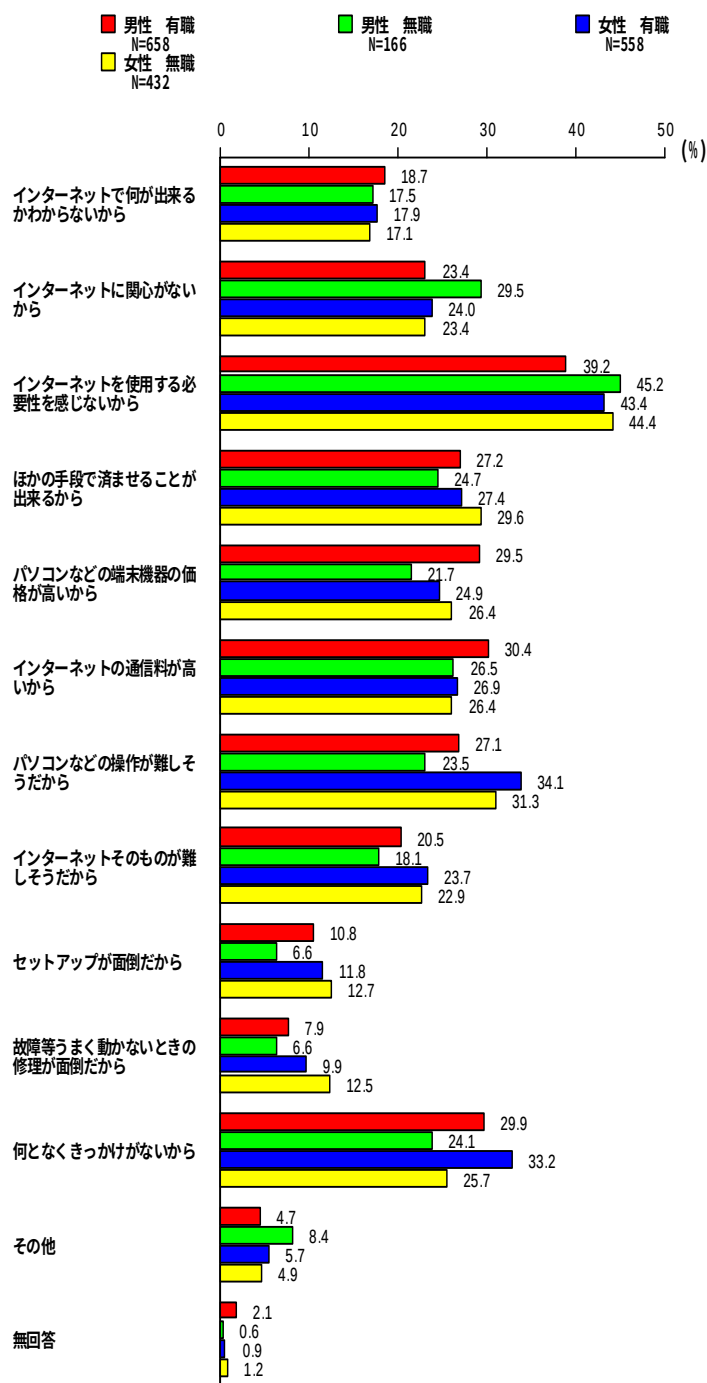
全体



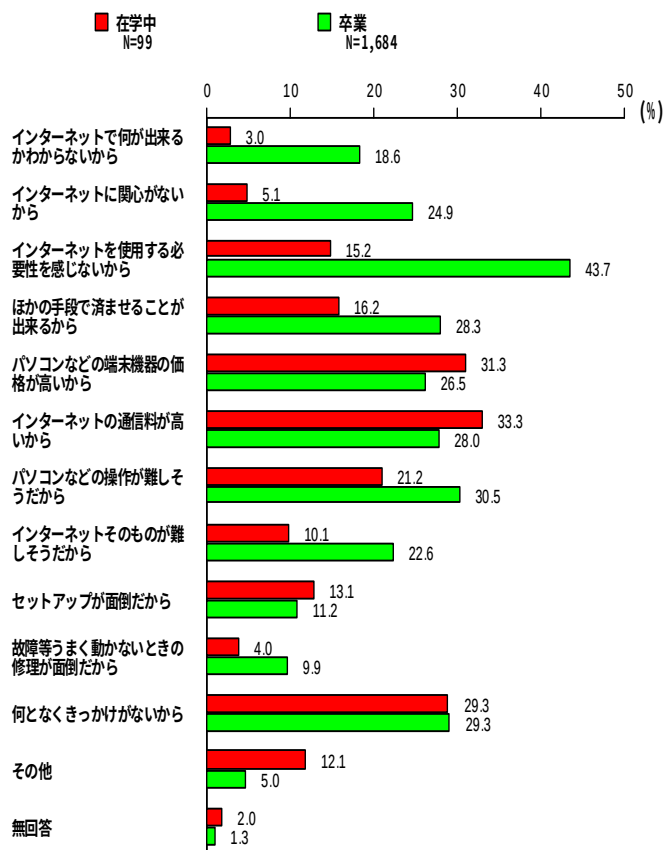
男女別・年齢別



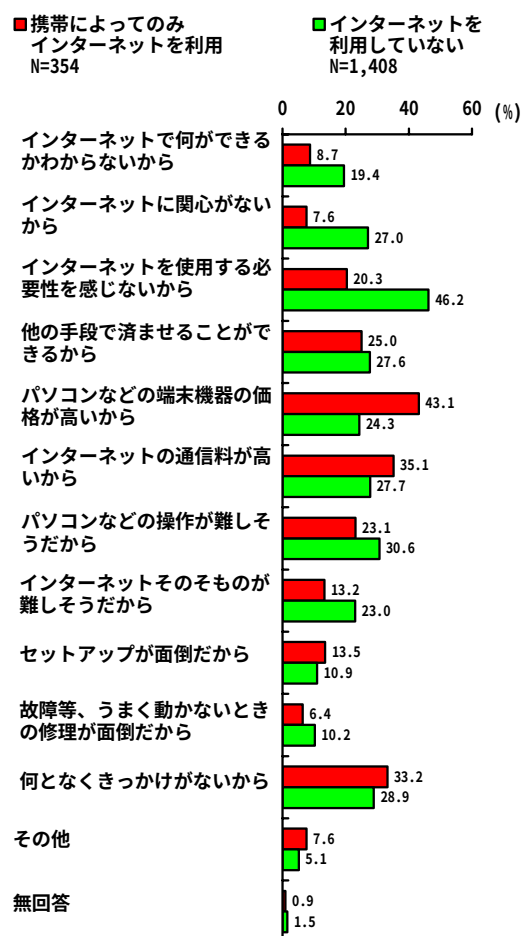
男女別・職業（仕事の有無）別



在学別



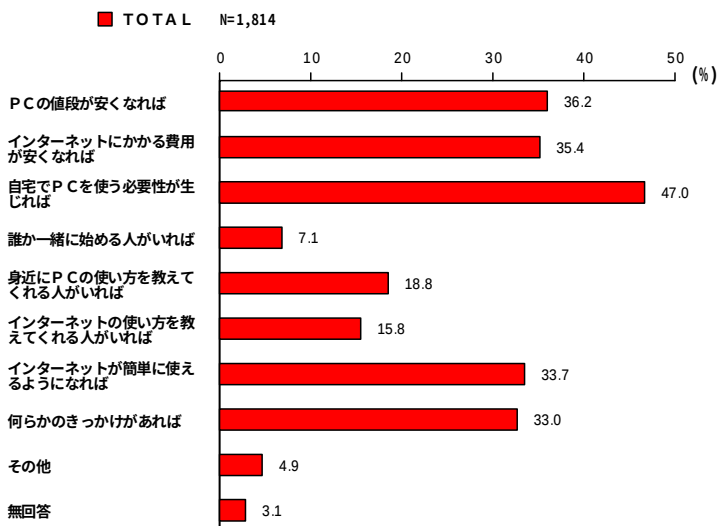
インターネットの利用形態別



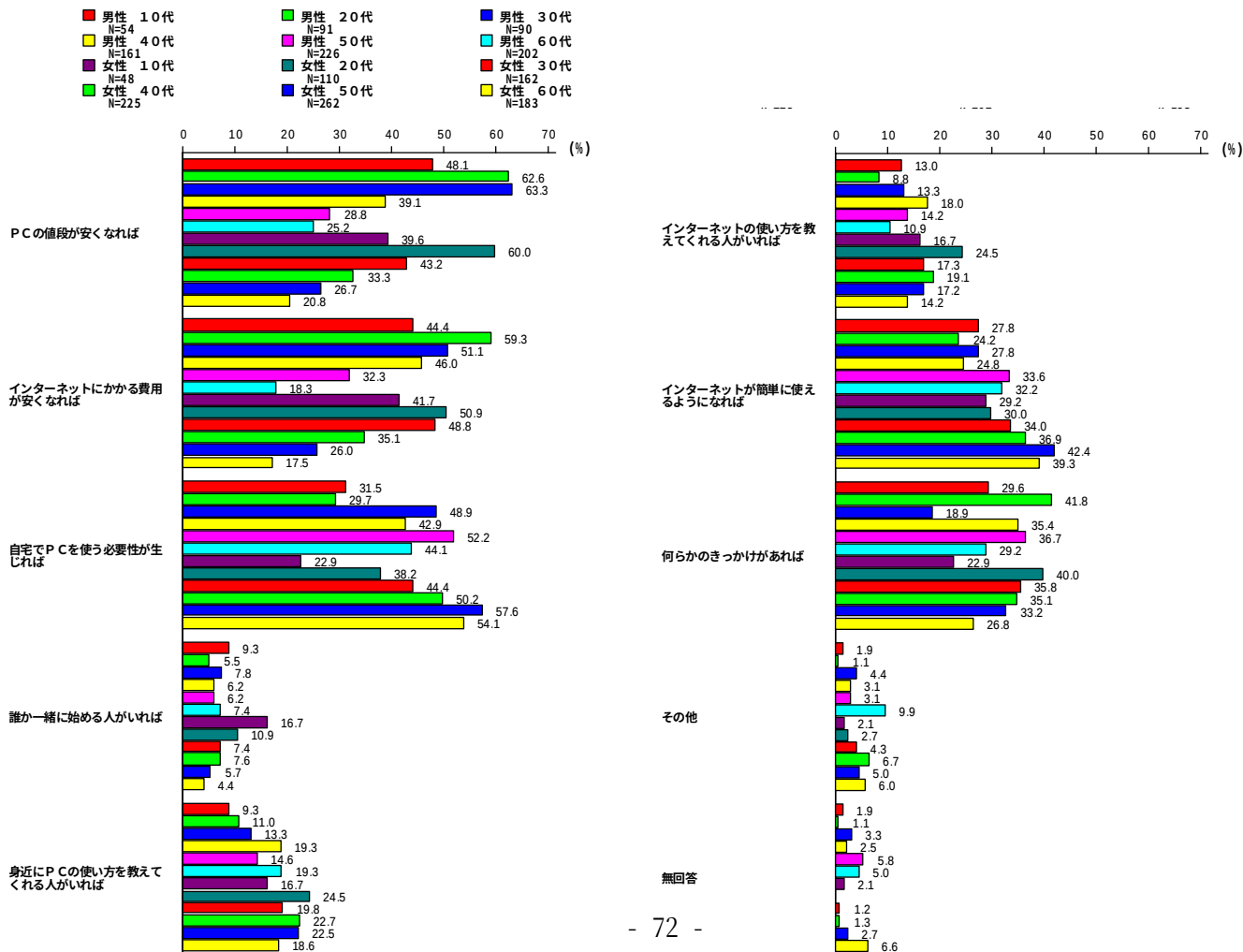
- 自宅でインターネットを利用するための条件としては「自宅でパソコンを使う必要性が生じれば」が47%で最も多く、以下、「パソコンの値段が安くなれば」が36%、「インターネット利用にかかる費用が安くなれば」が35%、「インターネットが簡単に使えるようになれば」が34%、「何らかのきっかけがあれば」が33%と続いている。
- 「パソコンの値段が安くなれば」、「インターネット利用にかかる費用が安くなれば」は男女とも若年層で、在学別では在学中の層で多くなっている。「自宅でパソコンを使う必要性が生じれば」は30代より上の年代で、「インターネットが簡単に使えるようになれば」は女性の高年層で、「何らかのきっかけがあれば」は男女の20代で、男女別・仕事の有無別では男女ともに有職者が多い。

Q. あなたは、どういう状況になれば、自宅でインターネットを利用したいと思いますか。(○はいくつでも)

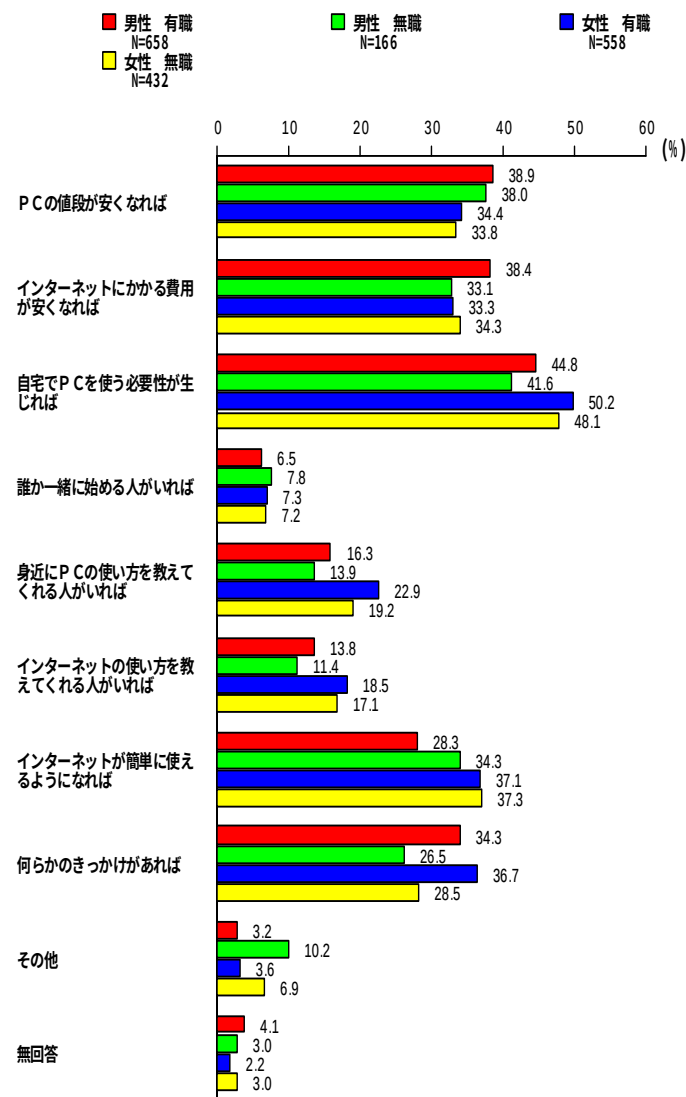
全体



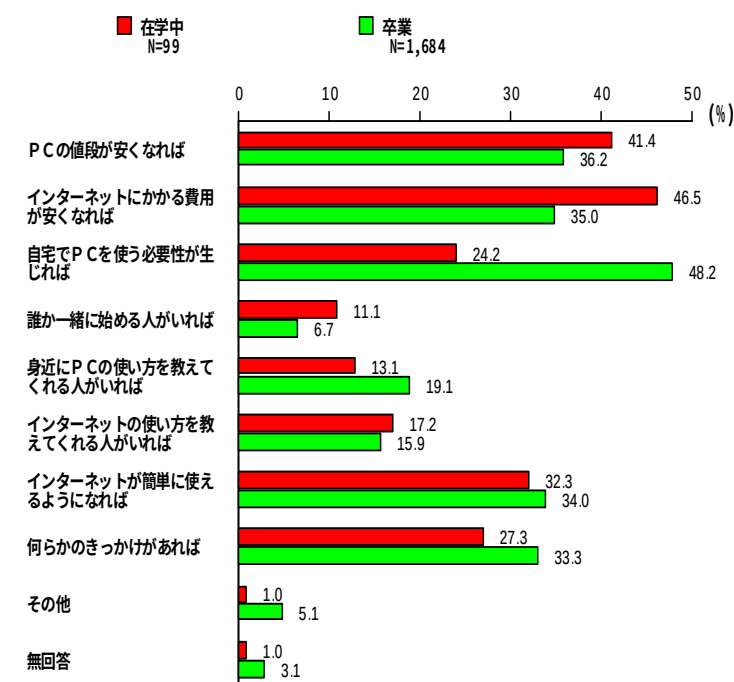
男女別・年齢別



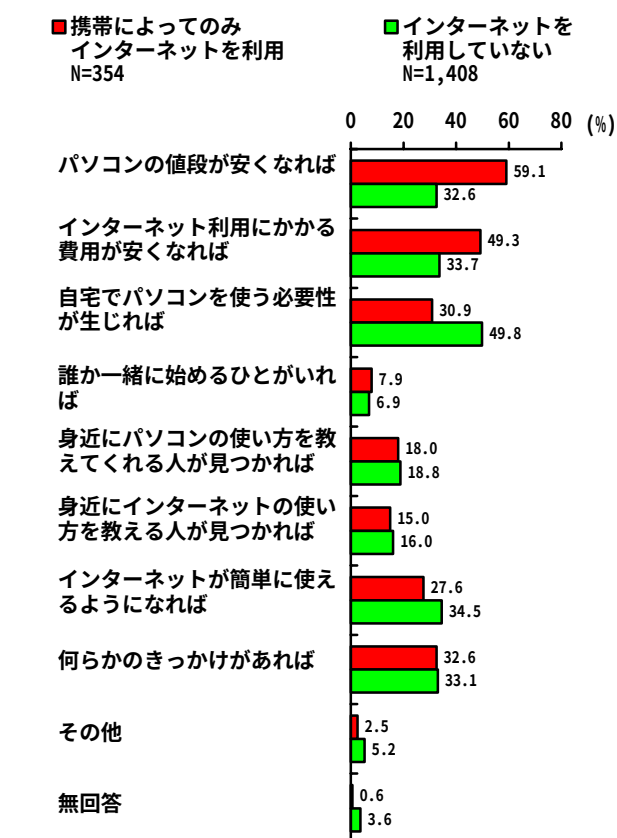
男女別・職業（仕事の有無）別



在学別



インターネットの利用形態別



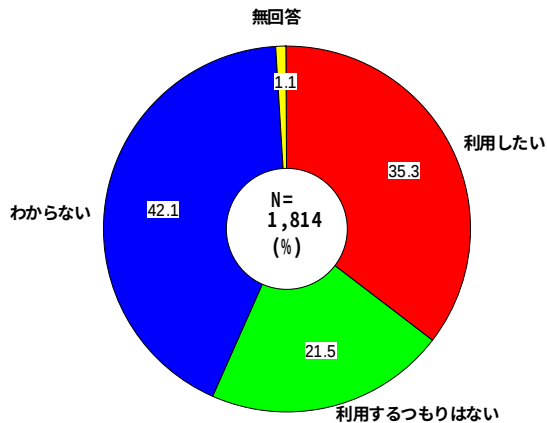
(56) 自宅での利用意向(Q52)

「利用したい」が3割強

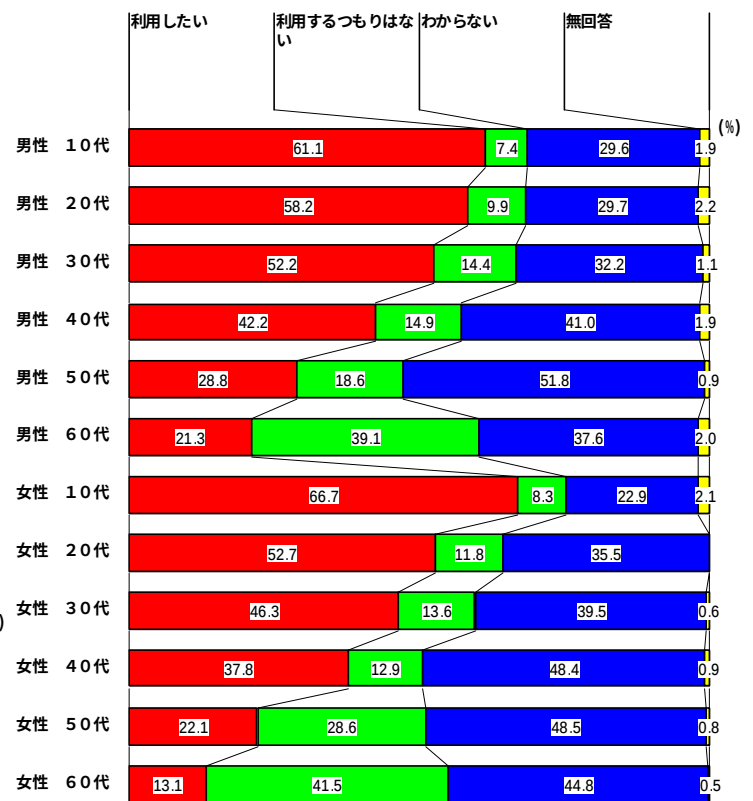
- 自宅でインターネットを「利用したい」が35%、「利用するつもりはない」が22%である。
- 「利用したい」は男女ともに年代が低いほど多く、在学別では在学中、インターネットの利用形態別では携帯によってのみインターネットを利用の各層で多くなっている。また、「利用するつもりはない」は男女ともに年代が高いほど多く、男女別・職業別では無職の男性、在学別では卒業、インターネットの利用形態別ではインターネットを利用していないの各層で多くなっている。

Q. あなたは、今後、自宅でインターネットを利用したいと思いますか。

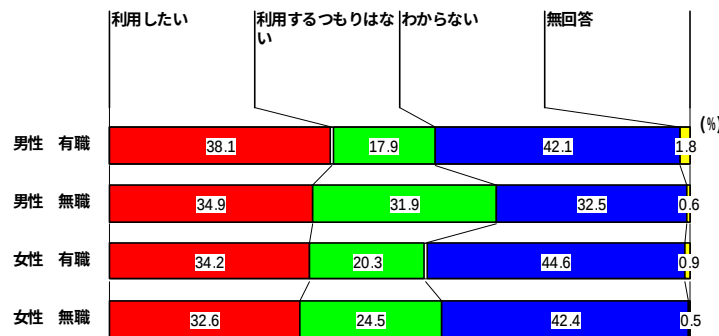
全体



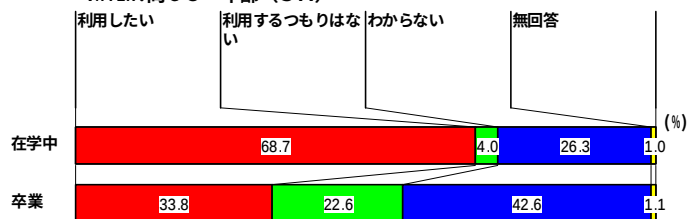
男女別・年齢別



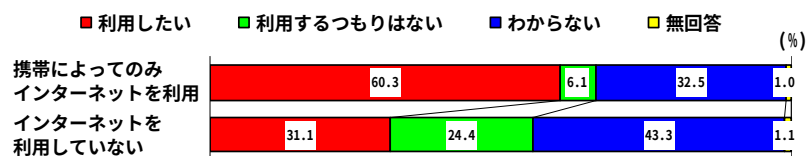
男女別・職業（仕事の有無）別



在学別



インターネットの利用形態別



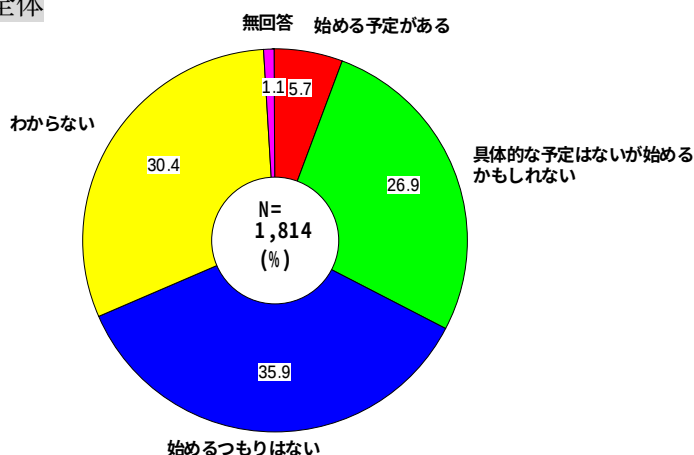
(57) 自宅での利用予定(Q53)

「始める予定がある」6%、「始めるかもしれない」27%

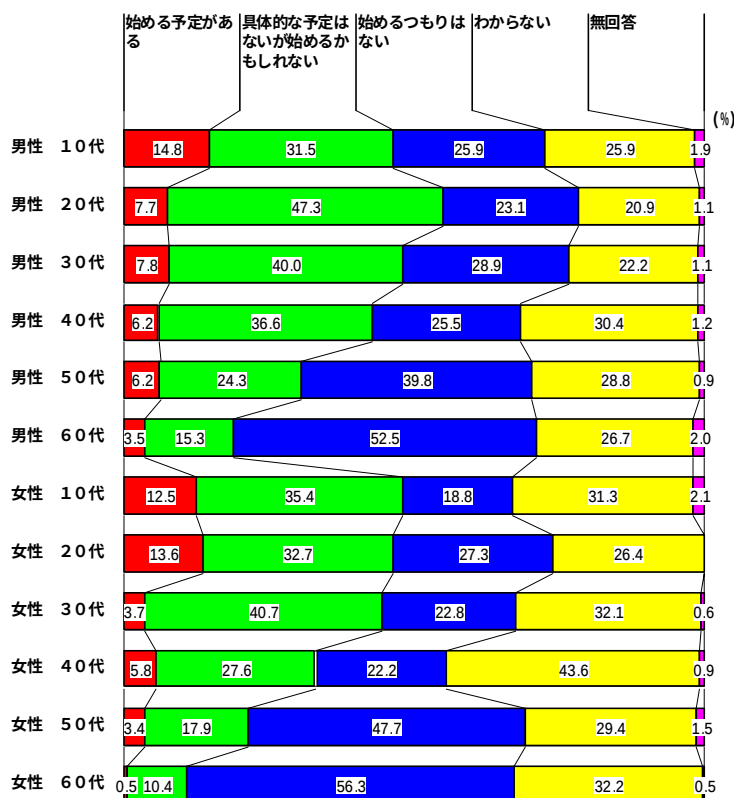
- 自宅でインターネットを「始める予定がある」が6%、「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」は27%である。一方、「始めるつもりはない」は36%である。
- 「始める予定がある」は男性の10代、女性の10代と20代、在学別では在学中、インターネットの利用形態別では携帯によってのみインターネットを利用の各層で多くになっている。「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」は、男性の20代と30代、女性の30代で多く、インターネットの利用形態別では携帯によってのみインターネットを利用の各層で多くになっている。また、「始めるつもりはない」は男女ともに高年層で多く、在学別では卒業、インターネットの利用形態別ではインターネットを利用していないの各層で多くになっている。

Q. あなたは、近い将来（1年以内程度）、自宅でインターネットを始める予定がありますか。

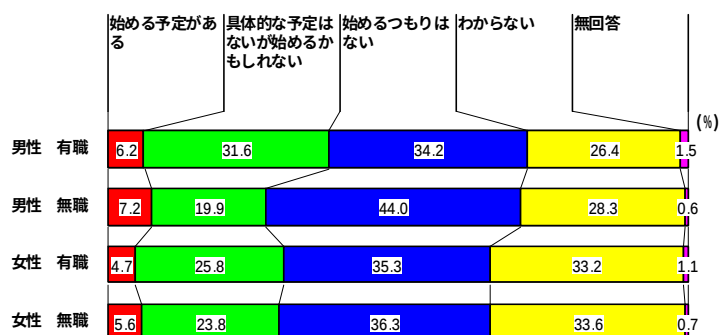
全体



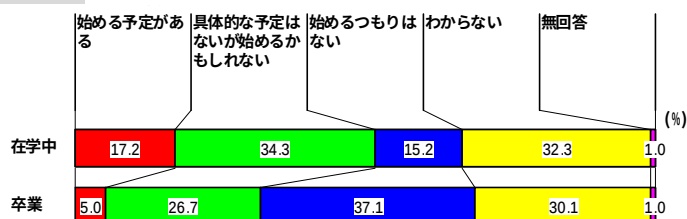
男女別・年齢別



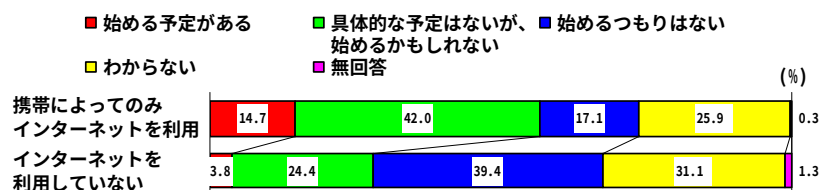
男女別・職業（仕事の有無）別



在学別



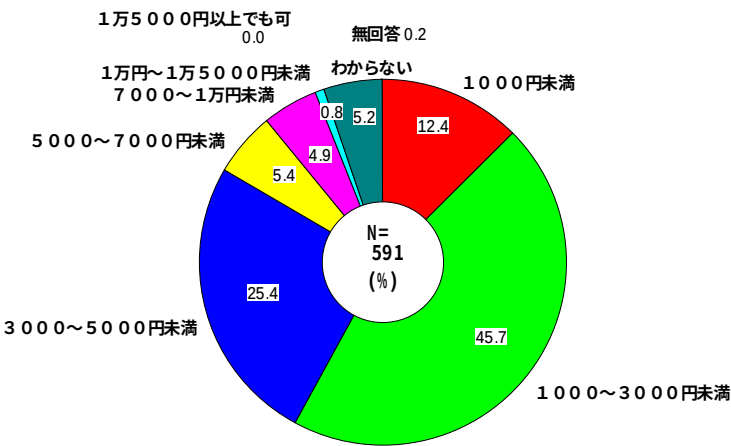
インターネットの利用形態別



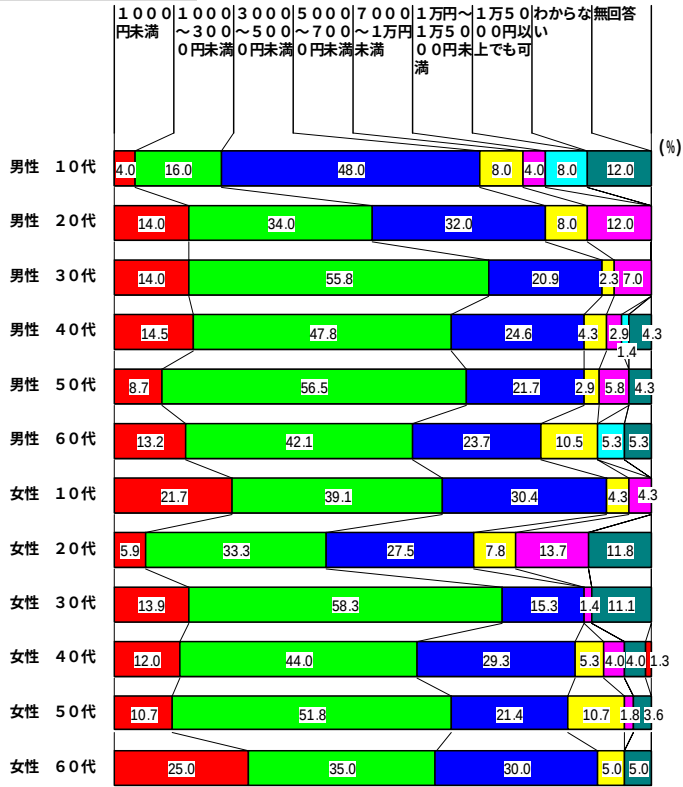
- 望ましい料金としては、「1000 円～3000 円未満」が 46%、「3000 円～5000 円未満」が 25%、「1000 円未満」が 12%となっており、5000 円未満の金額を希望する人が 8 割強を占める。
- 「1000～3000 円未満」は男性の 30 代と 50 代、女性の 30 代、個人収入別では 900～1000 万円未満と 700～800 万円未満、世帯収入別では 1300～1500 万円未満と 2000 万円以上で多くなっている。

Q. 自宅でインターネットを「始める予定がある」又は「具体的な予定はないが、始めるかもしれない」方にお聞きします。
今後、あなたが自宅でインターネットを利用する場合、サービスの内容や自分の収入を考えると、インターネット接続のためだけに必要となる一ヶ月当たりの通信料金（接続料金、通話料など）の総額として、望ましい料金は次のどれですか。（世帯当たりの料金です。携帯・PHSの利用代金やサービス開始時の工事代などは含みません。）

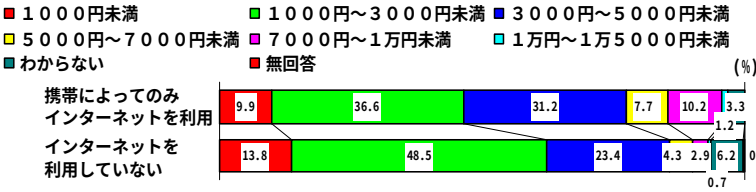
全体



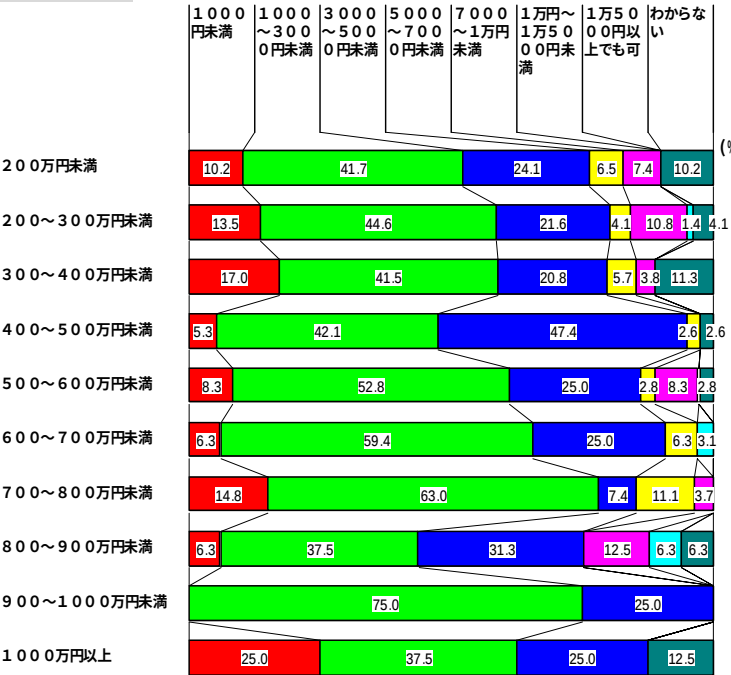
男女別・年齢別



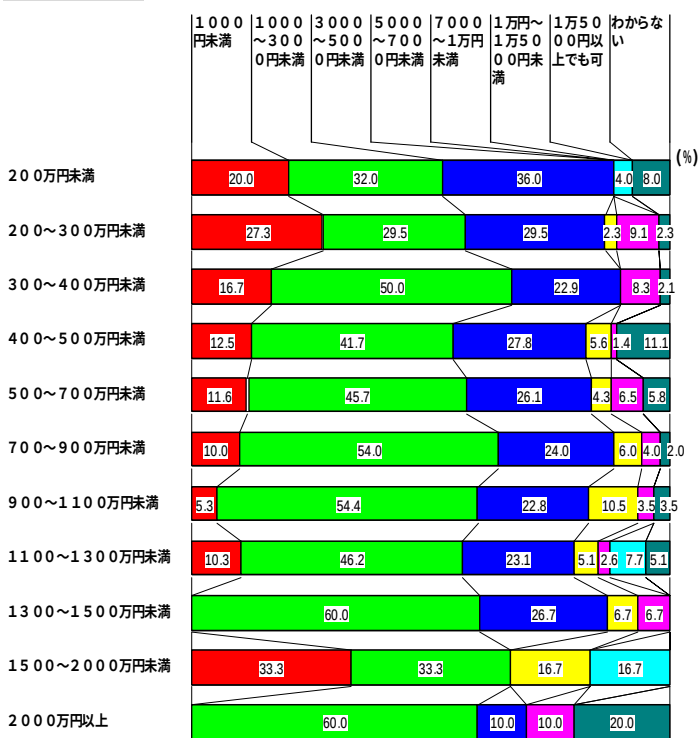
インターネットの利用形態別



個人収入別



世帯収入別



情報環境／利用実態 ～電子商取引～

(59)電子商取引利用率（仕事除く）(Q55)

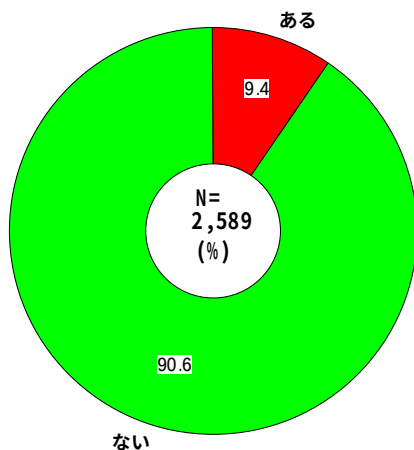
「ある」が9%

●電子商取引をした経験が「ある」は9%である。

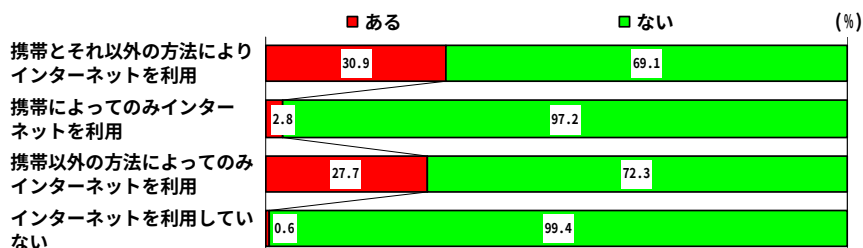
●「ある」は男性の30代、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法でインターネットを利用の層で多く、インターネットの利用年数別では利用年数に比例して多くなっている。

Q. あなたは、仕事以外で、これまで「電子商取引」（インターネットを使って、チケットや本などを購入すること）をした経験がありますか。（代金引換や振込により代金の支払いを行った場合も含みます。）

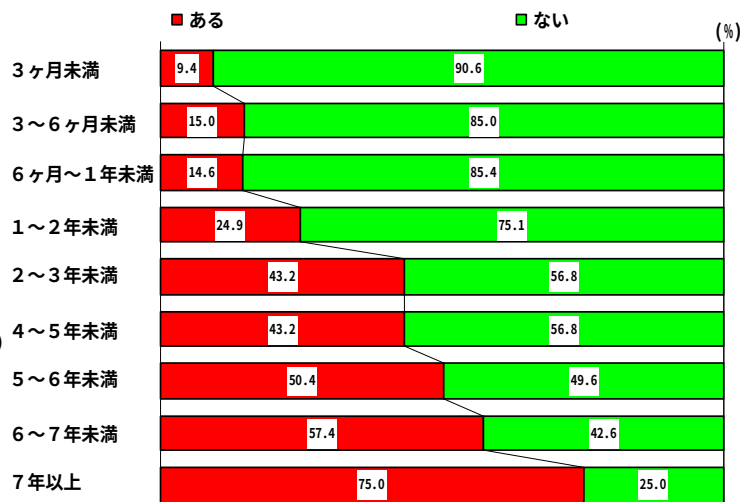
全体



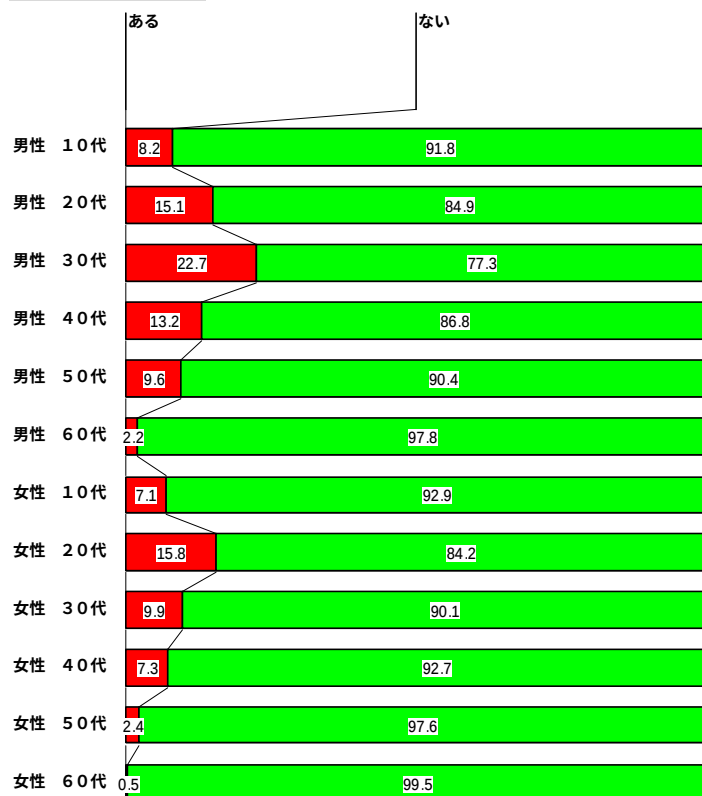
インターネットの利用形態別



インターネットの利用年数別



男女別・年齢別



[電子商取引を利用したことのないグループ]

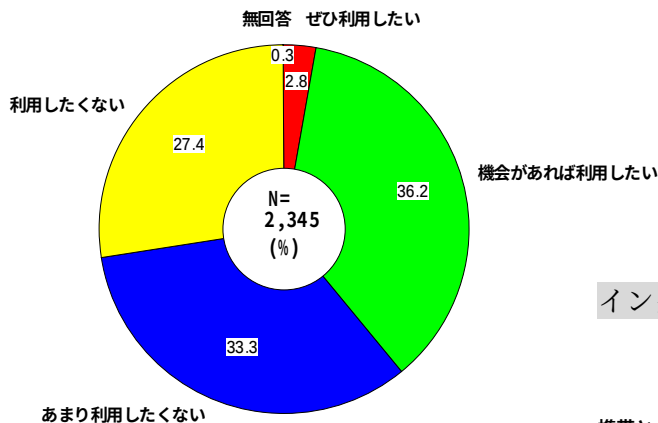
(60) 利用意向(Q56)

『利用したい』が4割

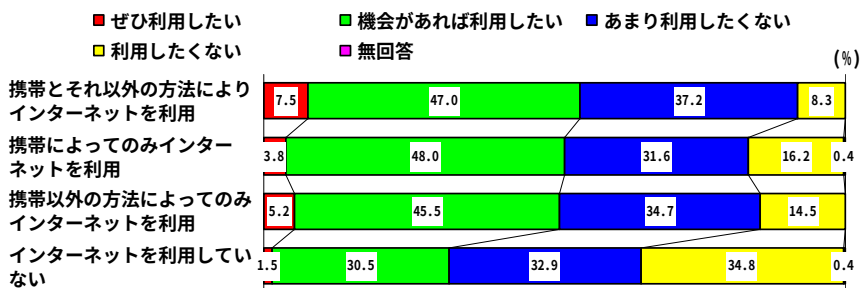
- 電子商取引を「ぜひ利用したい」は3%、「機会があれば利用したい」が36%で、ほぼ4割が利用意向を持っている。
- 利用意向がある人は、女性の10代、インターネットの利用形態別ではインターネット利用者層で多くなっている。

Q. あなたは、今後、「電子商取引」を利用したい（インターネットを使い、チケットや本などを購入したい）と思いますか。（代金引換や振込により代金の支払う場合も含まれます。）

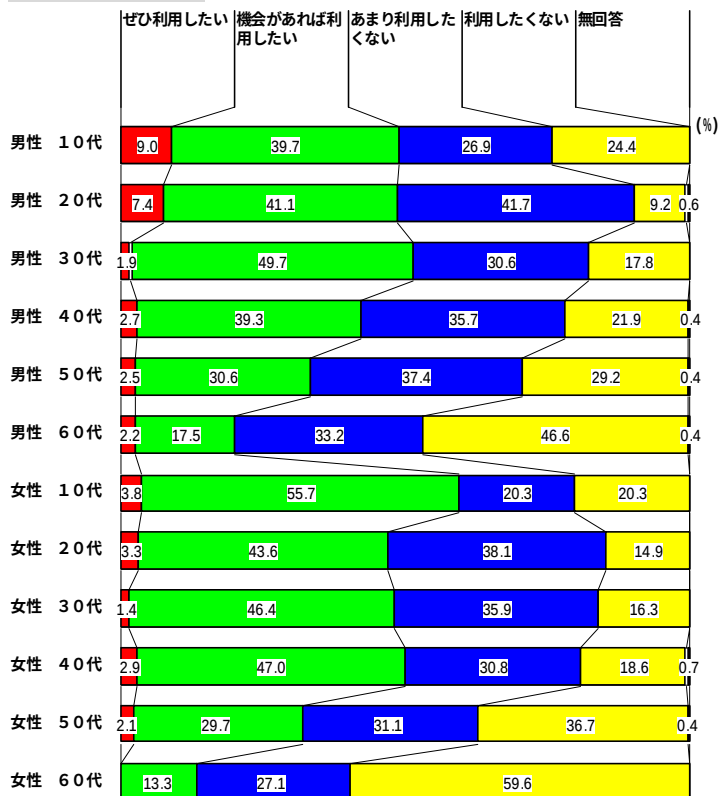
全体



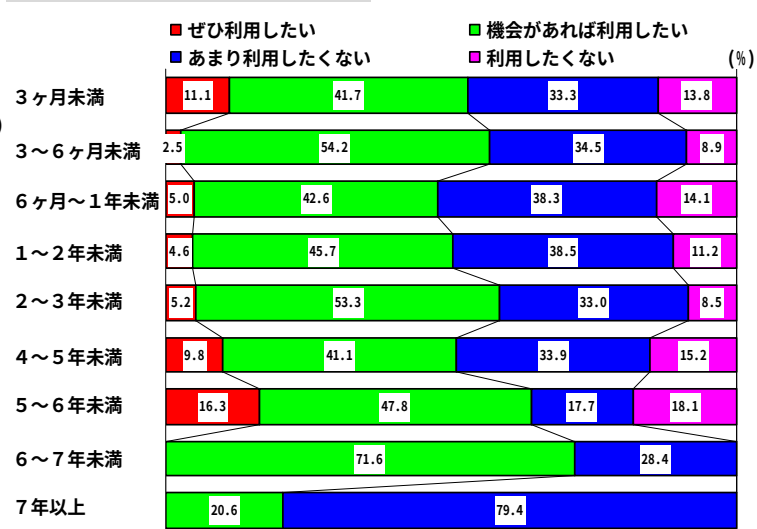
インターネットの利用形態別



男女別・年齢別



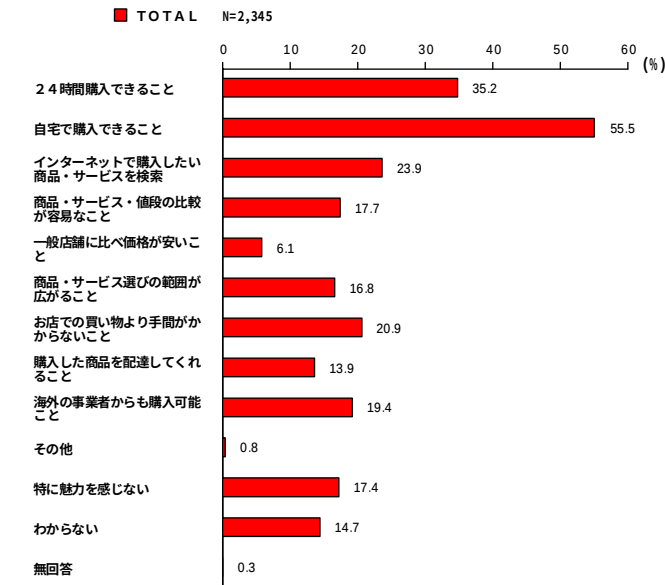
インターネットの利用年数別



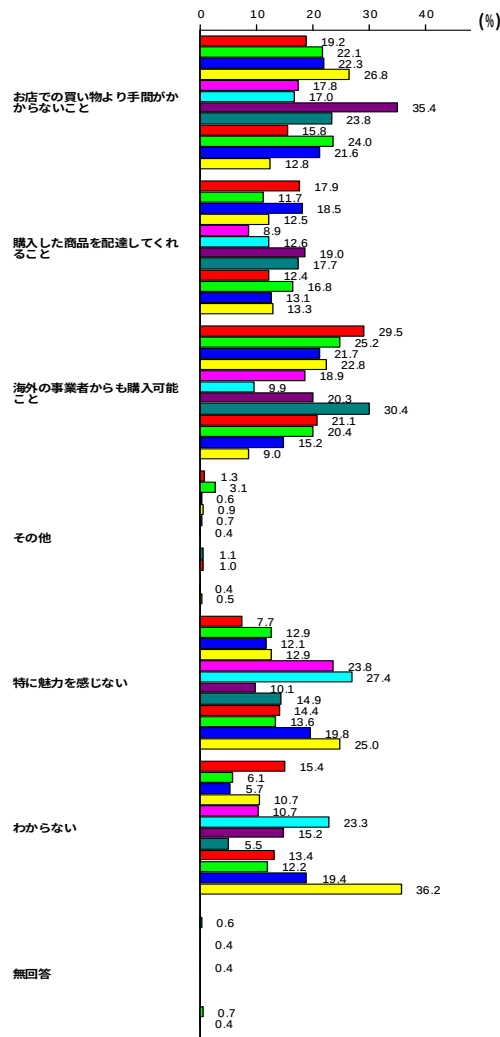
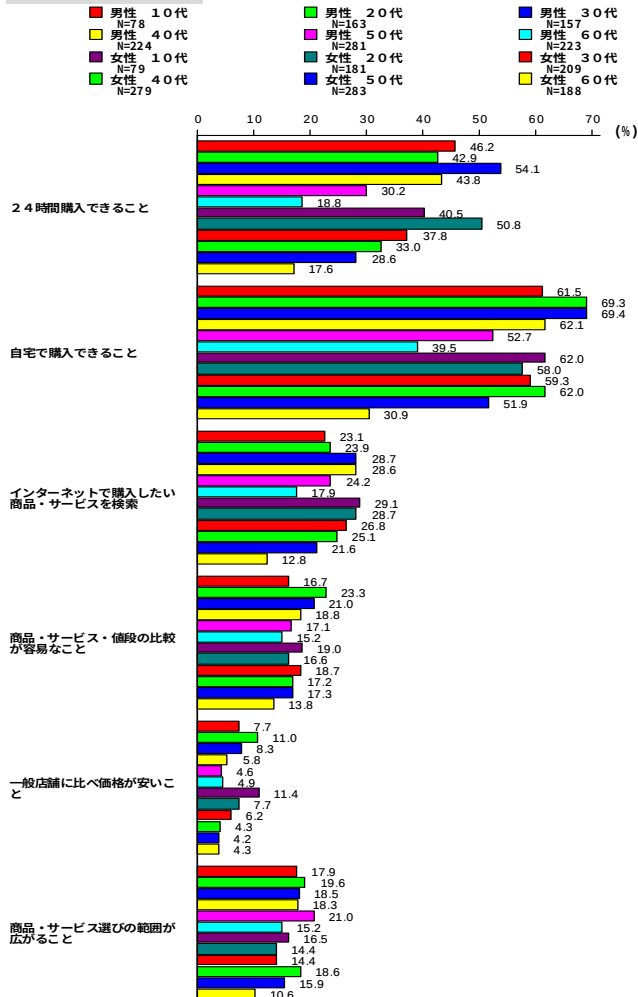
- 電子商取引の魅力としては「自宅で購入できること」が56%で最も多く、以下、「24 時間購入できること」が35%、「インターネットで購入したい商品・サービスを検索できること」が24%、「お店でショッピングすることに比べ、手間隙がかからないこと」が21%で続いている。
- 具体的な魅力は、若年層で多くあげられ、高年層では「特に魅力を感じない」が多くなっている。インターネットの利用形態別ではインターネット利用者層で具体的な項目をあげた人が多くなっている。

Q. あなたは、「電子商取引」の魅力は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体

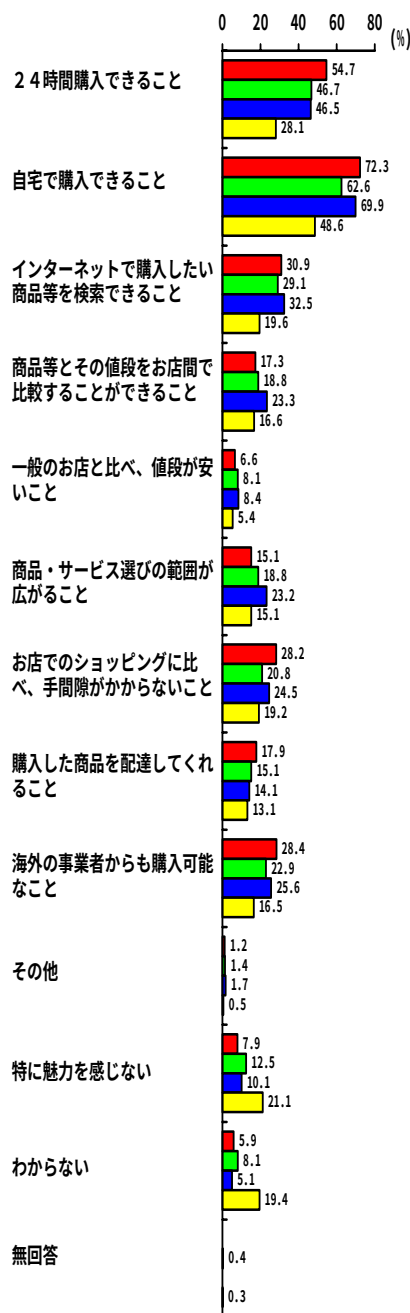


男女別・年齢別



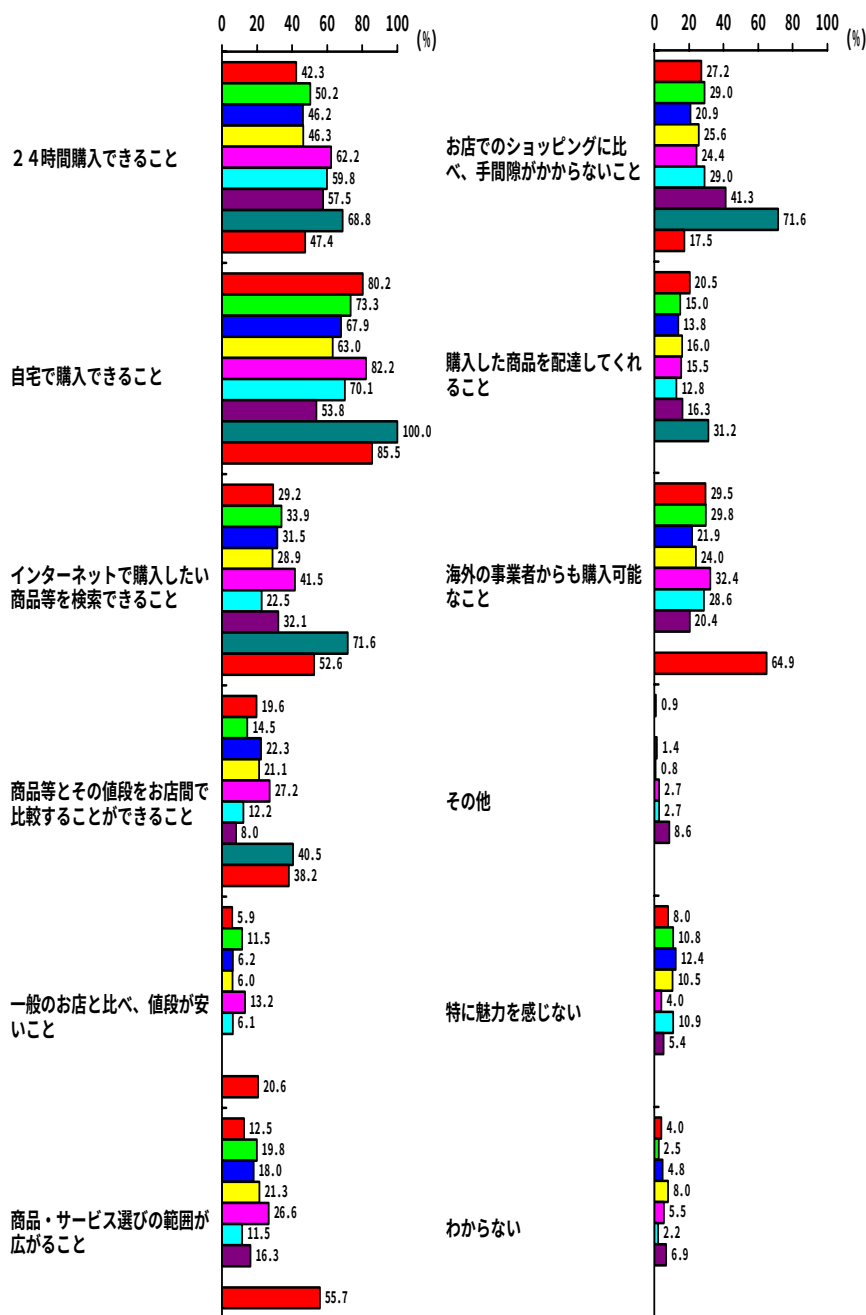
インターネットの利用形態別

- 携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用
N=262
- 携帯によってのみインターネットを利用
N=344
- 携帯以外の方法によってのみインターネットを利用
N=324
- インターネットを利用していない
N=1,399



インターネットの利用年数別

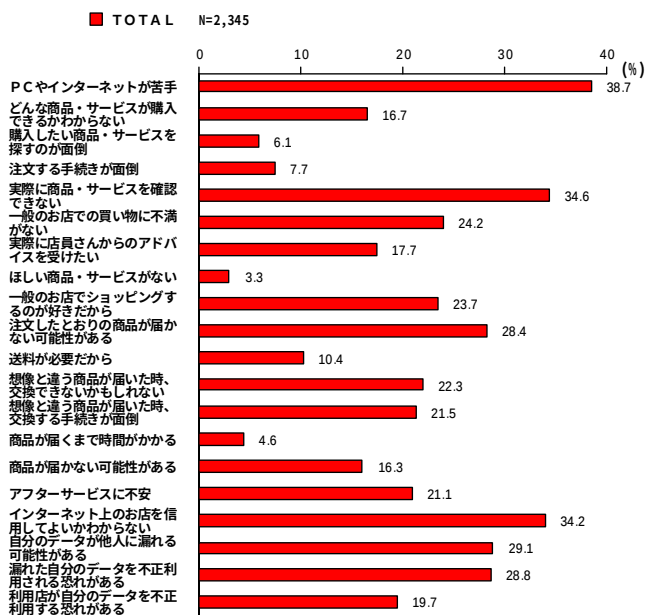
- 3ヶ月未満
N=88
- 3～6ヶ月未満
N=48
- 6ヶ月～1年未満
N=85
- 1～2年未満
N=198
- 2～3年未満
N=94
- 4～5年未満
N=51
- 5～6年未満
N=14
- 6～7年未満
N=3
- 7年以上
N=5



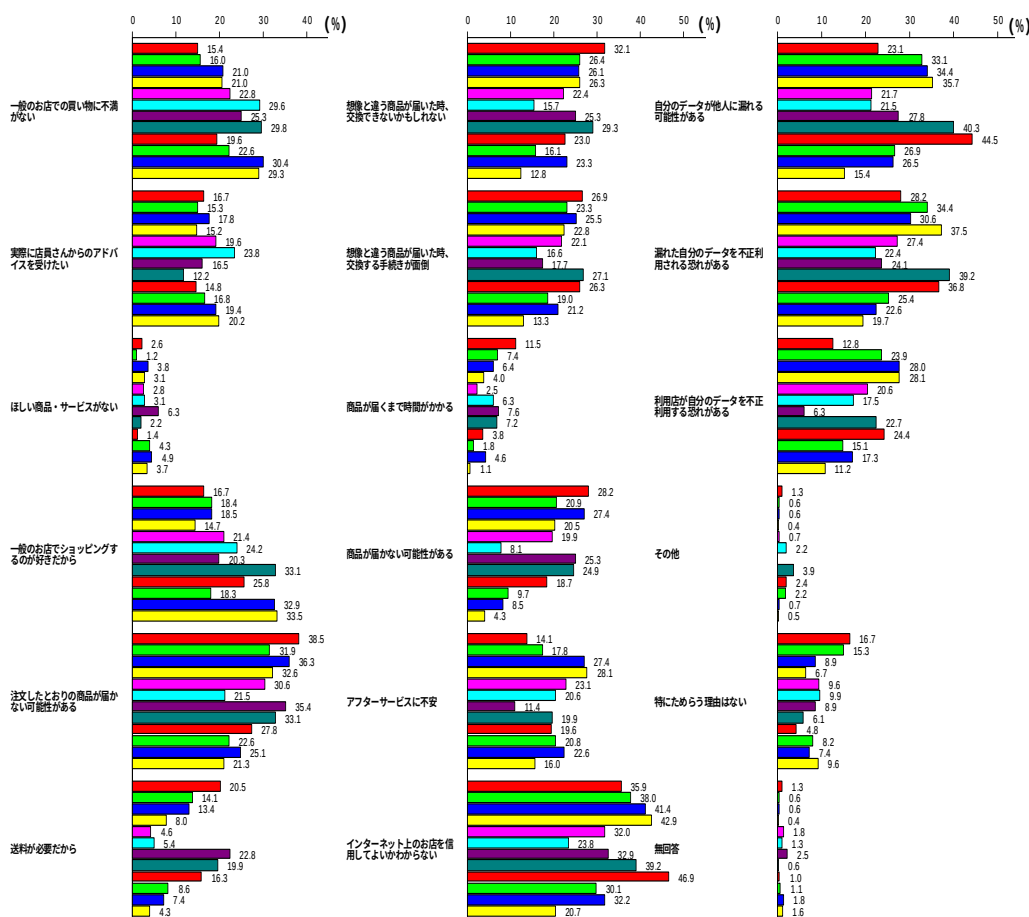
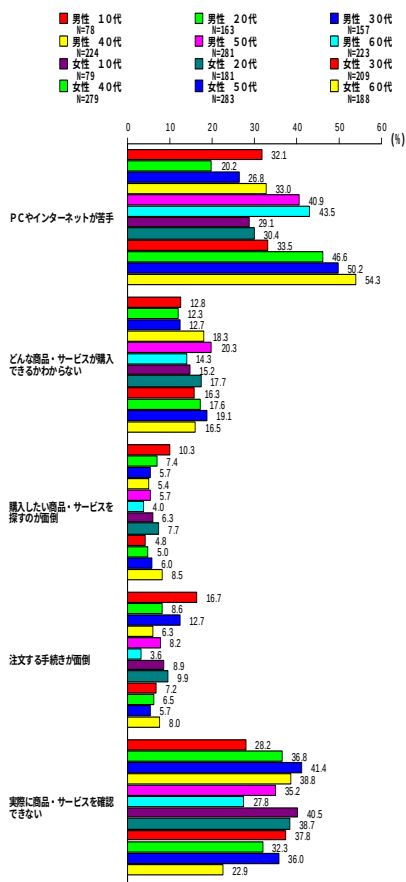
- 電子商取引をためらう理由としては「パソコンやインターネットがうまく使えないから」が39%で最も多く、以下、「実際に商品・サービスを確認することができないから」が35%、「インターネット上のお店を信用してもよいかわからないから」が34%と、主にあげられる。
- 「パソコンやインターネットがうまく使えないから」は高年層で多く、「注文した通りの商品が届かない可能性があるから」や「商品が届かない可能性があるから」は若年層で多い。「自分のデータが他人に漏れる可能性があるから」、「漏れた自分のデータを不正に利用される可能性があるから」、「商品・サービス購入先のお店が自分のデータを不正に利用する可能性があるから」といったデータの利用に関する危惧は男女ともに20代から40代を中心に多くなっている。

Q. 「電子商取引」について、あなたがためらう理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体

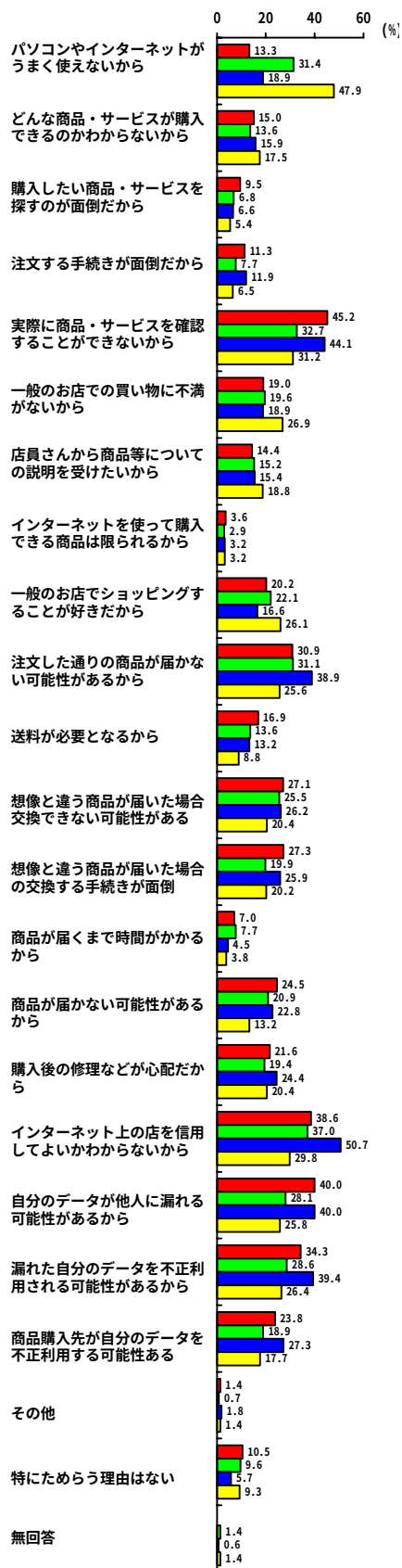


男女別・年齢別

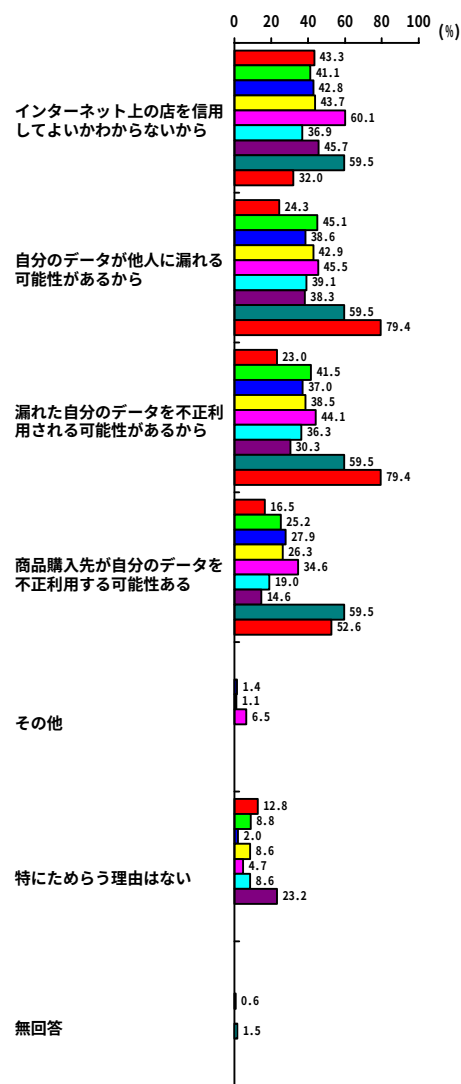
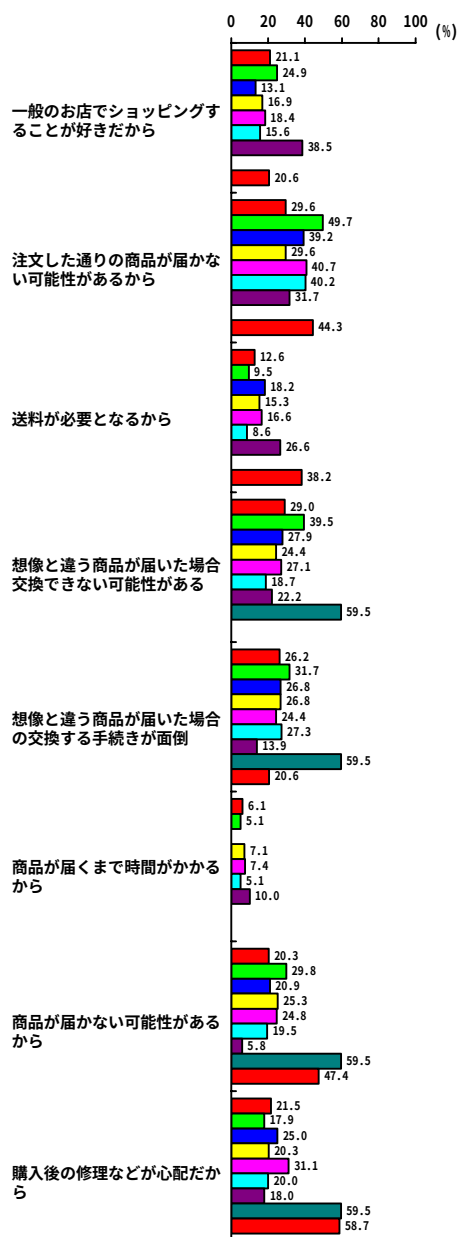
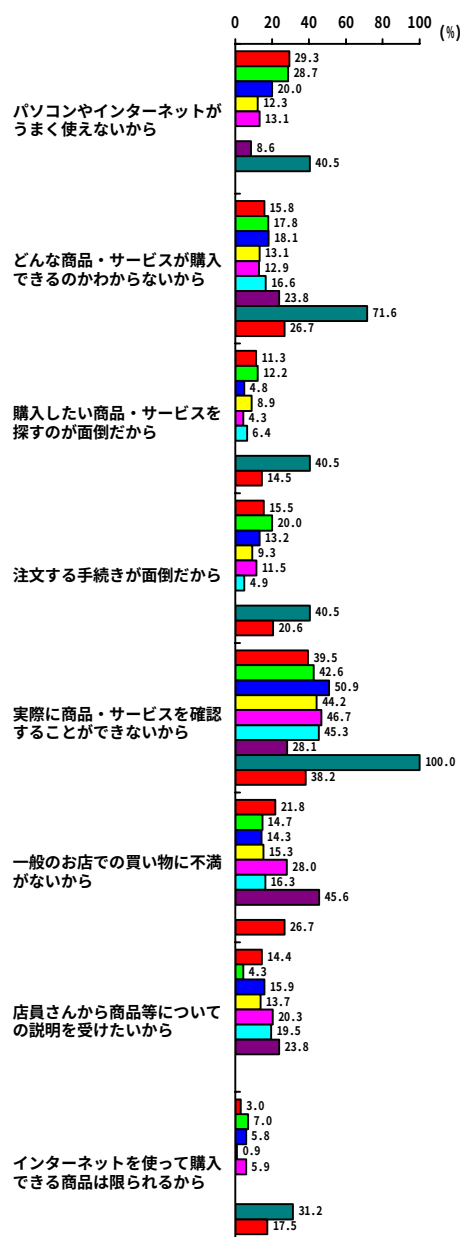
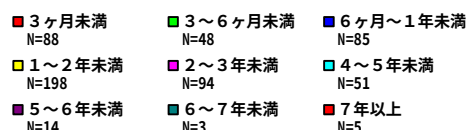


インターネットの利用形態別

■ 携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用
N=262
■ 携帯によってのみインターネットを利用
N=344
■ 携帯以外の方法によってのみインターネットを利用
N=324
■ インターネットを利用していない
N=1,399



インターネットの利用年数別



[電子商取引経験グループ]

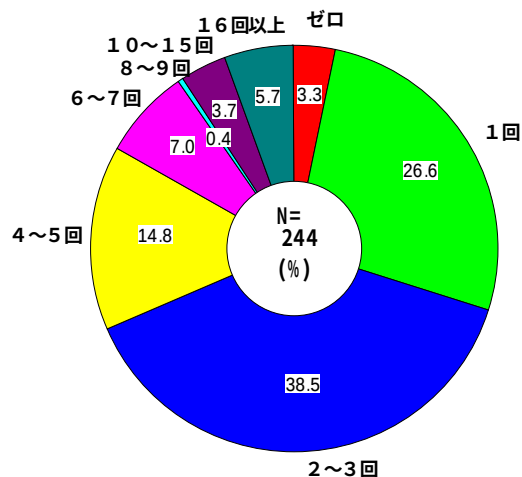
(63)利用回数(Q65)

「2～3回」が4割

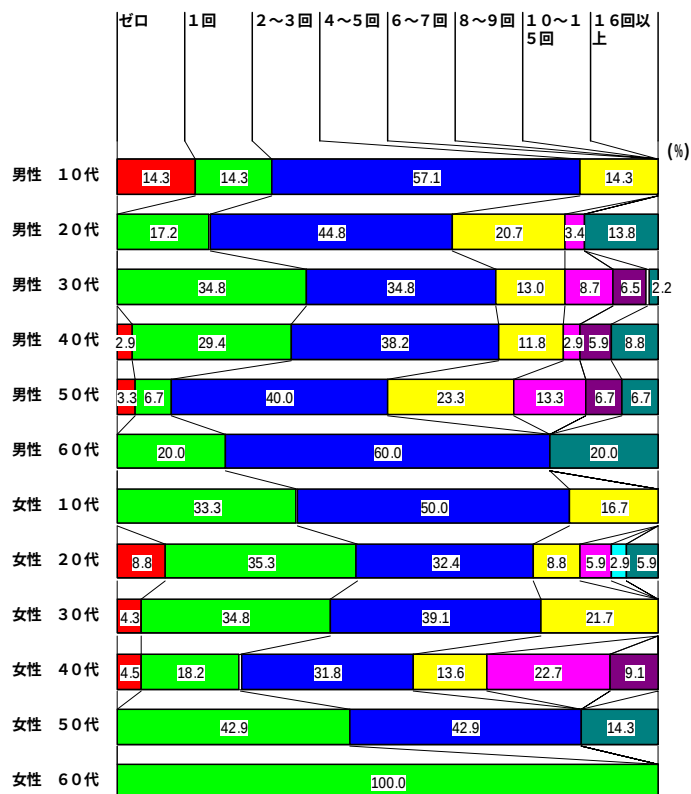
- この1年間の電子商取引の利用回数は「1回」が27%、「2～3回」が39%、「4～5回」が15%となっている。
- 男性50代と女性40代で利用回数が多くなっている。インターネットの利用年数別では6～7年未満の層で利用度が高い。

Q. あなたは、この1年間で、何回くらい「電子商取引」を行いましたか。(インターネットで注文し、代金引換や振込により代金を支払う場合も含みます。)

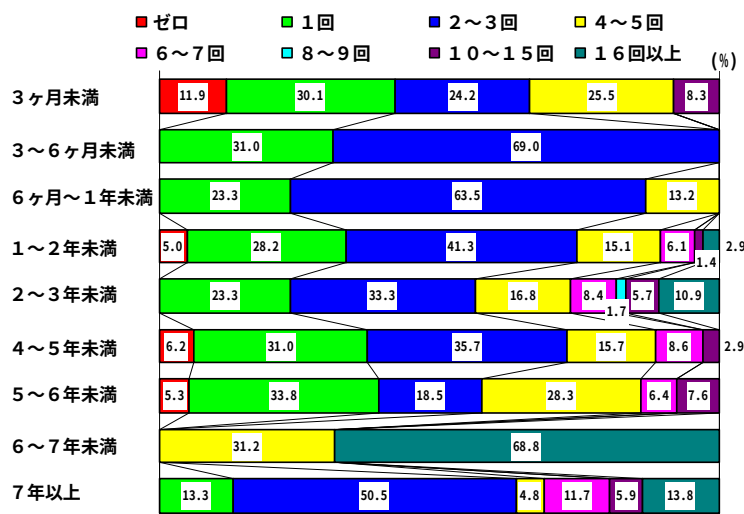
全体



男女別・年齢別



インターネット利用年数別

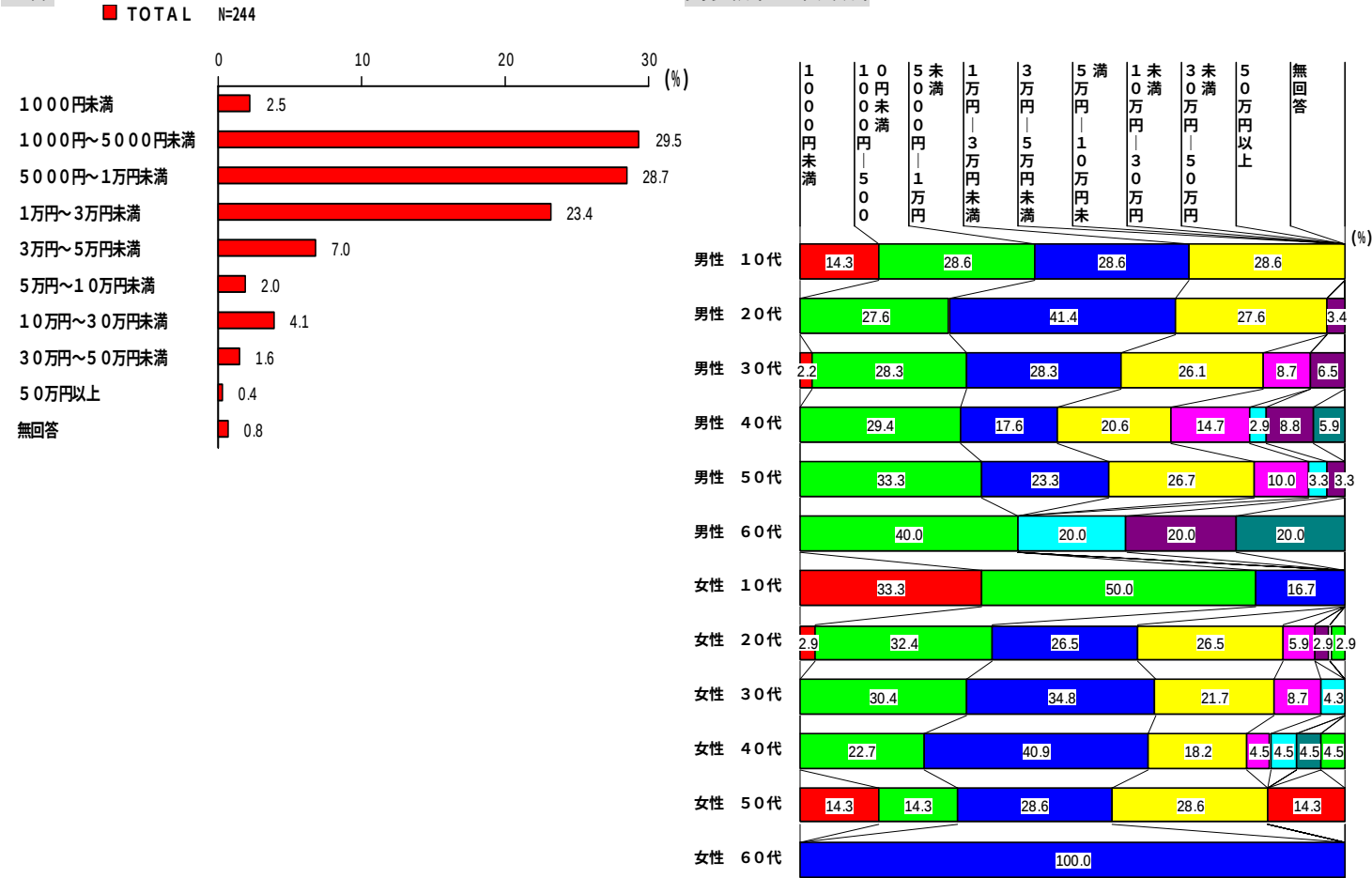


- 一回当たりの平均的な購入金額は「1000円～5000円未満」が30%、「5000円～1万円未満」が29%、「1万円～3万円未満」が23%となっている。
- 男性の40代と60代を除いて1万円未満の購入金額が半数以上を占めている。

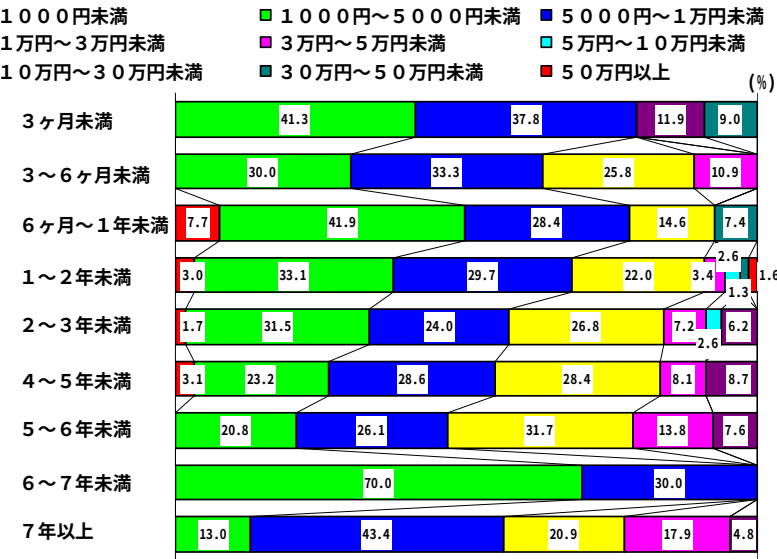
Q. これまでの「電子商取引」における、一回当たりの平均的な購入金額はどのくらいですか。

全体

男女別・年齢別



インターネット利用年数別

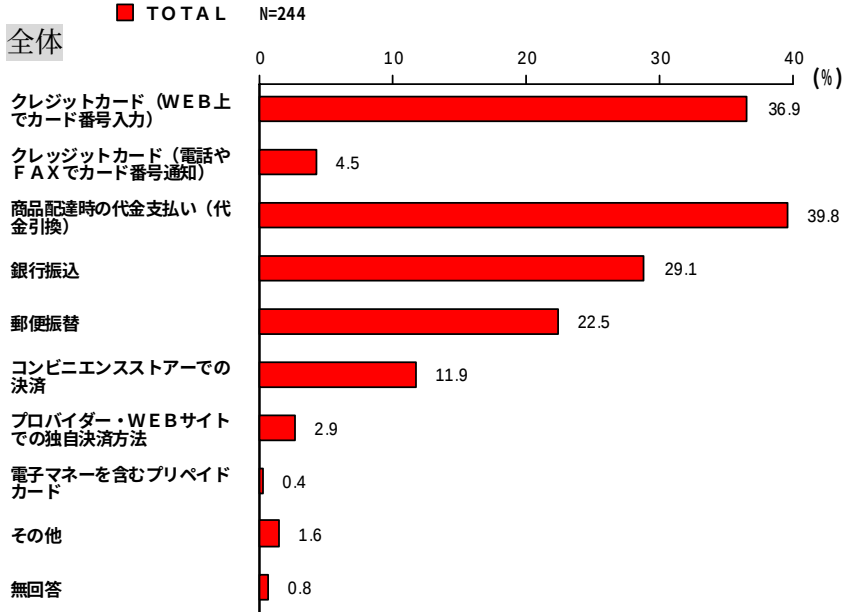


(65)決済方法(Q67)

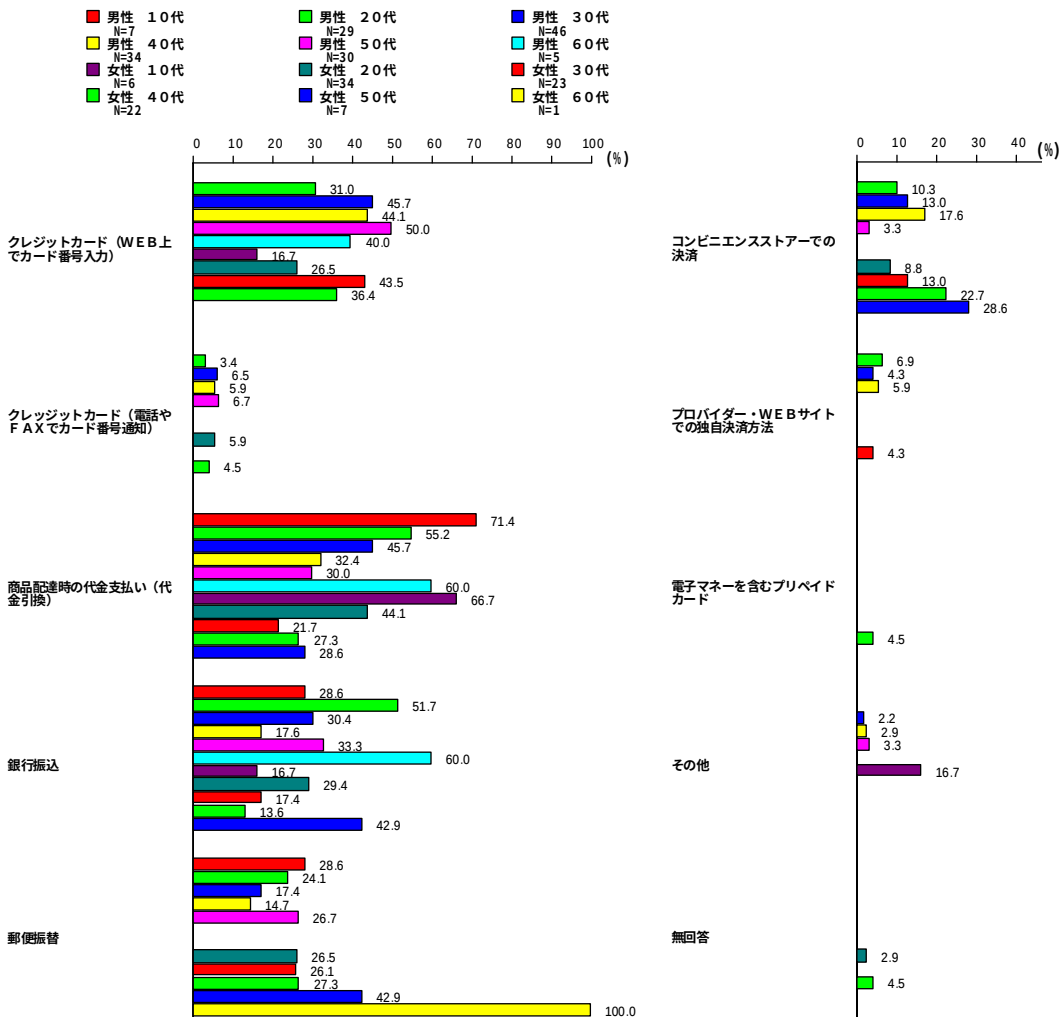
「商品配達時の代金支払い」、「クレジットカード（ウェブ上でカード番号入力）」が4割近く

- 決済方法は「商品配達時の代金支払い（代金引換）」が40%、「クレジットカード（ウェブ上でカード番号を入力）」が37%、「銀行振込」が29%、「郵便振替」が23%となっている。
- 「商品配達時の代金支払い（代金引換）」は男女ともに10代で多く、「クレジットカード（ウェブ上でカード番号を入力）」は男性の30代から50代、女性の30代が多い。「銀行振込」は男性の20代と60代が多い。

Q. インターネット上で製品やサービスを購入した際のあなたの決済方法は何でしたか。（○はいくつでも）



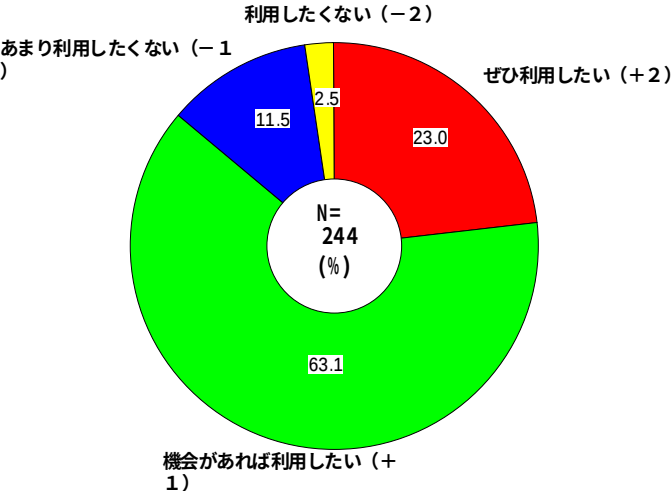
男女別・年齢別



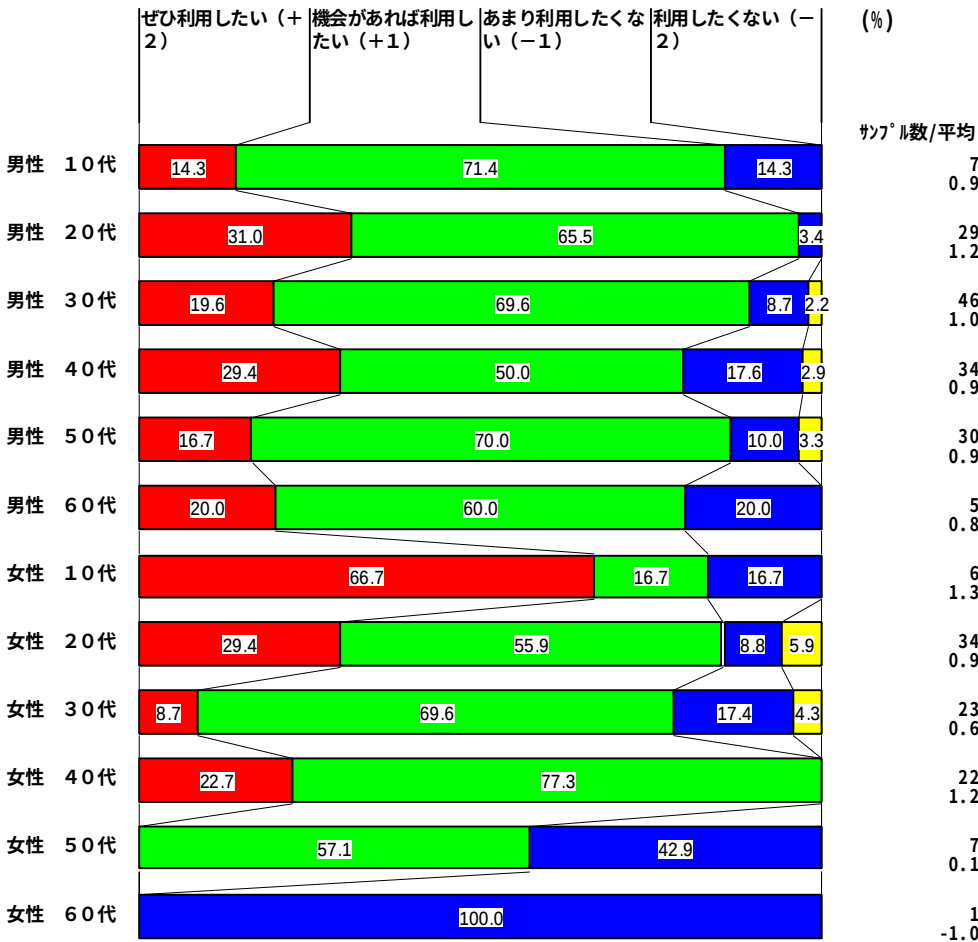
●電子商取引を「ぜひ利用したい」が23%、「機会があれば利用したい」が63%で、8割強が利用意向を持っている。
●利用意向がある人は、男性では20代、女性では40代で最も多い。女性の10代では、「ぜひ利用したい」がきわだって多い。

Q. 今後とも「電子商取引」を利用したいと思いますか。(インターネットで注文し、代金引換や振込により代金を支払う場合も含みます。)

全体



男女別・年齢別



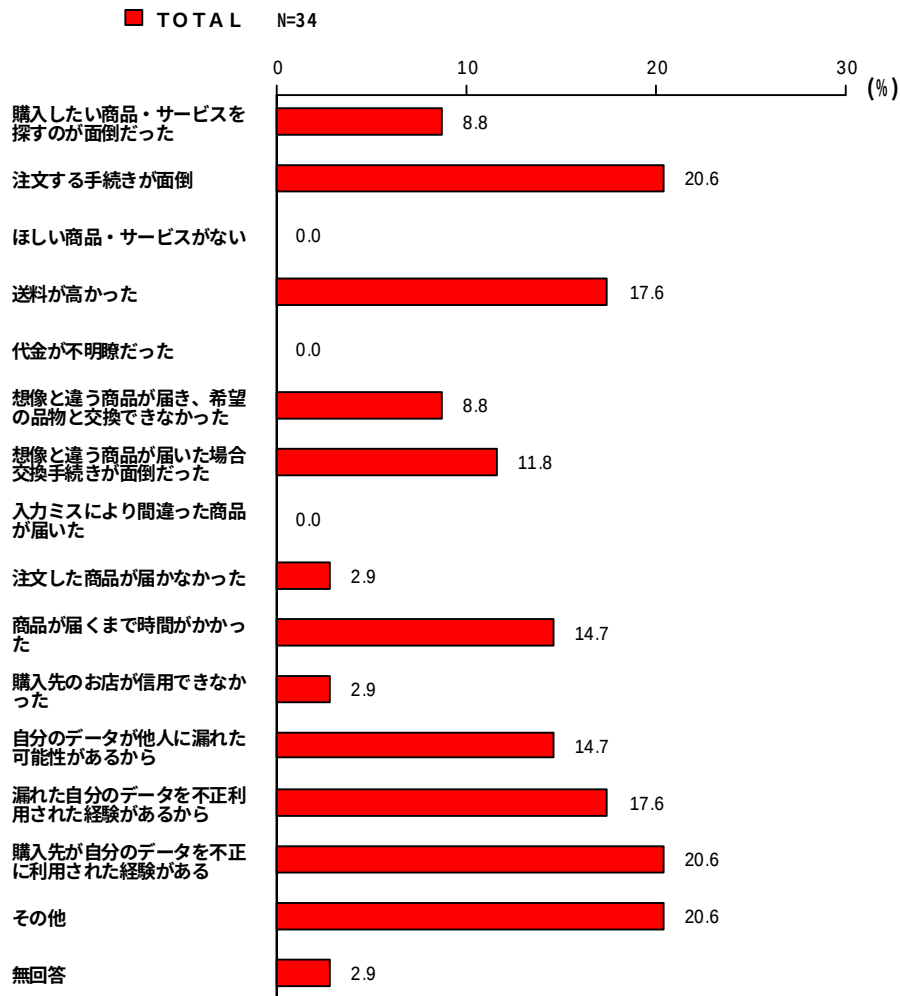
(67) 今後、利用したくない理由(Q68-1)

「注文する手続きが面倒だったから」、「データを不正に利用された可能性があるから」が2割

●電子商取引を利用したくない理由としては「注文する手続きが面倒だったから（注文画面がわかりにくかったから）」と「商品・サービス購入先のお店が自分のデータを不正に利用された可能性があるから」がともに21%、次いで、「送料が高かったから」と「漏れた自分のデータを不正に利用された可能性があるから」が18%となっている。

Q. 電子商取引を今後、利用したくない方にお聞きます。
その理由は何ですか。（○はいくつでも）

全体



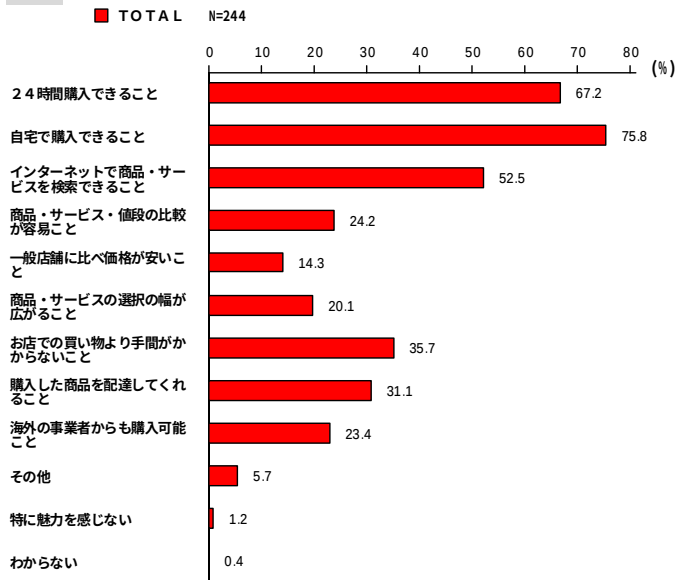
(68)電子商取引の魅力(Q69)

「自宅で購入できること」が4人に3人

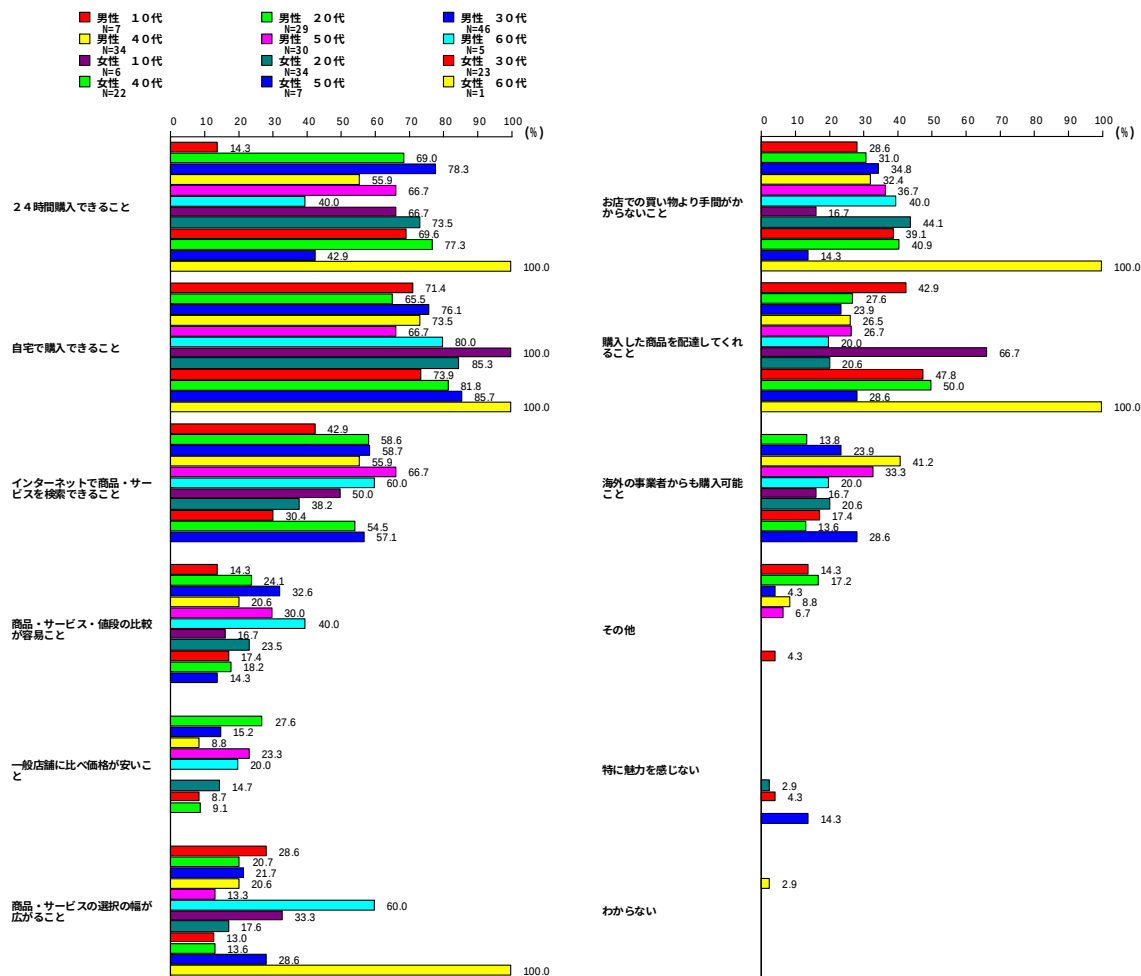
●電子商取引の魅力としては「自宅で購入できること」が76%で最も多く、以下、「24時間購入できること」が67%、「インターネットで商品・サービスを検索できること」が53%と半数以上の人にあげられている。

Q. あなたは、「電子商取引」の魅力は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

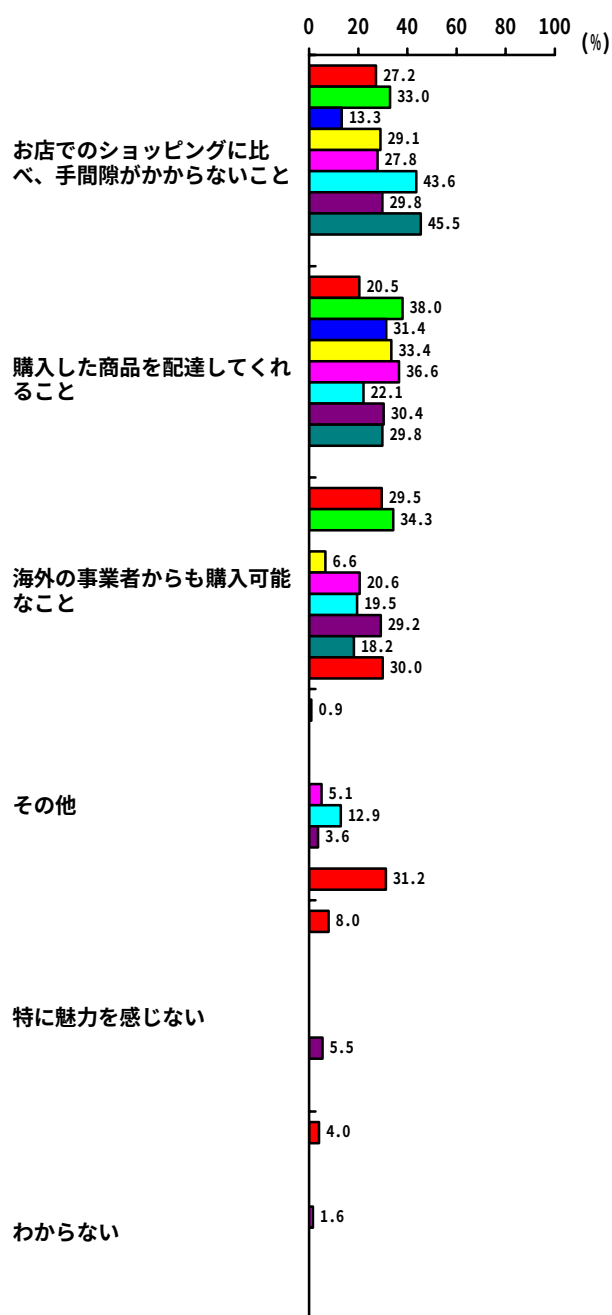
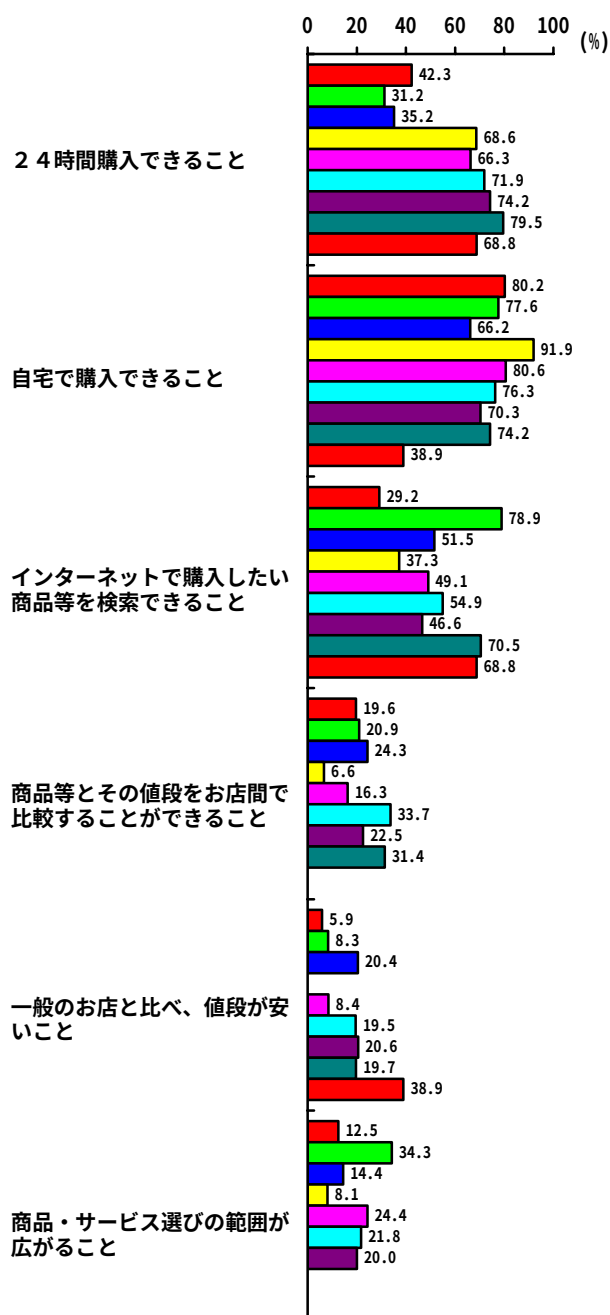
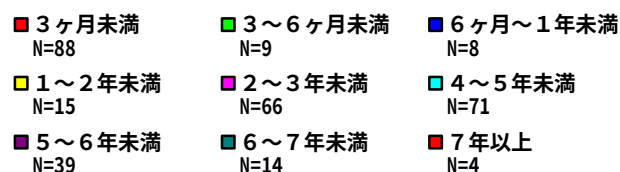
全体



男女別・年齢別



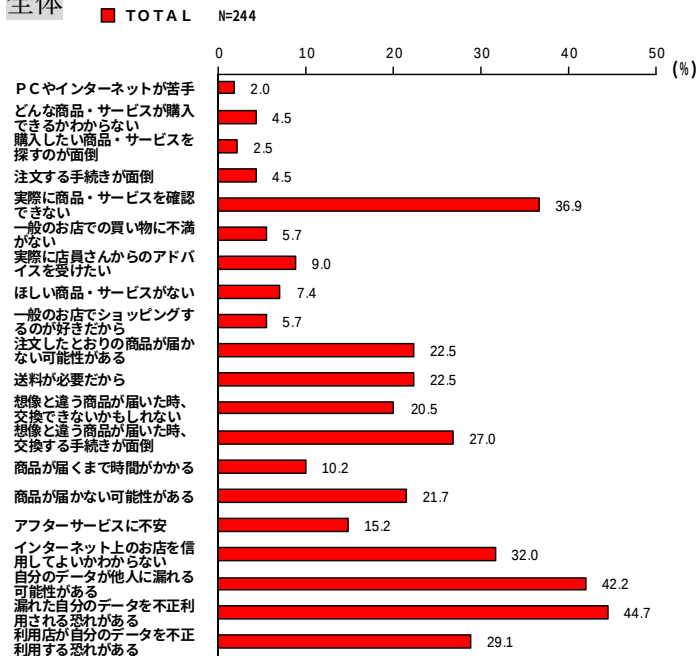
インターネット利用年数別



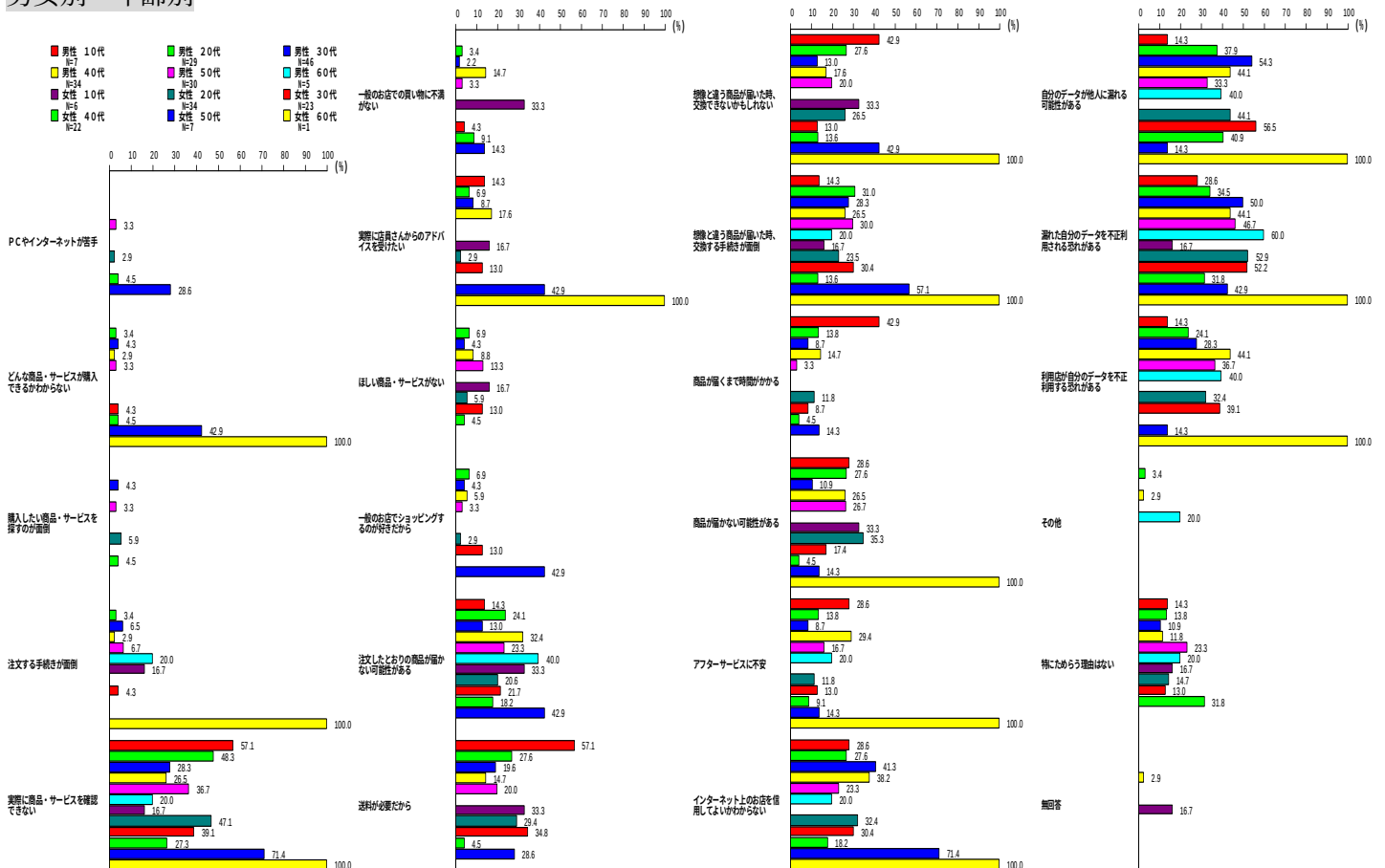
●電子商取引をためらう理由としては「漏れた自分のデータを不正に利用される可能性があるから」が45%で最も多く、次いで「自分のデータが他人に漏れる可能性があるから」が42%となっている。また、「商品・サービス購入先のお店が自分のデータを不正に利用する可能性があるから」も29%でデータの不正利用に関する危惧が電子商取引をためらう大きな理由となっている。このほかでは「実際に商品・サービスを確認することができないから」が37%、「インターネット上のお店を信用してもしよいかかわからないから」が32%と多くなっている。

Q. 「電子商取引」について、あなたがためらう理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体

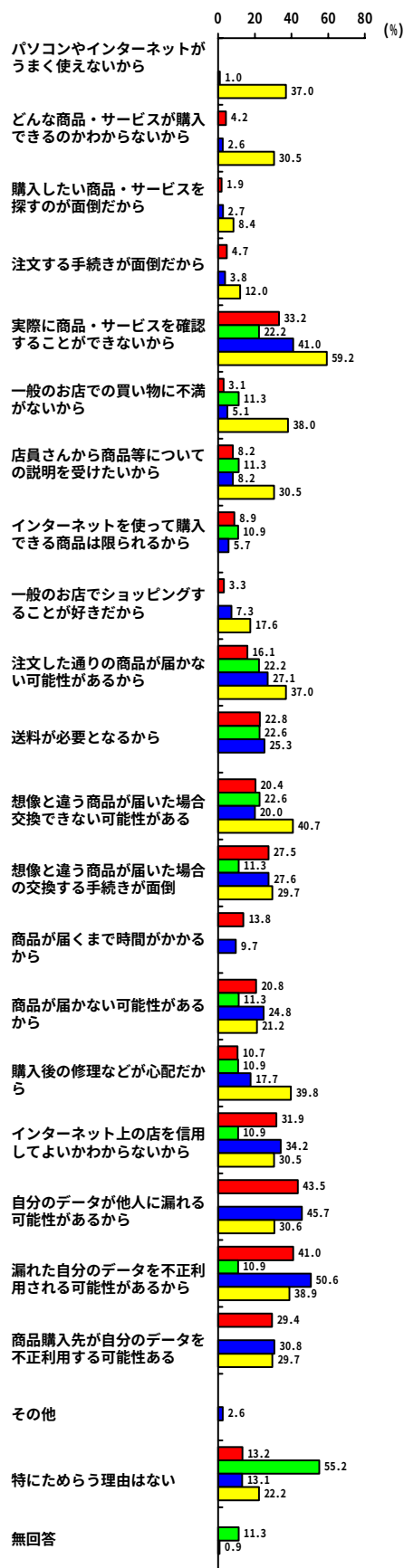


男女別・年齢別

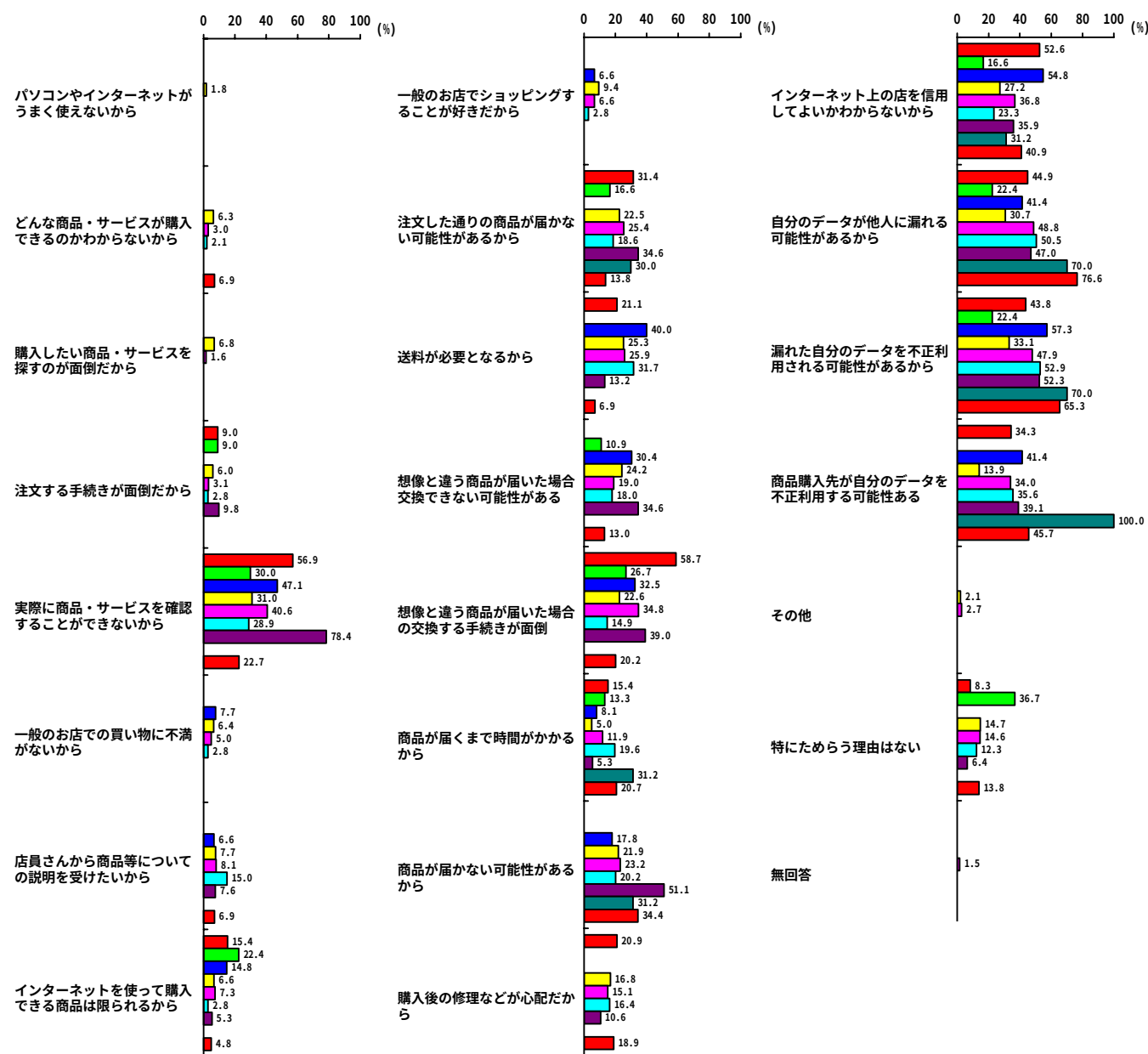
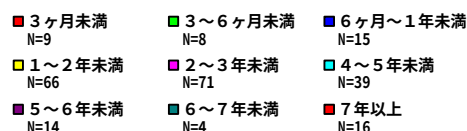


インターネットの利用形態別

- 携帯とそれ以外の方法によりインターネットを利用
N=117
■ 携帯によってのみインターネットを利用
N=10
■ 携帯以外の方法によってのみインターネットを利用
N=124
■ インターネットを利用していない
N=9



インターネットの利用年数別



セキュリティ [インターネット利用者（携帯インターネット以外）]

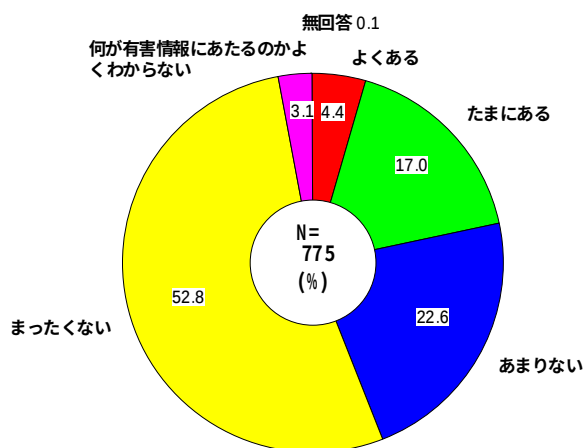
(70)違法情報や有害情報の目撃(Q23)

5人に1人が目撃

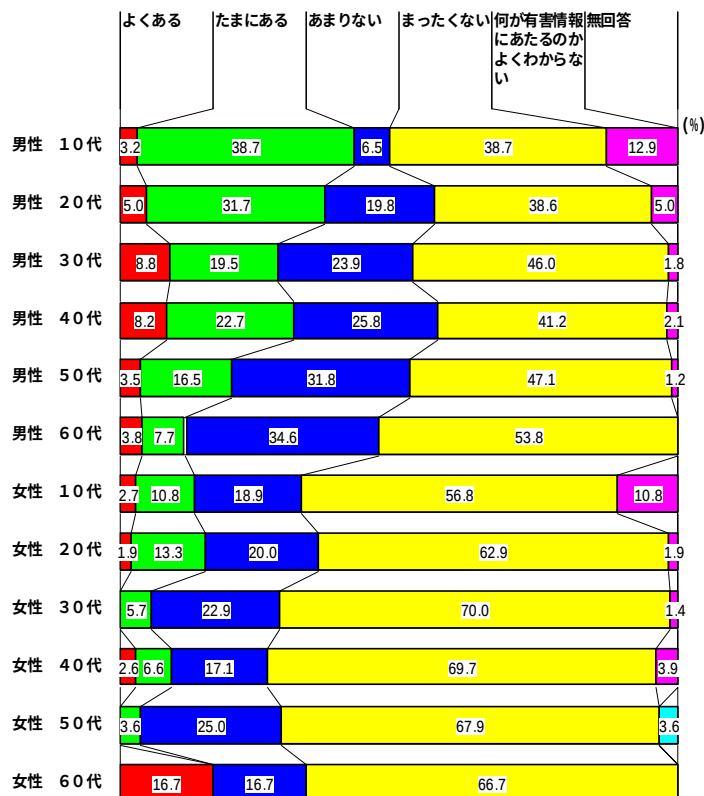
- 違法情報や有害情報を目にしたことが「よくある」が4%、「たまにある」が17%で、5人に1人が目撃している。
- 目にしたことがある人は、女性よりも男性、高年層よりも若年層で多くなっている。利用場所別では、学校で目にしたことがある人が多く、インターネットの利用年数別では、利用年数が長い層で目にしたことがある人が多くなっている。

Q. あなたは、インターネット利用中に、児童ポルノや覚せい剤販売といった違法情報や犯罪を誘発するような有害情報を目にしたことがありますか。

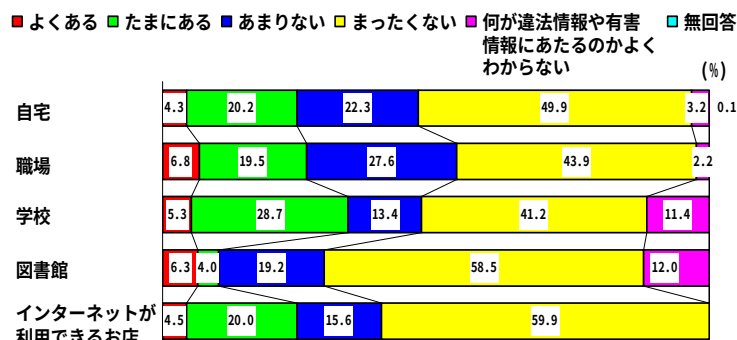
全体



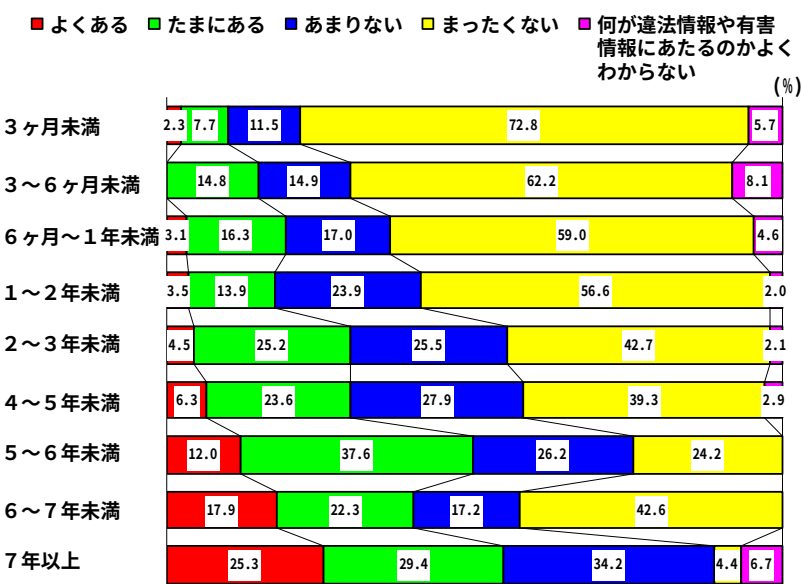
男女別・年齢別



利用場所別



インターネットの利用年数別



(71) 違法情報への対応(Q24)

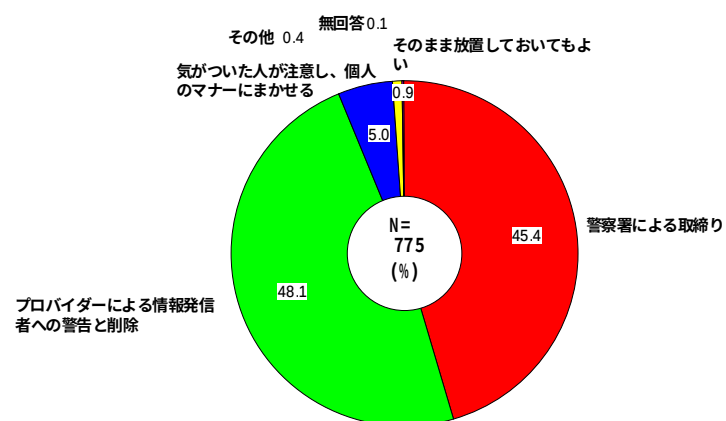
「プロバイダーによる警告と削除」48%、「警察等による取り締まり」45%

- 違法情報への対応としては「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」が48%で最も多く、次いで、「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」が45%を占める。
- 「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」は、男性の60代と女性の10代、60代で多く、「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」は男性の50代と女性の40代から50代で多くなっている。違法・有害情報の目撃経験別では、目撃経験がない層で「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」が多くなっている。

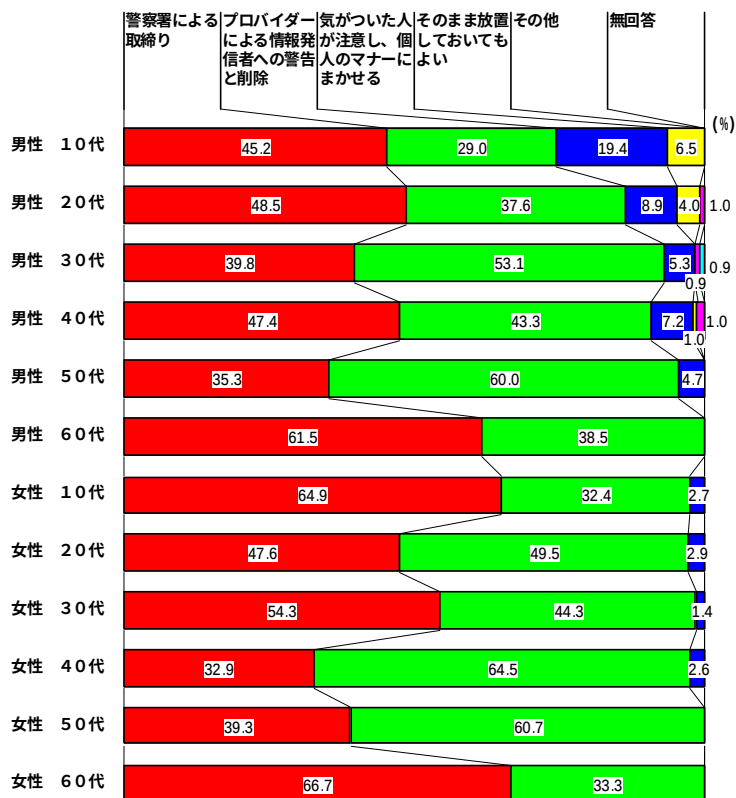
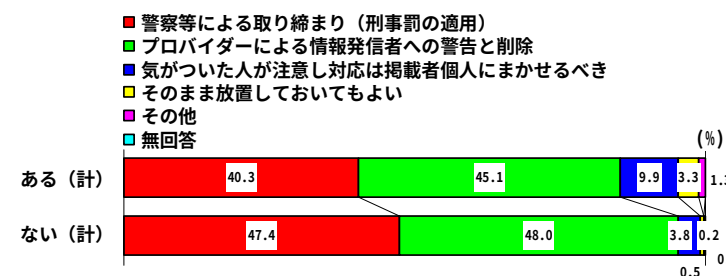
Q. あなたは、詐欺・悪徳商法、児童ポルノ、著作権を侵害している情報など（違法情報）について、どのように対処すべきと思いますか。最も重要と思われるものを選んで下さい。（○は1つ）

全体

男女別・年齢別



違法・有害情報の目撃経験別



(72) 有害情報への対応(Q25)

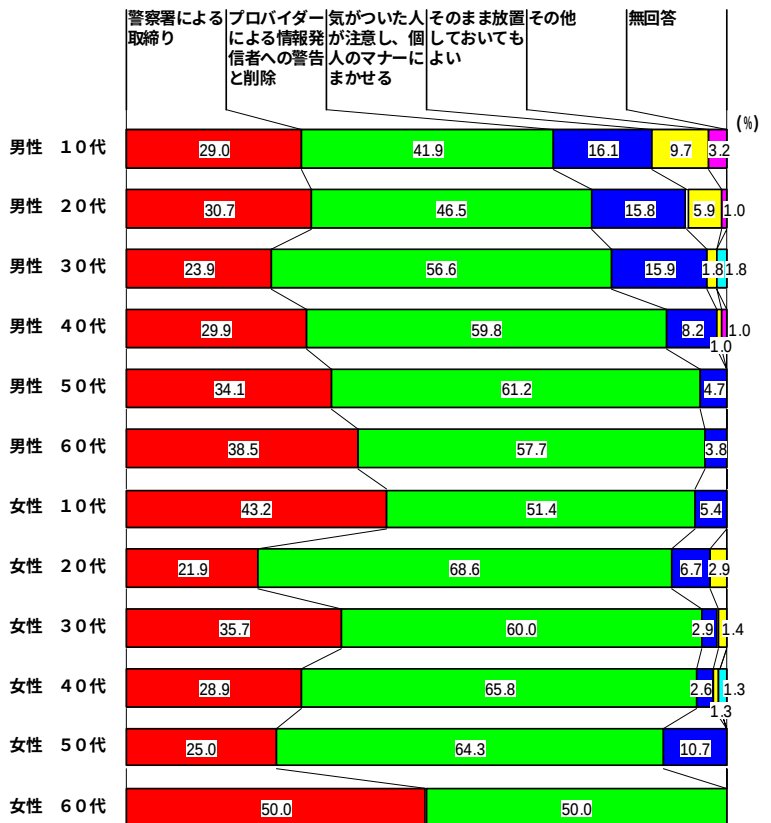
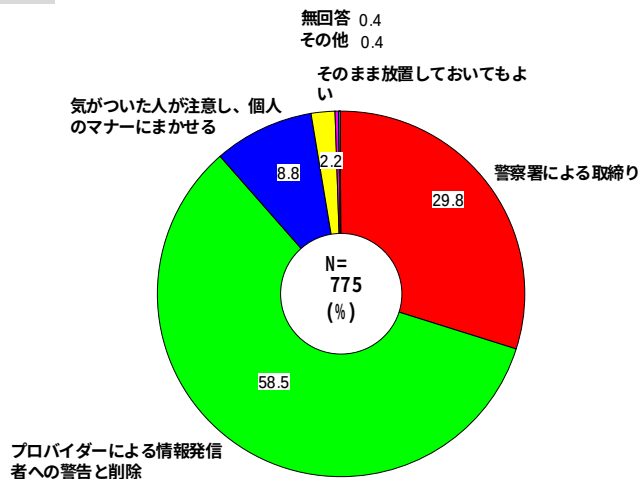
「プロバイダーによる警告と削除」59%、「警察等による取り締まり」30%

- 有害情報への対応としては「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」が59%で最も多く、次いで、「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」が30%となっている。
- 「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」は、女性の10代と60代で多く、「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」は女性の20代、40代、50代で多くなっている。違法・有害情報の目撃経験別では、「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」も「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」も目撃経験がない層で多くなっている。違法情報への対応別では、互いに相関がみられる。

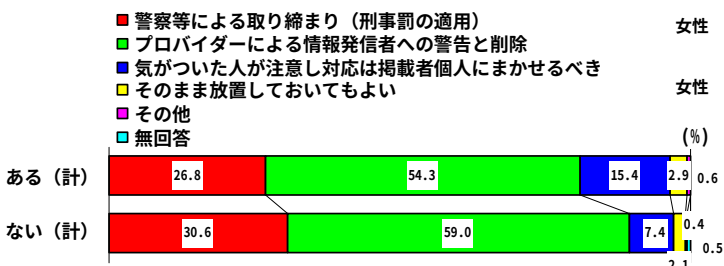
Q. あなたは、違法ではないが、犯罪を行う方法を具体的に解説する情報等、社会的に有害だと考えられる情報（有害情報）について、どのように対処すべきと思いますか。最も重要と思われるものを選んで下さい。（○は1つ）

全体

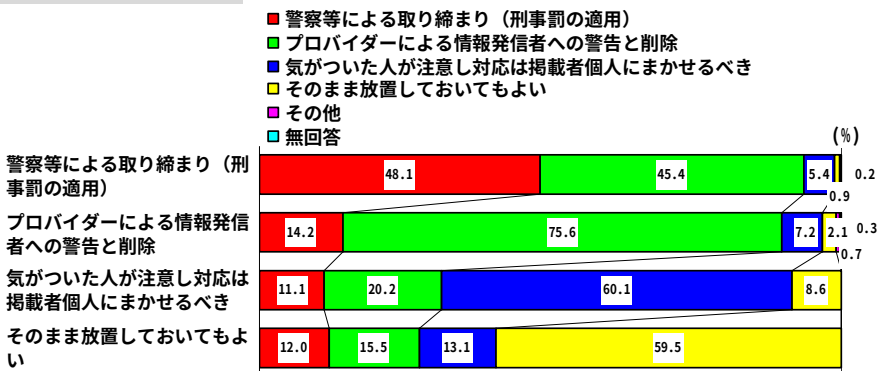
男女別・年齢別



違法・有害情報の目撃経験別



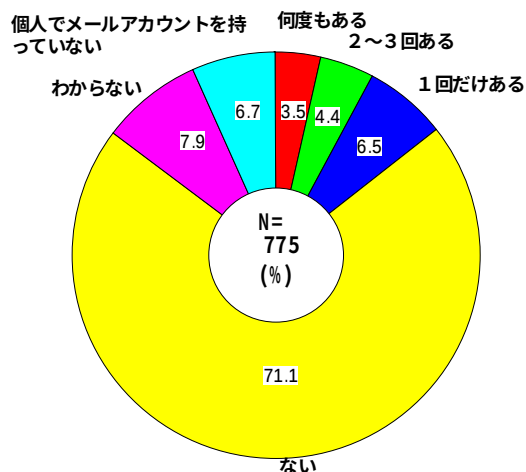
違法情報への対応別



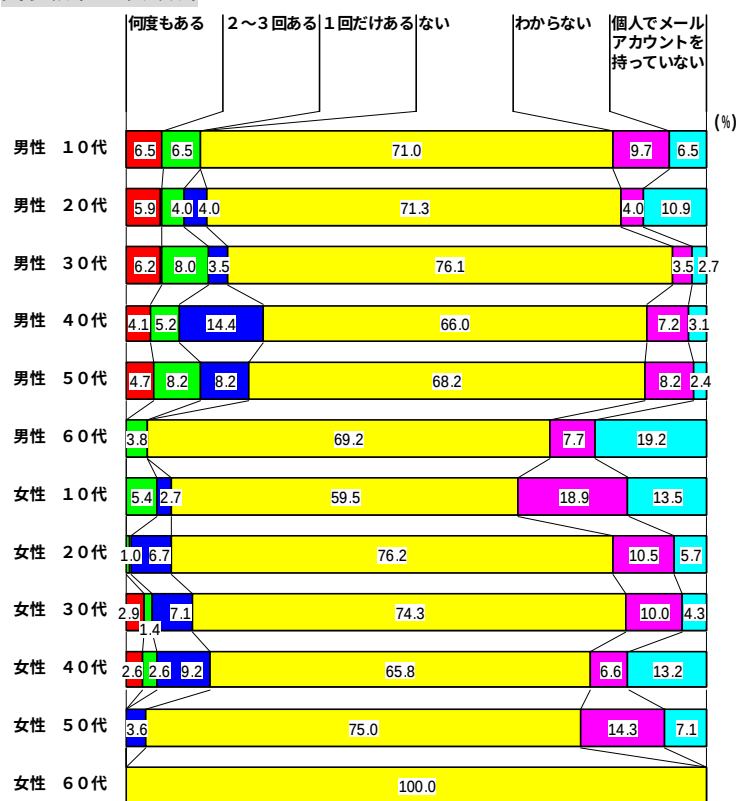
- ウイルス感染したメールを受け取ったことが「何度もある」、「2～3回ある」がともに4%、「1回だけある」が7%で、受け取った経験が『ある』人が1割を超える。
- ウイルス感染メールの受信経験がある人は、女性よりも男性で多く、特に男性の40代で多くなっている。利用場所別では、職場で多く、インターネットの利用年数別では、利用年数が5～6年未満と4～5年未満の層で多くなっている。

Q. あなたは、ウイルス感染したメールを受け取ったことがありますか。

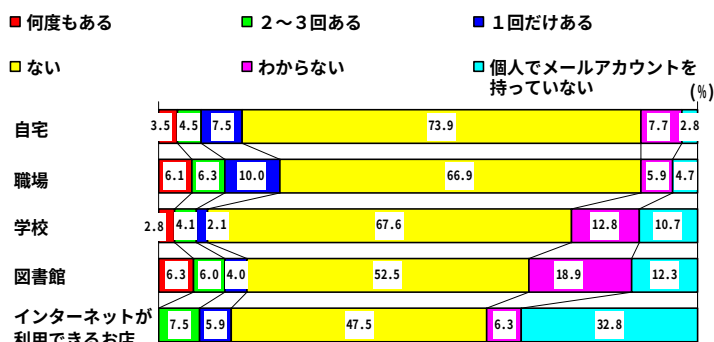
全体



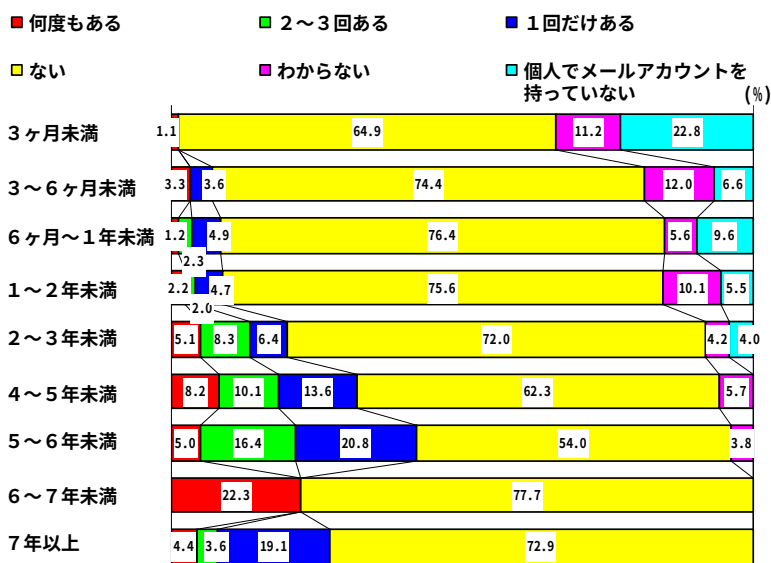
男女別・年齢別



利用場所別



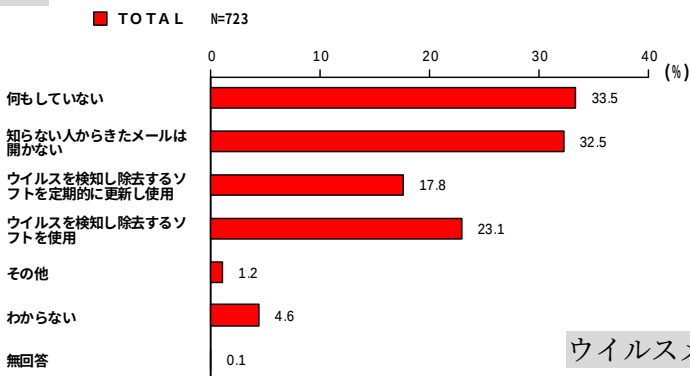
インターネット利用年数別



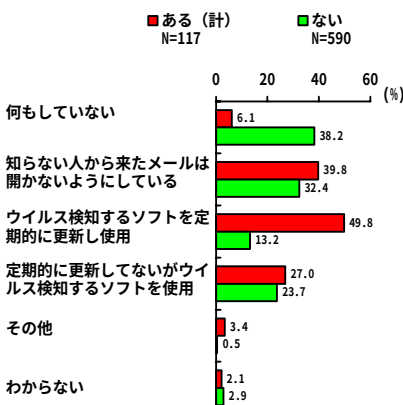
- ウィルス感染メールへの対策としては、「知らない人から来たメールは開かないようにしている」が33%、「定期的に更新してないがウィルスを検知し除去するソフトを使っている」が23%、「ウィルスを検知し除去するソフトを定期的に更新し使っている」が18%となっている。一方、「何もしていない」が34%である。
- 「何もしていない」は男女ともに10代で多く、ウィルスメール受信経験別では経験がない層、インターネットの利用年数別では利用年数が短い層ほど多くなっている。「知らない人から来たメールは開かないようにしている」は男女の40代、利用場所別では、自宅や職場で多い。「ウィルスを検知し除去するソフトを定期的に更新し使っている」は女性よりも男性で多く、なかでも男性の40代で多い。また、ウィルスメール受信経験別では経験がある層、利用場所別では職場、インターネットの利用年数別では、利用年数が長い層で多くなっている。

Q. あなたは、ウィルス感染したメールによりコンピューターなどが悪影響を受けないように、何か対策をとっていますか。
(〇はいくつでも)

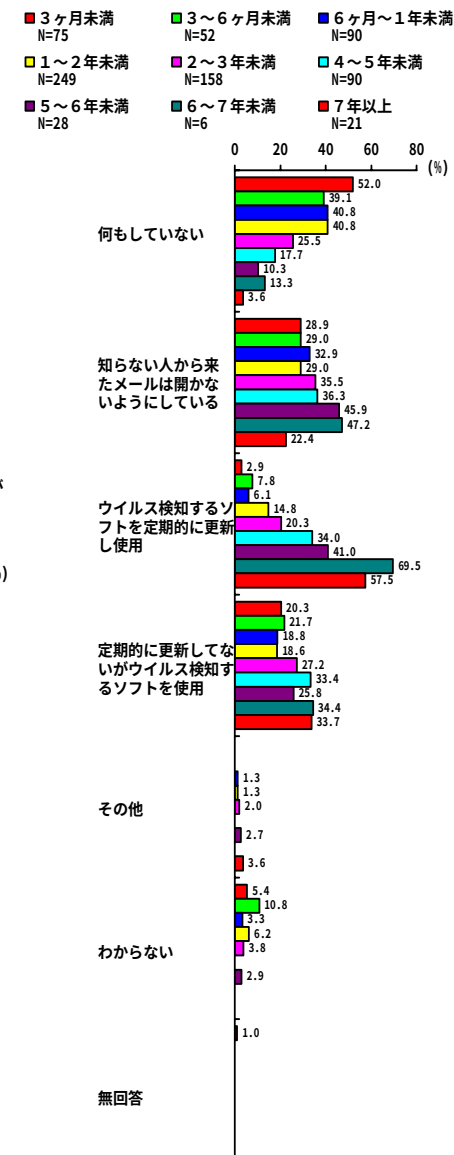
全体



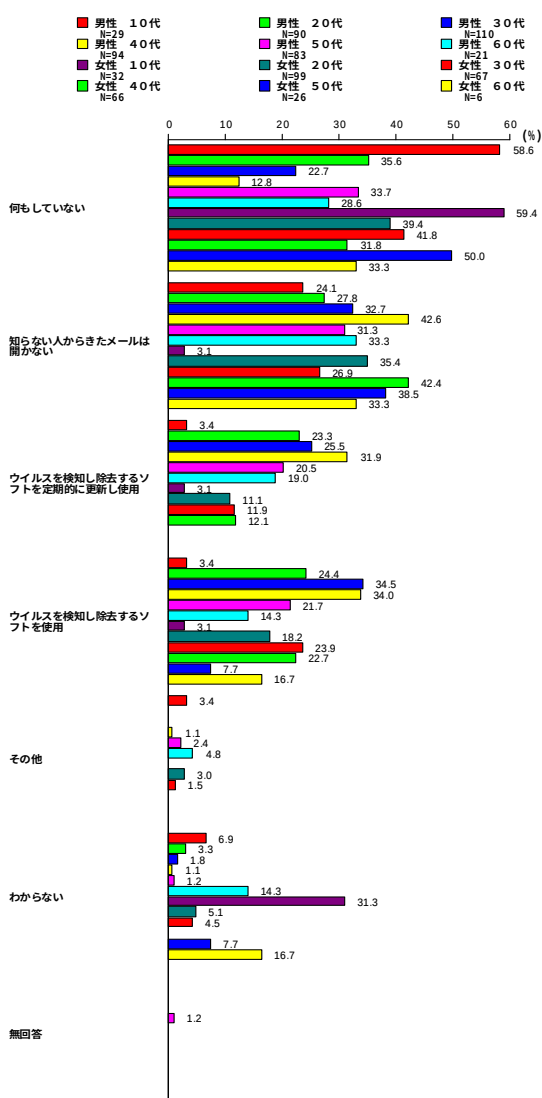
ウィルスメール受信経験別



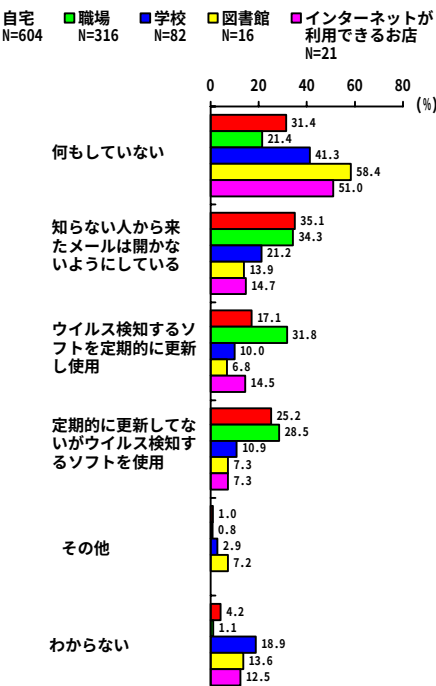
インターネット利用年数別



男女別・年齢別



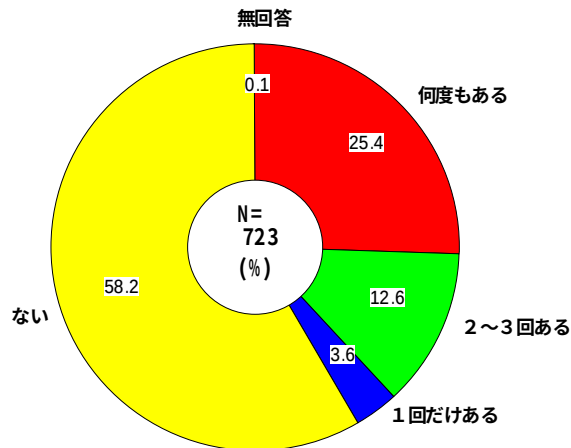
利用場所別



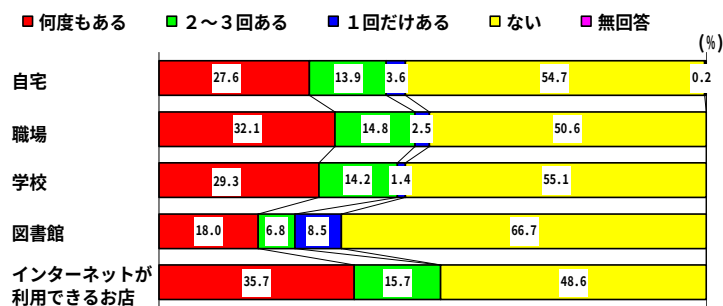
- 迷惑メールを受け取ったことが「何でもある」が25%、「2～3回ある」が13%、「1回だけある」が4%で、受け取った経験が『ある』人が4割を超える。
- 迷惑メールの受信経験がある人は、男性の10代と20代で多くなっている。インターネットの利用年数別では、利用年数が長い層で多く、ウイルス感染メールの受信経験とは互いに相関がみられる。

Q. あなたは、個人的にもビジネス上もあなたと何ら関係を持たず、受け取りを希望しないメール（迷惑メール）を受け取った経験がありますか。

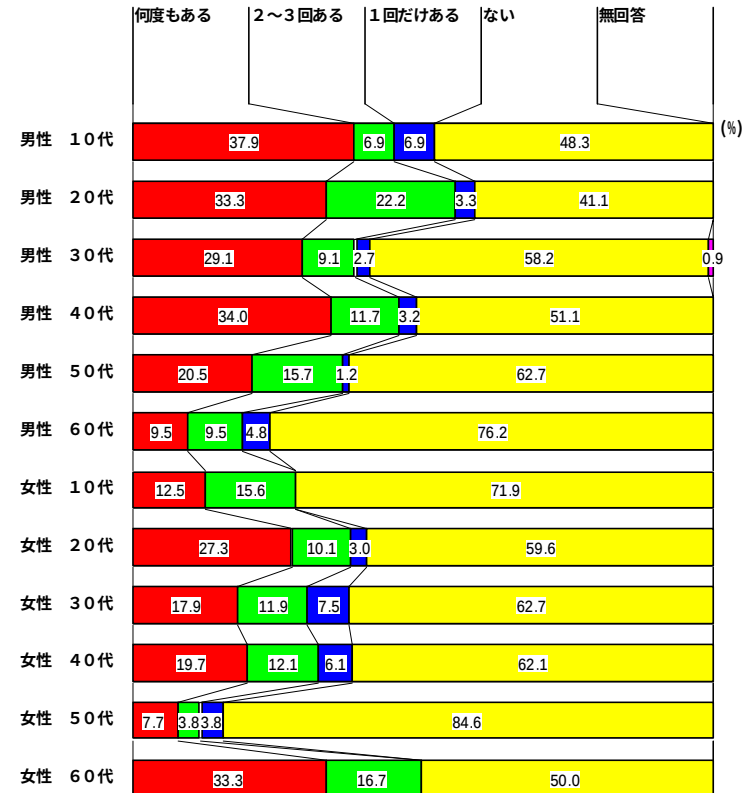
全体



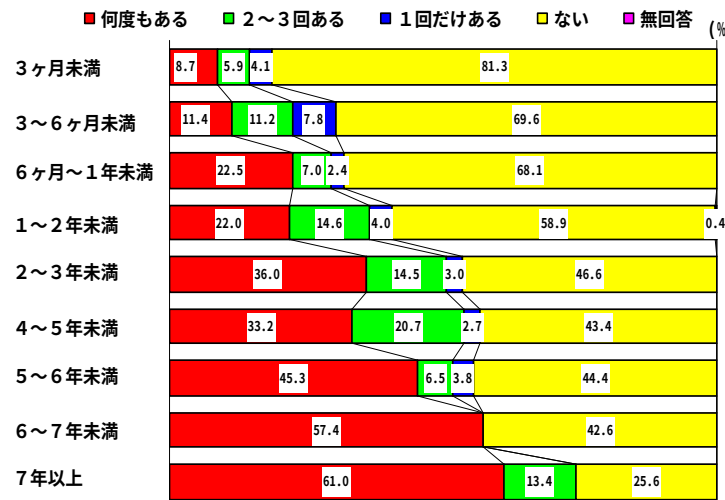
利用場所別



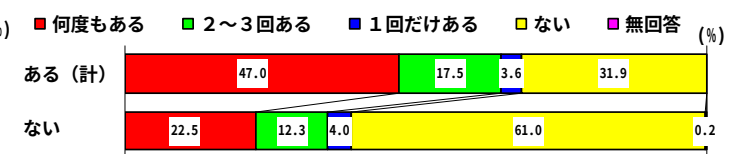
男女別・年齢別



インターネット利用年数別



ウイルス感染メール受信経験別



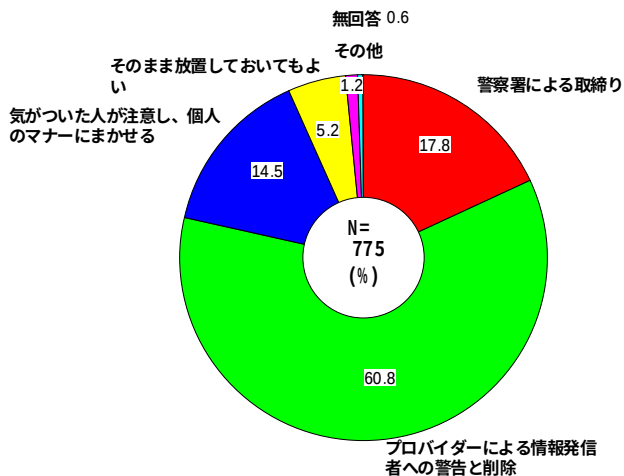
(76)迷惑メールへの対応(Q29)

「プロバイダーによる警告と削除」が6割

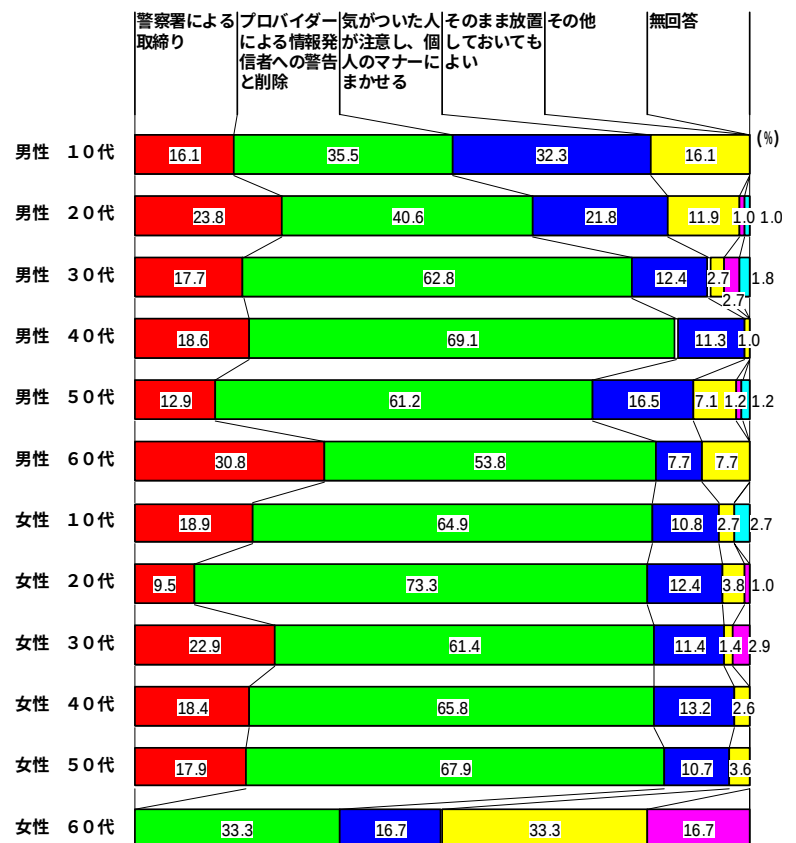
- 迷惑メールへの対応としては「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」が61%で最も多く、「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」が18%、「気がついた人が注意し、対応は掲載者個人のマナーにまかせるべき」が15%となっている。
- 「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」は男性の60代、「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」は女性の20代、「気がついた人が注意し、対応は掲載者個人のマナーにまかせるべき」は男性の10代で多くなっている。迷惑メールの受信経験別では、「インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除」も「警察等による取り締まり（刑事罰の適用）」も受信経験がない層で多くなっている。

Q. あなたは、迷惑メールにどのように対応すればよいと思いますか。最も重要と思われるものを選んで下さい。（○は1つ）

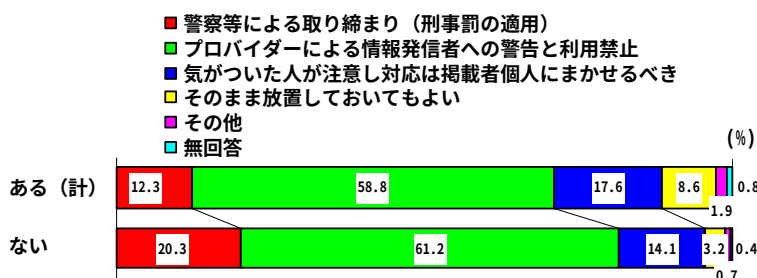
全体



男女別・年齢別



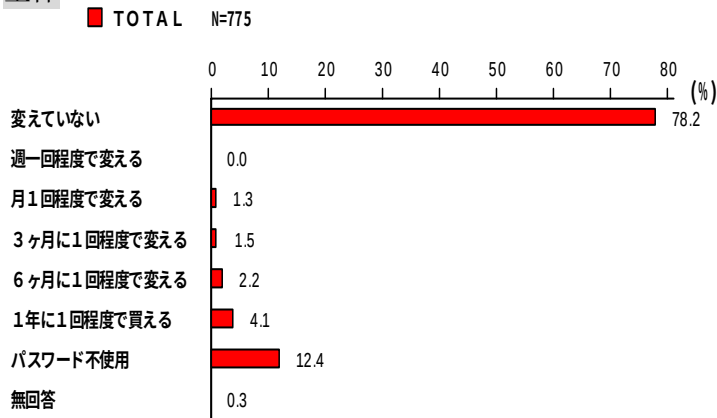
迷惑メール受信経験別



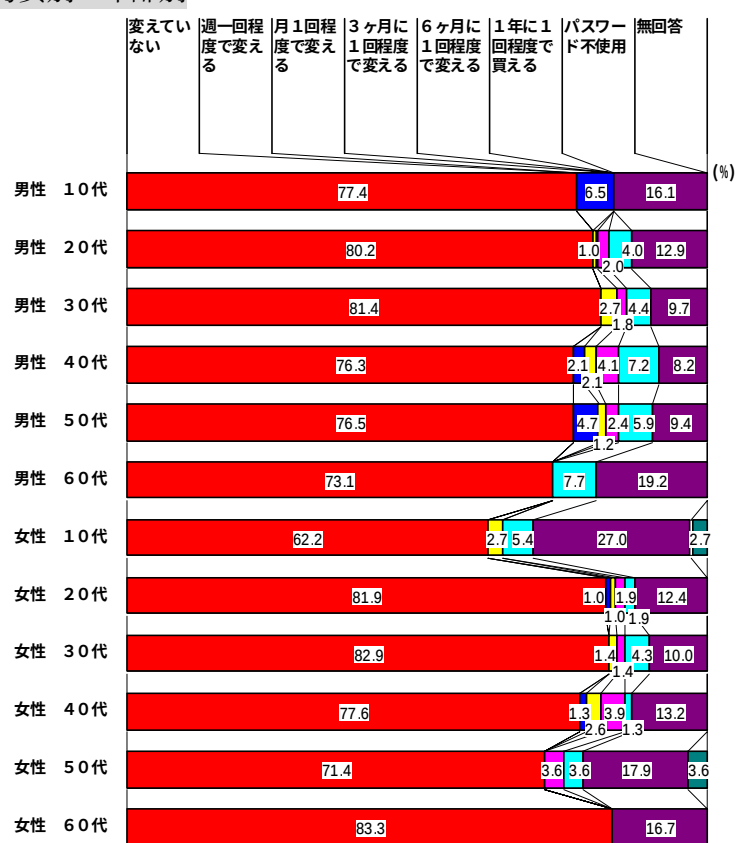
- パスワードの変更頻度は、「変えていない」が78%を占めている。『変える』と答えた人の中では、「1年に1回程度で変える」が4%で最も多いが、『変える』人は合わせて9%にとどまる。
- 『変える』は、男性の40代と50代で多くなっている。女性の10代では「パスワード不使用」が多い。インターネットの利用年数別では、利用年数が長い層で『変える』人が多く、利用年数が短い層で「パスワード不使用」が多い。

Q. あなたは、パスワードをどの程度頻繁に変えていますか。

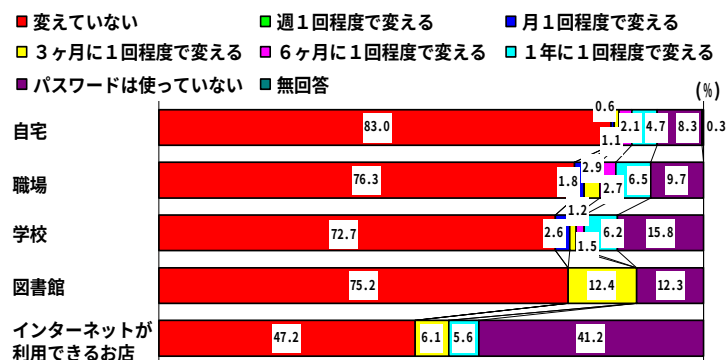
全体



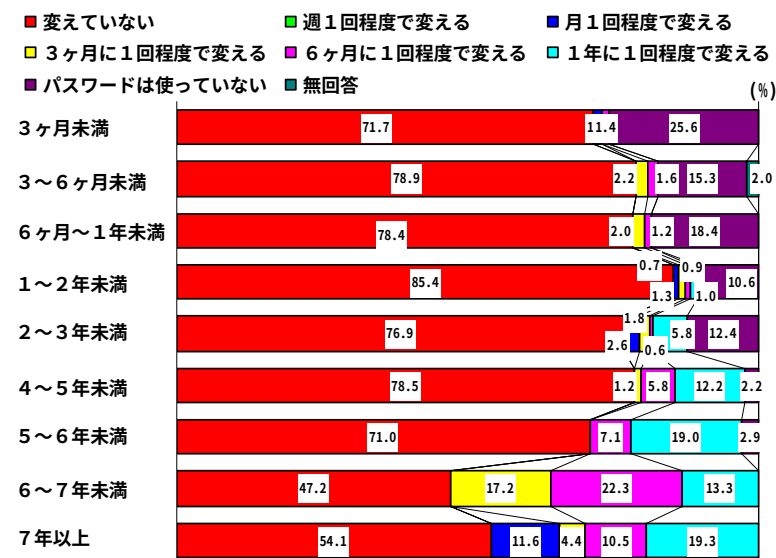
男女別・年齢別



利用場所別



インターネット利用年数別



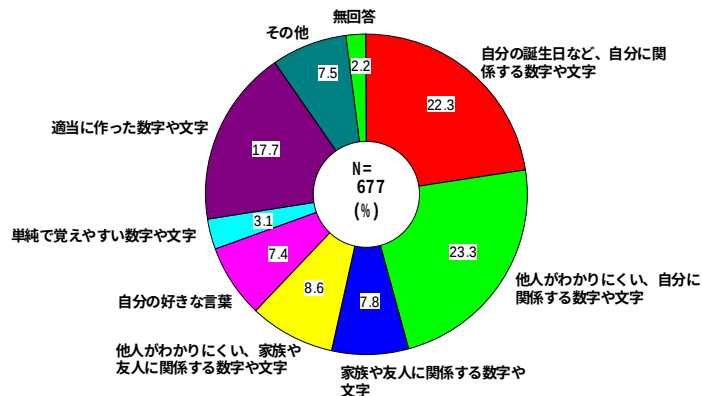
(78)パスワード決定方法(Q31)

「他人がわかりにくい自分に関する数字や文字」23%、「自分に関する数字や文字」22%

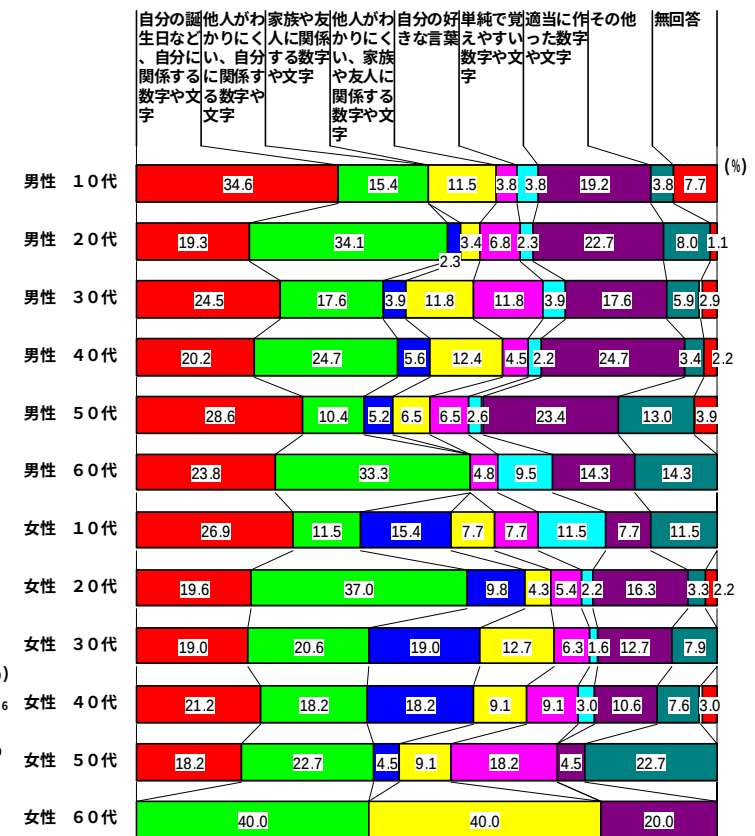
- パスワードの決定方法は、「自分の誕生日や名前など、自分に関する数字や文字をもとに決めているが、他人がわかりにくいように工夫している」が23%、「自分の誕生日や名前など、自分に関する数字や文字」が22%、「3981やSrvWなど、適当に作った数字や文字」が18%となっている。
- 「自分の誕生日や名前など、自分に関する数字や文字」は、男性の10代で多く、「自分の誕生日や名前など、自分に関する数字や文字をもとに決めているが、他人がわかりにくいように工夫している」は男女ともに20代と60代で多く、パスワード変更頻度別では変える(計)層で多くなっている。

Q. あなたは、パスワードをどのように決めていますか。(〇は1つ)

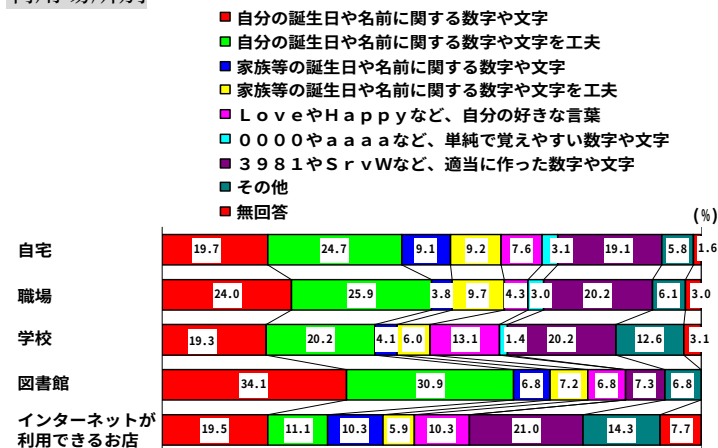
全体



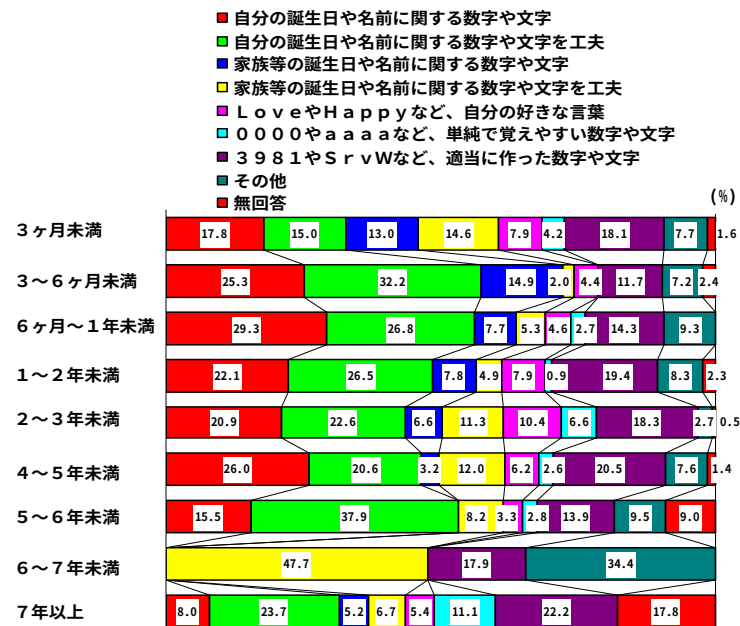
男女別・年齢別



利用場所別



インターネット利用年数別



パスワード変更頻度別

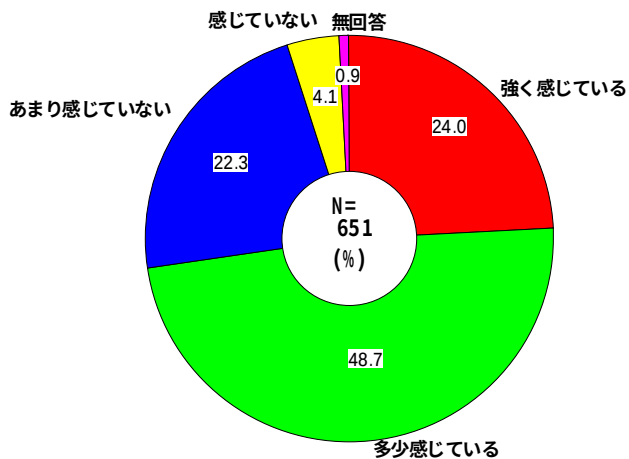


- 不安や危険を「強く感じている」が24%、「多少感じている」が49%で、『感じている』人は合わせて7割強を占める。
- 『感じている』は、男性の30代、40代と女性の40代、50代で多い。また、データの不正利用などの可能性があると思う人ほど、不安や危険を感じている。

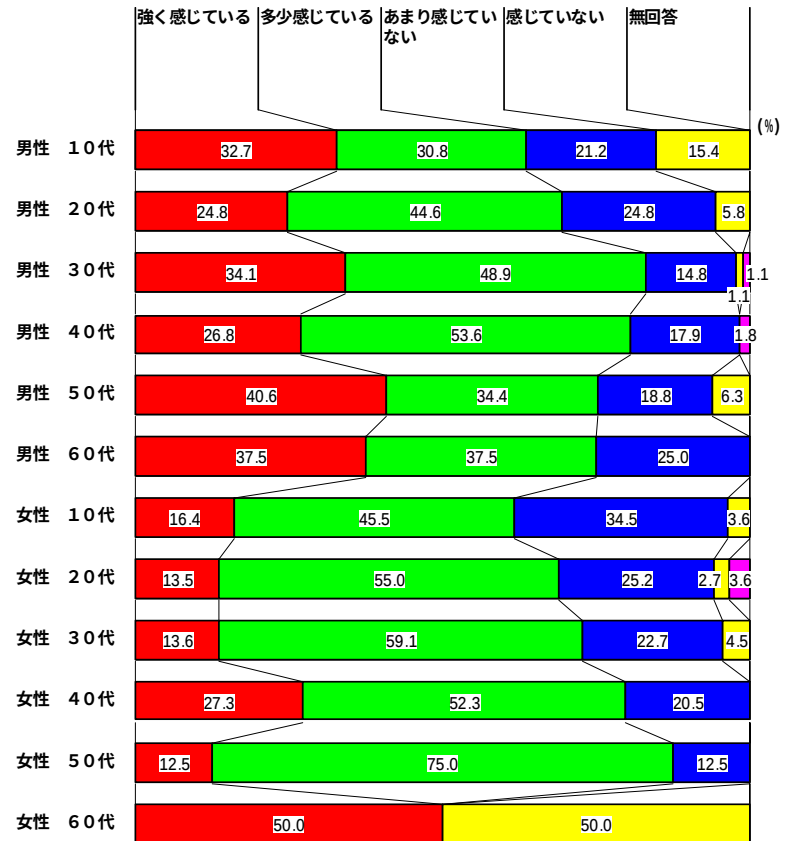
Q. i モード、J スカイウェブ、EZWeb など携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスにより、電子メールのやりとりや個人情報の入力を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか、次の(ア)～(ウ)それぞれについてお答え下さい。

(ア) 自分のデータの不正利用や漏洩に対し、どの程度不安や危険を感じていますか。

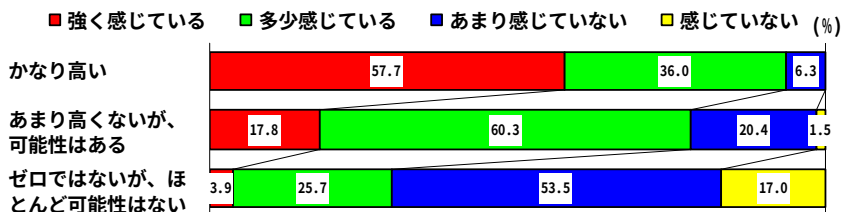
全体



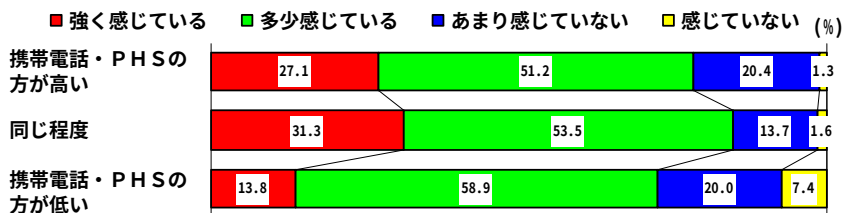
男女別・年齢別



Q15-イ別



Q15-ウ別

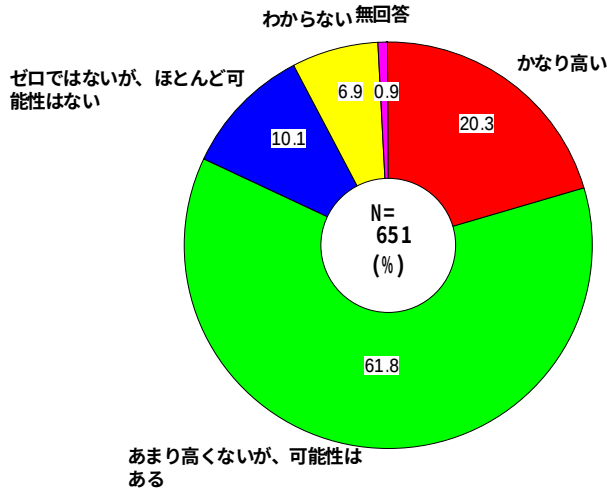


- データの不正利用などの可能性が「かなり高い」が20%、「あまり高くないが、可能性はある」が62%で、『可能性がある』と考える人は合わせて8割強を占める。
- 『可能性がある』は、男性では40代、女性では30代で最も多くなっている。また、データの不正利用などに不安や危険を感じる人ほど、可能性を強く感じている。

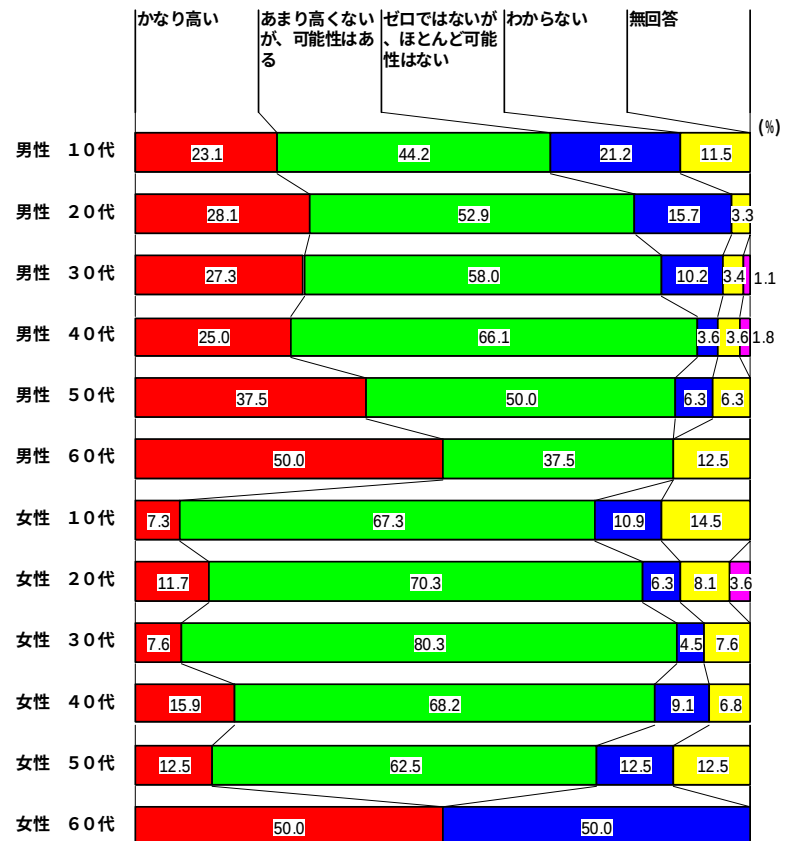
Q. i モード、J スカイウェブ、EZWeb など携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスにより、電子メールのやりとりや個人情報の入力を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか、次の(ア)～(ウ)それぞれについてお答え下さい。

(イ) 自分のデータの不正利用や漏洩がどの程度おこる可能性があると考えていますか。

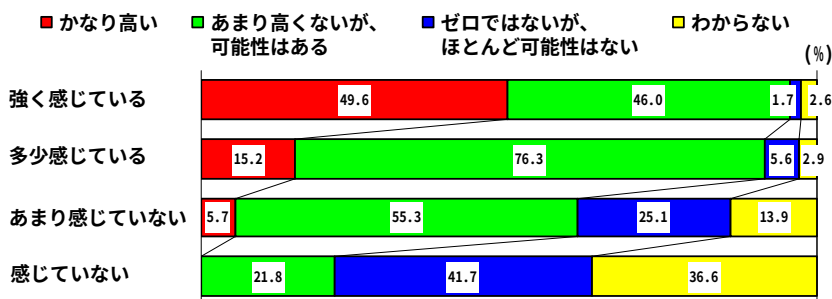
全体



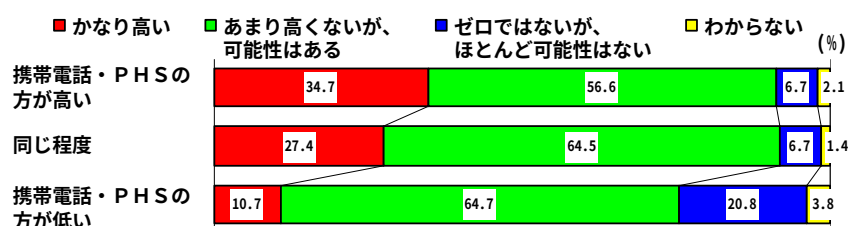
男女別・年齢別



Q15-ア別



Q15-ウ別

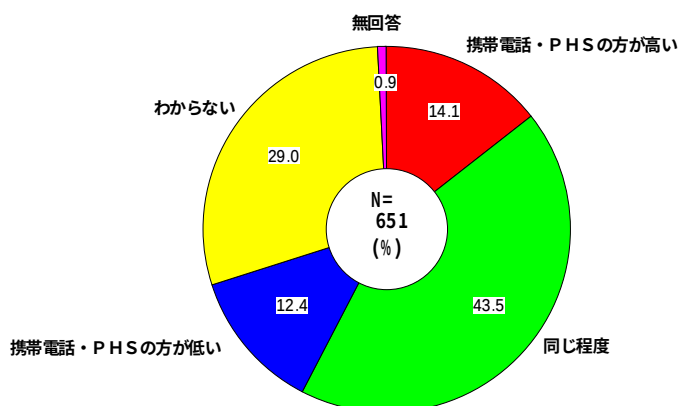


- 携帯電話・PHS単体以外の方法によりインターネット接続を行う場合と比べたデータの不正利用などの可能性は「同じ程度」が44%、「携帯電話・PHSの方が高い」が14%、「携帯電話・PHSの方が低い」が12%となっている。
- 「同じ程度」は、男性の20代から40代と女性の60代で多い。「携帯電話・PHSの方が高い」は男女ともに10代と50代で多く、「携帯電話・PHSの方が低い」は男性の10代と女性の20代で多くなっている。

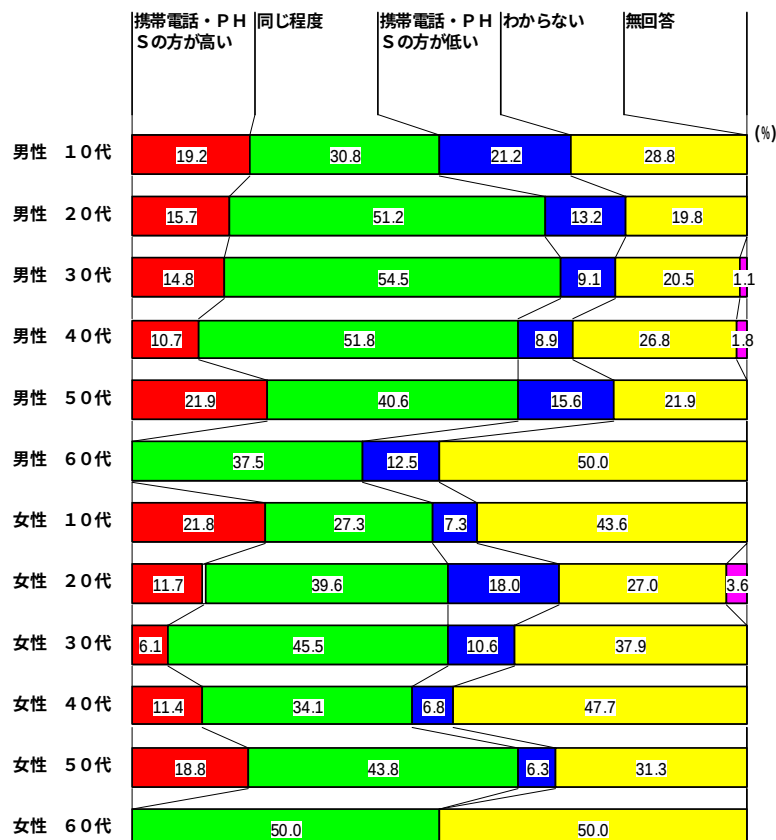
Q. iモード、Jスカイウェブ、EZWebなど携帯電話・PHSによるインターネット接続サービスにより、電子メールのやりとりや個人情報の入力を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか、次の(ア)～(ウ)それぞれについてお答え下さい。

(ウ) iモード、Jスカイウェブ、EZWebなど携帯電話・PHS単体以外の方法によりインターネット接続を行う場合と比べ、自分のデータの不正利用や漏洩の可能性は高いと思いますか。

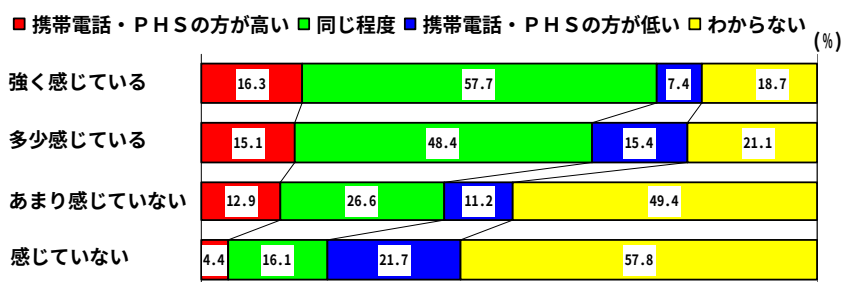
全体



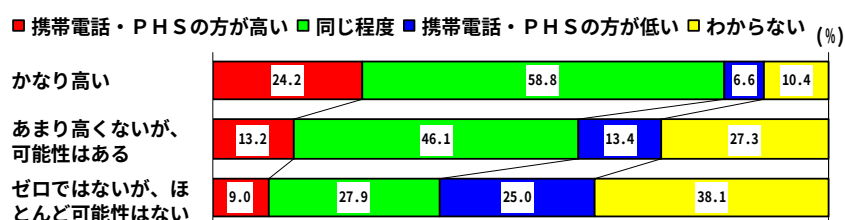
男女別・年齢別



Q15-ア別



Q15-イ別

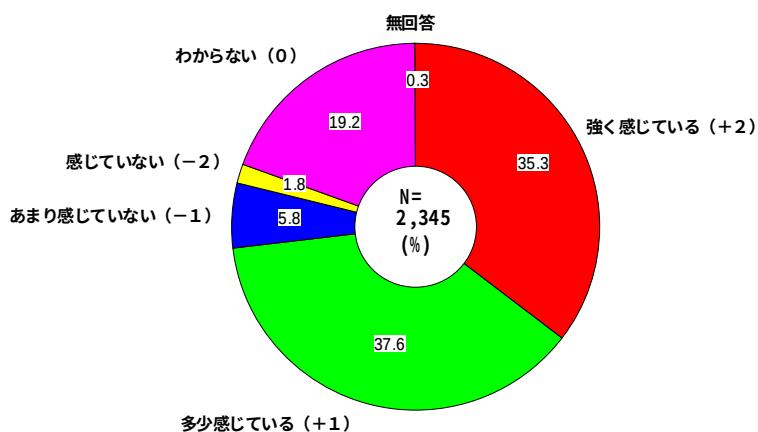


- 不安や危険を「強く感じている」が35%、「多少感じている」が38%で、『感じている』人は合わせて7割強を占める。
- 『感じている』は、男性の20代から40代と女性の20代から30代が多い。また、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法でインターネットを利用している層で多く、インターネットの利用年数別では6～7年未満と7年以上の層で全数になっている。

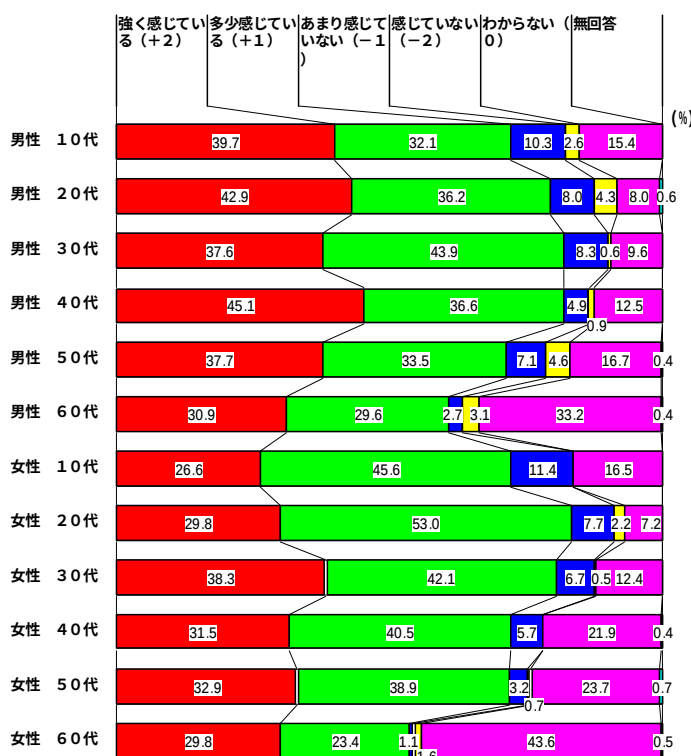
Q. 「電子商取引」を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか。

(ア) 自分のデータの不正利用や漏洩に対し、どの程度不安や危険を感じていますか。

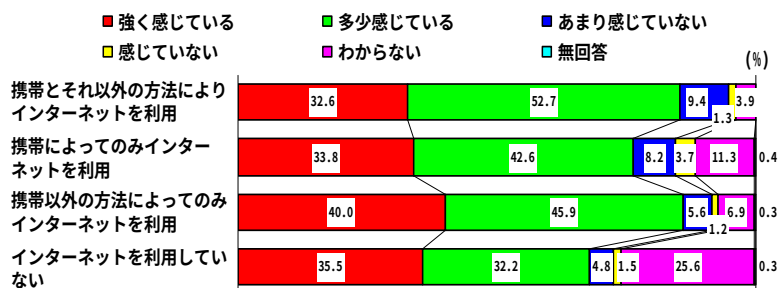
全体



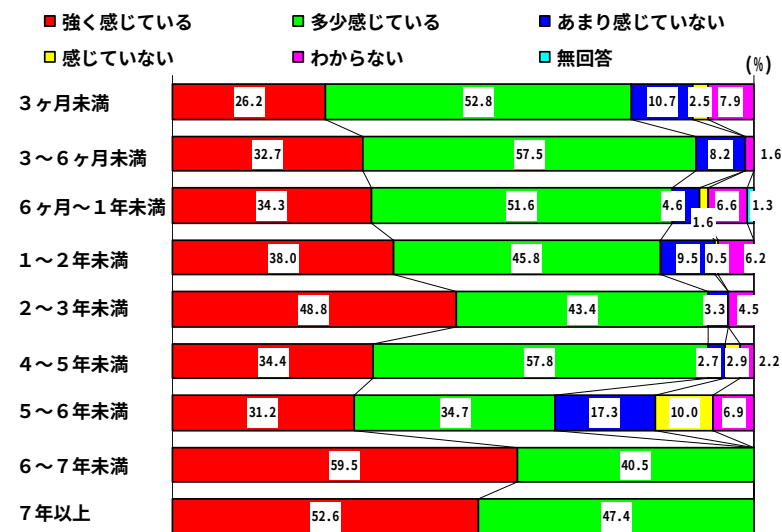
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネット利用年数別

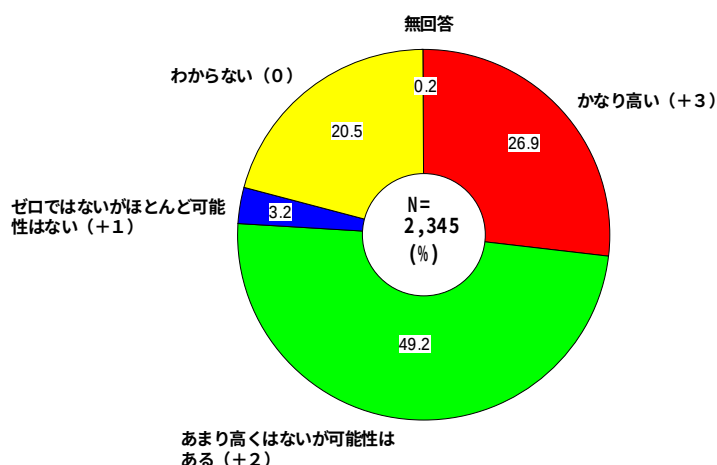


- データの不正利用などの可能性が「かなり高い」が27%、「あまり高くはないが、可能性はある」が49%で、『可能性がある』と考える人は合わせて4人に3人の割合である。
- 『可能性がある』は、男性の20代から40代と女性の20代が多い。また、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法でインターネットを利用している層で多く、インターネットの利用年数別では5～6年未満、6～7年未満、7年以上の層で全数になっている。

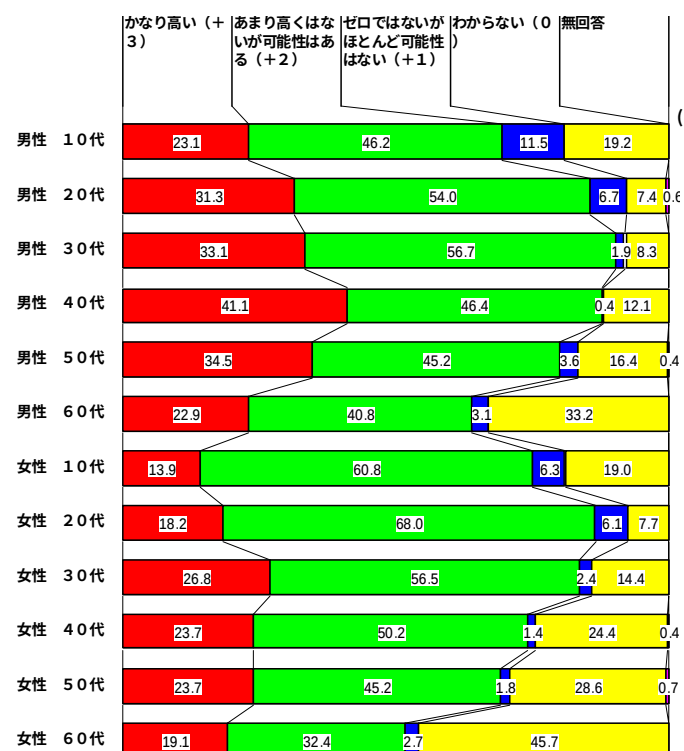
Q. 「電子商取引」を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか。

(イ) 自分のデータの不正利用や情報漏洩がどの程度おこる可能性があると考えていますか。

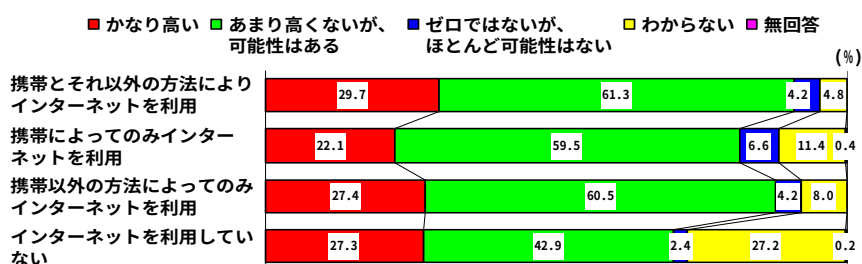
全体



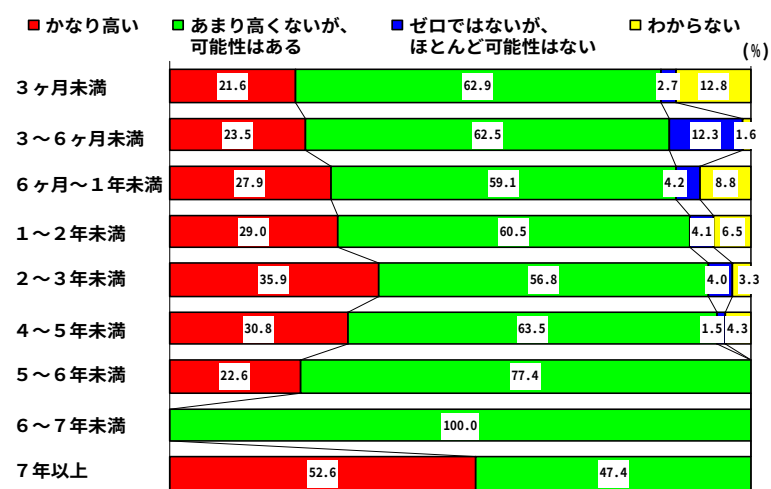
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネット利用年数別

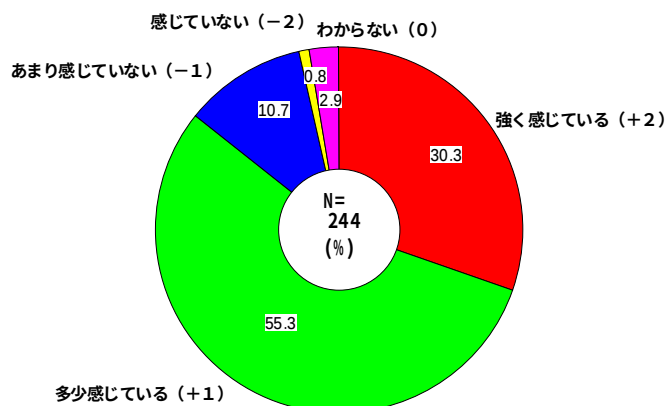


- 不安や危険を「強く感じている」が30%、「多少感じている」が55%で、『感じている』人は合わせて8割強を占める。
- 『感じている』は、男性の40代と女性の50代、60代で多い。また、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法でインターネットを利用している層で多く、インターネットの利用年数別では6～7年未満と7年以上の層で全数になっている。

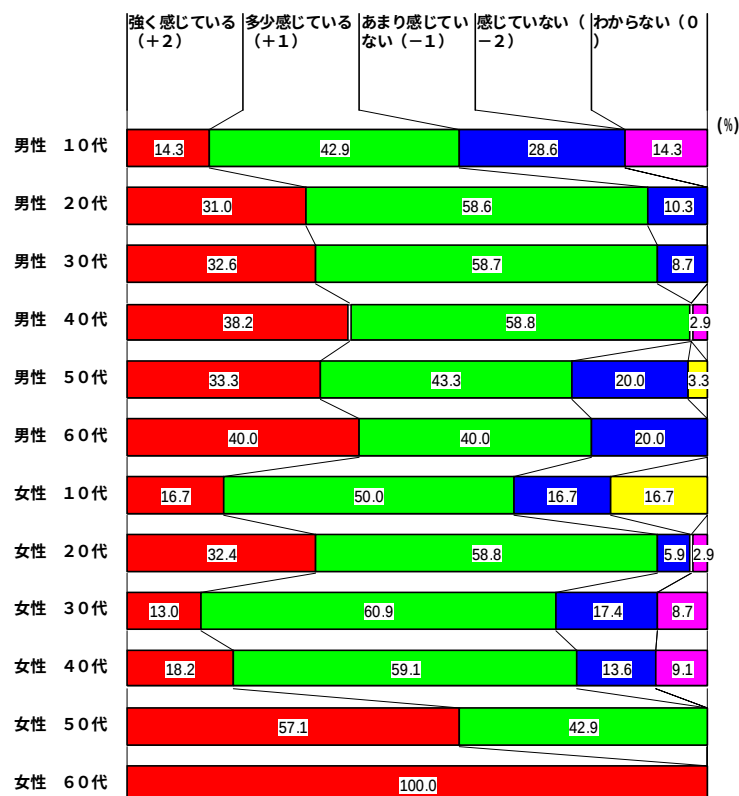
Q. 「電子商取引」を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか。

(ア) 自分のデータの不正利用や漏洩に対し、どの程度不安や危険を感じていますか。

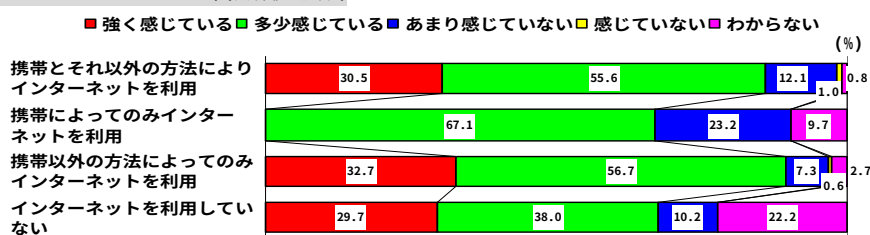
全体



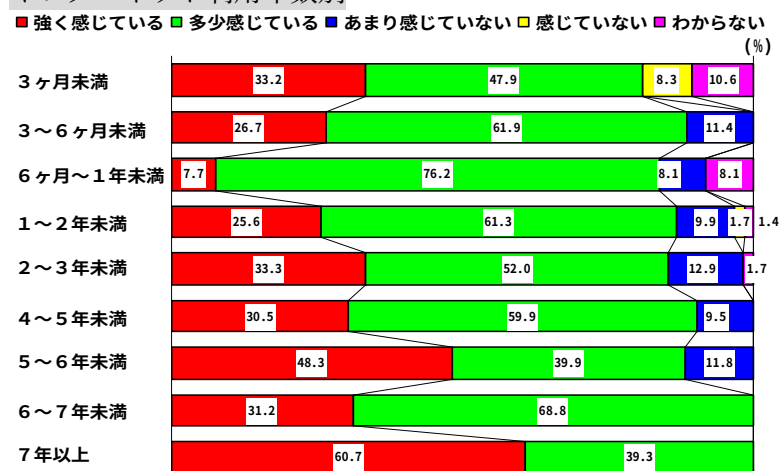
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネット利用年数別

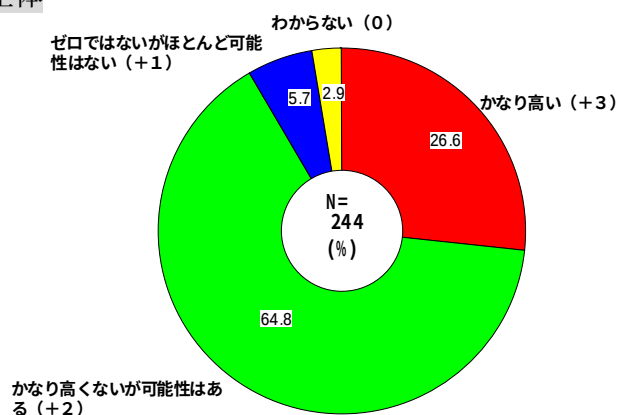


- データの不正利用などの可能性が「かなり高い」が27%、「あまり高くないが、可能性はある」が65%で、『可能性はある』と考える人は合わせて9割を占める。
- 『可能性はある』は、男性の20代から40代と60代、女性の50代と60代で多い。また、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法でインターネットを利用している層で多く、インターネットの利用年数別では6～7年未満、7年以上の層で全数になっている。

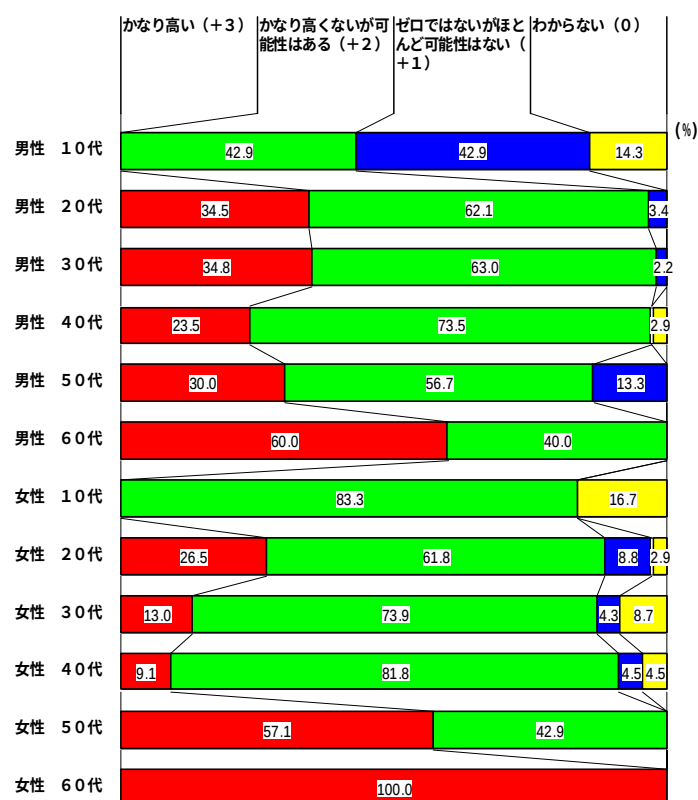
Q. 「電子商取引」を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか。

(イ) 自分のデータの不正利用や情報漏洩がどの程度おこる可能性があると考えていますか。

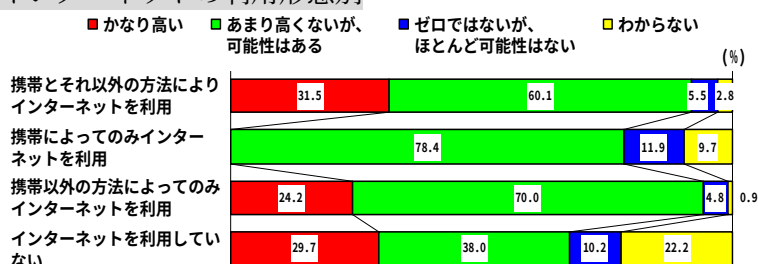
全体



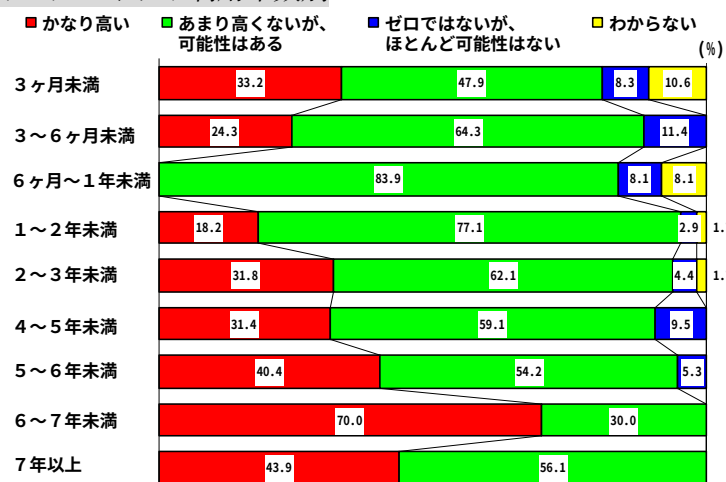
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



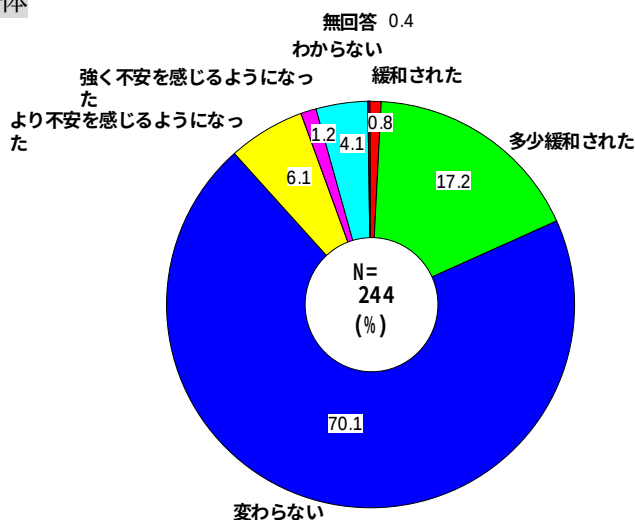
インターネット利用年数別



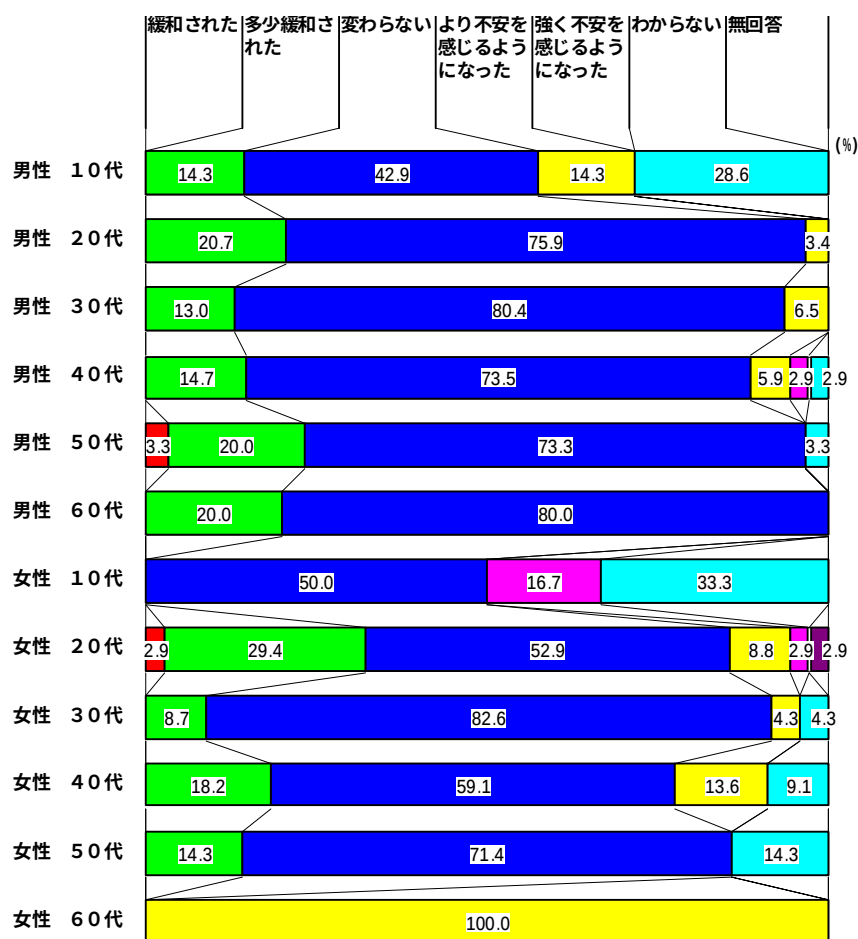
- セキュリティに対する不安が「緩和された」が1%、「多少緩和された」が17%で、これらを合わせた『緩和された』は18%である。一方、「強く不安を感じるようになった」は1%、「より不安を感じるようになった」は6%で、これらを合わせた『不安を感じるようになった』は7%である。「変わらない」が70%を占めている。
- 『緩和された』は女性の20代が多い。「強く不安を感じるようになった」は女性の10代が多い。

Q. 「電子商取引」の経験前と後とで、自分のデータが不正に利用されたり他人に漏れたりする可能性に対する不安はどのように変化しましたか。

全体



男女別・年齢別



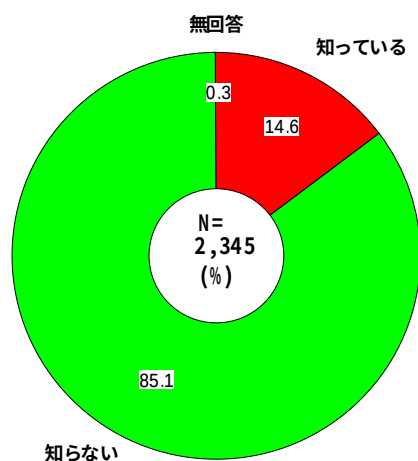
(81)免責条項の認知「電子商取引を経験したことのないグループ」(Q60)

「知っている」が15%

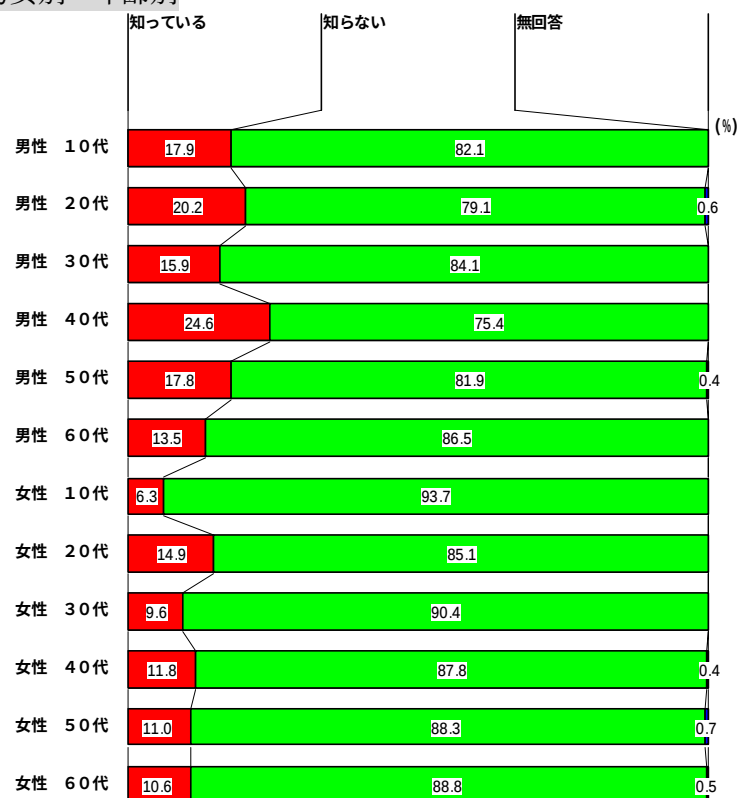
- 免責条項の設定を「知っている」が15%である。
- 「知っている」は男性の40代で多く、インターネットの利用年数別では、利用年数に比例して多くなっている。

Q. インターネットを使って、本を購入したり、銀行振込をする場合、ウェブ・サイトを開設する本屋や銀行が「電話回線、専用線回線等の通信経路において、盗聴等がなされたことにより、お客様のID、パスワード、取引情報等が漏洩した場合、そのために生じた損害について、当社は責任を負いません」といった免責条項を設定していることをあなたはご存知ですか。

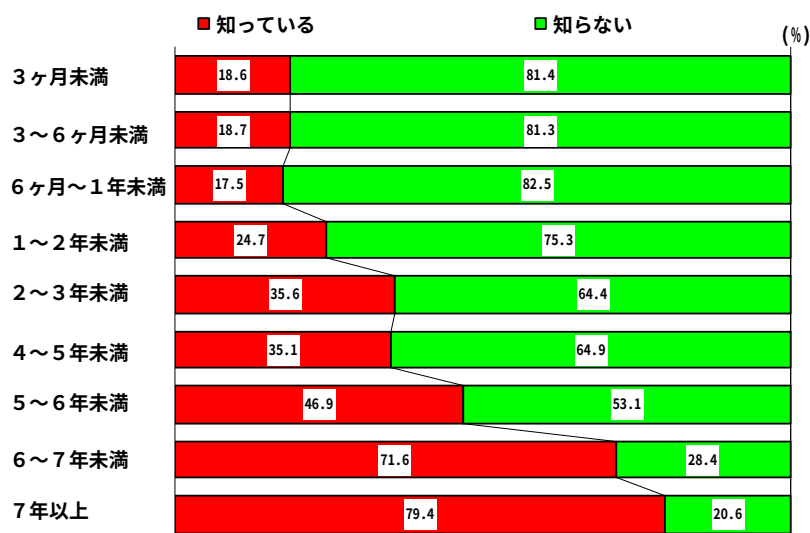
全体



男女別・年齢別



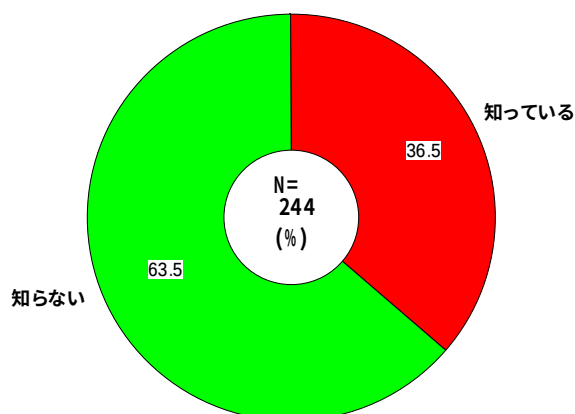
インターネットの利用年数別



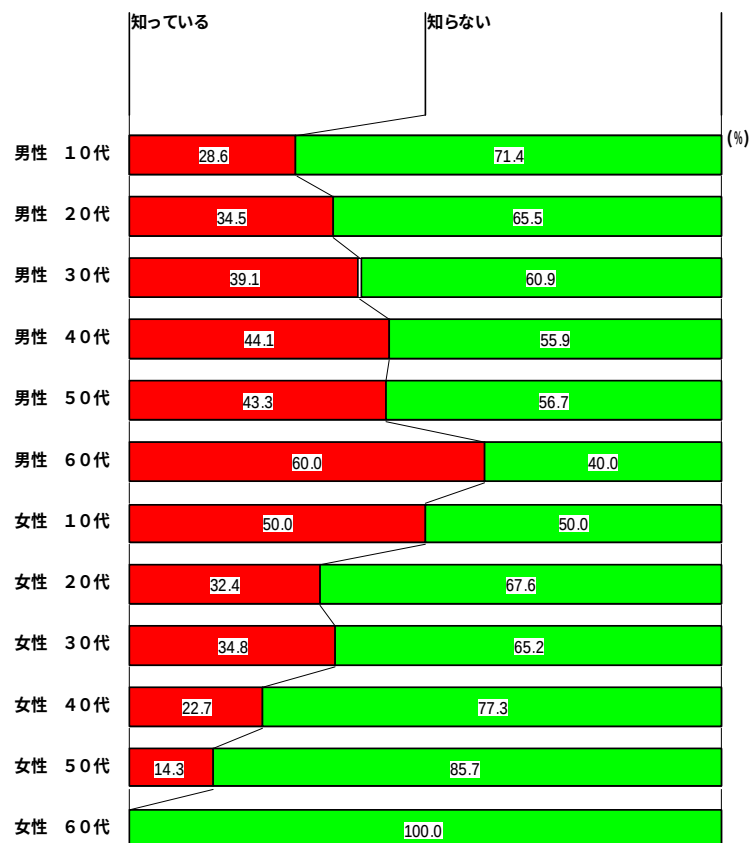
- 免責条項の設定を「知っている」が37%である。
- 「知っている」は男性では年代が上がるに従って多くなるのに対し、女性では年代が下がるほど多くなっている。インターネットの利用年数別では、6～7年未満、7年以上の層で多くなっている。

Q. インターネットを使って、本を購入したり、銀行振込をする場合、ウェブ・サイトを開設する本屋や銀行が「電話回線、専用線回線等の通信経路において、盗聴等がなされたことにより、お客様のID、パスワード、取引情報等が漏洩した場合、そのために生じた損害について、当社は責任を負いません」といった免責条項を設定していることをあなたはご存知ですか。

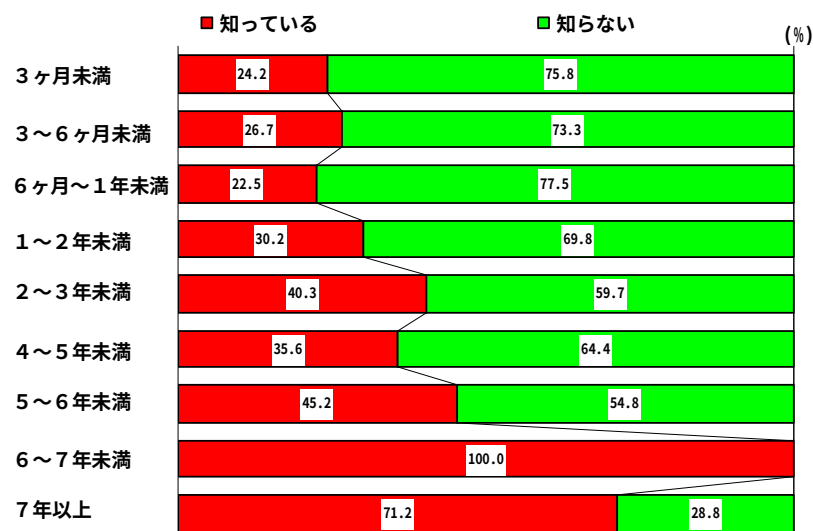
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用年数別

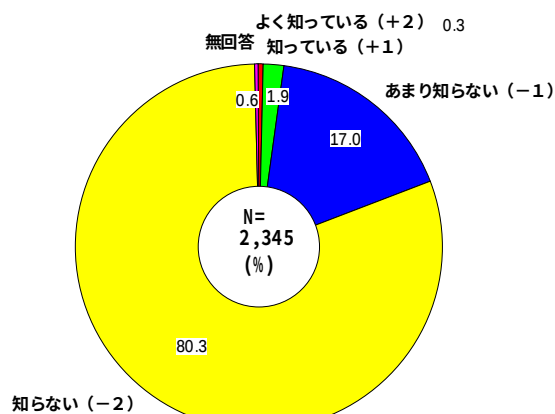


- 自分のデータの保護方法を「知らない」が80%、「あまり知らない」が17%で、これらを合わせた『知らない』が全数近くを占める。
- 『知らない』は男性に比べ、女性で多い。また、インターネットの利用形態別では、携帯によってのみインターネットを利用している層とインターネットを利用していない層で多く、インターネットの利用年数別では、利用年数が短い層で多くなる傾向がみられる。

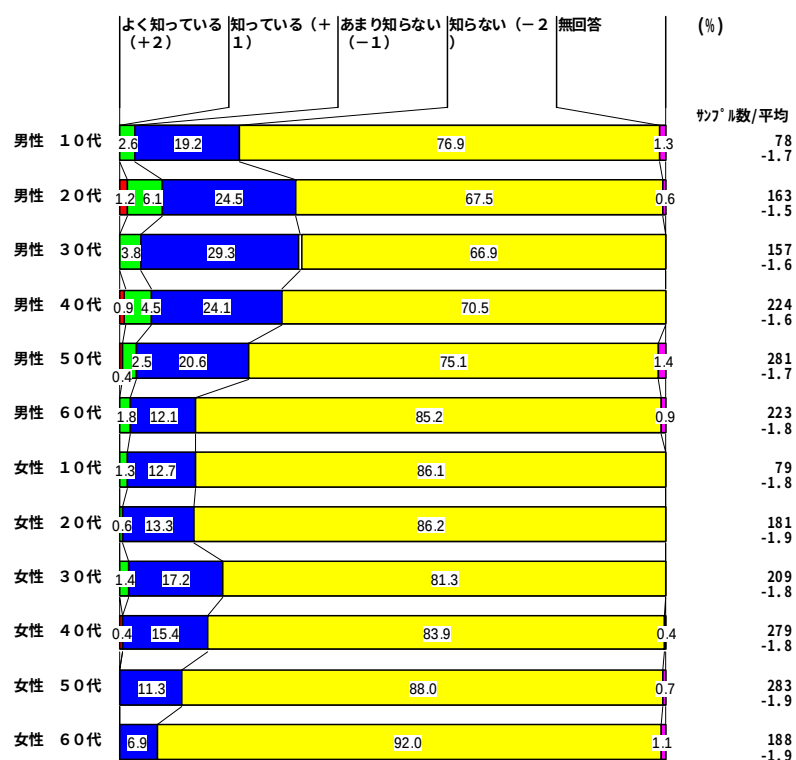
Q. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。

(ア)「電子商取引」を行う際、どのような方法で自分のデータが保護されているか

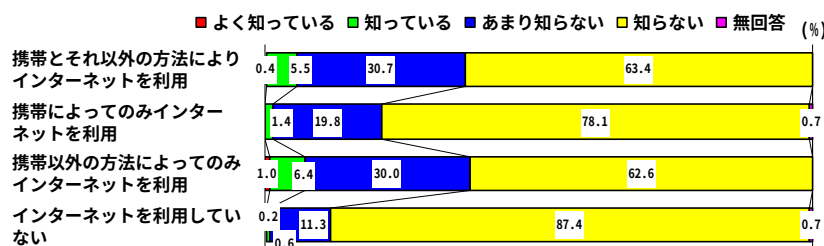
全体



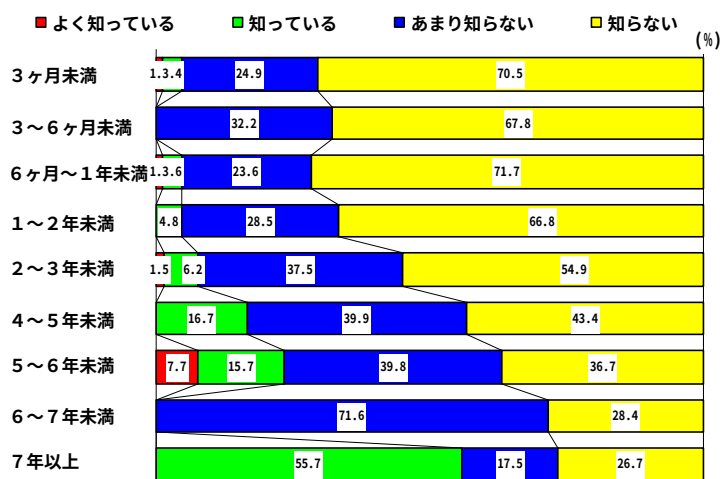
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネットの利用年数別

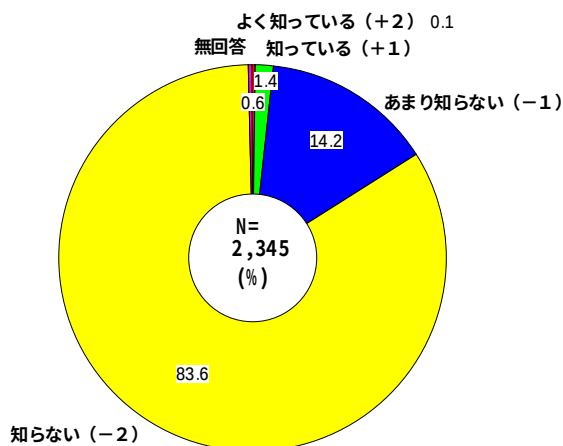


- 苦情先を「知らない」が84%、「あまり知らない」が14%で、これらを合わせた『知らない』が全数近くを占める。
- 『知らない』は男性に比べ、女性で多い。また、インターネットの利用形態別では、携帯によってのみインターネットを利用している層とインターネットを利用していない層で多い。インターネットの利用年数別では、7年以上の層で「知っている」が多い。

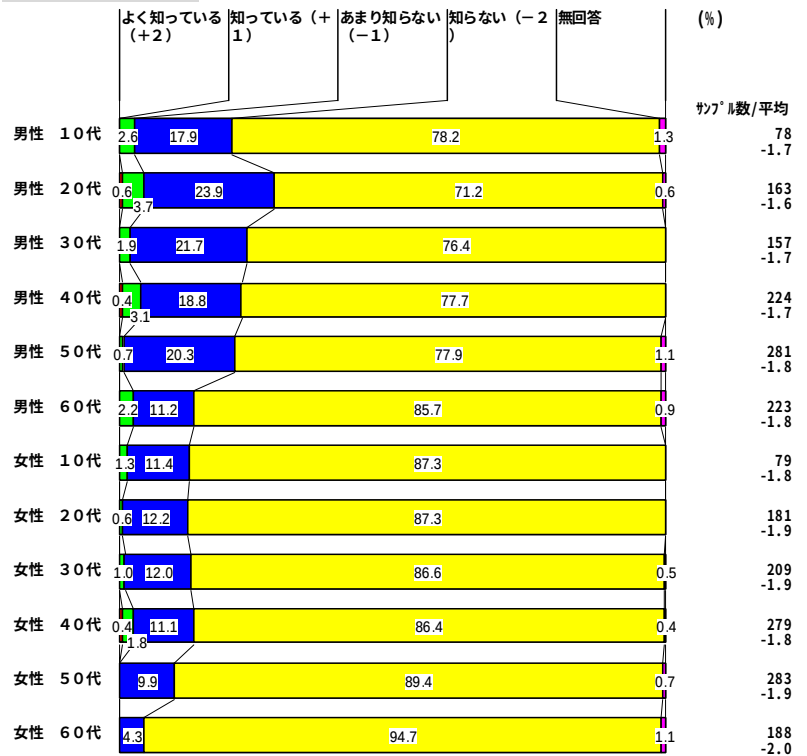
Q. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。

(イ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、どこに苦情をいえばよいか

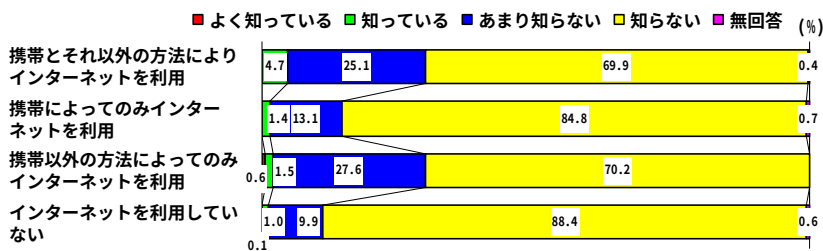
全体



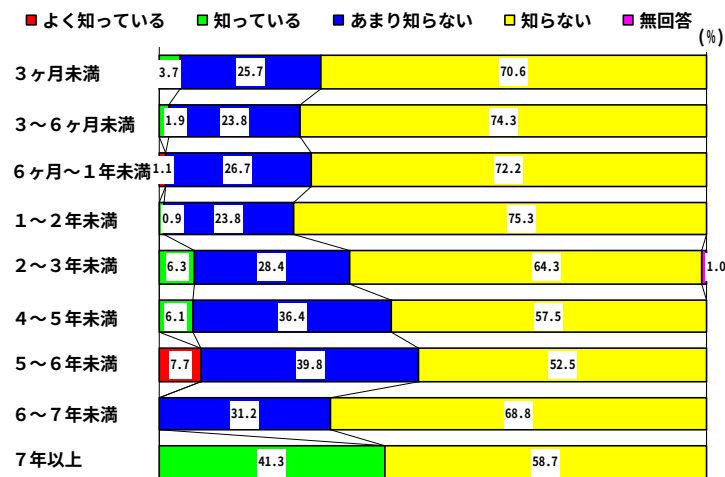
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネットの利用年数別

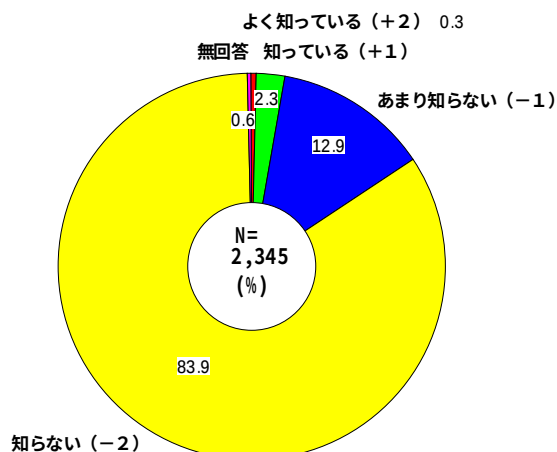


- 損害の負担者を「知らない」が84%、「あまり知らない」が13%で、これらを合わせた『知らない』が全数近くを占める。
- 『知らない』は男性に比べ、女性で多い。また、インターネットの利用形態別では、携帯によってのみインターネットを利用している層とインターネットを利用していない層で多く、インターネットの利用年数別では、6～7年未満の層で『知らない』が全数になっているが、おおむね利用年数が短い層で多くなる傾向がみられる。

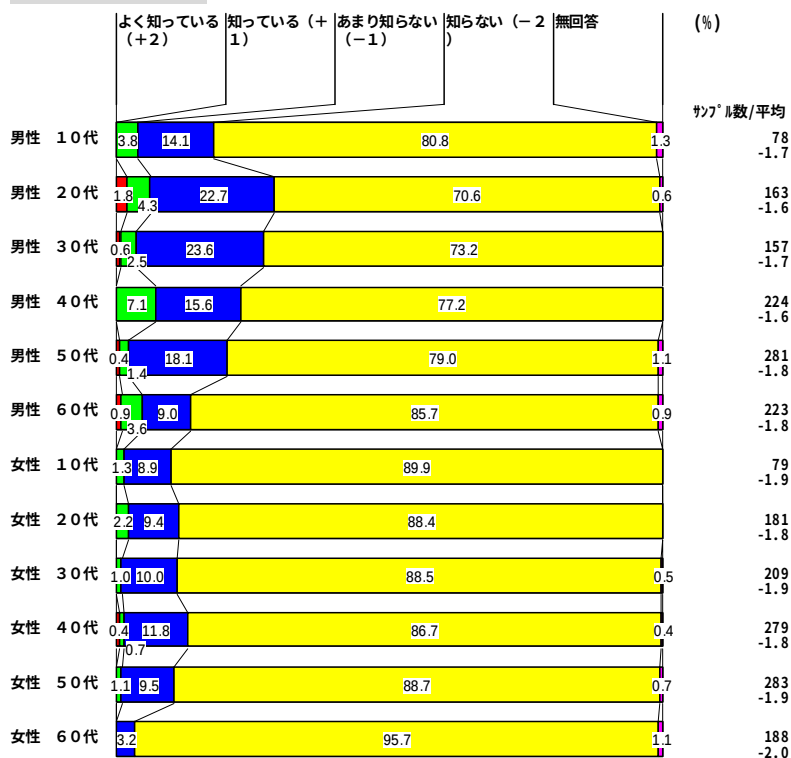
Q. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。

(ウ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、誰が損害を負担するか

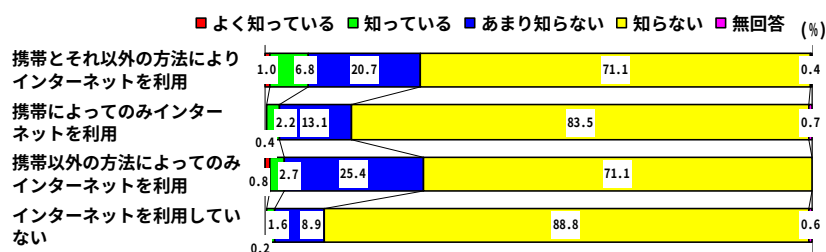
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネットの利用年数別

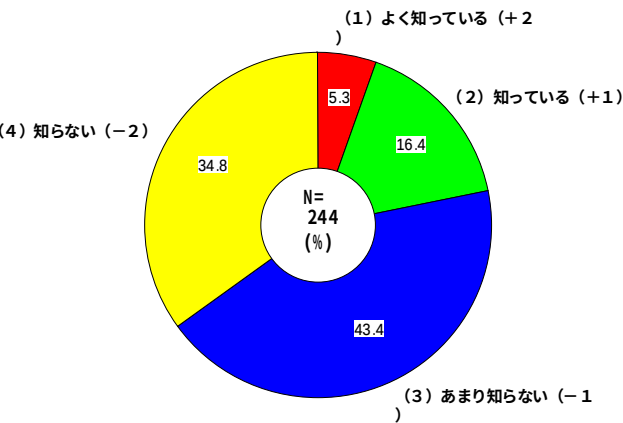


- 自分のデータの保護方法を「よく知っている」が5%、「知っている」が16%で、これらを合わせた『知っている』は22%である。
- 『知っている』は男性の10代から30代と50代で多い。また、インターネットの利用年数別では、利用年数が長いほど多くなる傾向がみられる。

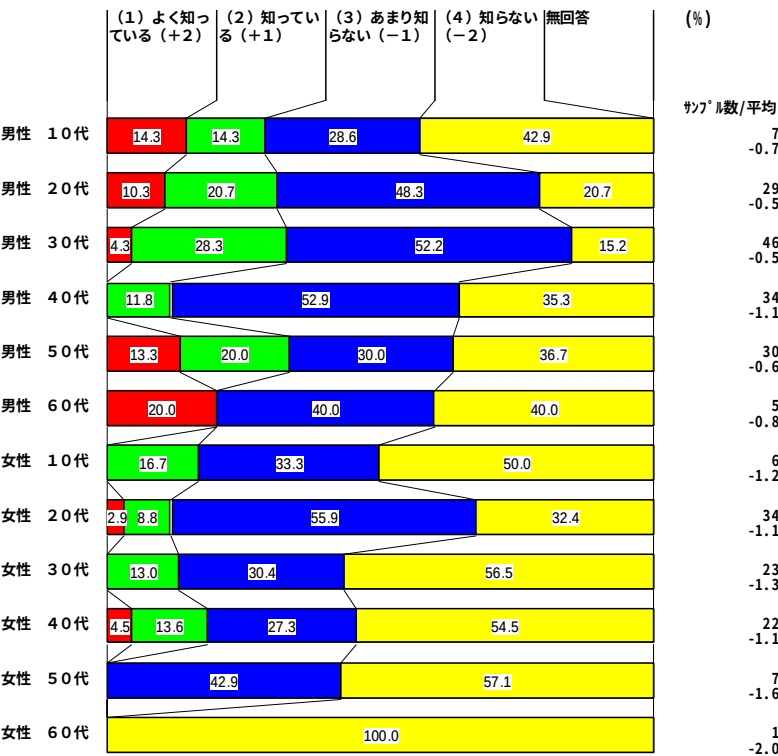
Q. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。

(ア)「電子商取引」を行う際、どのような方法で自分のデータが保護されているか

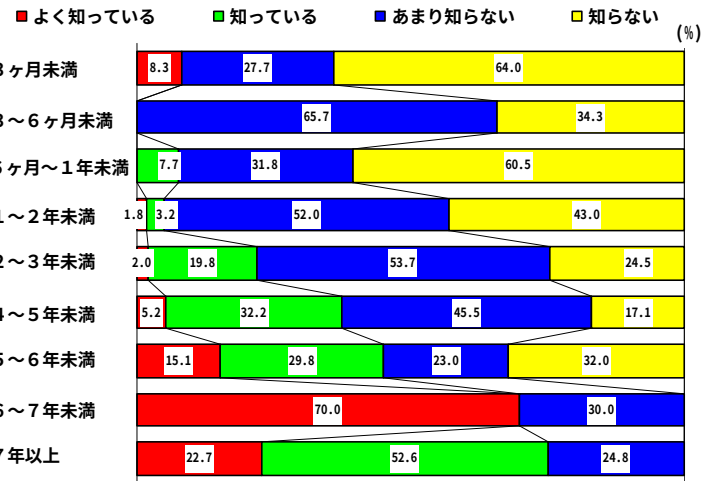
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用年数別



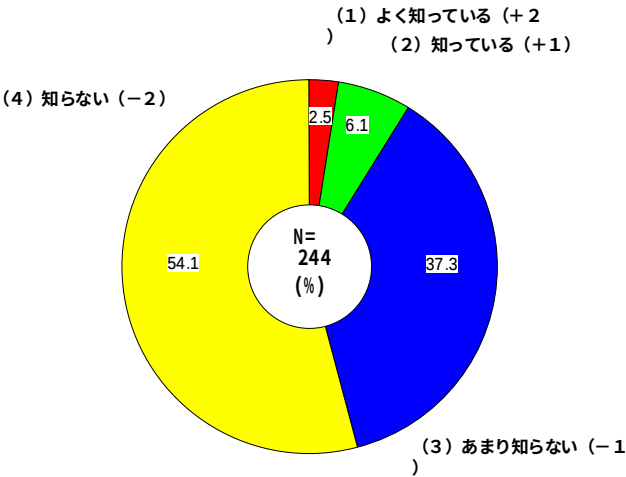
●苦情先を「知らない」が54%、「あまり知らない」が37%で、これらを合わせた『知らない』が9割強を占める。

●『知っている』は男性の20代、30代、50代及び女性の50代で多い。また、インターネットの利用年数別では、5～6年未満、6～7年未満の層で多い。

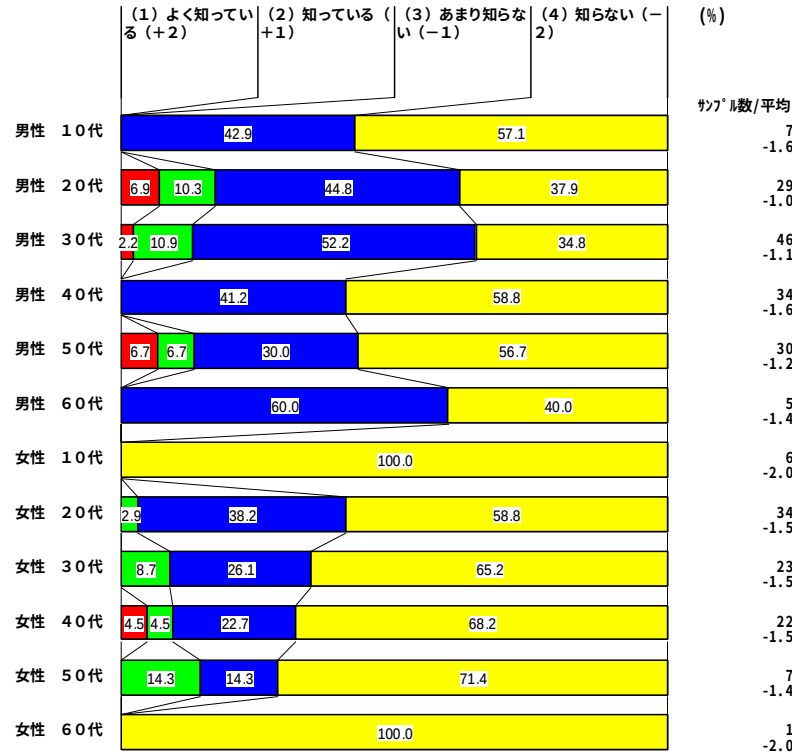
Q. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。

(イ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、どこに苦情をいえばよいか

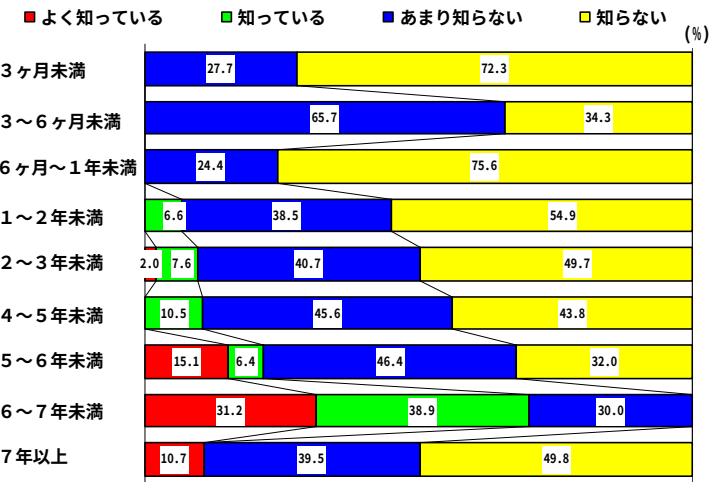
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用年数別

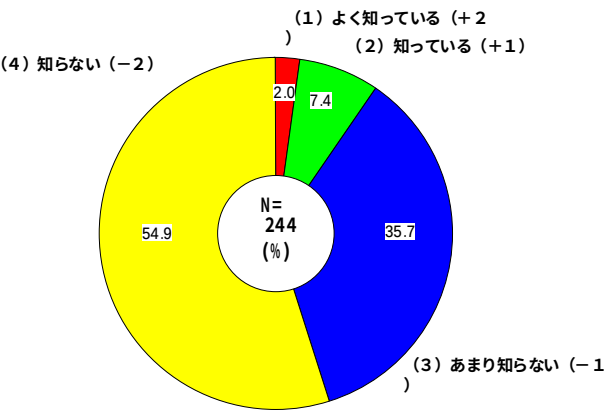


- 損害の負担者を「知らない」が55%、「あまり知らない」が36%で、これらを合わせた『知らない』が9割を占める。
- 『知っている』は男性の20代、30代、50代及び女性の50代で多い。また、インターネットの利用年数別では、5～6年未満、6～7年未満、7年以上の層で多い。

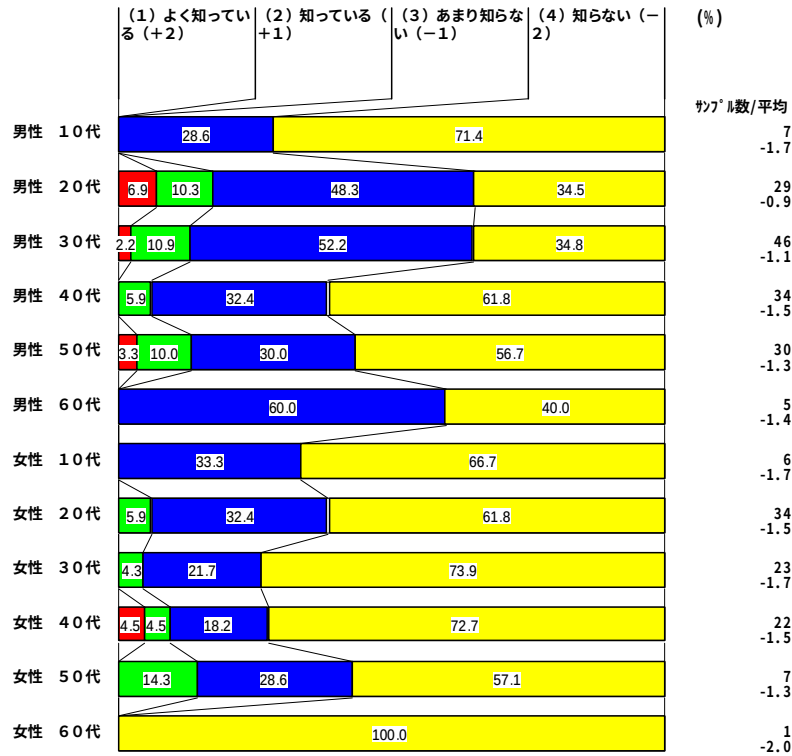
Q. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。

(ウ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、誰が損害を負担するか

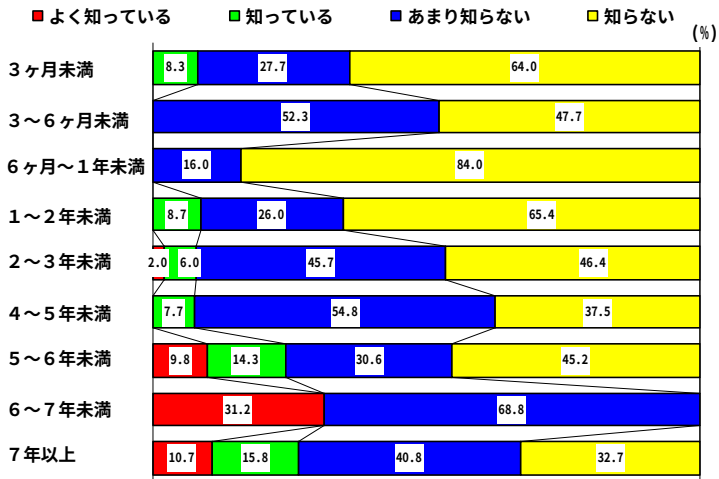
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用年数別



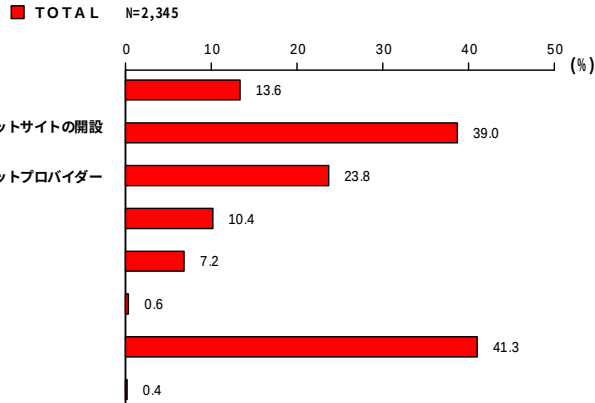
(83)不正利用などに対する損害負担「電子商取引を経験したことの無いグループ」(Q62)

「インターネットのサイト開設者」が4割

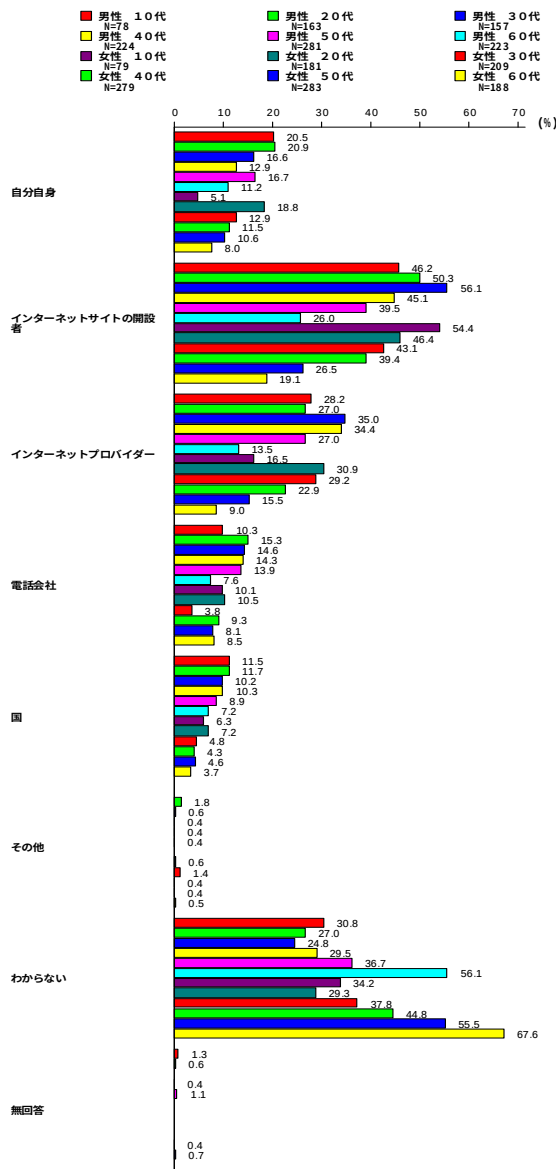
- 損害負担については、「インターネットのサイト（ウェブ・サイト）開設者」が39%と最も多く、以下、「インターネットプロバイダー」が24%、「自分自身」が14%、「電話会社」が10%、「国」が7%となっている。
- 「インターネットのサイト（ウェブ・サイト）開設者」は男性の30代と女性の10代、インターネットを利用している層、利用年数が長い層で多くなっている。「インターネットプロバイダー」は男性の30代と40代、インターネットを利用している層で多くなっている。

Q. 「電子商取引」を行った結果、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じたとします。不正利用や情報盗用者が特定できない場合、誰が損害を負担すべきだと思いますか。(○はいくつでも)

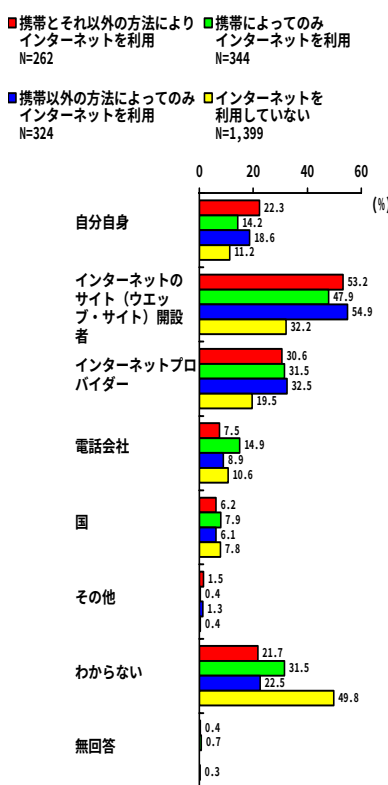
全体



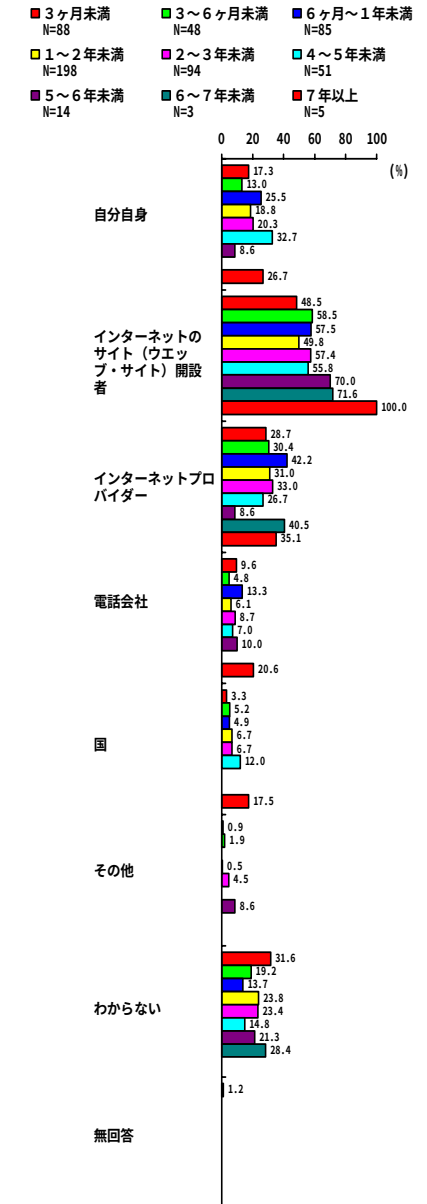
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



インターネットの利用年数別

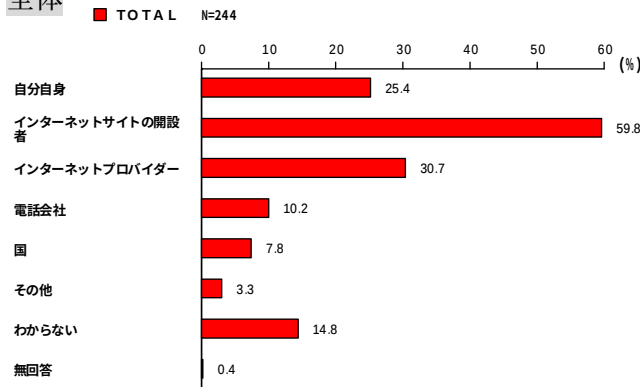


「インターネットのサイト開設者」が6割

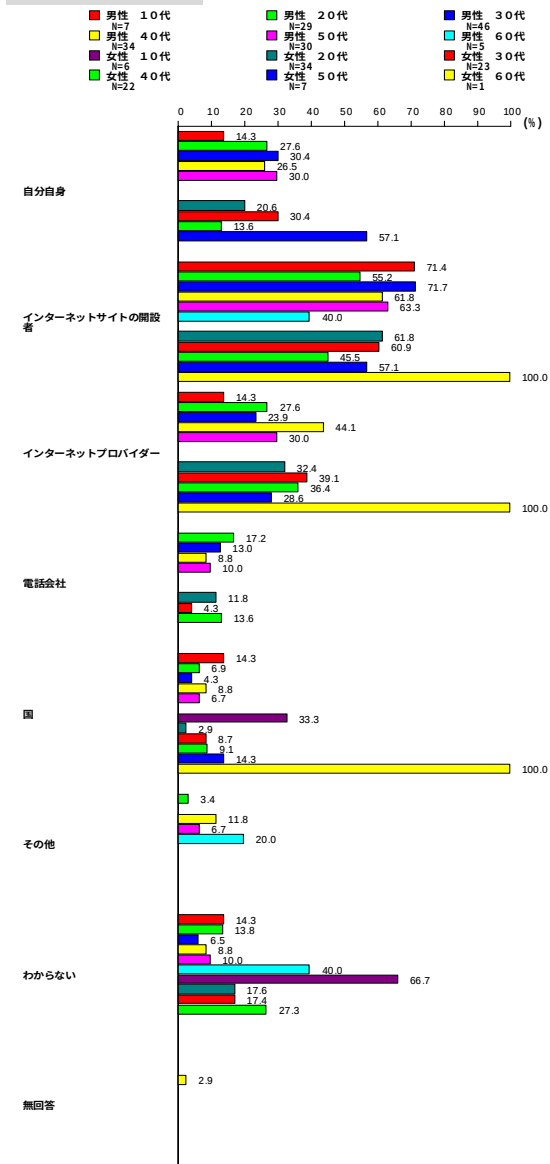
- 損害負担については、「インターネットのサイト（ウェブ・サイト）開設者」が60%と最も多く、以下、「インターネットプロバイダー」が31%、「自分自身」が25%、「電話会社」が10%、「国」が8%となっている。
- 不当な料金請求経験別では、「自分自身」が経験がない層で多く、「電話会社」が経験のある層で多くなっている。

Q. 「電子商取引」を行った結果、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じたとします。不正利用や情報盗用者が特定できない場合、誰が損害を負担すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

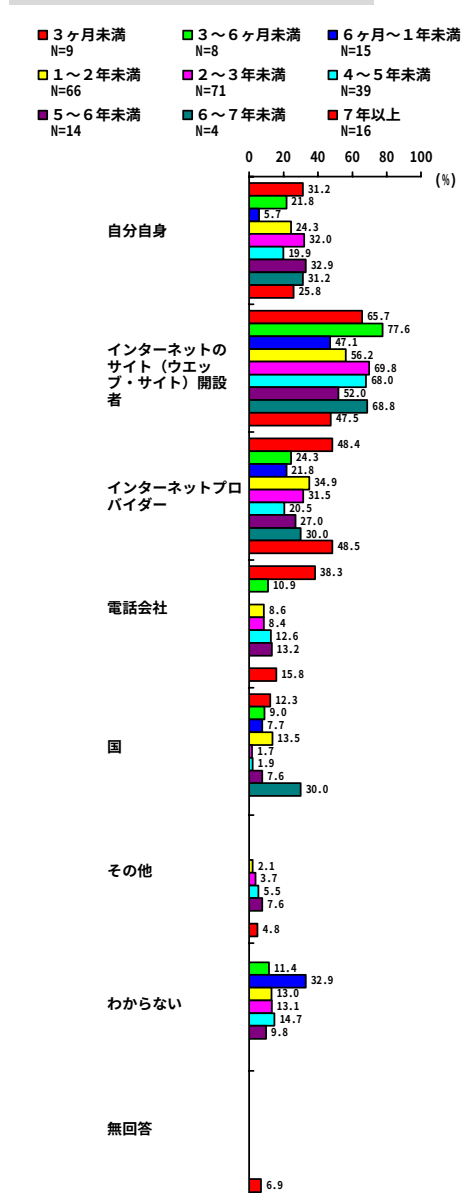
全体



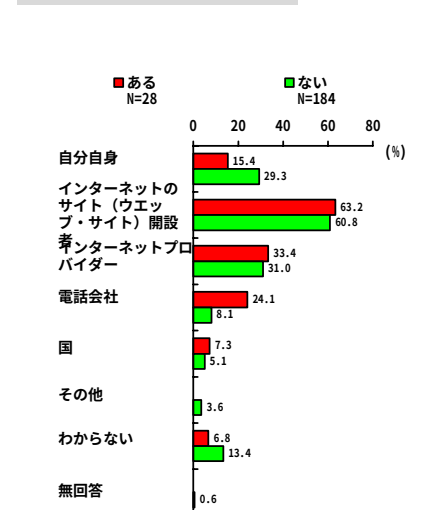
男女別・年齢別



インターネットの利用年数別



不当な料金請求経験別



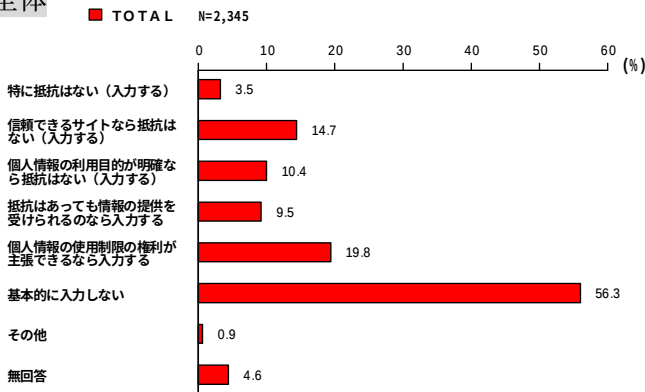
(84)インターネットでの個人情報入力「電子商取引を経験したことの無いグループ」(Q63)

「基本的には入力しない」が過半数

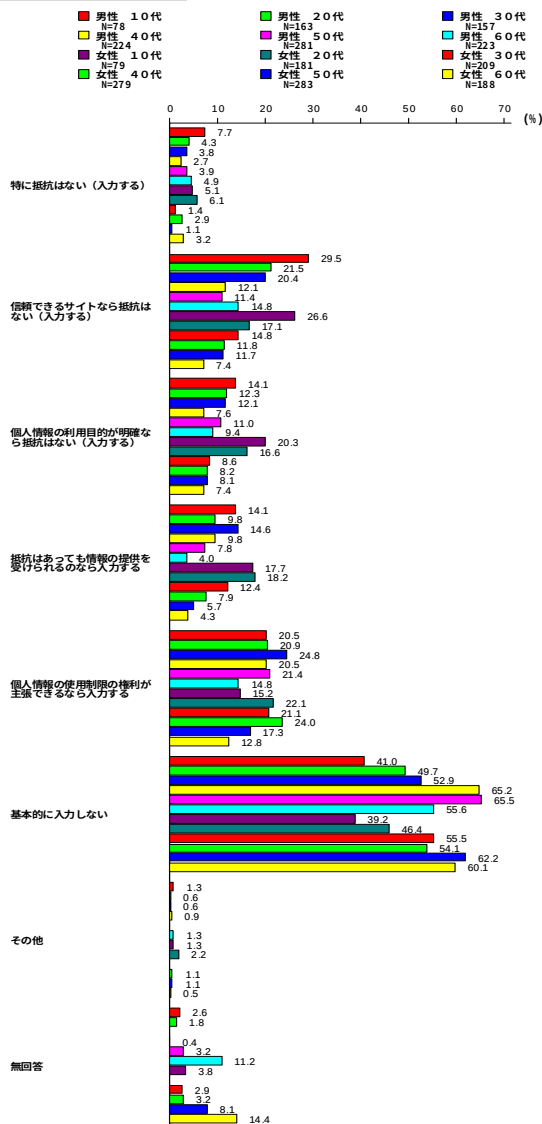
- 個人情報の入力については、「不正利用や漏洩が心配なので、基本的には個人情報を入力しない」が56%と最も多く、以下、「必要に応じて、個人情報の使用制限等の権利を主張することが可能であれば、入力する」が20%、「信頼できるサイトであれば、抵抗を感じない（入力する）」が15%、「個人情報の利用目的が明確であれば、抵抗を感じない（入力する）」が10%となっている。
- 「基本的には個人情報を入力しない」は男女ともに若年層に比べ高年層で多くなっている。一方、各条件によって「入力する」項目は若年層で多くなっている。また、インターネットの利用年数別では、利用年数が短い層で「基本的には個人情報を入力しない」が多くなっている。

Q. インターネットのサイト（ウェブ・サイト）において、家族構成、趣味、関心事などの個人情報を入力することについて、あなたはどのように考えますか。（○はいくつでも）

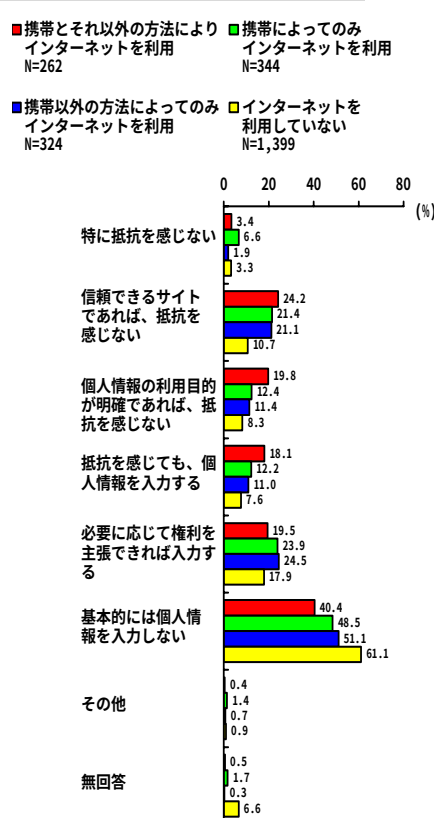
全体



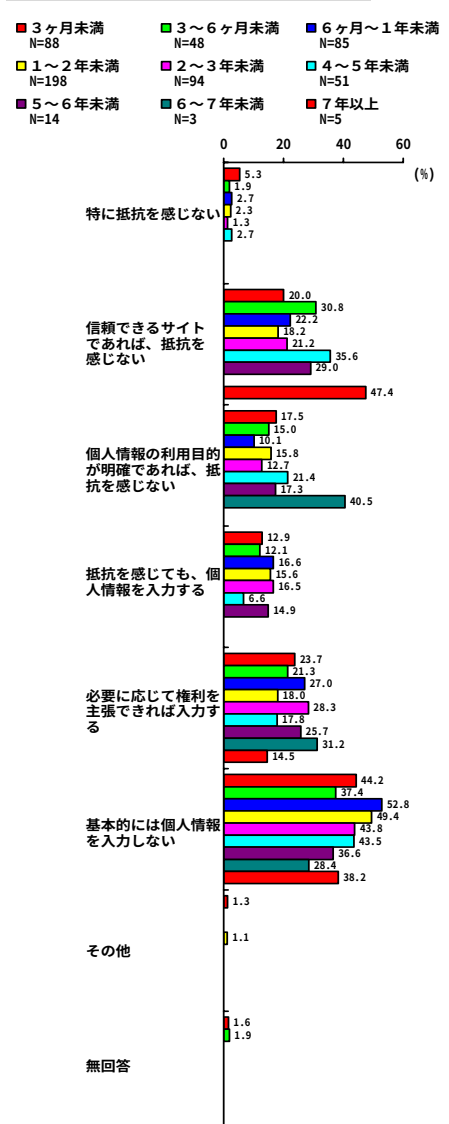
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



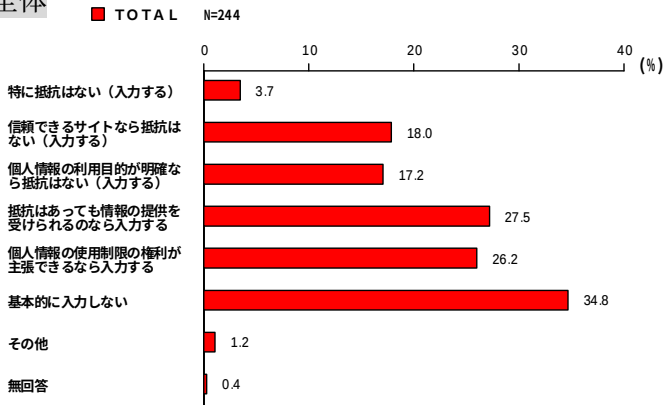
インターネットの利用年数別



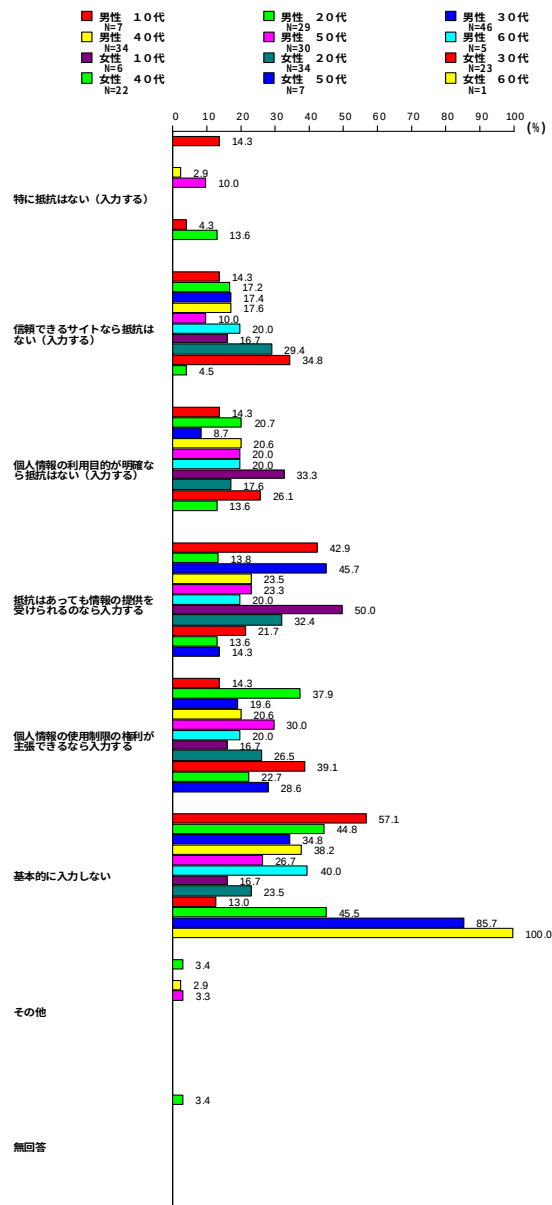
●個人情報の入力については、「不正利用や漏洩が心配なので、基本的には個人情報を入力しない」が35%、以下、「抵抗を感じても、便利なサービスや関心のある情報の提供を受けることができるのであれば、個人情報を入力する」が28%、「必要に応じて、個人情報の使用制限等の権利を主張することが可能であれば、入力する」が26%、「信頼できるサイトであれば、抵抗を感じない（入力する）」が18%、「個人情報の利用目的が明確であれば、抵抗を感じない（入力する）」が17%となっている。

Q. インターネットのサイト（ウェブ・サイト）において、家族構成、趣味、関心事などの個人情報を入力することについて、あなたはどのように考えますか。（○はいくつでも）

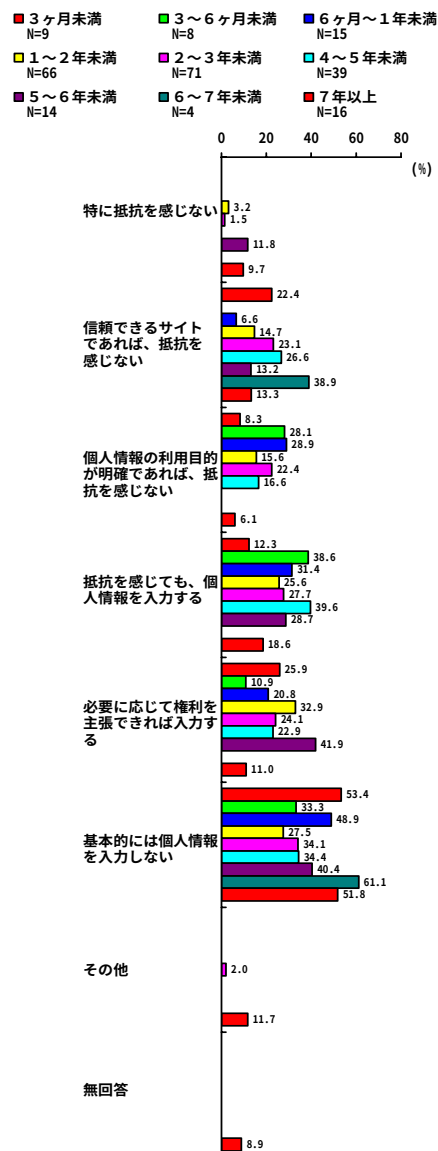
全体



男女別・年齢別



インターネットの利用年数別

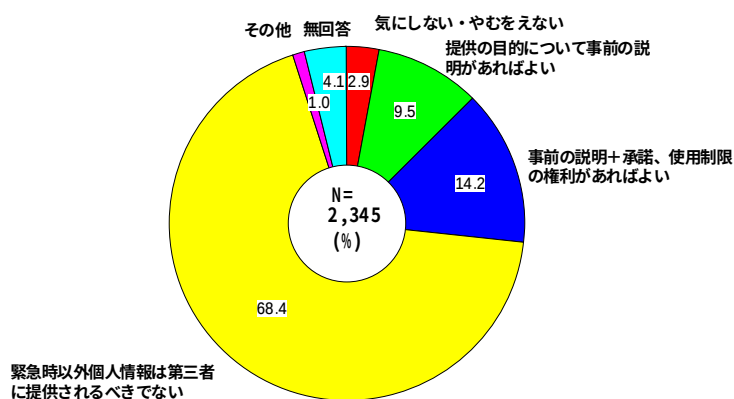


●個人情報の第三者提供については、「生命、身体又は財産保護のために緊急の必要がある場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない」が68%を占め、以下、「事前の説明のみならず、承諾を求められ、必要に応じて、使用の制限等の権利を主張することも可能であればかまわない」が14%、「提供される第三者や利用目的について、事前の説明さえあればよい」が10%となっている。

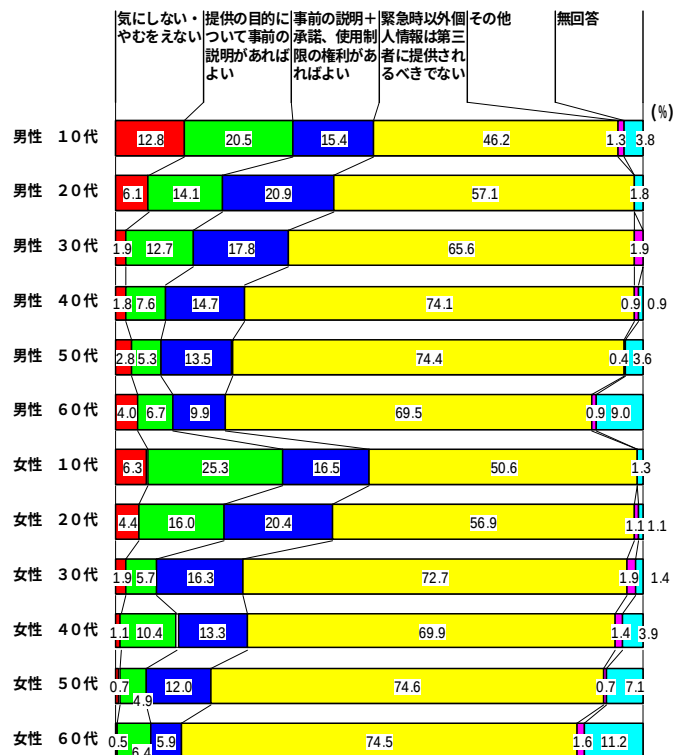
●「緊急の場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない」は男女ともに若年層に比べ高年層で多くなっている。一方、各条件によって個人情報の第三者提供を容認する項目は若年層で多くなっている。また、インターネットの利用形態別では、利用者層に比べ、利用していない層で「緊急の場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない」が多くなっている。

Q. インターネットのサイト（ウェブ・サイト）で収集される個人情報が第三者に提供されることについて、あなたはどのように考えますか。（○は1つ）

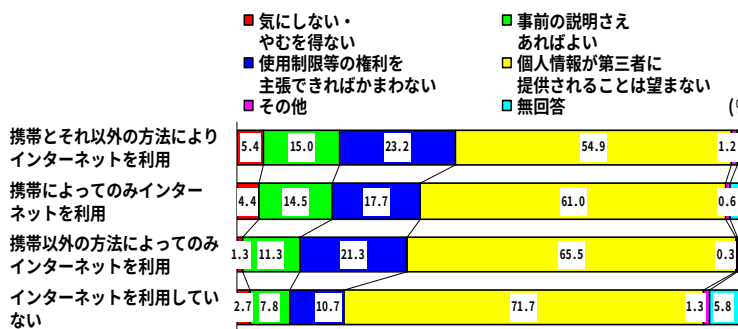
全体



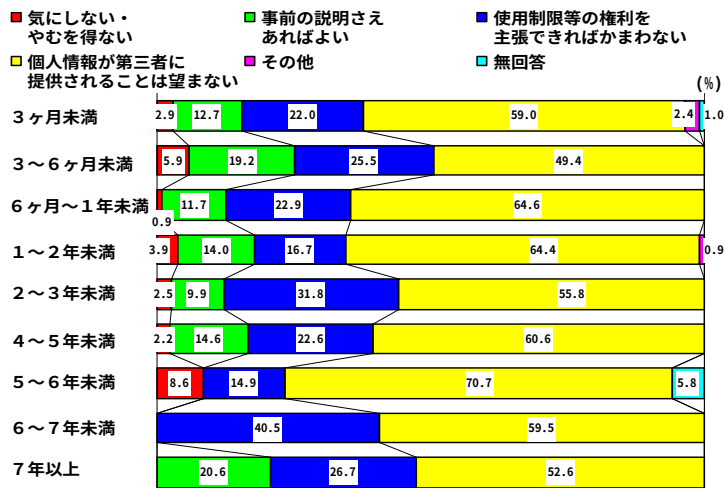
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



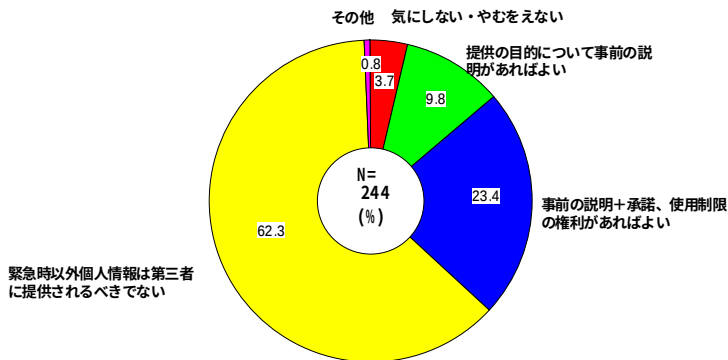
インターネットの利用年数別



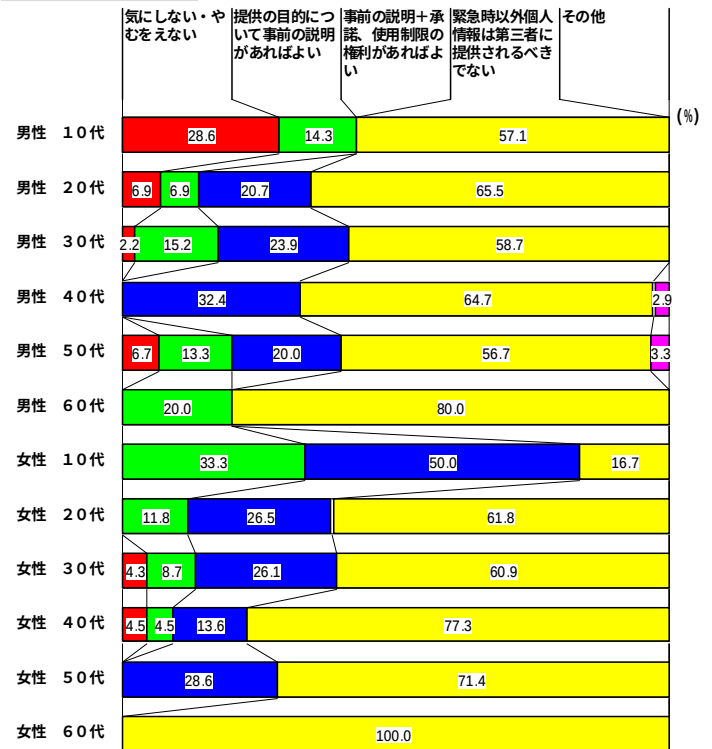
- 個人情報の第三者提供については、「生命、身体又は財産保護のために緊急の必要がある場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない」が62%を占め、以下、「事前の説明のみならず、承諾を求められ、必要に応じて、使用の制限等の権利を主張することも可能であればかまわない」が23%、「提供される第三者や利用目的について、事前の説明さえあればよい」が10%となっている。
- 「緊急の場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない」は男性の60代と女性の40代から60代で多くなっている。

Q. インターネットのサイト（ウェブ・サイト）で収集される個人情報が第三者に提供されることについて、あなたはどのように考えますか。（○は1つ）

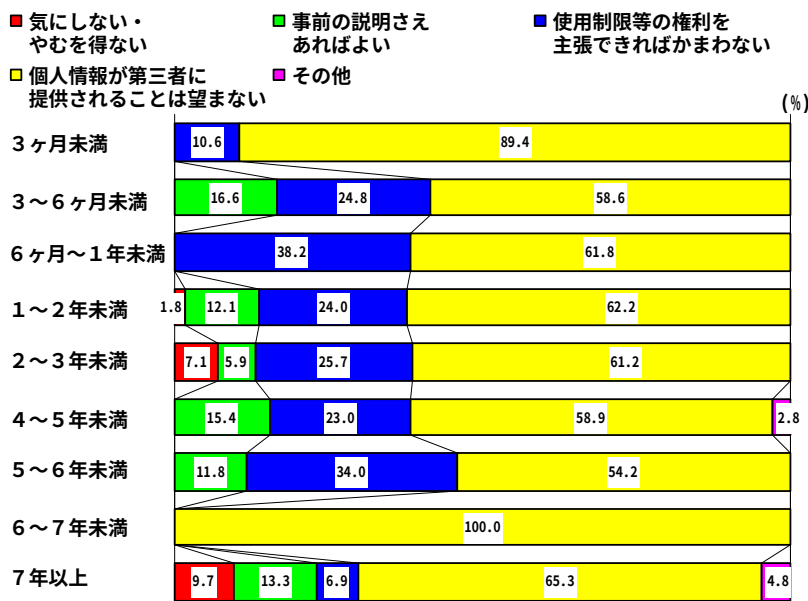
全体



男女別・年齢別



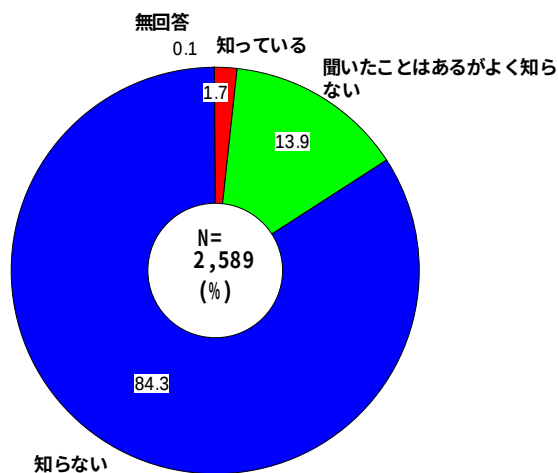
インターネットの利用年数別



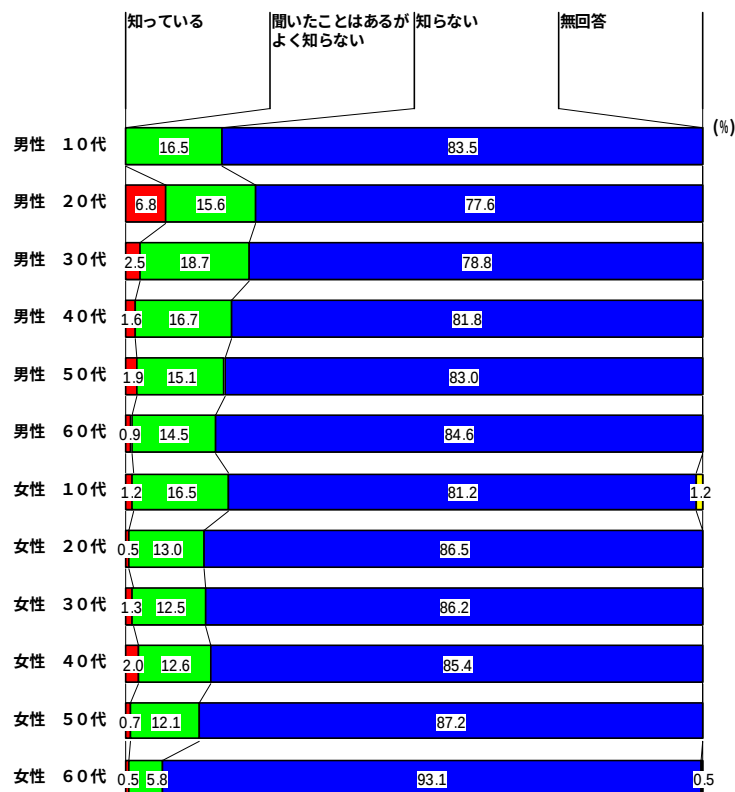
- 個人情報保護マークを「知っている」は2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が14%、「知らない」が84%となっている。
- 「知っている」は男性の20代、パソコンを利用している層、インターネットの利用年数が長い層で多くなっている。

Q. あなたは、「個人情報保護マーク」をご存知ですか。

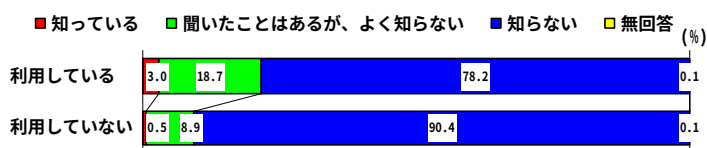
全体



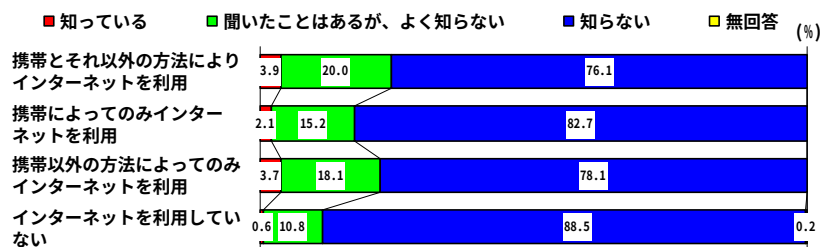
男女別・年齢別



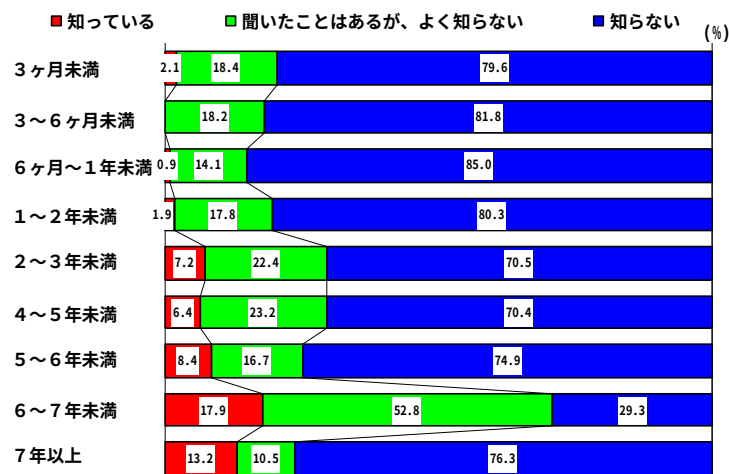
パソコン利用別



インターネットの利用形態別



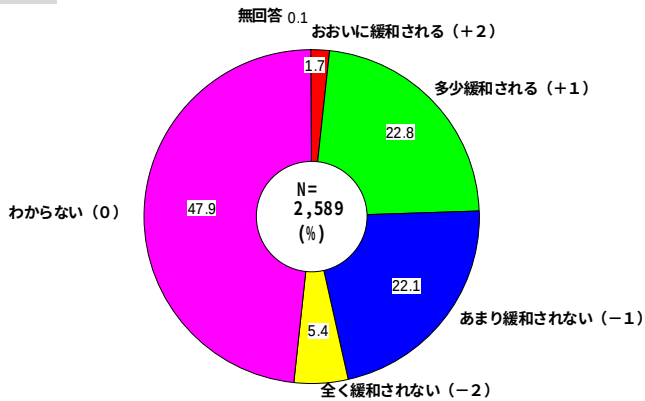
インターネットの利用年数別



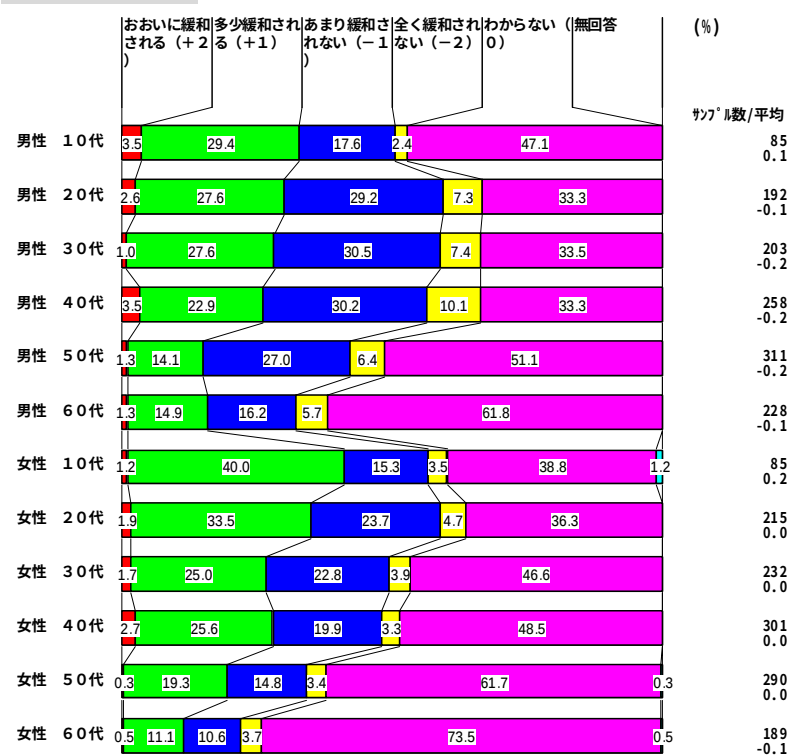
- 個人情報保護マークにより、不安が「おおいに緩和される」は2%、「多少緩和される」は23%で、合わせた『緩和される』は25%である。一方、「全く緩和されない」は5%、「あまり緩和されない」は22%で、合わせた『緩和されない』は27%と意見が分かれている。
- 『緩和される』は女性の10代で多く、『緩和されない』は男性の20代から40代で多くなっている。また、インターネットの利用形態別では、「わからない」と答えた人が多い利用していない層に比べ、利用している層で『緩和される』も『緩和されない』も多くなっている。

Q. 「個人情報保護マーク」とは、ガイドラインに基づき、個人情報を保護する団体(サイト開設者)に対し、政府関係機関が付与するものですが、「個人情報保護マーク」により、個人情報保護に対する不安は緩和されますか。

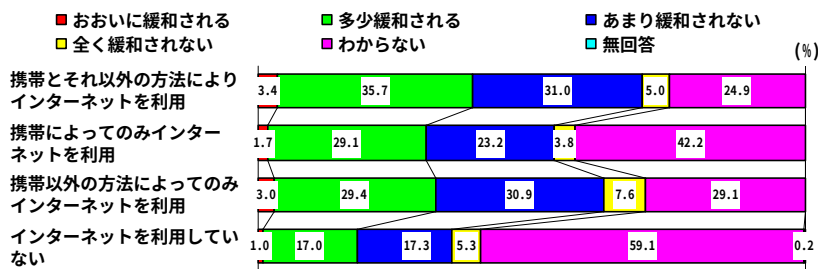
全体



男女別・年齢別



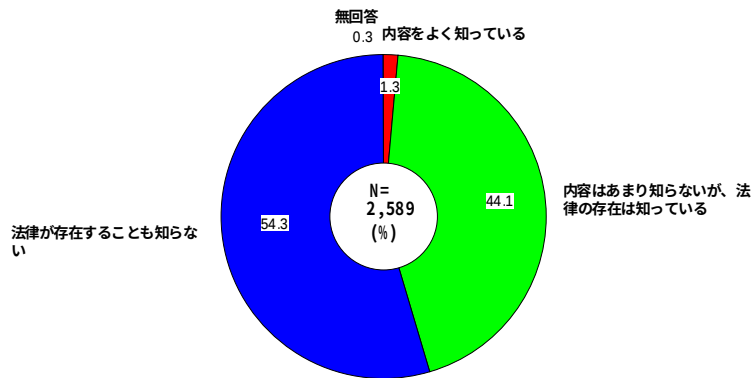
インターネットの利用形態別



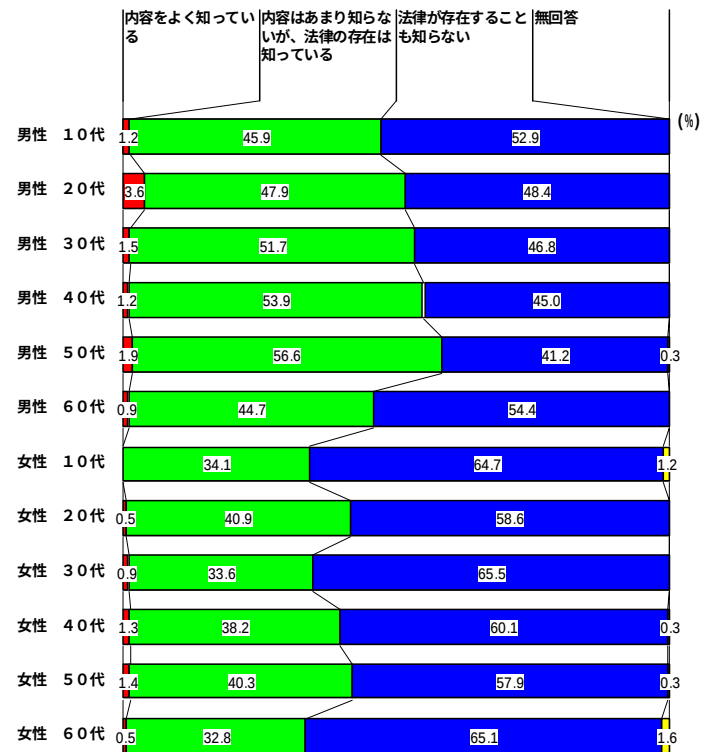
- 不正アクセス法について「内容をよく知っている」は1%、「内容はあまり知らないが、法律が存在することは知っている」が44%、「法律が存在すること知らない」が54%となっている。
- 「法律が存在することは知っている」は女性よりも男性で多く、男性の50代では6割近くを占める。パソコン利用別では利用している層、インターネットの利用形態別では携帯以外の方法で利用している層で認知が多くなっている。

Q. コンピューターに不正に侵入することを禁止する法律(「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」)が平成11年8月に成立し、平成12年2月から施行されていますが、あなたはご存知ですか。

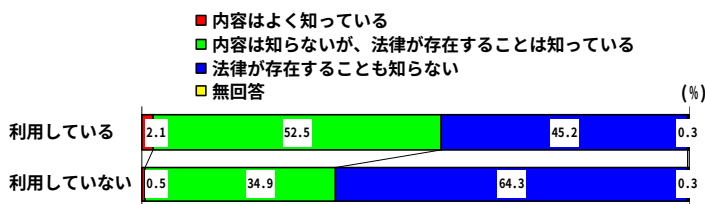
全体



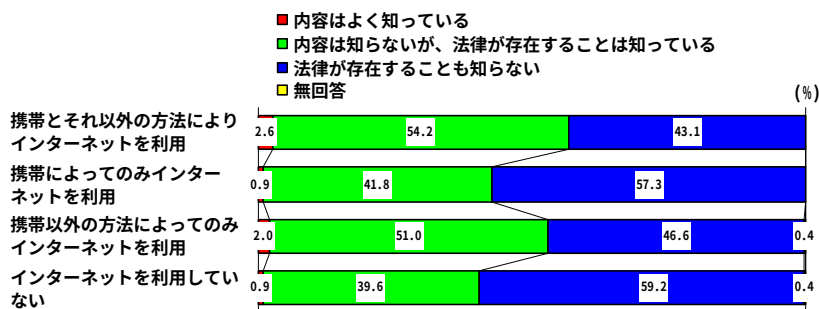
男女別・年齢別



パソコン利用別



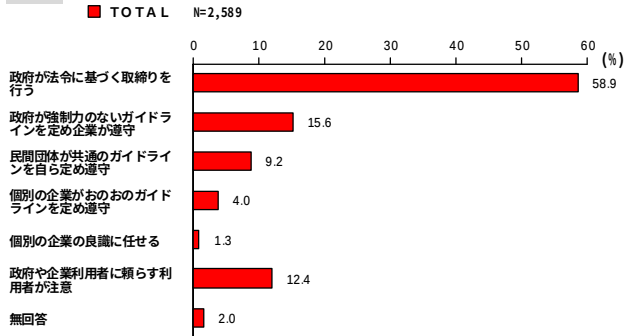
インターネットの利用形態別



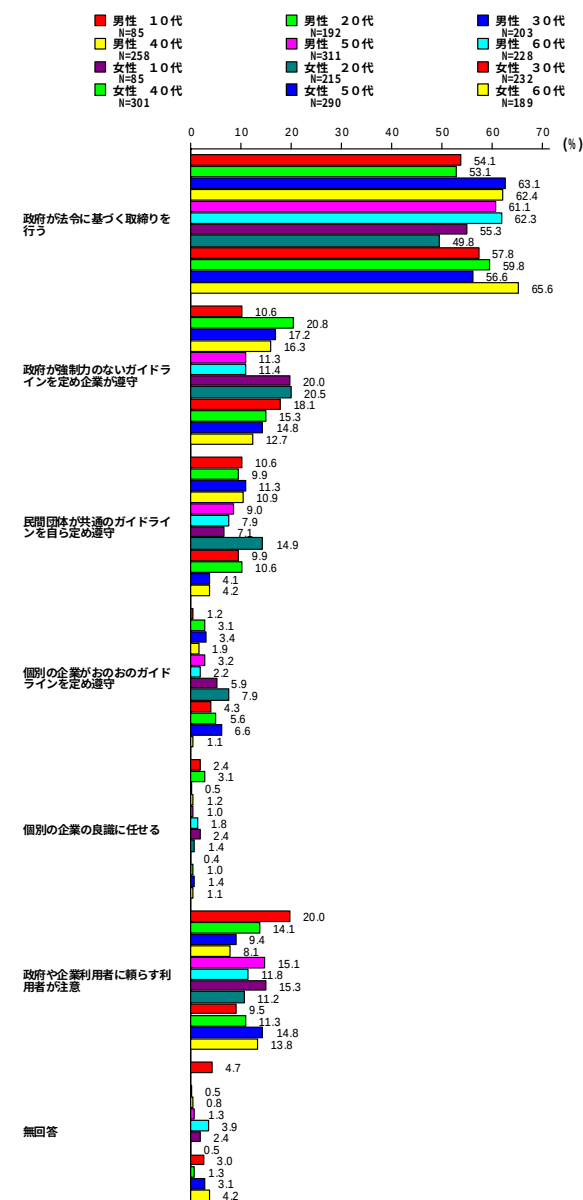
- 不正利用などへの対策としては、「政府が法令に基づく取締を行うことにより守るべき」が59%で最も多い。以下、大きく比率が下がり、「政府が強制力を持たないガイドラインを定め、民間団体や企業がそれを遵守することにより守るべき」が16%、「政府や企業利用者に頼らず、利用者が注意すればよい」が12%となっている。
- 「政府が法令に基づく取締を行うことにより守るべき」は男女ともに若年層で少なく、男性の30代から60代、女性40代と60代で多くなっている。「政府や企業利用者に頼らず、利用者が注意すればよい」は男性の10代で多い。

Q. 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりしないようにするためにはどのような対策が必要とあなたは考えますか。

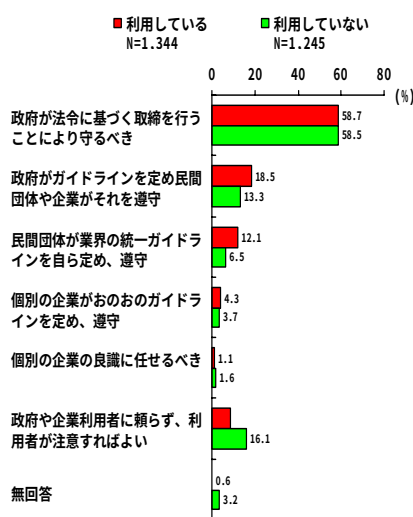
全体



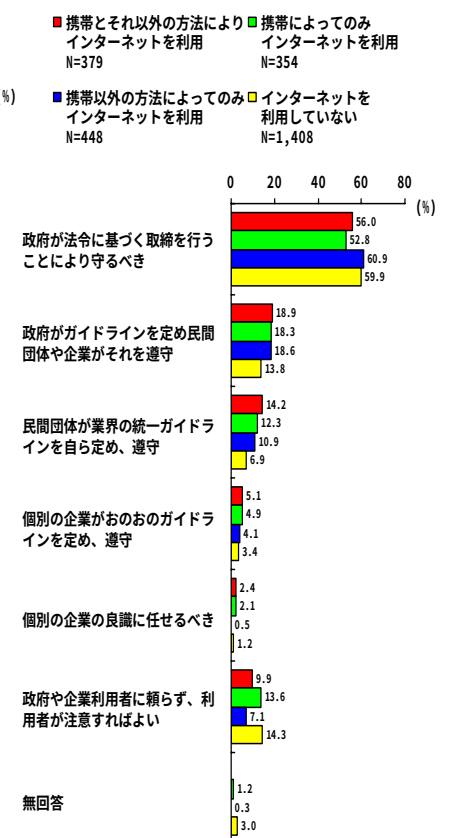
男女別・年齢別



インターネットの利用形態別



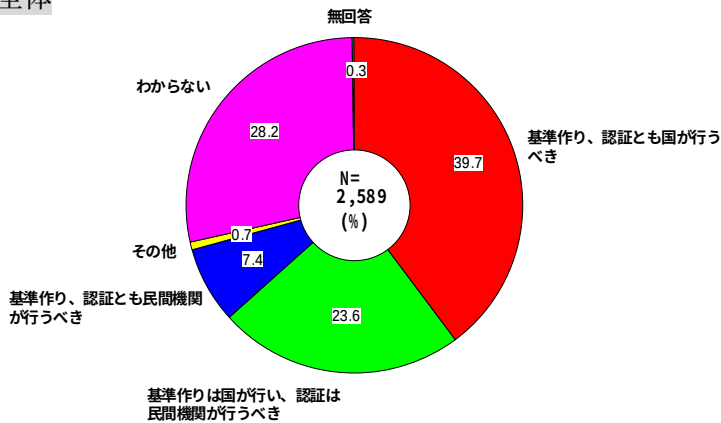
インターネットの利用年数別



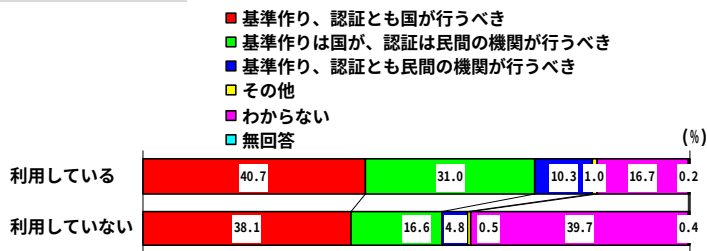
- 「基準作り、認証とも国が行うべき」が40%、「基準作りは国が行うべきであるが、認証は民間の機関が行うべき」が24%、「基準作り、認証とも民間の機関が行うべき」が7%となっている。
- 「基準作り、認証とも国が行うべき」は男性の60代が多い。「基準作りは国が行うべきであるが、認証は民間の機関が行うべき」は男性の20代と30代、パソコン利用者、携帯以外の方法によるインターネット利用者が多い。

Q. コンピューター等に不正に侵入されないための備えるべき基準を作り、基準を満たす機器に認証を与えることが考えられています。あなたは、基準作りや認証は国が行うべきだと思いますか、民間の機関が行うべきと考えますか。

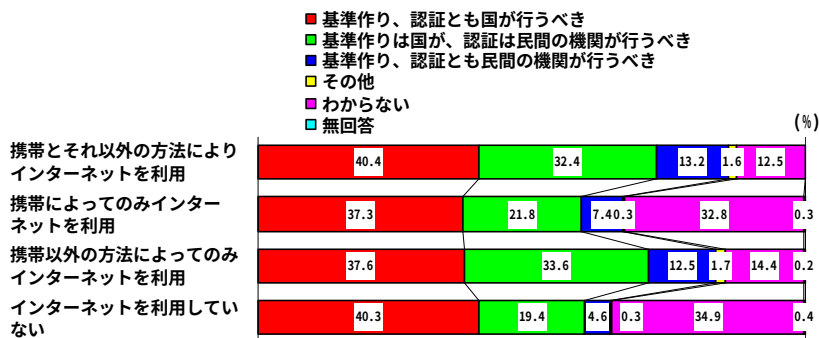
全体



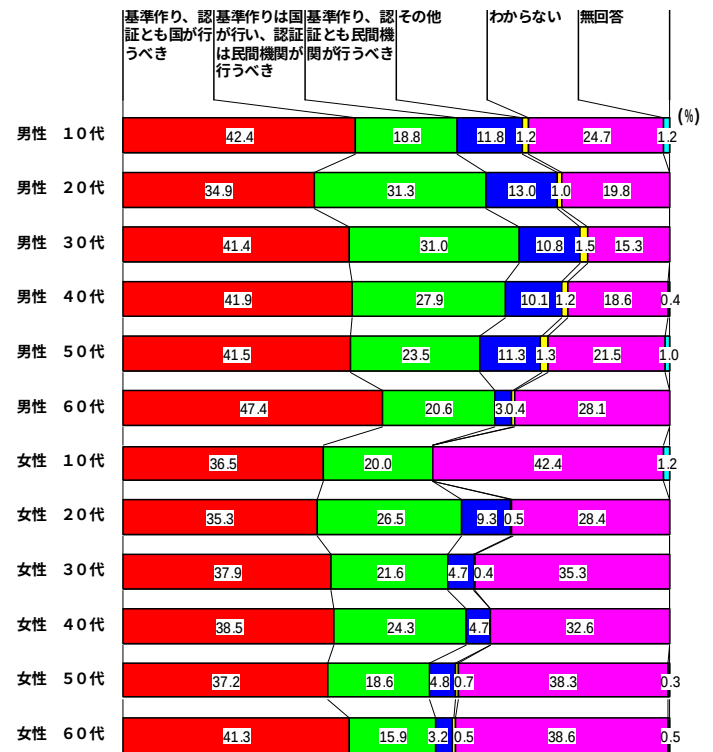
パソコン利用別



インターネットの利用形態別



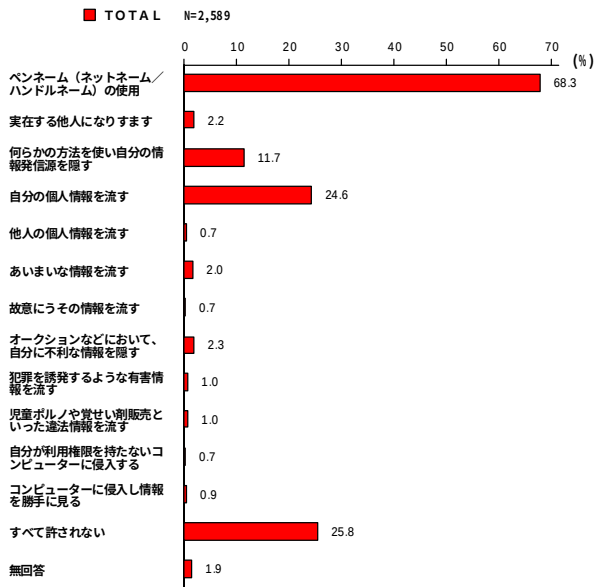
男女別・年齢別



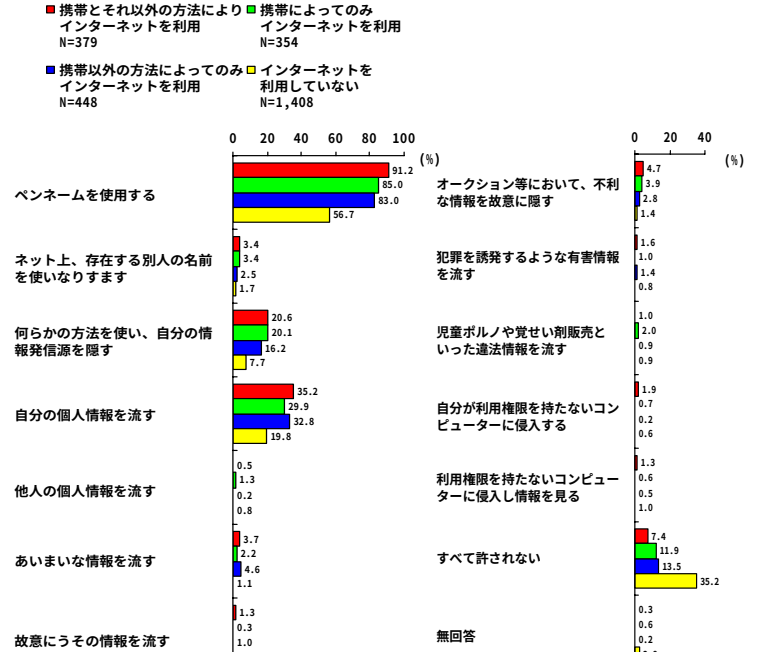
- ネット上で許されるものとしては、「ペンネーム（ネットネーム／ハンドルネーム）を使用する」が68%、次いで、「自分の個人情報 flows」が25%、「何らかの方法を使い、自分の情報発信源を隠す」が12%で、その他の項目は3%未満の割合になっている。また、「すべて許されない」は26%である。
- 具体的にあげられた上位3項目は男女ともに若年層で、また、インターネットを利用していない層に比べ、利用者層で多くなっている。これに対し、「すべて許されない」は高年層、インターネットを利用していない層で多い。

Q. 次のうち、ネット上で許されると考えるものをあげて下さい。(○はいくつでも)

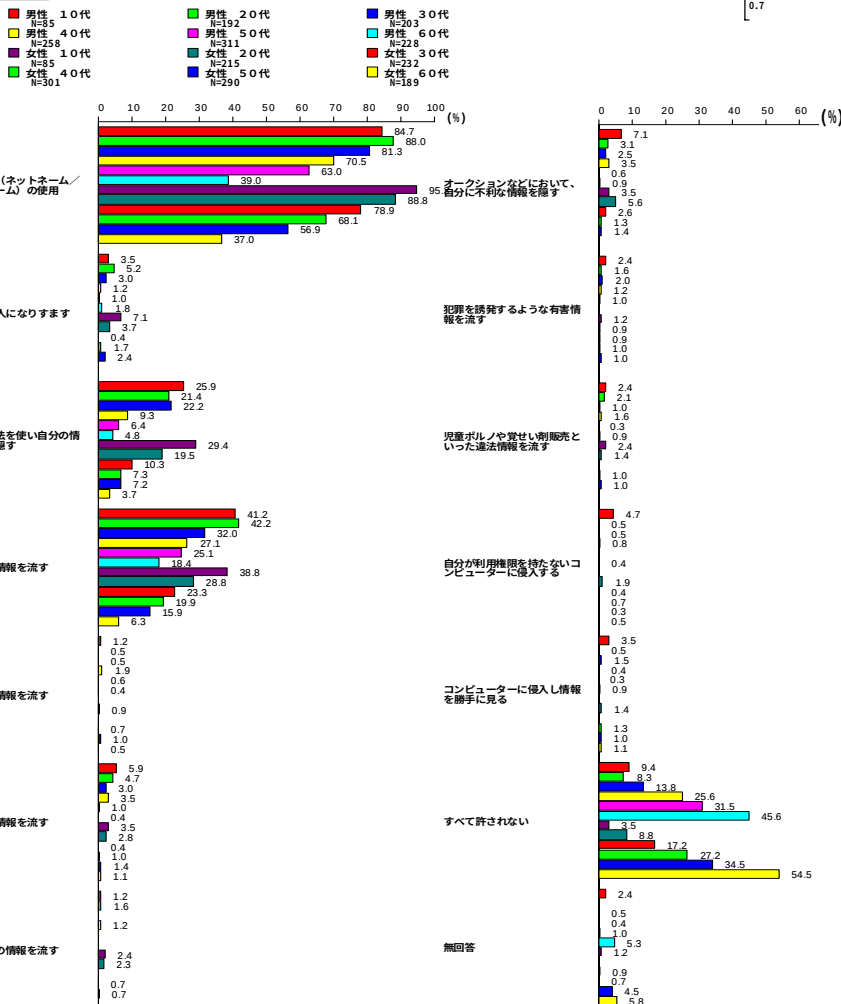
全体



インターネットの利用形態別



男女別・年齢別



行政の情報化

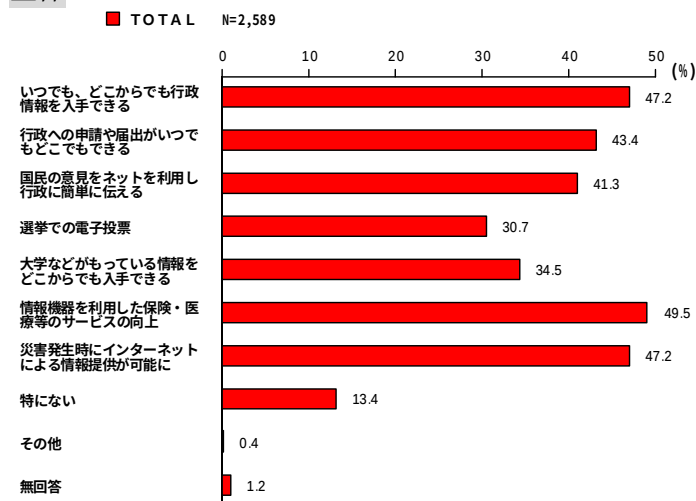
(92) 行政の情報化への期待(Q84)

「保険・医療・福祉面のサービスが向上すること」が半数

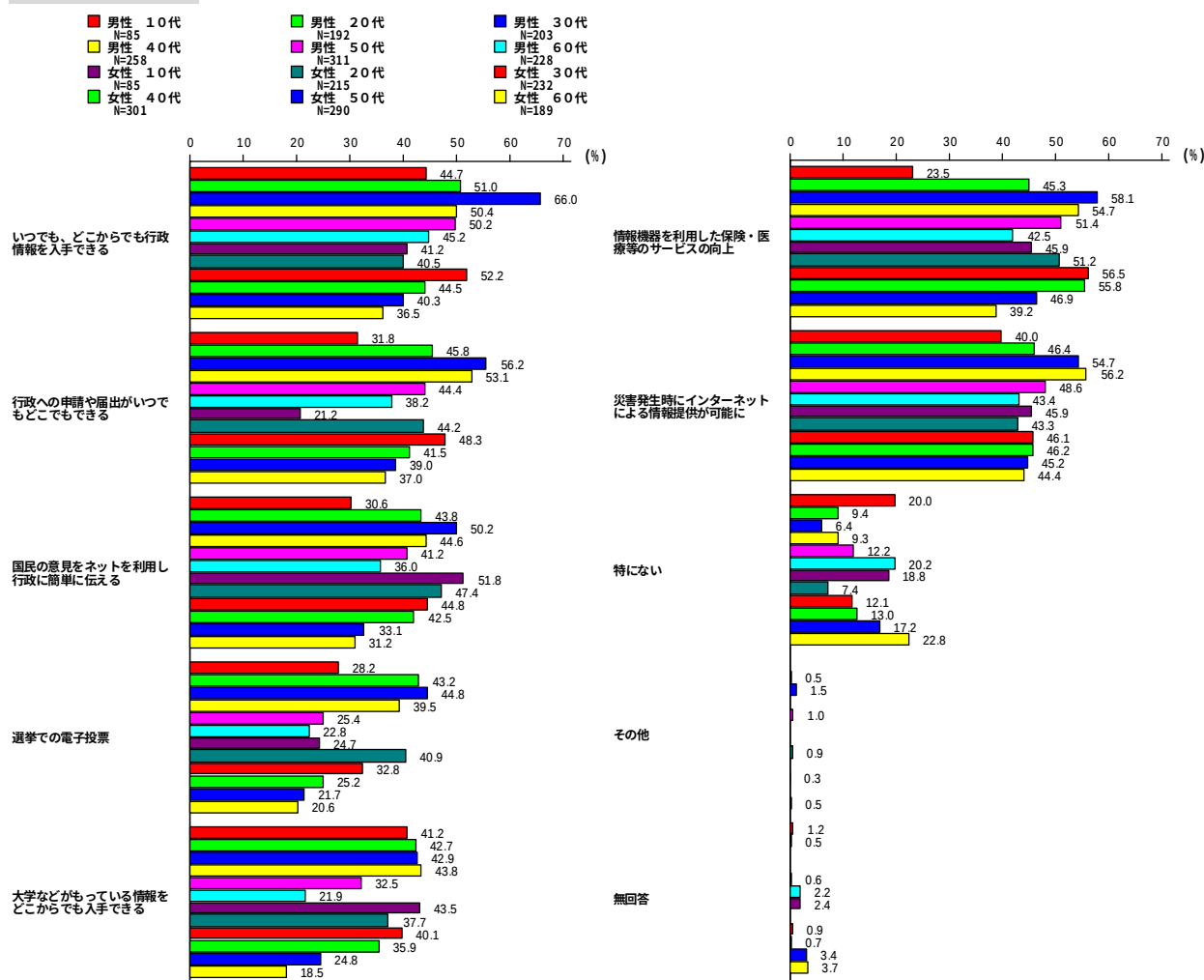
- 行政の情報化として期待することは、「情報機器を利用した在宅健康管理や福祉相談など、保険・医療・福祉面のサービスが向上すること」が 50%で最も多く、以下、「いつでも、どこからでも必要な行政情報を入手できること」と「災害発生時にインターネットを利用し、情報提供が受けられるようになること」が 47%、「行政への申請や届け出などがいつでも、どこでもできるようになること」が 43%、「国民の意見や提案を、インターネットを利用し、行政機関へ簡単かつ迅速に伝えられるようにすること」が 41%となっている。
- ほとんどの項目について男性の 30 代、パソコン利用者、携帯以外の方法によるインターネット利用者で期待が高くなっている。

Q. あなたは、行政の情報化として、どのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

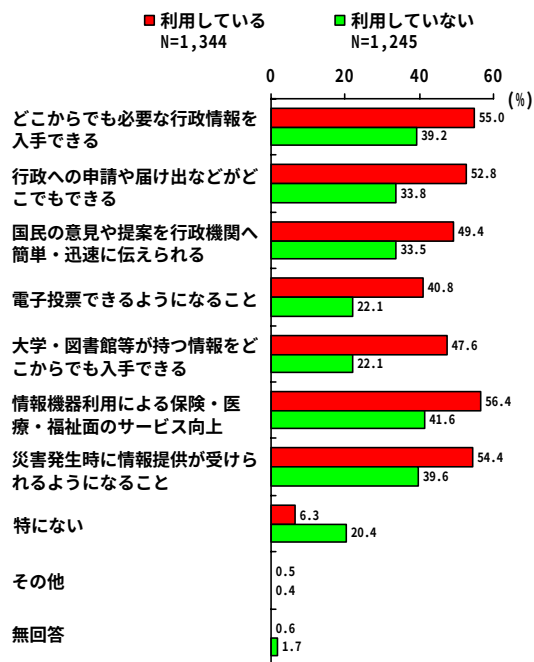
全体



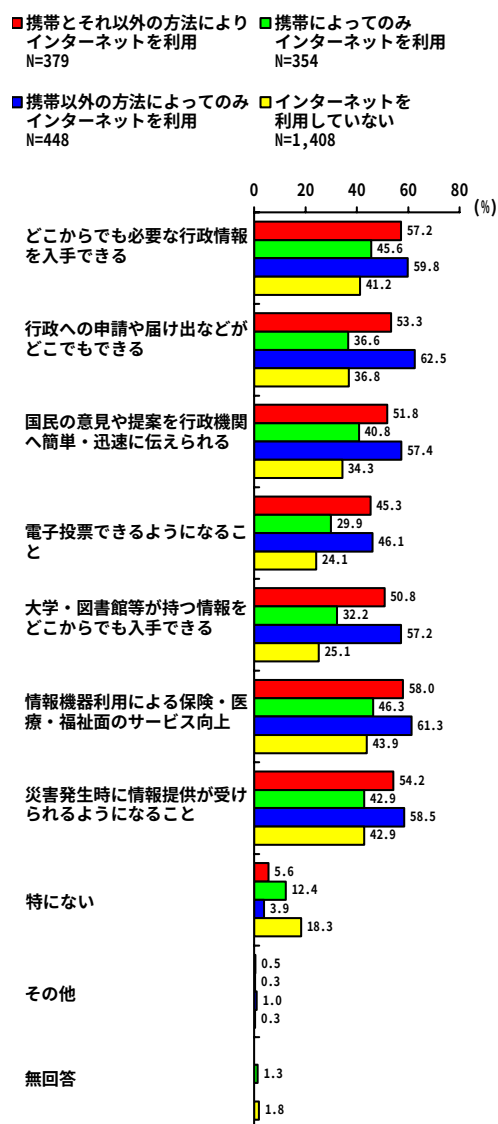
男女別・年齢別



パソコン利用別



インターネットの利用形態別



学校での情報教育

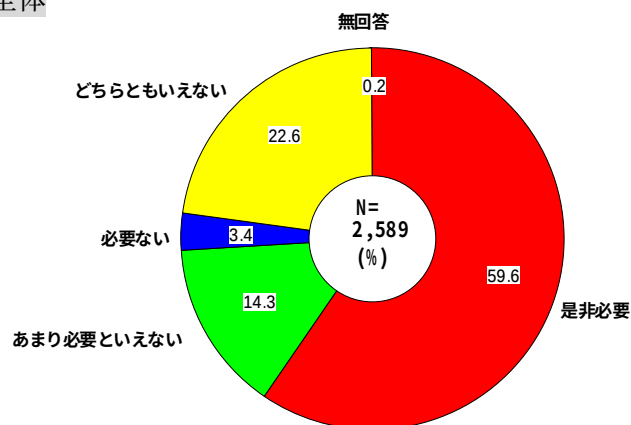
(93) 情報教育の必要性(Q85)

「是非必要」が6割

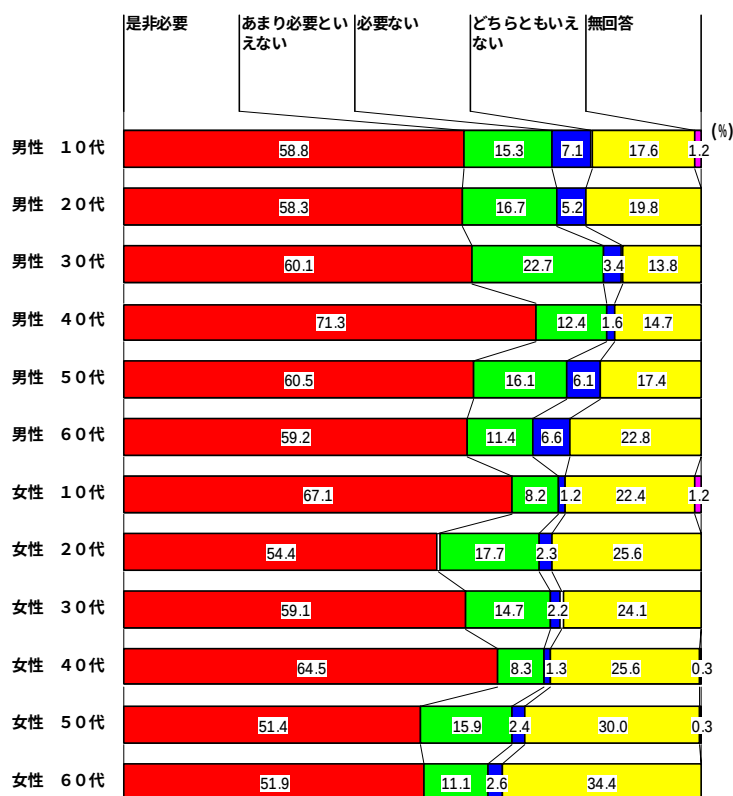
- 小中学校での情報教育については、「是非必要」が60%、「あまり必要といえない」が14%、「必要ない」が3%となっている。
- 「是非必要」は男性の40代と女性の10代、40代、パソコン利用者が多くなっている。コンピューター・リテラシ別では、できる層で「是非必要」が多くなっている。

Q. 小中学校でコンピューターやインターネットを使った授業を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

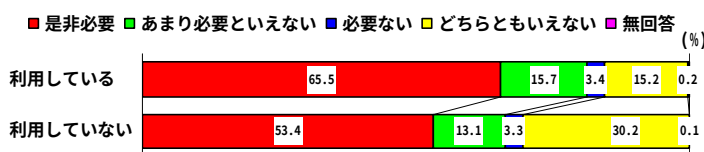
全体



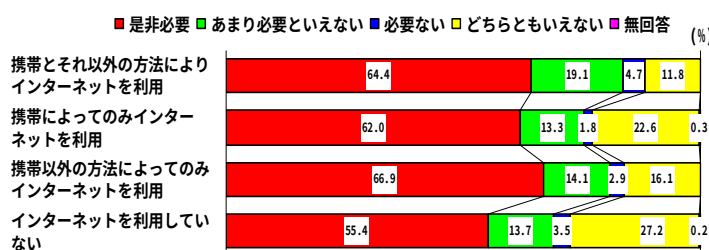
男女別・年齢別



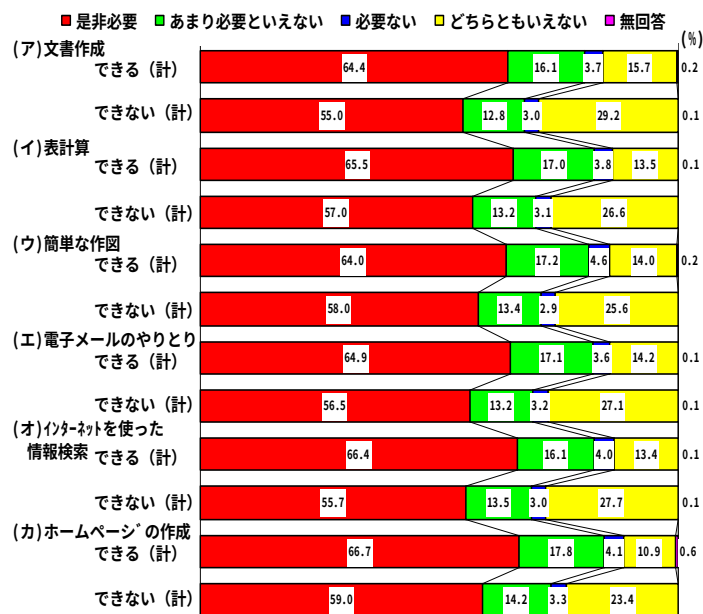
パソコン利用別



インターネットの利用形態別



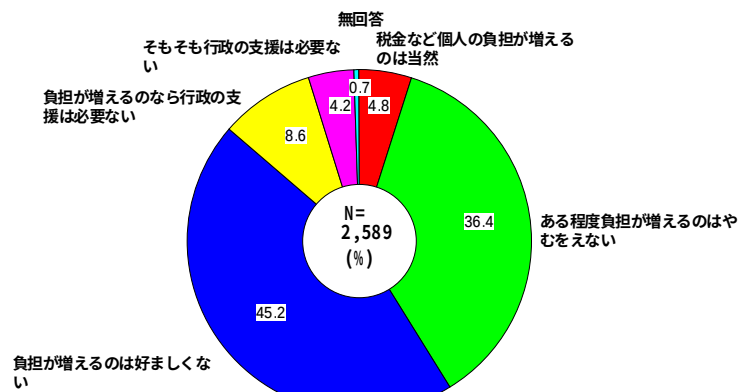
コンピューター・リテラシ別



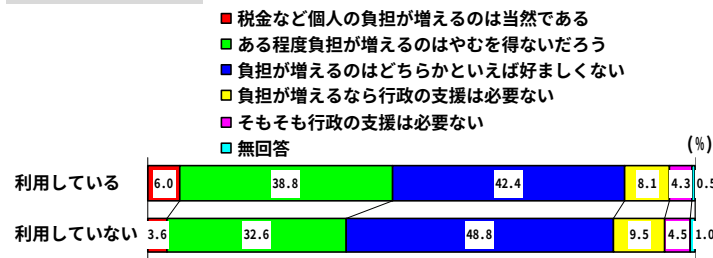
- 情報化教育のための公費負担については、「税金など個人の負担が増えるのは当然である」が5%、「ある程度負担が増えるのはやむを得ないだろう」が36%、「負担が増えるのはどちらかといえば好ましくない」が45%、「負担が増えるなら行政の支援は必要ない」が9%となっている。
- 「やむを得ない」は男性の50代、パソコン利用者、コンピューター・リテラシ別では、できる層で多くなっている。「好ましくない」は女性の20代から50代、パソコンを利用していない層、コンピューター・リテラシ別では、できない層で多くなっている。

Q.「子供たちに情報施設の整った環境で教育を受けさせるために、行政による支援が必要」という考え方がありますが、その結果生じる負担について、あなたはどのように考えますか。

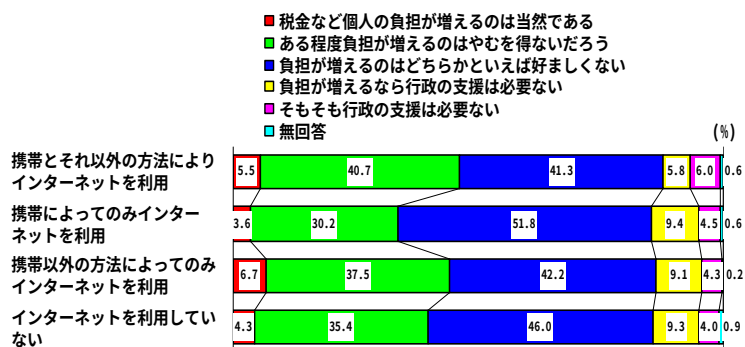
全体



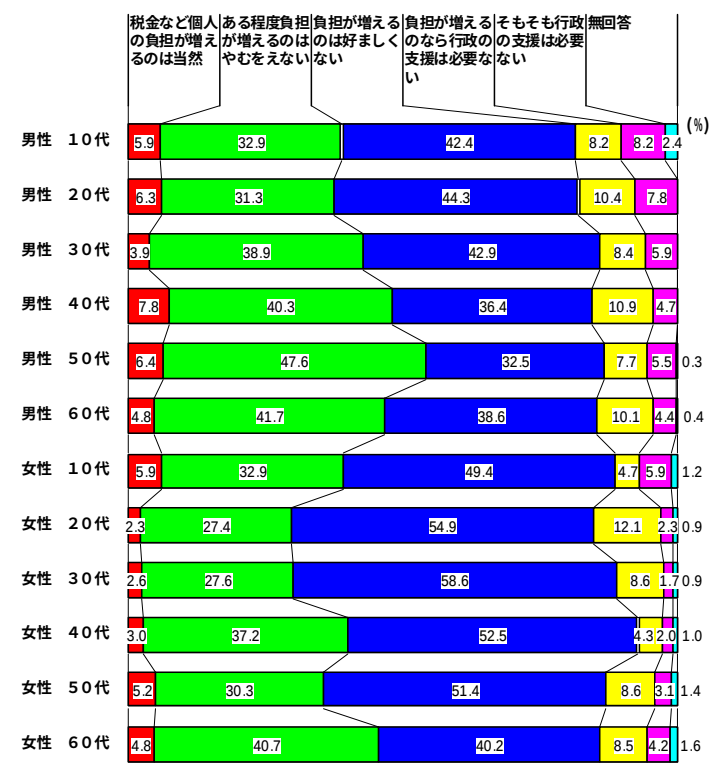
パソコン利用別



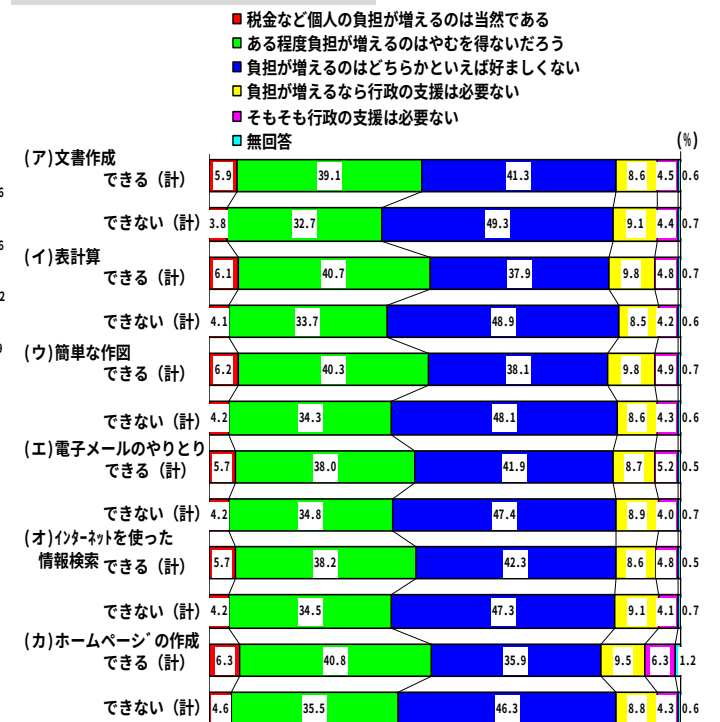
インターネットの利用形態別



男女別・年齢別



コンピューター・リテラシ別



地域の情報化

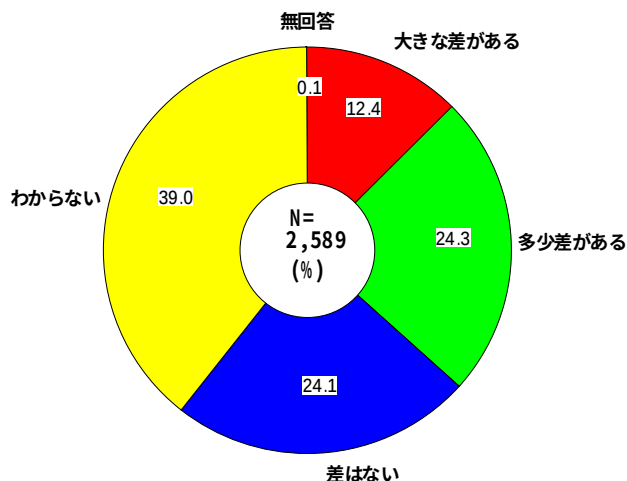
(95) 情報化の地域差の有無(Q87)

『差がある』が 37%

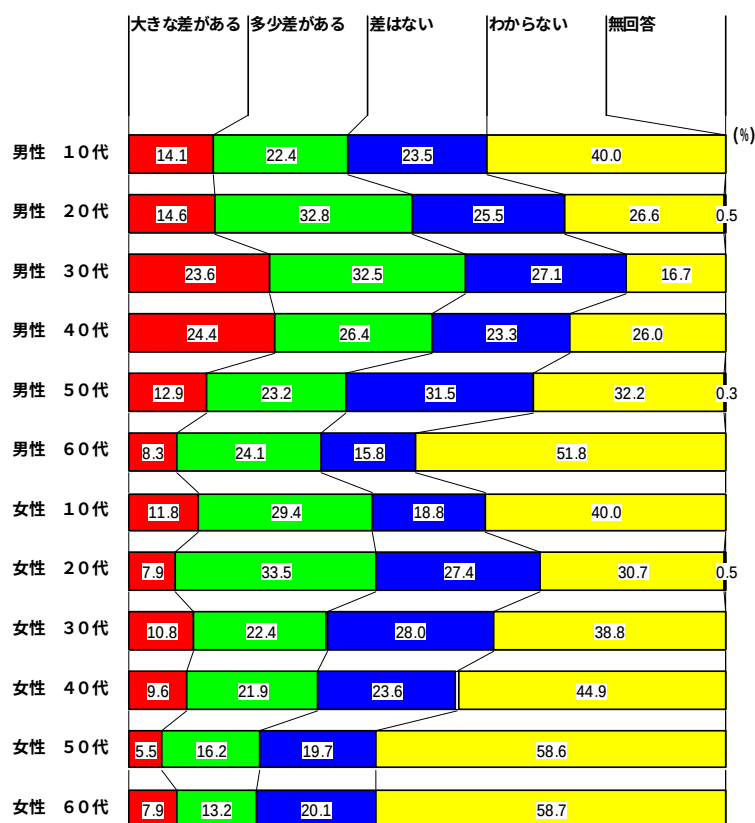
- 情報基盤整備の地域差については、「大きな差がある」が 12%、「多少差がある」が 24%、「差はない」が 24%となっている。
- 『差がある』は男性の 20 代から 40 代、パソコン利用者、インターネット利用者が多くなっている。

Q. あなたのお住まいの地域では携帯電話やCATVなどの情報基盤整備が遅れており、整備が進んでいる地域との間で差があると考えますか。

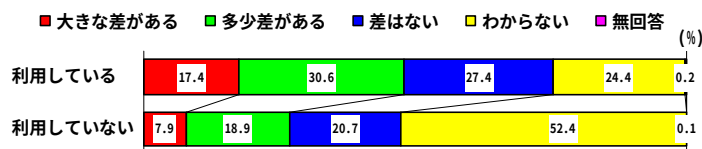
全体



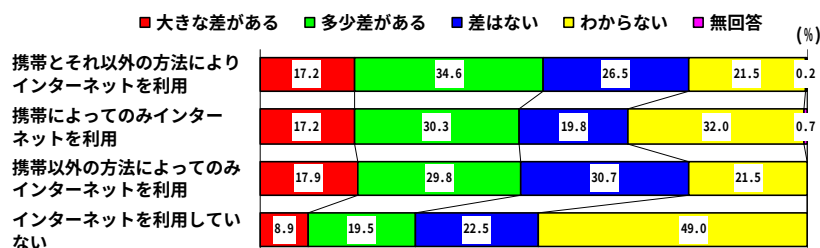
男女別・年齢別



パソコン利用別



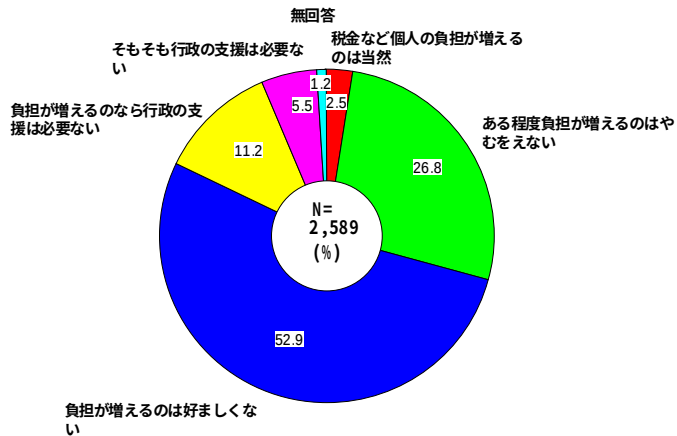
インターネットの利用形態別



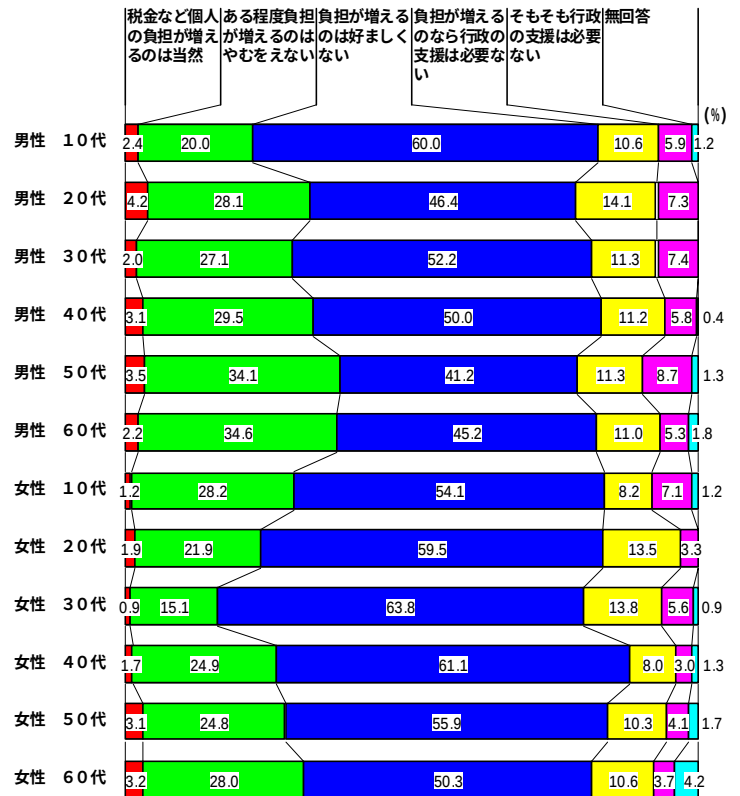
- 地域差をなくすための公費負担については、「税金など個人の負担が増えるのは当然である」が 3%、「ある程度負担が増えるのはやむを得ないだろう」が 27%、「負担が増えるのはどちらかといえば好ましくない」が 53%、「負担が増えるなら行政の支援は必要ない」が 11%となっている。
- 「やむを得ない」は男性の 50 代と 60 代、パソコン利用者、携帯以外の方法によるインターネット利用者で多くなっている。「好ましくない」は男性の 10 代、女性の 30 代と 40 代、パソコンを利用していない層で多くなっている。

Q. 「日本全国、同程度の料金水準で、同程度の情報通信サービスを受けることができるようにするため、行政による支援が必要」という考え方がありますが、その結果生じる負担について、あなたはどのように考えますか。

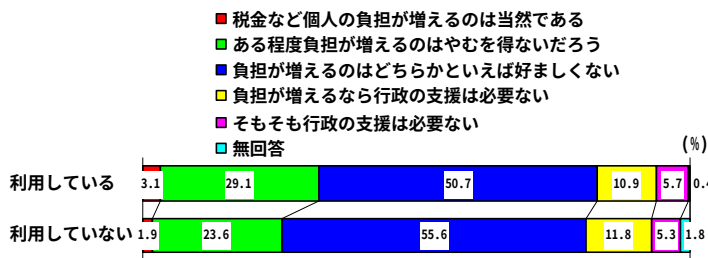
全体



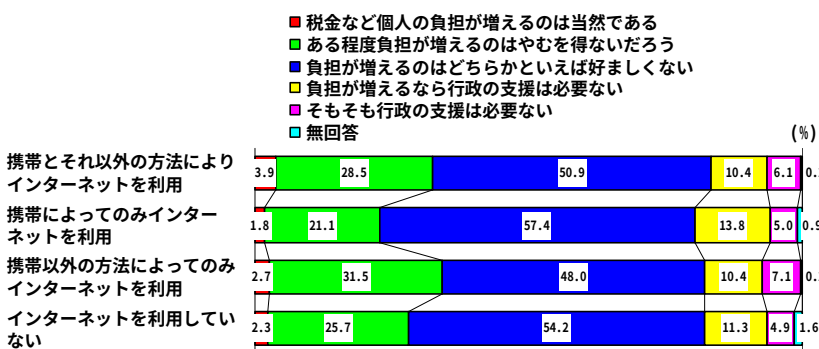
男女別・年齢別



パソコン利用別



インターネットの利用形態別



その他

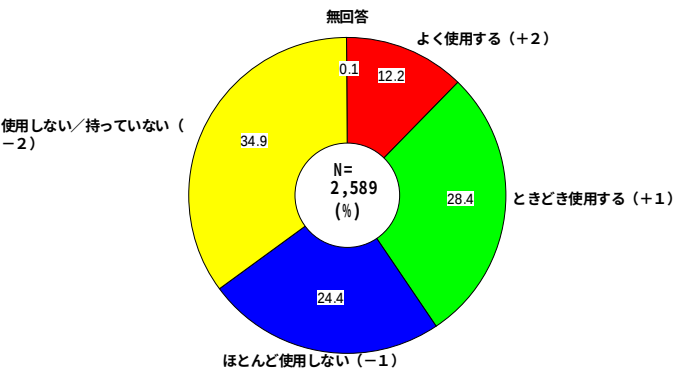
(97)クレジットカードの利用(Q89)

『使用する』が4割

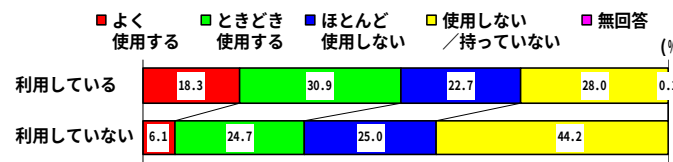
- クレジットカードを「よく使用する」が12%、「ときどき使用する」が28%で、合わせた『使用する』は41%となっている。
- 『使用する』は男女ともに10代から30代にかけて増加し、30代で最も多くなったのち、60代にかけて減少する。また、パソコン利用者、携帯以外の方法によるインターネット利用者で『使用する』が多い。

Q. あなたは、クレジットカードを使用していますか。

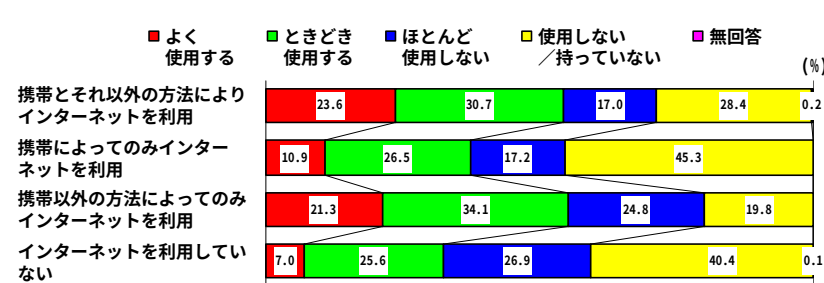
全体



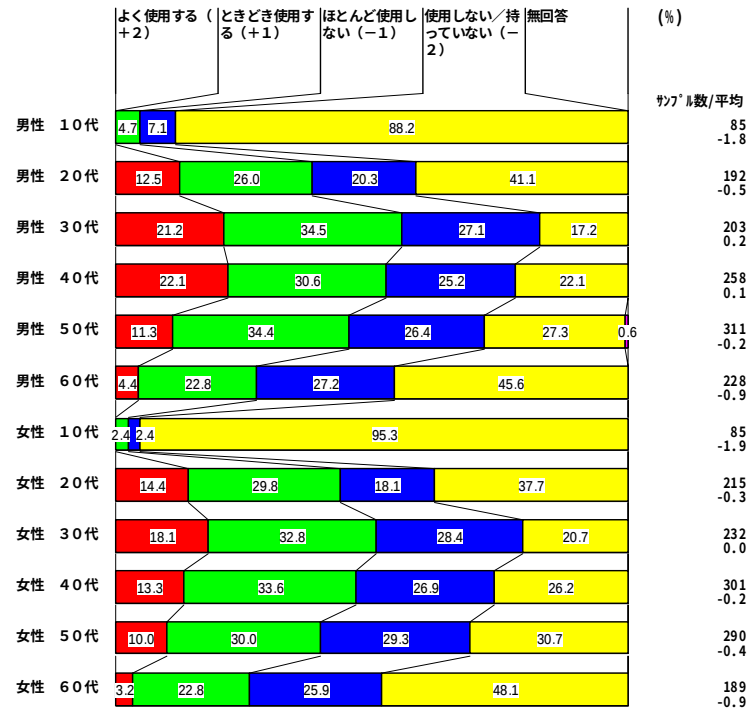
パソコン利用別



インターネットの利用形態別



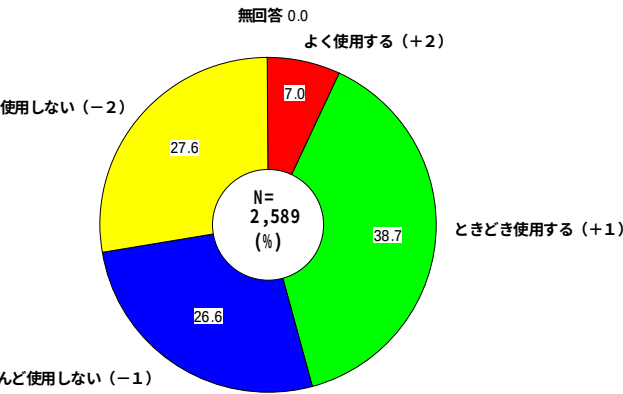
男女別・年齢別



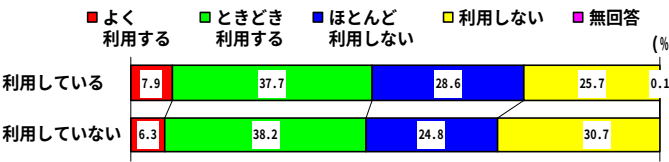
- 通信販売を「よく利用する」が7%、「ときどき利用する」が39%で、合わせた『利用する』は46%となっている。
- 『利用する』は男性よりも女性で多く、なかでも女性の30代では目だっている。

Q. あなたは、通信販売を利用しますか。

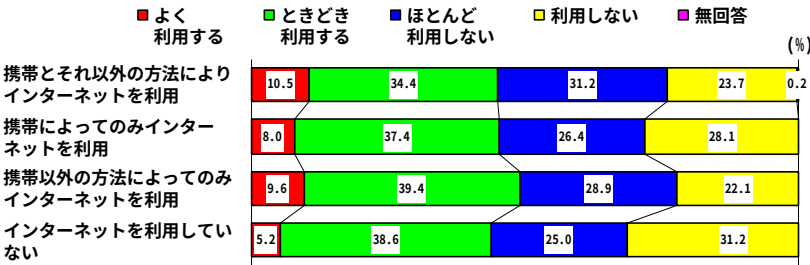
全体



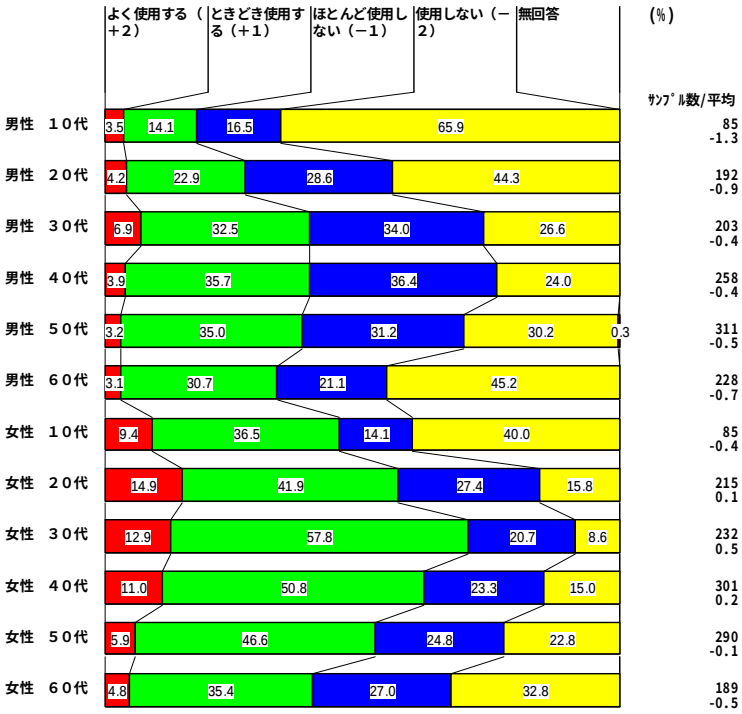
パソコン利用別



インターネットの利用形態別



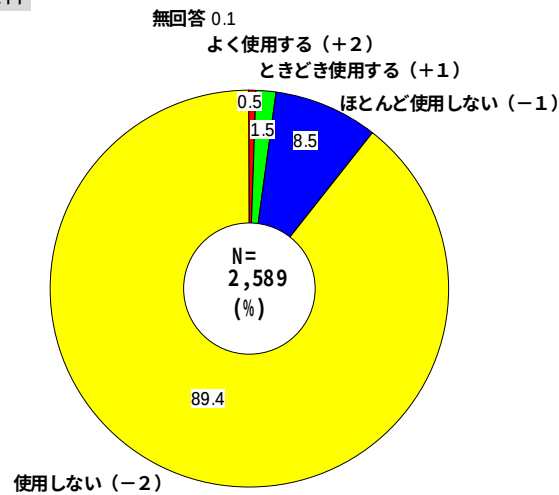
男女別・年齢別



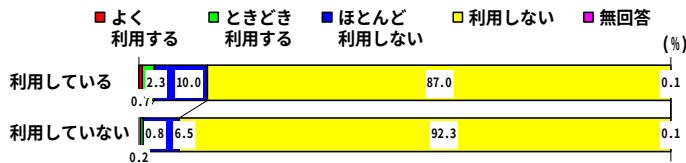
- テレホンバンキングを「よく利用する」が1%、「ときどき利用する」が2%で、合わせた『利用する』は2%となっている。
- 『利用する』は男性の30代でやや多い。また、携帯とそれ以外の方法によるインターネット利用者で『利用する』が多い。

Q. あなたは、電話で送金や振込を行うテレホンバンキングを利用したことがありますか。

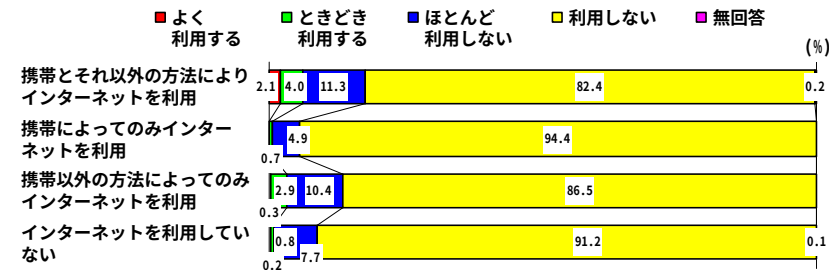
全体



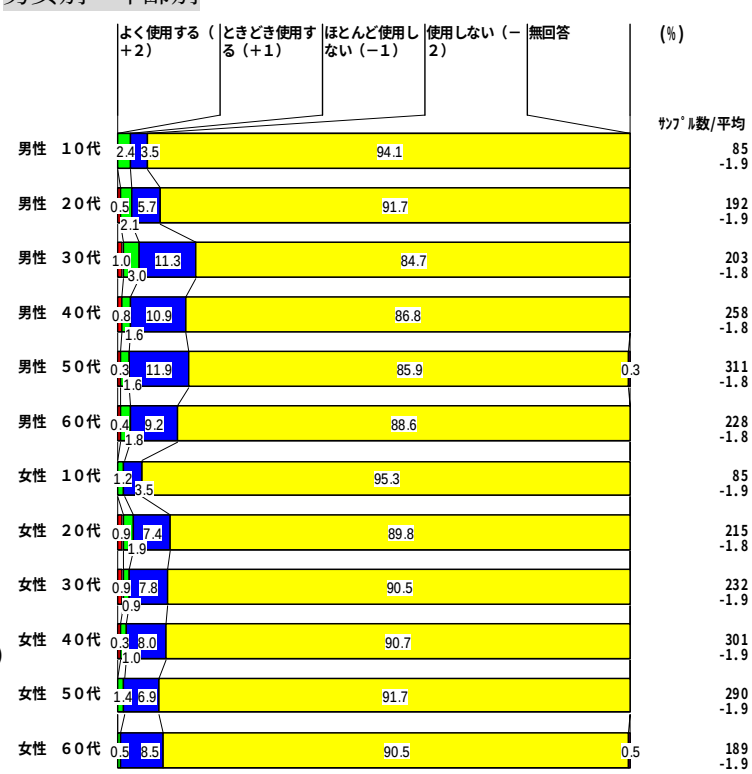
パソコン利用別



インターネットの利用形態別



男女別・年齢別

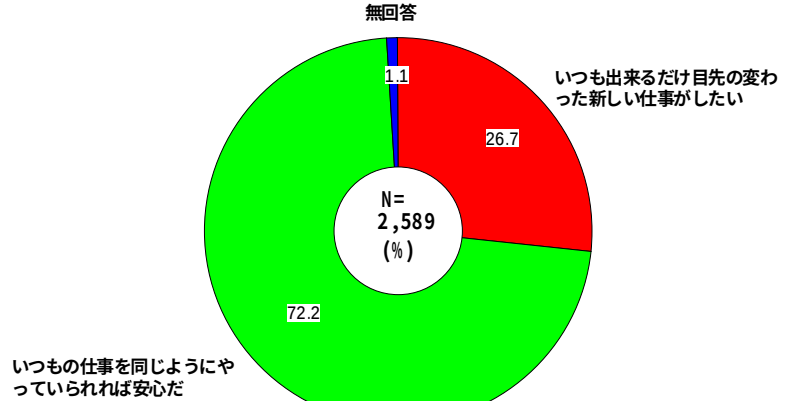
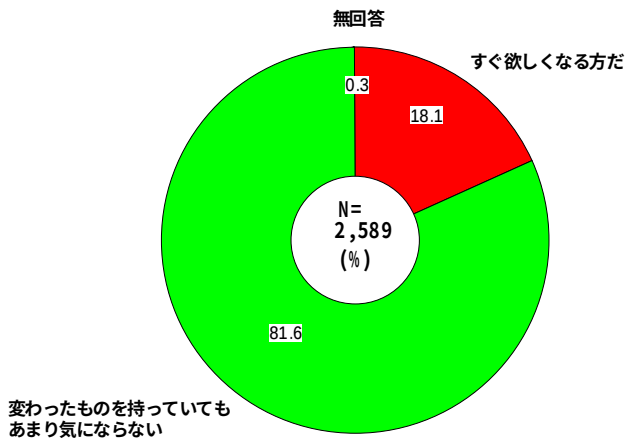


● (ア)～(ウ)の3つの質問の回答に得点を与え、イノベータ・スケールで「強」、「中」、「弱」の3分類を試みた。「強」が5%、「中」が41%、「弱」が54%で、回答者は変革よりも安定志向に向いている。

Q. 次の(ア)から(ウ)について、2つずつ対になった1と2の意見があります。あなたはのうちどちらに近いですか。

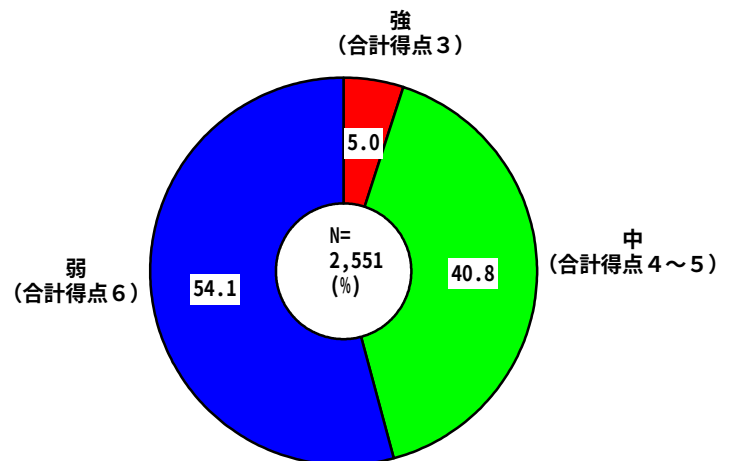
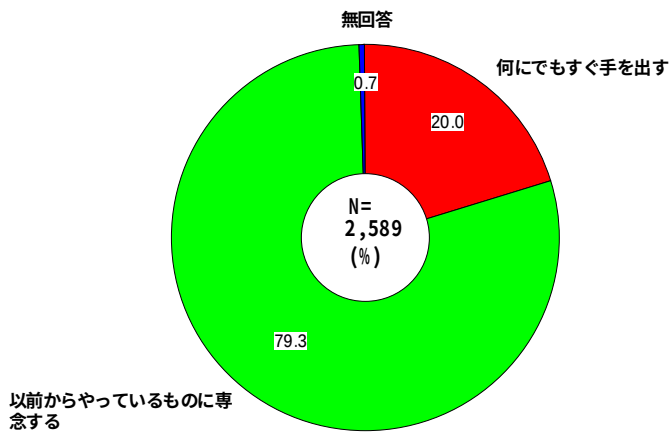
(ア) 友達が何か変わったものを持っていると、

(イ) 仕事など、



(ウ) 趣味やレジャーでは、

イノベータ・スケール

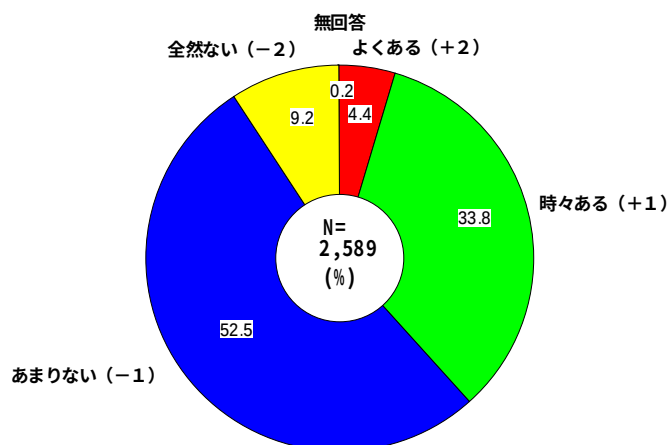
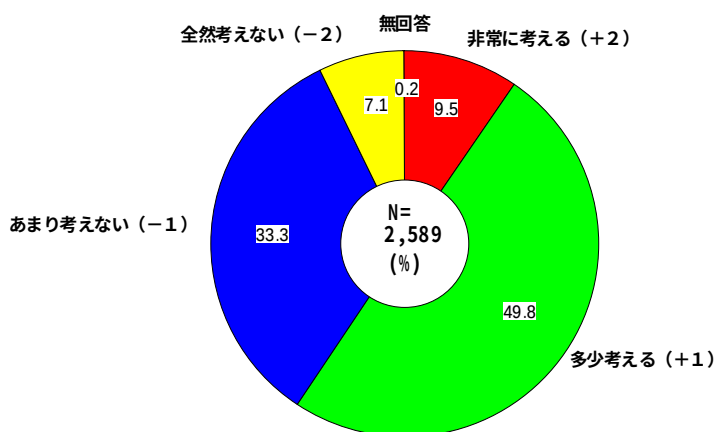


● (ア)～(ウ)の3つの質問の回答に得点を与え、他人志向について「強」、「中」、「弱」の3分類を試みた。「強」が8%、「中」が82%、「弱」が10%で、回答者の大半は中程度を保っている。

Q. 次の(ア)から(ウ)について、1～4のうち、あなたに最も近いものを選んで下さい。

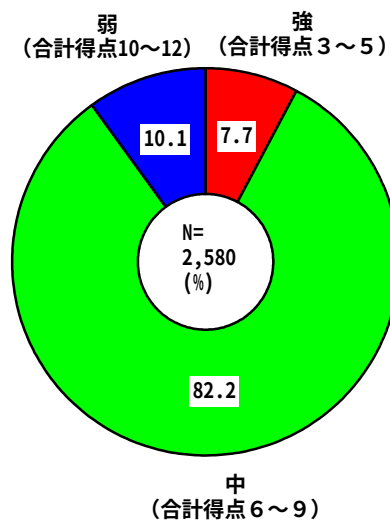
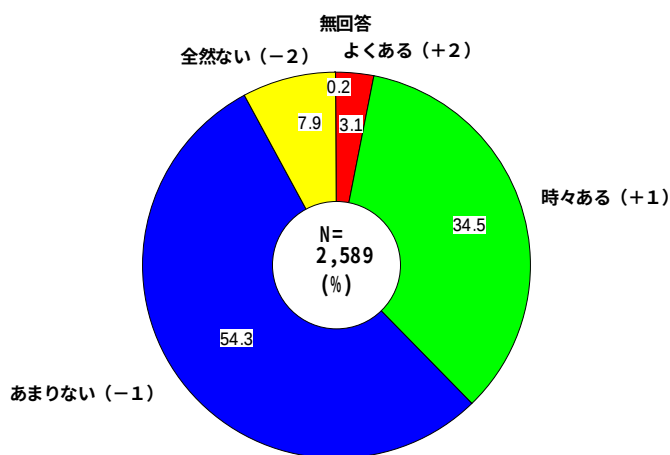
(ア) 何かしようとするとき、それをすると他の人たちが
どう思うかということについて

(イ) 自分の考え方が廻りの人たちと違うとやはり自分
の方がおかしいのではと思うことが



(ウ) 数人の友達や、もっと大勢の人たちと話し合っているとき、その場のムードで自分の考え方を変えることが

他人志向

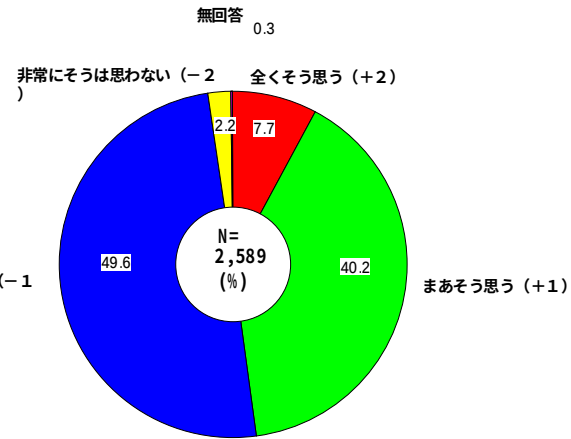
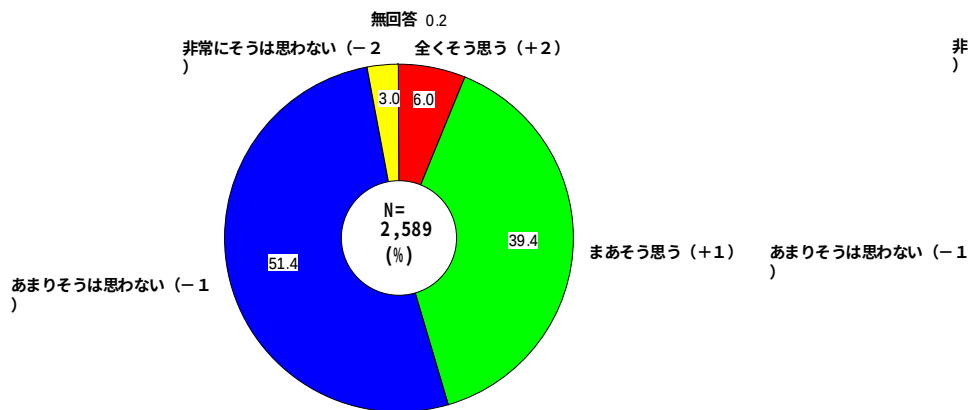


● (ア)～(ウ)の3つの質問の回答に得点を与え、情報欲求志向について「強」、「中」、「弱」の3分類を試みた。「強」が5%、「中」が88%、「弱」が6%で、回答者の情報欲求は中程度がほとんどを占めている。

Q. 次の(ア)から(ウ)について、1～4のうち、あなたに最も近いものを選んで下さい。

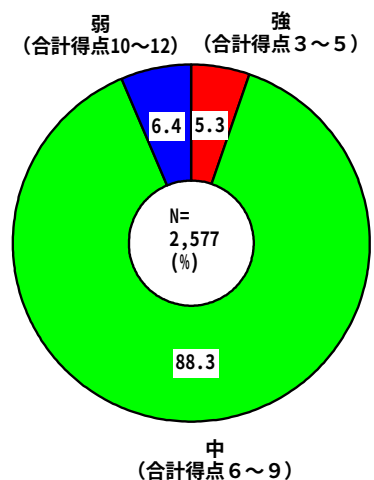
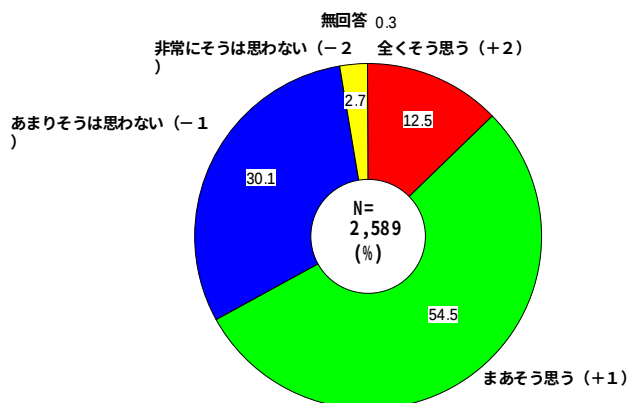
(ア) 一般に、何か他人が知っていて、自分が知らないことがあると、非常に恥ずかしいと思うか。

(イ) どんなことでも、できるだけ詳しく徹底的に知ろうとするか。



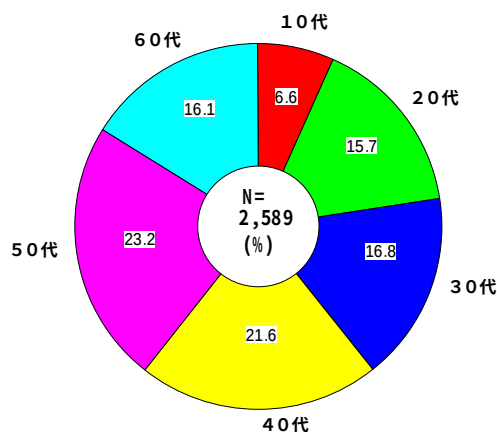
(ウ) 他人が知っていて自分が知らないことがあっても、その反対もあるので、少しもはずかしくないことだと割り切って考える方か。

情報欲求志向

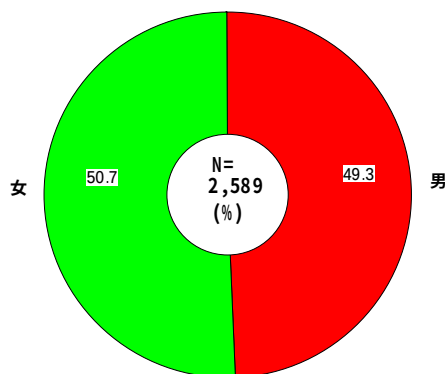


(101)回答者の属性(Q95-102)

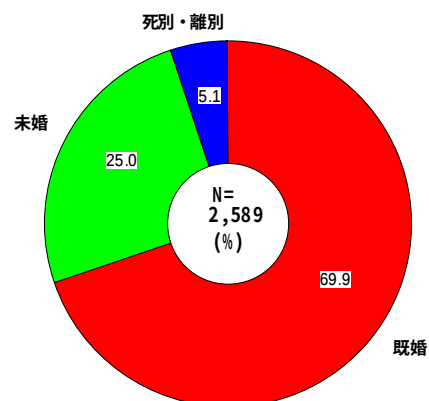
年齢



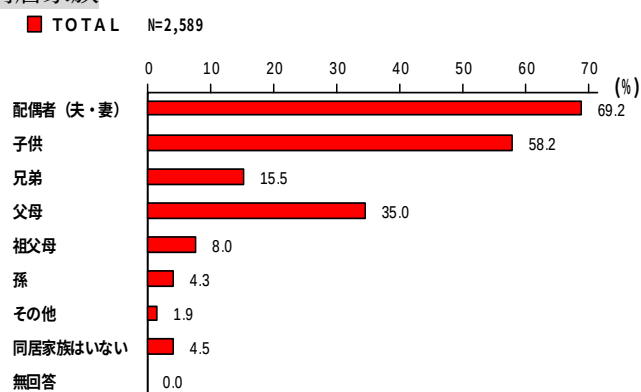
性別



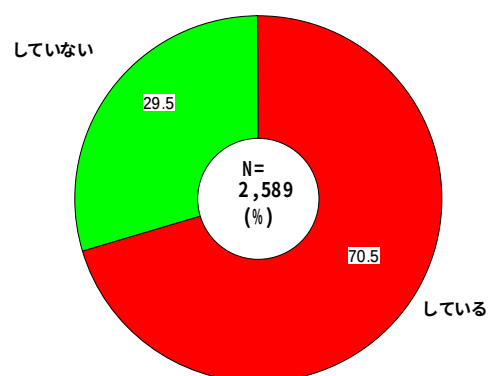
未婚



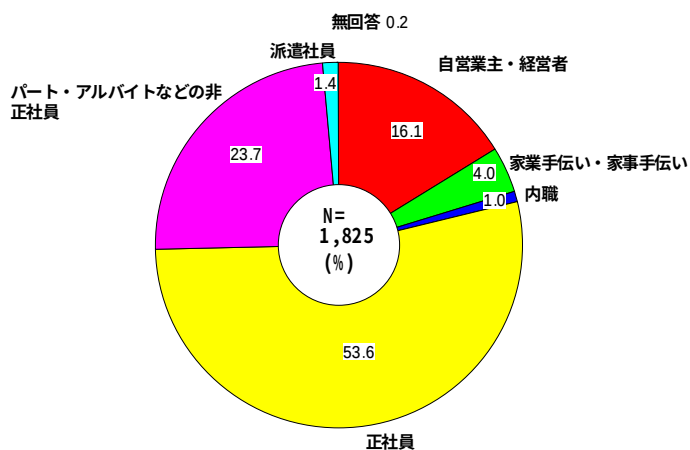
同居家族



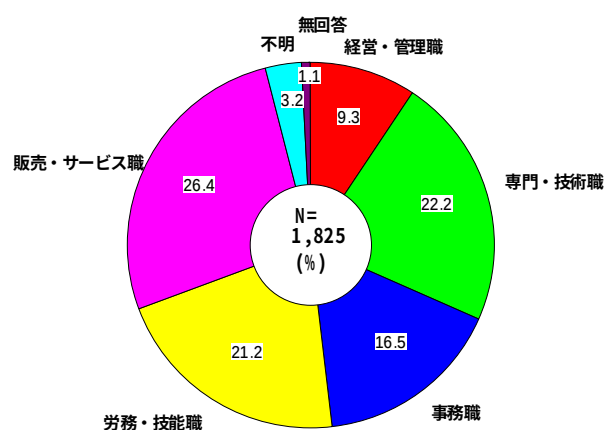
収入を伴う仕事をしているか



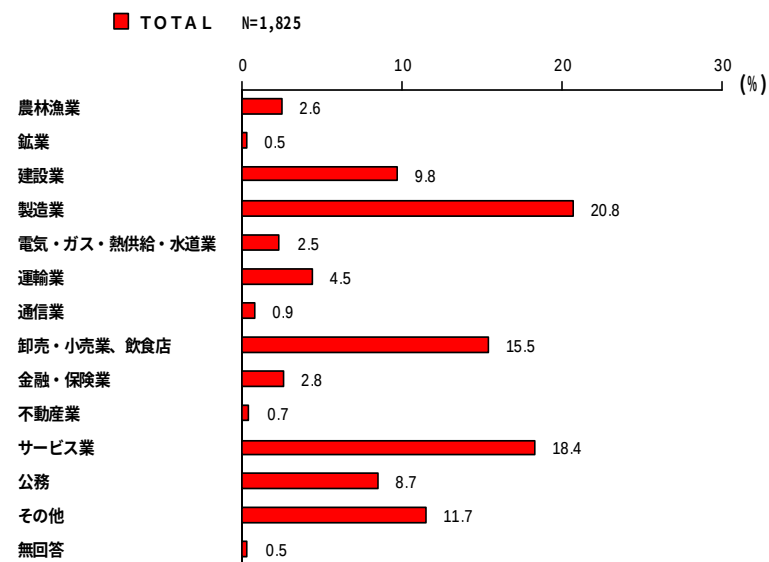
該当する仕事



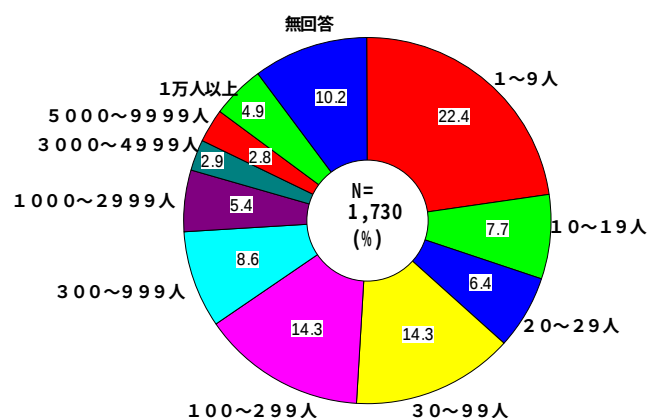
職種



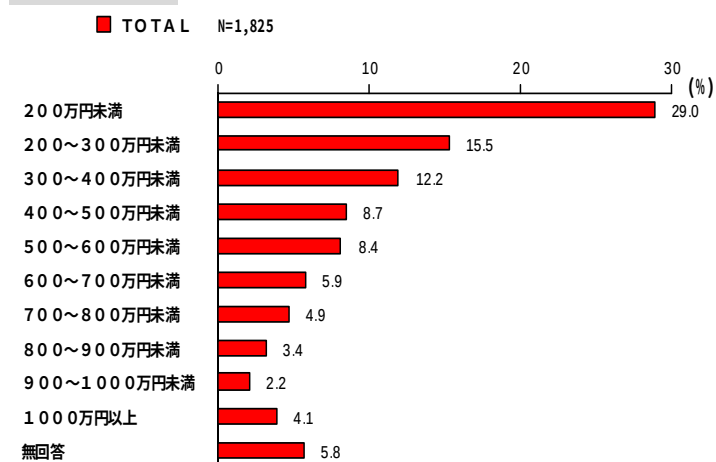
業種



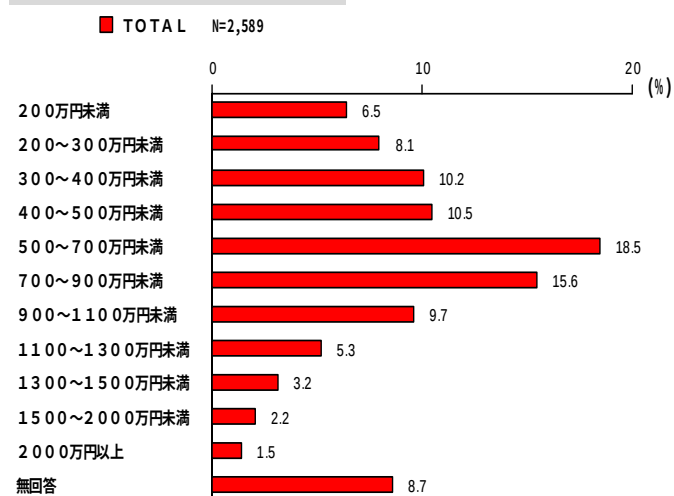
会社規模（従業員数）



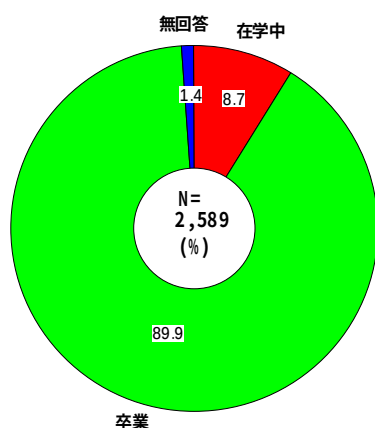
所得（年収）



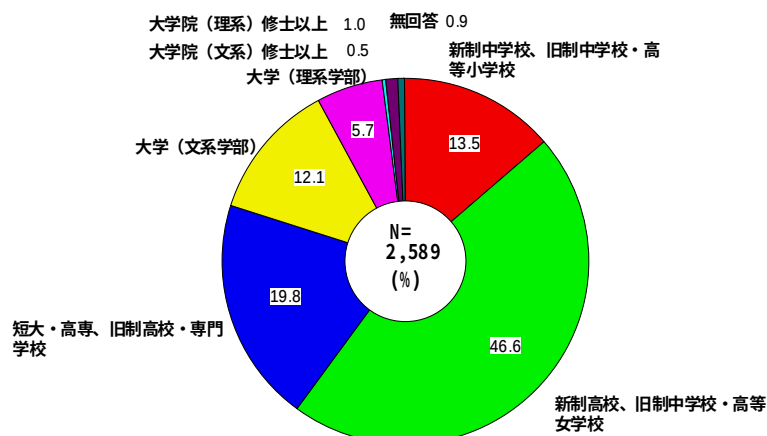
世帯全体の年収（税込み）



在学中か



最終学歴



暮らしとインターネット利用についての全国調査

平成13年2月

(調査企画) 総務省 郵政研究所

(調査実施) 社団法人 中央調査社

支局番号		地点番号		対象番号		調査員名	点検者
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	

【ご記入に際してのお願い】

- 使用筆記具：鉛筆、ペン、ボールペンのいずれか（黒もしくは青でお願いします）
- 回答要領：質問番号順にご回答下さい
（質問へのご回答内容により、後の質問項目のうち、ご回答が不要となるものが生じます。注釈に従い、先にお進み下さい）
- 記入方法
列挙されている選択肢から該当する肢を選び番号を○で囲む
※ 「○は1つ」と注のある問は、選択を一つに絞って下さい
※ 「その他」を選択される場合、回答欄の（ ）内に具体的内容も記入願います
- お願い：お手数ですが、記入終了後、今一度記入漏れや間違いがないかお確かめ下さい
- 回答期日：ご回答いただきました調査票は____月____日に私、_____が
頂戴に伺います。恐縮ですが、それまでにご記入下さいます様、お願い致します。

今回の調査結果は、参考資料として、インターネット活用による暮らしやすい社会の実現のために役立
てます。ご協力まことにありがとうございます。

⑧⑨⑩=101

■ 全員の方におたずねします

問1. あなたは、「パソコン」に対してどのようなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

0.2 「パソコン」という言葉を聞いたことがない	3.5 簡単
49.2 難しい	39.0 面白い
45.0 高価	36.5 効率的
12.6 面倒	8.8 不安
4.4 イライラする	5.3 危険
63.7 便利	3.7 わからない

⑪
⑫

問2. あなたは、「インターネット」に対してはどのようなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

0.3 「インターネット」という言葉を聞いたことがない	7.0 簡単
31.0 難しい	45.9 面白い
16.1 高価	25.4 効率的
8.9 面倒	15.9 不安
3.3 イライラする	19.5 危険
59.8 便利	6.6 わからない

⑬
⑭

問7.「国民全員がパソコンやインターネットを使用できるようにするため、ある程度税金など個人の負担が増加しても公共団体が主催してパソコンの使い方の基礎講習を開催すべき」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

7.5	31.1	36.4	24.8	⑳
おおいに賛成	ある程度賛成	あまり賛成できない	賛成できない	

問8. あなたはパソコンをどの程度利用していますか。

18.1	10.3	9.5	5.8	5.9	50.4	㉑
ほぼ毎日 使っている (週6日以上)	週3～5日 使っている	週1～2日 使っている	月1～2日程度 使っている	年数回程度 使っている	利用して いない	

(問9へ
お進み
下さい)

付問1. 問8で1～5を選んだ方にお聞きします (n=1283)

あなたは、どこでパソコンを利用していますか。(○はいくつでも)

67.8	自宅	㉒
57.8	職場	
9.0	学校	
1.5	図書館	
3.1	外出先(携帯用のパソコン等の利用)	
1.9	インターネットが利用できるお店(インターネットカフェなど)	
2.4	その他(具体的に)	

付問2. 付問1で1又は2を選んだ方にお聞きします。自分専用のパソコンを利用していますか。

(ア) 自宅、(イ) 職場それぞれについてお答えください。

(ア) 自宅ではどうでしょうか (○は1つ) (n=870)

49.0	自分専用	㉓
39.1	2～3人で共用	
10.1	4～5人で共用	
—	6人以上で共用	
—	利用していない	

(イ) 職場ではどうでしょうか (○は1つ) (n=741)

—	働いていない	㉔
47.9	自分専用	
24.2	2～3人で共用	
7.3	4～5人で共用	
19.7	6人以上で共用	
—	利用していない	

(自宅でパソコンを利用していない方は問9へお進み下さい)

(自宅でパソコンを利用している方は問14へお進み下さい)

問7.「国民全員がパソコンやインターネットを使用できるようにするため、ある程度税金など個人の負担が増加しても公共団体が主催してパソコンの使い方の基礎講習を開催すべき」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。

7.5	31.1	36.4	24.8	⑮
おおいに賛成	ある程度賛成	あまり賛成できない	賛成できない	

問8. あなたはパソコンをどの程度利用していますか。

18.1	10.3	9.5	5.8	5.9	50.4	⑯
ほぼ毎日 使っている (週6日以上)	週3～5日 使っている	週1～2日 使っている	月1～2日程度 使っている	年数回程度 使っている	利用して いない	

(問9へ
お進み
下さい)

付問1. 問8で1～5を選んだ方にお聞きします (n=1283)

あなたは、どこでパソコンを利用していますか。(〇はいくつでも)

67.8	自宅	⑰
57.8	職場	
9.0	学校	
1.5	図書館	
3.1	外出先(携帯用のパソコン等の利用)	
1.9	インターネットが利用できるお店(インターネットカフェなど)	
2.4	その他(具体的に)	

付問2. 付問1で1又は2を選んだ方にお聞きします。自分専用のパソコンを利用していますか。

(ア) 自宅、(イ) 職場それぞれについてお答えください。

(ア) 自宅ではどうでしょうか (〇は1つ) (n=870)

49.0	自分専用	⑱
39.1	2～3人で共用	
10.1	4～5人で共用	
—	6人以上で共用	
—	利用していない	

(イ) 職場ではどうでしょうか (〇は1つ) (n=741)

—	働いていない	⑲
47.9	自分専用	
24.2	2～3人で共用	
7.3	4～5人で共用	
19.7	6人以上で共用	
—	利用していない	

(自宅でパソコンを利用していない方は問9へお進み下さい)

(自宅でパソコンを利用している方は問14へお進み下さい)

■ 自宅でパソコンを利用していない人におたずねします

問 9. あなたは、これまでにパソコンを使った経験がありますか。(n=1719)

- 36.8 職場、学校などで利用している(していた)
2.6 自宅で以前利用していた
59.3 使ったことがない

⑪

問 10. あなたは、今後、自宅でパソコンを利用したいと思いますか。(n=1719)

- 55.7 利用したい
42.3 利用したいとは思わない

⑫

問 11. あなたは、近い将来(1年以内程度)、自宅にパソコンを購入する予定がありますか。(n=1719)

- 7.2 購入する予定がある
43.5 具体的予定はないが、購入するかもしれない
46.4 自宅でパソコンを使うつもりはない

⑬

▶ (問 12 へお進み下さい)

付問. 問 11 で 3 を選んだ方にお聞きします。(n=798)

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 21.8 何ができるかわからないから
35.2 あれば便利だが、他の手段で済ませることができるから
48.4 パソコンの使い方を覚えるのが面倒だから
25.4 インターネットそのものが難しそうだから
13.8 自宅でまでパソコンを使いたくない
32.1 パソコンの値段が高いから
22.2 インターネットにかかる費用が高いから
8.6 セットアップが面倒だから
3.9 一緒に始めるひとがいないから
12.5 身近にパソコンの使い方を教えてくれるひとがいないから
7.9 身近にインターネットの使い方を教えてくれるひとがいないから
9.0 故障する等、うまく動かないときの修理が面倒だから
24.1 きっかけがないから
9.1 その他(具体的に)

⑭

⑮

(問 14 へお進みください)

問 12. 問 11 で 1 又は 2 を選んだ方にお聞きします。(n=871)

もし、あなたがパソコンを購入するとすれば、必要最低限度の機能を持つパソコンを(基本的なソフトとプリンター購入費込みで)いくらぐらいなら購入してもよいと思いますか。

- 11.4 5万円未満
33.2 5~10万円未満
27.1 10~15万円未満
19.4 15~20万円未満
5.6 20~25万円未満
2.8 25万円以上でも可

⑯

問 13. 問 11 で 1 又は 2 を選んだ方にお聞きします。(n=871)

あなたがパソコンを購入するとすれば、どのようなサービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

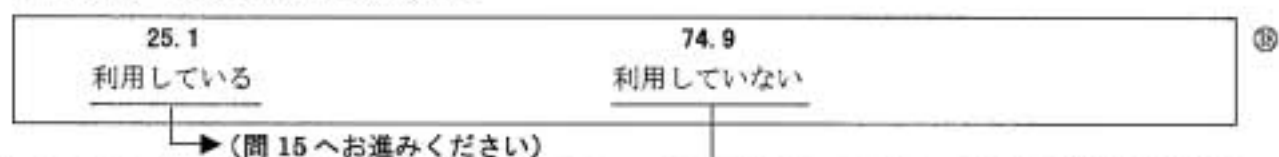
- 65.8 コンピューターのセットアップ(ソフトのインストール、プリンターの接続等)
57.4 迅速な修理サービス
53.0 電話等によるパソコンの指導サービス
3.9 その他
5.1 特にサービスは必要ない

⑰

(問 14 へお進み下さい)

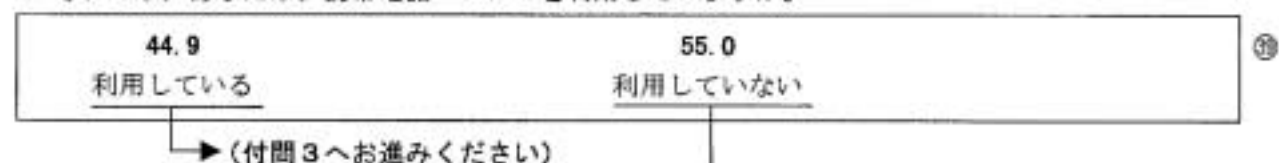
■ 全員の方におたずねします

問 14. あなたは、i モード、J スカイウェブ、EZWeb など、携帯電話・PHS 単体によるインターネット接続サービスを利用していますか。



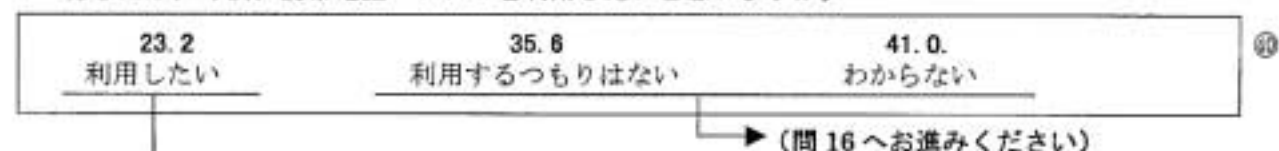
付問 1. 問 14 で 2 を選んだ方にお聞きします。(n=1938)

それでは、あなたは、携帯電話・PHS を利用していますか。



付問 2. 付問 1 で 2 を選んだ方にお聞きします。(n=1065)

あなたは、今後、携帯電話・PHS を利用したいと思いますか。



付問 3. 付問 1 及び付問 2 で 1 を選んだ方にお聞きします。(n=1117)

あなたは、今後、i モード、J スカイウェブ、EZWeb など、携帯電話・PHS 単体によるインターネット接続サービスを利用したいと思いますか。



(問 16 へお進みください)

■ iモード、J スカイウェブ、EZWeb など、携帯電話・PHS 単体によるインターネット接続サービスを利用している方におたずねします

問 15. あなたは、iモード、J スカイウェブ、EZWeb など携帯電話・PHS 単体によるインターネット接続サービスにおいて、どのようなサービスを利用していますか。(物品やチケット購入などは除きます) (〇はいくつでも) (n=651)

88.0 電子メール
6.5 (電子メール以外の方法での) 仕事上必要となる情報のやりとり
50.8 情報の検索
37.0 趣味などに関する特定ページの閲覧
16.4 ニュース
9.1 チャットや掲示板
15.7 ゲームやカラオケなどの娯楽
3.8 ホームページを通じての情報発信
1.4 その他(具体的に)

⑫

付問. iモード、J スカイウェブ、EZWeb など携帯電話・PHS によるインターネット接続サービスにより、電子メールのやりとりや個人情報の入力を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか、

次の(ア)～(ウ)それぞれについてお答えください。(n=651)

(ア) 自分のデータの不正利用や漏洩に対し、どの程度不安や危険を感じていますか。

24.0 強く感じている
48.7 多少感じている
22.3 あまり感じていない
4.1 感じていない

⑬

(イ) 自分のデータの不正利用や漏洩がどの程度のおこる可能性があると考えていますか。(n=651)

20.3 かなり高い
61.8 あまり高くないが、可能性はある
10.1 ゼロではないが、ほとんど可能性はない
6.9 わからない

⑭

(ウ) iモード、J スカイウェブ、EZWeb など携帯電話・PHS 単体以外の方法によりインターネット接続を行う場合と比べ、自分のデータの不正利用や漏洩の可能性は高いと思いますか。

14.1 携帯電話・PHS の方が高い
43.5 同じ程度
12.4 携帯電話・PHS の方が低い
29.0 わからない (n=651)

⑮

(問 16 へお進みください)

■ 全員の方におたずねします

問 16. 携帯電話・PHS単体以外の方法により、あなた以外の同居家族でインターネットを利用している方がいますか。(利用場所は問いません)(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 4.5 同居家族はいない | 0.4 その他(同居の親戚など)が利用 |
| 53.6 同居家族はいるが、利用者なし | |
| 21.5 子 供 | |
| 6.3 兄 弟 | |
| 4.1 父 母 | |
| 0.0 祖父母 | |
| 0.6 孫 | |
| 14.3 配偶者(夫・妻) | |

⑩

問 17. 携帯電話・PHS単体以外の方法でインターネットを利用していますか。(利用場所は問いません)



⑪

■ 携帯電話・PHS単体以外の方法でインターネットを利用している方におたずねします

問 18. あなたは、インターネットをどこで利用していますか。(携帯電話・PHSによる利用は除きます)
(○はいくつでも)

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 75.2 自 宅 | 2.1 図書館 (n=775) |
| 41.3 職 場 | 3.5 インターネットが利用できるお店(インターネットカフェ等) |
| 9.9 学 校 | 3.1 その他(具体的に) |

⑫

問 19. あなたは、どのくらいインターネットの利用経験がありますか。(n=775)

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 12.1 3ヶ月未満 | 32.1 1～2年未満 | 3.5 5～6年未満 |
| 6.6 3～6ヶ月未満 | 19.6 2～3年未満 | 0.8 6～7年未満 |
| 12.1 6ヶ月～1年未満 | 10.5 4～5年未満 | 2.6 7年以上 |

⑬

問 20. あなたは、インターネットを始めたきっかけは何ですか。(携帯電話・PHS単体以外による方法)
(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 51.1 仕事や学校で必要となった (n=775) |
| 17.8 家族が利用していたから関心を持った(家族からすすめられた) |
| 23.6 友人などが利用していたから関心を持った(友人などからすすめられた) |
| 23.6 テレビや雑誌を見て関心を持ったから |
| 23.5 今後インターネットを利用できないと困るから |
| 4.9 その他(具体的に) |

⑭

問 21. あなたは、一週間平均、どのくらいインターネットに接続していますか。(携帯電話・PHS単体による利用は除きます)(利用場所は問いません)(n=775)

- | | |
|----------------|---------------|
| 24.8 30分未満 | 2.6 11～15時間未満 |
| 21.0 30分～1時間未満 | 1.9 15～20時間未満 |
| 22.5 1～3時間未満 | 1.3 20～30時間未満 |
| 13.5 3～5時間未満 | 5.8 30時間以上 |
| 6.3 5～10時間未満 | |

⑮

問 22. あなたにとって、インターネットの利用が生活時間にどのような影響があるかをおたずねします。次の(ア)～(キ)それぞれの項目について、(1)大幅に減った、(2)多少減った、(3)変わらない、(4)多少増えた、(5)大幅に増えた、でお答えください。(n=775)

	(1) 大幅に 減った	(2) 多少 減った	(3) 変わら ない	(4) 多少 増えた	(5) 大幅に 増えた	
(ア) 睡眠時間	→ 3.9	→ 21.8	→ 74.1	→ 0.1	→ 0.1	⑬
(イ) テレビを見る時間	→ 6.3	→ 28.5	→ 64.5	→ 0.1	→ 0.1	⑭
(ウ) 新聞を読む時間	→ 2.8	→ 11.6	→ 84.6	→ 0.6	→ 0.1	⑮
(エ) 雑誌を読む時間	→ 4.0	→ 16.0	→ 77.7	→ 1.4	→ 0.5	⑯
(オ) 勉強や仕事の時間	→ 1.0	→ 10.2	→ 82.5	→ 4.1	→ 1.8	⑰
(カ) 電話の通話時間	→ 7.6	→ 19.1	→ 67.7	→ 3.7	→ 1.4	⑱
(キ) 家族や友人と話しをする時間	→ 1.0	→ 12.31	→ 82.8	→ 3.0	→ 0.5	⑲

問 23. あなたは、インターネット利用中に、児童ポルノや覚せい剤販売といった違法情報や犯罪を誘発するような有害情報を目にしたことがありますか。(n=775)

4.4	よくある		
17.0	たまにある		
22.6	あまりない		
52.8	まったくない		
3.1	何が違法情報や有害情報にあたるのかよくわからない		

問 24. あなたは、詐欺・悪徳商法、児童ポルノ、著作権を侵害している情報など(違法情報)について、どのように対処すべきと思いますか。最も重要と思われるものを選んでください(○は1つ)(n=775)

45.4	警察等による取り締まり(刑事罰の適用)		
48.1	インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除		
5.0	気がついたひとが注意し、対応は掲載者個人のマナーにまかせるべき		
0.9	そのまま放置しておいてもよい		
0.4	その他(具体的に		)

問 25. あなたは、違法ではないが、犯罪を行う方法を具体的に解説する情報等、社会的に有害だと考えられる情報(有害情報)について、どのように対処すべきと思いますか。最も重要と思われるものを選んでください(○は1つ)(n=775)

29.8	警察等による取り締まり(刑事罰の適用)		
58.5	インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と削除		
8.8	気がついたひとが注意し、対応は掲載者個人のマナーにまかせるべき		
2.2	そのまま放置しておいてもよい		
0.4	その他(具体的に		)

問 26. あなたは、ウイルス感染したメールを受け取ったことがありますか。(n=775)

3.5	何度もある	71.1	ない	
4.4	2～3回ある	7.9	わからない	
6.5	1回だけある	6.7	個人でメールアカウントを持っていない	

▶ (6の方のみ問 29 へお進み下さい)

問 27. あなたは、ウイルス感染したメールによりコンピューターなどが悪影響を受けないように、何か対策をとっていますか。(○はいくつでも)(n=723)

- 33.5 何もしていない
 32.5 知らない人から来たメールは開かないようにしている
 17.8 ウイルスを検知し除去するソフトを定期的に更新し使っている
 23.1 定期的に更新していないがウイルスを検知し除去するソフトを使っている
 1.2 その他(具体的に)
 4.6 わからない

⑭

問 28. あなたは、個人的にもビジネス上もあなたと何ら関係を持たず、受け取りを希望しないメール(迷惑メール)を受け取った経験がありますか。(n=723)

- 25.4 何度もある
 12.6 2~3回ある
 3.6 1回だけある
 58.2 ない

⑮

問 29. あなたは、迷惑メールにどのように対応すればよいと思いますか。最も重要と思われるものを選んでください(○は1つ)(n=775)

- 17.8 警察等による取り締まり(刑事罰の適用)
 60.8 インターネットプロバイダーによる情報発信者への警告と利用禁止などの罰
 14.5 気がついたひとが注意し、対応は掲載者個人のマナーにまかせるべき
 5.2 そのまま放置しておいてもよい
 1.2 その他(具体的に)

⑯

問 30. あなたは、パスワードをどの程度頻繁に変えていますか。(n=775)

- 78.2 変えていない
 - 週1回程度で変える
 1.3 月1回程度で変える
 1.5 3ヶ月に1回程度で変える
 2.2 6ヶ月に1回程度で変える
 4.1 1年に1回程度で変える
 12.4 パスワードは使っていない
 ➡(7の方のみ問32へお進み下さい)

⑰

問 31. あなたは、パスワードをどのように決めていますか。(○は1つ)(n=677)

- 22.3 自分の誕生日や名前など、自分に関係する数字や文字
 23.3 自分の誕生日や名前など、自分に関係する数字や文字をもとに決めているが、他人がわかりにくいように工夫している
 7.8 家族や友人の誕生日や名前など、家族や友人に関係する数字や文字
 8.6 家族や友人の誕生日や名前など、家族や友人に関係する数字や文字をもとに決めているが、他人がわかりにくいように工夫している
 7.4 LoveやHappyなど、自分の好きな言葉
 3.1 0000やaaaaなど、単純で覚えやすい数字や文字
 17.7 3981やSrvWなど、適当に作った数字や文字
 7.5 その他(具体的に)

⑱

問 32. あなたは、自分のホームページを持っていますか。(n=775)

- 8.3 持っている
 21.9 持っていないが、作りたい
 69.5 当面持つ予定はない

⑲

問 33. あなたは、自宅でインターネットを利用していますか。(n=775)

75.2	24.8
利用している	利用していない
↓	→ (問 47 へお進みください)

■ 自宅でインターネットを利用している方におたずねします

問 34. 同居家族のうち、携帯電話・PHS単体以外の方法により、自宅で、インターネットを利用している方は何名いますか。あなたも人数に加えてください。(n=583)

36.9	1	人	2.1	5	人
35.5	2	人	0.3	6	人
16.0	3	人	-	7	人
7.2	4	人	-	8	人以上

問 35. 自宅で何を使ってインターネット接続をしていますか。(携帯電話・PHSは除きます。以下同じです。)(○はいくつでも)(n=583)

94.5	パソコン
1.4	ゲーム機(カラオケなど含む)
9.3	電話機・FAX
0.5	テレビ
0.3	その他(具体的に)

問 36. あなたは、現在、自宅でどのような方法でインターネットに接続していますか。また、今後、どの接続方式を利用したいですか。現在、今後それぞれについてお答えください。(○はいくつでも) なお、()内の時間は5分程度の音楽をコンピューターに取り入れるために必要なおおよその時間です。

	現在 している	今後使用 したい
(n=583)		
(ア) 電話回線 (約15分)	56.3	4.8
(イ) ISDN (約10分)(ダイヤルアップ)	28.1	12.9
(ウ) ISDN (約10分)(常時接続)	10.5	10.6
(エ) CATVインターネット (約1分30秒~5分)(常時接続) ..	6.7	17.0
(オ) FWA(ワイヤレス) (約1分40秒)(常時接続)	0.9	5.7
(カ) ADSL (約40秒~1分30秒)(常時接続)	-	17.0
(キ) 光ファイバー (約30秒)(ダイヤルアップ)	-	20.6
(ク) 光ファイバー (約30秒)(常時接続)	0.2	24.4
(ケ) 専用線	1.2	6.3

問 37. あなたは、自宅でのインターネット利用により、一ヶ月当たり、インターネット接続のためだけに、すべて併せて、どのくらいの通信料金(接続料金、通話料など)を支払っていますか。(世帯当たりの通信料金です。携帯電話・PHSでの利用料金やサービス開始時の工事代などは含みません。)

4.8	1000円未満	7.7	7000円~1万円未満	(n=583)
32.1	1000円~3000円未満	3.8	1万円~1万5000円未満	
25.6	3000円~5000円未満	1.4	1万5000円以上	
16.8	5000円~7000円未満	6.5	わからない	

問 38. あなたは、現在自宅で使っているインターネット接続サービスを考えた場合、インターネット接続にかかる通信料金(接続料金、通話料など)をどのように思いますか。(n=583)

26.2 高すぎる	14.1 妥当
27.6 高い	1.5 安い
22.0 少し高い	7.2 わからない

⑪

問 39. あなたが自宅で利用する場合、サービスの内容や自分の収入を考えると、インターネット接続のために必要となる一ヶ月当たりの通信料金(接続料金、通話料など)の総額として、望ましい料金は⑩=102 くらいですか。(世帯当たりの通信料金です。携帯・PHSでの利用代金やサービス開始時の工事代などは含みません。)(n=583)

19.7 1000円未満	2.1 7000円～1万円未満
49.1 1000円～3000円未満	0.5 1万円～1万5000円未満
17.8 3000円～5000円未満	0.1 1万5000円以上でも可
4.8 5000円～7000円未満	4.5 わからない

⑫

問 40. あなたは、自宅で、通話料金が定額で接続し放題のインターネットの接続を利用したいと思いますか。

4.6 料金水準に関わらず、利用したい	(n=583)
5.1 現在払っている通信料金よりも多少高くても利用したい	
40.3 現在払っている通信料金と同程度の料金であれば利用したい	
33.1 現在払っている通信料金より高ければ利用しない	
15.3 既に利用している	

⑬

問 41. 今以上スムーズに、画像や音楽をコンピューターに取り入れられるようになる(ダウンロードできる)とすれば、あなたは通信料金負担の増加についてどのように思いますか。(n=583)

1.9 通信料金の負担が増えてもよい
24.0 通信料金の負担が増えるのは仕方がない
54.9 通信料金の負担が増えるのは好ましくない
17.8 通信料金の負担が増えるのであれば、必要ない

⑭

問 42. あなたは、自宅で、一週間、どのくらいインターネットを利用しますか。(携帯・PHS単体による利用は除きます)(n=583)

23.3 30分未満	2.7 10～15時間未満
23.0 30分～1時間未満	1.7 15～20時間未満
25.0 1～3時間未満	0.7 20～30時間未満
13.0 3～5時間未満	2.6 30時間以上
6.0 5～10時間未満	

⑮

問 43. あなたは、自宅で、1週間平均、何日くらいインターネットを利用しますか。(携帯・PHS単体による利用は除きます)(n=583)

11.3 ほとんど使わない
36.0 週1～2日
20.8 週3～4日
7.7 週5～6日
22.6 ほぼ毎日

⑯

問 44. あなたは、自宅で、どの曜日にインターネットを一番多く利用しますか。(○は1つ)(n=583)

- 13.7 月～木の間
- 2.7 金
- 18.2 土
- 11.3 日
- 52.5 週により異なる

⑬

問 45. あなたは、自宅でインターネットを利用する場合、どのようなサービスを利用していますか。(物品やチケット購入などは除きます)(○はいくつでも)(n=583)

- 74.1 電子メール
- 79.2 情報の検索
- 60.9 趣味などに関する特定ページの閲覧
- 16.1 ニュース
- 13.2 チャットや掲示板
- 6.3 ゲームやカラオケなどの娯楽
- 7.9 ホームページを通じての情報発信
- 1.5 その他(具体的に

)

⑭

問 46. インターネット利用に関し、あなたは、ダイヤルQ2など、利用した覚えのない料金を請求された経験がありますか。(n=583)

10.5

あ る

88.2

な い

➡ (問 54 へお進みください)

⑮

付問. 問 46 で 1 を選んだ方にお聞きします。(n=61)

あなたが請求された料金は次のどれですか。(○はいくつでも)

- 63.9 ダイヤルQ2
- 47.5 国際電話料金
- 8.2 アダルト・サイトの閲覧料金など
- その他(具体的に

)

⑯

(問 54 へお進み下さい。)

■ 職場や学校ではインターネットを利用するが、自宅でインターネットを利用しない方（携帯・PHSによる利用は除きます）におたずねします

問 47. あなたが、自宅でインターネットを利用しない理由は何ですか。（携帯・PHSによる利用は除きます。以下同じです。）（〇はいくつでも）（n=192）

- 40.6 パソコンなどの端末機器の価格が高いから
- 37.5 インターネットの通信料が高いから
- 30.2 仕事以外で利用する必要性を感じられないから
- 12.5 仕事で使っているのでプライベートでは使いたくない
- 30.2 あれば便利だが、他の手段で済ませることができるから
- 9.9 セットアップが面倒だから
- 7.8 故障等、うまく動かないときの修理が面倒だから
- 6.8 その他（具体的に

③

問 48. あなたは、今後、自宅でインターネットを利用したいと思いますか。（n=192）

- 64.1 利用したい
- 224.0 わからない
- 11.5 利用するつもりはない

③

問 49. あなたは、近い将来（1年以内程度）、自宅でインターネットを始める予定がありますか。（n=192）

12.0	45.3	19.3	22.9
始める予定がある	具体的な予定はないが、始めるかもしれない	始めるつもりはない	わからない

③

（問 54 へお進み下さい。）

付問 1. 問 49 で 1 又は 2 を選んだ方にお聞きします。（n=110）

あなたは、今後、自宅でインターネットを利用する場合、次のうち、どの接続方式を利用したいですか。（〇はいくつでも）

なお、（ ）内は5分程度の音楽をコンピューターに取り入れるために必要なおおよその時間です。

- 28.2 電話回線 （約 15 分）
- 29.1 I S D N （約 10 分）（ダイヤルアップ）
- 18.2 I S D N （約 10 分）（常時接続）
- 19.1 C A T V インターネット （約 1 分 30 秒～5 分）（常時接続）
- 7.3 F W A （ワイヤレス） （約 1 分 40 秒）（常時接続）
- 8.2 A D S L （約 40 秒～1 分 30 秒）（常時接続）
- 20.0 光ファイバー （約 30 秒）（ダイヤルアップ）
- 20.0 光ファイバー （約 30 秒）（常時接続）
- 7.3 専用線

③

付問 2. 問 49 で 1 又は 2 を選んだ方にお聞きします。（n=110）

今後、あなたが自宅でインターネットを利用する場合、サービスの内容や自分の収入を考えると、インターネット接続のためだけに必要となる一ヶ月当たりの通信料金（接続料金、通話料など）の総額として、望ましい料金は次のどれですか。（世帯当たりの料金です。携帯・PHSの利用料金やサービス開始時の工事代などは含みません。）

- 12.7 1000円未満
- 30.9 1000円～3000円未満
- 28.2 3000円～5000円未満
- 9.1 5000円～7000円未満
- 7.3 7000円～1万円未満
- 1.8 1万円～1万5000円未満
- 1万5000円以上でも可
- 3.6 わからない

③

（問 54 へお進みください）

■ 1) インターネットを全く利用していない方、及び 2) 携帯電話・PHS 単体によるインターネット接続サービスのみ利用している方におたずねします

問 50. あなたが、自宅でインターネットを利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも) (n=1814)

- 18.0 インターネットで何ができるかわからないから
- 24.1 インターネットに関心がないから
- 42.3 インターネットを使用する必要性を感じないから
- 27.6 他の手段で済ませることができるから
- 26.6 パソコンなどの端末機器の価格が高いから
- 28.0 インターネットの通信料が高いから
- 29.9 パソコンなどの操作が難しそうだから
- 21.8 インターネットそのものが難しそうだから
- 11.2 セットアップが面倒だから
- 9.5 故障等、うまく動かないときの修理が面倒だから
- 29.4 何となくきっかけがないから
- 5.4 その他(具体的に

②③

問 51. あなたは、どういう状況になれば、自宅でインターネットを利用したいと思いますか。(n=1814)
(〇はいくつでも)

- 36.2 パソコンの値段が安くなれば
- 36.4 インターネット利用にかかる費用が安くなれば
- 47.0 自宅でパソコンを使う必要性が生じれば
- 7.1 誰か一緒に始めるひとがいれば
- 18.8 身近にパソコンの使い方を教えてくれるひとが見つければ
- 15.8 身近にインターネットの使い方を教えてくれるひとが見つければ
- 33.7 インターネットが簡単に使えるようになれば
- 33.0 何らかのきっかけがあれば
- 4.9 その他(具体的に

⑦

問 52. あなたは、今後、自宅でインターネットを利用したいと思いますか。(n=1814)

- 35.3 利用したい
- 42.1 わからない
- 21.5 利用するつもりはない

②③

問 53. あなたは、近い将来(1年以内程度)、自宅でインターネットを始める予定がありますか。(n=1814)

- | | | | |
|--------------|--------------------------|-----------|-------|
| 5.7 | 26.9 | 35.9 | 30.4 |
| 始める予定が
ある | 具体的な予定はないが、
始めるかもしれない | 始めるつもりはない | わからない |

②③

(問 54 へお進み下さい)

付問. 問 53 で 1 又は 2 を選んだ方にお聞きします。(n=591)

今後、あなたが自宅でインターネットを利用する場合、サービスの内容や自分の収入を考えると、インターネット接続のためだけに必要となる一ヶ月当たりの通信料金(接続料金、通話料など)の総額として、望ましい料金は次のどれですか。(世帯当たりの料金です。携帯・PHSの利用料金やサービス開始時の工事代などは含みません。)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 12.4 1000円未満 | 4.9 7000円～1万円未満 |
| 45.7 1000円～3000円未満 | 0.8 1万円～1万5000円未満 |
| 25.4 3000円～5000円未満 | - 1万5000円以上でも可 |
| 5.4 5000円～7000円未満 | 5.2 わからない |

⑩

(問 54 へお進み下さい)

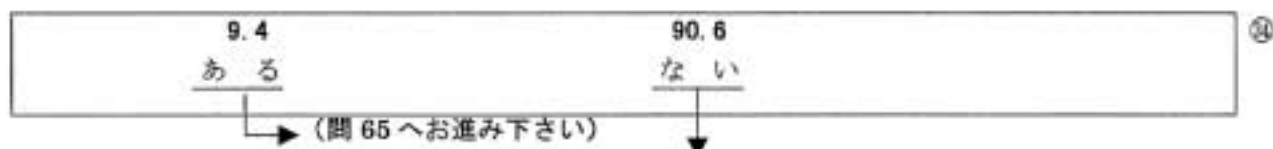
■ 全員の方におたずねします

問 54. インターネットを使って、チケットや本などを購入したり、銀行振込したりすることを「電子商取引」といいますが、あなたは、「電子商取引」に対してどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

- 17.0 「電子商取引」という言葉を聞いたことがない
- 15.1 難しい
- 2.6 高 価
- 7.7 面 倒
- 1.4 イライラする
- 39.9 便 利
- 9.5 簡 単
- 4.8 面白い
- 20.5 効率的
- 41.6 不 安
- 29.7 危 険
- 8.1 わからない

⑫
⑬

問 55. あなたは、仕事以外で、これまで「電子商取引」(インターネットを使って、チケットや本などを購入すること)をした経験がありますか。(代金引換や振込により代金の支払いを行った場合も含みます。)



⑭

■ 仕事以外で、電子商取引を利用した経験がない方におたずねします

問 56. あなたは、今後、「電子商取引」を利用したい(インターネットを使い、チケットや本などを購入したい)と思いますか。(代金引換や振込により代金の支払いを行う場合も含みます。)(n=2345)

- 2.8 ぜひ利用したい
- 36.2 機会があれば利用したい
- 33.3 あまり利用したくない
- 27.4 利用したくない

⑮

問 57. あなたは、「電子商取引」の魅力は何だと思いますか。(〇はいくつでも)(n=2345)

- 35.2 24 時間購入できること
- 55.5 自宅で購入できること
- 23.9 インターネットで購入したい商品・サービスを検索できること
- 17.7 商品・サービスとその値段をお店間で比較することができること
- 6.1 一般のお店と比べ、値段が安いこと
- 16.8 商品・サービス選びの範囲が広がること
- 20.9 お店でショッピングすることに比べ、手間隙がかからないこと
- 13.9 購入した商品を配達してくれること
- 19.4 海外の事業者からも購入可能なこと
- 0.8 その他(具体的に)
- 17.4 特に魅力を感じない
- 14.7 わからない

⑯
⑰

問 58. 「電子商取引」について、あなたがためらう理由は何ですか。(〇はいくつでも) (n=2345)

- | | |
|--|---|
| 38.7 パソコンやインターネットがうまく使えないから | |
| 16.7 どんな商品・サービスが購入できるのかわからないから | |
| 6.1 購入したい商品・サービスを探すのが面倒だから | |
| 7.7 注文する手続きが面倒だから(注文画面がわかりにくいから) | |
| 34.6 実際に商品・サービスを確認することができないから | |
| 24.2 一般のお店での買い物に不満がないから | |
| 17.7 実際に店員さんから商品やサービスについての説明やアドバイスを受けたいから | |
| 3.3 インターネットを使って購入できる商品・サービスは限られるから(欲しい商品・サービスが売られていないから) | |
| 23.7 一般のお店でショッピングすることが好きだから | |
| 28.4 注文した通りの商品が届かない可能性があるから | |
| 10.4 送料が必要となるから | |
| 22.3 注文時の想像と違う商品が届いた場合、希望の品物と交換できないかもしれないから | ⑬ |
| 21.5 注文時の想像と違う商品が届いた場合、希望の品物と交換する手続きが面倒だから | ⑬ |
| 4.6 商品が届くまで時間がかかるから | |
| 16.3 商品が届かない可能性があるから | |
| 21.1 購入後の修理など(アフターサービス)が心配だから | |
| 34.2 インターネット上のお店を信用してもよいかかわからないから | |
| 29.1 自分のデータが他人に漏れる可能性があるから | |
| 28.8 漏れた自分のデータを不正に利用される可能性があるから | |
| 19.7 商品・サービス購入先のお店が自分のデータを不正に利用する可能性があるから | |
| 1.4 その他(具体的に |) |
| 8.8 特にためらう理由はない | |

問 59. 「電子商取引」を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてあなたはどのように思いますか。

(ア) 自分のデータの不正利用や漏洩に対し、どの程度不安や危険を感じていますか。(n=2345)

- | | |
|---------------|---|
| 35.3 強く感じている | |
| 37.6 多少感じている | |
| 5.8 あまり感じていない | |
| 1.8 感じていない | |
| 19.2 わからない | ⑭ |

(イ) 自分のデータの不正利用や情報漏洩がどの程度おこる可能性があると考えていますか。(n=2345)

- | | |
|------------------------|---|
| 26.9 かなり高い | |
| 49.2 あまり高くないが、可能性はある | |
| 3.2 ゼロではないが、ほとんど可能性はない | |
| 20.5 わからない | ⑮ |

問 60. インターネットを使って、本を購入したり、銀行振込をする場合、ウェブ・サイトを開設する本屋や銀行が「電話回線、専用線回線等の通信経路において、盗聴等がなされたことにより、お客様のID、パスワード、取引情報等が漏洩した場合、そのために生じた損害について、当社は責任を負いません」といった免責条項を設定していることをあなたはご存知ですか。(n=2345)

- | | |
|------------|---|
| 14.6 知っている | |
| 85.1 知らない | ⑯ |

問 61. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。(n=2345)

	(1) よく 知っている	(2) 知って いる	(3) あまり 知らない	(4) 知らない	
(ア)「電子商取引」を行う際、どのような方法で自分のデータが保護されているか	→ 0.3	→ 1.9	→ 17.0	→ 80.3	⑬
(イ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、どこに苦情をいけばよいか	→ 0.1	→ 1.4	→ 14.2	→ 83.6	⑭
(ウ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、誰が損害を負担するか	→ 0.3	→ 2.3	→ 12.9	→ 83.9	⑮

問 62. 「電子商取引」を行った結果、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じたとします。不正利用者や情報盗用者が特定できない場合、誰が損害を負担すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

13.6	自分自身	
39.0	インターネットのサイト(ウェブ・サイト)開設者	
23.8	インターネットプロバイダー	
10.4	電話会社	
7.2	国	
0.6	その他(具体的に	)
41.3	わからない	

問 63. インターネットのサイト(ウェブ・サイト)において、家族構成、趣味、関心事などの個人情報を入力することについて、あなたはどのように考えますか。(〇はいくつでも)(n=2345)

3.5	特に抵抗を感じない(入力する)	
14.7	信頼できるサイトであれば、抵抗を感じない(入力する)	
10.4	個人情報の利用目的が明確であれば、抵抗を感じない(入力する)	
9.5	抵抗を感じても、便利なサービスや関心のある情報の提供を受けることができるのであれば、個人情報を入力する	
19.8	必要に応じて、個人情報の使用制限等の権利を主張することが可能であれば、入力する	
56.3	不正利用や漏洩が心配なので、基本的には個人情報を入力しない	
0.9	その他(具体的に	)

問 64. インターネットのサイト(ウェブ・サイト)で収集される個人情報が第三者に提供されることについて、あなたはどのように考えますか。(〇は1つ)(n=2345)

2.9	気にしない・やむを得ない	
9.5	提供される第三者や利用目的について、事前の説明さえあればよい	
14.2	事前の説明のみならず、承諾を求められ、必要に応じて、使用の制限等の権利を主張することも可能であればかまわない	⑯
68.4	生命、身体又は財産保護のために緊急の必要がある場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない	
1.0	その他(具体的に	)

(問 78 にお進みください)

■ 仕事以外で、電子商取引を利用したことがある方におたずねします

問 65. あなたは、この1年間で、何回くらい「電子商取引」を行いましたか。(インターネットで注文し、代金引換や振込により代金の支払う場合も含みます。)(n=244)

3.3 ゼロ
26.6 1回
38.5 2～3回
14.8 4～5回
7.0 6～7回
0.4 8～9回
3.7 10～15回
5.7 15回以上

⑤

問 66. これまでの「電子商取引」における、一回当たりの平均的な購入金額はどのくらいですか。(n=244)

2.5 1000円未満
29.5 1000円～5000円未満
28.7 5000円～1万円未満
23.4 1万円～3万円未満
7.0 3万円～5万円未満
2.0 5万円～10万円未満
4.1 10万円～30万円未満
1.6 30万円～50万円未満
0.4 50万円以上

⑤

問 67. インターネット上で製品やサービスを購入した際のあなたの決済方法は何でしたか。
(〇はいくつでも)(n=244)

36.9 クレジットカード(ウェブ上でカード番号を入力)
4.5 クレジットカード(電話やFAXでカード番号を通知)
39.8 商品配達時の代金支払い(代金引換)
29.1 銀行振込
22.5 郵便振替
11.9 コンビニエンスストアでの決済
2.9 プロバイダー/ウェブ・サイトの独自決済方法
0.4 プリペイドカード(電子マネー含む)
1.6 その他(具体的に)

⑤

問 68. 今後とも「電子商取引」を利用したいと思いますか。(インターネットで注文し、代金引換や振込により代金を支払う場合も含みます。)(n=244)

23.0 ぜひ 利用したい	63.1 機会があれば 利用したい	11.5 あまり 利用したくない	2.5 利用したくない
---------------------	-------------------------	------------------------	----------------

⑤

→ (問 69 へお進み下さい)

付問. 問 68 で 3 または 4 を選んだ方にお聞きします。(n=34)

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 8.8 購入したい商品・サービスを探すのが面倒だったから
- 20.6 注文する手続きが面倒だったから(注文画面がわかりにくかったから)
 - インターネットを使って購入できる商品・サービスは限られるから(欲しい商品・サービスが売られていないから)
- 17.6 送料が高かったから
 - 代金が不明瞭だった(予想以上に請求された)から
- 8.8 注文時の想像と違う商品が届き、希望の品物と交換できなかったから
- 11.8 注文時の想像と違う商品が届いた場合、希望の品物と交換する手続きが面倒だったから
 - 入力ミスにより、間違った商品が届いたから
- 2.9 注文した商品が届かなかったから
- 14.7 商品が届くまで時間がかかったから
- 2.9 購入先のお店が信用できなかったから
- 14.7 自分のデータが他人に漏れた可能性があるから
- 17.6 漏れた自分のデータを不正に利用された可能性があるから
- 20.6 商品・サービス購入先のお店が自分のデータを不正に利用された可能性があるから
- 20.6 その他(具体的に

④

⑤

)

問 69. あなたは、「電子商取引」の魅力は何だと思いますか。(〇はいくつでも)(n=244)

- 67.2 24 時間購入できること
- 75.8 自宅で購入できること
- 52.5 インターネットで購入したい商品・サービスを検索できること
- 24.2 商品・サービスとその値段をお店間で比較することができること
- 14.3 一般のお店と比べ、値段が安いこと
- 20.1 商品・サービス選びの範囲が広がること
- 35.7 お店でショッピングすることに比べ、手間隙がかからないこと
- 31.1 購入した商品を配達してくれること
- 23.4 海外の事業者からも購入可能なこと
- 5.7 その他(具体的に
- 1.2 特に魅力を感じない
- 0.4 わからない

⑤

⑥

)

問 70. 「電子商取引」について、あなたがためらう理由は何ですか。(〇はいくつでも)(n=244)

- 2.0 パソコンやインターネットがうまく使えないから
- 4.5 どんな商品・サービスが購入できるのかわからないから
- 2.5 購入したい商品・サービスを探すのが面倒だから
- 4.5 注文する手続きが面倒だから(注文画面がわかりにくいから)
- 36.9 実際に商品・サービスを確認することができないから
- 5.7 一般のお店で買い物に不満がないから
- 9.0 実際に店員さんから商品やサービスについての説明やアドバイスを受けたいから
- 7.4 インターネットを使って購入できる商品・サービスは限られるから(欲しい商品・サービスが売られていないから)
- 5.7 一般のお店でショッピングすることが好きだから
- 22.5 注文した通りの商品が届かない可能性があるから
- 22.5 送料が必要となるから
- 20.5 注文時の想像と違う商品が届いた場合、希望の品物と交換できないかもしれないから
- 27.0 注文時の想像と違う商品が届いた場合、希望の品物と交換する手続きが面倒だから
- 10.2 商品が届くまで時間がかかるから
- 21.7 商品が届かない可能性があるから
- 15.2 購入後の修理など(アフターサービス)が心配だから
- 32.0 インターネット上のお店を信用してもよいかわからないから
- 42.2 自分のデータが他人に漏れる可能性があるから
- 44.7 漏れた自分のデータを不正に利用される可能性があるから
- 29.1 商品・サービス購入先のお店が自分のデータを不正に利用する可能性があるから
- 1.2 その他(具体的に)
- 15.6 特にためらう理由はない

②③

③

問 71. 「電子商取引」を行うに際し、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりする可能性についてどう思いますか。(n=244)

(ア) 自分のデータの不正利用や漏洩に対し、どの程度不安や危険を感じていますか。

- 30.3 強く感じている
- 55.3 多少感じている
- 10.7 あまり感じていない
- 0.8 感じていない
- 2.9 わからない

②③

(イ) 自分のデータの不正利用や情報漏洩がどの程度おこる可能性があると考えていますか。

- 26.6 かなり高い
- 64.8 あまり高くないが、可能性はある
- 5.7 ゼロではないが、ほとんど可能性はない
- 2.9 わからない

②③

問 72. 「電子商取引」の経験前と後とで、自分のデータが不正に利用されたり他人に漏れたりする可能性に対する不安はどのように変化しましたか。(n=244)

- 0.8 緩和された
- 17.2 多少緩和された
- 70.1 変わらない
- 6.1 より不安を感じるようになった
- 1.2 強く不安を感じるようになった
- 4.1 わからない

②③

問 73. インターネットを使って、本を購入したり、銀行振込をする場合、ウェブ・サイトを開設する本屋や銀行が「電話回線、専用線回線等の通信経路において、盗聴等がなされたことにより、お客様のID、パスワード、取引情報等が漏洩した場合、そのために生じた損害について、当社は責任を負いません」といった免責条項を設定していることをあなたはご存知ですか。(n=244)

36.5 知っている
63.5 知らない

㉔

問 74. 次の(ア)～(ウ)について、あなたはどのくらいご存知ですか。(1)よく知っている、(2)知っている、(3)あまり知らない、(4)知らない、のどれですか。(n=244)

	(1) よく 知っている	(2) 知って いる	(3) あまり 知らない	(4) 知らない
(ア)「電子商取引」を行う際、どのような方法で自分のデータが保護されているか	5.3	16.4	43.4	34.8
(イ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、どこに苦情をいえばよいか	2.5	6.1	37.3	54.1
(ウ) 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じた場合、誰が損害を負担するか	2.0	7.4	35.7	54.9

㉕

㉖

問 75. 「電子商取引」を行った結果、自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりして損害が生じたとします。不正利用者や情報盗用者が特定できない場合、誰が損害を負担すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

25.4 自分自身 (n=244)
59.8 インターネットのサイト(ウェブ・サイト)開設者
30.7 インターネットプロバイダー
10.2 電話会社
7.8 国
3.3 その他(具体的に)
14.8 わからない

㉗

問 76. インターネットのサイト(ウェブ・サイト)において、家族構成、趣味、関心事などの個人情報を入力することについて、あなたはどのように考えますか。(〇はいくつでも)(n=244)

3.7 特に抵抗を感じない(入力する)
18.0 信頼できるサイトであれば、抵抗を感じない(入力する)
17.2 個人情報の利用目的が明確であれば、抵抗を感じない(入力する)
27.5 抵抗を感じても、便利なサービスや関心のある情報の提供を受けることができるのであれば、個人情報を入力する
26.2 必要に応じて、個人情報の使用制限等の権利を主張することが可能であれば、入力する
34.8 不正利用や漏洩が心配なので、基本的には個人情報を入力しない
1.2 その他(具体的に)

問 77. インターネットのサイト（ウェブ・サイト）で収集される個人情報が第三者に提供されることについて、あなたはどのように考えますか。（n=244）

- | | |
|------|--|
| 3.7 | 気にしない・やむを得ない |
| 9.8 | 提供される第三者や利用目的について、事前の説明さえあればよい |
| 23.4 | 事前の説明のみならず、承諾を求められ、必要に応じて、使用の制限等の権利を主張することも可能であればかまわない |
| 62.3 | 生命、身体又は財産保護のために緊急の必要がある場合を除き、個人情報が第三者に提供されることは望まない |
| 0.87 | その他（具体的に _____） |

73

（問 78 にお進みください）

■ 全員の方におたずねします

問 78. あなたは、「個人情報保護マーク」をご存知ですか。

- 1. 7 知っている
- 13. 9 聞いたことはあるが、よく知らない
- 84. 3 知らない

⑪

問 79. 「個人情報保護マーク」とは、ガイドラインに基づき、個人情報を保護する団体（サイト開設者）に対し、政府関係機関が付与するものですが、「個人情報保護マーク」により、個人情報保護に対する不安は緩和されますか。

- 1. 7 おおいに緩和される
- 22. 8 多少緩和される
- 22. 1 あまり緩和されない
- 5. 4 全く緩和されない
- 47. 9 わからない

⑫

問 80. コンピューターに不正に侵入することを禁止する法律（「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」）が平成 11 年 8 月に成立し、平成 12 年 2 月から施行されていますが、あなたはご存知ですか。

- 1. 3 内容をよく知っている
- 44. 1 内容はあまり知らないが、法律が存在することは知っている
- 54. 3 法律が存在することも知らない

⑬

問 81. 自分のデータが不正に利用されたり、他人に漏れたりしないようにするためにはどのような対策が必要とあなたは考えますか。

- 58. 9 政府が法令に基づく取締を行うことにより守るべき
- 15. 6 政府が強制力を持たないガイドラインを定め、民間団体や企業がそれを遵守することにより守るべき
- 9. 2 民間団体が業界の統一ガイドラインを自ら定め、遵守することにより守るべき
- 4. 0 個別の企業がおのおのガイドラインを定め、遵守することにより守るべき
- 1. 3 個別の企業の良識に任せるべき
- 12. 4 政府や企業利用者に頼らず、利用者が注意すればよい

⑭

問 82. コンピューター等に不正に侵入されないための備えるべき基準を作り、基準を満たす機器に認証を与えることが考えられています。あなたは、基準作りや認証は国が行うべきだと考えますか、民間の機関が行うべきと考えますか。

- 39. 7 基準作り、認証とも国が行うべき
- 23. 6 基準作りは国が行うべきであるが、認証は民間の機関が行うべき
- 7. 4 基準作り、認証とも民間の機関が行うべき
- 0. 7 その他（具体的に
- 28. 2 わからない

⑮

問 83. 次のうち、ネット上で許されると考えるものをあげてください。(〇はいくつでも)

- 68.3 ペンネーム(ネットネーム/ハンドルネーム)を使用する
- 2.2 ネット上、実際に存在する別人の名前を使い、その人になります
- 11.7 何らかの方法を使い、自分の情報発信源を隠す
- 24.6 自分の個人情報を流す
- 0.7 他人の個人情報を流す
- 2.0 あいまいな情報を流す
- 0.7 故意にうその情報を流す
- 2.3 オークション等において、自分に不利な情報を故意に隠す
- 1.0 犯罪を誘発するような有害情報を流す
- 1.0 児童ポルノや覚せい剤販売といった違法情報を流す
- 0.7 自分が利用権限を持たないサーバー等のコンピューターに侵入すること
- 0.9 利用権限を持たないサーバー等のコンピューターに侵入し、コンピューター内の情報を見ること
- 25.8 すべて許されない

⑪
⑫

問 84. あなたは、行政の情報化として、どのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

- 47.2 いつでも、どこからでも必要な行政情報を入手できること
- 43.4 行政への申請や届け出などがいつでも、どこでもできるようになること
- 41.3 国民の意見や提案を、インターネットを利用し、行政機関へ簡単かつ迅速に伝えられるようにすること
- 30.7 選挙において、投票場に行くことなく電子投票できるようになること
- 34.5 大学・美術館・図書館などが持っている情報をどこからでも入手できるようになること
- 49.5 情報機器を利用した在宅健康管理や福祉相談など、保険・医療・福祉面のサービスが向上すること
- 47.2 災害発生時にインターネットを利用し、情報提供が受けられるようになること
- 13.4 特になし
- 0.4 その他(具体的に)

⑬

問 85. 小中学校でコンピューターやインターネットを使った授業を行うことについて、あなたはどのように考えますか。

- 59.6 是非必要
- 14.3 あまり必要といえない
- 3.4 必要ない
- 22.6 どちらともいえない

⑭

問 86. 「子供たちに情報施設の整った環境で教育を受けさせるために、行政による支援が必要」という考え方がありますが、その結果生じる負担について、あなたはどのように考えますか。

- 4.8 税金など個人の負担が増えるのは当然である
- 36.4 ある程度負担が増えるのはやむを得ないだろう
- 45.2 負担が増えるのはどちらかといえば好ましくない
- 8.6 負担が増えるなら行政の支援は必要ない
- 4.2 そもそも行政の支援は必要ない

⑮

問 87. あなたのお住まいの地域では携帯電話やCATVなどの情報基盤整備が遅れており、整備が進んでいる地域との間で差があると考えますか。

- 12.4 大きな差がある
- 25.3 多少差がある
- 24.1 差はない
- 39.0 わからない

⑮

問 88. 「日本全国、同程度の料金水準で、同程度の情報通信サービスを受けることができるようにするため、行政による支援が必要」という考え方がありますが、その結果生じる負担について、あなたはどのように考えますか。

- 2.5 税金など個人の負担が増えるのは当然である
- 26.8 ある程度負担が増えるのはやむを得ないだろう
- 52.9 負担が増えるのはどちらかといえば好ましくない
- 11.2 負担が増えるなら行政の支援は必要ない
- 5.5 そもそも行政の支援は必要ない

⑯

問 89. あなたは、クレジットカードを使用していますか。

- 12.2 よく使用する
- 28.4 ときどき使用する
- 24.4 ほとんど使用しない
- 34.9 使用しない／持っていない

⑰

問 90. あなたは、通信販売を利用しますか。

- 7.0 よく利用する
- 38.7 ときどき利用する
- 26.6 ほとんど利用しない
- 27.6 利用しない

⑱

問 91. あなたは、電話で送金や振込を行うテレホンバンキングを利用したことがありますか。

- 0.5 よく利用する
- 1.5 ときどき利用する
- 8.5 ほとんど利用しない
- 89.4 利用しない

⑳

問 92. 次の(ア)から(ウ)について、2つずつ対になった1と2の意見があります。あなたはこのうちどちらに近いですか。

(ア) 友達が何か変わったものを持っていると、

- 18.1 すぐ欲しくなる方だ
- 81.6 変わったものを持ってもあまり気にならない

㉑

(イ) 仕事など、

- 26.7 いつもできるだけ目先の変わった新しい仕事がしたい
- 72.2 いつもの仕事を同じようにやっていられればその方が安心でよい

㉒

(ウ) 趣味やレジャーでは、

- 20.0 何にでもすぐ手を出す
- 79.3 以前からやっているものに専念する

㉓

問 93. 次の(ア)から(ウ)について、1～4のうち、あなたに最も近いものを選んでください。

(ア) 何かしようとするとき、それをすると他の人たちがどう思うかということについて

- 9.5 非常に考える
- 49.8 多少考える
- 33.3 あまり考えない
- 7.1 全然考えない

㉔

(イ) 自分の考え方が周りの人たちと違ふとやはり自分の方がおかしいのではと思うことが

- 4.4 よくある
- 33.8 時々ある
- 52.5 あまりない
- 9.2 全然無い

㉕

(ウ) 数人の友達や、もっと大勢の人たちと話し合っているとき、その場のムードで自分の考え方を変えることが

- 3.1 よくある
- 34.5 時々ある
- 54.3 あまりない
- 7.9 全然無い

㉖

問 94. 次の(ア)から(ウ)について、1～4のうち、あなたに最も近いものを選んでください。

(ア) 一般に、何か他人が知っていて、自分が知らないことがあると、非常に恥ずかしいと思うか。

- 6.0 全くそう思う
- 39.4 まあそう思う
- 51.4 あまりそうは思わない
- 3.0 非常にそう思わない

㉗

(イ) どんなことでも、できるだけ詳しく徹底的に知ろうとするか。

- 7.7 全くそう思う
- 40.2 まあそう思う
- 49.6 あまりそうは思わない
- 2.2 非常にそう思わない

㉘

(ウ) 他人が知っていて自分が知らないことがあっても、その反対もあるので、少しもはずかしくないことだと割り切って考える方か。

- 12.5 全くそう思う
- 54.5 まあそう思う
- 30.1 あまりそうは思わない
- 2.7 非常にそう思わない

㉙

(問 95 へお進み下さい)

■ 最後に、あなたご自身のことについて少しおたずねします

問 95. あなたの年齢はおいくつですか。

6.6	15.7	16.8	21.6	23.2	16.1
16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳

⑨⑩

問 96. 性別は。

49.3	男 性
50.7	女 性

⑪

問 97. あなたは、結婚していますか。

69.9	既婚
25.0	未婚
5.1	死別・離別

⑫

問 98. あなたの同居家族を教えてください。(○はいくつでも)

69.2	配偶者(夫・妻)	8.0	祖父母
58.2	子 供	4.3	孫
15.5	兄 弟	1.9	その他(同居の親戚など)
35.0	父 母	4.5	同居家族はいない

⑬

問 99. あなたは収入の伴う仕事をしていますか。

70.5	29.5
している	していない

⑭

▶ (問 100 へお進み下さい)

付問 1. あなたのお仕事は次のうちどれに該当しますか。(n=1825)

16.1	自営業主・経営者	53.6	正社員
4.0	家業手伝い・家事手伝い	23.7	パート、アルバイトなどの非正社員
1.0	内 職	1.4	派遣社員

⑮

付問 2. 「職種」は次のうちどれに該当しますか。(n=1825)

9.3	経営・管理職	21.2	労務・技能職
22.2	専門・技術職	26.4	販売・サービス職
16.5	事務職	4.3	不明

⑯

付問 3. 「業種」は次のうちどれに該当しますか。(n=1825)

2.6	農林漁業	15.5	卸売・小売業、飲食店
0.5	鉱 業	2.8	金融・保険業
9.8	建設業	0.7	不動産業
20.8	製造業	18.4	サービス業
2.5	電気・ガス・熱供給・水道業	8.7	公 務
4.5	運輸業	11.7	その他
0.9	通信業		

⑰

付問4. 会社にお勤め・会社を経営されている方にお聞きします。会社の規模（従業員数）は次のどれに該当しますか。（n=1730）

22.4	1～9人	8.6	300～999人
7.7	10～19人	5.4	1000～2999人
6.4	20～29人	2.9	3000～4999人
14.3	30～99人	2.8	5000～9999人
14.3	100～299人	4.9	1万人以上

付問5. あなたの所得（年収）（税込み）はいくらですか。（n=1825）

29.0	200万円未満	5.9	600～700万円未満
15.5	200～300万円未満	4.9	700～800万円未満
12.2	300～400万円未満	3.4	800～900万円未満
8.7	400～500万円未満	2.2	900～1000万円未満
8.4	500～600万円未満	4.1	1000万円以上

問100. お宅全体の昨年1年間の収入（税込み）はおおよそいくらですか。

6.5	200万円未満	9.7	900～1100万円未満
8.1	200～300万円未満	5.3	1100～1300万円未満
10.2	300～400万円未満	3.2	1300～1500万円未満
10.5	400～500万円未満	2.2	1500～2000万円未満
18.5	500～700万円未満	1.5	2000万円以上
15.6	700～900万円未満		

問101. あなたは学校に在学中ですか。

8.7	在学中
89.9	卒業

問102. 最終学歴はどれですか。各種学校、中退の場合はそのひとつ前を卒業とみなしてください。また在学中の方は、在学している学校を選んでください。

13.5	新制中学校、旧制小学校・高等小学校
46.6	新制高校、旧制中学校・高等女学校
19.8	短大・高専、旧制高校・専門学校
12.1	大学（文系学部）
5.7	大学（理系学部）
0.5	大学院（文系）修士以上
1.0	大学院（理系）修士以上

長時間ご協力いただきありがとうございました。
記入もれがないかご確認の上、調査員にお渡してください。

インターネットで何ができるか (プロップ・ステーションの取り組み)

「チャレンジド(障害者)を納税者にできる日本」というスローガンを掲げ、障がい者にコンピュータの使い方を教えた上で、企業や自治体から仕事を受注して在宅でも働けるように就労支援を行っている団体がある。第二種社会福祉法人¹プロップ・ステーションである。

理事長である竹中ナミさん(通称ナミねえ)は、e-Japan 特命委員会の会長を務める麻生太郎衆議院議員(自民党政調会長)の前で、「中卒、障がい児の母ちゃん、バツイチです」と自己紹介する、肝の据わった魅力的な女性である。パソコンとインターネットを活用することにより、ゼロから障がい者就労支援の仕組みを作り上げてきた。

プロップ・ステーション以外にも、障がい者就労支援を積極的に取り組んでいる団体は多くある。そうした団体のひとつとして、プロップ・ステーションの具体的な取り組みを採り上げた。

プロップ・ステーションにおける講習方法、卒業生の活躍などを通じて、「パソコンやインターネットで何ができるか」という疑問に対し、特殊学校、障がい者団体、障がい者の各々が自分なりの答えを見つける参考としてもらえると幸いある。

1 「障がいのある方々のインターネット等の利用に関する調査」の結果からわかること

(1) パソコンやインターネットの利用しない理由

① パソコン

視覚障がい者と聴覚障がい者は「パソコン等の値段が高い」が最大の理由。肢体不自由者と知的障がい者は「何ができるかわからない」、「使い方を覚えることが大変」、「教えてくれるひとがいない」といったものが主な理由となっている。

② インターネット

全体として「何ができるかわからないから」(32.2%)、「パソコンやインターネットの操作が難しそうだから」(28.7%)という回答が多い。また、聴覚障がい者を除き、「使い方を教えてくれる人がいないから」という回答も多い。視覚障がい者は「パソコンなどの機器の値段が高いから」(38.2%)という理由が一番多くなっている。

(2) パソコンやインターネットの利用目的

① パソコン

「趣味のため」が全体の 61.5%。障がいの種別に関わらず、全般的に、「趣味のため」、「インターネットをするため」といった回答が多い。「障害によるハンディキャップを少なくするため」は全体の 14.5%に止まっている。しかしながら利用目的は障がいごとに異なっている。聴覚障がい者では「仕事のため」が 50%以上、視覚障がい者と肢体不自由者では「障害によるハンディキャップを少なくするため」が 30%前後と相対的に高い。

¹ 社会福祉法人には、第一種と第二種とがある。第一種社会福祉法人は、補助金を得られるが、強い規制と指導監督が必要となる事業を行う法人であるのに対し、第二種社会福祉法人は、補助金を得られない代わりに、自由度が高く、NPO的な色彩の強い福祉法人である。

なお、「仕事のため（仕事を得るため）」と答えた方は、視覚障がい者 33.4%、聴覚障がい者 52.1%、肢体不自由児者 24.9%、知的障がい者 28.9%である。

② インターネット

全体では、「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」が 69.2%、「知りたいことを調べるため」が 62.1%。障がいの種別に関わらず、「趣味に関するホームページを見るため(楽しむため)」、「知りたいことを調べるため」と「電子メールのやりとりをするため」という回答が多い。

なお、「仕事のため（仕事を得るため）」と答えた方は、視覚障がい者 18.5%、聴覚障がい者 22.8%、肢体不自由児者 11.7%、知的障がい者 13.5%となっている。

(3) 調査結果からわかる課題

① 障がいが原因で、パソコン等を学ぶ「機会」が少ないことは「不平等」

現在、ボランティア団体を中心に、様々な団体が障がい者に対するパソコン教室を開催している。しかしながら、ボランティア団体等の非営利団体には、活動を行うために必要な資源（財源、人材、機器、指導拠点など）が乏しい状況にある。

また、高校の教育課程に「情報」が加わったが、特殊学校には、予算上の制約があり、十分なハードもソフトもなく、情報教育の基盤整備が十分行われていない。加えて、様々な障がいを持つ生徒たちに対する教材や指導方法等の情報も不足しているとされる。

こうした結果、障がいがハンディキャップとなり、健常者以上にパソコンの使い方を身につけることが難しい障がい者が、健常者と比べ、パソコンの使い方を身につける機会は少なくなっていると考えられる。

② 「趣味」と「仕事を得るため」では必要なパソコン技術が全く異なること

「仕事のため（仕事を得るため）」にパソコンを利用していると答えた障がい者の方が多くいる。若者を中心に、携帯電話を利用した電子メールのやりとりが行われ、また、中・高等学校において、情報に関する教科・内容が必修とされたため、不十分な環境であっても、パソコンに関する基礎知識や基本操作方法を収得している障がい者は増加している。

しかしながら、経済が低迷し、失業率が上昇する中、パソコンを使い、仕事を得ることは並大抵のことではない。「趣味のため」に必要なパソコン技術と「仕事を得るため」の技術は大きく異なる。また、技術の問題だけではない。仕事としてお金を得るためには、納期を守ることや報酬に見合った成果を出すことは当然のことである。

優れた才能を持つ障がい者も多い。しかし、才能を活かし、仕事を得るためには、非常に厳しい自己鍛錬と仕事の依頼主を納得させる成果が必要となる。従前のように、保護と救済だけの対象とはなりえないことを、障がい者の方々も更に認識しなければならない。

また、仕事を依頼する企業側も、障がい者という理由のみで門前払いすることなく、少なくとも、健常者と対等な仕事を得るための機会を保障する必要がある。障がい者の能力を色眼鏡なしで正当に評価し、在宅でできる仕事をアウトソースすることが自らの利益にもつながることをより一層認識しなければならない。

③ 障がい者に対する、政府の戦略的投資の欠如

パソコンやインターネットを利用しない理由として、「値段が高いから」という回答が多い。日常生活用具給付制度により、パソコンを給付対象種目とされているが、

条件は非常に厳しい²。中長期的な公的資金の支出を考え、政府は戦略的に投資をすべきであると考え。

例えば、アメリカでは、州により違いはあるが、発達障がい児に対し、早期(2歳前後)から、集中的(週20～30時間)に療育を行い、莫大な公的資金を費やしている。ADA(The Americans with Disabilities Act:障がいを持つアメリカ人の法律)があり、障がい児のためを思っていることだけではない。科学的に効果が高いと実証されている幼年期に、科学的に効果が実証された方法で療育を行うことにより、障がい者の生涯に必要な公的資金が節約できるというしたたかな計算もある。

更なる少子・高齢化社会を迎える日本において、これまでと同様に、障がい者を保護し、救済することは難しい。能力のある障がい者に活躍する機会を与え、自立してもらう必要がある。障がい者がパソコンを利用しやすい環境を整えるために、政府は戦略的に投資する時期に来ているように思える。

(4) どうすればよいか

課題を指摘することが簡単である。国も地方公共団体も課題は認識している。変わろうとも、変えようとも努力している。しかしながら、柔軟性や機動性に欠ける。障がい者の自立に向け、国も地方公共団体の支援は不可欠であるが、国も地方公共団体に多くを期待しても、すぐには変わらないし、変えられない。社会環境を変えるためには、ある程度の時間が必要となる。

例えば、大学以上の高等教育を受ける障がい者の大学定員に対する割合は、アメリカでは3%であり、国家目標として10%を目指しているとされている。一方、日本では0.09%に過ぎない。高等教育を受けなければ得られない資格もある。しかしながら、日本がアメリカと同様な水準に達するまでには多くの時間が必要であろう。政治システムも異なる、社会文化も異なる、国民の意識も異なる。

こうしたことから、自ら道を切り拓いてきたプロップ・ステーションの取り組みを参考としてもらいたい。プロップ・ステーション理事長の竹中さんは非常にまれな逸材である。誰もが竹中さんになれる訳では決してない。しかし、何人かが力を合わせれば、同じようなことはできるはずである。大変失礼ながら、「中卒、障がい児の母ちゃん、バツイチ」という竹中さんはゼロから障がい者就労支援の仕組みを作り上げてきた。誰しも、必死にやればできるはずである。もちろん、私を含め、政府関係者でもある。

2 プロップ・ステーションの取り組み³

(1) 竹中さんの「福祉観」

プロップ・ステーション理事長の竹中さんは重度心身障がい者の母である。様々な障がい者と接するうちに、「隔離と保護」といえる日本の社会福祉システムに疑問を持つようになった。また、今後、より一層の高齢化社会を迎え、保護が必要となる人たちが大幅に増える日本で、現在の社会福祉システムが今まで通りに機能するとは考えていない。重度心身障がい者を持つ母として、娘の将来も心配となる。豊かな才能を持つ障がい者を活かすことが、障がい者本人にも、社会にとっても不可欠であり、幸せなことでもあると考える。

² 身体障害者福祉法に基づく18歳以上の方に対する給付条件「上肢障害2級以上又は言語、上肢複合障害2級以上(文字を書くことが困難な者に限る。)」

児童福祉法に基づく18歳未満の方に対する給付条件「身体障害者手帳の交付を受けた児童であって、当該手帳に身体上の障害(上肢機能障害又は言語、上肢複合障害に限る。)の程度が1級又は2級であると記載され文字を書くことが困難なもので、原則として学齢児以上のもの」

³ 「プロップ・ステーションの挑戦」(竹中ナミ著、筑摩書房)等を参考にした。

竹中さんは、「障がい者」を「チャレンジド(The Challenged)」と呼ぶ。「チャレンジド」は、アメリカにで「ハンディキャップ」に代わる言葉として、使われつつあるという。彼女が「チャレンジド」という言葉を使う理由は、単に「障がい者」を示すだけではなく、「神から、挑戦すべきこと、課題や使命、チャンスや資格を与えられた人々」という前向きなイメージが込められているためである。朝日新聞のエッセイ⁴に書いているように、彼女の福祉に対する考え方は前向きであり、明確でもある。

100%保護しなければ生きていけない人はごく一部であり、ほとんどのチャレンジドは意志・意欲・希望・個性・能力を持ち、社会とのつながりや働いて収入を得ることを求めている。期待されたい、他人や社会の役に立ちたいと考えているチャレンジドは多い。また、自分の子供を、社会のお荷物ではなく、尊厳ある人間として世に出していきたいと願っている両親も多い。しかし、日本社会では、障害児・者を保護の対象として、年金や補助金で扶助してきた。障害児・者の出来ないところばかりに注目する。マイナスを数え、それらを埋めることが福祉あるいは社会保障というのでは、その人の中に眠っているものが引っ張り出せない。出来ることにふたをすることが本物の福祉ではないはず。どんな小さな力も、能力も、可能性も、探して育てて引っ張り出すのが福祉のあるべき姿。眠っている力をそのままにしておくのは、もったいないこと。

竹中さんの掲げる「チャレンジドを納税者に」というスローガンに対し、「かわいそうな障がい者を働かせる気か」等という批判もあるが、「納税者」は一種の比喩に過ぎない。これまで、障がい者という理由で隔離され、閉じ込められて、誇りを持てなかった人にも、何か誇るべきものを必ず持っているはずであり、そうした人が社会を支える側にまわることにより、誇りを持って生きられる社会にしたいという願いを込めたスローガンである。

(2) 「プロップ・ステーション」を立ち上げたきっかけ：「パソコンは就労の武器」

1992年、全国の重度障がい者に対し、就労とコンピュータ利用に関するアンケート調査を実施した。当時、パソコンは高価で普及率もまだ低かったが、調査の結果、就労をしていない障がい者の80%が「就職したい」と回答し、多くがコンピュータに関心と希望を持っていた。つまり、「コンピュータが就労のための武器となる」という結果であった。

同時に、自由記述欄には、「就職レベルまでいけるような勉強をする場がない」、「仕事ができる技能を身につけても、それだけではすぐに仕事につながらない」、「パソコン通信を使って在宅勤務でなければ難しい」等の悩みや不満も記載されていた。

家族の力を借りて寝起きしているほど重い障がいを持っている人の多くが「パソコンを武器にして仕事をしたい」と考えているのであれば、問題を克服し、期待に応えたいという気持ちから、コンピュータを就労支援の柱にし、92年にプロップ・ステーションを立ち上げ、活動を開始した。

「プロップ」はラグビー用語で、「支える」ことを意味する。「いままで健常者から支えられる側にいたチャレンジドも、社会を支える側にまわってほしい。お互いに支えあうことができるようになってほしい」という願いを込め、プロップ・ステーションと名付けた。その活動の第一歩は、チャレンジドを対象とするコンピューターセミナーの開催であった。

パソコンやインターネット等の「ITは、障がい者が自分の意志で人生を切り

⁴ 朝日新聞 時流自論（2003年5月18日）より引用

拓き、自活していくチャンスを与えてくれた⁵」と竹中さんは考えている。

(3) 「プロップ・ステーション」の活動内容

活動の第一は、チャレンジドを対象とするコンピューターセミナーの開催である。グラフィック、ビジネスソフト及びネットワーク管理者育成のコースがあり、プロとして仕事を行うための実践的な内容を教えている。これまでに1,000人を超えているチャレンジドがセミナーに参加している。また、プロップ・ステーションのセミナーで実力を身につけたチャレンジドが講師となり、5歳から高齢者までを対象に、パソコンの基礎を教えるコースも開設している。基礎コースでは、広範な人たちが自然な交流を行うコミュニティを形成している。

活動の第二は、コンピューターセミナー修了者が在宅で仕事ができるように、企業や自治体から仕事を受注し、コーディネートすることである。社会経験の少ないチャレンジドと、チャレンジド特有の事情をよく知らない企業や自治体とが直接交渉しても、実りある結果は望めない。チャレンジド側の技能レベルや障がい関係の状況を把握した上で、仕事をしたいチャレンジドには仕事をコーディネートし、就職を希望するチャレンジドには就職をコーディネートしている。現在、在宅で仕事をしているチャレンジドは日本全国におり、約100名となった。

また、2000年1月～2002年3月までの間、政府の緊急地域雇用特別交付事業として、大阪府の特殊学校情報教育推進プロジェクトを担当した。このプロジェクトでは多くの企業に支援を求め、情報環境を整備しながら、様々な障がいのある生徒に適した教材を開発したり、先生方への必要な情報の提供を行ったりした。竹中さん曰く、「必要なことはなんでもするタブーなきプロジェクト」であった。現在でも、プロップ・ステーションのホームページ⁶から、「大阪府養護学校情報教育推進プロジェクト」に行くことができ、内容が更新されている。

プロップ・ステーションの活動は国内に止まらない。スエーデンのサムハル福祉事業団やアメリカ国防省コンピュータ・電子調整プログラム(CAP)など、海外で先進的な取り組みを行っている団体とも積極的に交流を行い、障がい者にとっても、一層生活しやすく、誇りを感じられる社会の実現に絶えず努力している。

(4) 「プロップ・ステーション」はなぜ成功しているのか

プロップ・ステーションが成功している理由はいくつもある。理事長である竹中さんのリーダーシップや人柄だけが大きな要因であることは間違いない。しかし、それだけではない。竹中さんやその周りを囲む人たちが、「プロ」として、労苦を惜まず、着実に成果を上げ、有言実行を実証してきたことも重要な要因と考える。いろいろな要因がうまく重なうことで、上手くまわっている。

① 抜群の行動力

竹中さんは肝が据わっている。思い立ったら、すぐ行動。失うものは何もないと、物怖じせずに、ともかくやってみる。こうした行動力が、アップルコンピュータ(株)、マイクロソフト(株)など、多くの企業の支援につながっている。また、政・官・財・学の多くのひとたちも支援する。必要となれば、政・官・財・学、誰にでも、お願いに行く。チャレンジドにとって身近な存在である地方公共団体とも積極的に連携をとっている。失敗もあるだろうが、いつも明るく、前向き。なかなか真似はできないが、手本にしたい。

⁵ B-ing (2003年5月14日)より引用

⁶ <http://www.prop.or.jp/>

② 信頼の獲得

竹中さんは自らの口と心臓を「ギネス級」といってはばからないが、単に、声を大きいだけでも、話が上手いだけでもない。自らの実体験に基づいた福祉観や行動理念には説得力がある。しかも、心を開き、ざっくばらんだが、真摯に自分の考えを訴えかける。「何かやってくれるのではないか」という期待を持たせる。そして、有言実行、実際に結果を残していく。それが信頼の獲得につながり、幅広く支援者を増やしていくことになる。

特殊学校の先生方や障がい者団体で働く人たちは自らの経験に基づいた福祉観や行動理念を持っているはずである。「ギネス級」の口と心臓を持たなくとも、心を開き、真摯に自分の考えを訴えかけることはできるはずである。あとは、必死になって、期待を裏切らないように努力し、結果を残すだけである。難しいことに違いはないが、やってできないことではない。

③ 「やりがい」を実感させる環境作り

竹中さんは「プロップを応援してくれる人に私ができる唯一のことが、結果を見せること」と言い、「この人にはどういう結果を見せれば喜んでくれるかをいつも考えている」という。組織に関わる一人ひとりに、自分がかかわることで成果が生まれたことを実感してもらうように努力している。

ボランティアとして、プロップ・ステーションを支える方々には、コンピュータの専門家が多くいるが、人材に恵まれている最大の要因はこうした努力にあると考える。支えてくれる専門家が多くおり、目標が明確であり、一丸となって目標を目指すため、成果も出しやすくなる。好循環である。お金で世の中が動くわけではない。

人材不足で困っているボランティア団体は多い。簡単なことではないが、「この成果はあなたが応援してくれたおかげ」ということを示すことで、リピーターとして、また支援してくれる可能性が高くなる。特に最初は大変だが、必死に努力すれば必ずできることである。

④ 「一人ひとりの強み」をうまく引き出す環境作り

竹中さんは「「助けて」、「助けて」とよくいっているのだけれど、それだけではなく、助けに来てくれた人に力を出してもらいたいと考えている」という。「すべての人が必ず何かよいものを持っている」という考えの下、ボランティアの方にも、初めから仕事を決めるのではなく、それぞれが持つ強みを活かせる仕事をお願いしている。プロップ・ステーションでは、セミナーを修了したチャレンジドが次ぎのセミナーで講師を務める。「支えられてきたチャレンジドが支える側にまわり、誇りをもてるように」という配慮でもある。それぞれが持つ強みを活かし、誇りを持って、仕事をしやすい環境を作り出している。

「一人ひとりの強み」を活かすことにより、それぞれのボランティアは仕事がやりやすく、また、「やりがい」を実感しやすい環境にもなる。それぞれとの長所を見ながら、ひとを流動的に配置することは、全体の運営を難しくするが、中長期的には、運営の苦労を補って、おつりがくるくらいである。

日本では、減点主義的な組織が多いが、できないことよりも、できることに目を向けるように努める。障がい者に対しても同様である。難しいことではない。

⑤ 相手の事情に配慮し、無理を言わないこと

竹中さんは、ボランティアの方に対し、「その人が満足してくれている間だ

け、来てくれたらよい。私はその人が満足してくれるように努力する。それでも、その人が満足できなくなって去っていく時には、絶対に無理を言って追ったりしない」と言う。また、「ボランティア組織は、ボランティアの方が入れ代わり、立ち代わり参加して、その人が満足のいくところまでやってもらえればよく、無理をしないことが大原則」とも言う。

人材不足で困っているボランティア団体では、「引き留めない」、「無理をお願いしない」ということは難しいことかもしれない。プロップ・ステーションでも最初はそうであった。成功と失敗を重ね、やっと「どこで割り切るか」という感覚を掴んだという。ボランティアの方に対する接し方も見習う点が多いかもしれない。

⑥ 「組織力学」の見極め

竹中さんは、役人や企業の方が組織人として何を重んじ、恐れ、嫌がるかといった行動原理をよく理解している。誰しも、自分が一番かわいいに決まっているので、お互いにメリットのあるコーディネーションを考えることがコツとしている。竹中さんはやみくもに行動しているのではない。しかし、竹中さんといえども、最初から「組織力学」を理解していた訳ではない。様々な経験から学んだことが多いと考えられる。

「組織力学」を考えながら、行動をするという点は多いに参考になる。

⑦ 企業等とは対等のおつきあい

竹中さんは、「企業とはギブ&テイクでありたい」という。「障がい者を雇わない企業はけしからん」と企業を敵対視するだけの姿勢からはよい状況は生まれない。一方、「企業にお仕事ください」と頭を下げるだけでも、よい状況は生まれない。「チャレンジドがよい仕事をして、きちんとした報酬をもらうという対等な関係」を作りたいという。

また、プロップ・ステーションの支援者には、社会的地位の高い方も多い。しかし、竹中さんはそうしたひとたちと自然につきあえる。普通の人とは、相手が自分に大きな恩恵を与えうる立場にあると、どうしても「ものほしげ」になり、自由な関係を築けなくなるが、竹中さんはそうではないと慶應義塾大学の金子郁容教授は指摘する。

一方的な関係は長続きしない。「ギブ&テイク」で対等なお付き合いということはいつも心に留めておきたい。

(5) コンピューターセミナー修了者の活躍

プロップ・ステーションのコンピューターセミナーには様々な障がいを持つひとが参加している。身体障がい者だけではなく、知的障がい者も参加している。厳しいセミナーを修了した後、多くの方が様々な分野で、日本全国で活躍をされている。大企業や地方自治体等から、多くの仕事を請け負っている。ここでは、現在、「バーチャル工房」で活躍されているお二人の方を紹介したい。具体的な活躍ぶりは後ろに添付している「ナミねえの道」⁷を参照していただきたい。

インターネットの世界は全くのバリアフリーである。実力があれば勝負できる世界でもある。努力次第で、無限の可能性が広がる。インターネットやパソコンを道具として使いこなし、障がいを補うとともに、ひとりでも多くの障がい者の方が自らの才能を開花させて欲しい。

⁷ (株)サイビス 「SOHOコンピューティング」に掲載中

(6) 最後に

いつでも、できない理由はいくらでもある。しかし、竹中さんは「できない」とか「無理」と言われるとますます燃える」という。閉塞感が漂う日本社会においても、彼女の活躍を見ていると、本当にできないことは何もないのではないかという勇気づけられる。いろいろと難しいことは多いが、明るく、前向きに、常にチャレンジすることを忘れず、障がい者が活躍できる社会の実現に向け、努力していきたい。

最後に、竹中さんからいただいたメッセージを紹介したい。

チャレンジドは、それぞれ何か必ずいいものを持っている。だから、教育や訓練を受ければ、必ず能力を発揮できるようになる。しかしながら、チャレンジド自らがそのことに気づいていないことがある。また、家族など、身近にいるひとたちにも、気づいていないひとが多い。もっと、チャレンジドを信頼してもらいたい。チャレンジドはかわいそうと哀れみをかけられる存在ではない。必ず、何らかの能力を持ち、能力を発揮することにより、何か社会のためにも貢献できるようなことができるはず。単に支えられる存在ではなく、支える存在にもなれる。チャレンジを信頼し、期待することがすべての始まりとなる。チャレンジドは必ずいいものを持っており、必ず何かの形で社会に貢献できる。



写真集「チャレンジド」より

**特集
集
1**

障害者(児)をもつ親の取り組み

ナミねえとプロップ・ステーションの挑戦

記者…東 潔

日本福祉リサーチ事業団発行 福祉ジャーナル 2003年5月号より転載

「チャレンジド」。福祉に携わる人間であれば、一度は耳にした言葉ではないだろうか。「神から挑戦という使命やチャンスを与えられた人」という意味で、障害をもつ人を表す。竹中ナミさんは、IT(情報技術)を活用したチャレンジドの就労支援に取り組んでいる。「チャレンジドを納税者にできる日本」にするという彼女の主張は、重度の心身障害をもつ長女を授かって三十年余に及ぶ福祉活動の体験が凝縮したもので、これまでの福祉観を根本から覆すパワーを秘めている。



社会福祉法人 プロップ・ステーション
理事長 竹中ナミ氏

「ナミねえ!」。チャレンジ

ドたちは親しみを込めて竹中さんをこう呼ぶ。姉御肌。笑顔をやさず、多くのチャレンジドに働く喜びや厳しさを伝え、同時に、ギネス級と自認する口と度胸で、大臣、知事、官僚といったお歴々に日本の福祉政策転換の必要性をブツてきた。

「マイナス数えて埋め合わせする福祉から、プラスを全部発揮できる社会の仕組みに

変えましょう」

竹中さんが理事長を務める社会福祉法人「プロップ・ステーション」(略称プロップ)は、チャレンジドを対象にしたコンピューター・セミナーを十二年間継続してきた。すでに多くのチャレンジドが、家族の介護を受けながら在宅で、あるいは施設や病院のベッドの上で、プロとして活躍している。

「仕事が見つかる」と、みんなの目の輝きや表情ががらつ

と変わるんです。自分を認めてもらって受け取ったおカネの重みは、障害者年金とは全く違います」

もともと、一人前の仕事人を目指すので、訓練の厳しさはもっぱらの評判。生半可な気分である人はお断りしているが、それでも不自由な身体を会場に運んで必死に学ぶ人がひきもきらない。福井県から家族の車で四時間かけて一

年半通い続け、Webデザインーとして在宅ワークを始めた青年もいる。

カリキュラムはグラフィックとビジネスソフトを学ぶコースに分かれ、いずれもプロとしての知識や技術を習得するための実践的な内容となっている。卒業して仕事ができる資質が身につくと、企業や自治体から受けた仕事をプロップがチャレンジドの技術や状況に応じてコーディネート



講習会風景

する。

セミナー参加者は千人を超え、実際に在宅で仕事をしているチャレンジドも百人を突破した。ITによる障

害者の自立、就労支援のモデルケースとして今や全国から注目されており、セミナー会場のある神戸・六甲アイランドにあるプロップのオフィスには見学者や取材も増える一方だ。

「人間って熱い想いをもって取り組んだ時に、共感し、応援してくれる人が現れるんですよあ、としみじみ思います」とナミねえは言う。

三十年前のショック

プロップを設立するきっかけは、竹中さんが三十年前に重度の心身障害をもつ子供の母親になったことだった。二人目の子で「麻紀」と名付けた女の子は、生後三カ月の検診で「脳に障害がある」と診断された。検査漬けの日々が始まり、戸惑うばかりの若い母親に実父が叫んだ。

「わしがこの子連れて死んだる！ それがわしがお前にしてやれる唯一のことや」娘に苦労させたくはない、忍びない…。当時、障害をもつて生まれるとはそういうこ

とだったのだ。父の気持ちを思うと、竹中さんにとってその言葉は、娘が障害をもっているという事実よりもっとショックだった。だが、父にそれをさせてはならない、このままではいけない。だから「しゃがんでる暇なんかあらへん」と前へ踏み出した。娘は二歳、三歳と成長しても、親に甘えることをしなかった。母がだれかもうやらかわかってはいないようだ。けれども、時折見せる笑顔はか

わいい。口笛を吹きつつおしめを替える日々。やがて、竹中さんは「何も表現しない娘に私がしてやれること」を学ぼうと、障害者運動や施設でのボランティアを始めるようになる。

目が見えない人、しゃべることのできない人の気持ちがどんなものなのか、一緒に時間を重ねるうちにだんだんわかってきた。彼らが感じていること、何をしてほしいのかを察することができるよう



ナミねえ親子／写真集「チャレンジド」より

なったという。それと同時に、既存の福祉観に疑問を抱くようになった。

「障害をもつ方々は、実はいろんな可能性をもっているにもかかわらず、今の日本の福祉のシステムの中では『気の毒な人』『何かしてあげなければいけない人』という一方的な位置づけをされています。だから、隔離して保護をする。でも、それはちよっと違うんじゃないかと思ったわけです」

確かに、自分の娘のように保護がなければ生きていけない人もいる。しかしその一方で、能力も意欲も知力も備えた人もいるのに、これまですべてが「障害者」という言葉でひとくくりにされてきた。だが本当は、保護の必要人には手厚い配慮を、働きたい

人には「平等なチャンス」と「選択の自由」を与えるのが健全な社会なのではないか。

こうして障害者への就労支援が、竹中さんの胸の内で大きな目標として芽生えてきた時に出会ったのが、「チャレンジド」という言葉だった。これは「ハンディキャップ」や「ディセイブルパーソン」に代わる新しい米語で、アメリカ在住のプロップの支援者から教えてもらった。

この言葉のもつ、障害がある人の「マイナス面」だけを見るのではなく、「使命やチャンスを与えられた人」とする考え方に感銘を受け、以後、さかんに使うようになった。

言葉のルーツは、ジョン・F・ケネディが一九六二年二月一日に行った演説である。大統領に就任した彼はこの



講習会風景

時、最初の教書で「障害をもつ人を納税者に！」と格調高く語ったのである。

「自由主義経済国の『誇り』は、タックスペイヤーとして発言することから始まる。だからこそ、『チャレンジドを納税者に』というのです。私はこれやと思いました」

「チャレンジド」という言

葉を、そしてその考え方を「バリアフリー」や「ノーマライゼーション」と同じように日本でも定着させたい、と竹中さんは願う。

武器はパソコン

もう一つ、ボランティア活動を通じてわかったことがある。障害をもつ人たちの潜在



写真集「チャレンジド」より

能力のすごさだ。感受性や感性の強さは健常者とは比べものにならないほどで、ただそれを表現するための手段がなだけで。彼らにその能力を社会で存分に発揮させてあげるにはどうしたらいいのか。思考する日々が続いた。

そこで、全国の重度障害者約千三百人にアンケートを取ることにした。「仕事があれば働きたいですか」「その時役に立つ道具は何だと思えますか?」。すると、回答の八

割が「働きたい」「武器はコンピューター」という結果だった。しかし、一方で「勉強する場所がない」「仕事ができるレベルに達したか、評価してくれる機関がない」といった不満も抱えていた。

「私はもともと性格が能天気な人で、この結果を見て、『なんや、たった四つやんか』と思ったんです。つまり、勉強する場所をつくって、プロの先生を連れてきて、プロになれるように勉強してもらっ

て、営業に出て仕事を取ってきて、家でやってもらったらいいやんか、と」

ちょうどパソコンが普及し始めたところで、竹中さんは彼らを社会につなぐための場をつくり出そうと決心した。これがプロップ誕生のきっかけだ。一九九一年に「プロップ・ステーション」準備会を設立。竹中さんはその翌年に離婚した。夫は娘の障害を重荷にし続けていたのだ。

ほどなく、兵庫県小野市にある国立療養所青野原病院への娘の入院が決まる。竹中さんはエンジン全開で活動を開始した。とはいえ、道のりは平坦ではなかった。まず、「チャレンジド」を納税者にできる日本」というスローガンからして白い目で見られた。「障害者を働かせて税金を

取るなんて!」

当のチャレンジドたちの反応も鈍かった。「コンピューターを使って仕事ができるようになるう」と呼びかけたものの、大半が「そんなこと、できるかい」という反応。それでも「年金をもらっているだけでなく、仕事をして社会に評価されたい」と願うチャレンジドが五人、十人と集まって講座はスタートした。

といっても、当時のパソコンは一台約百万円と高額。竹中さんは、IT企業に「あなたの会社の製品を使う優秀な技術者を育てますから、先行投資をしてください」と訴え、その情熱に圧倒された企業が支援を申し出た。

時代の追い風も味方した。コンピューターの目ざましい発達とインターネットの普及

である。

「パソコン通信が世の中に登場した時、これはすごい道具やと思いました。障害がある人、外出困難な人たちが自宅に居ながらにして対等に意見交換ができる。コミュニケーションのバリアフリーです。これを利用して社会につながったり、仕事ができるんじゃないかって」

プロップは「実験ブランド」

新しい道具立てで新しい福祉の可能性を探るプロップの挑戦は、やがてマスコミを通じて広く知られるようになり、賛同者が増えていった。現在では、びっくりするような産・官・学・民各界の著名人がプロップの支援者として大勢名を連ねている。

プロップの存在を知っても

らううえで、竹中さんのキャラクターも大きな武器となつたろう。自らを「つなぎのメリケン粉」と言う明るい関西のノリで、だれとでもすぐ友達になる。大企業の社長も、霞が関の役人も、まず友達になつて、その人から信頼できる人を紹介してもらう、というかたちで「友達の輪」が広がっていった。



谷井亨さん(左)は、三重県でパソコンを教えるNPOを運営しながらソフト開発会社を営んでいる／写真集「チャレンジド」より

一九九八年九月、社会福祉法人プロップ・ステーションとして、厚生大臣より認可を取得。事業はあえて第二種社会福祉事業1本に絞り、極めてNPO（民間非営利団体）法人的要素の強いものを目指した。

「プロップを日本の福祉政策転換の原動力にしたい！」

そんな想いで先鞭をつけた「実験ブランド」は、昨年から三重県、熊本県でも新事業としてスタート。行政サイドやボランティア団体も多数協力する新しい就労システム構築へと広がりを見せつつある。「プロップ」のバックボーンとして、毎年地方自治体と共同で「チャレンジド・ジヤパン・フォーラム」を開催し、地道にプロップの考えを訴え続けてきたことで、共感

してくれる自治体が徐々に増えてきているのだ。

「眠っている能力を活かして仕事を持ち、積極的に社会参加していこう、働いて納税者になろう」

彼女の提言からスタートした活動が今、少しずつ日本を変えようとしている。厚生労働省や内閣府の各種委員、財務省の財務制度審議会専門委員などの肩書も増えた。政府の会合にも度々呼ばれるが、「仕組みや考え方を本当に変えるには十年かかる」という。

「保護」から「自立支援」へ

国立療養所青野原病院。竹中さんは毎月一度、ここを訪れる。会議や講演に全国を飛び回る彼女が「母ちゃん」に戻るひと時である。まもなく三十歳になるマキタン（麻紀



グラフィック・アーティストの吉田幾俊さん(右)。初めての作品が売れた時「お金って、こんなに公平なもんやったんやな」と感じたという／写真集「チャレンジド」より

さん」が笑う。

「右肩上がりの経済成長も終わって、少子高齢社会は急速に進むし、福祉は破たんするのではないかと不安が募るばかり。娘のように税金を食う人間は、そのうち、社会に存在してもらっては困るといわれかねない。だから今、私たちが手を打たないといけないんです」

福祉の活動に入って三十

年。障害をもつ子供とその親を取り巻く環境はずいぶんと変わってきたが、それでもまだ、親が「この子には私より一日だけ先に死んでほしい」と訴える姿を目にする。当事者が直面する苦しみは今も変わっていないのだ。

どう考えてもこれはおかしい。子供に障害があってもなくても、やっぱり年の順に親から安心して死ねる、そういう社会にしたいと竹中さんは言う。そのためにも、働くことのできるチャレンジドがどんどん仕事を持ち、納税するようにしていかないと…いつも原点に立ち返るのだ。

「ケアの必要な時には適切なケアが、働く意欲のある時には就労のチャンスが得られる、という柔軟な社会システムを生み出すことこそが、日

本人すべてにとつての課題ではないかと思います。年をとったら、いつかはみんなチャレンジドなんやから」

確かに、障害者ではなくても、女性や高齢者など、働くということに対してハンディをもつ人はたくさんいる。だからプロップでは、チャレンジドだけでなく、一般の人を対象にしたパソコン・セミナーを開催している。一人でも多くの人たちが、自分の身の丈に合った働き方で社会を支えていくようになるのが、竹中さんの目標である。

「私が社会に役立っているとしたら、私を育てた麻紀の存在意義もある」

障害者福祉を「保護」から「自立支援」へ。大転換させるナミねえの挑戦はこれから続く。

ナミねえの道

障害者の社会参加の現場から



第6回——プロップ・コンピュータ・セミナー訪問記

教える者、学ぶ者 甘えのない真剣勝負



●プロップ・ステーション

プロップ・ステーションは1998年に社会福祉法人として認可され、コンピュータと情報通信を活用してチャレンジド（障害者）の自立と社会参画、特に就労の促進と雇用の創出を目標に活動している。ホームページ <http://www.prop.or.jp/>

●竹中ナミ氏

通称“ナミねえ”。社会福祉法人プロップ・ステーション理事長。重症心身障害児の長女を授かったことから独学で障害児医療・福祉・教育を学ぶ。1991年、プロップ・ステーションを設立した。現在は各行政機関の委員などを歴任する傍ら、各地で講演を行うなどチャレンジドの社会参加と自立を支援する活動を展開している。

セミナーは真剣勝負の場

整然と並ぶパソコンを前に、車椅子のチャレンジドたちの真剣な眼差し。講師の声は時にやさしく、そして時に厳しい。プロップのコンピュータ・セミナーは主にグラフィックとビジネスソフトを学ぶコースがあり、プロとしての知識や技術を学ぶための実践的な授業が用意されている。卒業して仕事ができる資質が身につけば、企業や自治体から受けた仕事をプロップがチャレンジドの技術や状況に応じてコーディネートする。

もちろん納期やクオリティなど、求められるものは一般の事業者と何ら差はない。癲癇の発作で職場を転々とし、プロップのセミナーを受講してSOHOとして独立を目指したという菊田能成講師は「何としても技術を身に付けてほしいという講師やボランティアの方々の熱意が伝わってきました」と当時を振り返る。

両手が不自由で、足の指で巧みにマウスを扱う岡本敏己講師はプロップの第1期生。「技術を詰め込むだけではなく、社会人としてのものの考え方や心構えなど、生徒には口やかましく聞こえるでしょうね」と。二人ともプロップの仕事を通じて、また臨時講師をしているうちに講師として抜擢されたそうだが、その人柄や仕事への前向きさゆえと想像に難くない。社会では障害の種類や程度に関係なく仕事は同一線上で評価される。それだけにここは教える側、学ぶ側ともに甘えの許されない真剣勝負の場でもある。

有料化に腹をくる

ナミねえ——じつはプロップがセミナーを始めた当初、受講料は無料やったんですよ。ところが授業に平気で遅れてくる子がいる。ボランティアが仕事を終えて汗かいて駆けつけてくれているにもかかわらずね。そのときにこれはあかん、これじゃ本物のプロは育たんと思ったんです。いかに障害者がいろんな人から無料で助けてもらっていることに慣れてきた

か、いやむしろ社会がそうしてしまって、本人も当然のように思っていることに気づいたんです。人間は自分を向上させて目標を達成しようとするとき、いろんなリスクを背負うじゃないですか。だから私は、原点に戻って障害の有無にかかわらず、少なくとも自分から投資をして初めて元を取ろうという気持ちがわいてくるんじゃないかと思ったんですね。



今年8月のセミナー風景。

もちろんセミナーを有料にすることに反発はありましたよ、特に障害者から。でもそのときに申し上げたのは「私たちはこのやり方が善だとも正義だとも思っていない。ただ、今まで障害者が自己投資をして勉強する場がなかったから、選択肢の一つとして認めてもいいではないですか」と。結果としてリスクを背負いながら勉強した人の中からプロが生まれてきたわけです。

また、障害者は困っている人たちだから寄付してください、というのが企業へのごく一般的な運動でした。でも私は『このセミナーから将来きっとあなたの会社の仕事を助ける人材が生まれるから、先行投資として寄付してほしい』とお願いしてきたんです。

こういう協力を求められたのは初めてだと励まされ、今やいろんなIT関連企業の応援の輪が広がっています。守られて当然、手助けしてもらうのが当然じゃない。それに頼ってたらどこかで限界が来てしまうことを柱にしたことが、ここまで来れた大きな理由やと思います。日本で障害者からお金をいただく活動はそれまで皆無でしたから、一歩踏み出すのに随分と腹をくくりましたけど（笑）。

マウスが新しい絵筆

プロップには在宅で学ぶスキルアップ・セミナーもある。特に重度障害の場

合、通学するだけで相当な体力を消耗するため、本格的なブロードバンド時代の到来には大きな期待が寄せられている。ブロードバンドはプロップにとって遠隔

教育、就労実現の第一歩なのだ。

この夏にはあるお絵描き教室の先生から相談を受け、重度の知的障害者のセミナーを開催した。アートの世界で著しい才能を見せる知的障害者のなかには、マウスという新しい絵筆に興味を示した受講生も少なくなかった。

また、この9月からはネットワーク管理者養成講座も実験的に行う。一人1台のサーバー構築実習用マシンとネットワーク環境を活用した実践講座だ。重度のチャレンジドの力を世の中に発揮するために、プロップはまさに時代の最先端を走り続けている。

また、この9月からはネットワーク管理者養成講座も実験的に行う。一人1台のサーバー構築実習用マシンとネットワーク環境を活用した実践講座だ。重度のチャレンジドの力を世の中に発揮するために、プロップはまさに時代の最先端を走り続けている。

小さな組織の成功を糧に

ナミねえ——セミナーを始めるにも会場の手配やボランティアへの依頼などいろんな苦労がありましたが、10年たってその努力がようやく報われつつあるのを感じています。なかでも厚生労働省の職業安定局が、今年、省内に重度の障害者の在宅を含む多様な働き方を推進する研究組織を立ち上げたのは画期的なことでした。私も研究会のメンバーに選ばれましたが、今後の動向に期待しています。

また、今年は障害者基本法的大幅な見直しが計られる年なのですが、日本の障害者対策が従来の救済型から自立支援型へと向かうことが示されています。まさに日本の障害者福祉の転換期であり、今後はプロップという小さな組織が実験プロジェクトとして成功したことで、これをいかに全国的なシステムとして波及できるかという課題に向けて、まだまだ身の引き締まる思いです。

column

在宅就労者に欠かせない「シーティング」の技術



シーティング（座位保持）とは障害者の身体に合わせて車椅子を設定することで、長時間使用しても疲れや痛みを感じずに残存機能を最大限に発揮できるという車椅子処方の技術のことである。欧米諸国ではすでに医療関係者や障害者の間で一般的になっているが、働くことを前提とした車椅子という発想はまだ日本に根ついていない。シーティングは入念に行われ、目的や症状に応じてさまざまなクッションやパーツが用意されている。たとえば骨盤を正しい向きに保持することで褥創（床ずれ）など車椅子上で生じる問題の多くは解決できるという。長時間パソコンを使う在宅就労のチャレンジドにとっては朗報であり、また、車椅子を使用することで活動の幅が広がることが期待される。

※現在、プロップのセミナーの受講料は2時間1500円が基本になっている。

構成／木戸隆文 撮影／有本真紀

「チャレンジド」神から挑戦する使命を与えられた人を示し、近年「ハンディキャップ」に代わる新たな言葉として米国で使われるようになった。

ナミねえの道

障害者の社会参加の現場から

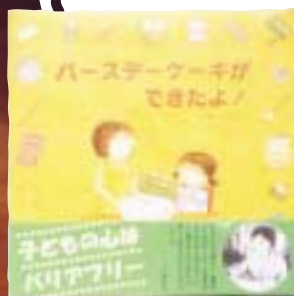


第5回——絵本作家デビューで自立の第一歩

車椅子で通学する子や その友達にも読んでほしい

くぼりえさん(27歳)
絵本作家、プロップ・ステーション在宅スタッフ

くぼさん作の『パースデーケーキができたよ!』(ひさかたチャイルド)は、2002年9月全国書店にて発売予定。



●プロップ・ステーション

プロップ・ステーションは1998年に社会福祉法人として認可され、コンピュータと情報通信を活用してチャレンジド(障害者)の自立と社会参画、特に就労の促進と雇用の創出を目標に活動している。ホームページ <http://www.prop.or.jp/>

●竹中ナミ氏

通称“ナミねえ”。社会福祉法人プロップ・ステーション理事長。重症心身障害児の長女を授かったことから独学で障害児医療・福祉・教育を学ぶ。1991年、プロップ・ステーションを設立した。現在は各行政機関の委員などを歴任する傍ら、各地で講演を行うなどチャレンジドの社会参加と自立を支援する活動を展開している。

芸術の世界に障害の壁はないという。そして、作品を世に発表する手段として、また自らの芸術性を高める学習手段として今、ITが注目されている。チャレンジドアーティストたちにとって、これまで以上にチャンスは広がっているのだ。今回は夢だった絵本作家デビューを果たした一人の女性を紹介する。

ITは図書館代わり

その絵本には車椅子がさりげなく描かれている。しかし、車椅子の主人公が驚くような活躍をするとか、車椅子だからこんなに苦労があるんだ、といった話は微塵もない。車椅子に乗っている子も元気に走り回っている子と同じように、やりたいことや考えていることは一緒なんだというメッセージを伝えたいと、作者であるくぼりえさんは話す。初めての絵本製作だが、りえさんに気負いはない。

「りえさんはウェルドニッヒ・ホフマン病という脊髄性筋萎縮症で、身体の姿勢を維持するだけでも大変なんです。マウスを持つにも他の人の手を借りて乗せてもらうという状態です。にもかかわらず自分の強い意志を貫いて、目標の絵本作家になったのは素晴らしいことやと思いますね。彼女のITの活用法はすごくユニークで、マウスも絵筆のひとつなんです。商業的なグラフィックの仕事で得た収入を、絵本制作のための画材の購入費用に使うというように、絵筆とITを使い分けて、なおかつどちらでも感性を表現できるというのがすごいなあとと思います」(ナミねえ)

絵本作家としてデビューしたくぼさんにとって、パソコンはまさに新しい世界を開いた魔法のランプだったに違いない。

——絵本作家になろうと思ったわけは？

くぼ 中学1年のホームルームの時間に「将来の針路を考える」という授業でじっくり考えたのが最初です。そのとき幼い頃に母がよく絵本を読んで聞かせてくれたこと、それがすごく楽しかったこと

を思い出して絵本作家になりたいと思うようになりました。

——成安造形短期大学（京都）では何を学びましたか。

くぼ 専攻は日本画でした。中学生のときに透明水彩という絵の具を使って絵の勉強をしていました。その頃、東山魁夷画伯の日本画を見て感動し、いいなと思うところは自分の絵に取り入れたいと思ったんです。短大のグラフィックの授業でMacを使ったのがパソコンとの出会いでしたが、もう少し勉強してみたいという気持ちもありました。

——そこでプロップのグラフィックセミナーを受講されたわけですね。

くぼ はい。短大を卒業するときに友人がアルバイトなどで生計を立てながら絵本作家を目指しているのを見て、私も経済的に自立したいと思ったんです。そのとき、プロップのセミナーの小さな新聞記事を見て、在宅勤務という文字が目にとまりました。これだったら私にもできるかもしれないと思ったんです。

——プロップのセミナーの印象は？

くぼ 第一線で活躍している先生方が講師でしたので、技術と同時に“社会で働くことはどういうことか”を教えてもらったことが役立ちましたね。特に私は短大を卒業するまで普通の学校に通っていたので、初めて他のチャレンジの方と接してとても刺激を受けました。

——くぼさんにとってパソコンとは？

くぼ パソコンがなければ生きてゆけないほど重要なもの。家にいながら外の世界が覗けるのは私にとって大きなことです。今では画材も簡単に注文できますし、調べものをするにも以前は苦労して図書館に通っていましたが、インターネットがその役目を果たしてくれています。

——絵本を通じて伝えたいメッセージは？

くぼ 大それたことは考えていませんが、私の描く絵本を通じて一瞬でも心が和んでもらえれば嬉しいですね。もちろん、今実際に車椅子で学校に通っている子どもたちにも私の幼い頃の感動体験に共感



してもらいたいし、その家族や友達にも親近感をもって読んでもらえればありがたいと思います。

——これからの目標を聞かせてください。

くぼ 2003年度のチャイルドブック・アップルシリーズで2冊目の絵本の出版が決まりました。理想は絵本だけで生活することですが、そのためにも今できることを精一杯頑張って大好きな絵を描き続けていきたいと思っています。

身の丈に合った働き方を

プロップ・ステーションのグラフィックセミナーで腕を磨いたくぼりえさんが、卒業後は電力会社のイベント用イラスト制作を皮切りにポスターやCG（コンピュータグラフィックス）制作などを次々と手がけた。現在も自作の絵はがきセットをホームページで販売するかたわら、プロップの誇るグラフィックデザイナーズ集団「バーチャル工房」でリーダーを務めるなど、その活動は幅広い。

「プロップではいろいろな人が多様な働き方をしてるじゃないですか。今までの日本は右肩上がりで、残業も厭わない一定の人たちが経済を支えてきました。その時代が終わりを告げ、誰もが自分の身の丈にあった方法で働いて支え合う時代が来たと思います。その意味で彼女の存在は、プロップの精神を実証してもらってるという気がしますね」（ナミねえ）

自分の体調と相談しながら仕事を受注するか否かを、自分自身で判断できるのも在宅ワークならではの。

「プロップの活動を通じて障害を持つ人々が何かできると考え始めること自体に意味があるんです。そのように個人の発想を変えること、それを可能にする制度をつくることの2つがこれから大事になると思います」（ナミねえ）

構成／木戸隆文 撮影／有本真紀

[チャレンジ] 神から挑戦する使命を与えられた人を示し、近年「ハンディキャップ」に代わる新たな言葉として米国で使われるようになった。

ナミねえの道



障害者の社会参加の現場から

第12回——脳性麻痺という障害を越えてマウスを握る

肉体という籠を破る芸術家魂



吉田幾俊 さん(46歳)

ブロップ・ステーション
在宅スタッフ

●ブロップ・ステーション

ブロップ・ステーションは1998年に社会福祉法人として認可され、コンピュータと情報通信を活用してチャレンジド(障害者)の自立と社会参画、特に就労の促進と雇用の創出を目標に活動している。ホームページ <http://www.prop.or.jp/>

●竹中ナミ氏

通称“ナミねえ”。社会福祉法人ブロップ・ステーション理事長。重症心身障害児の長女を授かったことから独学で障害児医療・福祉・教育を学ぶ。1991年、ブロップ・ステーションを設立した。現在は各行政機関の委員などを歴任する傍ら、各地で講演を行うなどチャレンジドの社会参加と自立を支援する活動を展開している。

ブロップ・ステーションのセミナーは、障害の種類や程度の壁を越えてチャレンジドに開放されている。いわばチャンスの平等であり、ここには結果平等という甘えは一切ない。今回は脳性麻痺という障害と懸命に闘いながらPCの出現を待ち望んだ結果、内在する芸術の才能を見事に開花させた一人の男性を紹介する。

唯一使えるのは右手

1000年後の神戸の空にコウノトリの大群が舞う。神戸新聞の元旦号の表紙を飾った吉田幾俊さんの絵画は何とも個性的だ(右上の作品)。ほかの作品にも独特のユーモアがあふれ、見ていて楽しくなる。

「幾くん※1はアテトーゼ型※2の重度の脳性麻痺による肢体不自由という障害を抱えています。出会った頃は言語障害も重かったのですが、ブロップで学んで仕事をするようになり、人と話す機会が増えるにしたがって話が上手になりました。講演会では私との掛け合い漫才で、会場が笑いの渦に包まれることもしばしば(笑)。関西のノリで障害をネタに笑い飛ばす力強さも彼らしいところかもしれません」(ナミねえ)

アテトーゼは自分の意志に反して筋肉が動いたりするため、この障害が社会進出のデメリットになることが多いという。吉田さんの場合も唯一動かせる右手を使うのだが、絵筆を持つ手が震えて思うように描くことができなかった。

「自分の精神が肉体の籠を破りたがっているという幾くんの一言に、ああ、この人はPCがあれば大化けするかと直感しました」(ナミねえ)

今や押しも押されぬせぬブロップの在宅デザイナー(バーチャル工房サブリーダー)として内外からの評価は高い。



——幼い頃から絵が好きだったんですね。

吉田●はい。今では座れるようになりましたが、小さいときは寝たきりの状態で、うつ伏せのまま新聞広告の裏などにボールペンで絵を描いていました。漫画が好きで手塚治虫氏のアトムが流行った頃でした。



(左) 神戸新聞の元旦号の表紙を飾った「コウノトリ舞う千年後の神戸」。
(下) 吉田さんの最新作「みんなに優しいウェブ アクセシビリティ」。総務省が作成したウェブ アクセシビリティの冊子の表紙画。そのほか、吉田さんの作品は、ホームページで見ることができる。
<http://www.sakai.zaq.ne.jp/iku/works/1100frame.htm>

——油絵を始められたきっかけは？

吉田●堺市内の養護学校高等部を卒業するときになってどこにも行かぬ、精神的に落ち込んでいました。そんなときに油絵

の先生が家に来てくれて、展覧会に出品することで生きがいを見出せたわけです。

——プロップとの出会いは？

吉田●養護学校の先輩がプロップで勉強していて誘われました。最初の授業の前にナミねえが「頑張れば仕事につながるから気持ちをいれて」と励ましてくれたんです。そのときは「また調子のええこと言うて」と正直思いましたよ（笑）。まさかほんまに仕事ができるようになるとは……。

——初めての仕事の印象は？

吉田●電力会社のイベント用のイラストをくぼりえさん※3と2点ずつ制作しました。今までは好き勝手に描いてましたが、注文した人の真剣さとそれに応えなあかんという厳しさを目の当たりにして驚きもしました。結果、喜んでもらえて嬉しかったし、お金ってこんなに平等なものやったんやなというのが感想でした。

——何かが苦勞する点はあるですか？

吉田●作品を仕上げるのにかなりの時間がかかるということです。障害者向けのグラフィックソフトは市場にありませんし、ペンタブレット※4は私の筆圧が高いので滑ってしまう。でもアプリケーションが出るたびに表現の幅が広がる点は期待できます。

——今後の展望と後輩へのアドバイスを。

吉田●じつは今までPCで絵を描いていたので、原点に戻って手描きの線を生かしてみようかと思っています。手描きの絵やデジタルカメラで撮影した画像をスキャナで取



り込んで、加工するなどいろいろ試してみたい。仕事のアドバイスとしては、まず人の話をよく聞くことが一番大事。上達の近道は自分の好きなことを見つけて、ソフトをとことん使って覚えていくことでしょうか。必要なものは必ず見つかるはずです。

身体を痛めないPC

脳性麻痺という障害は、病気を知らない人から見ると、本人が何もできないのではないかと思われがちだと、ナミねえはいう。日本の「縦割り福祉行政」のせいで種類の違うチャレンジド間の交流はほとんどないが、プロップのセミナーで、頸椎損傷の人が脳性麻痺の人にPCを教えたことがあった。

「そのとき頸椎損傷の人が『今までPCを扱うのに一番苦勞していたのは私たちのほうだと思っていたが、脳性麻痺の人のほうが難しいと初めて知った』と感想を述べていたくらいです。でも、幾くんをはじめ、私が出会った脳性麻痺の人は、優秀な人がとても多いんです」（ナミねえ）

つまり運動の機能障害のためにマウスで正確にポイントできない苦勞がある。それゆえに無理をして身体を痛めてしまうケースも少なくないそうだ。

「機械との接点が難しいチャレンジドのために、今後、身体を痛めないようなPCや使いやすいアプリケーションなど、ユニバーサルな規格商品の出現を望みたいです」（ナミねえ）

column 与党プロジェクトに 格上げ



衆参21議員による発会式の様子。

2002年2月に発足した「ユニバーサル社会形成促進プロジェクト・チーム」（座長：野田聖子衆議院議員、副座長：浜四津敏子参議院議員、講師：竹中ナミ）が、正式に与党プロジェクトとして位置づけられることになった。毎月1回のペースで勉強会を重ね、政策としての提言を検討してきた。ナミねえの願いは実験プロジェクトとしてのプロップのプロセスを、社会システムへと昇華させること。チャレンジドが全国どこでも勉強でき、働くチャンスを得ることができるといったユニバーサル社会の実現を目指し、今後は与党プロジェクトとして議論されることになる。それに先立ち3月31日には麻生太郎衆議院議員（自民党政調会長、e-japan特命委員会会長）がプロップを訪問した。

※1幾くん ナミねえが使う吉田さんの愛称。
※2アテトーゼ 不随意運動のことで、アテトーゼ型脳性麻痺の場合、意識と関係なしに筋肉の緊張や不随意運動が現われる。
※3くぼりえさん 絵本作家、プロップ・ステーション在宅スタッフ。本誌2002年9月号で紹介。
※4ペンタブレット ペン型のマウスのこと。

構成／木戸隆文 撮影／有本真紀・森本智

「チャレンジド」神から挑戦する使命を与えられた人を示し、近年「ハンディキャップ」に代わる新たな言葉として米国で使われるようになった。